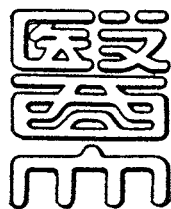


# 日本医科大学研究業績年報

第 34 卷

Nippon Medical School Research Annual

Vol. 34



昭和62(1987)年度

April 1987 ~ March 1988



# 日本医科大学研究業績年報

## 第 34 卷

Nippon Medical School Research Annual

Vol. 34

昭和62(1987)年度

April 1987 ~ March 1988





# ま え が き

学 長 菊 地 吾 郎

本学では昭和29（1954）年度以来、毎年1回、学内の各研究室で行われた研究の成果をまとめて記録する「日本医科大学研究業績集」を刊行していたが、昨年からその内容を改め、その年度（昭和62年4月～63年3月）の研究業績に加えて、各研究室の研究の意図や研究活動の状況を簡潔に述べていただくことにした。これに伴ってその標題も「日本医科大学研究業績年報」と改められた。編集をこのように改めることによって、学内のさまざまな領域で活動している人達が、お互いの研究の状況をよりよく知り合うことができ、本学の研究活動が一層活発になることを期待したわけである。この試みは各方面から好意的に迎えられたようで、それなりの効果を発揮しているのではないかと思っている。

今回、「研究業績年報」の昭和62年度版（第34巻）を刊行するに当たっては、各研究室でそれぞれ62年度の研究の総括が行われたことと思うが、その結果として、新たな問題の存在や展開の方向が見えて来た、というようなことも多々あったのではなかろうか。それが次年度の新たな研究の導きの糸となって生かされることを期待したい。

本年報からも知られるように、医科大学で行われる研究は実に多様である。これは医学の分野が広範であることの反映であって、たとえば基礎医学と臨床医学では、研究の発想や評価の基準が必ずしも同じではないが、それぞれの研究に意義があるのであって、どちらがより優位というわけのものではない。最近ではまた、さまざまな研究新技術の導入があって、研究は益々多彩になっており、研究者が自由な研究を展開する可能性ははるかに大きくなっている。このような多彩な研究環境にあって重要なことは、それぞれの立場で自分が取り組んだ問題を、妥協なく追究し続けることであろうと思う。本来の研究の独創性や重厚さはそのようにして加わるものであり、それがまた研究者の自信と自立につながって行くのであろうと思う。本年報に年毎に本格的な研究の報告が増加することを念願したい。

最近では医学教育改善の一つの方向として、問題解決型の教育とか自主的学習の尊重とか、学生に創造・発見の喜びを感じ得させようとする試みが推奨されている。このような教育は、教師自身が体験的にその喜びを深く知っているのだからむずかしいが、本「研究業績年報」は、一面ではそのような体験の記録でもある。大学では研究と教育とは一体である、という古典的な言葉があるが、それを今日的な意味で、新しい医学教育に生かすことも大切であろう。この年報が持つ意義を、そのような面からも評価してみたいものである。

本年報の編集に当たられた方々、および原稿を執筆された諸先生に深く感謝の意を表したい。



## 目 次

### 〔1〕基礎科学

1. 人文科学・社会科学 .....	1
〔国文学〕 .....	1
〔心理学〕 .....	1
〔歴史学〕 .....	2
〔社会学〕 .....	3
〔法 学〕 .....	3
2. 自然科学 .....	4
〔数 学〕 .....	4
〔物理学〕 .....	6
〔化 学〕 .....	7
〔生物学〕 .....	8
3. 外国語 .....	10
〔英 語〕 .....	10
〔ドイツ語〕 .....	11
〔フランス語〕 .....	12
4. 保健体育 .....	13
〔保健体育〕 .....	13

### 〔2〕基礎医学

1. 第一解剖学講座 .....	17
2. 第二解剖学講座 .....	19
3. 第一生理学講座 .....	21
4. 第二生理学講座 .....	23
5. 第一生化学講座 .....	25
6. 第二生化学講座 .....	27
7. 薬理学講座 .....	30
8. 第一病理学講座 .....	32
9. 第二病理学講座 .....	37
10. 微生物学・免疫学講座 .....	41
11. 衛生学・公衆衛生学講座 .....	45
12. 法医学講座 .....	48

13. 基礎医学共同研究利用施設 .....	50
〔実験動物管理室〕 .....	50
〔中央電子顕微鏡研究施設〕 .....	51
〔基礎医学情報処理室〕 .....	53

### 〔3〕 臨床医学

1. 第一内科学講座 .....	57
〔付属病院第1内科〕 .....	57
〔付属病院老人科〕 .....	75
〔第二病院内科〕 .....	78
〔多摩永山病院内科〕 .....	79
2. 第二内科学講座 .....	84
〔第一病院内科〕 .....	84
〔第一病院理学診療科〕 .....	97
3. 第三内科学講座 .....	102
〔付属病院第3内科〕 .....	102
4. 精神医学講座 .....	114
〔付属病院神経科・第一病院神経科〕 .....	114
5. 小児科学講座 .....	120
〔付属病院小児科・多摩永山病院小児科〕 .....	120
〔第一病院小児科〕 .....	127
〔第二病院小児科〕 .....	129
6. 放射線医学講座 .....	132
〔付属病院放射線科〕 .....	132
〔第一病院放射線科〕 .....	138
〔第二病院放射線科〕 .....	142
〔多摩永山病院放射線科〕 .....	145
7. 皮膚科学講座 .....	147
〔付属病院皮膚科〕 .....	148
〔付属病院形成外科〕 .....	151
〔第一病院皮膚科〕 .....	154
〔第二病院皮膚科〕 .....	156
8. 臨床病理学講座 .....	159

[付属病院臨床病理科] .....	159
9. 第一外科学講座 .....	165
[付属病院外科] .....	165
[多摩永山病院外科] .....	176
10. 第二外科学講座 .....	178
[第一病院外科・付属病院胸部外科] .....	178
[第一病院内視鏡科] .....	193
[第二病院外科] .....	195
11. 脳神経外科学講座 .....	200
[付属病院脳神経外科] .....	200
[多摩永山病院脳神経外科] .....	206
12. 整形外科学講座 .....	207
[付属病院整形外科・第一病院整形外科・第二病院整形外科・ 多摩永山病院整形外科] .....	207
13. 産婦人科学講座 .....	212
[付属病院産婦人科] .....	212
[第一病院産婦人科] .....	221
[第二病院産婦人科] .....	223
[多摩永山病院産婦人科] .....	226
14. 耳鼻咽喉科学講座 .....	228
[付属病院耳鼻咽喉科] .....	228
[第一病院耳鼻咽喉科] .....	234
[第二病院耳鼻咽喉科] .....	235
[多摩永山病院耳鼻咽喉科] .....	237
15. 泌尿器科学講座 .....	238
[付属病院泌尿器科] .....	238
[第一病院泌尿器科] .....	245
[第二病院泌尿器科] .....	248
16. 眼科学講座 .....	250
[付属病院眼科・第一病院眼科・第二病院眼科・多摩永山病院眼科] .....	250
17. 麻醉科学講座 .....	253
[付属病院麻醉科] .....	253

[第一病院麻酔科] .....	255
[第二病院麻酔科] .....	258
[多摩永山病院麻酔科] .....	259
18. 救急医学講座 .....	260
[付属病院救命救急センター] .....	260
19. 付属病院付置施設等 .....	271
[付属病院集中治療室] .....	271
[付属病院病理部] .....	276
[付属病院中央検査部] .....	278
20. 第一病院付置施設等 .....	280
[第一病院人工透析室] .....	280
21. 第二病院付置施設等 .....	282
[第二病院健康管理科] .....	282
[第二病院病理部] .....	282
[第二病院中央検査室] .....	284
[第二病院薬剤科] .....	285
22. 多摩永山病院付置施設等 .....	286
[多摩永山病院救命救急センター] .....	286
[多摩永山病院病理検査室] .....	286
[多摩永山病院中央検査室] .....	288
[多摩永山病院薬剤科] .....	289
[多摩永山病院看護部] .....	290
〔4〕 付置研究施設	
1. 老人病研究所 .....	295
2. ワクチン療法研究施設 .....	298

# 〔 1 〕 基 礎 科 学





# 1. 人文科学・社会科学

## 〔国文学〕

### 研究概要

昨年度に引き続き、文学にあらわれた日本人の思想と生活（主に古代・中世）を中心に研究を進めている。これは向こう何年間か、私の研究の中心テーマになると思う。

昭和62年度は、日本に古い伝統をもつオナリ神的立場にある女性の性格・位置について解明を試みた。オナリ神とは兄弟を守る姉妹の霊のことで、元来は沖縄の信仰であるが、血縁の男性より霊的に優位に立ち、その男性をたすける女性の存在は、古代日本の伝承の中にも多々見られる。差し当たって研究の対象は、素朴で野性的な古代の地方土着勢力の女首長に絞り、風土記・古事記・日本書紀などにおける彼女達の事績・関連伝承をすべて挙げ、通観することから手がけた。彼女達は、それぞれの共同体において最高巫女として神を祀り、神がかりじて託宣を受け、祭祀を通して男性首長をたすけた。彼女達の性格は、大和朝廷に服属してその系譜の中に組み込まれることによって変貌を遂げてゆく。また、日本古代文化は弥生時代以降、農耕的文化・稲作文化が主流とされてきた。が、彼女達の背後にははっきり砂鉄・銅などの金属文化の伝承が見られ、日本古代の、稲作文化と銅・鉄文化との複合文化的なあり方が指摘できた。

このほか、併行して古典芸能の調査研究を続けた。古典芸能・伝統文化は、いわば人間の文化である。人間を知るためにも、伝統文化に触れることは医学生にとって望ましい。日頃そのようなことに無縁な学生達も興味を以て接することができるよう、現代の視点から伝統文化を改めて見直す作業を続けている。

なお、昨年度研究を試みた古代社会の病気観において、病いの原因は多く神の祟りと見られているのであるが、その後の考察過程で、病いの発生地域が水銀や銅の採取・精錬と関わり深く、いわば古代版公害病と認定されるものが出てきたのは興味深いことであった。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 福島千賀子：〔原著〕玉依姫の位置〈一試論〉；古代日本における聖俗二重支配をめぐる。日本医科大学基礎科学紀要, No. 8, 1～14, 1987.

## 〔心理学〕

### 研究概要

当教室での現在の研究の柱は環境と人格形成についてである。これをわれわれの言葉に言いかえると、地域研究に分類されるものであると同時に、心理療法的態度を組み込んで研究を進めるということで、この点が特色づけられている。

当然過去1年間の発表もこの線にそったもので、「学会発表」においては表題にも見られるように社会性に重点を置き、精神障害者を対象にしても、それを症状学的に問題にするよりも社会的行動を見ることに焦点を合わせ、また宗教感情を問題にするさいにも、むしろ人間行動の基盤としてみることにしている。引揚者の発表のでも、当然文化接触による行動を、当事者だけでなく受け入れ側を含めて問題にする姿勢をとっている。

「原著」のてんかん患者の模型制作もこの線から外れたものではない。これは引き続き予定される公開の作品展により、患者に対する地域住民の態度測定を行うことに引き継がれるわけである。

小児科臨床に関する原著は、従来から機会があるごとに発表していた診療場面の心理学的意義を明らかにする一連

の論文の一つである。

さらに伊藤の著書は、今までの研究体験の中から発想を得た自由の問題を、教育実践の中に移し植えようとしたもののといってよい。

## 研究業績

### 論文

- 1) 丸山芳也, 伊藤末博: [原著] 民家模型を制作するあるてんかん患者の精神世界. Japanese Bulletin of Art Therapy, 18, 35~43, 1987.
- 2) 近喰ふじ子<sup>1)</sup>, 丸山芳也, (<sup>1)</sup>戸田市立健康管理センター): [原著] 小児科臨床での心理的取り扱いの意義. 日本医科大学基礎科学紀要, No.8, 98~109, 1988.

### 著書

- 1) 伊藤末博: 教育の自由化素描; 人間の基本的な理解から教育自由化への出発. 日本教育自由化推進協議会, 1988.

### 学会発表

- 1) 丸山芳也, 伊藤末博, 堀口久五郎<sup>1)</sup>, 岩谷了<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>東洋大生, <sup>2)</sup>秩父中央病院): [一般講演] 中国引場者の就学児童について. 第52回日本民族衛生学会総会, 1987.
- 2) 伊藤末博, 丸山芳也, 岩谷了<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>秩父中央病院): [一般講演] 精神障害者の社会復帰と地域に関する研究 (1). 第52回日本民族衛生学会総会, 1987.
- 3) 野村俊明<sup>1)</sup>, 堀口久五郎<sup>2)</sup>, 伊藤末博, 丸山芳也 (<sup>1)</sup>日医大生, <sup>2)</sup>東洋大生): [一般講演] 地域研究における宗教感情の調査. 第52回日本民族衛生学会総会, 1987.

## [歴史学]

### 研究概要

歴史学の分野では、多く、調査・研究・執筆から刊本になるまでに、1年間を要する。だから、1987年度中には、清和源氏の嫡流および庶流に関する研究を主に行ったが、その結果が出るのは、本年1988年度ということになる。すでに3冊分の原稿を出版社に渡してあるので、本年1988年中には、刊行される予定である。

1987年度中に得られた結果は、別紙のとおりである。この年度中には、社会啓蒙が仕事の主になった感がある。ちなみに、歴史学では、教育・研究・社会啓蒙をもって、研究者の職務の三本柱としている。

旧年中に行った社会啓蒙に関しては、本報告には記さなかった。朝日カルチャー・センターの新宿校、横浜校などにおいて、通算30回の講演を行ったのである。

なお、文京区役所成人学校講座での『吾妻鏡』講読は、本年で5年を経過した。

また、千葉県安房郡白浜町の町史編纂に着手してから、ようやく20年目を迎え、通史編5冊、近世史料集3冊を刊行し終わった。1987年度中でのフィールド・ワークにおいて、大部の古文書を蒐集しえたので、本年1988年度中には、2冊を追加刊行できるものと思う。

## 研究業績

### 論文

- 1) 奥富敬之: 清和源氏の本流. 歴史と旅, 14(7), 62~65, 1987.
- 2) 奥富敬之: 公曉・義時の死. 歴史読本, 32(10), 66~69, 1987.

- 3) 奥富敬之：日本史の目撃者（今川了俊）。歴史読本，32(16)，300～303，1987.
- 4) 奥富敬之：宗良親王。歴史読本，32(17)，100～105，1987.
- 5) 奥富敬之：鎌倉北條氏所領；増減過程の数量的考察。日本歴史，No. 470，1～17，1987.
- 6) 奥富敬之：源平合戦の主役たち（俊寛，頼政，義仲，継信，忠信，以仁王，平家一門）。歴史読本，32(22)，62～68，1987.
- 7) 奥富敬之：清和源氏の系譜。歴史読本，32(19)，1987.

## 著 書

- 1) 奥富敬之：〔共編著〕安房白浜近世史料集。Ⅲ。福原家文書。千葉県白浜町（新人物往来社），1987.

## 学会発表

- 1) 奥富敬之：源頼朝。千代田区教育委員会，1987.

## 〔社会学〕

### 研究概要

#### （学会活動）

荒木は日本港湾経済学会理事ならびに国際交流委員会委員長を務めている。とくに昨年は数年来の検討課題であった“国際学術交流の発展と円滑化の促進について”，国際交流委員会，会則検討委員会，事務局等で検討を重ねてきた結果，次のように纏められた。“外国人客員会員制度を設けて，外国人会員の便宜を計るとともに，会費などの取り扱いにも弾力を持たせる方向……”年次大会総会にて承認をえた（参照 The Japan Port Economics Association News, No. 8. 1987年10月発行）。

上記，学会の理事・役員改選が昨年の8月に行われ，本教室の荒木が理事および国際交流委員長に選挙の結果任命され，総会にて承認された（参照 The Japan Port Economics Association News, No. 9. 1987年1月発行）。

#### （公開特別医学講座の活動）

昭和61年度，本学新丸子校舎および本学第二病院が中心となって開かれた，第2回『公開特別医学講座』に本教室は実行委員として参加した。主題は昨年同様に“癌をめぐって”である。社会学教室の役割は，主に広報および編集・制作関係であり中でも講師諸先生の講演なされた概要を学生実行委員（7名）とともに制作，編集（ポスターの作成を含め）し，小冊子にまとめ発行することであった。昭和62年12月に，上記講座の概要と併せて，昭和61年度の公開特別講座アンケート調査結果をも分析し小冊子にして刊行した。なお，この小冊子に本教室（荒木）は，『医学公開講座の今後の役割』——地域社会と生命的連帯感——と題して執筆寄稿した。

引き続き，昭和62年度（昭和63年1月）の公開特別医学講座も本教室は，前年同様に実行委員として参加した。

## 〔法 学〕

### 研究概要

近時，医事紛争が多発し，これとともに医事裁判が増加する傾向をたどり，示談や調停によってこれが解決される例はさらに多きにのぼっている。

医師は医業を行うにあたって個人開業医や勤務医として医療に従事し，また病院や診療所の開設者や人的物的設備の管理者となり，あるいは，医療法人の役員に就任することもある。そして，その中にあって，医師は，多数の患者をはじめ医療従事者やその他の関係者，さらには，医療機器をはじめとする病院等の施設との関係を拒むことはできない。

このような立場にある医師が日常、遭遇しうる法律問題、とくに医事紛争、例えば、医療過誤による損害賠償や刑事責任等に関連する諸問題を具体的事例に則し法律相談形式にまとめて、検討する。そして、これに対する法律や判例を踏まえながら、単に抽象的な法律理論に偏することなく、法律実務上の妥当な解決方法を研究しようとするものである。(遠藤 寛)

## 研究業績

### 論文

- 1) 遠藤寛：〔話題〕医事紛争の予防；手術の「承諾書」をめぐる。日医大誌，54，688，1987.
- 2) 遠藤寛：付添婦の不注意で患者が火傷を負った場合の損害賠償（医療法律相談）。新医療，4月号，106～107，1987.
- 3) 遠藤寛：入院した患者が突然死した場合の対処の方法（医療法律相談）。新医療，5月号，118～120，1987.
- 4) 遠藤寛：「医療過誤」と「医療事故」の意味と法律上の責任（医療法律相談）。新医療，6月号，100～102，1987.
- 5) 遠藤寛：医療過誤により担当医が捜査機関から受ける処分の内容（医療法律相談）。新医療，7月号，134～135，1987.
- 6) 遠藤寛：手術後患者が予測しない病変をきたした場合の留意すべき点（医療法律相談）。新医療，8月号，130～131，1987.
- 7) 遠藤寛：治療ミスをいつの患者への法的な対処の方法（医療法律相談）。新医療，9月号，126～127，1987.
- 8) 遠藤寛：医療過誤による示談後の後遺症への賠償請求について（医療法律相談）。新医療，11月号，134～135，1987.
- 9) 遠藤寛：看護婦がミスにより示談したのちの病院開設者の賠償義務（医療法律相談）。新医療，12月号，120～121，1987.
- 10) 遠藤寛：医師の説明で加害者と示談後に病状が悪化した患者の医師に対する賠償請求（医療法律相談）。新医療，1月号，142～143，1988.
- 11) 遠藤寛：患者本人は医療ミスの法的責任を不問としたが，両親が慰謝料の請求をした場合（医療法律相談）。新医療，2月号，122～123，1988.
- 12) 遠藤寛：週刊誌に「まやかし療法」との記事を掲載されたが，処罰を求める方法はないのか（医療法律相談）。新医療，3月号，104～105，1988.

## 2. 自然科学

### 〔数 学〕

#### 研究概要

三宅章彦：多変量解析の基本的手法の一つである判別分析においてノンパラメトリック手法としての最適線形判別関数を考え、シミュレーションによる実験を試みている。他方、パーソナルコンピュータの医学統計への応用、数学教育への導入について研究努力を続けている。

伊藤高司：主に放射線医学総合研究所と共同で、PETによる生理的状態における中枢神経機能、特に内因性精神病の研究をしている。伊藤の研究分担の一つは、PETによる同受容体の活性の定量計測法の確立である。

投与後の血液中の非結合トレイサー濃度の精密な経時変化の計測による、生体内でのトレイサー動態モデルの確立、およびその推定問題の解決を目指している。推定問題は、3ないし4コンパートメントの薬物動態モデルに還元できるが、トレイサーの特性、およびPET計測の特異性を考慮しなければならず、現段階では並列モデルを提案していると同時に、トレイサー投与直後の血液中の高濃度相の影響を考慮したモデルを提案している。

饒我真理子：抽象ポテンシャル論と半群理論との関係の仕事を現在論文に纏めている。従来、半群理論との間になるべく綺麗な関係をつけることを主にしてきたが、今回ポテンシャル作用素を抽象的に閉作用素に拡張することが具体的問題においてどういう意味を持つかについても改めて考えた。今後のテーマとして、熱伝導における零点の集合の時間経過による形の変化を考えたいので、今そちらのほうの基礎的勉強をしている。ただし、このテーマ自身は少々大きすぎるので、これからどういう方向に進むかわからない。

飯田博和：（グラフ理論）有限集合の  $n$  色による彩色に対する Discrepancy について研究している。部分集合をとり出すもとの集合を、 $n$  次元とする場合と、次元を考えない一般の集合にする場合との相違について、および、次元を考えない場合、次元に対応する概念としては何が考えられるかについて。

## 研究業績 論文

- 1) 三宅章彦：〔総説〕医学統計処理プログラム（第13回，第14回，第15回，最終回）．メディカル・マイコン・レポート，8(4,5,6,7)，84～86，88～91，88～91，100～102，1987.
- 2) 山崎統四郎<sup>1)</sup>，館野之男<sup>1)</sup>，伊藤高司，井上修<sup>1)</sup>，伊藤雅臣<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>放射線医学総合研究所，<sup>2)</sup>国立精神神経センター精神保健研究所）：〔総説〕PETによるレセプターマッピング．病態生理，6，523～528，1987.
- 3) 三宅章彦：〔総説〕医学統計とパソコン（特集：医学基礎研究を支えるパソコンの実践）．メディカル・パソコン，2，427～432，1987.
- 4) 三宅章彦：〔総説〕統計入門．メディカル・パソコン，3，284～286，1988.

## 著書

- 1) 山田恒夫<sup>1)</sup>，三宅章彦，長原步<sup>2)</sup>，高橋久美子<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>医療情報システム開発，<sup>2)</sup>キッコーマン（株）研究本部）：〔共著・分担〕医学パソコンマスターブック．p.135～151，南江堂，1987.

## 学会発表

- 1) 伊藤雅臣<sup>1, 2)</sup>，篠遠仁<sup>3)</sup>，井上修<sup>1)</sup>，入江俊章<sup>1)</sup>，鈴木和年<sup>1)</sup>，伊藤高司，山崎統四郎<sup>1)</sup>，館野之男<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>放射線医学総合研究所，<sup>2)</sup>国立精神神経センター精神保健研究所，<sup>3)</sup>千葉大医学部神経内科）：〔一般講演〕クロナゼバムの脳内ベンゾジアゼピンレセプターに対する影響のポジトロンCTによる評価．第17回日本神経精神薬理学会年会，1987.
- 2) 伊藤高司，田所裕之，伊藤雅臣<sup>1, 2)</sup>，橋本謙二<sup>4)</sup>，福田寛<sup>1)</sup>，篠遠仁<sup>3)</sup>，井上修<sup>1)</sup>，山崎統四郎<sup>1)</sup>，館野之男<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>放射線医学総合研究所，<sup>2)</sup>国立精神神経センター精神保健研究所，<sup>3)</sup>千葉大医学部神経内科，<sup>4)</sup>福山大学薬学部）：〔一般講演〕C-11-Ro15-1788ベンゾジアゼピン受容体マッピング・トレイサーの血中フリー動態の推定のPETによる受容活性の定量解析．第27回日本核医学会総会，1987.
- 3) 篠遠仁<sup>1)</sup>，伊藤雅臣<sup>1, 2)</sup>，福田寛<sup>1)</sup>，鈴木和年<sup>1)</sup>，池平博夫<sup>1)</sup>，平山恵造<sup>4)</sup>，伊藤高司，山崎統四郎<sup>1)</sup>，館野之男<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>放射線医学総合研究所，<sup>2)</sup>国立精神神経センター精神保健研究所，<sup>3)</sup>福山大学薬学部，<sup>4)</sup>千葉大医学部神経内科）：〔一般講演〕脊髄小脳変性症におけるベンゾジアゼピンレセプター．第27回日本核医学会総会，1987.
- 4) 伊藤雅臣<sup>1, 2)</sup>，伊藤高司，入江俊章<sup>1)</sup>，橋本謙二<sup>3)</sup>，篠遠仁<sup>4)</sup>，福田寛<sup>1)</sup>，鈴木和年<sup>1)</sup>，館野之男<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>放射線医学総合研究所，<sup>2)</sup>国立精神神経センター精神保健研究所，<sup>3)</sup>福山大学薬学部，<sup>4)</sup>千葉大医学部神経内科）：〔一般講演〕C-11-Ro-15-1788の血しょう中フリーリガンド濃度の推定．第27回日本核医学会総会，1987.
- 5) 三宅章彦：〔一般講演〕パソコンのグラフィック機能の教育利用．1987年度数学教育学会秋季年会，1987.
- 6) 三宅章彦：〔一般講演〕大学・高専の数学教育．1987年度数学教育学会秋季年会，1987.

- 7) 伊藤高司, 田所裕之, 伊藤雅臣<sup>1, 2)</sup>, 橋本謙二<sup>4)</sup>, 福田寛<sup>1)</sup>, 篠遠仁<sup>3)</sup>, 井上修<sup>1)</sup>, 山崎統四郎<sup>1)</sup>, 館野之男<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>放射線医学総合研究所, <sup>2)</sup>国立精神神経センター精神保健研究所, <sup>3)</sup>千葉大医学部神経内科, <sup>4)</sup>福山大学薬学部) :  
〔一般講演〕 パーソナルコンピュータによるポジトロンCTの定量解析の試み. 第7回医療情報学連合大会,  
1987.
- 8) 儀我真理子 : 〔談話会講演〕 抽象ポテンシャル論と半群理論について. 九州大学談話会, 1988.

## 〔物理学〕

### 研究概要

赤野はクォークの複合モデルを提唱し, これに基づいて, 小林・益川マトリックス,  $B^0 - \bar{B}^0$ の混合比, CP保存の破れ, 強結合定数およびcolorの本質を説明した.

三浦はSU(6) Additive quark modelとflavor SU(3)対称性の磁気能率での破れを組み合わせ, クォークの新しい有効質量を用いて重粒子8重項の磁気能率を計算した.

香川は筋収縮の分子機構を研究するため, Fアクチン/ATP溶液中のミオシン分子の拡散係数を測定し, そのとき発見した現象のコンピュータ・シミュレーションによる説明に成功した. また膜興奮に関連した溶液中でのイオンの動的性質, さらにまたベータ線検出器を用いたCa結合蛋白質の研究も行っている.

安藤はグラフ理論のうち連結度と補グラフについて研究している. 公表された成果としては, Gとその補グラフ $\bar{G}$ がともに弱直積分可能なグラフの分類と特徴づけを完成し, さらにある種の臨界連結グラフの位数の上限を決定した.

### 研究業績

#### 論文

- 1) Ando, K., Egawa, Y.<sup>1)</sup> and Mizuno, H.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>東京理科大, <sup>2)</sup>電通大) : 〔原著〕 Graphs for which G and  $\bar{G}$  are both semidecomposable. Discrete Math., 65, 109~114, 1987.
- 2) Ando, K. and Usami, Y.<sup>1)</sup> (お茶大・理) : 〔原著〕 Critically (k, k) - connected graphs. Discrete Math., 66, 15~20, 1987.
- 3) Miura, K.: 〔原著〕 Discrepancies between additive quark model and experiments of baryon magnetic moments. Prog. Theor. Phys., 79, 280~283, 1988.

#### 学会発表

- 1) 安藤清, 加納幹雄<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>明石工高専) : 〔一般講演〕 Mirror - symmetric graphs. 1987年度日本数学会年会, 1987.
- 2) 安藤清, Gervacio, S.<sup>1)</sup>, 加納幹雄<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>フィリピン・ミンダナオ州立大, <sup>2)</sup>明石工高専) : 〔一般講演〕 整数の等和部分集合族. 1987年度日本数学会年会, 1987.
- 3) 赤野松太郎 : 〔一般講演〕 小林・益川マトリックスとクォークの複合モデル. 日本物理学会秋の分科会, 1987.
- 4) 安藤清 : 〔一般講演〕 Graphs G for which G and  $\bar{G}$  are both critical. 1987年度日本数学会秋季総合分科会, 1987.
- 5) 永井喜則<sup>1)</sup>, 香川浩, 長島知正<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>麻布大, <sup>2)</sup>室蘭工大) : 〔一般講演〕 電磁相互作用によるアクチンフィラメントとミオシン分子の相互運動. 日本生物物理学会第25回年会, 1987.
- 6) 長島知正<sup>1)</sup>, 永井喜則<sup>2)</sup>, 香川浩 (<sup>1)</sup>室蘭工大, <sup>2)</sup>麻布大) : 〔シンポジウム〕 筋肉の力発生と収縮機構の新しいモデル化. 計測自動制御学会生体生理工学テクノロジーシンポジウム, 1987.

## [化 学]

### 研究概要

アルカリ金属塩化物水溶液系について希土類元素のシリカゲルへの吸着挙動をTLCにより調べ、 $R_f$  値に及ぼす溶媒陽イオンの影響を明らかにし、吸着機構を考察した。また、塩酸-過酸化水素系について貴金属および数種の卑金属のECTEOLA-セルロースに対する吸着挙動をTLCにより調べ、金、パラジウム、白金および卑金属の同時分離系を開発した。(石田)

臨床薬物動態論・体液電解質平衡・輸液の有効な活用は、医師にとって重要になってきている。関連解説書を比較検討していくなかで、いくつかの問題点が存在していることが分かった。これらの正しい理解の基礎となる化学平衡論および速度論の医系向け学習コースの構成ならびにパソコンを利用した研修用統合ソフトの構築を進めている。

(林)

①質量分析計を用いた研究：金属錯体、生体内微量物質の同定および定量、中毒原因物質の同定等。②原子炉を用いた研究：中性子放射化分析による生体内微量金属の同定および定量、中性子オートラジオグラフィーとX線写真の組み合わせによるそれぞれの透過能の違いを用いた胆石内部構造の研究。(田中)

アルカリ金属-ナフタレン錯体を用いたテルペン系化合物の合成、および不飽和酸とジクロロカルベン反応による、ジクロロシクロプロパンカルボン酸の合成。(菅原)

アミノ酸と塩基(2, 2'-ビピリジン)を配位子とするルテニウム錯体の研究。①液体クロマトグラフィーによる異性体の分離。②溶液中の構造および安定度。③熱および光化学反応など。(永井)

### 研究業績

#### 論 文

- 1) 森田知成<sup>1)</sup>, 松塚雅博<sup>1)</sup>, 浜田武<sup>1)</sup>, 石田宏二<sup>(1)</sup>杏林大・医): [報告] ロイコクリスタルバイオレットによる微量イリジウムの吸光光度定量のための塩酸-過酸化水素-塩化ナトリウム系における試料処理法。杏林大学研究報告, 8, 51~55, 1987.
- 2) 渡辺日章<sup>1)</sup>, 仁平信<sup>1)</sup>, 真下啓子<sup>1)</sup>, 林田眞喜子<sup>1)</sup>, 平川慶子<sup>1)</sup>, 田中幹雄, 永井俊, 後藤修<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>法医, <sup>2)</sup>眼科): [報告] 中性子放射化分析法による生体試料中の微量金属の定量。立教大学原子炉共同利用研究経過報告書(昭和61年度), UTRCN-R-16, 54~56, 1987.
- 3) Sugahara, K., Fujita, T.<sup>1)</sup>, Watanabe, S.<sup>1)</sup> and Hashimoto, H.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Chiba Univ.): [原著] Reaction of amines with conjugated olefins using lithium naphthalenide in non-etheral solvents. J. Chem. Tech. Biotechnol., 37, 95~99, 1987.
- 4) Ishida, K., Ninomiya, S.<sup>1)</sup> and Osawa, M.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Tokyo Gakugei Univ.): [原著] Thin-layer chromatographic behaviour and separation of rare earths on silica gel in aqueous ammonium sulfate solution. Fresenius Z. Anal. Chem., 328, 228~231, 1987.
- 5) Kamata, H.<sup>1)</sup>, Konishi, Y.<sup>1)</sup>, Kamata, K.<sup>1)</sup>, Miki, E.<sup>1)</sup>, Mizumachi, K.<sup>1)</sup>, Ishimori, T.<sup>1)</sup>, Nagai, T. and Tanaka, M. (<sup>1)</sup>Rikkyo Univ.): [原著] Photoinduced preparation of geometrical isomers of  $[RuX(2mqn)_2(NO)]$  ( $X=Cl$  or  $Br$ ;  $2mqn=2$ -methyl-8-quinolinolate ion) from two kinds of the cis isomers. Chem. Lett., No.1, 159~162, 1988.

#### 学会発表

- 1) 田中幹夫, 永井俊, 三木英一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>立教大・理): [一般講演] 金属錯体の質量分析計を用いた研究(5)  $[Ru(X)_2(bpy)_2]$  ( $X=Cl, Br, I$ ) 錯体のSIMSスペクトル上で観察された分子(擬分子)イオンおよびフラグメント

イオン中の化学種, 昭和62年度質量分析連合討論会, 1987.

- 2) Tachiyasiki, S.<sup>1)</sup>, Mizumachi, K.<sup>2)</sup>, Nagai, T., Ishimori, T.<sup>2)</sup>, Miki, E.<sup>2)</sup> and Nakayama, H.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Kagawa Nutrition College, <sup>2)</sup>Rikkyo Univ.): [一般講演] Photoracemization and photosubstitution of tris (1,10-phenanthroline) ruthenium(II). XXV International Conference on Coordination Chemistry(Nanking, Cina), 1987.
- 3) 平川慶子<sup>1)</sup>, 仁平信<sup>1)</sup>, 林田真喜子<sup>1)</sup>, 渡辺日章<sup>1)</sup>, 菅原理二, 梅田雅宏<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>法医, <sup>2)</sup>亀田病院MR室): [一般講演] 急性エタノール投与時のラット脳 in vivo NMR. 第22回日本アルコール医学会総会, 1987.
- 4) 平川慶子<sup>1)</sup>, 仁平信<sup>1)</sup>, 林田真喜子<sup>1)</sup>, 渡辺日章<sup>1)</sup>, 菅原理二, 田崎達也<sup>2)</sup>, 三樹勝<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>法医, <sup>2)</sup>第二病院外科): [展示] 核磁気共鳴法(NMR)の幅広い医学への応用について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 5) 浜田武<sup>1)</sup>, 森田知成<sup>1)</sup>, 石田宏二 (<sup>1)</sup>杏林大・医): [一般講演] 陰イオン交換TLCによる金, パラジウム, 白金および高濃度卑金属の同時分離. 日本分析化学会第36年会, 1987.
- 6) 二宮修治<sup>1)</sup>, 荻島典子<sup>1)</sup>, 内田義明<sup>1)</sup>, 石田宏二 (<sup>1)</sup>東学芸大・教育): [一般講演] アルカリ金属塩化物水溶液系における希土類元素のシリカゲル薄層クロマトグラフィー. 日本分析化学会第36年会, 1987.
- 7) 立屋敷哲<sup>1)</sup>, 水町邦彦<sup>2)</sup>, 永井俊, 石森達二郎<sup>2)</sup>, 三木英一<sup>2)</sup>, 中山博明<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>女子栄養大, <sup>2)</sup>立教大・理): [一般講演] トリス (1, 10-フェナントロリン) ルテニウム (II) の光ラセミ化反応と光配位子置換反応 (2). 第37回錯塩化学討論会, 1987.
- 8) 鎌田浩実<sup>1)</sup>, 三木英一<sup>1)</sup>, 水町邦彦<sup>1)</sup>, 石森達二郎<sup>1)</sup>, 清水章三<sup>2)</sup>, 永井俊, 田中幹夫 (<sup>1)</sup>立教大・理, <sup>2)</sup>日本電子): [一般講演] 2-メチル-8-キノリノラートイオンを配位子とするプロモニトロシルルテニウム錯体の合成. 第37回錯塩化学討論会, 1987.
- 9) 鎌田浩美<sup>1)</sup>, 鎌田好実<sup>1)</sup>, 三木英一<sup>1)</sup>, 水町邦彦<sup>1)</sup>, 石森達二郎<sup>1)</sup>, 永井俊, 田中幹夫 (<sup>1)</sup>立教大・理): [一般講演] 光照射による Trans-[Ru(X(2mgn)<sub>2</sub>(NO)] (X=ClあるいはBr; 2mgn = 2-メチル-8-キノリノラートイオン) の生成. 日本化学会第55秋季年会, 1987.
- 10) 永井俊, 田中幹夫, 三木英一<sup>1)</sup>, 水町邦彦<sup>1)</sup>, 石森達二郎<sup>1)</sup> (立教大・理): [一般講演] Δ-およびΛ-[Ru(L-am)(bpy)<sub>2</sub>]<sup>+</sup>錯体の溶液中の構造. 日本化学会第55秋季年会, 1987.
- 11) 田中幹夫, 永井俊, 三木英一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>立教大・理): [一般講演] 金属錯体の質量分析計を用いた研究.  
(6) [Ru(X)<sub>2</sub>(bpy)<sub>2</sub>] (X=NO<sub>2</sub>, CNあるいはSCN)錯体の SIMS スペクトル上で観測された分子 (擬分子) イオンおよびフラグメントイオン中の化学種. 日本化学会第55秋季年会, 1987.

## [生物学]

### 研究概要

- 1) *Bacillus megaterim roseus* が合成するカロテノイド系色素の研究: 当教室では数年来の研究で, この菌が生産するカロテノイド系色素の構造を解明してきた. しかしこの菌は, 形態学的特徴, 化学分類学的特徴 (細胞壁の組成, ミコール酸の構造, 菌体リン脂質の組成, 脂肪酸組成など) から, *Bacillus* 属の細菌よりは放線菌の仲間である可能性が強く示唆され, DNAのGC含量や相同性から, *Rhodococcus rhodochrous* の一系統と再同定されつつある. 培養温度を変える (21~41℃) と, 菌体内の全色素量および色素組成が大きく変動した. 一方, 色素の主成分である色素配糖体脂肪酸モノエステルの脂肪酸は, 分子種, 組成とも菌体脂質のものとは明らかに異なるが, 培養温度変化による組成の変動様式は類似していた. 色素の生合成経路を解明するため, コロニーの色調が親株と異なる突然変異株を多数分離し, 分析を進めている. この菌における色素合成経路が, 同類の色素を生産する他の菌での経路とは違うことを示す結果が得られつつある.
- 2) 好気性光合成細菌 *Erythrobacter longus* が合成するカロテノイド系色素の分離精製と構造決定: 色素蛋白複合体



に結合しうるすべての色素(13種類)の構造を、立体配置も含めて決定した。緑色植物や藻類のものと同じ構造の色素、共役アルデヒド基をもつ新色素も含まれていた。一方主成分である極性の高い色素は、色素蛋白複合体に結合しておらず、吸収スペクトルからみて基本骨格は $\beta$ -カロテンと同じであるが、カルボキシル基かフェノール性水酸基をもっており、既知の色素とはまったく異なる構造の色素であると考えられる。

- 3) 棘皮動物における初期発生の研究：懸案であったウニなど棘皮動物の初期発生の研究のための準備を進めてきたが、研究室で海産動物を飼育することができるようになり、研究を始められる見通しがついた。来年度は具体的なテーマを設定して研究を開始する。

## 研究業績

### 論文

- 1) 高橋常男<sup>1)</sup>, 松本圭, 高橋和人<sup>1)</sup>, 小野理<sup>1)</sup>, 栗原徳喜<sup>2)</sup>, 久米川正好<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>神奈川歯科大, <sup>2)</sup>城西歯科大) : [原著] *In vitro*マクロファージによる骨吸収に関する電顕的観察(第1報). 歯科基礎医学会誌, 29, 493~504, 1987.
- 2) Takahashi, T.<sup>1)</sup>, Matsumoto, K., Takahashi, K.<sup>1)</sup>, Kurihara, N.<sup>2)</sup>, and Kumegawa, M.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>Kanagawa Dental Coll., <sup>2)</sup>Josai Dental Univ.): [原著] Solitary cilia in cultured osteoblastic cells. Bulletin of Kanagawa Dental College, 15, 61~64, 1987.
- 3) 木下圭, 浅島誠<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>横浜市立大・文理) : [原著] 初期胚における中胚葉誘導因子と遺伝子発現. 細胞工学, 6, 884~893, 1987.

### 著書

- 1) 石津純一 : [分担] 遺伝情報, 遺伝子操作. “図説現代生物学”, 改訂四版, (新津恒良他著), 項目番号105, 118, 丸善, 1987.
- 2) 石津純一 : [分担] 突然変異他14項目. “生物学ハンドブック”(太田次郎他編), p.440~460, 朝倉書店, 1987.

### 学会発表

- 1) 高市真一, 関俊則, 石津純一, 福田重夫 : [一般講演] *Bacillus megaterium roseus* のカロチノイド配糖体脂肪酸モノエステルと菌体脂質の脂肪酸組成について. 日本農芸化学会昭和62年度大会, 1987.
- 2) 高橋常男<sup>1)</sup>, 松本圭, 高橋和人<sup>1)</sup>, 久米川正好<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>神奈川歯科大, <sup>2)</sup>城西歯科大) : [一般講演] 培養頭頂骨骨片における単核細胞群の骨基質成分の貪食における差について. 日本解剖学会第92回総会, 1987.
- 3) 小野理<sup>1)</sup>, 松本圭, 高橋常男<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>神奈川歯科大) : [一般講演] *In vitro*の単核細胞群骨リモデリングに関する電顕的観察. 神奈川歯科大学学会第63回例会, 1987.
- 4) 高橋常男<sup>1)</sup>, 松本圭, 高橋和人<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>神奈川歯科大) : [一般講演] マウス頭頂骨骨片の *in vitro*における初期石灰化機構に関する一考察. 神奈川歯科大学学会第63回例会, 1987.
- 5) 野口巧<sup>1)</sup>, 林秀則<sup>1)</sup>, 田隅三生<sup>1)</sup>, 嶋田敬三<sup>2)</sup>, 高市真一 (<sup>1)</sup>東大・理, <sup>2)</sup>都立大・理) : [一般講演] 好気性光合成細菌に含まれるカロテノイドの存在状態; 共鳴ラマン分光法による研究. 第14回生体分子の構造と機能に関する討論会, 1987.
- 6) 石津純一 : [新任教授特別講演] サルモネラ菌における *iap* 遺伝子. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 7) 高橋常男<sup>1)</sup>, 松本圭, 高橋和人<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>神奈川歯科大) : [一般講演] マウス胎仔頭頂骨骨片培養後の骨片の電顕的観察. 第3回医学生物学電子顕微鏡技術交流会, 1987.
- 8) 高橋常男<sup>1)</sup>, 松本圭, 奥田善康<sup>1)</sup>, 高橋和人<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>神奈川歯科大) : [一般講演] 骨芽細胞にみられる多層膜構造

体. 神奈川歯科大学学会第64回例会, 1987.

- 9) 高市真一, 関俊則, 石津純一, 福田重夫: [一般講演] *Bacillus megaterium roseus* のカロチノイド配糖体モノエステルと菌体脂質の脂肪酸組成に対する培養温度の影響. 第60回日本生化学会大会, 1987.
- 10) 高橋常男<sup>1)</sup>, 松本圭, 高橋和人<sup>1)</sup>, 久米川正好<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>神奈川歯科大, <sup>2)</sup>城西歯科大): [一般講演] 骨芽細胞様細胞にみられる多層膜構造について; 骨組織片培養. 日本解剖学会第72回関東地方会, 1987.
- 11) Takaichi, S. and Shimada, K.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>都立大・理): [一般講演] Structure and composition of carotenoids bound to an RC-B865 complex of an aerobic photosynthetic bacterium, *Erythrobacter longus*. 第1回中日光合成細菌国際シンポジウム (上海), 1987.
- 12) 高市真一, 嶋田敬三<sup>1)</sup> (都立大・理): [一般講演] 好気性光合成細菌 *Erythrobacter longus* OCh 101のカロチノイドについて. 第1回カロテノイド研究談話会, 1987.
- 13) 高市真一: [一般講演] *Bacillus megaterium roseus* のカロチノイド, カロチノイド配糖体, カロチノイド配糖体脂肪酸モノエステルについて. 第1回カロテノイド研究談話会, 1987.
- 14) 高市真一, 嶋田敬三<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>都立大・理): [一般講演] 好気性光合成細菌 *Erythrobacter longus* の極性の高い, 酸性基をもつカロチノイド群について. 日本植物生理学会1988年度年会と第28回シンポジウム, 1988.

### 3. 外国語

#### [英 語]

##### 研究概要

大学における英語教育内容の改善を図る目的で1980年度より実施してきた「大学生の英語学力実態調査」を継続し、自治医科大学・慈恵会医科大学・お茶の水女子大学・慶応大学などを含む貴重な資料を蓄積することができた。

教授法研究の一環として、英会話総合教材の開発に資するために、Communicative Approachの面からの必要教授事項を網羅する一覧表を作成する一方、その具体的な実践形態の一つとして、大学における英作文演習を直ちに「話す」力へと転化させる意図を含む口語英語作文教材を執筆した。

個人研究としては、それぞれ英語学・英文学の専門領域において、the English Passive の非人称化、音声学厳密表記、比較概念の心理的および論理的考察、D.H. Lawrenceの作品論、Allan Sillitoeの初期作品の研究などがある。

##### 研究業績

##### 論文

- 1) 字津木愛子: [原著] 国際化時代のコミュニケーション: 日本人の“和”の精神. 港運, No.134, 55~59, 1987.
- 2) 字津木愛子: [原著] Impersonalization Mechanism of the English Passive. 日本医科大学基礎科学紀要, No.8, 19~27, 1988.
- 3) 字津木愛子: [原著] 音声学厳密表記の一例 (日本人にみる英音・米音の影響). 日本医科大学基礎科学紀要, No.8, 28~35, 1988.
- 4) 山口俊治, Minton, T.D.: [原著] A Communicative Approach to English Dialogues: Specifically for Japanese Learners (IV). 日本医科大学基礎科学紀要, No. 8, 12~18, 1988.
- 5) 山口俊治, 立石弘道, Minton, T.D., 字津木愛子: [報告] 大学生の英語学力調査報告 (その7): 1986・1987年度英語熟達度試験結果. 日本医科大学基礎科学紀要, No. 8, 36~67, 1988.

- 6) 立石弘道：〔原著〕楽園への旅—D.H.ロレンス：*Etruscan Places* 論. SYLVAN, 第31号, 57～69, 1988.
- 7) 宇津木愛子：〔原著〕“More Perfect”の心理的及び論理的解釈. Sophia Linguistica, 第23・24号, 245～251, 1988.

## 著 書

- 1) 山口俊治, Minton, T.D.：〔監修・吹込〕The Road from Writing to Speaking. (カセットテープ全2巻), C90×2, 成美堂, 1987.
- 2) 立石弘道：〔共著〕戦後イギリス文学：「ウィリアム・ポスターズの死」論. p.189～210, 金星堂, 1988.
- 3) 山口俊治, Minton, T.D.：〔共著〕コミュニケーションのための口語英作文 (The Road from Writing to Speaking). p. 1～130, 同教授用書. p. 1～173, 成美堂, 1988.

## 学会発表

- 1) 立石弘道：〔研究会発表〕D.H.ロレンスにおける英国の自然. 「シルヴァン」英米文学研究会例会, 1987.
- 2) 立石弘道：〔シンポジウム〕楽園への旅—D.H.ロレンス：*Etruscan Places*. 日本ロレンス協会第18回大会シンポジウム, 1987.
- 3) 立石弘道：〔研究会発表〕ロレンスの紀行文. 「シルヴァン」英米文学研究会例会, 1987.
- 4) 立石弘道：〔研究会発表〕Allan Sillitoeの初期作品. 20世紀英文学研究会, 1987.
- 5) 立石弘道：〔研究会発表〕Allan Sillitoeの初期作品の風土. 「シルヴァン」英米文学研究会例会, 1988.

## 〔ドイツ語〕

### 研究概要

ドイツ語教室ではドイツ語教授法研究の一環として、教材（主として初級用文法教科書）作成とその教材による比較テストをほぼ毎年行っており、昭和62年度も教室員および比較テストに伴ういくつかの大学の協力により、両者とも実施が可能であった。ドイツ語教室では従来学生にドイツ文法を教えるにはどのような方法がより効果的であるかという問題について検討してきており、同時に、学生側から良く聞かれる「文法をより系統的、かつ能率的に覚える方法はないか」という要求を考慮しつつ、従来の固定化された教育方法に柔軟性を持たせながら、「教えやすく、習いやすい」教材の作成を目指している。

現在、各大学におけるドイツ語の授業方法には、大きく別けて二つのタイプがあると考えられる。一つは伝統的タイプともいえるべき「文法・講読分離型」、もう一つは外国語の能力は「話す、聞く、読む、書く」という四つの能力の総合であるという判断から、教授法においてもこれを分離することを否定する「総合型」である。後者のタイプはドイツ各州の教育センターやゲーテ・インスティトゥートを始め、国内の大学でも次々と新しい試みがなされている。特に数年前からは、発話者の意思や思想、感情などの伝達および交換に重点を置く“Kommunikativer Sprachunterricht”が盛んに研究されるようになってきており、この面での教材も開発され、授業で実際に成果を挙げているところもある。しかし、新しい方法をドイツ語教室として取り入れようとすると、いくつかの困難な問題にぶつからざるをえない。この中でも、教育する側とされる側の学習目標の違い、さらにその違いによる学習意識、学習態度の差、それに、より根本的な問題として、既成の教授法による受容能力はあっても、それを（新しい教授法において特に重要視されている）表現能力に変えることをきわめて不得意とする学習者（この場合教える側の能力にも大いに関係がある）が相手であることなど、新しい方法を取り入れるのに尻込みをする要因は決して少なくない。この方法で成功しているところは、上述した両者の目的が一致し、しかも両者の能力が優れているいわば模範的なクラスである。当教室ではドイツ語教育に「総合型」を取り入れるか否かは将来の課題として残して置くこととし、当面は「効率の良い」文法

教材の作成を検討していくことを目標としたい。昭和62年度においてもその線で教材研究、作成および比較テストによる現状分析を行った。

## 研究業績

### 論文

- 1) 国信浩洋, 安藤勉, 横内一実: [原著] ドイツ語比較テスト (4) - 2 本学および他大学との学力比較に関する報告. 日本医科大学基礎科学紀要, No. 8, p.68~72, 1988.

### 著書

- 1) 安藤勉, 国信浩洋: [共著] ドイツ文法のエチュード. 朝日出版社, 1987.
- 2) 国信浩洋, 安藤勉: [編著] ドイツ語文法読本. 三修社, 1988.

### 学会発表

- 1) 安藤勉: [一般講演] 来日ドイツ人と日本の山. 日本独学史学会 1987年度研究発表会, 1987.

## [フランス語]

### 研究概要

まず授業方法については、フランスのモンペリエ大学を中心に開発されつつある新教授方式を導入すべく、フランスとの連絡だけでなく同じ方向を目指す日本のいくつかの大学仏文研とも学会その他の交流機会を利用して情報を充実させるようにしている。日本の大学生の現状把握も今後進むはずなので、現時点でもすでに若干の成果をみているが、3, 4年後には一定の解答および成果を出せると考える。なお、伝統的方式といわれる「読解・作文」については2年間でもかなり成果をあげうることを確認しつつあるが、この場合の要点は、教師側が研究範囲を広めること、すなわち扱うテクニスト（背景も含めて）を増やすことが肝要。書架と研究時間の充実は教師のためのものだけではないわけで、この点でのわが国の研究機関の遅れも検討材料の一つとせざるをえない。

さて、その研究範囲であるが、十八世紀フランス文学・思想を中心としたヨーロッパおよび日本の研究という指標は、かなり大きなテーマであるが（前述の学生のための教材ストックという点では大きくプラス）、現在のところ中世から十七世紀、それに中江兆民を軸とした維新前後の日本に照明を当てつつ、文学史・思想史にとらわれずヨーロッパ啓蒙の世紀を検証する作業は今後も継続すべきテーマと確信する。現在までマルブランシュ、デカルト、モレリ、ルソー、ドルバック、ラオンタン等々の分析を時に仏国立図書館のマイクロフィルムを借用しつつ押し進めており、二、三の成果は発表によって世に問い始めている。

## 研究業績

### 論文

- 1) 小林浩: [原著] Qu'est-ce que la société et l'homme. (1) Etude sur Rousseau (仏文掲載). 日本医科大学基礎科学紀要, No.8, 1~11, 1987.

### 著書

- 1) 小林浩: [共著] 中江兆民全集. 第18巻 [別巻], (井田進也監修), 岩波書店, 1987.

## 学会発表

- 1) 小林浩：〔一般講演〕La Hontan 研究。フランスユートピア研究学会，1987。
- 2) 小林浩：〔一般講演〕D'Holbach 地下文書考察。フランス地下文書研究学会，1987。

## 4. 保健体育

### 〔保健体育〕

#### 研究概要

当教室では、行動体力と防衛体力の関係について研究中である。行動体力は測定評価の立場から、防衛体力についてはCMI健康調査表を用い継続的に調査をしている。

幼児の運動効果についても研究している。

さらに、落合は10年間衛生学・公衆衛生学教室で、運動性蛋白の研究を行ったが、1986年4月当教室に配置換えとなり、これを論文にまとめた。

本年度の研究概要は下記のごとくである。

行動体力と防衛体力に関するものとして、

- 1) 近年急増する新設高校男子生徒の現状を把握するため、既設高校を一指標に縦断的比較を試みた。その結果、新設高校は既設校に比して行動体力が劣り、加齢に伴いその差が顕著に大きくなる傾向であった。一方、防衛体力の指標となるCMI健康調査表の愁訴は新設高校が多く、加齢に伴い増加がみられた。行動体力・防衛体力2面において既設校と対照的であり、新設高校体育の課題となった。
- 2) 本学の付属である看護専門学校と丸子看護専門学校の1987年入学生をみると、基礎的体力では全国に比して概して勝るが、持久力系が顕著に低かった。また、CMI健康調査表の愁訴では、理系学生に比して身体的愁訴は少ないが、精神的愁訴に多い傾向がみられた。
- 3) 幼児の運動効果について：幼稚園児に、マット遊びとボール遊びを週2回14週間にわたり体験させることによって、上肢系の反応時間が顕著に短縮されることを、光刺激による打叩反応の測定で認められた。
- 4) 運動性蛋白尿の排出機序について：小中学生男子を対象に、持久走による尿蛋白および尿中 $\beta_2$ -ミクログロブリンの分泌変化について検討した。運動負荷後の尿蛋白、尿中 $\beta_2$ -MGはともに被検者の80%以上に増加が認められた。蛋白濃度上昇は小学生に比較して中学生に高かった。運動負荷によって増加した蛋白は、ほとんどが血漿由来蛋白と考えられた。

#### 研究業績

##### 論文

- 1) 落合友一：〔原著〕中距離走による成長期の運動性蛋白尿についての研究。日医大誌，55，82～88，1988。
- 2) 酒巻敏夫，森本三千代：〔原著〕幼児の運動学習が上肢の反応時間に及ぼす効果。日本医科大学基礎科学紀要，No. 8，73～81，1988。
- 3) 酒巻敏夫，森本三千代：〔原著〕看護学生の入学時におけるCMIと体力テストについて。日本医科大学基礎科学紀要，No. 8，82～88，1988。
- 4) 森本三千代，酒巻敏夫：〔原著〕新設高等学校男子生徒のCMIと体力テストについて（1）。日本医科大学基礎科学紀要，No. 8，89～97，1988。

#### 学会発表

- 1) 酒巻敏夫, 森本三千代, 加藤延雄, 柚木斉<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>衛生・公衆衛生) : [一般講演] 幼児の運動経験と上肢系の反応について. 日本体育学会第38回大会, 1987.
- 2) 森本三千代, 酒巻敏夫, 加藤延雄, 柚木斉<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>衛生・公衆衛生) : [一般講演] 茨城県八郷町小学生の体格と体力テストについて. 日本体育学会第38回大会, 1987.
- 3) 酒巻敏夫, 森本三千代, 加藤延雄, 柚木斉<sup>1)</sup>, 村山隆雄<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>衛生・公衆衛生, <sup>2)</sup>日獣畜大) : [一般講演] 看護学生の入学時における CMI と体力テストについて. 第42回日本体力医学会大会, 1987.

## 〔 2 〕 基 礎 医 学





# 1. 第一解剖学講座

## 研究概要

従来からの、①両生類の発生学、特に変態期における消化器系の変化、②痛覚系の回路網について解析が進められた。来年度からは山下が加わり、形態学研究の定量化、自動化の方法の開発と応用を目指した研究が引き続き行われる。

両生類の後期発生における消化器系を形態学的に調べていく中で、小腸筋間神経叢の神経細胞が変態の前後で形態的にも、量的にも大きく変化することを明らかにした。また、発生の特定時期、あるいは特定部位の腹膜上皮細胞に限っていわゆるストレスファイバーが発達することを見出し、現在その存在意義について調査を進めている。さらに、変態の完了直前から出現する特殊形態を示す細胞について酵素組織化学的、および系統的見地から検討を加えている。

痛覚の機能を理解するためには、種々の情報（知覚系であれ、運動系であれ）を処理するための複合的な神経回路網を必要とする。そのような回路網の分析を網様体で行っている。また、末梢から種々の情報を受ける脊髄細胞の線維（軸索）が傍腕核に終るが、その線維の一部は脊髄小脳路の側副枝であり、その領域は視床髄板内核群へ線維を送ることを明らかにした（北村）。さらに、そのような傍腕核において、種々の情報の相互作用について電気生理学的に研究している。

蛍光顕微鏡を用いた形態計量の方法を模索中、山下は従来のパラフィン包埋、ヘマトキシリン・エオシン染色標本でも通常の光顕観察では不可能とされたミトコンドリアを始めとする細胞構造物に関して知見を得られることを見出し、肝生検標本について応用できることを示した。また、独自の方法で、固定した下垂体前葉から分離した細胞について、暗視野顕微鏡観察と免疫染色法を巧みに用いて、定量的に細胞増殖と肥大の問題を解決できる見通しをたてた（投稿中）。

## 研究業績

### 論文

- 1) 白尾国昭：〔原著〕ラット脊髄小脳路の脊髄および下部延髄における経路；逆行性軸索流法による研究。日医大誌, 54, 301~313, 1987.
- 2) Yamada, J. and Noda, H.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Indiana University): 〔原著〕Afferent and efferent connections of the oculomotor cerebellar vermis in the macaque monkey. J. Comp. Neurol., 265, 224~241, 1987.
- 3) Yamada, J., Shirao, K., Kitamura, T., Sato, H. and Nakamura, I.: 〔原著〕Lateral reticular nucleus neurons sending their axons to the contralateral inferior cerebellar peduncle; A horseradish peroxidase study in the rat. Neurosci. Lett., 83, 20~24, 1987.
- 4) Oda, H.<sup>1)</sup>, Yamashita, K., Sasaki, S.<sup>1)</sup>, Horio, F.<sup>1)</sup> and Yoshida, A.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Nagoya University): 〔原著〕Long-term effects of dietary polychlorinated biphenyl and high level of vitamin E on ascorbic acid and lipid metabolism. J. Nutr., 117, 1217~1233, 1987.
- 5) 村山良介<sup>1)</sup>, 山田仁三, 永田勝太郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東邦大・医): 〔総説〕痛みの謎をさぐる。メディカル・ヒューマニティ, 8, 5~7, 1987.
- 6) 山田仁三: 〔総説〕痛みは“感じる”のではなく“解釈”するのである。メディカル・ヒューマニティ, 8, 24~27, 1987.

## 学会発表

- 1) 白尾国昭, 山田仁三, 北村泰子, 佐藤斎, 中村逸雄: [一般講演] 脊髓小脳路の経路の再検討 - 逆行性軸索流. 第92回日本解剖学会総会, 1987.
- 2) 市川安昭, 杉本啓治, 鳥橋茂子, 中村逸雄: [一般講演] ウシガエル胃の漿膜上皮細胞について. 第92回日本解剖学会総会, 1987.
- 3) 山下和雄, 若林隆<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>名古屋大・医・解剖): [一般講演] ヘマトキシリン・エオシン染色パラフィン切片の蛍光顕微鏡的観察. 第92回日本解剖学会総会, 1987.
- 4) 足立香代<sup>1)</sup>, 山下和雄, 若林隆<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>名古屋大・医・解剖): [一般講演] アルコール投与肝ミトコンドリア膜の物理化学的性状変化. 第92回日本解剖学会総会, 1987.
- 5) 杉本啓治, 市川安昭, 中村逸雄: [展示] ウシガエルの壁側腹膜上皮細胞におけるストレスファイバーについて. 第92回日本解剖学会総会, 1987.
- 6) 山田仁三: [海外留学生講演] 眼球運動に関与するサル虫部Ⅶ小葉の線維結合. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 7) 山下和雄, 若林隆<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>名古屋大・医・解剖): [一般講演] ヘマトキシリン・エオシン染色ヒト肝生検標本の蛍光顕微鏡的観察; 診断学的応用. 第47回日本解剖学会中部地方会, 1987.
- 8) 水野俊一<sup>1)</sup>, 若林隆<sup>2)</sup>, 山下和雄 (<sup>1)</sup>名古屋大・医・胸部外科, <sup>2)</sup>名古屋大・医・解剖): [一般講演] 胸部大動脈手術時の脊髓の血行に関する解剖学的検討. 第47回日本解剖学会中部地方会, 1987.
- 9) 若林隆<sup>1)</sup>, 中尾嘉孝<sup>1)</sup>, 植木礼子<sup>1)</sup>, 山下和雄, 古川学<sup>1)</sup>, 足立香代<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>名古屋大・医・解剖): [一般講演] PHAT投与によるミトコンドリア内封入体形成. 第60回日本生化学学会総会, 1987.
- 10) Yamada, J., Sato, H., Kitamura, T. and Otani, K.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>School of Medicine, Chiba University): [シンポジウム] The reticular formation in the pain system. Naito Foundation International Symposium on Bio - Warning System in the Brain, 1987.
- 11) 山田仁三, 北村泰子, 佐藤斎: [一般講演] 脊髓 - 傍腕核 - 間脳線維結合. 第9回日本疼痛学会, 1987.
- 12) 佐藤斎, 山田仁三, 北村泰子: [一般講演] 脳幹網様体から外側視床および内側視床への投射. 第9回日本疼痛学会, 1987.
- 13) 北村泰子, 山田仁三, 佐藤斎: [一般講演] ラット傍腕核に終止する脊髓小脳路の側副枝. 第11回神経科学学術集会, 1987.
- 14) 山田仁三, Noda, H.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Indiana University): [展示] サルの小脳虫部Ⅶ小葉の線維結合. 第11回神経科学学術集会, 1987.
- 15) 神田健郎<sup>1)</sup>, 橋詰謙<sup>1)</sup>, 佐藤斎 (<sup>1)</sup>東京都老人研): [展示] 神経細胞の活動とHRP逆行性標識との関係について. 第11回神経科学学術集会, 1987.

## 2. 第二解剖学講座

### 研究概要

従来第二解剖学教室の研究は二つの分野から成っていた。一つは長い歴史と輝かしい伝統を誇る肉眼解剖学の分野であり、もう一つは昭和61年度に新たにスタートした比較神経学の分野である。62年度はこの両分野の一層の発展を期して次のような脱皮を試みた。

すなわち肉眼解剖学の分野ではその枠を取り払い、必要な場合は顕微解剖学の分野へも積極的に踏み込むように準備を整えた。また、ヒトの成人に見られる正常構造と異常構造の成立機序を説明するためにこれまではヒトの胎児を用いて個体発生学的な検索を行っていたが、今後は系統発生学的な検索も合わせて行うこととした。これによって従来の単なる肉眼解剖学から比較形態学へ変貌するための基礎作りができたと考えている。この分野と従来の比較神経学の分野を合わせると、「比較形態学」の教室としての体制が一応整うことになる。

比較神経学の分野は、従来どおり共通の祖先から同一時期に多くの種に分かれて適応放散に成功した種を対象としている。これは種が獲得した生態的地位を解析することによって脳の構造を理解しようとするものである。この方針はようやく国際的な理解を得るところとなり、諸外国（米国、西独、スウェーデン、等）との共同研究も開始された。今後、神経行動学の分野へも研究を発展させる予定である。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 北沢 命：〔原著〕現代日本人成人頭蓋冠における頭頂孔の形態学的研究；孔の出現頻度と位置を中心として。日医大誌，54，229～243，1987.
- 2) Okado, N.<sup>1)</sup>, Yoshimoto, M. and Furber, S.E.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Dept. Anat. Univ. Tsukuba, Inst. Basic Med. Sci.): 〔原著〕Pathway formation and the terminal distribution pattern of the spinocerebellar projection in the chick embryo. Anat. Embryol., 176, 165～174, 1987.
- 3) 伊藤博信：〔総説〕脳の進化と比較神経学の新しい立場。日医大誌，54，362～372，1987.
- 4) 大石 宏：〔原著〕本邦成人における腎門部の形態学的検索。日医大誌，54，373～392，1987.
- 5) 浅川光夫：〔原著〕小腎杯の形態計測学的研究。第3報 小腎杯表面積について。人類学輯報，44，1～11，1987.
- 6) Miyaki, T., Yamada, M.<sup>1)</sup> and Kumaki, K.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>Dept. of Anat. Kanazawa Univ. School of Medicine, <sup>2)</sup>Dept. of Anat. Niigata Univ. School of Medicine)：〔原著〕Aberrant course of the left gastric vein in the human; Possibility of a persistent left portal vein. Acta Anat., 130, 275～279, 1987.
- 7) 伊藤博信：〔総説〕環境と脳；比較神経学の新しい側面。医学のあゆみ，143，753～758，1987.
- 8) 糸永知二：〔原著〕ヒトの耳下腺の形態と耳下腺神経叢について。日医大誌，54，653～668，1987.
- 9) 田沼久美子，鈴木和子，北沢 命，河口忠司，原 勇，小出清一，吉田章男：〔臨床・実験報告〕大動脈弓の最終枝としての右鎖骨下動脈。日医大誌，54，673～680，1987.
- 10) 浅川光夫：〔原著〕本邦成人中心重量の計測学的検索。人類学輯報，45，33～36，1988.
- 11) Uchiyama, H.<sup>1)</sup>, Matsutani, S.<sup>2)</sup> and Ito, H.<sup>1)</sup> (Dept. of Anat., University of Calgary, <sup>2)</sup>Dept. of Anat., Osaka University Medical School)：〔原著〕Pretectum and accessory optic system in a filefish *Navodon modestus* (Balistidae, Teleostei) with special reference to visual projections to the cerebellum and oculomotor nuclei. Brain Behav. Evol., 31, 170～180, 1988.

## 学会発表

- 1) 田沼久美子, 糸永知二: [一般講演] ヒトの耳下腺の形態と耳下腺神経叢について. 第92回日本解剖学会総会, 1987.
- 2) 宮木孝昌, 坂上信也, 伊藤博信: [一般講演] 肝臓内動脈分布; とくに副肝動脈出現例を中心にして. 第92回日本解剖学会総会, 1987.
- 3) Ito, H.: [展示] Fiber connections of the valvula cerebelli in carp (*Cyprinus carpio*). 第92回日本解剖学会総会, 1987.
- 4) 上野則之, 伊藤博信: [展示] 前節骨神経の走行について. 第92回日本解剖学会総会, 1987.
- 5) 浅川光夫, 大石宏, 伊藤博信: [一般講演] 本邦成人における腎門部の形態学的検索. 第74回日本解剖学会関東地方会, 1987.
- 6) 伊藤博信: [特別講演] 二つの視覚系と大脳新皮質. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 7) 上野則之, 吉本正美, 呉嘉文, 伊藤博信: [一般講演] コイの終神経. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 8) 浅川光夫, 久保寺司, 池井文雄, 伊藤博信: [展示] 完全重複腎盤尿管の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 9) 伊藤博信: [シンポジウム] 環境と脳; 比較神経学の新しい側面. 第3回形態学シンポジウム「神経学の新しい局面」, 1987.
- 10) 浅川光夫: [一般講演] 本邦成人心重量の計測学的検索. 第41回日本人類学民族学連合大会, 1987.
- 11) 坂上信也, 宮木孝昌, 伊藤博信: [一般講演] 人胎児脾臓の動脈について. 第75回日本解剖学会関東地方会, 1987.
- 12) 鈴木和子, 田沼久美子: [一般講演] 胎児の上頸神経節の形態について. 第75回日本解剖学会関東地方会, 1987.
- 13) 上野則之, 吉本正美, 伊藤博信: [一般講演] 片眼摘出によるコイの Nucl. olfactoretinalis の変化. 第11回神経科学学術集会, 1987.
- 14) 吉本正美, 上野則之, 伊藤博信: [展示] 片眼摘出によるコイの網膜投射領域の変化. 第11回神経科学学術集会, 1987.

### 3. 第一生理学講座

#### 研究概要

- 1) レオロジー的方法による赤血球と循環の一般生理学は、従来の放射線科との共同研究に加えて内科学各教室との研究が始まっている。新しい実験方法の開発が進んでおり、1991年日本バイオレオロジー学会を本学で主催することが内定している。
- 2) 量子生物学的研究からバイオチップの理論への進展があった。
- 3) 神経科・基礎医学情報処理室と共同して大脳半球機能の脳波学的研究を進めている。
- 4) 品川は医学概論を兼担しているので、科学哲学の研究を続けている。

#### 研究業績

##### 論文

- 1) 品川嘉也：〔総説〕バイオコンピュータと分子チップ。蛋・核・酵，32，318～326，1987。
- 2) 岡田進<sup>1)</sup>，朝日良一<sup>1)</sup>，田島なつき<sup>1)</sup>，隈崎達夫<sup>1)</sup>，長谷川節雄<sup>2)</sup>，菊池洋史，上坂伸宏（<sup>1)</sup>放射線科，<sup>2)</sup>関東通信・血液内科）：〔原著〕イオン性低浸透圧造影剤（Ioxaglate）の赤血球膜に及ぼす作用。日医放線会誌，47，729～744，1987。
- 3) 長谷川節雄：〔原著〕MDS患者赤血球膜の脆弱性とレオロジー的特性。脈管学，27，359～365，1987。
- 4) 上坂伸宏：〔原著〕微小循環系における赤血球変形能；カエル後肢灌流実験（圧－流量関係）による解析。日本バイオレオロジー学会誌，1，230～240，1987。
- 5) 朝日良一<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>放射線科）：〔原著〕水溶性ヨード造影剤の赤血球形態膜血液粘度に及ぼす作用。日医大誌，54，162～172，1987。
- 6) 岡田進<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>放射線科）：〔原著〕水溶性ヨード造影剤（Ioxaglate）の圧－流量関係に及ぼす作用；カエル後肢灌流実験による解析。日医放線会誌，47，1034～1045，1987。
- 7) 品川嘉也，川田殖<sup>1)</sup>，平山正実<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>山梨医大・哲学，<sup>2)</sup>自治医大・精神医学）：〔総説〕新しい身体像構築のために。医学哲学医学倫理，5，110～147，1987。

##### 著書

- 1) Okada, S.<sup>1)</sup>, Uyesaka, N., Kumazaki, T.<sup>1)</sup> and Kato, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Dept. of Radiol.): 〔分担〕The effect of radiographic contrast media on the pressure flow rate relation of erythrocyte suspension; A quantitative analysis from the perfusion of bullfrog's hind limbs. "Microcirculation 1" (Tsuchiya, M., Asano, M., Mishima, Y. and Oda, M. eds.), p.509～510, Excerpta Medica, Amsterdam, 1987.
- 2) Hasegawa, S., Uyesaka, N. and Shinagawa, Y.: 〔分担〕Membrane fragility and rheological characteristics of erythrocytes in a patient with myelodysplastic syndrome (MDS). "Microcirculation 1" (Tsuchiya, M., Asano, M., Mishima, Y. and Oda, M. eds.), p.519～520, Excerpta Medica, Amsterdam, 1987.
- 3) Shinagawa, Y. and Kikuchi, M.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Institute for System Development): 〔分担〕Analysis of images during the thinking process by the multidimensional quantification method. "Cerebral Dynamics, Laterality and Psychopathology", p.353～354, Elsevier, Amsterdam, 1987.
- 4) Kikuchi, M.<sup>1)</sup> and Shinagawa, Y. (<sup>1)</sup>Institute for System Development): 〔分担〕Principal component analysis on handedness of Japanese and Thai Students. "Cerebral Dynamics, Laterality and Psychopathology", p.355～

356, Elsevier, Amsterdam, 1987.

- 5) 品川嘉也：強いアタマをつくる法；大脳生理学者からのアドバイス。PHP研究所，1987.
- 6) 品川嘉也：全脳型勉強法のすすめ。講談社，1987.
- 7) 品川嘉也：イメージ・トレーニング法。ゴマ書房，1987.
- 8) 品川嘉也：〔分担〕宇宙と意識の情報進化。“解釈の冒険”（清水博監修），p.126～158，NTT出版，1987.

#### 学会発表

- 1) 大西忠博<sup>1)</sup>，坂下可奈子<sup>2)</sup>，上坂伸宏（<sup>1)</sup>関東通信病院・病理，<sup>2)</sup>関東通信病院・第3研究部）：〔展示〕OKT-3，-4，-8とリンパ球の結合反応に関するフローサイトメトリー。第64回日本生理学会大会，1987.
- 2) 菊池洋史，上坂伸宏，品川嘉也：〔一般講演〕Nuclepore filterを用いた灌流実験による赤血球浮遊液の圧-流量関係。第64回日本生理学会大会，1987.
- 3) 上坂伸宏，古濱和久，品川嘉也：〔一般講演〕浸透圧及び粘度の循環動態に及ぼす作用；カエル後肢灌流実験を用いて。第64回日本生理学会大会，1987.
- 4) 岡田進<sup>1)</sup>，上坂伸宏，加藤富三<sup>1)</sup>，品川嘉也（<sup>1)</sup>放射線科）：〔一般講演〕圧-流量関係（カエル後肢灌流実験）に及ぼす水溶性ヨード造影剤の作用。第64回日本生理学会大会，1987.
- 5) 長谷川節雄，上坂伸宏，品川嘉也：〔一般講演〕MDS患者赤血球膜に関するレオロジー的研究。第64回日本生理学会大会，1987.
- 6) 岡田進<sup>1)</sup>，古濱和久，隈崎達夫<sup>1)</sup>，加藤富三<sup>1)</sup>，上坂伸宏，（<sup>1)</sup>放射線科）：〔一般講演〕圧-流量関係に及ぼす水溶性ヨード造影剤の作用；カエル後肢灌流実験による解析。第10回日本バイオレオロジー学会年会，1987.
- 7) 長谷川節雄，上坂伸宏，品川嘉也：〔一般講演〕Myelodysplastic syndrome患者赤血球のレオロジー的特性。第10回日本バイオレオロジー学会年会，1987.
- 8) 古濱和久，岡田進<sup>1)</sup>，上坂伸宏，（<sup>1)</sup>放射線科）：〔一般講演〕カエル後肢灌流実験（圧-流量関係）に及ぼす浸透圧と粘度の効果。第10回日本バイオレオロジー学会年会，1987.
- 9) 品川嘉也：〔シンポジウム〕イメージと脳波（脳波と催眠）。第3回日本催眠学会総会，1987.
- 10) 品川嘉也：〔特別講演〕大脳半球機能と催眠。第3回日本催眠学会総会，1987.
- 11) Okada, S.<sup>1)</sup>, Uyesaka, N., Kumazaki, T.<sup>1)</sup> and Kato, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Dept. of Radiol.): 〔展示〕The effect of radiographic contrast media on the pressure flow rate relation of erythrocyte suspension; A quantitative analysis from the perfusion of bullfrog's hind limbs. The Fourth World Congress for Microcirculation (Tokyo), 1987.
- 12) Hasegawa, S., Uyesaka, N. and Shinagawa, Y.: 〔展示〕Membrane fragility and rheological characteristics of erythrocytes in a patient with myelodysplastic syndrome (MDS). The Fourth World Congress for Microcirculation (Tokyo), 1987.
- 13) 長谷川節雄，上坂伸宏，品川嘉也：〔一般講演〕不安定ヘモグロビン症患者赤血球の脆弱性とレオロジー的特性。第25回生物物理学会年会，1987.
- 14) 上坂伸宏，品川嘉也：〔一般講演〕Nuclepore membraneを用いた圧-流量関係による赤血球変形能の解析。第25回生物物理学会年会，1987.

## 4. 第二生理学講座

### 研究概要

当教室の研究主題は神経系の可塑的变化，すなわち記憶やテンカンなどの発生メカニズムの解明である。海馬のニューロンは与えられた電気刺激を少なくとも30分以上“記憶”している (Bliss & Lømo, *J. Physiol.*, London, 232 : 331 - 356, 1973 ; Bliss & Gardner - Medwin, *Ibid*, 232 : 357 - 374, 1973)。この現象は記憶の基礎過程と関係があると大多数の生理学者は信じており，生理学教科書にも掲載されている。この現象は記憶の回路学説，すなわち記憶は神経細胞間の継目 (= シナプス) に蓄積されるとする説，を支持する事実であると考えられている。しかし上記論文にも記載されているごとく，この現象は回路学説で説明できない部分を含んでいる。われわれは回路学説と異なり，ニューロンの樹状突起が可塑的变化を示すことを明かにした (Fujita et al., *J. Physiol.*, London, 383 : 171 - 190, 1987)。成熟した動物のニューロンはその発達過程で可塑的变化をうけていないと考えられる。Fujitaらは成熟ネコの運動細胞の細胞内記録を行い，樹状突起の可塑的变化を反映していると考えられる D - spike や D - wave を観察することができた。Kogure は海馬における発作波と介在ニューロンの活動の関係を追求し，このことから介在ニューロンを 3 型に分類した。Yagi (本学耳鼻咽喉科助教授，第二生理兼任) は当教室における大学院時代の研究 (Yagi, *Jpn. J. Physiol.*, 24 : 305 - 316, 1974) 以来一貫して vestibular system の研究を行っており，最近では主として一次ニューロンの活動をしらべている。脳の状態の一つ，覚醒状態は non - associative learning の一種であるとする Kandel の観点 (*Neurosci. Res. Bull.*, 17, 1979, MIT - Press) から考えると，前庭系の一次ニューロンもこの状態の影響をうけるという Yagi らの研究は興味深い。前庭系のニューロンは自然刺激に対し hysteresis を示す (Fujita et al., *J. Physiol.*, London, 196 : 1 - 18, 1968)。これは短期的な可塑的变化とみなすことができる。一方二次ニューロンには長期的な可塑的变化も発生する。そのメカニズムの解明は今後の課題である。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 八木聡明，上野博史：〔原著〕モルモット外側半規管一次ニューロンの回転刺激に対する応答。Ear Res. Jpn., 18, 471~474, 1987.
- 2) Yagi, T., Uno, H. and Yamaguchi, J. : 〔原著〕Physiological characteristics of the primary horizontal canal neurons in guinea pigs. "The Vestibular System" (Graham, M.D. and Kemink, J.L. eds.), p.141~147, Raven Press, The Vestibular System, 1987.

#### 学会発表

- 1) Fujita, Y. and Harada, H. : 〔一般講演〕Activities of the dendrites of spinal motoneurons in cats. 第64回日本生理学会大会，1987.
- 2) Kogure, S. and Fujii, N. : 〔一般講演〕Phase relations between electrically induced paroxysmal discharges and the hippocampal nonpyramidal cell firing. 第64回日本生理学会大会，1987.
- 3) 上野博史，八木聡明，：〔一般講演〕覚醒モルモット外側半規管一次ニューロンの生理学的特性。第88回日本耳鼻咽喉科学会総会，1987.
- 4) Yagi, T. and Ueno, H. : 〔一般講演〕Physiological characteristics of the primary horizontal neurons in guinea pigs ; Response difference between alert and anesthetized animals. Barany Society Meeting (Bologna), 1987.

- 5) Kogure, S. : [一般講演] The response alterations of hippocampal nonpyramidal cells during tetanic stimulation. 第21回日本てんかん学会, 1987.
- 6) 八木聡明, 上野博史 : [一般講演] モルモット外側半規管一次ニューロンの生理学的特性; 反復振子様回転刺激に対する応答. 第46回日本平衡神経学会, 1987.
- 7) Fujita, Y., Harada, H. and Fujii, N. : [一般講演] Comparison of electrical activities between spinal motoneurons and spinal ganglion cells in cats. 第11回神経科学学術集会, 1987.
- 8) Kogure, S. : [一般講演] The firing pattern of the nonpyramidal cells in the stratum lacunosum - moleculare during electrically induced paroxysmal discharges in the rabbit hippocampus CA1. 第11回神経科学学術集会, 1987.
- 9) 八木聡明, 上野博史, 森国徹志 : [一般講演] 連続振子様回転刺激に対する外側半規管一次ニューロンの応答. 第35回日本基礎耳科学会総会, 1988.



## 5. 第一生化学講座

### 研究概要

下記の主要研究テーマについて、いずれも前年度にひきつづき着実な進展がみられた。

#### 1. 造血細胞における遺伝子発現の機構解析

前年度に、2種の成体型ラットグロビン (I  $\alpha$ , II  $\beta$ ) cDNAのクローニングを行ったが、さらにこれをプローブとしてゲノムDNAライブラリーより、胚型 $\beta$ -グロビン、成体型 $\alpha$ - および $\beta$ -グロビン各一種の遺伝子を単離して構造解析を行った。これらはラットグロビン遺伝子に関する最初の知見であり、特にラットの胚型グロビンの存在をはじめて具体的に明らかにしたものである。(佐藤, 長江)

#### 2. ミトコンドリア形成と機能分化の分子機構

(1) ラットミトコンドリア内膜を構成する cytochrome c oxidase subunitのうち、核遺伝子によってコードされる subunit IV, VIa, VIcのcDNAをクローニングし、構造を決定した。その結果 subunit IVの primary translation product が presequenceを有するのに対して、subunit VIaおよびVIcではいずれも presequenceを持たないことが確認された。(後藤)

(2) 合成DNAプローブを用いて、ヒト肝 Glutamate dehydrogenase (GDH) のcDNAをクローニングし、構造を決定した。GDH全長cDNAの最初のクローニングであり、GDH発現の組織特異性等の解明に重要な示唆を与えるものである。(安室, 山浦)

(3) *Rana catesbeiana*ミトコンドリア rRNA (12Sおよび16S) 遺伝子の塩基配列からそれぞれの二次構造モデルを作成し、種間間あるいは細胞質 rRNA との比較からミトコンドリア rRNA の進化過程、機能上重要な部位等の検討を行った。(長江)

#### 3. ヘモグロビンおよび各種酵素の構造、機能、代謝に関する研究

(1) ラットヘモグロビンの多様性を蛋白質レベルで明らかにする目的から、イオン交換クロマト、HPLCを用いて9種のヘモグロビン成分を分離し、それぞれの構成 $\alpha$ 鎖および $\beta$ 鎖を単離するとともに一部について一次構造の決定を行った。(田中, 阿部)

(2) さきに精製した *Rana catesbeiana* 赤血球 NADPH flavin還元酵素および肝 Cu/Zn-SODについて一次構造の解析を進めた。(阿部)

### 研究業績

#### 論文

- 1) Satoh, S., Fujii, H. and Okazaki, T.: [原著] Molecular cloning and sequence analysis of two rat major globin cDNAs. Biochem. Biophys. Res. Commun., 146, 618~624, 1987.
- 2) Shimada, T.<sup>1)</sup>, Inokuchi, K. and Nienhuis, A.W.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup> NIH, USA.): [原著] Site specific demethylation and normal chromatin structure of the human dihydrofolate reductase gene promotor after transfection into CHO cells. Mol. Cell. Biol., 7, 2830~2837, 1987.
- 3) Shimada, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup> NIH, USA.): [原著] A rapid and sensitive assay for bacterial gpt activity in transfected mammalian cells. Nucleic Acids Res., 15 4992, 1987.
- 4) Ozawa, K.<sup>1)</sup>, Ayub, J.<sup>1)</sup>, Yu-Shu, H.<sup>1)</sup>, Kurtzman, G.<sup>1)</sup>, Shimada, T.<sup>1)</sup>, and Young, N.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup> NIH, USA.): [原著] Activation of the human  $\beta$ -globin promotor in K562 cells by DNA sequences 5' to the fetal  $\gamma$ - or embryonic  $\zeta$ -globin genes. J. Clin. Invest., 80, 374~380, 1987.
- 5) Lin, H.J.<sup>1)</sup>, Anagnou, N.P.<sup>1)</sup>, Rutherford, T.R.<sup>1)</sup>, Shimada, T.<sup>1)</sup> and Nienhuis, A.W.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup> NIH, USA.): [原著] Novel transcription map for B19 (human) pathogenic parvovirus J. Virol., 61, 2395~2406, 1987.

- 6) 藤井裕之：〔原著〕*Rana catesbeiana*ミトコンドリア全ゲノムのクローニングと URF 2 および近傍遺伝子の塩基配列の決定. 日医大誌, 54, 277~289, 1987.
- 7) 伊藤敏治：〔原著〕有核赤血球の NADPH 依存性メトヘモグロビン還元酵素；ウシガエル赤血球酵素の精製と性質. 日医大誌, 54, 419~428, 1987.
- 8) 米山芳雄：〔原著〕*Rana catesbeiana*ミトコンドリア DNA の H 鎖および L 鎖複製領域の構造解析. 日医大誌, 54, 429~440, 1987.
- 9) 吉田雄一郎：〔原著〕ラット新生仔肝におけるミトコンドリア形成. 日医大誌, 54, 453~461, 1987.
- 10) 斎藤敏之：〔原著〕赤血球内メトヘモグロビン還元反応の調節, 日医大誌, 54, 590~599, 1987.
- 11) Fujii, H., Shimada, T.<sup>1)</sup>, Goto, Y. and Okazaki, T. (<sup>1)</sup> NIH, USA.) : 〔原著〕Cloning of the mitochondrial genome of *Rana catesbeiana* and the nucleotide sequence of ND 2 and five tRNA genes. J. Biochem. (Tokyo), 103, 474~481, 1988.
- 12) Itoh, T. and Kon, H.<sup>1)</sup>, (<sup>1)</sup> NIH, USA.) : 〔原著〕A flow EPR study of deformation and orientation characteristic of early erythrocyte ghosts; A possible effect of an altered state of cytosol network. J. Membr. Biol., 101, 57~65, 1988.

#### 学会発表

- 1) 安室尚樹, 山浦まゆみ, 後藤至孝：〔一般講演〕ヒト肝グルタミン酸脱水素酵素遺伝子の構造解析；cDNA の単離とその塩基配列. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 2) 佐藤浩之, 長江安洋：〔展示〕ラットグロビン遺伝子の構造解析；Embryo型グロビン遺伝子のクローニング. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 3) 藤井裕之, 長江安洋, 米山芳雄, 後藤至孝, 岡崎太郎：〔展示〕*Rana catesbeiana*ミトコンドリア DNA の全塩基配列の決定. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 4) 後藤至孝, 安室尚樹：〔展示〕ラット肝 cytochrome c oxidase subunit IV 前全駆体の構造；cDNA クローニングによる解析. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 5) 長江安洋, 藤井裕之, 米山芳雄, 後藤至孝, 岡崎太郎：〔一般講演〕ウシガエルミトコンドリア rRNA の一次構造および二次構造. 第60回日本生化学会大会, 1987.
- 6) 安室尚樹, 山浦まゆみ, 後藤至孝, 岡崎太郎：〔一般講演〕ヒト肝グルタミン酸脱水素酵素 cDNA のクローニングとその構造解析. 第60回日本生化学会大会, 1987.
- 7) 後藤至孝, 安室尚樹, 岡崎太郎：〔一般講演〕ラット肝 cytochrome c oxidase subunit IV cDNA クローニング. 第60回日本生化学会大会, 1987.
- 8) 佐藤浩之, 長江安洋, 阿部靖子, 田中彰, 岡崎太郎：〔一般講演〕ラットグロビンの遺伝子構造；Embryonic globin 遺伝子の塩基配列. 第60回日本生化学会大会, 1987.
- 9) 田中彰, 阿部靖子, 佐藤浩之, 岡崎太郎：〔一般講演〕ラットヘモグロビンの多様性；HPLC によるグロビン鎖の分離. 第60回日本生化学会大会, 1987.
- 10) 安室尚樹, 山浦まゆみ, 後藤至孝, 岡崎太郎：〔一般講演〕ヒト肝グルタミン酸脱水素酵素 cDNA の単離とその構造. 第10回日本分子生物学会, 1987.
- 11) 後藤至孝, 安室尚樹, 岡崎太郎：〔一般講演〕ヒト肝 cytochrome c oxidase subunit IV, VIa, VIc の cDNA cloning. 第10回日本分子生物学会, 1987.

## 6. 第二生化学講座

### 研究概要

当教室は①鉄蛋白質の生化学および鉄代謝, ②細胞膜の生化学, および③脂質, ビタミンの生化学を研究している。

62年度の研究概要を記すと, ①では, 吉野が日本人の鉄栄養について, 第5回アジア栄養学会議および第42回日本栄養食糧学会関東支部大会におけるシンポジウムで講演したが, これら結果は第4次改定日本人の栄養所要量策定のための資料の一部となるものである。鉄蛋白質の生化学に関する原著には露木, 麦谷ら, Yoshinoらの3篇, 総説には久安らのものがある。露木は単離ラット肝細胞における鉄の取り込み機構と細胞内フェリチン合成との関連を研究し, 麦谷らはラット脾液でのトランスフェリン分泌量が顕著であるのを発見するとともに, この事実から示唆される腸管腔でのトランスフェリンの作用を追求している。Yoshinoらは同種接合子型 $\beta$ -サラセミアにおける高フェリチン血症の血清を試料とし, 血清フェリチンの蛋白質化学的分析を行ったが, この研究はタイ国学者との協同によった。ミネラル一般については鈴木原著および吉野の総説がある。

②では, ヒト脾液のインスリン同定が石井により, ラットは小腸ラクターゼの研究が武藤により, また単離ラット肝細胞におけるインスリンの作用およびそれと関連する同レセプターの動態の研究が龍岡によって行われた。

③では, ビタミンA誘導体についての研究がKandaらにより, エイコサノイド代謝についての研究がKandaらおよび南澤により発表された。さらにビタミンB<sub>1</sub>代謝の脳細胞への貢献がTakahashiらにより発表された。現在研究中で学会発表をすませた研究が17篇あるが, いずれも上記の3分野に属するものである。なお研究を終った者のうち, 龍岡は米国, 南澤はスウェーデンに留学し, 講師平井は米国留学2年目である。

### 研究業績

#### 論文

- 1) Yoshino, Y., Linpisarn, S.<sup>1)</sup>, Makonkawkeyoon, L.<sup>1)</sup>, Hirai, Y., Hisayasu, S., Orimo, H., Kuga, M. and Sanguansermisri, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Chiang Mai Univ., Thailand): [原著] Serum ferritin and its isoferritin patterns in Homozygous - Thalassemia. *Acta Haematol Jpn.*, 50, 766~776, 1987.
- 2) Aida, T.<sup>1)</sup>, Murata, J.<sup>1)</sup>, Asano, G.<sup>1)</sup>, Kanda, Y. and Yoshino, Y. (<sup>1)</sup>2nd Pathology): [原著] Effects of polyprenoic acid on thermal injury. *Br. J. Exp. Pathol.*, 68, 351~358, 1987.
- 3) 吉野芳夫, 久安早苗: [総説] 鉄に関する最近の研究と知見. *栄養誌*, 45, 155~164, 1987.
- 4) 石井光: [原著] 内視鏡下に採取したヒト脾液中のインスリン同定. *日医大誌*, 54, 471~478, 1987.
- 5) 鈴木和春: [原著] 日本人小児のミネラル出納について. *日医大誌*, 54, 485~508, 1987.
- 6) 武藤隆雄: [原著] パパイン消化によるラット小腸ラクターゼ [I], [II] の単離および性質. *日医大誌*, 54, 509~518, 1987.
- 7) 露木弘光: [原著] 初代培養ラット肝細胞への鉄取り込み機構. *日医大誌*, 54, 551~562, 1987.
- 8) 麦谷圭一郎, 久安早苗, 吉野芳夫: [原著] ラット消化液中のトランスフェリン (Tf) とその生理的意義について. *消化と吸収*, 10, 68~71, 1987.
- 9) 吉野芳夫, : [総説] 生体における微量元素の栄養学的意義. *臨牀*, 72, 21~25, 1988.
- 10) 龍岡達子: [原著] 成長期ラットにおける肝細胞の glycogenesis に及ぼす insulin の影響. *日医大誌*, 55, 38~50, 1988.
- 11) 南澤宏明: [原著] 高血圧自然発症ラットを用いた虚血性脳浮腫の発現と脳組織エイコサノイドとの関連; 特に脳組織ロイコトリエンとの関連. *日医大誌*, 55, 73~81, 1988.

- 12) Takahashi, H.<sup>1)</sup>, Nakazawa, S.<sup>1)</sup>, Yoshino, Y. and Shimura, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Neurosurgery): [原著] Metabolic studies of the edematous cerebral cortex of the pyridoxamine - treated thiamine - deficient rat. Brain Res., 441, 202~208, 1988.
- 13) Miamizawa, H.<sup>1)</sup>, Terashi, A.<sup>1)</sup>, Katayama, Y.<sup>1)</sup>, Kanda, Y., Shimizu, J.<sup>1)</sup>, Shiratori, T., Inamura, K.<sup>1)</sup>, Kaseki, H. and Yoshino, Y.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>2nd Internal Medicine): [原著] Brain eicosanoid levels in spontaneously hypertensive rats after ischemia with reperfusion; Leukotriene C<sub>4</sub> as a possible cause of cerebral edema. Stroke, 19, 372~377, 1988.

## 著 書

- 1) 吉野芳夫, 折茂英生, 久安早苗, 神成節子, 平井幸彦: [分担] 第16章赤血球と鉄代謝. “続生化学講座 8 血液(上)” (日本生化学会編), p.461~476, 東京化学同人, 1987.
- 2) 折茂英生, 久安早苗, 吉野芳夫: [分担] 8. 消化吸収. “栄養学講義 1. 栄養学総論” (青木洋祐編), p.163~210, 光生館, 1988.

## 学会発表

- 1) 宮澤啓輔<sup>1)</sup>, 高桑良夫<sup>1)</sup>, 木村之彦<sup>1)</sup>, 林洗洋<sup>1)</sup>, 吉川治<sup>1)</sup>, 外山圭介<sup>1)</sup>, 神成節子, 吉野芳夫 (<sup>1)</sup>東京医大): [一般講演] K - 562 S 期同調培養における Ferritin の産生について (第2報). 第49回日本血液学会, 1987.
- 2) 麦谷圭一郎, 久安早苗, 吉野芳夫: [一般講演] ラット消化液トランスフェリンの存在, ならびに 2 Fe トランスフェリンの腸管吸収について. 第49回日本血液学会, 1987.
- 3) 神田佳和, 南澤宏明, 久安早苗, 吉野芳夫: [一般講演] Endotoxin による肺組織切片の Leukotrienes 産生に対するビタミン A およびビタミン A 酸の抑制能. 日本ビタミン学会第39回大会, 1987.
- 4) 桂研一郎<sup>1)</sup>, 神田佳和, 南澤宏明<sup>1)</sup>, 清水純<sup>1)</sup>, 片山泰朗<sup>1)</sup>, 久安早苗, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 吉野芳夫 (<sup>1)</sup>第2内科): [一般講演] Endotoxin による脳組織の Leukotrienes 産生亢進作用およびビタミン A 酸によるその抑制作用. 日本ビタミン学会第39回大会, 1987.
- 5) 右田節子, 久安早苗, 池田由紀, 吉野芳夫: [一般講演] 分離大豆たん白によるラット腸管鉄吸収の阻害. 第41回日本栄養・食糧学会総会, 1987.
- 6) 神田佳和, 桂研一郎, 南澤宏明, 久安早苗, 吉野芳夫: [一般講演] 熱傷ラット肺及び脳における prostanoids 遊出に対する vitamin A の作用. 第41回日本栄養・食糧学会総会, 1987.
- 7) 佐藤久美子, 池田由紀, 吉野芳夫, 若林三圭<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>茨城県総合健診協会): [一般講演] 記録紙法による栄養素摂取量と身体所見とを対応させた女子の栄養調査1報告. 第41回日本栄養・食糧学会総会, 1987.
- 8) 桂研一郎<sup>1)</sup>, 神田佳和, 南澤宏明<sup>1)</sup>, 清水純<sup>1)</sup>, 片山泰朗<sup>1)</sup>, 久安早苗, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 吉野芳夫 (<sup>1)</sup>第2内科): [一般講演] Endotoxin による脳組織 Leukotrienes 産生亢進作用及び vitamin A 酸によるその抑制作用. 第28回日本神経学会総会, 1987.
- 9) 麦谷圭一郎, 久安早苗, 吉野芳夫: [一般講演] ラット消化液中のトランスフェリンとその生理的意義について. 第18回日本消化・吸収学会, 1987.
- 10) 神田佳和, 南澤宏明, 久安早苗, 吉野芳夫: [一般講演] 肺組織切片 Leukotrienes 産生に対する vitamin A 及び vitamin A acid の抑制能. 第8回日本炎症学会, 1987.
- 11) 佐々木昌子<sup>1)</sup>, 浜本晶子<sup>1)</sup>, 清水由規<sup>1)</sup>, 久安早苗, 吉野芳夫 (<sup>1)</sup>眼科): [一般講演] PCP (パラクロロフェニルアラニン) によるラット白内障の生化学的考察. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 12) 島田研三, 神成節子, 吉野芳夫, 妻鳥昌平<sup>1)</sup>, 盤若博司<sup>1)</sup>, 小黒辰夫<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>老人科, <sup>2)</sup>第2病理): [一般講演]

鉄過剰時の肝細胞および Kupffer 細胞への鉄の取り込み機構について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.

- 13) 麦谷圭一郎, 久安早苗, 吉野芳夫: [一般講演] ラット腸管鉄吸収機構へのトランスフェリンの関与について. 第60回日本生化学会大会, 1987.
- 14) 神田佳和, 桂研一郎, 南澤宏明, 久安早苗, 吉野芳夫: [一般講演] エンドトキシンによるラット肺および脳組織ロイコトエン誘出に対するレチノールの作用. 第60回日本生化学会大会, 1987.
- 15) Yoshino, Y., Sato, K., Ikeda, Y., Orimo, H. and Wakabayashi, S.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Ibaraki Health Service Association): [シンポジウム] Iron nutrition status among Japanese women. Fifth Asian Congress of Nutrition (Osaka), 1987.
- 16) 島田研三, 三上俊夫, 神成節子, 吉野芳夫, 盤若博司<sup>1)</sup>, 小黒辰夫<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>老人科, <sup>2)</sup>第2病理): [一般講演] 鉄過剰時におけるラット肝細胞および Kupffer 細胞内での鉄の動態について. 第11回鉄代謝研究会, 1987.
- 17) 右田節子, 久安早苗, 池田由紀, 吉野芳夫: [一般講演] 大豆レクチンの鉄吸収阻害作用. 第11回鉄代謝研究会, 1987.
- 18) 吉野芳夫: [シンポジウム] 鉄栄養についての最近の話題. 第42回日本栄養・食糧学会関東支部大会, 1988.
- 19) Uehata, A.<sup>1)</sup>, Kurita, A.<sup>1)</sup>, Takase, B.<sup>1)</sup>, Sugahara, H.<sup>1)</sup>, Nishioka, T.<sup>1)</sup>, Kanda, Y., Yoshino, Y. and Nakamura, H.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>National Defense College): [一般講演] Effects of low dose nisoldipine on systemic and coronary hemodynamics and prostaglandin metabolism during exercise in patients with ischemic heart disease. 37th Annual Scientific Session American College of Cardiology (Atlanta, Georgia), 1988.

## 7. 薬理学講座

### 研究概要

膵ラ氏島インスリン分泌に関し、その自律神経支配機構について検討した。ラ氏島内のcatecholaminergic receptorはB-cellに $\alpha$ -とDA<sub>1</sub>-receptor、D-cellに $\beta$ -とDA<sub>2</sub>-receptorの存在を示唆する結果が得られた。特に、インスリン分泌におけるdopaminergic systemの機構、とりわけDA<sub>2</sub>-receptorの役割が想定された。

インスリン分泌におけるdisopyramide (dl体) の作用には促進と抑制の二重作用が認められた。また、disopyramideのl体は強い血糖降下作用を示すが、d体にはそれが認められないため、d体の臨床使用が副作用軽減に有効であることを報告した。

臨床薬理部門では、

- 1)  $\beta$ ラクタム抗生剤のうち、肝で代謝を受けたり、胆汁排泄を受けるものは、肝疾患患者に投与された場合、それらの薬物動態が影響を受ける。第3世代のcefotaximeとcefoperazoneの薬物動態と肝容積との関係を検討した。
- 2) 四塩化炭素による急性あるいは慢性肝傷害ラットにおけるcefotaximeのsubcellularレベルでの代謝を検討した。
- 3) 肝血流の水素ガスクリアランス法による測定とその理論を第3内科と共同研究した。肝は肝動脈と門脈から二重に血流供給を受けるが、それらを考慮した肝血流の数式化を試みたので、その実験的証明を施行中である。
- 4) 厚生省で収集している副作用モニター報告(昭和57年~61年度, 7,154件)をパソコンに入力し、解析した。またFDAの報告とも比較した。データはすぐに取り出せるので臨床からの問い合わせにも応じている。
- 5) 薬物治験審査委員会の発足に伴い、事務局として受付業務を担当している。

(論文1, 2, 8, および学会発表1は宮田雄平が東京医科歯科大学において行ったものである。)

### 研究業績

#### 論文

- 1) Miyata, Y., Nakano, S.<sup>1)</sup> and Yasuda, H.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>山梨医大・麻酔科, <sup>2)</sup>東京医科歯科大・薬理): [原著] Postnatal transient expression of long-lasting descending inhibitory effect on spinal reflexes in the rat. *Neurosci. Res.*, 4, 268~278, 1987.
- 2) Kashiwara, Y.<sup>1)</sup>, Kuno, M.<sup>2)</sup> and Miyata, Y. (<sup>1)</sup>生理研・情報記憶, <sup>2)</sup>京大・生理): [原著] Cell death of axotomized motoneurons in neonatal rats, and its prevention by peripheral reinnervation. *J. Physiol.*, 386, 135~148, 1987.
- 3) 大橋和史, 阿曾亮子, 角尾道夫: [総説] 薬剤による尿路障害. *臨泌*, 41, 457~468, 1987.
- 4) Kimura, F. and Takeuchi, S.: [報告] Effects of disopyramide on insulin secretion in the perfusion of isolated rat pancreas in situ. *Nippon Ika Daigaku Zasshi*, 54, 339~345, 1987.
- 5) 大橋和史, 阿曾亮子, 大道浩子: [総説] 薬物療法における副作用と相互作用; 抗感染症薬を中心として. part 3. 薬物相互作用. *クリニカルファーマシー*, 11, 32~38, 1987.
- 6) Ohashi, K., Aso, R. and Suzuki, K.: [原著] Is the bioavailability of famotidine reduced by an antacid? *Jpn. J. Clin. Pharmacol. Ther.*, 18, 589~593, 1987.
- 7) Takeuchi, S. and Okamura, T.: [原著] Hypoglycemic actions of disopyramide enantiomers as their bitartrate salts. *Jpn. J. Clin. Pharmacol. Ther.*, 18, 699~704, 1987.
- 8) 宮田雄平: [総説] 実験的運動ニューロン死; 筋萎縮性側索硬化症成因に対するひとつの仮説. *医のあゆみ*, 144, 238, 1988.

## 学会発表

- 1) 宮田雄平：〔シンポジウム〕末梢筋枝神経切断後の Ia シナプス伝達増強について（テーマ：シナプスの発生と再生）。第60回日本薬理学会総会，1987.
- 2) 阿曾亮子，今井康雄，大橋和史，中原保裕<sup>1)</sup>，村田正弘<sup>1)</sup>，大津文雄<sup>2)</sup>，針谷吉人<sup>2)</sup>，八幡浩二<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>多摩永山病院薬剤科，<sup>2)</sup>同内科）：〔一般講演〕パソコンによる副作用モニタリングデータの集計とその利用．日本薬学会第107年会，1987.
- 3) 深沢晶子，岡村忠夫，庄内香代，竹内節弥：〔誌上発表〕ラット腭ラ氏島における Glucose の insulin 分泌第 1 相反応について－I．第30回日本糖尿病学会総会，1987.
- 4) 岡村忠夫，竹内節弥，庄内香代，深沢晶子：〔展示〕ラット腭ラ氏島における自律神経支配について－II．第30回日本糖尿病学会総会，1987.
- 5) 大橋和史：〔一般講演〕英国の倫理委員会について；ロンドン王立医学協会倫理ガイドライン解説．第 2 回臨床薬理富士五湖カンファランス，1987.
- 6) 阿曾亮子：〔一般講演〕副作用報告データの集計と解析；厚生省と FDA を比較して．第 2 回臨床薬理富士五湖カンファランス，1987.
- 7) Fukazawa,S., Shonai,K., Okamura,T. and Takeuchi,S.: 〔展示〕Distribution and actions of catecholaminergic receptors in the rat pancreas islet. 10th International Congress of Pharmacology (Sydney), 1987.
- 8) Ohashi,K., Gillies,H.G.<sup>1)</sup> and Rogers,H.J.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Dep. of Clinical Pharmacology,Guys Hospital Medical School,ロンドン大学)：〔展示〕Correlation between Anthracyclines (Doxorubicin, Idarubicin) clearance and ICG kinetics. 10th International Congress of Pharmacology (Sydney), 1987.
- 9) Ohashi,K., Kim,J.H.<sup>1)</sup>, Akimoto,T.<sup>2)</sup>, Nakama,K.<sup>2)</sup>, and Satoh,S.<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>第 3 内科，<sup>2)</sup>基礎実験動物管理室，<sup>3)</sup>中央電顕)：〔展示〕Morphologic studies on exocrine pancreas of diabetic WBN/Kob rats. Lessons From Animal Diabetes－2nd International Workshop－(Jeneva), 1987.
- 10) 浅見恭士，大橋和史，大道浩子，阿曾亮子：〔一般講演〕Cefotaxime, Cefoperazone の薬物動態に及ぼす肝疾患の影響．第 8 回日本臨床薬理学会，1987.
- 11) 阿曾亮子，大道浩子，大橋和史：〔一般講演〕副作用情報とその利用法；厚生省副作用モニター報告および FDA 副作用報告を用いての検討．第 8 回日本臨床薬理学会，1987.
- 12) 斉藤勉<sup>1)</sup>，金子ひろ子<sup>1)</sup>，畑典武<sup>1)</sup>，岸田浩<sup>1)</sup>，早川弘一<sup>1)</sup>，大橋和史 (<sup>1)</sup>第 1 内科)：〔一般講演〕狭心症に対する Nifedipine と Diltiazem の併用効果．第 8 回日本臨床薬理学会，1987.

## 8. 第一病理学講座

### 研究概要

当教室における腎臓に関する研究では、IgA腎炎の自然発症モデルとされるddYマウスに抗Ⅳ型コラーゲン抗体を投与するとメサンジウム (Mes) IgA 沈着はさらに促進されたが、LPS では抑制された。とくに前者のMes沈着 IgA 増加は当該部の障害による二次的な転送機能遅延によるものと思われた。また、ラットで腎内組織液をうっ滞させても、同様にMes細胞は障害された。

ハブ毒投与や虚血さらに抗Thy1.1抗体投与にてもラットMesは変性し、続いてみられる増殖が糸球体構造の修復につながることも記載された。また腎についてはさらに polycation 投与により修飾された糸球体基底膜におけるanionic抗原の態度の検索のほか、抗Thy1.1抗体についてはラット以外に砂ネズミのMesにもそれに対応する epitope を認めた。さらに人体例についても多数の興味ある腎疾患症例報告の病理形態面を担当した。

肺臓については、放射線による肺線維症にみられた血管系の改築、抗サーファクタント抗体を用いたウサギ胎仔肺の発達過程、およびパラコート中毒による肺弾性線維の変性過程の研究などがあり、とくに弾性線維に関してはさらにその胎生期の発生や、また乳腺腫瘍ほかの各種病変部における増加や異常が検索された。ほかに膠原線維についても唾液腺の初期発生におけるその重要性が論じられた。

皮膚ランゲルハンス細胞については、その肉芽腫形成性皮膚疾患における態度を検索し、さらに各種皮膚疾患の際のマスト細胞の多様性についての研究も行われた。

その他の臓器組織については、腸管閉塞による実験的虚血性大腸炎の作製、心室中隔穿孔手術例における術創部治癒過程の研究のほか、電顕的に腫瘍細胞核内にみられたアクチン封入体についての報告がある。さらに症例については特異な肺高血圧症、初老性痴呆症や高齢発症強皮症などの剖検例報告が行われた。ほかに昨年度に引き続き病理診断へのコンピューター導入も推進されている。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 竹内良夫<sup>1)</sup>, 西村葉子<sup>1)</sup>, 中川洋子<sup>1)</sup>, 雑賀寿和<sup>2)</sup>, 清水由規<sup>2)</sup>, 新井孝司, 石崎正通, 横室公三<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>微生物免疫, <sup>2)</sup>眼科): [原著] ヒスタミン加モルモット  $\gamma$ -グロブリンの実験的アレルギー性結膜炎モデルに及ぼす薬理効果. あたらしい眼科, 4, 683~687, 1987.
- 2) 福田悠<sup>1)</sup>, 川並汪一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院病理部, <sup>2)</sup>第二病院病理部): [総説] BAL細胞中のランゲルハンス細胞. 細胞, 19, 169~174, 1987.
- 3) 青木見佳子, 川並汪一<sup>1)</sup>, 石崎正通, 馬杉洋三, 本田光芳<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院病理部, <sup>2)</sup>皮膚科): [原著] 肉芽腫形成性皮膚疾患におけるランゲルハンス細胞の動態. アレルギー, 36, 337~344, 1987.
- 4) 山中宣昭: [総説] 腎臓の線維化. 最新医, 42, 1940~1945, 1987.
- 5) 福田悠<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院病理部): [総説] 線維化形成機序; Embryogenesisの立場から (胎生期発生と結合組織). 最新医, 42, 1841~1846, 1987.
- 6) 山中宣昭: [総説] メサンギウムの構造と機能. 実験医学, 5, 1259~1263, 1987.
- 7) Watanabe, Y.: [原著] Quantitative evaluation of experimental ischemic colitis correlated with the degree of artificial bowel obstruction. Gastroenterol. Jpn, 22, 578~587, 1987.
- 8) Fukuda, Y.<sup>1)</sup>, Miyake, H., Masuda, Y. and Masugi, Y. (<sup>1)</sup>付属病院病理部): [原著] Histogenesis of unique dlastinophilic fibers of elastofibroma; Ultrastructural and immunohistochemical studies. Human



- Pathol., 18, 424~429, 1987.
- 9) Takemura, T.<sup>1)</sup>, Fukuda, Y.<sup>2)</sup>, Harrison, M.<sup>3)</sup>, and Ferrans, V. J.<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター病理, <sup>2)</sup>付属病院病理部, <sup>3)</sup>NIH, USA) : [原著] Ultrastructural, histochemical and freeze - fracture evaluation of multilamellated structures in pulmonary alveolar proteinosis. Am. J. Anat., 179, 258~268, 1987.
  - 10) Fukuda, Y.<sup>1)</sup>, Uchiyama, S., Masuda, Y. and Masugi, Y. (<sup>1)</sup>付属病院病理部) : [原著] Intranuclear rod - shaped actin filament bundles in poorly differentiated axillary adenosquamous cell carcinoma. Cancer, 60, 2979~2984, 1987.
  - 11) 福田悠<sup>1)</sup>, 益田幸成, 来住準一<sup>2)</sup>, 早川太郎<sup>2)</sup>, 中西康夫<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院病理部, <sup>2)</sup>愛知学院大学, <sup>3)</sup>名古屋大学) : [原著] 唾液腺の胎生初期発生における膠原線維の重要性. 結合組織, 19, 212~213, 1987.
  - 12) 内山正一, 福田悠<sup>1)</sup>, 益田幸成, 馬杉洋三, 庄司佑<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院病理部, <sup>2)</sup>第2外科) : [原著] 乳腺腫瘍における elastosis の電顕的・免疫組織化学的検索. 結合組織, 19, 334~335, 1987.
  - 13) Ohkuni, H.<sup>1)</sup>, Todome, Y.<sup>1)</sup>, Yokomuro, K.<sup>1)</sup>, Kimura, Y.<sup>1)</sup>, Ishizaki, M., Fukuda, Y.<sup>2)</sup>, Masugi, Y. and Hamada, S.<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>微生物免疫, <sup>2)</sup>付属病院病理部, <sup>3)</sup>大阪大学歯学部) : [原著] Coronary arteritis in mice after systemic injection of bacterial cell wall peptidoglycan. Jpn. Circulat. J., 51, 1357~1361, 1987.
  - 14) Fukuda, Y.<sup>1)</sup>, Ferrans, V. J.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院病理部, <sup>2)</sup>NIH, USA) : [原著] Pulmonary elastic fiber degeneration in paraquat toxicity; An electron microscopic immunohistochemical study. J. Submicrosc. Cytol., 20, 15~23, 1988.
  - 15) Kawaguchi, S. : [原著] Immunopathological study of glomerular IgA deposition in ddY mice. Acta Pathol. Jpn., 38, 1~10, 1988.
  - 16) Masuda, Y., Sano, J., Ishizaki, M. and Masugi, Y. : [原著] Intensified IgA mesangial deposits after the administration of sheep anti - type IV collagen serum in mice. Acta Pathol. Jpn., 38, 141~152, 1988.
  - 17) 青木見佳子 : [原著] ヒト皮膚マスト細胞の組織化学的超微形態学的多様性. アレルギー, 37, 166~173, 1988.
  - 18) Yamanaka, N. : [原著] Development of the glomerular mesangium. Pediatr. Nephrol., 2, 85~91, 1988.
  - 19) Amemiya, H.<sup>1)</sup>, Suzuki, S.<sup>1)</sup>, Manabe, H.<sup>1)</sup>, Fukao, K.<sup>2)</sup>, Iwasaki, Y.<sup>2)</sup>, Dohi, K.<sup>3)</sup>, Isono, K.<sup>4)</sup>, Orita, K.<sup>5)</sup> and Yamanaka, N. (<sup>1)</sup>国立循環器病センター, <sup>2)</sup>筑波大学外科, <sup>3)</sup>広島大学第2外科, <sup>4)</sup>千葉大学第2外科, <sup>5)</sup>岡山大学第1外科) : [原著] 15 - Deoxyspergualin as an immunosuppressive agent in dogs. Transplant. Proc., 20, 229~232, 1988.

## 著 書

- 1) 山中宣昭 : [分担] 医学生のための基礎医学問題詳解. “病理学” (浅野伍朗編), p.23~52, 医学教育出版社, 1987.
- 2) 仲間一雄<sup>1)</sup>, 七戸和博<sup>1)</sup>, 清水真澄<sup>1)</sup>, 深沢晶子<sup>1)</sup>, 石崎正通 (<sup>1)</sup>実験動物管理室) : [分担] WBN/Kobラットの糖尿病症状および膵腎の組織学的変化について. “糖尿病動物” (後藤由雄編), p.158~161, 医薬ジャーナル社, 1987.

## 学会発表

- 1) Schmiedeke, T.<sup>1)</sup>, Sugisaki, Y. and Vogt, A.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Freiburg大学) : [展示] Deposition of anionic antigens in the glomerular basement membrane of the rat can be mediated by polycations; Role of size, charge, charge density and structure of polycations and anionic antigens. Joint Meeting of the Gesellschaft für immunologie and the société Francaise d'immunologie (Strasbourg), 1986.

- 2) 福田悠<sup>1)</sup>, 内山正一, 益田幸成, 馬杉洋三 ( <sup>1)</sup>付属病院病理部 ) : [一般講演] 腋窩の腺扁平上皮癌に認められた核内アクチン封入体. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 3) 杉崎祐一, 山中宣昭, 馬杉洋三, Schmiedeke, T. <sup>1)</sup>, Vogt, A. <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>Freiburg大学 ) : [一般講演] Polyethyleneimine (PEI) によるFerritin (F) の糸球体内 charge complex. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 4) 矢島幹久<sup>1)</sup>, 鈴木恒道<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>第2病理, <sup>2)</sup>付属病院病理部 ) : [一般講演] 著明な肺高血圧症を呈した血小板血症の一部検例. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 5) 山中宣昭, 杉崎祐一, 石崎正通, 温敏, 益田幸成, 馬杉洋三 : [一般講演] mesangiolysis の修復機転について. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 6) 川本雅司, 児玉行弘, 米山剛一, 益田幸成, 石崎正通, 福田悠<sup>1)</sup>, 山中宣昭, 馬杉洋三 ( <sup>1)</sup>付属病院病理部 ) : [展示] ラット放射線肺線維化における肺血管系の改築. 第27回日本胸部疾患学会総会, 1987.
- 7) 小林弘樹<sup>1)</sup>, 福井康裕<sup>1)</sup>, 畠山省四朗<sup>1)</sup>, 山中宣昭 ( <sup>1)</sup>東京電機大学理工学部 ) : [一般講演] 組織診断用C I A システムの開発; 教材自動作成の試み. 第26回日本M E 学会大会, 1987.
- 8) 山中宣昭, 温敏, 益田幸成, 石崎正通, 杉崎祐一, 馬杉洋三 : [一般講演] Light-chain nephropathy (k型) にアミロイド沈着を伴った一例. 第17回日本腎臓学会東部部会, 1987.
- 9) 山中宣昭 : [特別発言] ネフリトジェノサイド腎炎について. (ワークショップ: 実験腎炎と臨床の接点), 第17回日本腎臓学会東部部会, 1987.
- 10) 栗原怜<sup>1)</sup>, 富田雅乃<sup>1)</sup>, 米島秀夫<sup>1)</sup>, 秋葉隆<sup>1)</sup>, 日ノ下文彦<sup>1)</sup>, 福留裕一郎<sup>1)</sup>, 吉山直樹<sup>1)</sup>, 石崎正通 ( <sup>1)</sup>春日部秀和病院内科 ) : [一般講演] E D T A 依存性偽性血小板減少症を伴った血液透析患者の一例. 第17回日本腎臓学会東部部会, 1987.
- 11) 河辺満彦<sup>1)</sup>, 荒井竜彦<sup>1)</sup>, 葉山修陽<sup>1)</sup>, 原一男<sup>1)</sup>, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 石崎正通, 山中宣昭, 馬杉洋三, 勝野浩<sup>2)</sup>, 栗原怜<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>第2内科, <sup>2)</sup>春日部秀和病院内科 ) : [一般講演] 血漿交換及び pulse 療法により著効を示した急速進行性糸球体腎炎の一症例. 第17回日本腎臓学会東部部会, 1987.
- 12) 栗原怜<sup>1)</sup>, 富田雅乃<sup>1)</sup>, 米島秀夫<sup>1)</sup>, 日ノ下文彦<sup>1)</sup>, 秋葉隆<sup>1)</sup>, 福留裕一郎<sup>1)</sup>, 吉山直樹<sup>1)</sup>, 石崎正通, 山中宣昭, 馬杉洋三 ( <sup>1)</sup>春日部秀和病院内科 ) : [一般講演] 腎機能の改善をみた高令発症のF G Sと考えられる一例. 第17回日本腎臓学会東部部会, 1987.
- 13) 村上睦美<sup>1)</sup>, 伊藤加寿子<sup>1)</sup>, 宗像恵美子<sup>1)</sup>, 安保和俊<sup>1)</sup>, 土屋正巳<sup>1)</sup>, 山本博章<sup>1)</sup>, 植田稔<sup>1)</sup>, 石崎正通, 山中宣昭, 馬杉洋三, 仁保幸二<sup>2)</sup>, 藤野純子<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>小児科, <sup>2)</sup>国立福島病院小児科 ) : [一般講演] 腎不全を呈したBartter症候群の一例. 第17回日本腎臓学会東部部会, 1987.
- 14) 大藺英一<sup>1)</sup>, 河辺満彦<sup>1)</sup>, 荒井竜彦<sup>1)</sup>, 葉山修陽<sup>1)</sup>, 鈴木悟<sup>1)</sup>, 神谷達司<sup>1)</sup>, 原一男<sup>1)</sup>, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 石崎正通, 山中宣昭, 馬杉洋三 ( <sup>1)</sup>第2内科 ) : [一般講演] 障害物競走で横紋筋融解症から急性腎不全をきたした, 潜在性筋疾患が疑われた一症例. 第17回日本腎臓学会東部部会, 1987.
- 15) 矢島幹久<sup>1)</sup>, 田口克司<sup>1)</sup>, 鈴木恒道<sup>2)</sup>, 浅野伍朗<sup>1)</sup>, 馬杉洋三 ( <sup>1)</sup>第2病理, <sup>2)</sup>付属病院病理部 ) : [一般講演] 初老期痴呆症で発症し心停止後4カ月生存した一剖検例. 第92回東京病理集談会, 1987.
- 16) 安保和俊<sup>1)</sup>, 伊藤加寿子<sup>1)</sup>, 宗像恵美子<sup>1)</sup>, 土屋正巳<sup>1)</sup>, 芦田光則<sup>1)</sup>, 村上睦美<sup>1)</sup>, 山本博章<sup>1)</sup>, 植田稔<sup>1)</sup>, 石崎正通, 山中宣昭, 馬杉洋三 ( <sup>1)</sup>小児科 ) : [一般講演] Small Kidney 12例の臨床病理学的検討. 第22回日本小児腎臓病学会, 1987.
- 17) 福田悠<sup>1)</sup>, 益田幸成, 来住準一<sup>2)</sup>, 早川太郎<sup>2)</sup>, 中西康雄<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院病理部, <sup>2)</sup>愛知学院大学歯学部, <sup>3)</sup>名古屋大学理学部 ) : [一般講演] 唾液腺の胎生初期発生における膠原線維の重要性. 第19回日本結合組織学会総会 1987.
- 18) 内山正一, 福田悠<sup>1)</sup>, 益田幸成, 馬杉洋三, 庄司佑<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院病理部, <sup>2)</sup>第2外科 ) : [一般講演] 乳腺腫瘍

における elastosis の電顕的免疫組織化学的検索. 第19回日本結合組織学会総会, 1987.

- 19) 福田悠<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院病理部 ) : [ワークショップ] 弾性線維の胎生期発生および病的変化; 電顕的免疫組織化学的検索 (エラスチン研究の現況と展望: 基礎から臨床へ). 第19回日本結合組織学会総会, 1987.
- 20) Yamanaka, N. and Sugisaki, Y. : [シンポジウム] Proliferative glomerulonephritis induced by antisera to type IV collagen from rabbit lens capsular and glomerular basement membrane. IVth International Symposium on Renal Basement Membranes (Paris), 1987.
- 21) 米山剛一, 福田悠<sup>1)</sup>, 石崎正通, 内山正一, 馬杉洋三, 岸川テル子<sup>2)</sup>, 西中健二<sup>3)</sup>, 荒木勤<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院病理部, <sup>2)</sup>中央電顕室, <sup>3)</sup>産婦人科 ) : [一般講演] 肺サーファクタント抗体を用いたウサギ胎児肺発達の免疫組織化学的検討. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 22) Schmiedeke, T.<sup>1)</sup>, Sugisaki, Y., Bastford, S.<sup>1)</sup> and Vogt, A.<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>Freiburg大学 ) : [展示] Glomerular deposition of anionic antigens can be mediated by polycations; Role of molecular size, charge, charge density and structure. Xth International Congress of Nephrology (London), 1987.
- 23) Sugisaki, Y., Yamanaka, N., Sano, J., Ishizaki, M. and Masugi, Y. : [展示] Sheep antiserum to type IV collagen induces proliferative glomerulonephritis. Xth International Congress of Nephrology (London), 1987.
- 24) Amemiya, H.<sup>1)</sup>, Suzuki, S.<sup>1)</sup>, Manabe, H.<sup>1)</sup>, Fukao, K.<sup>2)</sup>, Iwasaki, Y.<sup>2)</sup>, Dohi, K.<sup>3)</sup>, Isono, K.<sup>4)</sup>, Orita, K.<sup>5)</sup> and Yamanaka, N. ( <sup>1)</sup>国立循環器病センター, <sup>2)</sup>筑波大学外科, <sup>3)</sup>広島大学第2外科, <sup>4)</sup>千葉大学第2外科, <sup>5)</sup>岡山大学第1外科 ) : [一般講演] 15-Deoxyspergualin as an immunosuppressive agent in rats and dogs. International Organ Transplant Forum (Pittsburgh), 1987.
- 25) 雨宮浩<sup>1)</sup>, 深尾立<sup>2)</sup>, 土肥雪彦<sup>3)</sup>, 磯野可一<sup>4)</sup>, 折田薫三<sup>5)</sup>, 山中宣昭, 岩崎洋治<sup>2)</sup>, 曲直部寿夫<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>国立循環器病センター, <sup>2)</sup>筑波大学外科, <sup>3)</sup>広島大学第2外科, <sup>4)</sup>千葉大学第2外科, <sup>5)</sup>岡山大学第1外科 ) : [一般講演] 15-デオキシスパーガリンのイス同種移植に対する免疫抑制効果に関する多施設共同研究報告. 第23回日本移植学会総会, 1987.
- 26) 馬杉洋三 : [教育講演] メサングウムと反応する抗体投与による実験的腎炎. 第8回神奈川腎炎研究会, 1987.
- 27) 杉崎祐一 : [海外留学生講演] 腎糸球体 anionic site について. 第55回日本医科大学医学学会総会, 1987.
- 28) 温敏, 山中宣昭, 益田幸成, 石崎正通, 杉崎祐一, 馬杉洋三 : [一般講演] ハブ毒による腎糸球体メサングウムの変化について. 第55回日本医科大学医学学会総会, 1987.
- 29) 重田俊一<sup>1)</sup>, 小島直志<sup>1)</sup>, 路川健<sup>1)</sup>, 加藤仁志<sup>1)</sup>, 飯田正美<sup>1)</sup>, 溝口正明<sup>1)</sup>, 永積惇<sup>1)</sup>, 原一男<sup>1)</sup>, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 木村剛 ( <sup>1)</sup>第2内科 ) : [一般講演] 高齢発症した Progressive Systemic Sclerosis (PSS) の一部検例. 第360回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 30) Nakama, K.<sup>1)</sup>, Shichinohe, K.<sup>1)</sup>, Akimoto, T.<sup>1)</sup>, Shimizu, M.<sup>1)</sup>, Ishizaki, M., Kobayashi, K.<sup>2)</sup> and Tobe, M.<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>実験動物管理室, <sup>2)</sup>衛研 ) : [一般講演] The effect of sex steroids on the development of diabetes mellitus in WBN/Kob rats. National Institute of Hygienic Sciences (Geneve), 1987.
- 31) 青木美佳子, 川並汪一<sup>1)</sup>, 本田光芳<sup>2)</sup>, 馬杉洋三 ( <sup>1)</sup>第二病院病理部, <sup>2)</sup>皮膚科 ) : [一般講演] 肥満細胞の皮膚病変への関与と顆粒形態について. 第37回日本アレルギー学会総会, 1987.
- 32) 青木美佳子, 川並汪一<sup>1)</sup>, 石崎正通, 本田光芳<sup>2)</sup>, 馬杉洋三 ( <sup>1)</sup>第二病院病理部, <sup>2)</sup>皮膚科 ) : [一般講演] 肉芽腫形成性皮膚疾患における樹状細胞およびリンパ球の動態. 第37回日本アレルギー学会総会, 1987.
- 33) 益田幸成, 馬杉洋三 : [ワークショップ] 抗IV型コラーゲン血清による実験IgA腎症. 第30回日本腎臓学会総会, 1987.
- 34) 川口茂<sup>1)</sup>, 田中均<sup>1)</sup>, 星野賢二<sup>1)</sup>, 勝亦慶人<sup>1)</sup>, 益田幸成, 石崎正通, 山中宣昭, 馬杉洋三 ( <sup>1)</sup>自衛隊中央病院 ) : [一般講演] ddYマウスの腎糸球体内IgA沈着におよぼすLPSの影響について. 第30回日本腎臓学会総会, 1987.

- 35) 杉澤裕, 秋元成太<sup>1)</sup>, 山中宣昭, 益田幸成, 石崎正通, 杉崎祐一, 馬杉洋三 (<sup>1)</sup>泌尿器科) : [一般講演] 腎内組織液うっ滞のメサンギウムに及ぼす影響. 第30回日本腎臓学会総会, 1987.
- 36) 温敏, 山中宣昭, 益田幸成, 石崎正通, 杉崎祐一, 馬杉洋三 : [展示] メサンジウムの増殖性変化とmesangiolysis. 第30回日本腎臓学会総会, 1987.
- 37) 山中宣昭, 温敏, 杉澤裕, 益田幸成, 石崎正通, 杉崎祐一, 馬杉洋三 : [展示] 虚血による糸球体障害とメサンジウムの反応. 第30回日本腎臓学会総会, 1987.
- 38) 安保和俊<sup>1)</sup>, 伊藤加寿子<sup>1)</sup>, 宗像恵美子<sup>1)</sup>, 土屋正巳<sup>1)</sup>, 村上睦美<sup>1)</sup>, 山本博章<sup>1)</sup>, 植田穰<sup>1)</sup>, 石崎正通, 山中宣昭, 馬杉洋三 (<sup>1)</sup>小児科) : [一般講演] 10年以上経過を観察したMPGN 10例の臨床経過ならびに治療効果に関する検討. 第30回日本腎臓学会総会, 1987.
- 39) 石崎正通, 益田幸成, 杉崎祐一, 山中宣昭, 馬杉洋三 : [一般講演] 抗胸腺細胞抗体腎炎における糸球体病変の修復について. 第30回日本腎臓学会総会, 1987.
- 40) 田村浩一, 川本雅司, 佐々木健志<sup>1)</sup>, 池下正敏<sup>1)</sup>, 山手昇<sup>1)</sup>, 庄司佑<sup>1)</sup>, 馬杉洋三 (<sup>1)</sup>胸部外科) : [一般講演] 心筋梗塞後心室中隔穿孔の手術例における術創部治癒過程に対する病理組織学的検討. 第40回日本胸部外科学会総会, 1987.
- 41) 七戸和博<sup>1)</sup>, 清水真澄<sup>1)</sup>, 仲間一雄<sup>1)</sup>, 石崎正通, 馬杉洋三 (<sup>1)</sup>実験動物管理室) : [一般講演] 抗Thy-1.1抗体によって誘発されるmongolian gerbilの腎炎について. 第4回日本疾患モデル動物研究会総会, 1987.
- 42) Masuda, Y., Ishizaki, M. and Masugi, Y. : [展示] IgA mesangial deposits after the administration of sheep anti-typeIV collagen serum in mice. 7th Asian Colloquium in Nephrology (Taipei), 1987.
- 43) 小海信一<sup>1)</sup>, 猪口直美<sup>1)</sup>, 太田真夫<sup>1)</sup>, 金沢正邦<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup>, 米山剛一, 福田悠<sup>2)</sup>, 馬杉洋三 (<sup>1)</sup>第1内科, <sup>2)</sup>付属病院病理部) : [一般講演] 大動脈炎症候群に合併したネフローゼ症候群 (膜性増殖性糸球体腎炎) の一例. 第361回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 44) 福井康裕<sup>1)</sup>, 畠山省四朗<sup>1)</sup>, 小林昭<sup>1)</sup>, 小林弘樹<sup>1)</sup>, 山中宣昭 (<sup>1)</sup>東京電機大学理工学部) : [一般講演] 病理診断支援システムの開発; 知識データの収集とそのデータベース化. 第3回ライフサポートテクノロジー学会, 1987.
- 45) 七戸和博<sup>1)</sup>, 清水真澄<sup>1)</sup>, 秋元敏雄<sup>1)</sup>, 仲間一雄<sup>1)</sup>, 石崎正通 (<sup>1)</sup>実験動物管理室) : [一般講演] WBN/Kobラットのコロニー差の比較について. 第2回糖尿病動物研究会, 1988.
- 46) 竹内良夫<sup>1)</sup>, 西村葉子<sup>1)</sup>, 横室公三<sup>1)</sup>, 木村義民<sup>1)</sup>, 雑賀寿和<sup>2)</sup>, 石崎正通 (<sup>1)</sup>微生物免疫, <sup>2)</sup>眼科) : [シンポジウム] 実験的アレルギー性結膜炎モデルにおける小青龍湯の効果について. 第7回博多シンポジウム, 1988.
- 47) 木村剛, 吉田和弘<sup>1)</sup>, 山中吉郎<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup>, 杉崎祐一, 馬杉洋三 (<sup>1)</sup>泌尿器科) : [一般講演] PAおよびPAPの発現を認めた原発性膀胱腺移行上皮癌の一例. 第455回泌尿器科東京地方会 (東ブロック), 1988.

## 9. 第二病理学講座

### 研究概要

#### 1. 癌細胞の特性とその増殖制御

癌細胞の形態学的特性ならびに増殖制御につき、癌細胞のCEAの産生、DNA量の変動を検討するとともに、コラーゲン、フィブロネクチン、グリコサミノグリカン、ラミニンなど細胞外基質との関連に注目し、酵素抗体法等を導入し、病理学的に患者の予後との関連において検索した。その結果癌の増殖が細胞外基質の存在により制御され、分化度と関連し、細胞膜の性状に差異がみられた。

#### 2. 動脈硬化と関連疾患の発生

動脈硬化の臓器および疾患特異性につき、病理形態学的、形態計測的に検索をすすめている。梗塞症や糖尿病の膵病変の発生の上に特異的な動脈硬化が進展し疾患発生に関与していることを明らかとし、さらに、超音波顕微鏡やNMRを利用し、硬化病変の発生に係る水分代謝や血管性状など、その進展因子を客観的にとらえようと試みている。

#### 3. 血管増殖制御と細胞分化

細胞分化や病巣の進展あるいは治癒過程の上で局所の血管の役割りは注目されるが、微細血管の増生の機序にはいまだ不明な点が多い。ことに細胞外基質との関連で血管周囲の平滑筋細胞、線維芽細胞の働きやヒスタミン、プロスタグラディンと血管内皮細胞の関連性につき検討している。

#### 4. 骨格筋、中枢・末梢神経障害の発生機序

らい性神経障害や骨格筋障害の発生に局所のblood - tissue - barrierの障害が、直接的、間接的に関与する可能性に注目し検討をすすめている。

### 研究業績

#### 論文

- 1) Nishi, K.<sup>1)</sup>, Tokunaga, A.<sup>1)</sup>, Shimizu, Y., Yoshiyuki, T., Wada, M.<sup>1)</sup>, Matsukura, N.<sup>1)</sup>, Tanaka, N.<sup>1)</sup>, Onda, M.<sup>1)</sup> and Asano, G. (<sup>1)</sup>第1外科) : [原著] Immunohistochemical study of intracellular estradiol in human gastric cancer. *Cancer*, 59, 1328~1332, 1987.
- 2) 田口克司 : [原著] アルコール障害肝における類洞変化—特にフィブロネクチンの産生と血管増生の関連について. *肝臓*, 28, 439~446, 1987.
- 3) Aida, T., Murata, J., Asano, G., Kanda, Y.<sup>1)</sup> and Yoshino, Y.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2生化) : [原著] Effects of polyprenoic acid on thermal injury. *Br. J. Exp. Pathol.*, 68, 351~358, 1987.
- 4) Sato, T., Arai, K.<sup>1)</sup>, Ishiharajima, S. and Asano, G. (<sup>1)</sup>防衛医大皮膚科) : [原著] Role of glycosaminoglycan and fibronectin in endothelial cell growth. *Exp. Molec. Pathol.*, 47, 202~210, 1987.
- 5) Pongchairerks, P.<sup>1)</sup>, Matsukura, N.<sup>2)</sup>, Tokunaga, A.<sup>2)</sup>, Tanaka, N.<sup>2)</sup>, Onda, M.<sup>2)</sup>, Miki, M.<sup>3)</sup>, Asano, G. and Hirota, T.<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>ラマチオボデ病院外科, <sup>2)</sup>第1外科, <sup>3)</sup>第2病院外科, <sup>4)</sup>国立ガンセンター病理) : [原著] Lectin histochemical studies on gastric intestinal metaplasia with ulex europaeus agglutinin - 1 dolichos biflorus and peanut agglutinins in comparison with gastric and small and large intestinal mucosa. *Acta Histochem. Cytochem.*, 20, 147~161, 1987.
- 6) 佐藤俊次<sup>1)</sup>, 新井克志<sup>1)</sup>, 間武雄, 浅野伍朗 (<sup>1)</sup>防衛医大皮膚科) : [原著] 創傷治癒過程における血管内皮細胞の増殖制御因子. (第2報). *防衛医大誌*, 12, 65~72, 1987.
- 7) 藤田信輔 : [原著] D - ガラクトサミンにより惹起した急性肝不全における血液脳関門の電顕組織化学的研究.

日医大誌, 54, 290~299, 1987.

- 8) 河合尚基<sup>1)</sup>, 加藤久盛<sup>1)</sup>, 角田隆<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 浅野伍朗<sup>(<sup>1</sup>産婦人科)</sup>: [症例] 半頭骨全身無心体の一例. 日産婦会誌, 39, 1021~1024, 1987.
- 9) 大国寿士<sup>1)</sup>, 留目優子<sup>1)</sup>, 横室公三<sup>1)</sup>, 松山郁生, 浅野伍朗<sup>(<sup>1</sup>微生物, 免疫)</sup>: [原著] レンサ球菌細胞壁ペプチドグリカン投与によるラットにおける慢性多発性関節炎の誘導. リウマチ, 27, 88~96, 1987.
- 10) 守川悟: [原著] 糖尿病における膵病変発生への血管障害の影響. 胆と膵, 8, 873~880, 1987.
- 11) Fujita, S., Ishiharajima, S., Asano, G., Aramaki, T.<sup>1)</sup> and Okumura, H.<sup>1)</sup> (<sup>1</sup>第一内科): [原著] Membrane integrity of blood-brain barrier in experimental hepatic encephalopathy. J. Clin. Electron Microscopy, 20, 345~351, 1987.
- 12) 目々澤肇<sup>1)</sup>, 片山泰朗<sup>1)</sup>, 松本繁<sup>1)</sup>, 清水純<sup>1)</sup>, 鈴木悟<sup>1)</sup>, 赫彰朗<sup>1)</sup>, 石原島繁彦, 浅野伍朗<sup>(<sup>1</sup>第2内科)</sup>: [原著] 高血圧自然発症ラットおよびWistar-Kyotoラットにおけるアラキドン酸内頸動脈注入による虚血性脳障害発生の差異. 脳神経, 39, 751~760, 1987.
- 13) Murano, S.<sup>1)</sup>, Shirai, K.<sup>1)</sup>, Saito, Y.<sup>1)</sup>, Yoshida, S.<sup>1)</sup>, Ohta, Y.<sup>2)</sup>, Tsuchida, H.<sup>3)</sup>, Yamamoto, S.<sup>2)</sup>, Asano, G., Chen, C.H.<sup>4)</sup> and Albers, J. J.<sup>4)</sup> (<sup>1</sup>千葉大医学部内科, <sup>2</sup>千葉社会保険病院内科, <sup>3</sup>千葉東病院内科, <sup>4</sup>ハーバービュー医療センター): [原著] Impaired intermediate-density lipoprotein triglyceride hydrolysis in familial lecithin:cholesterol acyltransferase(LCAT) deficiency. Scand. J. Clin Lab. Invest., 47, 775~783, 1987.
- 14) 天神敏博, 庄司佑<sup>1)</sup>, 村上知之<sup>1)</sup>, 荻野哲朗<sup>2)</sup>, 佐々木功典<sup>2)</sup>, 高橋学<sup>2)</sup>, 浅野伍朗<sup>(<sup>1</sup>第2外科, <sup>2</sup>山口大学第2病理)</sup>: [原著] Rhodamin123を用いた細胞動態の解析; 特に制癌剤及びビタミンA誘導体の影響について. 日癌治療会誌, 22, 1341~1347, 1987.
- 15) 安成烈: [原著] 雪状炭酸圧抵療法後の太田母斑の組織学的変化. 日形会誌, 7, 505~514, 1987.
- 16) 平岡保紀<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup>, 浅野伍朗<sup>(<sup>1</sup>泌尿器科)</sup>: [原著] 手術のための前立腺の血行について. 西日泌尿, 49, 1317~1320, 1987.
- 17) 内藤善哉: [原著] 培養ヒト膵細胞の形態変化に対する細胞外基質の役割. 日医大誌, 54, 642~652, 1987.
- 18) Kuki, K., Takahashi, N., Takeda, H., Asano, G. and Shoji, T.<sup>1)</sup> (<sup>1</sup>第2外科): [原著] Cell growth regulation of scirrhous gastric carcinoma. 日医大誌, 55, 94~96, 1987.
- 19) 早田孝敬, 久保田茂<sup>1)</sup>, 俵末喜栄<sup>1)</sup>, 永井安<sup>1)</sup>, 永田登喜雄<sup>1)</sup> (<sup>1</sup>久保田産婦人科病院): [原著] Banazol(ボンゾール<sup>®</sup>)療法中に生じる不正出血に対する検討と対策. 産婦の世界, 39, 71~77, 1988.
- 20) 加藤久盛<sup>1)</sup>, 相谷佳子<sup>1)</sup>, 諏訪喜宣<sup>1)</sup>, 角田隆<sup>1)</sup>, 若麻績佳樹<sup>1)</sup>, 力武義之<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 山田宣孝, 浅野伍朗, (<sup>1</sup>産婦人科): [症例] 悪性腫瘍を強く疑った卵巣血管腫の1症例. 日産婦東京会誌, 37, 66~69, 1988.

#### 学会発表

- 1) 中川良一, 石原島繁彦, 山田宣孝, 浅野伍朗: [展示] 心筋壊死の発生に関する電顕的研究. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 2) 石原島繁彦, 浅野伍朗, 佐藤俊次, 新井克志: [一般講演] 血管内皮細胞増殖の細胞外基質の役割. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 3) 土谷春仁, 浅野伍朗: [一般講演] リンパ濾胞(LF)におけるPeanut Agglutinin(PNA)結合陽性細胞の分布とその意義について; 特に消化管悪性リンパ腫(ML)及び反応性リンパ腫(RLH)において. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 4) 浅野伍朗, 他: [一般講演] 胃粘膜に関する生検病理学的検討; 消化性潰瘍の背景胃粘膜を中心として. 第76回日本病理学会総会, 1987.

- 5) 吉行俊朗, 清水康仁, 林哲弘, 浅野伍朗, 他: [一般講演] ヒト胃癌およびヌードマウス移植胃癌における間質の変化. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 6) 原享, 松本光司, 浅野伍朗, 他: [一般講演] 肝内胆汁うっ滞の発生機序に関する実験病理学的研究. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 7) 村田順造, 石原島繁彦, 山田宣孝, 浅野伍朗: [一般講演] 末梢神経障害に合併する血管の微細構造的変化. 第60回日本らい学会総会, 1987.
- 8) 間武雄, 浅野伍朗, 佐藤俊次, 他: [展示] 創傷治癒過程における血管内皮細胞の増殖制御因子. 第30回日本形成外科学会総会, 1987.
- 9) 浅野伍朗, 新井克志, 佐藤俊次: [一般講演] 増殖期ケロイド表皮の微細構造的変化について. 第30回日本形成外科学会総会, 1987.
- 10) 牧野玲子, 安成烈, 福井誠, 村田順造, 浅野伍朗: [一般講演] 先天性扁平母斑治療とその組織学的検索 (第1報). 第30回日本形成外科学会総会, 1987.
- 11) Aida, T. et al.: [一般講演] Isolation of cDNA and genes of chicken prolyl 4-hydroxylase. The Association for Research in Vision and Ophthalmology (Florida), 1987.
- 12) Aida, T. et al.: [展示] Synthesis of prolyl-4-hydroxylase by cultured chicken cornea. The Association for Research in Vision and Ophthalmology (Florida), 1987.
- 13) 守川悟, 亀山孝二, 石原島繁彦, 山田宣孝, 浅野伍朗: [一般講演] 糖尿病膵への血管変化の影響. 第30回日本糖尿病学会総会, 1987.
- 14) Aida, T. et al.: [展示] Isolation and characterization of cDNA and gene of  $\beta$ -subunit of chicken prolyl 4-hydroxylase. American Society of Biological Chemists (Rockville Pike), 1987.
- 15) 村田順造, 石原島繁彦, 山田宣孝, 浅野伍朗: [一般講演] 末梢神経障害への血管変化の役割. 第28回日本神経病理学会総会, 1987.
- 16) 矢島幹久, 平野敏一, 石原島繁彦, 山田宣孝, 浅野伍朗: [一般講演] 臨床的に多発性硬化症が疑われた2剖検例. 第28回日本神経病理学会総会, 1987.
- 17) 内藤善哉, 会田邦晴, 中沢南堂, 浅野伍朗, 他: [一般講演] 膵癌細胞の形態, 機能に対する細胞外基質の役割. 第19回日本結合組織学会総会, 1987.
- 18) 高橋望, 竹田裕之, 浅野伍朗, 他: [一般講演] 胃癌における細胞外基質の免疫組織化学的検討. 第19回日本結合組織学会総会, 1987.
- 19) 亀山孝二, 木村俊二, 石原島繁彦, 山田宣孝, 浅野伍朗: [一般講演] 冠動脈硬化様病変に関する病理学的研究; 特に内膜肥厚と中膜伸展性についての検討. 第19回日本動脈硬化学会総会, 1987.
- 20) 亀山孝二, 木村俊二, 石原島繁彦, 山田宣孝, 浅野伍朗: [一般講演] 心筋梗塞症例における冠動脈変化の定性および定量的解析. 第28回日本脈管学会総会, 1987.
- 21) 間武雄: [海外留学者講演] プロリール4-ハイドロキシラーゼ (prolyl 4-hydroxylase) の活性調節機構. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 22) 松本光司, 原享, 浅野伍朗, 他: [一般講演] 肝内胆汁うっ滞の発生機序に関する病理学的研究. その3 減黄処置後の肝細胞の変化. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 23) 沖信雅彦, 中川良一, 村田順造, 石原島繁彦, 山田宣孝, 浅野伍朗: [展示] 実験的ラット骨格筋症に関する形態学的組織化学的研究; 特に Vitamin D 投与時の骨格筋と心筋変化の対比. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 24) 清水康仁, 吉行俊郎, 浅野伍朗, 他: [展示] 胃癌の内分泌学的特性に関する研究; Estrogen receptor (ER), Estradiol ( $E_2$ ), Epidermal growth factor (EGF). 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.

- 25) 浅野伍朗, 宮島道博<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>長野県がん検診センター病理) : [展示] 抗癌剤持続動注療法による進行, 局所再発乳癌の組織学的効果について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 26) 横山宗伯, 他 : [展示] 不明熱を主訴とし, 関節症状の乏しかったリウマチ性血管炎の1剖検例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 27) 浅野伍朗, 他 : [展示] 集簇型隆起性胃病変に類似した限局性隆起性胃病変の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 28) 清水康仁, 吉行俊郎, 林哲弘, 浅野伍朗, 他 : [展示] ノードマウス移植ヒト胃癌培養細胞腫瘍における腫瘍の増殖と間質の変化. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 29) Nakazawa, N., Naito, Z., Aida, K., Asano, G. et al. : [展示] Reversible expression of acinus tissue like characteristics of pancreatic carcinoma cells cultured on basement membrane matrigel. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 30) 西恵吾, 清水康仁, 吉行俊郎, 浅野伍朗, 他 : [展示] 胃癌におけるEstrogen receptor (ER) Estradiol (E<sub>2</sub>), Epidermal growth factor (EGF). 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 31) 吉行俊郎, 清水康仁, 浅野伍朗, 他 : [展示] ノードマウス可移植性ヒト胃癌組織における腫瘍と間質の変化. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 32) 高橋望, 竹田裕之, 久喜邦康, 天神敏博, 浅野伍朗, 他 : [一般講演] 胃癌における細胞外基質の性状についての免疫組織化学的検討. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 33) 竹田裕之, 高橋望, 天神敏博, 久喜邦康, 浅野伍朗, 他 : [展示] ヒト胃癌における基底膜の性状に関する免疫組織化学的検討. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 34) Nakagawa, R., Murata, J., Kimura, K., Ishihara-jima, S., Yamada, N. and Asano, G. : [一般講演] Ultrastructural changes in myocardium of hypervitaminosis D rat. 第19回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1987.
- 35) Hara, T., Matsumoto, K. and Asano, G. : [一般講演] Ultrastructural and enzyme histochemical study of bile ductular cells in experimentally induced cholestasis. 第19回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1987.
- 36) Murata, J., Matsumoto, K. and Asano, G. : [一般講演] Changes of neuro-muscular junction in denervation skeletal muscle. 第19回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1987.
- 37) Yoshihiro, T., Hirano, T., Asano, G. et al. : [一般講演] Histochemical observation of salivary gland tumors with special reference to Ca<sup>++</sup>-ATPase activity. 第19回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1987.
- 38) Kuki, K., Asano, G. et al. : [展示] Role of extracellular matrix in scirrhous carcinoma of human gastric cancer. The 8th Asia Pacific Cancer Conference (Seoul), 1987.
- 39) Hirano, T., Yoshihiro, T., Asano, G. et al. : [一般講演] Role of myoepithelial cell in human salivary gland tumors. The 8th Asia Pacific Cancer Conference (Seoul), 1987.
- 40) 林哲弘, 工藤光洋, 浅野伍朗 : [一般講演] ヒトおよびラットにおけるNa-K-ATPaseの局在に関する免疫組織化学的検討. 第28回日本組織細胞化学学会総会, 1987.
- 41) 原享, 松本光司, 林哲弘, 浅野伍朗 : [一般講演] 黄疸肝における胆管上皮細胞の組織化学的变化. 第28回日本組織細胞化学学会総会, 1987.



## 10. 微生物学・免疫学講座

### 研究概要

免疫学：免疫系と免疫系以外の組織との相互作用を検索するという方法で、生体を統御する免疫系の新しい役割を探っている。肝再生に伴って免疫系が活性化すること、活性化した免疫系によって肝再生が修飾されること等を明らかにしてきた。異物の認識と排除という、従来考えられてきた免疫系の役割とやや異なると思われるこのような免疫系の活性化の機序とその役割について、培養肝細胞を使用して解析を進めている。

感染アレルギー：①レンサ球菌感染後糸球体腎炎の発症に関与すると考えられる蛋白質に対し、モノクローナル抗体を作製し、これを用いてペプチドマッピングを行い、その化学構造の解明を進めている。②レンサ球菌細胞壁ペプチドグリカンを用いて、実験的慢性多発性関節炎、冠状動脈炎を惹起し、その機序を検索している。

薬剤アレルギー：①薬剤がアレルギーを惹起する機序の一つとして、薬剤の生体蛋白への非特異的結合が考えられている。この機序をformicinを用いて研究中である。②アレルギー疾患に対する漢方薬の効果を、chemical mediatorsに及ぼす影響を指標に解析を進めている。

ウイルス学：①本邦とタイ国におけるインフルエンザの疫学調査をもとに、モノクローナル抗体を用いて、その抗原変異の機序を解明することをこころみている。②単純ヘルペスウイルスの感染に関与する、いわゆるHSVgD蛋白の構成 peptide を合成し、これをリボソームに結合し前投与することによって、ヘルペスウイルスの感染が強く抑制されることを証明した。本ウイルスの感染と発症に免疫系の果たす役割を、分子 level で解明する道を追及している。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 大国寿士, 留目優子: [総説] A群レンサ球菌の培養と迅速診断法. 検と技, 15, 1054~1057, 1987.
- 2) 江口儀太<sup>1)</sup>, 渡部博道<sup>1)</sup>, 野沢富一<sup>1)</sup>, 菅井光明<sup>2)</sup>, 若林恒郎<sup>3)</sup>, 手代木正<sup>3)</sup>, 留目優子, 大国寿士 (<sup>1)</sup>北村山公立病院小児科, <sup>2)</sup>同検査科, <sup>3)</sup>第一病院小児科): [原著] "Culturette Brand Ten - Minute Group A Strep ID" の使用経験; A群レンサ球菌同定法である StrepID 法と培養法の比較検討. 小児臨, 40, 1201~1204, 1987.
- 3) 竹内良夫, 西村葉子, 中川洋子, 雑賀寿和<sup>1)</sup>, 清水由規<sup>1)</sup>, 新井孝司<sup>2)</sup>, 石橋正通<sup>2)</sup>, 横室公三, (<sup>1)</sup>付属病院眼科, <sup>2)</sup>第1病理): [原著] ヒスタミン加モルモット  $\gamma$ -グロブリンの実験的アレルギー性結膜炎モデルに及ぼす薬理効果. あたらしい眼科, 4, 683~687, 1987.
- 4) Arimitsu, Y.<sup>1)</sup>, Kobayashi, S.<sup>2)</sup>, Matsushashi, T.<sup>1)</sup>, Suzuki, H., Yamaji, Y., Suprasert, S.<sup>3)</sup> and Supawadee, J.<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>Department of Applied Immunology, National Institute of Health, <sup>2)</sup>Asaka Laboratories, Fuji Photo Film Co. Ltd, <sup>3)</sup>Faculty of Medicine, Chiang Mai University, Chiang Mai): [原著] Epidemiological studies on leptospirosis in Chiang Mai (Thailand). Epidem. Inf., 98, 97~100, 1987.
- 5) Takeuchi, Y.<sup>1)</sup>, Nakayama, M.<sup>2)</sup>, Kupradinunt, S.<sup>3)</sup>, Satsuta, K.<sup>4)</sup>, Suzuki, H., Yamaji, Y., Takahashi, K.<sup>4)</sup>, Pongpratt, B.<sup>5)</sup>, Suprasert, S.<sup>5)</sup>, Supawadee, J.<sup>6)</sup> and Chanwanit, P.<sup>7)</sup> (<sup>1)</sup>Chiba Prefectural Serum Institute, <sup>2)</sup>Division of Virus and Rickettsia, National Institute of Health, <sup>3)</sup>National Institute of Health Bangkok, <sup>4)</sup>Department of Hygiene and Public Health, <sup>5)</sup>Department of Family Medicine, Chiang Mai University, <sup>6)</sup>Department of Microbiology, Chiang Mai University, <sup>7)</sup>Department of Pediatrics, Chiang Mai University): [原著] Isolation of influenza virus in Thailand in December, 1985 and January, 1986. 日医大

誌, 54, 346~348, 1987.

- 6) 大國寿士, 留目優子, 横室公三, 松山郁生<sup>1)</sup>, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理): [原著] レンサ球菌ペプチドグリカン投与によるラットにおける慢性多発性関節炎の誘導. リウマチ, 27, 88~96, 1987.
- 7) Saizawa, M., Mabuchi, A., Yokomuro, K. and Kimura, Y.: [原著] Antigen-specific T cell cluster formation on antigen-pulsed macrophage monolayers in mice. Microbiol. Immunol., 31, 779~792, 1987.
- 8) 山本隆彰: [原著] Streptococcal nephritis-strain associated proteinの精製と性状についての研究. 日医大誌, 54, 403~412, 1987.
- 9) 吉村和泰: [原著] Nephritis-strain associated protein (NSAP) に対するモノクローナル抗体を用いたウェスタンブロット法によるNSAPの検索. 日医大誌, 54, 413~418, 1987.
- 10) Ohkuni, H., Todome, Y., Yamamoto, A.<sup>1)</sup>, Usami, H.<sup>1)</sup>, Tada, S.<sup>1)</sup>, Yokomuro, K. and Sugawara, Y.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Medical Science Center, Applied Research Labs, Chugai Pharmaceutical Co. Ltd.): [原著] Absence of nephritis strain associated protein (NSAP) in the extra cellular product of streptococcus pyogenes strain Su. J. Clin. Lab. Immunol., 23, 209~211, 1987.
- 11) 西川文雄, 杉山貞次<sup>1)</sup>, 山本紀一<sup>1)</sup>, 武内安恵<sup>1)</sup>, 秋田美千代<sup>2)</sup>, 阿部博<sup>2)</sup>, 中島節子<sup>3)</sup>, 鈴木博, 山地幸雄 (<sup>1)</sup>国立予防衛生研究所ウイルスリケッチャ部, <sup>2)</sup>社会保険蒲田総合病院小児科, <sup>3)</sup>国立公衆衛生院): [原著] 東京蒲田地区のインフルエンザ流行で観察された前駆波現象について; 疫学的考察とウイルス学的解析の試み. 臨床とウイルス, 15, 361~368, 1987.
- 12) Takahashi, H., Takeshita, T. and Yokomuro, K.: [原著] Suppression of liver regeneration resulting from intravenous injection of splenic glass adherent cells activated by Poly I:C. Immunobiology, 176, 217~227, 1987.
- 13) 小橋修<sup>1)</sup>, 小橋悠紀子<sup>1)</sup>, 大國寿士, 留目優子, 金城満<sup>2)</sup>, 重松信昭<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>九大医学部胸部疾患研究施設, <sup>2)</sup>九大医学部病理): [原著] 水溶性連鎖菌細胞壁の全身投与による急性および慢性多発性関節炎と血中ペプチドグリカン抗体産生. 炎症, 7, 529~533, 1987.
- 14) Ohkune, H., Todome, Y., Yokomuro, K., Kimura, Y., and Ishizaki, M.<sup>1)</sup>, Masugi, Y.<sup>1)</sup> and Hamada, S.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>1st Department of Pathology, <sup>2)</sup>Department of Oral Bacteriology Osaka University Dental School): [原著] Coronary arteritis in mice after systemic injection of bacterial cell wall peptidoglycan. Jpn. Cir. Journal, 51, 1357~1361, 1987.
- 15) Nishikawa, F., sugiyama, T.<sup>1)</sup>, Akita, M.<sup>2)</sup>, Abe, H.<sup>3)</sup>, Suzuki, H. and Yamaji, Y. (<sup>1)</sup>Dept. of Virology of Rickettsiology, NIH, <sup>2)</sup>Dept. of Pediatrics, Social Insurance Associations Kamata General Hospital, <sup>3)</sup>Dept. of Home Economics, Seitoku Gakuen Junior Collage for Women): [原著] Epidemiological research on the phenomenon of the influenza herald wave. 日医大誌, 54, 684~687, 1987.
- 16) Todome, Y., Ohkuni, H., Yokomuro, K., Kimura, Y., Hamada, S.<sup>1)</sup>, Juhnstan, K.H.<sup>2)</sup> and Zabriskie, J.B.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>Dept. of Oral Microbiol Osaka University Dental School, <sup>2)</sup>Rockefeller University): [原著] Enzyme-linked immunosorbent assay of antibody against group A streptococcus specific C carbohydrate with trypsin-pronase treated whole cells as antigen. J. Clin. Microbiol., 26, 464~470, 1988.
- 17) Usami, H.<sup>1)</sup>, Yamamoto, A.<sup>1)</sup>, Yamashita, W.<sup>1)</sup>, Sugawara, Y.<sup>1)</sup>, Hamada, S.<sup>2)</sup>, Yamamoto, T.<sup>2)</sup>, Kato, K.<sup>4)</sup>, Kakeguchi, S.<sup>4)</sup>, Ohkuni, H. and Kotani, S.<sup>5)</sup> (<sup>1)</sup>Applied Research Lab. Chugai pharmaceutical Co. Ltd, <sup>2)</sup>Dept. of Oral Microbiol., Osaka University Dental School, <sup>3)</sup>Denision of Oral Microbiol., NIH <sup>4)</sup>Dept. of Oral Microbiol., Okayama University Dental School, <sup>5)</sup>Osaka Collage of Medical Technology): [原著] Antitumour effects of streptococcal lipoteichoic acid on Meth A fibrosarcoma. Br. J. Cancer, 57, 70~73, 1988.

## 著 書

- 1) 竹内良夫：〔共著〕漢方と免疫アレルギー。メディカルトリビューン社，1987.
- 2) 横室公三：〔分担〕臓器再生と免疫統御。第22回日本医学会総会誌，p. 60，1987.

## 学会発表

- 1) 留目優子，大国寿士，横室公三：〔一般講演〕酵素処理菌体を抗原とした ELISA 法による A 群レンサ球菌 C；多糖体抗体の測定。第61回日本感染症学会総会，1987.
- 2) 工藤厚<sup>1)</sup>，工藤忍<sup>1)</sup>，大国寿士，留目優子（<sup>1)</sup>医療法人玲仁会工藤整形外科皮膚科）：〔一般講演〕小児の成長痛といわれている膝関節痛と溶連菌感染症。第61回日本感染症学会総会，1987.
- 3) 藤川敏<sup>1)</sup>，大原有美子<sup>1)</sup>，塙佳生<sup>1)</sup>，大国真彦<sup>2)</sup>，大国寿士，留目優子（<sup>1)</sup>独協大小児科，<sup>2)</sup>日大小児科）：〔一般講演〕リウマチ熱，リウマチ性心疾患におけるレンサ球菌多糖体抗体の酵素免疫法による測定結果について。第90回日本小児科学会総会，1987.
- 4) 大国寿士：〔招待講演〕レンサ球菌感染と急性糸球体腎炎。第20回レンサ球菌感染症研究会（創立20周年記念総会），1987.
- 5) Nakayama, M.<sup>1)</sup>, Kitano, T.<sup>1)</sup>, Oya, A.<sup>1)</sup>, Aoyama, K.<sup>2)</sup>, Takeuchi, Y.<sup>3)</sup>, Kimura, M.<sup>4)</sup>, Mizutani, H.<sup>5)</sup> and Yamazi, Y. (<sup>1)</sup>National Institute of Health, Tokyo, <sup>2)</sup>Metropolitan Medical Center of the Severely Handicaped, <sup>3)</sup>Chiba Prefectural Serum Institute, <sup>4)</sup>University of Tokai, <sup>5)</sup>Kanto communicable Hospital) : 〔一般講演〕Intranasal inoculation of ether-treated trivalent influenzavaccine. VIIth International Congress of Virology (Edmonton), 1987.
- 6) Yamazi, Y., Suzuki, H., Takeuchi, Y.<sup>1)</sup>, Nakayama, M.<sup>2)</sup>, Oya, A.<sup>2)</sup>, Sato, Y.<sup>3)</sup>, Nakamura, K.<sup>4)</sup>, Pongprote, B.<sup>5)</sup>, Suprasert, S.<sup>5)</sup> and Supawadee, J.<sup>5)</sup> (<sup>1)</sup>Chiba Prefectural Serum Institute, <sup>2)</sup>National Institute of Health, Tokyo, <sup>3)</sup>Hygienic Institute of Yamanashi Prefecture, <sup>4)</sup>Hygienic Institute of Nagano Prefecture, <sup>5)</sup>University of Chiang Mai) : 〔一般講演〕Antigenic analysis of type B influenza virus; HI tests with adsorbed rabbit antisera and impact of passage history of the virus. VIIth International Congress of Virology (Edmonton), 1987.
- 7) Takeuchi, Y. and Kimura, Y. : 〔シンポジウム〕Anti-allergic action of Sho-seiryu-to. 10th International Congress of Pharmacology (New Zealand), 1987.
- 8) Todome, Y., Ohkuni, H., Yokomuro, K., Kimura, Y., Hamada, S.<sup>1)</sup>, Johnston, K.H.<sup>2)</sup> and Zabriskie, J.B.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>Department of Oral Bacteriology, Osaka University Dental School, <sup>2)</sup>Rockefeller University) : 〔一般講演〕Measurement by ELISA of antibody against C-Carbohydrate antigen (A-CHO) of group A streptococcus with enzyme-treated whole cells as antigen. Xth Lancefield International Symposium on Streptococci and Streptococcal Diseases (Cologne), 1987.
- 9) Ohkuni, H., Todome, Y., Yokomuro, K., Kimura, Y., Johnston, K.H.<sup>1)</sup> and Zabriskie, J.B.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Rockefeller University) : 〔一般講演〕Detection of nephritis-strain associated protein (NSAP) in streptococcal strains by western blot analysis using monoclonal antibody to NSAP. Xth Lancefield International Symposium on Streptococci and Streptococcal Diseases (Cologne), 1987.
- 10) 内田拓実<sup>1)</sup>，渡理英二，中川洋子，西沢高士，馬淵綾子，横室公三，奥村英正<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1内科）：〔一般講演〕マウス肝臓アルギナーゼの精製とその細胞増殖抑制効果の検討。第37回日本アレルギー学会総会，1987.
- 11) 竹内良夫：〔招待講演〕I 型アレルギー反応における小青竜湯の薬理作用。神奈川県耳鼻科漢方研究会，1987.
- 12) 渡理英二，平野詳子，山地幸雄：〔一般講演〕ヘルペスウイルス gD 及びその合成ペプチドの抗原性の解析.

第35回日本ウイルス学会総会, 1987.

- 13) 森川裕子, 吉川泰弘, 山内一也, 山地幸雄: [一般講演] 麻疹ウイルス温度感受性変異株の性状. 第35回日本ウイルス学会総会, 1987.
- 14) 西川文雄, 秋田美千代<sup>1)</sup>, 杉山貞次<sup>2)</sup>, 鈴木博, 山地幸雄, 阿部博<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>社会保険蒲田総合病院小児科, <sup>2)</sup>国立予防衛生研究所ウイルスリケッチャ部, <sup>3)</sup>聖徳学園短大家政学科): [一般講演] 1985~87年に観察されたインフルエンザ前駆波現象. 第35回日本ウイルス学会総会, 1987.
- 15) 山地幸雄, 中山幹男, 武内安恵, 高橋修和, 鈴木博, 西川文雄, 中村和幸, 佐藤譲, 三浦雅美: [一般講演] 1985年に日本とタイ国で流行したB型インフルエンザウイルスのMDCK増殖ウイルスおよびふ化鶏卵増殖ウイルスの抗原構造とウイルスの性状. 第35回日本ウイルス学会総会, 1987.
- 16) 山地幸雄, 武内安恵<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>千葉血清): [一般講演] 日本とタイのインフルエンザ. 第29回熱帯医学会総会, 1987.
- 17) 渡理英二, 山地幸雄: [一般講演] ヘルペスウイルスgDおよびその合成ペプチドによるT細胞応答. 第17回日本免疫学会総会, 1987.
- 18) 馬淵綾子, 横室公三, 末澤梨佳, 新谷真理子<sup>1)</sup>, 山下浩二, 本田光芳<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>皮膚科): [一般講演] 免疫系による生体の統御 (XXII). 培養肝細胞による同系脾細胞の増殖とMLRの抑制. 第17回日本免疫学会総会, 1987.
- 19) 中川洋子, 渡理英二, 小室敏郎, 馬淵綾子, 横室公三, 村田順造<sup>1)</sup>, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理): [一般講演] 免疫系による生体の統御 (XXIII). 肝細胞培養上清中に存在する活性因子の研究; 脾臓T細胞活性化因子とMLR抑制因子について. 第17回日本免疫学会総会, 1987.
- 20) 坂本俊樹, 馬淵綾子, 横室公三, 厨信一郎<sup>1)</sup>, 庄司佑<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第3内科, <sup>2)</sup>第2外科): [一般講演] 肝再生と造血系; 肝再生に伴って起こる造血幹細胞の変動と, 肝細胞のCSF産生能の変化. 第17回日本免疫学会総会, 1987.
- 21) 内田拓実<sup>1)</sup>, 渡理英二, 西澤高士, 馬淵綾子, 横室公三, 奥村英正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1内科): [一般講演] 免疫系による生態の統御 (XXIV). 再生肝非実質細胞におけるアレギナーゼ活性の増殖とその意義. 第17回日本免疫学会総会, 1987.
- 22) 西澤高士, 馬淵綾子, 横室公三: [一般講演] 膠着性肝非実質細胞とリンパ球の相互作用. 第17回日本免疫学会総会, 1987.
- 23) 横室公三, 馬淵綾子, 末澤梨佳, 新谷真理子<sup>1)</sup>, 山下浩二, 本田光芳<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>皮膚科): [一般講演] 免疫系による生体の統御 (XXV). 肝非実質細胞による培養肝実質細胞の増殖の制御. 第17回日本免疫学会総会, 1987.
- 24) 藤川敏<sup>1)</sup>, 塙佳生<sup>1)</sup>, 渡辺言夫<sup>2)</sup>, 大国真彦<sup>3)</sup>, 留目優子, 大国寿士 (<sup>1)</sup>独協大小児科, <sup>2)</sup>杏林大小児科, <sup>3)</sup>日大小児科): [一般講演] 酵素免疫法によるASO (anti-streptolysin O) の測定について. 心臓リウマチ予防研究会議, 1988.
- 25) 竹内良夫: [シンポジウム] アレルギー性結膜炎に対する小青竜湯の効果. 博多シンポジウム, 1988.

## 11. 衛生学・公衆衛生学講座

### 研究概要

1985年講座主任乗木より南への移行に伴い教室の研究および社会臨床の方向が感染症の疫学から、労働衛生、環境衛生の方向へ変わってきた。特に化学的環境条件と人体への影響の研究に移行してきている。主なテーマは、

- 1) 有害環境汚染物質と活性酸素種の相互作用による臓器障害。
- 2) 環境汚染物質、食品汚染物質などによる中枢神経系の細胞変性について。
- 3) 労働によるいわゆるストレス (stressor) で、生体側のひずみ (stress), 特に循環器系や、カテコラミン代謝にどう表現されるかの検索などが主な研究テーマである。

他科との共同研究については、中毒物質による急性中毒事例で救命救急センターへ入院した者の体液中有害物濃度の測定や、中毒に特有で必須な臨床検査の実施を行っている。その上、救命救急センターとの協同で、中毒症例研究を行い、少なくとも年2例が関連学会で報告されている。(大塚教授, 山本助教授, 須崎助手の御協力をいただいている)。

また、第一外科における腸管感染症、内毒素におけるショック時の活性酸素種の動態の研究への協力や、第三内科での血液疾患のうち産業中毒と係わりのある事例への研究協力なども行ってきた。

フィールド調査では、機械、工具による手指障害、ペンセン、イソプロパノール取り扱い職場の環境測定と人体影響、塗装工場で有機溶剤へのアルデヒド混入による皮膚障害の調査(皮膚科本田教授のアドバイスに感謝申し上げます)などがある。

### 研究業績

#### 論文

- 1) Takeuchi, Y.<sup>1)</sup>, Nakayama, M.<sup>2)</sup>, Satsuta, K., Suzuki, H.<sup>3)</sup>, Yamazi, Y.<sup>3)</sup> and Takahashi, K.<sup>3)</sup> (1)千葉血清, 2)国立予防衛生研究所, 3)微生物・免疫): [原著] Isolation of influenza virus in Thailand in December, 1985 and January, 1986. 日医大誌, 54, 346~348, 1987.
- 2) 岩谷了: [原著] 向老期危機からみた高齢者医療の実際. 日医大誌, 54, 393~402, 1987.
- 3) Nagatsu, T.<sup>1)</sup> and Hirata, Y. (1)名大・医・生化1): [原著] Inhibition of the tyrosine hydroxylase system by MPTP, 1-methyl-4-phenyl-pyridinium ion (MPP<sup>+</sup>) and structurally related compounds in vitro and in vivo. Eur. Neurol., 26, 11~15, 1987.
- 4) 金谷通: [原著] *Vibrio cholerae* non O-1に関する生態学的研究; 水系環境における *Vibrio cholerae* O-1との比較. 日医大誌, 54, 519~527, 1987.
- 5) 鈴木繁: [原著] 血清中の蛋白分画 (Albuminと $\gamma$ -Globulin) と血清総蛋白濃度間に存在する平衡関係のモデル化とその肝機能障害時の変動に及ぼす要因の検討. 日医大誌, 54, 528~539, 1987.
- 6) Sawada, M.<sup>1)</sup>, Hirata, Y., Minami, M. and Nagatsu, T.<sup>2)</sup> (1)藤田学園保衛大・総医研, 2)名大・医・生化1): [原著] Effects of thyrotropin releasing hormone and its analogue, DN-1417, on bipterin concentration and tryptophan hydroxylation in rat raphe slices. Life Sci., 41, 2733~2737, 1987.
- 7) Minami, M., Hirata, Y., Nakayama, C. and Aikawa, Y.: [原著] Modification of the superoxide dismutase activity by a toxic organic compound and its toxicological significance. Seminars Toxicol. Mech., 1, 85~96, 1987.
- 8) Kiuchi, K.<sup>1)</sup>, Hirata, Y., Minami, M. and Nagatsu, T.<sup>1)</sup> (1)名大・医・生化1): [原著] Effect of 7-3-[4-

- (2,3 - dimethylphenyl)piperaziny] propoxy - 2(1H) - quinolinone (OPC - 4392), a newly synthesized agonist for presynaptic dopamine D2 receptor, on tyrosine hydroxylation in rat striatal slices. Life Sci., 42, 343~349, 1988.
- 9) Rausch, W.D.<sup>1)</sup>, Hirata, Y., Nagatsu, T.<sup>2)</sup>, Riederer, P.<sup>3)</sup> and Jellinger, K.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>オーストリア獣医大学, <sup>2)</sup>名大・医・生化<sup>1)</sup>, <sup>3)</sup>Wurzburg大学): [原著] Tyrosine hydroxylase activity in caudate nucleus from Parkinson's disease; Effects of iron and phosphorylating agents. J. Neurochem., 50, 202~208, 1988.
- 10) 薩田清明: [原著] 生気象学的にみたわが国のインフルエンザ流行の実態について. 日生気象会誌, 25, 35~41, 1988.

## 著 書

- 1) 高橋亨: [分担] 胃粘膜下腫瘍. “消化管内視鏡診断 胃Ⅲビジュアル医学書シリーズ③” (平塚秀雄企画監修, 江崎昌俊企画編集), p.7~14, アイオニクス株式会社, 1987.

## 学会発表

- 1) 南正康, 平田洋子, 中山千登勢, 相川由美: [一般講演] 有害物による酵素活性抑制作用を斥ける酵素分子の固有な能力について (SODをモデルとして). 第60回日本産業衛生学会総会, 1987.
- 2) 薩田清明: [一般講演] 相対湿度の面からみたインフルエンザ流行の実態について. 第61回日本感染症学会総会, 1987.
- 3) 薩田清明: [一般講演] インフルエンザの流行と相対湿度について. 第57回日本衛生学会総会, 1987.
- 4) 酒巻敏夫<sup>1)</sup>, 森本三千代<sup>1)</sup>, 加藤延雄<sup>1)</sup>, 柚木斉, 村山隆雄<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>保健体育, <sup>2)</sup>日本獣医畜産大): [一般講演] 看護学生の入学時におけるCMIと体力テストについて. 第42回日本体力医学会大会, 1987.
- 5) 森本三千代<sup>1)</sup>, 酒巻敏夫<sup>1)</sup>, 加藤延雄<sup>1)</sup>, 柚木斉, (<sup>1)</sup>保健体育): [一般講演] 茨城県八郷町小学生の体格と体力テストについて. 日本体育学会第38回大会, 1987.
- 6) 平田洋子, 山口照英<sup>1)</sup>, 柿沼カツ子<sup>1)</sup>, 永津俊治<sup>2)</sup>, 南正康 (<sup>1)</sup>都臨床研・炎症, <sup>2)</sup>名大・医・生化<sup>1)</sup>): [一般講演] MPP<sup>+</sup>の好中球活性酸素生成系におよぼす影響. 第60回日本生化学会大会, 1987.
- 7) 政田正弘<sup>1)</sup>, 平田洋子, 永津俊治<sup>2)</sup>秋野美樹<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>都立大・理・生物, <sup>2)</sup>名大・医・生化<sup>1)</sup>, <sup>3)</sup>工学院大・工化): [一般講演] フェニルピリジン誘導体によるテトラヒドロピオブテリン生合成の阻害. 第60回日本生化学会大会, 1987.
- 8) 薩田清明, 長谷部昭久<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>杉並区衛生試験所): [一般講演] インフルエンザワクチンの予防効果について. 第38回日本学校保健学会総会, 1987.
- 9) 八代悠紀子<sup>1)</sup>, 高橋亨, 柚木斉, 高橋修和<sup>2)</sup>, 吉川泉<sup>3)</sup>根本友己<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>国立公衆衛生院, <sup>2)</sup>老人病研究所, <sup>3)</sup>東京都麻布保健所, <sup>4)</sup>東京学芸大・付属養護): [一般講演] 地域における脳卒中患者の状況; 患者・家族に対する質問紙調査から. 第52回日本民族衛生学会総会, 1987.
- 10) 藤岡新治<sup>1)</sup>, 高橋亨, 伊藤末博<sup>2)</sup>, 丸山芳也<sup>2)</sup>, 荻野新六<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>専修大・商, <sup>2)</sup>心理, <sup>3)</sup>大富士病院): [一般講演] 精神障害者に対するイメージ変化の研究; 看護学生の精神病院実習の資料から. 第52回日本民族衛生学会総会, 1987.
- 11) 薩田清明: [一般講演] インフルエンザの流行と気象との関係について. 第46回日本公衆衛生学会総会, 1987.
- 12) 若山葉子, 柚木斉: [展示] 工場労働者の肝機能および血清蛋白分画値. 第46回日本公衆衛生学会総会, 1987.
- 13) 尾沢ますみ<sup>1)</sup>, 高橋修和<sup>1)</sup>, 高橋亨, 柚木斉, 八代悠紀子<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>老人病研究所, <sup>2)</sup>国立公衆衛生院): [展示] インフルエンザワクチン接種による高齢者のHI抗体産生並びに副作用についての検討. 第46回日本公衆衛生学会

総会，1987.

- 14) 黒沢純夫，南正康：〔一般講演〕引金付工具・振動工具作業者の弾発指について．第160回日本産業衛生学会関東地方会，1988.
- 15) 薩田清明：〔一般講演〕インフルエンザワクチンの効果について．第58回日本衛生学会総会，1988.
- 16) 若山葉子，勝又聖夫，田口真，柚木斉：〔一般講演〕猿島肝炎（ウイルス肝炎）の疫学的研討－27－．第58回日本衛生学会総会，1988.

## 12. 法医学講座

### 研究概要

当教室は以下の研究テーマで、救急医学、眼科学、精神医学、化学、病理学等の各教室と共同研究を行っている。その他に、法医免疫血清学として親子鑑定を行い、赤血球型、血清型、赤血球酵素型、HLA型、染色体型などから遺伝学的検討を行っている。

#### 法医中毒学

- 1) アルコール研究：昭和62年度学術研究振興資金が研究課題「アルコール代謝機構とその臓器障害性」（渡辺研究室長）に対し交付され、第1内科、老人病研究所、病理学、中央電顕、日本獣医畜産大学分子腫瘍学と共同し、アルコール代謝機構と臓器障害性の機序を解明すべく研究に着手した。このように基礎医学と臨床医学が共同し、様々の角度からアルコール問題の究明に当たることは有意義なものと思われる。
- 2) 急性薬毒物中毒：近年救急医療体制の整備に伴い、薬毒物の迅速な定性、定量が救急医療にとっても重要となってきた。本学付属病院のCCMと共同し、緊急薬毒物分析のコンピューター化を検討している。システム化の進んでいる米国を参考にしながら、日本で使用頻度の高い薬毒物を基盤に、TLC、GC、HPLC、NMR等の分析機器を用いた独自の開発を検討している。特にHPLCでは多波長検出器を使用することにより薬物の一斉分析と精神神経系の分析が可能となった。また、NMRにより種々薬物投与時の脳内エネルギー代謝、水の緩和時間等のin vivoでの経時測定が可能となり、今後、中毒機序の解明に有効となろう。
- 3) 微量金属の分析：生体試料中の微量金属の測定には中性子放射化分析法が優れている。Se白内障の際の水晶体内のSe濃度を立教大学原子炉を用いて測定し、障害との関連を検討した。
- 4) 脳死について：最近、わが国でも、脳死を死と認め心臓器移植に向う動きが活発になってきた。そこで、われわれは法医学的立場から、もう一度、この問題を検討し直している。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 渡辺日章, 仁平信, 真下啓子, 林田眞喜子, 平川慶子, 田中幹夫<sup>1)</sup>, 永井俊<sup>1)</sup>, 後藤修<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>化学, <sup>2)</sup>眼科) : [その他] 中性子放射化分析法による生体試料中の微量金属の定量. 立教大学原子炉共同利用研究経過報告書 (昭和61年度), UTRCN-R-16, 54~56, 1987.
- 2) 山本保博, 渡辺日章, 浅野伍朗: [報告] 臨床学的見地から見た被災患者の病態と有毒ガスの本態について. カメルーン・ガス災害講演論文集岡山大学地球内部研究センター, ISS0911-4122-Ser. C. No. 4, 141~147, 1987.
- 3) 須崎紳一郎, 林田眞喜子: [原著] 中毒迅速分析の臨床への応用. 医のあゆみ, 143, 5~9, 1987.
- 4) 神野清勝, 桑島幹, 林田眞喜子, 渡辺日章, 本堂敏信: [原著] HPLCにおける急性中毒原因物質の同定への保持予測システムの応用. Chromatography, 8, 65~66, 1987.
- 5) Jinno, K., Kuwajima, M., Hayashida, M., Watanabe, T. and Hondo, T.: [原著] Automated identification of toxic substances in poisoned human fluids by a retention prediction system in reversed-phase liquid chromatography. Journal of Chromatography, 436, 11~21, 1987.
- 6) 高木宏昌, 倉岡幸令, 遠藤俊吉, 林田眞喜子, 仁平信, 渡辺日章: [原著] パーソナルコンピュータを用いた多波長検出器付MULTI-HPLCシステムによる向精神薬の分析; とくに多剤同時測定における有用性. Jpn. J. Psychopharmacol., 8, 247~248, 1988.
- 7) 仁平信, 林田眞喜子, 渡辺日章: [原著] 米国の5地区の検視局と東京都監察医務院の死因統計の比較. 日法医



誌, 42, 53~58, 1988.

- 8) 仁平信, 林田眞喜子, 渡辺日章: [原著] 米国における薬物乱用統計とその活用. 日法医誌, 42, 59~70, 1988.

#### 学会発表

- 1) 真下啓子, 長谷場健, 富田ゆかり, 渡辺日章, 佐藤茂<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>中央電頭): [一般講演] エタノールによる心筋カルシウム動態変化の細胞レベルでの解析. 第71次日本法医学会総会, 1987.
- 2) 黒須三恵, 長谷場健, 渡辺日章: [展示] 脳死判定基準の疑問点. 第71次日本法医学会総会, 1987.
- 3) 林田眞喜子, 仁平信, 平川慶子, 渡辺日章: [展示] マイコンを用いた多波長検出器付HPLCシステムによる急性中毒原因物質の分離の検討. 第71次日本法医学会総会, 1987.
- 4) 須崎紳一郎<sup>1)</sup>, 山本保博<sup>2)</sup>, 林田眞喜子, 仁平信, 渡辺日章 (<sup>1)</sup>救命救急センター, <sup>2)</sup>救急医学): [学会発表] 多波長検出器付HPLCによる急性中毒分析システムの開発. 第9回中毒研究会例会, 1987.
- 5) 真下啓子, 渡辺日章, 佐藤茂<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>中央電頭): [一般講演] マウス培養心筋細胞機能に対するエタノールの影響. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 6) 平川慶子, 仁平信, 林田眞喜子, 渡辺日章, 菅原理二<sup>1)</sup>, 田崎達也<sup>2)</sup>, 三樹勝<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>化学, <sup>2)</sup>第二病院外科): [展示] 核磁気共鳴法(NMR)の幅広い医学への応用について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 7) 富田ゆかり, 黒須三恵, 長谷場健, 仁平信, 上井一, 山本伊佐夫, 渡辺日章: [展示] 液体飼料を用いた長期エタノール投与下のマウス肝アルデヒド脱水素酵素活性の変動. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 8) 黒須三恵, 長谷場健, 渡辺日章: [展示] 脳死における諸問題. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 9) 富田ゆかり, 長谷場健, 黒須三恵, 仁平信, 上井一, 山本伊佐夫, 渡辺日章: [一般講演] エタノール長期投与マウスの肝アセトアルデヒド脱水素酵素活性の変動について. 第22回日本アルコール医学会総会, 1987.
- 10) 真下啓子, 長谷場健, 渡辺日章, 佐藤茂<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>中央電頭): [一般講演] 培養心筋細胞超微形態のエタノールによる変化. 第22回日本アルコール医学会総会, 1987.
- 11) 平川慶子, 仁平信, 林田眞喜子, 渡辺日章, 菅原理二<sup>1)</sup>, 梅田雅宏<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>化学, <sup>2)</sup>亀田病院MR室): [一般講演] 急性エタノール投与時のラット脳 in vivo NMR. 第22回日本アルコール医学会総会, 1987.
- 12) 仁平信, 林田眞喜子, 黒須三恵, 長谷場健, 富田ゆかり, 真下啓子, 平川慶子, 渡辺日章: [一般講演] 死因統計, 薬物統計にみられる都市型薬物中毒. 第56回日本法医学会関東地方会例会, 1987.
- 13) 須崎紳一郎<sup>1)</sup>, 山本保博<sup>2)</sup>, 大塚敏文<sup>2)</sup>, 林田眞喜子, 仁平信, 渡辺日章 (<sup>1)</sup>救命救急センター, <sup>2)</sup>救急医学): [一般講演] 多波長検出器付HPLCによる急性中毒分析システムの開発 (第2報). 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 14) 野崎益司<sup>1)</sup>, 須崎紳一郎<sup>1)</sup>, 山本保博<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup>, 林田眞喜子, 仁平信, 中原雄二<sup>2)</sup>, (<sup>1)</sup>救命救急センター, <sup>2)</sup>国立衛生試験所麻薬室): [一般講演] シモン法を用いた尿中覚醒剤簡易キットで陽性を示した臨床例の検討. 第2回中毒研究会東日本部会, 1988.

## 13. 基礎医学共同研究利用施設

### 〔実験動物管理室〕

#### 研究概要

動物モデル（疾患モデル・生物学的モデル）の開発をテーマに、遺伝的な疾患をもつ動物の病態解析・コロニー育成、各種実験動物の生理的特性の検討・基礎データの集積を行っている。本年度は大略以下のようなことを行った。

疾患モデル動物については、第一に自然発症糖尿病動物としてわれわれが報告したWBN/Kobラットがある。この動物はヒトの糖尿病における合併症と類似した症状を併発することから、最近臨床の分野からも注目されている。このラットの糖尿病発症に著明な性差がありその特異的膵病変はヒトの膵炎に類似している。その発症の経過と膵組織病変の精査および膵病変の進展に対する性ホルモンの影響を中心に検討した。さらに症状を引き起こす背景の要因を探るため、同一系統であり糖尿病発症に差がある二つのコロニーの比較検討を行った。第二に完全無毛ラットの作出である。これは遺伝性貧毛ラットの交配により得られた完全無毛個体が交尾不全であったため人工授精の技術を導入してコロニー拡大を試みたものである。皮膚の研究材料として、また触毛の知覚に関する研究材料として有望である。第三にマウスのEMCウィルスによる実験的糖尿病において、摂取するウィルス液の濃度および飼育環境の差が発症率に及ぼす影響について検索した。さらに第一病理学教室との共同研究により、Mongolian gerbilの腎糸球体メサンジウムにおけるThy - 1・1抗原の存在を証明し、抗体投与により糸球体腎炎を誘発しえたため、疾患モデルとして有用性を示すことができた。またMongolian gerbilは広範な分野でmaterialとして用いられているが、その生理的基礎データはあまり報告されていないため、生理的特性の検討を前年に継続してとりあげた。さらに当施設では被毛色突然変異体が出現したため、そのコロニー拡大を図りつつ血液学的に比較検討し、その遺伝様式を探った。

#### 研究業績

##### 論文

- 1) 七戸和博, 清水真澄, 秋元敏雄, 仲間一雅: [原著] 寡少赤血球数を示した Mongolian gerbil の被毛色突然変異体について. 日本疾患モデル動物研究会記録, 3, 78, 1987.
- 2) Shichinohe, K. and Nakama, K.: [Preliminary Note] On the interrelationship between virus concentration and pathological changes of pancreas in mice induced by EMC - virus. Nippon Ika Daigaku Zasshi, 54, 568~569, 1987.
- 3) Shichinohe, K., Akimoto, T., Shimizu, M. and Nakama, K.: [Preliminary Note] Hereditary atrichotic rats. Nippon Ika Daigaku Zasshi, 54, 681~683, 1987.

##### 著書

- 1) 仲間一雅, 七戸和博, 秋元敏雄, 清水真澄, 深沢晶子<sup>1)</sup>, 石崎正通<sup>2)</sup>, 小林和雄<sup>3)</sup>, 戸部満寿雄<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>薬理, <sup>2)</sup>第一病理, <sup>3)</sup>国衛試): [著書分担] WBN/Kobラットの糖尿病症状および膵・腎の組織学的変化について. “糖尿病動物1” (後藤由夫編), p.158~161, 医薬ジャーナル, 1987.

##### 学会発表

- 1) 仲間一雅, 秋元敏雄, 清水真澄, 七戸和博, 小林和雄<sup>1)</sup>, 戸部満寿雄<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国衛試): [一般講演] WBN/Kobラットの糖尿病症状および膵病変発現に及ぼす性ホルモンの影響. 第34回日本実験動物学会総会, 1987.
- 2) 七戸和博, 清水真澄, 秋元敏雄, 仲間一雅: [一般講演] Normal および white spotting mongolian gerbil に

おける血液検査値の比較. 第34回日本実験動物学会総会, 1987.

- 3) 清水真澄, 七戸和博, 秋元敏雄, 仲間一雅: [一般講演] Mongolian gerbil の white spotting および albino mutant について. 第34回日本実験動物学会総会, 1987.
- 4) Nakama, K., Shichinohe, K., Akimoto, T., Shimizu, M., Ishizaki, M.<sup>1)</sup>, Kobayashi, K. and Tobe, M.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第1病理, <sup>2)</sup>国衛試): [展示] The effect of sex steroids on the development of diabetes mellitus in WBN/Kob rats. Lessons from Animal Diabetes II. 2nd International Workshop (Geneva), 1987.
- 5) Ohashi, K.<sup>1)</sup>, Kim, J.H.<sup>2)</sup>, Akimoto, T., Nakama, K. and Satoh, S.<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>薬理, <sup>2)</sup>第3内科, <sup>3)</sup>中央電顕): [展示] Morphologic studies on exocrine pancreas of diabetic WBN/Kob rats. Lessons from Animal Diabetes II. 2nd International Workshop (Geneva), 1987.
- 6) 秋元敏雄, 七戸和博, 清水真澄, 仲間一雅: [展示] 人工受精による交尾不全無毛ラットの遺伝型の検索. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 7) 清水真澄, 七戸和博, 秋元敏雄, 仲間一雅: [展示] Albino type の Mongolian gerbil の出現. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 8) 七戸和博, 清水真澄, 仲間一雅, 石崎正通<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1病理): [一般講演] 抗Thy - 1.1抗体によって誘発される Mongolian gerbil の腎炎について. 第4回日本疾患モデル動物研究会総会, 1987.
- 9) 清水真澄, 七戸和博, 仲間一雅: [展示] Mongolian gerbil - coat color mutant (albino type). 第4回日本疾患モデル動物研究会総会, 1987.
- 10) 仲間一雅, 秋元敏雄, 清水真澄, 七戸和博: [一般講演] WBN/Kobラットの自然発症糖尿病に対するEstrogenの発症抑止効果について. 第2回糖尿病動物研究会総会, 1988.
- 11) 七戸和博, 清水真澄, 秋元敏雄, 仲間一雅, 石崎正通<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1病理): [一般講演] WBN/Kobラットのコロニー差の比較について, 第2回糖尿病動物研究会総会, 1988.

## [中央電子顕微鏡研究施設]

### 研究概要

1986年8月1日に中央電子顕微鏡研究施設として新しいスタートをきって以来研究施設の機能は着実に整備されつつある. すなわち, 次のような project の展開を行っている.

#### 1. 学の内外の研究ならびに診断上の医学情報の供与 (電子顕微鏡学の体系化)

現在, 肝・心・肺・中枢神経病変・腫瘍性病変・血液疾患等の細胞病理学的検索を行い年間600例の多きに達しており本邦屈指の規模に達している.

#### 2. 他教室, および研究施設との共同研究

法医学教室, 神奈川県立ガンセンター, 国立ガンセンターを中心にアルコール性病変の分子生物学, 疫学的研究の一環としアルコール性心筋症, 肝障害発症機序の解明, また第一病院・放射線医学教室と磁性体 (フェライト) の医学, 生物学的応用についての共同研究を行い, すでに担癌実験動物において制癌剤と結合せしめたDrug Delivery Systemの開発に成功した. 現在はフェライト粒子結合 monoclonal antibody の開発を含めた分子免疫生物学への応用を検討している.

#### 3. 公的研究機関との共同研究

環境庁, 食品薬品安全性評価センターと協力してイタイイタイ病の原因とされるカドミウム骨軟化症の研究を東北大, 群馬大, 横浜市立大, 東大とそれぞれ協力し実施中である.

#### 4. 研究・研修活動

当研究施設はWHOの研究研修協力センターとしての機能もあわせ併置することから国際学術協力のモジュール

を作成中であり、国際的にみた分子病理学カリキュラム作成（日本私立学校振興財団助成）、大気汚染に伴う肺疾患の global network の体系化（WHO 本部、西太平洋事務局指導）を実施中であり、また本学の学術交流協定の一環として克山病を中心とする心筋症の発症機序の解明も中国ハルビン医科大学と協力してすすめている。また日本医学技術専門学校の創造的なカリキュラム作成の一環としてその実習活動にも協力している。また明年度を期して電子顕微鏡診断学に関する学術雑誌を編集刊行するように準備中である。

## 研究業績

### 論文

- 1) 広畑泰久, 相原薫:〔総説〕〔線維化形成機序〕膠原線維および弾性線維の物理化学的特性（特集: Biomedical Science). 最新医学, 42, 1833~1840, 1987.
- 2) Aihara, K. and Ghazizadeh, M.:〔総説〕Principle and applications of monoclonal antibodies in pathology and laboratory medicine. Nippon Ika Daigaku Zasshi, 54, 219~228, 1987.
- 3) 佐藤茂:〔原著〕肺の進化とその設計; 比較超微形態学的研究. 日界面医会誌, 18, 59~80, 1987.
- 4) 佐藤茂:〔総説〕コラーゲン線維とエラスチン; 比較超微形態学的立場より（特集: Biomedical Scienceの進歩と線維化). 最新医学, 42, 1828~1832, 1987.
- 5) 岡村孝夫, 佐藤茂, 相原薫, 高木皓一, 岡村久也:〔原著〕亜硫酸ガス曝露による気管支粘膜障害とS-CMC前投与による予防効果の研究. 日界面医会誌, 18, 96~112, 1987.
- 6) 相原薫, 佐藤茂:〔総説〕〈通信講座〉第5回 細胞膜接着装置. “臨床のための電顕写真解説の基礎”, 日本医学中央会, 1987.
- 7) 鈴木紘之:〔原著〕Paraquat投与時にみられる肺胞壁線維化病変の発症機序に関する電子顕微鏡的研究. 日医大誌, 54, 184~192, 1987.
- 8) 白正善:〔原著〕重症熱傷受傷時における脳下垂体前葉の変化に関する超微形態学的研究. 日医大誌, 54, 441~452, 1987.

### 学会発表

- 1) 星野博<sup>1)</sup>, 多羅尾和郎<sup>2)</sup>, 松本滋彦<sup>2)</sup>, 及川裕望<sup>2)</sup>, 玉井拙夫<sup>2)</sup>, 飯森和人<sup>2)</sup>, 宮本重男<sup>2)</sup>, 風戸計民<sup>2)</sup>, 宇南山史郎<sup>2)</sup>, 池田俊夫<sup>3)</sup>, 林和弘<sup>3)</sup>, 桜井彰<sup>3)</sup>, 広畑泰久, 相原薫（<sup>1)</sup>国立ガンセンター, <sup>2)</sup>神奈川県立ガンセンター, <sup>3)</sup>川崎協同病院）:〔一般講演〕各種代償性肝硬変症の肝容積の比較. 第73回日本消化器病学会総会, 1987.
- 2) 真下啓子<sup>1)</sup>, 長谷場健<sup>1)</sup>, 富田ゆかり<sup>1)</sup>, 渡辺日章<sup>1)</sup>, 佐藤茂（<sup>1)</sup>法医）:〔一般講演〕エタノールによる心筋カルシウム動態変化の細胞レベルでの解析. 第71次日本法医学会総会, 1987.
- 3) Ghazizadeh, M., Aihara, K., Oguro, T. and Sasaki, Y.:〔一般講演〕Immunohistochemical localization of tissue polypeptide antigen in prostatic tumors. The 62th Jpn. Society of Pathology, 1987.
- 4) Cheng, K. M., Kuraishi, K., Konishi, H., Kato, R., Iwasaki, T., Yagi, S., Ghazizadeh, M. and Araki, T.:〔シンポジウム〕The effect of antenatal solcoseryl on hepatic glycogen synthesis in rat fetuses with intrauterine growth retardation. 3rd International Symposium, The Fetus as a Patient, 1987.
- 5) 米山剛一<sup>1)</sup>, 荒木勲<sup>2)</sup>, 福田悠<sup>1)</sup>, 石崎正通<sup>1)</sup>, 岸川テル子, 馬杉洋三<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>病理, <sup>2)</sup>産婦人科）:〔一般講演〕肺サーファクタント抗体を用いたウサギ胎仔肺発達の免疫組織化学的検討. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 6) Aihara, K.:〔シンポジウム〕A proposed module of technology transfer in health science research. Working Group on International Transfer of Technology in Health Field (Tokyo), 1987.
- 7) 岸川テル子, Ghazizadeh, M., 原由美, 相原薫, 黒須三恵<sup>1)</sup>, 渡辺日章<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>法医）:〔一般講演〕酵素処理に

よるラット肺表面活性物質の形態変化：代謝過程における形態変化機序への酵素的アプローチ。第23回日本界面医学会，1987。

- 8) 佐藤茂，相原薫：〔一般講演〕肺の進化とエラスチン；比較超微形態学的研究。第23回日本界面医学会，1987。
- 9) 真下啓子<sup>1)</sup>，長谷場健<sup>1)</sup>，渡辺日章<sup>1)</sup>，佐藤茂（<sup>1)</sup>法医）：〔一般講演〕培養心筋細胞超微形態のエタノールによる変化。第22回日本アルコール医学会総会，1987。
- 10) 真下啓子<sup>1)</sup>，渡辺日章<sup>1)</sup>，佐藤茂（<sup>1)</sup>法医）：〔一般講演〕マウス培養心筋細胞機能に対するエタノールの影響。第55回日本医科大学医学会総会。1987。
- 11) 広畑泰久，相原薫，星野博<sup>1)</sup>，多羅尾和郎<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>国立ガンセンター，<sup>2)</sup>神奈川県立ガンセンター）：〔一般講演〕Alteration of liver volume and ultrastructural changes in compensated liver cirrhosis。第19回日本臨床電子顕微鏡学会総会，1987。
- 12) 和田良仁，笹森斉，唐沢信安，加藤富三，広畑泰久，並松茂樹：〔一般講演〕磁性体微粒子を芯物質とした抗癌剤マイクロカプセルの悪性腫瘍におよぼす影響についての基礎的研究。第19回日本臨床電子顕微鏡学会総会，1987。
- 13) 和田良仁<sup>1)</sup>，笹森斉<sup>1)</sup>，伊藤正<sup>1)</sup>，加藤富三<sup>1)</sup>，広畑泰久，Ghazizadeh, M., 相原薫，唐沢信安<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第一病院放射線科，<sup>2)</sup>唐沢内科医院）：〔展示〕磁性体微粒子を芯物質としたアドリマイシンマイクロカプセルによる経カテーテル化学塞栓療法についての基礎的研究。第55回日本医科大学医学会総会，1987。
- 14) 笹森斉<sup>1)</sup>，和田良仁<sup>1)</sup>，加藤富三<sup>1)</sup>，広畑泰久，Ghazizadeh, M., 佐々木美枝子，相原薫，唐沢信安<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第一病院放射線科，<sup>2)</sup>唐沢内科医院）：〔展示〕磁性体粒子の医学的応用に関する基礎的研究。第2報 経時的体内分布ならびに生化学的变化。第55回日本医科大学医学会総会，1987。
- 15) Ghazizadeh, M., Oguro, T., Sasaki, Y., Aihara, K. and Springer, G.F.<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>Department of Immunochemistry Research, Evanston Hospital, Northwestern University, U.S.A.）：〔一般講演〕Light and electron microscopic localization of T-antigen in ovarian tumors, 第19回日本臨床電子顕微鏡学会総会，1987。

## 〔基礎医学情報処理室〕

### 研究概要

当室はミニコンS-3300および多数のパソコンを設置して学内各教室のディジタル・データ処理に供している。プログラムの提供，共同購入も積極的に進めている。本年度はSASの共同購入を行った。コンピュータに関することなら何でも御相談ください。

アナログデータ処理の研究も進めており，神経医学・第一生理学両教室と共同して脳波のシグナルプロセッサによる分析を行っている。アナログデータ処理プログラムも提供できるようになる見通しである。

室員は各自の研究テーマを持ち発表を行っている。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 品川嘉也：〔総説〕バイオコンピュータと分子チップ。蛋・核・酵，32，318～326，1987。
- 2) 品川嘉也，川田殖<sup>1)</sup>，平山正実<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>山梨大，哲学，<sup>2)</sup>自治医大・精神医学）：〔総説〕新しい自体像の構築のために。医学哲学・医学倫理，5，110～147，1987。
- 3) Matsuda, H., Kawasaki, K.<sup>1)</sup>, Shigesada, N.<sup>2)</sup>, Teramoto, E.<sup>2)</sup> and Ricciardi, L.M.<sup>3)</sup>（<sup>1)</sup>同志社大・理工研，<sup>2)</sup>京大・理，<sup>3)</sup>ナポリ大・数学）：〔原著〕Evolutionary and ecological stability of prey-predator systems with predatory switching. Mathematical Topics in Population Biology, Morphogenesis and Neurosciences, 25, 172～181, 1987。

## 著 書

- 1) 品川嘉也：強いアタマをつくる法；大脳生理学者からのアドバイス。PHP研究所，1987.
- 2) 品川嘉也：全脳型勉強法のすすめ。講談社，1987.
- 3) 品川嘉也：イメージ・トレーニング法。ごま書房，1987.
- 4) 品川嘉也：〔分担〕宇宙と意識の情報進化。“解釈の冒険—情報とシステム PART 2”（監修：清水博），p.126～158，NTT出版，Amsteram 1987.
- 5) Shinagawa,Y.：〔分担〕Analysis of images during thinking process. “Cerebral Dynamics, Laterality and Psychopathology”，p.353～354，Elsevier，Amsterdam，1987.
- 6) Shinagawa,Y. and Kikuchi,M.<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>Institute for System Developement)：〔分担〕Principal component analysis of handedness of Japanese and Thai students. “Cerebral Dynamics, Laterality and Psychopathology...”，p.355～356，Elsevier，Amsterdam，1987.

## 学会発表

- 1) Kawano,K., Matsuda,H. and Shinagawa,Y.：〔展示〕Theoretical study on Pressurevolume relation of uterine cervix，第64回日本生理学会大会，1987.
- 2) 松田裕之：〔一般講演〕捕食者の適応戦略と群集の安定性の関係の数理的考察。第34回日本生態学会大会，1987.
- 3) 品川嘉也：〔特別講演〕大脳半球機能と催眠，第3回日本催眠学会総会，1987.
- 4) 品川嘉也：〔シンポジウム〕イメージと脳波。第3回日本催眠学会総会，1987.
- 5) 嶋田正和<sup>1)</sup>，井川輝美<sup>1)</sup>，松田裕之（<sup>1)</sup>東大・教養・生物）：〔展示〕寄主発育段階の異なるパッチと交尾前分散を伴う寄生蜂の性比調節，第6回日本動物行動学会大会，1987.
- 6) 松田裕之：〔展示〕反復「英雄」ゲームにおける相互利他行動の進化。第6回日本動物行動学会大会，1987.
- 7) 松田裕之：〔一般講演〕共進化的に安定な群集構造における食物連鎖網の性質。第13回日本個体群生態学会大会，1987.

## 〔 3 〕 臨 床 医 学





# 1. 第一内科学講座

## 〔付属病院第1内科〕

### 研究概要

第一内科学教室では肝臓病学、循環器病学ならびに代謝・糖尿病学を中心に、以下に示すような基礎的ならびに臨床的研究を行った。

肝臓病学では、①肝硬変症の病態生理、治療、および予後に関する研究、②肝循環と全身血行動態の関係、③門脈圧降下薬、その作用機序および長期投与による食道内視鏡所見、④実験的門脈圧亢進モデルにおける各種薬剤の効果、⑤難治性腹水の病態、⑥慢性疾患の自律神経機能および運動負荷の肝機能に対する影響、⑦ウイルス肝炎におけるオリゴデニル酸合成酵素の動態、⑧B型慢性肝炎におけるインターフェロン療法、⑨肝癌のhigh risk group設定。

循環器病学では、1) 不整脈の実験的および臨床的研究、①ガラス微小電極法による低酸素下心筋細胞の電気生理学的性質、②吸引電極法による心室性不整脈発生機序の解明、③電気生理学的検査による不整脈発生機序の検討および抗不整脈薬の臨床的評価、④ホルター心電図法、運動負荷法を用いた不整脈患者における自律神経系関与の究明、⑤心房細動、粗動など各種不整脈の臨床的研究。2) 虚血性心疾患では、①無症候性虚血の病態と予後、②梗塞サイズ縮小に対するCa拮抗剤の効果、③狭心症および心筋梗塞に対する薬物療法、冠動脈内血栓溶解療法(PTCR)、冠動脈形成術(PTCA)、④ドップラーエコー法による左心拡張期の評価。3) 臨床薬理学では、全国の基幹施設として抗不整脈薬、抗狭心症薬、抗心不全薬、降圧剤、昇圧剤の第I、II、III相試験の実施。

代謝、糖尿病学では、①心筋梗塞急性期における代謝異常の発生機序、とくに循環動態との関係、②糖尿病合併心筋梗塞例でのlate potential検出の意義、③糖尿病早期腎障害の指標としての尿中LAP、Al-P、 $\gamma$ -GTPの意義、④糖尿病における血液凝固、とくにプロテインC、AT-IIIの動態。

### 研究業績

#### 論文

- 1) Sugimoto, T.<sup>1)</sup>, Hayakawa, H., Osada, H.<sup>2)</sup>, Yamazaki, N.<sup>3)</sup>, Mori, H.<sup>4)</sup>, Yasuda, H.<sup>5)</sup> and Sakamoto, A.<sup>6)</sup> (<sup>1)</sup>University of Tokyo, <sup>2)</sup>Showa University, <sup>3)</sup>Hamamatsu Medical University, <sup>4)</sup>Tokushima University, <sup>5)</sup>Hokkaido University, <sup>6)</sup>Central Hospital of Japanese National Railway Japan): [原著] Clinical evaluation of bisoprolol in the treatment of extrasystoles and sinus tachycardia; An interim report, J. Cardiovasc. Pharm., 8, S171~S174, 1986.
- 2) 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正: [総説] 消化器食道静脈瘤とプロプラノロール (特集: 今日の治療). カレントセラピー, 5, 95~100, 1987.
- 3) 太田真夫, 田中隆, 佐々部典子, 早川弘一: [総説] 心筋梗塞の早期診断前駆症状から精密検査へ; 心電図モニターによる不整脈管理. 総合臨, 36, 623~628, 1987.
- 4) 関山達也: [原著] 慢性肝疾患における propranolol の門脈圧と全身血行動態に及ぼす影響に関する研究. 日医大誌, 54, 173~183, 1987.
- 5) 宗像一雄, 草間芳樹, 畑典武, 佐々木熙之, 高山守正, 高野照夫, 早川弘一: [原著] ウロキナーゼ全身投与による血栓溶解療法—効果と限界—. 最新医, 42, 876~880, 1987.
- 6) 田中啓治<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 大竹稔 (<sup>1)</sup>集中治療室): [総説] 急性心筋梗塞における糖代謝異常 (特集: ストレス下の代謝異常と管理). 救急医, 11, 413~419, 1987.
- 7) 新博次, 早川弘一: [総説] 不整脈 (特集: 最新の治療II). 診断と治療, 8, 133~136, 1987.

- 8) Fujita, S., Ishiharajima, S.<sup>1)</sup>, Asano, G.<sup>1)</sup>, Aramaki, T. and Okumura, H. (<sup>1)</sup>Department of Pathology) : [原著] Membrane integrity of blood-brain barrier in experimental hepatic encephalopathy. *J. Clin. Electron. Microsc.*, 20, 345~351, 1987.
- 9) Tomita, Y. and Ferrans, V. J.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>N.I.H.) : [原著] Morphological study of the transverse-axial tubular system (TAXTS) in rat heart using ferrocyanide-osmium method and thick sectioning. *J. Submicrosc. Cytol.*, 19, 523~535, 1987.
- 10) Hilbert, S. L.<sup>1)</sup>, Ferrans, V. J.<sup>1)</sup>, Tomita, Y., Eibdo, E. E. and Jones, M.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>N.I.H.) : [原著] Evaluation of explanted polyurethane trileaflet cardiac valve prosthesis. *J. Thorac. Cardiovasc. Surg.*, 94, 419~429, 1987.
- 11) Varro, A.<sup>1)</sup>, Saitoh, H. and Surawicz, B.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>Richard L. Roudebush Veterans Administration Medical Center, <sup>2)</sup>Krannert Institute of Cardiology) : [原著] Effects of antiarrhythmic drugs on premature action potential duration in canine ventricular muscle fibers. *J. Cardiovasc. Pharm.*, 10, 407~414, 1987.
- 12) 太田真夫, 田中隆, 佐々部典子, 早川弘一 : [総説] 心電図モニターによる不整脈管理 (特集: 心筋梗塞の早期診断). *総合臨*, 36, 623~628, 1987.
- 13) Yamazaki, H.<sup>1)</sup>, Kawagoe, S., Yamaguchi, A.<sup>1)</sup>, Munakata, J., Kuroki, S. and Tanoue, K.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Tokyo Metropolitan Komagome Hospital) : [原著] Thromboxane A synthesizing activity of platelets in coronary artery diseases. *Jpn. Circ. J.*, 51, 451~458, 1987.
- 14) 田中啓治<sup>1)</sup>, 島井新一郎<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 大竹稔 (<sup>1)</sup>集中治療室) : [原著] 急性心筋梗塞における血中 Catecholamine と cyclic nucleotide. *日臨代謝会記録*, (XIV), p.100~103, 1987.
- 15) 田中啓治, 高野照夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室) : [総説] 初期の血行動態に伴う治療 (特集: 心筋梗塞その最新の治療). *カレントセラピー*, 5, 40~44, 1987.
- 16) Takano, T.<sup>1)</sup>, Endo, T., Tanaka, K.<sup>1)</sup>, Hirose, K.<sup>2)</sup>, Yamaguchi, T.<sup>3)</sup>, Saito, S.<sup>4)</sup>, Kammatsuse, K.<sup>5)</sup>, Nakata, Y.<sup>6)</sup>, Yabuki, S.<sup>7)</sup>, Kamishima, G.<sup>8)</sup>, Irie, A.<sup>9)</sup>, Niitani, H.<sup>10)</sup>, Tanaka, T.<sup>11)</sup>, Takahashi, S.<sup>12)</sup>, Igarashi, M.<sup>13)</sup>, Ueda, K.<sup>14)</sup>, Kimura, M.<sup>15)</sup>, Sato, T.<sup>16)</sup>, Motomiya, T.<sup>17)</sup>, Ishii, T.<sup>18)</sup>, Okada, M.<sup>19)</sup>, Watanabe, H.<sup>20)</sup> and Nakanishi, N.<sup>21)</sup> (<sup>1)</sup>Coronary Care Unit, <sup>2)</sup>Tokyo Women's Medical College Hospital, <sup>3)</sup>Mitsui Memorial Hospital, <sup>4)</sup>Nippon University Hospital Itabashi, <sup>5)</sup>Nihon University Hospital Surugadai, <sup>6)</sup>Juntendo University Hospital, <sup>7)</sup>Toho University Hospital Ohashi, <sup>8)</sup>Toho University Hospital Omori, <sup>9)</sup>Nishiarai Hospital, <sup>10)</sup>Showa University Hospital, <sup>11)</sup>Sakakibara Heart Institute Hospital, <sup>12)</sup>Kosei Hospital, <sup>13)</sup>St. Lukes International Hospital, <sup>14)</sup>Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital, <sup>15)</sup>Tokyo Saiseikai Central Hospital, <sup>16)</sup>Teikyo University Hospital, <sup>17)</sup>Tokyo Metropolitan Hiroo Hospital, <sup>18)</sup>Hachioji Medical Center of Tokyo Medical College, <sup>19)</sup>Kyourin University Hospital, <sup>20)</sup>Cardiovascular Institute Hospital, <sup>21)</sup>Toranomon Hospital) : [原著] Current Status of prehospital care of patients with acute myocardial infarction in Tokyo; Analysis of 3-year experience with Coronary Care Unit Network. *Jpn. Circ. J.*, 51, 338~351, 1987.
- 17) 岸田浩 : [総説] 無症候性虚血性心疾患の概念とその臨床-有症候性との比較. *医のあゆみ*, 141, 445~448, 1987.
- 18) 奥村英正, 荒牧琢己, 赤染悌三 : [総説] 肝臓の老化と病変. *臨と研*, 64, 173~177, 1987.
- 19) 岸田浩, 畑典武 : [総説] 労作狭心症治療の最近の傾向 (特集: 今日の治療). *カレントセラピー*, 5, 95~100, 1987.
- 20) 岸田浩, 稲垣義明<sup>1)</sup>, 早川弘一, 栗田明<sup>2)</sup>, 斉藤俊弘<sup>1)</sup>, 北川晴雄<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>千葉大学医学部第3内科, <sup>2)</sup>防衛大学校第1内科, <sup>3)</sup>千葉大学薬学部薬物学) : [原著] 多段階トレッドミル運動試験による抗狭心症薬 E-0679 (ニトログリセリン軟膏) の薬効評価-Placeboを対照とした単回投与方法による二重盲検交叉比較試験. *Ther. Res.*, 6, 1663~1686, 1987.

- 21) 清野精彦<sup>1)</sup>, Laohathai, P.<sup>1)</sup>, 長江安洋<sup>1)</sup>, 新田隆<sup>1)</sup>, 松山謙<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 小坂真一<sup>2)</sup>, 山手昇<sup>2)</sup>, 早川弘一 ( <sup>1)</sup>集中治療室, <sup>2)</sup>胸部外科 ) : [原著] Computerized cardiac nuclear probeによる冠動脈バイパス術後早期運動負荷試験における左室収縮能・拡張能の評価. 治療, 69, 1107~1114, 1987.
- 22) Kishida, H., Takiguchi, F., Sugiki, Y., Kuroki, S., Tanaka, T., Seino, Y.<sup>1)</sup>, Sasaki, H., Fukuda, J. and Matsuo, S. ( <sup>1)</sup>Coronary Care Unit ) : [原著] Hemodynamic characteristics of echocardiographic findings in hypertensive patients with negative U waves and effect of an antihypertensive drug, Tripamide. Jpn. Heart J., 28, 377~386, 1987.
- 23) Kishida, H., Hata, N., Kusama, Y., Suzuki, T.<sup>1)</sup>, Saito, T., Nejima, J., Otsu, F.<sup>1)</sup>, Yasutake, M., Koumi, S. and Nakagomi, A. ( <sup>1)</sup>Tama Nagayama Hospital ) : [原著] Factors influencing the clinical course and the long-term prognosis of patients with variant angina. Jpn. Heart J., 28, 293~306, 1987.
- 24) 高野照夫<sup>1)</sup>, 栗原広孝, 清野精彦 ( <sup>1)</sup>集中治療室 ) : [総説] ポンプ不全の対策 (特集: 心筋梗塞の早期治療). 総合臨, 36, 827~832, 1987.
- 25) 新博次, 後藤正道, 飯田恵子, 小林義典, 斉藤寛和, 洪基哲, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 早川弘一 ( <sup>1)</sup>集中治療室 ) : [原著] Dibutyryl cyclic AMPの電気生化学的効果. Jpn. J. Electrocardiol., 7, 237~243, 1987.
- 26) 藤田信輔: [原著] D-ガラクトサミンにより惹起した急性肝不全における血液脳関門の電顕組織化学的研究. 日医大誌, 54, 290~299, 1987.
- 27) 藤井裕之: [原著] *Rana Catesbeiana* トコンドリア全ゲノムのクローニングとURF2および近傍遺伝子の塩基配列の決定. 日医大誌, 54, 277~289, 1987.
- 28) Ferrans, V.J.<sup>1)</sup>, Tomita, Y., Hilbert, S.L.<sup>2)</sup> Jones, M. and Roberts, W.C.<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>National Heart, Lung, and Blood Institute, N.I.H., <sup>2)</sup>Center for Devices and Radiological Health, N.I.H. ) : [総説] Pathology of bioprosthetic cardiac valves. Hum. Pathol., 18, 586~595, 1987.
- 29) 加藤貴雄, 高野照夫<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>集中治療室 ) : [総説] 心疾患の救急処置. 日医師会誌, 97, 1~4, 1987.
- 30) 荒牧琢己, 勝田悌実, 赤染悌三, 奥村英正: [総説] 腹水. 現代医療, 19, 2290~2298, 1987.
- 31) 新博次, 後藤正道, 平山悦之, 洪基哲, 宗像一雄, 早川弘一: [原著] 吸引電極を用いた単相活動電位の検討; ペーシング周期依存性の変化について. 心臓ペーシング, 3, 291~297, 1987.
- 32) 新博次, 洪基哲, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 早川弘一 ( <sup>1)</sup>集中治療室 ) : [原著] 洞不全症候群における自律神経関与について. 心臓ペーシング, 3, 336~343, 1987.
- 33) 新博次, 早川弘一: [総説] Disopyramide静注による発作性心房細動停止効果ならびに他剤併用の効果について. Prog. Med., 7, 1438~1445, 1987.
- 34) 清野精彦: [総説] 急性心筋梗塞における心機能と末梢循環調節機構. Ther. Res., 7, 61~66, 1987.
- 35) 清野精彦: [総説] 急性ポンプ失調に対する循環補助の有効性の限界; IABP, 生理的ペーシング, PEEPの心機能に及ぼす効果. Ther. Res., 7, 83~88, 1987.
- 36) Tomita, Y. and Ferrans, V.J.<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>National Heart, Lung, and Blood Institute, N.I.H. ) : [原著] Morphological study of sarcoplasmic reticulum in the atrioventricular node and bundle cells in guinea pig hearts. Am. J. Anat., 180, 100~122, 1987.
- 37) Matsuo, S., Koh, Y., Sato, R., Munakata, K. and Kishida, H.: [原著] Electrophysiological effects of flecainide on guinea pig ventricular muscle in high  $[K^+]_o$ , acidosis and hypoxia. Jpn. Heart J., 28, 539~554, 1987.
- 38) 太田真夫, 高野照夫<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>集中治療室 ) : [総説] 救命の立場, 特に冠動脈再開通法との関連から (特集: 心筋梗塞—その発症のメカニズムと診断, 治療, 問題点). 最新医, 42, 1356~1361, 1987.
- 39) 田中隆, 高野照夫<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>集中治療室 ) : [総説] CCUの現況 (特集: 日本における心筋梗塞). 臨成人病, 17,

1287~1293, 1987.

- 40) 奥村英正, 赤染悌三: [総説] 慢性肝不全とその治療. 臨と研, 64, 2531~2536, 1987.
- 41) 岸田浩: [総説] 抗狭心症薬と適応. 臨床医, 13, 1696~1698, 1987.
- 42) 清野精彦<sup>1)</sup>, 長江安洋<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 早川弘一 ( <sup>1)</sup>集中治療室 ): [原著] RI心臓ブロープ法による左室収縮・拡張動態モニタリング; 血管拡張薬および心臓ペースングの心臓力学的効果の分析への応用. ICUとCCU, 11, 747~755, 1987.
- 43) Kishida, H. and Murao, S. <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>The Department of Internal Medicine, Kanto Central Hospital ): [原著] Effect of new coronary vasodilator, nicorandil, on variant angina pectoris. Clin. Pharmacol. Ther., 42, 166~174, 1987.
- 44) 雪吹周生, 清野精彦<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>集中治療室 ): [総説] 利尿薬. 消外, 10, 379~384, 1987.
- 45) 田中啓治: [総説] 急性心筋梗塞の初期治療. Medicina, 24, 1504~1509, 1987.
- 46) 高田加寿子<sup>1)</sup>, 清野精彦<sup>1)</sup>, 島井新一郎<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 長野具雄, 太田真夫, 早川弘一, 奥村英正 ( <sup>1)</sup>集中治療室 ): [総説] 急性心筋梗塞様心電図を呈し<sup>201m</sup>Tl心筋SPECTにて一過性に広範な欠損像を認めた褐色細胞腫の1例. 日内会誌, 76, 1256~1263, 1987.
- 47) 小林義典, 田中隆, 飯田恵子, 洪基哲, 新博次, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 早川弘一, 清野精彦<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>集中治療室 ): [原著] 心室遅延電位ならびにentrainment現象を証明し, 心室頻拍の機序を推定しえたARVDの一例. 心電図, 8, 87~98, 1987.
- 48) 清野精彦<sup>1)</sup>, 早川弘一 ( <sup>1)</sup>集中治療室 ): [総説] ポンプ機能とペースング (特集: ICUにおけるペースング). ICUとCCU, 11, 835~843, 1987.
- 49) 佐々木熙之, 関野三津也, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一, 佐藤潔<sup>1)</sup>, 米沢克信<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>日清製粉(株)中央研究所 ): [原著] 新しい $\beta$ 遮断剤, N-696の臨床第1相試験. 臨床理, 18, 497~507, 1987.
- 50) 宗像一雄: [総説] 亜硝酸塩の使い方. IV. 循環器疾患治療薬〈狭心症〉. Medicina, 24, 1978~1980, 1987.
- 51) 高野照夫<sup>1)</sup>, 大津文雄 ( <sup>1)</sup>集中治療室 ): [総説] 急性心筋梗塞時の薬物療法の実際. Med. Pract., 4, 1420~1425, 1987.
- 52) 高野照夫<sup>1)</sup>, 清野精彦 ( <sup>1)</sup>集中治療室 ): [総説] CCUにおける不整脈監視用誘導システム. 日医新報, No.3307, 147, 1987.
- 53) 早川弘一: [総説] 抗不整脈剤. 臨床と薬物治療, 6, 729~731, 1987.
- 54) 新博次, 洪基哲, 飯田恵子, 後藤正道, 平山悦之, 井野威, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 早川弘一 ( <sup>1)</sup>集中治療室 ): [原著] Flecainide単回経口投与による発作性上室性頻拍誘発抑制効果. Jpn. J. Electrocardiol., 7, 619~626, 1987.
- 55) 早川弘一, 大坂元久, 新博次: [総説] 各種不整脈の診療. 上室性不整脈 (特集: 不整脈診療最近の進歩). 臨と研, 64, 3068~3071, 1987.
- 56) Brown, M.A. <sup>1)</sup>, Norris, R.M. <sup>1)</sup>, Takayama, M. and White, H.D. <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>CCU and Surgical Laboratory, Green Lane Hospital ): [原著] Post-systolic shortening; A marker of potential for early recovery of acutely ischaemic myocardium in the dog. Cardiovasc. Res., 21, 703~716, 1987.
- 57) 高野照夫<sup>1)</sup>, 鈴木健 ( <sup>1)</sup>集中治療室 ): [総説] 血行動態モニタリングをどう活用するか. Medicina, 24, 2369~2371, 1987.
- 58) White, H.D. <sup>1)</sup>, Norris, R.M. <sup>1)</sup>, Brown, M.A. <sup>1)</sup>, Takayama, M., Maslowski, A. <sup>1)</sup>, Bass, N.M. <sup>1)</sup>, Ormiston, J.A. <sup>1)</sup> and Whitlock, T. <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>Green Lane, Middlesmore, and Auckland Hospitals ): [原著] Effect of intravenous streptokinase on left ventricular function and early survival after acute myocardial infarction. N. Engl. J. Med., 317, 850~855, 1987.
- 59) 畑典武, 岸田浩, 草間芳樹, 岩原信一郎, 佐々木美典, 森規勝, 安武正弘, 小海信一, 宗像一雄, 早川弘一, 奥

- 村英正：〔原著〕冠動脈疾患例におけるNicorandilの冠血管拡張反応およびその抗狭心症効果について。脈管学，27，1197～1201，1987。
- 60) 田中隆，早川弘一：〔総説〕心筋梗塞の予後予測（特集：重症患者の予後予測）。ICUとCCU，11，1011～1021，1987。
- 61) 早川弘一：〔総説〕不整脈の診断と治療；不整脈の種類，洞不全症候群他。Expert Nurse，11，78～89，1987。
- 62) 早川弘一：〔総説〕不整脈の診断と治療；不整脈の治療法。Expert Nurse，11，127～131，1987。
- 63) 加藤貴雄<sup>1)</sup>，栗原広孝（<sup>1</sup>集中治療室）：〔総説〕よい心電図をとる方法。Expert Nurse，11，30～39，1987。
- 64) 太田真夫，大木清司：〔総説〕ホルター心電図法。Expert Nurse，11，136～139，1987。
- 65) 太田真夫：〔総説〕新しい心電図；レートポテンシャル，体表面心臓電位図。Expert Nurse，11，140～143，1987。
- 66) 田中啓治，大林完二<sup>1)</sup>（<sup>1</sup>大林内科医院）：〔総説〕血圧の異常。日医師会誌，98，136～141，1987。
- 67) 岸田浩，畑典武：〔総説〕冠スパスムの治療方針Ⅳ冠動脈疾患の病理，病態。日臨，45，253～259，1987。
- 68) 高野照夫<sup>1)</sup>，矢島俊己<sup>1)</sup>，清野精彦（<sup>1</sup>集中治療室）：〔総説〕心筋梗塞の血行動態。Ⅶ．心筋梗塞の臨床。日臨，45，728～734，1987。
- 69) 今井千草：〔原著〕発作性心房細動に関する心電学的研究。日医大誌，54，621～630，1987。
- 70) 高野照夫<sup>1)</sup>，雪吹周生（<sup>1</sup>集中治療室）：〔総説〕心タンポナーデ。日医師会誌，98，1879～1885，1987。
- 71) 富岡謙二<sup>1)</sup>，戸佐真弓<sup>1)</sup>，桜井一成<sup>1)</sup>，菊地光美<sup>1)</sup>，益子邦洋<sup>1)</sup>，黒川顕<sup>1)</sup>，大塚敏文<sup>1)</sup>，矢島俊己<sup>2)</sup>，田中啓治，高野照夫<sup>2)</sup>（<sup>1</sup>救命救急センター，<sup>2</sup>集中治療室）：〔報告〕急性心筋梗塞を合併し術中IABPを施行した出血性胃潰瘍の1例。日救急医学会誌，1，106～107，1987。
- 72) 清野精彦：〔総説〕急性ポンプ失調に対する循環補助の有効性と限界；IABP生理的ベッシングPEEPの心機能に及ぼす効果。Ther. Res.，7，83～88，1987。
- 73) Norris, R.M.<sup>1)</sup>，Brown, M.A.<sup>1)</sup> and Takayama, M.（<sup>1</sup>Coronary Care Unit, Green Lane Hospital）：〔報告〕Comments on “Analysis of systolic bulging; Mechanical characteristics of acutely ischemic myocardium in the conscious dog”. Circ. Res.，61，209～217，1987。
- 74) 遠藤孝雄：〔総説〕急性心筋梗塞。看技，34，71～74，1988。
- 75) 里村克章，赤池正博，荒牧琢己，奥村英正：〔総説〕腹部膨満。現代医，20，349～352，1988。
- 76) 畑典武，岸田浩，草間芳樹，安武正弘，小海信一，森規勝，佐々木美典，岩原信一郎，宗像一雄，早川弘一：〔総説〕各種狭心症に対する運動負荷試験とそれに影響を与える諸因子との関係。最新医，43，186～188，1988。
- 77) 小林義典，田中隆，飯田恵子，洪基哲，新博次，加藤貴雄<sup>1)</sup>，早川弘一，清野精彦<sup>1)</sup>，田中啓治<sup>1)</sup>，高野照夫<sup>1)</sup>（<sup>1</sup>集中治療室）：〔原著〕心室遅延電位ならびにentrainment現象を証明し，心室頻拍の機序を推定しえたARVDの1例。心電図，8，87～98，1988。
- 78) 清野精彦<sup>1)</sup>，鄭広模，宗像純司<sup>2)</sup>，川越栄<sup>2)</sup>，今泉孝敬，植田俊郎，早川弘一，奥村英正（<sup>1</sup>集中治療室，<sup>2</sup>都立駒込病院内科）：〔原著〕心臓プローブ法による左室収縮，拡張動態の分析と早期心機能障害の検索。呼吸と循環，36，57～63，1988。
- 79) 岸田浩：〔総説〕狭心症；治療（特集：循環器病学トピックス）。循環器科，23，29～32，1988。
- 80) 大竹稔：〔総説〕糖尿病性腎症と虚血性疾患，神経障害合併例の薬物療法。Modern Physician，8，89，1988。
- 81) 田中啓治，高野照夫<sup>1)</sup>（<sup>1</sup>集中治療室）：〔総説〕心筋梗塞；合併症（特集：循環器病学トピックス）。循環器科，23，8～11，1988。
- 82) 加藤和三<sup>1)</sup>，早川弘一，比江嶋一昌<sup>2)</sup>，中田八洲郎<sup>3)</sup>，笠貫宏<sup>4)</sup>，田辺晃久<sup>5)</sup>，佐久間昭<sup>6)</sup>（<sup>1</sup>心臓血管研究所付属病院，<sup>2</sup>東京医科歯科大学医学部第一内科，<sup>3</sup>順天堂大学医学部内科循環器科，<sup>4</sup>東京女子医科大学付属日本心臓血圧研究所内科，<sup>5</sup>東海大学医学部第一内科，<sup>6</sup>東京医科歯科大学難治疾患研究所臨床薬理）：〔原著〕Disopyramide Phosphate

- 徐放錠 (RU18850) の心室性期外収縮に対する臨床効果; Disopyramide Capsuleを対照薬とした多施設二重盲検交差比較試験. Ther. Res., 8, 303~320, 1988.
- 83) 岸田浩, 鈴木健<sup>1)</sup>, 斉藤勉, 大津文雄<sup>1)</sup>, 畑典武<sup>1)</sup> (多摩永山病院内科): [総説] 不安定狭心症における無自覚性心筋虚血発作について (特集: 無自覚性心筋虚血). ICUとCCU, 12, 93~101, 1988.
- 84) 早川弘一: [総説] 初診のとりえ方; 失神. 治療, 70, 272~274, 1988.
- 85) 荒牧琢己, 里村克章, 勝田悌実, 奥村英正: [総説] 慢性肝炎と肝硬変 (特集: 老年医学の最近のトピックス). Geriatr. Med., 26, 183~189, 1988.
- 86) 早川弘一: [総説] 不整脈の新しい診断法; ホルター心電図 (特集: 不整脈の最前線). Med. Way, 5, 45~49, 1988.
- 87) 太田真夫, 佐々木熙之, 早川弘一: [総説] 慢性心不全治療の実際, 新しい強心薬の薬理と臨床; ホスホジエステラーゼ阻害薬を中心として. (特集: 慢性心不全とその治療). Prog. in Med., 8, 461~465, 1988.
- 88) 高野照夫, <sup>1)</sup>太田真夫 (<sup>1)</sup>集中治療室): [総説] 救急治療の実際; プレホスピタルケアとCCU. 治療, 70, 286~290, 1988.
- 89) 太田真夫, 高野照夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室): [総説] 超微形態からみた心筋梗塞発症早期の病態. Modern Physician, 8, 305~308, 1988.
- 90) 早川弘一: [総説] 心室性不整脈に対する薬効評価基準. Pharm. Med., 6, 103~105, 1988.
- 91) 平山悦之, 新博次, 宗像一雄, 大竹稔, 早川弘一, 奥村英正: [報告] 咽頭結核に合併した結核性心筋炎の1例. 内科, 61, 571~574, 1988.
- 92) 大竹稔: [総説] 口渴と多飲, 多尿. Modern Physician, 8, 393, 1988.
- 93) 早川弘一, 佐々部典子: [総説] 徐脈性不整脈. 診断と治療, 76, 550~554, 1988.
- 94) 長沢紘一, 筒井末春<sup>1)</sup>, 本多和雄<sup>2)</sup>, 斉藤敏二<sup>3)</sup>, 難波形彦<sup>4)</sup>, 八幡浩二<sup>5)</sup>, 原文男<sup>6)</sup>, 藤原忠通<sup>7)</sup>, 八田貞人<sup>8)</sup>, 宗像純司<sup>9)</sup>, 橋本英洋<sup>10)</sup>, 永田勝太郎<sup>11)</sup>, 菊地長徳<sup>12)</sup> (<sup>1)</sup>東邦大学医学部診療内科, <sup>2)</sup>益田赤十字病院内科, <sup>3)</sup>誠高会小金原病院内科, <sup>4)</sup>済生会神奈川県病院内科, <sup>5)</sup>日本医大付属多摩永山病院内科, <sup>6)</sup>日本医大付属第二病院内科, <sup>7)</sup>稲田登戸病院循環器科, <sup>8)</sup>白十字総合病院内科, <sup>9)</sup>都立駒込病院内科, <sup>10)</sup>私立学校教職員共済組合下谷病院内科, <sup>11)</sup>東邦大学医学部付属大橋病院麻酔科, <sup>12)</sup>東京女子医科大学付属第二病院内科): [原著] 起立失調症候群に対する amezinium metilsulfate (LU-1631) の臨床的検討. 臨薬理, 19, 9~12, 1988.
- 95) 新博次, 佐々木熙之, 井野威, 早川弘一: [原著] Pirmenol (CI-845) 第一相試験. 臨薬理, 19, 51~52, 1988.
- 96) 田中隆, 飯田恵子, 小林義典, 井野威, 新博次, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 早川弘一, 石原茂樹<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室, <sup>2)</sup>徳島大学第2内科): [原著] 新しい抗不整脈薬ME3202の臨床第1相試験. 臨薬理, 19, 169~170, 1988.
- 97) 中原保裕<sup>1)</sup>, 村田正弘<sup>1)</sup>, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄<sup>2)</sup>, 針谷吉人<sup>2)</sup>, 八幡浩二<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院薬剤科, <sup>2)</sup>同内科): [原著] Captoprilの血清カリウム値に対する影響の検討. 臨薬理, 19, 175~176, 1988.
- 98) 大津文雄<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 岸田浩, 斉藤勉, 草間芳樹, 畑典武, 早川弘一, 奥村英正, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 藤原忠通<sup>2)</sup>, 浜本紘<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>稲田登戸病院内科, <sup>3)</sup>榊原記念クリニック): [原著] 不安定狭心症に対する nisoldipine の効果; Holter心電図による検討. 臨薬理, 19, 207~208, 1988.
- 99) 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 岸田浩, 斉藤勉, 草間芳樹, 畑典武, 早川弘一, 奥村英正, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 藤原忠通<sup>2)</sup>, 浜本紘<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>稲田登戸病院内科, <sup>3)</sup>榊原記念クリニック): [原著] 安静狭心症に対する nisoldipine (BAY K5552) の効果. 臨薬理, 19, 209~210, 1988.
- 100) 斉藤勉, 岸田浩, 金子ひろ子, 畑典武, 早川弘一, 奥村英正, 大橋和史<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>臨床薬理センター): [原著] 狭心症に対する nifedipine と diltiazem の併用効果. 臨薬理, 19, 211~212, 1988.
- 101) 大須賀勝, 古明地弘和, 小宮山徹三, 寺田秀人, 関山達也, 赤池正博, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英

- 正：〔原著〕門脈圧と食道静脈瘤に対するPrazosinの効果；Propranololとの比較。臨薬理，19，263～264，1988。
- 102) 佐々木熙之，新博次，大坂元久，佐々木美典，大須賀恵美子，早川弘一，朝野芳郎<sup>1)</sup>，森下亘通<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>エーザイ（株）臨床薬理）：〔原著〕新しい強心薬E-1020の健常人における臨床薬理学的研究。（1）静脈内投与試験。臨薬理，19，277～278，1988。
- 103) 佐々木熙之，新博次，大坂元久，佐々木美典，早川弘一，朝野芳郎<sup>1)</sup>，森下亘通<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>エーザイ（株）臨床薬理）：〔原著〕新しい強心薬E-1020の健常人における臨床薬理学的研究。（2）経口投与試験。臨薬理，19，279～280，1988。
- 104) 新博次，川越栄<sup>1)</sup>，宗像純司<sup>1)</sup>，早川弘一，朝野芳郎<sup>2)</sup>，森下亘通<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>駒込病院内科，<sup>2)</sup>エーザイ（株）臨床薬理）：〔原著〕新しいプロスタサイクリン誘導体E-1030（Iloprost）第I相試験。臨薬理，19，283～284，1988。
- 105) Kusama, Y., Takiguchi, F., Tei, H., Hata, N., Otsu, F., Ohta, M., Munakata, K., Kishida, H., Hayakawa, H. and Okumura, H.: 〔原著〕A case of progressive muscular dystrophy with numerous arterioluminal vessels. Jpn. Heart J., 29, 243～248, 1988。
- 106) 高野照夫<sup>1)</sup>，井野威（<sup>1)</sup>集中治療室）：〔総説〕prehospital careの問題点。Modern Physician, 8, 305～308, 1988。
- 107) 加藤貴雄<sup>1)</sup>，小林義典，田中隆，洪基哲，高野照夫<sup>1)</sup>，早川弘一（<sup>1)</sup>集中治療室）：〔原著〕心筋梗塞および非梗塞例における心室期外収縮と血行動態に対するaprinidine静注の効果ならびに薬物治療。ICUとCCU, 12, 229～238, 1988。

## 著 書

- 1) 太田真夫，大竹稔：〔分担〕糖尿病における心筋内鼓動脈枝の電頭的観察；とくに心筋梗塞症との関連について。“糖尿病と心臓障害(2)”（杉本恒明・永野允・垂井清一郎編），p.99～109，医歯薬出版，1987。
- 2) Otsu, F. and Kishida, H.: 〔分担〕Antianginal efficacy of Nisoldipine in patients with unstable angina pectoris; Evaluation on Holter ECG. “Nisoldipine 1987” (Hugenholtz P.G. and Meyer, J. eds.), p.115～122, Springer - Verlag, Berlin, 1987。
- 3) Ferrans, V.J.<sup>1)</sup>, Hilberg, S.L.<sup>1)</sup>, Tomita, Y., Jones, M.<sup>1)</sup> and Roberts, W.C.<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>NIH）：〔分担〕Morphology of collagen in bioprosthetic heart valves. “Collagen, Vol. III. Biotechnology” (Nimni, M.E. ed.), p.145～189, CRC Press, Inc. Boca Raton, 1987。
- 4) Ferrans, V.J.<sup>1)</sup>, Rodriguez, E.R.<sup>1)</sup>, Tomita, Y. and Saito, K.<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>NIH）：〔分担〕Ultrastructural abnormalities in different types of cardiomyopathies. “Pathology of Heart Disease” (Dhalla, N.S., Single, P.K. and Beamish, R.E. eds.), p.251～268, Martinus Nijhoff, Boston, 1987。
- 5) 早川弘一：〔分担〕洞不全症候群。“Prescription for Heart & Circulatory Diseases”（村尾覚監修），p.114～116，世界保健通信社，1987。
- 6) 荒牧琢己，奥村英正：〔分担〕黄疸の鑑別診断。“肝臓の研究”（織田敏次他編），p.427～433，同文書院，1987。
- 7) 勝田悌実，奥村英正：〔分担〕肝疾患における循環器および呼吸器。“肝臓の研究”（織田敏次他編），p.1194～1216，同文書院，1987。
- 8) 奥村英正：〔分担〕消化器疾患及び肝疾患と母児管理“産婦人科Q&A”（熊坂高弘，岩田正晴編），p.132～135，金原出版，1987。
- 9) 宗像純司，川越栄：〔分担〕心膜炎。“心不全；新しい評価と治療”（宮下英夫編），p.261～268，中外医学社，1987。
- 10) 宗像一雄：〔分担〕心血管造影法。“開業医の外来循環器病学”（大林完二，橋本啓一編），p.140～152，南山

堂, 1987.

- 11) 奥村英正: [分担] 腹水. “肝不全” (現代医療編集委員会編), p.101~109, 現代医療社, 1987.
- 12) 奥村英正: 肝臓病の最新知識. 六興出版, 1987.
- 13) 早川弘一: [共訳] 不整脈. “循環器疾患マニュアル” (木下安弘, 春見建一監訳), p.25~52, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1987.
- 14) 荒牧琢己: [分担] 肝腫大. “今日の検査指針” (河合忠, 只野寿太郎編), p.140~143, 医学書院, 1987.
- 15) 清野精彦, 島井新一郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室): [分担] 心筋梗塞症例の呼吸器障害とその管理. p.274~280, 南山堂, 1987.
- 16) 早川弘一: [編集] 硝酸薬の作用と臨床応用, エクセプタ・メディカ, 1988.
- 17) 岸田浩: [分担] 安静狭心症. “硝酸薬の作用と臨床応用” (村尾覚, 栗山熙, 早川弘一編), p.129~143, エクセプタ・メディカ, 1988.
- 18) 奥村英正: [分担] 門脈圧亢進に対する薬物療法. “外科診療 Question & Answers”, p.962~963, 六法出版, 1988.
- 19) 早川弘一: [分担] 伝導障害. “今日の治療指針” (日野原重明, 阿部正和編), p.319~320, 医学書院, 1988.
- 20) 早川弘一: [分担] 頻脈性不整脈. “今日の診断指針” (亀山正邦, 亀田治男, 高久史鷹, 阿部令彦編), p.249~348, 医学書院, 1988.
- 21) 荒牧琢己: [分担] 腹部腫瘍. “今日の診断指針” (亀山正邦, 亀田治男, 高久史鷹, 阿部令彦編), p.347~348, 医学書院, 1988.

#### 学会発表

- 1) 奥村英正, 関山達也, 勝田悌実, 荒牧琢己, 里村克章, 赤池正博, 寺田秀人, 赤染悌三: [展示] 門脈圧亢進症に対するプロプラノロール長期投与について. 第84回日本内科学会講演会, 1987.
- 2) 岸田浩, 畑典武, 斉藤勉, 草間芳樹, 安武正弘, 鈴木健, 佐々木美典, 岩原信一郎, 大津文男, 早川弘一, 奥村英正: [展示] 異型狭心症の心筋梗塞発症率とその予測因子および抗狭心症治療薬との関係. 第84回日本内科学会講演会, 1987.
- 3) 田中啓治, 大竹稔, 高野照夫, 奥村英正: [展示] 心筋梗塞急性期における糖代謝異常の発現機序; とくに循環動態との関係について. 第84回日本内科学会講演会, 1987.
- 4) 清野精彦<sup>1)</sup>, 滝田孝之<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 早川弘一, 奥村英正 (<sup>1)</sup>集中治療室): [展示] 冠動脈疾患に合併せる四肢・頸動脈病変の検索とその臨床像・臨床背景について. 第84回日本内科学会講演会, 1987.
- 5) 大津文雄<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 中村辰男<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正 (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科): [展示] 本態性高血圧症者の運動負荷心電図におけるST低下・陰性U波の検討. 第84回日本内科学会講演会, 1987.
- 6) 川越栄<sup>1)</sup>, 宗像純司<sup>1)</sup>, 黒木伸一, 田上憲次郎<sup>2)</sup>, 山崎博男<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>都立駒込病院内科, <sup>2)</sup>東京都臨床医学総合研究所): [展示] 虚血性心疾患における血小板 TXA<sub>2</sub> 合成能の変動. 第84回日本内科学会講演会, 1987.
- 7) 斉藤勉, 木内要, 子島潤, 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一, 佐々木実<sup>1)</sup>, 村上喜昭<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>アドバンス開発研, <sup>2)</sup>住友製薬): [展示] ホルターシステムの不整脈判読論理の改良. 第26回日本ME学会大会, 1987.
- 8) 田中隆, 佐々部典子, 小林義典, 加藤貴雄, 早川弘一: [展示] 心室遅延電位の検出に関する一考察; 新しい加算平均法の検討. 第26回日本ME学会大会, 1987.
- 9) Norris, R.M.<sup>1)</sup>, White, H.D.<sup>1)</sup>, Brown, M.A.<sup>1)</sup>, Takayama, M. and Brandt, P.W.T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Green Lane Hospital, New Zealand): [一般講演] Improved left ventricular function and survival after acute myocardial infarction with intravenous streptokinase; A double blind trial with and without concomitant intravenous



- propranolol. 66th Annual General Meeting of the British Cardiac Society (Dundee, England), 1987.
- 10) 岸田浩：〔シンポジウム〕狭心症の内科的治療と限界。第22回日本医学会総会，1987.
  - 11) 赤池正博，菊池恭一，古明地弘和，筒井仁，大須賀勝，寺田秀人，関山達也，里村克章，勝田悌実，荒牧琢己，奥村英正：〔一般講演〕原発性胆汁性肝硬変におけるミトコンドリアマーカー酵素。第73回日本消化器病学会総会，1987.
  - 12) 勝田悌実，古明地弘和，大須賀勝，寺田秀人，関山達也，赤池正博，里村克章，荒牧琢己，奥村英正：〔一般講演〕肝硬変の成因からみた肝癌合併に及ぼすHBVと飲酒の関連について。第73回日本消化器病学会総会，1987.
  - 13) 後藤正道，森口聡子，平山悦之，大木清司，田中隆，飯田恵子，小林義典，井野威，新博次，加藤貴雄，早川弘一：〔一般講演〕Cycle length 依存性に多彩な QRS morphology の頻拍を呈した非持続性異所性心房頻拍の1例。第17回臨床心臓電気生理研究会，1987.
  - 14) 塚本浩<sup>1)</sup>，黒木伸一<sup>1)</sup>，植田俊郎<sup>1)</sup>，八田真人<sup>1)</sup>，古明地弘和，里村克章，荒牧琢己，奥村英正（<sup>1)</sup>白十字総合病院）：〔一般講演〕DICを併発した妊娠時急性脂肪肝の1例。第194回日本消化器病学会関東甲信越地方会，1987.
  - 15) Otsu, F., Kishida, H., Suzuki, T., Nejima, J., Saitoh, T., Kusama, Y., Hata, N., Hariya, Y., Yahata, K., Fujiwara, T.<sup>1)</sup>, Hamamoto, H.<sup>2)</sup>, Hayakawa, H. and Okumura, H. (<sup>1)</sup>Inada Noborito Hospital, <sup>2)</sup>Sakakibara Memorial Clinic) : 〔一般講演〕Antianginal efficacy of nisoldipine in patients with unstable angina pectoris; Evaluation in Holter ECG. 1st International Nisoldipine Symposium (Mainz), 1987.
  - 16) 堀川龍是<sup>1)</sup>，野原秀明<sup>1)</sup>，町田幸優<sup>1)</sup>，佐藤寛之<sup>1)</sup>，斉藤公一<sup>1)</sup>，本山三生<sup>1)</sup>，皆川彰<sup>1)</sup>，真鍋辰哉，太田真夫，清水順治，橋本英洋，大竹稔，奥村英正（<sup>1)</sup>中央検査部）：〔一般講演〕糖尿病コントロールの指標としての血中3-OHBA測定の意義。第30回日本糖尿病学会総会，1987.
  - 17) 滝田孝之<sup>1)</sup>，清野精彦<sup>1)</sup>，田中啓治<sup>1)</sup>，高野照夫<sup>1)</sup>，太田真夫，大竹稔，早川弘一，奥村英正（<sup>1)</sup>集中治療室）〔一般講演〕冠動脈疾患に合併する頸動脈・四肢動脈病変の臨床像。第30回日本糖尿病学会総会，1987.
  - 18) 洪芳樹，寺田秀人，佐々木熙之，新博次，里村克章，荒牧琢己，奥村英正，馬杉洋三<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1病理）：〔一般講演〕巣状糸球体硬化症を伴った原発性胆汁性肝硬変の1例。第365回日本内科学会関東地方会，1987.
  - 19) 福間長知<sup>1)</sup>，田中邦夫<sup>1)</sup>，富士崎成子<sup>1)</sup>，鈴木健<sup>1)</sup>，大津文雄<sup>1)</sup>，針谷吉人<sup>1)</sup>，八幡浩二<sup>1)</sup>，奥村英正，前田昭太郎<sup>2)</sup>，竹内仁<sup>3)</sup>（<sup>1)</sup>多摩永山病院内科，<sup>2)</sup>同病理，<sup>3)</sup>埼玉医大第1内科）：〔一般講演〕原発性マクログロブリン血症経過中に急性白血病を合併した1剖検例。第365回日本内科学会関東地方会，1987.
  - 20) 中込明裕<sup>1)</sup>，田中邦夫<sup>1)</sup>，草間芳樹<sup>1)</sup>，富士崎成子<sup>1)</sup>，鈴木健<sup>1)</sup>，大津文雄<sup>1)</sup>，針谷吉人<sup>1)</sup>，八幡浩二<sup>1)</sup>，前田昭太郎<sup>2)</sup>，早川弘一（<sup>1)</sup>多摩永山病院内科，<sup>2)</sup>同病理）：〔一般講演〕粥腫崩壊による血栓形成のため急死した急性心筋梗塞の1剖検例。第124回日本循環器学会関東甲信越地方会，1987.
  - 21) 真鍋辰哉，横山茂樹<sup>1)</sup>，立原利江子<sup>1)</sup>，矢島俊己<sup>1)</sup>，島井新一郎<sup>1)</sup>，清野精彦，松山謙<sup>1)</sup>，田中啓治<sup>1)</sup>，加藤貴雄<sup>1)</sup>，高野照夫<sup>1)</sup>，雪吹周生，栗原広孝，小坂真一<sup>2)</sup>，浅野哲雄<sup>2)</sup>，山手昇<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>集中治療室，<sup>2)</sup>胸部外科）：〔一般講演〕急性心筋梗塞に合併した左室自由壁破裂後40日間生存した1例。第124回日本循環器学会関東甲信越地方会，1987.
  - 22) Ostrzega, E.<sup>1)</sup>, Maddahi, J.<sup>1)</sup>, Honma, H., Van Train, K.F.<sup>1)</sup>, Prigent, F.<sup>1)</sup>, Charuzi, Y.<sup>1)</sup>, Rozanski, A.<sup>1)</sup> and Berman D.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Cedars - Sinai Medical Center) : 〔一般講演〕Evaluation of coronary disease in patients following myocardial infarction by TI-201 rotational tomography. 34th Annual Meeting of the Society of Nuclear Medicine (Toronto), 1987.
  - 23) 田中隆<sup>1)</sup>，佐々部典子<sup>1)</sup>，矢島俊己<sup>1)</sup>，清野精彦<sup>1)</sup>，松山謙<sup>1)</sup>，田中啓治<sup>1)</sup>，加藤貴雄<sup>1)</sup>，高野照夫<sup>1)</sup>，小林義典，富士崎成子，早川弘一（<sup>1)</sup>集中治療室）：〔一般講演〕経食道心房頻回刺激法による心房粗動の停止；経静脈右心房頻回刺激法との比較。第2回日本心臓ペースング学会，1987.

- 24) 飯田恵子, 洪基哲, 平山悦之, 森口聡子, 後藤正道, 井野威, 新博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 新しい抗不整脈薬 Cibenzoline の電気生理学的効果. 第2回日本心臓ペースング学会, 1987.
- 25) 後藤正道, 新博次, 平山悦之, 洪基哲, 井野威, 宗像一雄, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 不応期の不均一性と重症心室性不整脈. 第2回日本心臓ペースング学会, 1987.
- 26) 佐々部典子, 田中隆, 小林義典, 飯田恵子, 井野威, 新博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 矢島俊己<sup>1)</sup>, 松山謙<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室): [一般講演] 心房粗動に対する経食道心房頻回刺激単独ならびに抗不整脈薬併用の効果. 第2回日本心臓ペースング学会, 1987.
- 27) 井野威, 早川弘一: [一般講演] Fractionated electrogramに関する細胞電気生理学的検討. 第2回日本心臓ペースング学会, 1987.
- 28) 加藤貴雄: [ファイアサイドカンファランス] 興味あるペースング心電図例とその解釈. 第2回日本心臓ペースング学会, 1987.
- 29) 田中茂夫<sup>1)</sup>, 三枝直紀<sup>1)</sup>, 浅野哲雄<sup>1)</sup>, 小坂真一<sup>1)</sup>, 松山謙<sup>1)</sup>, 池下正敏<sup>1)</sup>, 山手昇<sup>1)</sup>, 庄司佑<sup>2)</sup>, 清野精彦<sup>2)</sup>, 加藤貴雄<sup>2)</sup>, 高野照夫<sup>2)</sup>, 早川弘一 (<sup>1)</sup>胸部外科, <sup>2)</sup>集中治療室): [シンポジウム] 血行動態から見たrate responsive ペースメーカーの適応と器種の選定 (主題: Rate responsive ペースメーカーの基礎と臨床). 第2回日本心臓ペースング学会, 1987.
- 30) 飯田恵子, 畑典武, 平山悦之, 井野威, 新博次, 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一: [一般講演] 特発性心室期外収縮例における運動負荷試験とホルター心電図の比較検討. 第8回ホルター心電図研究会, 1987.
- 31) 金子ひろ子, 斉藤勉, 猪口直美, 木内要, 草間芳樹, 畑典武, 鈴木健, 大津文雄, 岸田浩, 早川弘一: [一般講演] 狭心症発作頻度による重症度判定の限界; 特にホルター心電図所見による検討. 第8回ホルター心電図研究会, 1987.
- 32) 説田浩一<sup>1)</sup>, 猪口直美<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 岸田浩, 早川弘一 (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科): [一般講演] 本態性高血圧症者における24時間 R-R 間隔ヒストグラムの検討. 第8回ホルター心電図研究会, 1987.
- 33) 神田哲朗<sup>1)</sup>, 藤松雅彦<sup>1)</sup>, 鷺淵雅男<sup>1)</sup>, 佐藤光隆<sup>1)</sup>, 西文明<sup>1)</sup>, 阿武保郎<sup>1)</sup>, 安武正弘, 大津直之<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>博慈会記念病院放射線科, <sup>2)</sup>同病理): [一般講演] 胆管細胞癌の右房転移の1例. 第364回日本医学放射線学会関東地方会, 1987.
- 34) 中込明裕<sup>1)</sup>, 福岡長知<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 前田昭太郎<sup>2)</sup>, 奥村英正 (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>同病理): [一般講演]  $\beta$ -streptococcus A群により大動脈弁穿破を来した感染性心内膜炎の2例. 第366回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 35) 石川貴史, 赤池正博, 佐々木熙之, 赤染悌三, 奥村英正, 秋元成太<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>泌尿器科): [一般講演] 右心房内に浸潤性発育した腎細胞癌の1例. 第366回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 36) 畑典武, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一: [一般講演] 再梗塞例の冠動脈造影所見について. 第7回心筋梗塞研究会, 1987.
- 37) Koh, M., Karagueuzian, H.<sup>1)</sup>, Mandel, W.J.<sup>1)</sup> and Peter, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Cedars - Sinai Medical Center): [一般講演] Electrophysiologic and antiarrhythmic effects of dihydroquinidine. International Conference on the Management of Cardiac Arrhythmias (London), 1987.
- 38) Ino, T., Karagueuzian, H.<sup>1)</sup>, Koh, M., Meesman, M.<sup>1)</sup>, Mandel, W.J.<sup>1)</sup> and Peter, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Cedars - Sinai Medical Center): [一般講演] The relation of contact monophasic action potentials to underlying myocardial cell population; A microelectrode validation study. International Conference on the Management of Cardiac Arrhythmias (London), 1987.

- 39) 小宮山徹三, 佐々木熙之, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正, 田中隆<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室) : [一般講演] 急性心筋梗塞を契機として診断された原発性胆汁性肝硬変の一例. 第195回消化器病学会関東甲信越地方会, 1987.
- 40) Ostrzega, E.<sup>1)</sup>, Maddahi, J.<sup>1)</sup>, Honma, H., Crues, J. III<sup>1)</sup>, Fraire, J.<sup>1)</sup>, Charuzi, Y.<sup>1)</sup> and Berman, D.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Cedars-Sinai Medical Center) : [展示] Noninvasive, in - vivo quantification of left ventricular myocardial mass in man by nuclear magnetic resonance imaging. 6th Annual Meeting of the Society of Magnetic Resonance in Medicine (New York), 1987.
- 41) 畑典武, 植田俊郎, 飯田恵子, 斉藤勉, 金沢正邦, 岸田浩, 早川弘一, 高野照夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室) : [一般講演] 急性心筋梗塞回復期と1年後の運動耐容能についての検討. 第10回心臓リハビリテーション研究会, 1987.
- 42) 安武正弘, 柴田純一<sup>1)</sup>, 佐々木熙之, 伊興田浩介<sup>2)</sup>, 佐藤光隆<sup>3)</sup>, 大津直之<sup>4)</sup>, 新博次, 早川弘一, 奥村英正 (<sup>1)</sup>博慈会記念病院循環器科, <sup>2)</sup>同内科, <sup>3)</sup>同放射線科, <sup>4)</sup>同病理) : [一般講演] 肺梗塞を合併したPIE症候群の1例. 第367回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 43) 木内要, 鹿野浩一, 河住茂<sup>1)</sup>, 高木秀峰<sup>1)</sup>, 村中正治<sup>1)</sup>, 井田時雄<sup>2)</sup>, 高野康雄<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>湯河原厚生年金病院内科, <sup>2)</sup>国病熱海泌尿器科, <sup>3)</sup>小田原市立病院中検病理部) : [一般講演] 特発性後腹膜線維症の1例. 第367回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 44) 田中隆<sup>1)</sup>, 清野精彦<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 大木清司, 佐々部典子, 太田真夫, 早川弘一, 奥村英正 (<sup>1)</sup>集中治療室) : [一般講演] 心筋梗塞症例における心室遅延電位検出の意義. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 45) 川越栄<sup>1)</sup>, 丸山二郎<sup>1)</sup>, 宗像純司<sup>1)</sup>, 石川貴史<sup>1)</sup>, 佐々木美典<sup>1)</sup>, 黒木伸一, 早川弘一, 奥村英正 (<sup>1)</sup>都立駒込病院内科) : [一般講演] 狭心症発作時の血小板機能とチクロピジンの影響. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 46) 福岡長知<sup>1)</sup>, 中村辰男<sup>1)</sup>, 小林薫<sup>1)</sup>, 説田浩一<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正 (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科) : [一般講演] 本態性高血圧症者における運動負荷試験の意義. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 47) 小宮山徹三, 赤池正博, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正 : [一般講演] 原発性胆汁性肝硬変における肝外病変に関する検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 48) 富田喜文 : [特別講演] 心筋細胞におけるTubular membrane system. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 49) 井野威 : [特別講演] Contact electrodeによる単相性活動電位と細胞内活動電位の比較検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 50) 高山守正 : [特別講演] 急性虚血心筋のpost - systolic shorteningと冠再灌流後の心筋収縮能との関係. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 51) 斉藤勉, 金子ひろ子, 猪口直美, 木内要, 草間芳樹, 畑典武, 鈴木健, 大津文雄, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正 : [展示] 狭心症発作頻度による重症度判定の限界. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 52) 畑典武, 森規勝, 小海信一, 植田俊郎, 栗原広孝, 雪吹周生, 今泉孝敬, 富田喜文, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正 : [展示] 心筋梗塞再発作例の冠動脈造影所見について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 53) 川越栄<sup>1)</sup>, 丸山二郎<sup>1)</sup>, 宗像純司<sup>1)</sup>, 石川貴史<sup>1)</sup>, 佐々木美典<sup>1)</sup>, 早川弘一, 奥村英正 (<sup>1)</sup>都立駒込病院内科) : [展示] 高齢者高度房室ブロックに対するVVI方式ペースメーカー治療のfollow - up study. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 54) 飯田恵子, 畑典武, 井野威, 新博次, 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正 : [展示] 特発性心室期外収縮例における運動負荷試験とホルター心電図の比較検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.

- 55) 安武正弘, 佐々木熙之, 柴田純<sup>1)</sup>, 伊与田浩介<sup>2)</sup>, 新城之介<sup>2)</sup>, 藤松雅彦<sup>3)</sup>, 神田哲朗<sup>3)</sup>, 鷺淵雅男<sup>3)</sup>, 早川弘一, 奥村英正 ( <sup>1)</sup>博慈会記念病院循環器科, <sup>2)</sup>同内科, <sup>1)</sup>同放射線科 ) : [ 展示 ] MRI (Magnetic Resonance Imaging) により検出した心内占拠性病変 4 例の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 56) 津久井拓<sup>1)</sup>, 末岡伸夫<sup>1)</sup>, 山田益弘<sup>1)</sup>, 秦泉寺亮<sup>1)</sup>, 林伸幸<sup>1)</sup>, 川上明彦<sup>1)</sup>, 瀬底正彦<sup>1)</sup>, 渡辺昂<sup>1)</sup>, 荒牧琢己, 黒田肇<sup>2)</sup>, 小林正文<sup>2)</sup>, 野村武夫<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院内視鏡センター, <sup>2)</sup>第3内科 ) : [ 展示 ] 原発性肝細胞癌に対する経カテーテル動脈内塞栓術 (TAE) 後に発生した胃潰瘍の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 57) 金子ひろ子<sup>1)</sup>, 猪口直美<sup>1)</sup>, 小野寺威夫<sup>1)</sup>, 田中隆<sup>1)</sup>, 富田喜文<sup>1)</sup>, 橋本英洋<sup>1)</sup>, 荒牧琢己, 奥村英正 ( <sup>1)</sup>下谷病院内科 ) : [ 展示 ] 門脈石灰化を伴う胆石症の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 58) 寺田秀人, 古明地弘和, 筒井仁, 小宮山徹三, 大須賀勝, 関山達也, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正 : [ 一般講演 ] 肝硬変における循環障害と自律神経機能; 体位変換による循環動態の変化について. 第22回日本肝臓学会東部会, 1987.
- 59) 小宮山徹三, 赤池正博, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正 : [ 一般講演 ] 原発性胆汁性肝硬変における肝外病変に関する検討. 第22回日本肝臓学会東部会, 1987.
- 60) 洪芳樹, 寺田秀人, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正, 馬杉洋三<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1病理 ) : [ 展示 ] 巣状糸球体硬化症を伴った原発性胆汁性肝硬変の若年男性例. 第22回日本肝臓学会東部会, 1987.
- 61) 小海信一, 藤田信輔, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正 : [ 展示 ] AFP高値 (>1000ng/ml) を示した慢性肝炎患四例の検討. 第22回日本肝臓学会東部会, 1987.
- 62) 古明地弘和, 筒井仁, 小宮山徹三, 大須賀勝, 寺田秀人, 関山達也, 赤池正博, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正 : [ 一般講演 ] 慢性肝臓疾患における門脈圧亢進症に対するPrazosinの影響. 第22回日本肝臓学会東部会, 1987.
- 63) 大木清司, 藤田信輔, 洪芳樹, 飯田恵子, 佐々木熙之, 荒牧琢己, 奥村英正 : [ 一般講演 ] 慢性活動性肝炎を合併した Hermansky - Pudlak syndrome の1例. 第368回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 64) 長野具雄<sup>1)</sup>, 中村辰男<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 山本鼎<sup>2)</sup>, 奥村英正 ( <sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>同放射線科 ) : [ 一般講演 ]  $\beta$  ブロッカー服用中に出現した肺静脈瘤の1例. 第368回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 65) 星野公彦, 岩原信一郎, 大須賀勝, 寺田秀人, 佐々木熙之, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正 : [ 一般講演 ] 高度の胆汁うっ滞を呈し遷延した急性A型肝炎の1例. 第196回日本消化器病学会関東甲信越地方会, 1987.
- 66) Ostrzega, E.<sup>1)</sup>, Maddahi, J.<sup>1)</sup>, Honma, H., Crues, J. III<sup>1)</sup>, Fraire, J.<sup>1)</sup>, Charuzi, Y.<sup>1)</sup> and Berman, D.<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>Cedars-Sinai Medical Center ) : [ 一般講演 ] Gated spin echo NMR imaging for noninvasive in - vivo quantitation of left ventricular mass in man. 12th Annual Western Regional Meeting of the Society of Nuclear Medicine (San Diego), 1987.
- 67) Ostrzega, E.<sup>1)</sup>, Crues, J., III<sup>1)</sup>, Honma, H., Friedman, J.<sup>1)</sup>, Charuzi, Y.<sup>1)</sup> and Berman, D.<sup>1)</sup>, ( <sup>1)</sup>Cedars - Sinai Medical Center ) : [ 一般講演 ] Determination of left ventricular mass in man: cine versus gated spin echo NMR imaging techniques. 12th Annual Western Regional Meeting of the Society of Nuclear Medicine (San Diego), 1987.
- 68) Hayakawa, H., Kato, K.<sup>1)</sup>, Ueda, K.<sup>2)</sup>, Tanabe, T.<sup>3)</sup>, Iinuma, H.<sup>1)</sup>, Sakuma, A.<sup>4)</sup> and Tsutani, K.<sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup>Cardiovascular Institute Hospital, <sup>2)</sup>Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital, <sup>3)</sup>Tokai University, <sup>4)</sup>Tokyo Medical and Dental University ) : [ 一般講演 ] Efficacy of aprindine on ventricular premature contraction (VPC) ; A multicenter double blind group-Comparison study in Japan. 2nd Cardiovascular Pharmacotherapy International Symposium (San Francisco), 1987.

- 69) Kishida, H., Inagaki, Y.<sup>1)</sup>, Hayakawa, H., Kurita, A.<sup>2)</sup>, Saito, T.<sup>1)</sup> and Kitagawa, H.<sup>1)</sup>, (<sup>1)</sup>Chiba University, <sup>2)</sup>National Defence Medical College) : [一般講演] The effect of nitroglycerin ointment on the exercise - induced angina ; A multicenter trial. 2nd Cardiovascular Pharmacotherapy International Symposium (San Francisco), 1987.
- 70) Ino, T., Koh, M., Atarashi, H., Hirayama, Y., Gotoh, M., Iida, K., Kobayashi, Y., Katoh, T. and Hayakawa, H. : [一般講演] Effects of single oral dose of Flecaïnide acetate on induction of supraventricular tachycardia with and without preexcitation. 2nd Cardiovascular Pharmacotherapy International Symposium (San Francisco), 1987.
- 71) Atarashi, H., Iida, K., Koh, M., Kobayashi, Y., Moriguchi, S., Gotoh, M., Ino, T., Katoh, T. and Hayakawa, H. : [一般講演] Electrophysiological effects of intravenous cibenzoline. 2nd Cardiovascular Pharmacotherapy International Symposium (San Francisco), 1987.
- 72) Kawagoe, S.<sup>1)</sup>, Kuroki, S., Munakata, J.<sup>1)</sup>, Tanoue, K.<sup>1)</sup>, Yamazaki, H.<sup>1)</sup> and Hayakawa, H. (<sup>1)</sup>Tokyo Metropolitan Komagome Hospital) : [一般講演] Platelet function and exercise tolerance in patients with effort angina receiving short - and long - term treatment with ticlopidine. 2nd Cardiovascular Pharmacotherapy International Symposium (San Francisco), 1987.
- 73) 畑典武, 岩原信一郎, 栗原広孝, 雪吹周生, 佐々木美典, 今泉孝敬, 植田俊郎, 小海信一, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正 : [一般講演] 心筋梗塞再発作例の冠動脈所見. 第28回日本脈管学会, 1987.
- 74) 佐々木美典, 岩原信一郎, 森規勝, 草間芳樹, 畑典武, 高山守正, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一, 清野精彦<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室) : [一般講演] 下壁梗塞急性期における右側胸部誘導ST上昇と右冠動脈病変部位との関係. 第28回日本脈管学会, 1987.
- 75) 高山守正, 石川辰雄<sup>1)</sup>, Brandt, P.W.T.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>群馬循環器病院, <sup>2)</sup>Green Lane Hospital) : [一般講演] Greene Lane方式による冠動脈分布からみた心筋虚血の評価. 第28回日本脈管学会, 1987.
- 76) 滝田孝之<sup>1)</sup>, 清野精彦<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 大竹稔, 早川弘一, 奥村英正 (<sup>1)</sup>集中治療室) : [一般講演] 糖尿病合併冠動脈疾患における抹消血管病変の臨床像. 第28回日本脈管学会, 1987.
- 77) 小林薫<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 岸田浩, 早川弘一 (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科) : [一般講演] 本態性高血圧症患者の運動負荷試験時における循環動態とカテコールアミンの反応性について. 第28回日本脈管学会, 1987.
- 78) 川越栄<sup>1)</sup>, 黒木伸一, 丸山二郎, 宗像純司<sup>1)</sup>, 山口敦美<sup>2)</sup>, 田上憲次郎<sup>2)</sup>, 山崎博男<sup>2)</sup>, 早川弘一 (<sup>1)</sup>都立駒込病院内科, <sup>2)</sup>東京都臨床医学研究所) : [一般講演] 狭心症発作時の血小板の活性化とチロジンの短期ならびに長期投与の影響. 第28回日本脈管学会, 1987.
- 79) 斉藤勉, 大木清司, 岸田浩, 早川弘一, 佐々部典子<sup>1)</sup>, 佐藤任宣<sup>1)</sup>, 藤原忠通<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>稲田登戸病院) : [一般講演] 80歳以上の高齢者における Holter 心電図所見. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 80) 堀川龍是<sup>1)</sup>, 町田幸優<sup>1)</sup>, 斎藤公一<sup>1)</sup>, 皆川彰<sup>1)</sup>, 真鍋辰哉, 富田喜文, 太田真夫, 清水順治, 橋本英洋, 大竹稔, 奥村英正 (<sup>1)</sup>中央検査部) : [一般講演] 糖尿病コントロールの指標としての血中 3-OHBA 測定的重要性について. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 81) 説田浩一<sup>1)</sup>, 福岡長知<sup>1)</sup>, 中村辰男<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正 (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科) : [一般講演] 高齢者の本態性高血圧症と運動負荷試験. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 82) 島井新一郎<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 真鍋辰哉<sup>1)</sup>, 春山勝<sup>1)</sup>, 田中隆<sup>1)</sup>, 矢島俊己<sup>1)</sup>, 高田加寿子<sup>1)</sup>, 清野精彦<sup>1)</sup>, 松山謙<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 大竹稔, 盤若博司<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室, <sup>2)</sup>老人科) : [一般講演] 低 T<sub>3</sub>, T<sub>4</sub> 症候群, 急

性心筋梗塞での検討, 第29回日本老年医学会総会, 1987.

- 83) 川越栄<sup>1)</sup>, 丸山二郎, 宗像純司<sup>1)</sup>, 田上憲次郎<sup>2)</sup>, 山崎博男<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>都立駒込病院内科, <sup>2)</sup>都臨床医学総合研究所): [一般講演] 狭心症における Ticlopidine 長期投与の血小板 TXA<sub>2</sub> 合成能, 凝集能ならびに運動耐容能に及ぼす影響. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 84) 岸田浩: [シンポジウム] Silent ischemia に対するホルター心電図法に応用 (主題: Holter 心電図法の進歩と問題点). 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 85) 新博次, 後藤正道, 平山悦之, 飯田恵子, 井野威, 川口信子, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] Class Ib 抗不整脈薬無効例に対する他剤の反応; ホルター心電図による検討. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 86) 富田喜文, Ferrans, V.J.<sup>1)</sup>, (<sup>1)</sup>米国NIH心臓肺血液研究所病理): [一般講演] Guinea pig の房室結節各部位における筋小胞体の形態学的研究. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 87) 斉藤勉, 岸田浩, 金子ひろ子, 猪口直美, 木内要, 草間芳樹, 畑典武, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一: [一般講演] 狭心症におけるホルター心電図所見; とくに無症候性ST下降について. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 88) 飯田恵子, 岸田浩, 斉藤寛和, 畑典武, 井野威, 新博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 心室頻拍 (VT) 例と非VT例の運動負荷に対する反応. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 89) 飯田恵子, 岸田浩, 斉藤寛和, 畑典武, 井野威, 新博次, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 運動負荷による心室性期外収縮 (VPC) の増加群と減少群の比較. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 90) 田中隆, 佐々部典子, 小林義典, 清野精彦, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫<sup>1)</sup>, 早川弘一 (<sup>1)</sup>集中治療室): [一般講演] 心筋梗塞症例における心室遅延電位検出の意義. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 91) 大木清司, 田中隆, 佐々部典子, 小林義典, 太田真夫, 加藤貴雄, 高野照夫<sup>1)</sup>, 早川弘一 (<sup>1)</sup>集中治療室): [一般講演] 心室内伝導障害例における加算平均心電図の検討. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 92) 佐々部典子, 田中隆, 大木清司, 小林義典, 井野威, 新博次, 加藤貴雄, 高野照夫<sup>1)</sup>, 早川弘一 (<sup>1)</sup>集中治療室): [一般講演] 心室遅延電位の検出に関する一考察; 新しい加算平均法の検討. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 93) 福岡長知<sup>1)</sup>, 中村辰男<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 岸田浩, 早川弘一 (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科): [一般講演] 本態性高血圧症者における陰性U波の意義. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 94) 中村辰男<sup>1)</sup>, 福岡長知<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 岸田浩, 早川弘一 (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科): [一般講演] 本態性高血圧症者の運動負荷心電図におけるST低下に及ぼすカテコラミンの影響. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 95) 平山悦之<sup>1)</sup>, 小林義典<sup>1)</sup>, 藤森ひろみ<sup>1)</sup>, 亀井真一郎<sup>1)</sup>, 藤本俊文<sup>1)</sup>, 宗像一雄<sup>1)</sup>, 早川弘一, 奥村英正 (<sup>1)</sup>北村山公立病院内科): [一般講演] WPW症候群に洞不全症候群を合併した2例. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 96) 長沢紘一, 筒井末春<sup>1)</sup>, 本多和雄<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>東邦大診療内科, <sup>2)</sup>益川赤十字病院内科): [一般講演] 起立失調症候群に対する Amezinium metilsulfate (LU-1631) の臨床的検討. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 97) 新博次, 佐々木熙之, 井野威, 早川弘一: [一般講演] Pirmepol (Cl-845) 第一相試験. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 98) 新博次, 川越栄<sup>1)</sup>, 宗像純司<sup>1)</sup>, 早川弘一, 朝野芳郎<sup>2)</sup>, 森下亘通<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>都立駒込病院内科, <sup>2)</sup>エーザイ(株)臨床薬理): [一般講演] 新しいプロスタサイクリン誘導体 E-1030 (Iloprost) 第一相試験. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 99) 佐々木熙之, 新博次, 大坂元久, 佐々木美典, 大須賀恵美子, 早川弘一, 朝野芳郎<sup>1)</sup>, 森下亘通<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>エーザイ(株)臨床薬理): [一般講演] 新しい狭心薬 E-1020 の健常人における臨床薬理学的研究(1). 静脈内投与試験. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.

- 100) 佐々木熙之, 新博次, 大坂元久, 佐々木美典, 飯田恵子, 太田真夫, 早川弘一, 朝野芳郎<sup>1)</sup>, 森下亘通<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>エーザイ(株臨床薬理) : [一般講演] 新しい狭心薬 E-1020 の健康人における臨床薬理学的研究. (2) 経口投与試験. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 101) 大須賀勝, 古明地弘和, 小宮山徹三, 寺田秀人, 関山達也, 赤池正博, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正 : [一般講演] 門脈圧と食道静脈瘤に対する prazosin の効果; propranolol との比較. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 102) 斉藤勉, 金子ひろ子, 畑典武, 岸田浩, 早川弘一, 大橋和史<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>臨床薬理センター) : [一般講演] 狭心症に対する Nifedipine と Diltiazem の併用効果. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 103) 田中隆, 飯田恵子, 小林義典, 井野威, 新博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 石原茂樹<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>徳島大第2内科) : [一般講演] 新しい抗不整脈薬 ME3202 (Penticainide) の臨床第一相試験. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 104) 大津文雄<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 岸田浩, 斉藤勉, 草間芳樹, 畑典武, 早川弘一, 奥村英正, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 藤原忠通<sup>2)</sup>, 浜本紘<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>稲田登戸病院内科, <sup>3)</sup>榊原記念クリニック) : [一般講演] 不安定狭心症に対する Nisoldipine の効果; Holter 心電図による検討. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 105) 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 岸田浩, 斉藤勉, 草間芳樹, 畑典武, 早川弘一, 奥村英正, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 藤原忠通<sup>2)</sup>, 浜本紘<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>稲田登戸病院内科, <sup>3)</sup>榊原記念クリニック) : [一般講演] 安静狭心症に対する Nisoldipine (BAY k5552) の効果. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 106) 荒牧琢己 : [ラウンドテーブルディスカッション] 有腹水肝硬変の病態と治療; 予後との関係 (主題: 難治性腹水の治療). 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 107) 勝田悌実 : [ラウンドテーブルディスカッション] 肝硬変における門脈圧亢進症の病態と全身血行動態; 食道静脈瘤を中心として (主題: 門脈亢進症の血行動態). 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 108) 大須賀勝, 関山達也, 寺田秀人, 古明地弘和, 赤池正博, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正 : [一般講演] 食道静脈瘤に対する薬物療法; プロプラノロールを中心に. 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 109) 寺田秀人, 大須賀勝, 関山達也, 古明地弘和, 筒井仁, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己 : [展示] 肝硬変における循環障害と自律神経機能. 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 110) 遠藤正宏<sup>1)</sup>, 中西一浩<sup>1)</sup>, 小川龍<sup>1)</sup>, 弓削静彦<sup>2)</sup>, 橋本憲三<sup>2)</sup>, 八木光弘<sup>2)</sup>, 安武正博 ( <sup>1)</sup>麻酔科, <sup>2)</sup>博慈会記念病院外科) : [一般講演] 硬膜外麻酔中に冠動脈スパズムを疑われた症例. 第7回日本臨床麻酔学会, 1987.
- 111) 斉藤勉, 大木清司, 早川弘一, 奥村英正, 佐々部典子<sup>1)</sup>, 佐藤任宣<sup>1)</sup>, 藤原忠通<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>稲田登戸病院) : [一般講演] 高齢者の心室期外収縮例の病態像について. 第6回関東老年病学会研究会, 1987.
- 112) 堀川龍是, 大竹稔 : [パネルディスカッション] 高齢者糖尿病患者の脂質代謝に及ぼす大柴胡湯の影響 (主題: 高脂血症), 第3回東京内科漢方研究会, 1987.
- 113) Maddahi, J.<sup>1)</sup>, Ostrzega, E.<sup>1)</sup>, Crues, J., III<sup>1)</sup>, Siegel, R.<sup>1)</sup>, Honma, H., Friedman, J.<sup>1)</sup>, Charuzi, Y.<sup>1)</sup> and Berman, D.<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>Cedars - Sinai Medical Center) : [展示] Noninvasive quantification of left ventricular end diastolic and end systolic volumes, stroke volumes, stroke volume ratio, ejection fraction, and regurgitant fraction with cine MR imaging. 73rd Scientific Meeting of the Radiological Society of North America (Chicago), 1987.
- 114) Maddahi, J.<sup>1)</sup>, Ostrzega, E.<sup>1)</sup>, Crues, J., III<sup>1)</sup>, Honma, H., Siegel, R.<sup>1)</sup>, Charuzi, Y.<sup>1)</sup> and Berman, D.<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>Cedars - Sinai Medical Center) : [展示] Application of cine cardiac MR imaging in normal subjects and patients with valvular, coronary artery, and aortic disease. 73rd Scientific Meeting of the Radiological Society of North America (Chicago), 1987.
- 115) Ostrzega, E.<sup>1)</sup>, Maddahi, J.<sup>1)</sup>, Honma, H., Crues, J., III<sup>1)</sup>, Fraire, J.<sup>1)</sup>, Charuzi, Y.<sup>1)</sup> and Berman, D.<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>Cedars - Sinai Medical Center) : [展示] Noninvasive in - vivo quantitation of left ventricular mass in humans

- with MR imaging. 73rd Scientific Meeting of the Radiological Society of North America (Chicago), 1987.
- 116) 内田高浩, 寺田秀人, 佐々木熙之, 畑典武, 今泉孝敬, 高山守正, 栗原広孝, 森規勝, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正, 高橋文恵<sup>1)</sup>, 野村武夫<sup>1)</sup> (第3内科): [一般講演] 慢性腎不全を伴う重症狭心症に経皮的冠動脈形成術が有効であった1例. 日本医科大学医学部第63回例会, 1987.
- 117) 勝部康弘<sup>1)</sup>, 神保修<sup>1)</sup>, 渡辺善一郎<sup>1)</sup>, 小川俊一<sup>1)</sup>, 前田美穂<sup>1)</sup>, 津村治男<sup>1)</sup>, 平山恒夫<sup>1)</sup>, 井野威, 新博次 (小児科): [一般講演] Idiopathic sick sinus syndromeの1小児例. 第126回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1987.
- 118) 中込明裕<sup>1)</sup>, 長野具雄<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 前田昭太郎<sup>2)</sup>, 奥村英正 (多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>同病理): [一般講演] 難治性発作性上室性頻拍症に対して房室結節カテーテル電気的切除を施行した1剖検例. 第369回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 119) 大木清司, 田中隆, 佐々部典子, 小林義典, 太田真夫, 加藤貴雄, 早川弘一: [一般講演] 脚ブロックにおける心室遅延電位の検討. 第5回心電図信号処理ワークショップ, 1987.
- 120) White, H.D.<sup>1)</sup>, Ashton, N.G.<sup>1)</sup>, Norris, R.M.<sup>1)</sup>, Takayama, M., Brown, M.A.<sup>1)</sup>, Maslowski, A.H.<sup>1)</sup>, Bass, N.M.<sup>1)</sup>, Brandt, P.W.T.<sup>1)</sup> and Whitlock, T.<sup>1)</sup> (Green Lane Hospital): [一般講演] Improved regional wall motion after streptokinase when corrected for area of myocardium at risk. 60th Annual Scientific Sessions of American Heart Association (Anaheim), 1987.
- 121) Meesmann, M.<sup>1)</sup>, Karagueuzian, H.S.<sup>1)</sup>, Ino, T., McGrath, M.F.<sup>1)</sup>, McCullen, A.E.<sup>1)</sup>, Mandel, W.J.<sup>1)</sup> and Peter, T.<sup>1)</sup> (Cedars - Sinai Medical Center): [一般講演] Effects of cholinergic activation on spontaneous ischemic ventricular tachycardias in conscious dogs. 60th Annual Scientific Sessions of American Heart Association (Anaheim), 1987.
- 122) Honma, H., Czer, L.<sup>1)</sup>, Ostrzega, E.<sup>1)</sup>, Sethna, D.<sup>1)</sup>, Don Michael, A.<sup>1)</sup> and Charuzi, Y.<sup>1)</sup> (Cedars - Sinai Medical Center): [一般講演] Role of stress thallium-201 tomography and cine CT in noninvasive evaluation of coronary artery bypass patients. 60th Annual Scientific Sessions of American Heart Association (Anaheim), 1987.
- 123) Ostrzega, E.<sup>1)</sup>, Lai, W.<sup>1)</sup>, Cruess, J. III<sup>1)</sup>, Honma, H., Hidalgo, M.<sup>1)</sup> and Maurer, G.<sup>1)</sup> (Cedars - Sinai Medical Center): [一般講演] Comparison of cine magnetic resonance imaging and color flow doppler for assessment of valvular regurgitant flow: preliminary results. 60th Annual Scientific Sessions of American Heart Association (Anaheim), 1987.
- 124) 小海信一, 猪口直美, 太田真夫, 金沢正邦<sup>1)</sup>, 早川弘一, 奥村英正, 米山剛一<sup>1)</sup>, 福田悠<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup> (第1病理): [一般講演] 大動脈炎症候群に合併したネフローゼ症候群 (膜性増殖性糸球体腎炎) の1例. 第370回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 125) 後藤正道<sup>1)</sup>, 小林薫<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 荒牧琢己, 奥村英正 (多摩永山病院内科): [一般講演] 遷延する黄疸に対しコレステラミンが有効と思われた重症ウイルス性肝炎の1例. 第370回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 126) 岩原信一郎<sup>1)</sup>, 中込明裕<sup>1)</sup>, 小島大二<sup>1)</sup>, 笠井源吾<sup>1)</sup>, 大場修司<sup>2)</sup>, 田中昇<sup>3)</sup>, 奥村英正 (波崎済生病院内科, <sup>2)</sup>同泌尿器科, <sup>3)</sup>鹿島臨床検査センター病理): [一般講演] 無痛性陰嚢内容腫大を初発症状とした多発性骨髄腫の1例. 第370回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 127) 高山守正: [パネルディスカッション] 急性心筋梗塞に対する interventional 療法の第1選択はなにか. 第1回 JCA研究会, 1987.
- 128) 金子ひろ子<sup>1)</sup>, 小野寺威夫<sup>1)</sup>, 猪口直美<sup>1)</sup>, 田中隆<sup>1)</sup>, 富田喜文<sup>1)</sup>, 橋本英洋<sup>1)</sup>, 荒牧琢己, 奥村英正 (下谷病



- 128)金子ひろ子<sup>1)</sup>, 小野寺威夫<sup>1)</sup>, 猪口直美<sup>1)</sup>, 田中隆<sup>1)</sup>, 富田喜文<sup>1)</sup>, 橋本英洋<sup>1)</sup>, 荒牧琢己, 奥村英正 (<sup>1)</sup>下谷病院内科): [一般講演] 門脈壁石灰化の2例. 第197回日本消化器病学会関東甲信越地方会, 1987.
- 129)太田真夫, 佐々木熙之, 大坂元久, 佐々木義典, 川口信子, 宗像一雄, 早川弘一, 江藤茂樹<sup>1)</sup>, 岡崎豊<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>三井製薬工業): [一般講演] 新しい狭心薬MS-857の健常人における臨床薬理学的研究. 第3回心不全研究会, 1987.
- 130)丸山二郎, 川越栄<sup>1)</sup>, 宗像純司<sup>1)</sup>, 楊振典<sup>1)</sup>, 根岸昌功<sup>1)</sup>, 増田剛太<sup>1)</sup>, 八森啓<sup>1)</sup>, 南谷幹夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>都立駒込病院): [一般講演] AIDSにおける心臓病変の臨床的検討. 第1回AIDS研究会, 1987.
- 131)金子ひろ子, 岸田浩, 斉藤勉, 猪口直美, 畑典武, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一, 奥村英正: [一般講演] 陳旧性心筋梗塞例における無症候性虚血発作について. 第22回日本成人病学会, 1988.
- 132)小宮山徹三, 赤池正博, 菊池恭一, 古明地弘和, 大須賀勝, 関山達也, 寺田秀人, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] ウイルス肝炎における末梢血リンパ球および血清2'-5'オリゴアデニル酸合成酵素(12-5A・S)活性の臨床的意義. 第22回日本成人病学会, 1988.
- 133)瀬戸廣, 長沢紘一, 荒牧琢己, 勝田悌実, 寺田秀人, 関山達也, 奥村英正: [一般講演] 数量化理論による慢性肝疾患の門脈圧推定式の作成. 第22回日本成人病学会, 1988.
- 134)瀬戸廣, 長沢紘一, 荒牧琢己, 勝田悌実, 寺田秀人, 関山達也, 奥村英正: [一般講演] 数量化理論による慢性肝疾患の門脈圧推定式の作成. 第22回日本成人病学会, 1988.
- 135)後藤正道<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 斉藤勉, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正 (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科): [一般講演] 狭心症における発作時自覚症の有無と年齢について; Holter心電図による検討. 第22回日本成人病学会, 1988.
- 136)内田高浩, 寺田秀人, 堀川龍是, 佐々木熙之, 太田真夫, 橋本英洋, 清水順治, 大竹稔, 関はるみ<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>耳鼻科): [一般講演] 反回神経麻痺と下咽頭浮腫を呈した糖尿病の1例. 第25回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 1988.
- 137)佐藤直樹, 国見聡宏, 上田洋一, 斉藤勉, 大須賀勝, 佐々木熙之, 荒牧琢己, 奥村英正, 福田悠<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1病理): [一般講演] 胃, S状結腸・肺の同時性三重癌の1剖検例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 138)後藤正道<sup>1)</sup>, 長野具雄<sup>1)</sup>, 中込明裕<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 長沢紘一<sup>1)</sup>, 前田昭太郎<sup>2)</sup>, 山本鼎<sup>3)</sup>, 奥村英正 (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>同病理検査室, <sup>3)</sup>同放射線科): [一般講演] 腸管内結石を伴い悪性奇形腫と鑑別困難であった脂肪肉腫の1例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 139)来馬明規, 新博次, 安武正弘, 富士崎成子, 畑典武, 高山守正, 岸田浩, 早川弘一: [一般講演] 胸部鈍的外傷受傷により発症したと考えられる左心室瘤の1例. 第127回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1988.
- 140)横山広行, 内田高浩, 来馬明規, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] 所謂acute on chronicを呈し死亡したアルコール性肝障害の3例. 第198回日本消化器病学会関東甲信越地方会, 1988.
- 141)八島正明, 井野威, 新博次, 寺田秀人, 古明地弘和, 大須賀勝, 荒牧琢己, 奥村英正, 大矢徹<sup>1)</sup>, 隈崎達夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>放射線科): [一般講演] 上腸間膜動静脈吻合を合併した肝硬変の1例. 第371回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 142)長野具雄<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 前田昭太郎<sup>2)</sup>, 奥村英正 (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>同病理): [一般講演] 著名な脾萎縮を認めたSLEの1剖検例. 第371回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 143)Muramatsu,H., Matsuo,S., Munakata,K., Kishida,H. and Hayakawa,H.: [一般講演] The outward current induced by hypoxia, is it the ATP-regulated potassium current? The VIIth Meeting of the Japanese Section of International Society for Heart Research, 1988.
- 144)Matsuo,S., Muramatsu,H., Munakata,K., Kishida,H. and Hayakawa,H.: [一般講演] The outward current induced by hypoxia, is increased intracellular calcium concentration responsible? The VIIth Meeting of

the Japanese Section of International Society for Heart Research, 1988.

- 145) 大木清司<sup>1)</sup>, 田中隆<sup>1)</sup>, 佐々部典子<sup>1)</sup>, 小林義典<sup>1)</sup>, 清野精彦<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup> (集中治療室): [一般講演] 心筋梗塞患者における late potential 検出の臨床的有用性. 第15回日本集中治療医学会, 1988.
- 146) 雪吹周生<sup>1)</sup>, 清野精彦<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 早川弘一 (集中治療室): [一般講演] 慢性閉塞性肺疾患と間質性肺炎における心電図, 心行動態の特徴. 第15回日本集中治療医学会, 1988.
- 147) 塚本浩<sup>1)</sup>, 清野精彦<sup>1)</sup>, 雪吹周生<sup>1)</sup>, 大木清司<sup>1)</sup>, 森規勝<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 早川弘一, 奥村英正 (集中治療室): [一般講演] 心不全症例, 肝硬変症例における digit blood flow response の比較; Peltier 法による評価の試み. 第15回日本集中治療医学会, 1988.
- 148) 島井新一郎<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 塚本浩, 宮入泰郎<sup>1)</sup>, 矢島俊己<sup>1)</sup>, 雪吹周生, 池田健次<sup>1)</sup>, 高田加寿子<sup>1)</sup>, 宇都宮英敏<sup>1)</sup>, 清野精彦, 田中啓治, 加藤貴雄 (集中治療室): [一般講演] 急性心筋梗塞 (AMI) におけるアミノ酸分析, 特に分枝鎖アミノ酸, 芳香族アミノ酸についての検討. 第15回日本集中治療医学会, 1988.
- 149) 川越栄<sup>1)</sup>, 丸山二郎, 宗像純司<sup>1)</sup>, 石川貴史, 佐々木美典 (都立駒込病院内科): [一般講演] 本態性高血圧症に対する diltiazem の心行動態からみた効果. 第15回日本集中治療医学会, 1988.
- 150) 川越栄<sup>1)</sup>, 丸山二郎, 宗像純司<sup>1)</sup>, 石川貴史, 佐々木美典, 荒井邦佳<sup>2)</sup> (都立駒込病院内科, <sup>2)</sup>同外科): [一般講演] VVIペースメーカー治療の高齢者高度房室ブロック患者における心不全に対する効果. 第15回日本集中治療医学会, 1988.
- 151) 川越栄<sup>1)</sup>, 宗像純司<sup>1)</sup>, 黒木伸一, 山崎博男<sup>2)</sup>, 田上憲次郎<sup>2)</sup>, 山口敦美<sup>2)</sup> (都立駒込病院内科, <sup>2)</sup>都臨床医学総合研究所): [一般講演] トレッドミル惹起狭心症発作時の血小板活性化とチクロピジン長期投与の効果. 第13回東京血小板の会, 1988.
- 152) 寺田秀人, 古明地弘和, 大須賀勝, 小宮山徹三, 関山達也, 赤池正博, 勝田悌実, 里村克章, 荒牧琢己, 奥村英正: [一般講演] 肝硬変の門脈圧亢進に対するスピロラクトンの効果. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.
- 153) 瀬戸廣, 長沢紘一, 荒牧琢己, 勝田悌実, 寺田秀人, 関山達也, 奥村英正, 林知己夫<sup>1)</sup> (放送大学): [展示] 数量化理論による慢性肝疾患の門脈圧及び有効肝血流量の推定. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.
- 154) 奥村英正, 関山達也, 寺田秀人, 勝田悌実, 荒牧琢己, 里村克章, 赤池正博, 大須賀勝, 古明地弘和, 小宮山徹三: [展示] 各種門脈圧降下剤の比較. 第85回日本内科学会講演会, 1988.
- 155) 太田真夫, 早川弘一, 加藤貴雄, 小林義典, 田中隆, 大木清司, 奥村英正, 高野照夫<sup>1)</sup> (集中治療室): [展示] 心筋梗塞における late potential の検出とその臨床的有用性. 第85回日本内科学会講演会, 1988.
- 156) 田中啓治<sup>1)</sup>, 高田加寿子<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 早川弘一, 奥村英正 (集中治療室): [展示] 心筋梗塞再梗塞の病態と対策. 第85回日本内科学会講演会, 1988.
- 157) 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 小林薫<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正 (多摩永山病院内科): [展示] 本態性高血圧者の運動負荷試験; 心行動態とカテコラミンの関係. 第85回日本内科学会講演会, 1988.
- 158) 奥村敏, 畑典武, 渡部真理, 井野威, 新博次, 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一, 奥村英正: [一般講演] サルコイドーシス診断4年後に完全房室ブロックを生じた1例. 第372回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 159) 上田洋一<sup>1)</sup>, 中村辰男<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 長沢紘一<sup>1)</sup>, 前田昭太郎<sup>2)</sup>, 奥村英正 (多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>同病理): [一般講演] びまん性汎細気管支炎様の臨床所見を呈した吸引性肺炎の1剖検例. 第372回日本内科学会関東地方会, 1988.

## [付属病院老人科]

### 研究概要

老人科では、老年期における糖代謝障害および糖尿病、腎機能障害、動脈硬化性病変を中心とした臨床的研究を行うとともに、老年期における鉄代謝の基礎的研究を第二生化学教室と共同で行っている。

- 1) 老年期の糖代謝障害、肥満、高血圧症および高脂血症の脳・心血管病変に及ぼす影響の剖検所見よりの検討。
- 2) 生命予後および脳・心血管病変の合併頻度の面よりみた老年者糖尿病の診断基準に関する研究。
- 3) 脾の形態と外分泌能に及ぼす加齢および耐糖能異常の影響の検討・脾内外分泌機能相関の面よりみた、老年者糖尿病診断基準の検討。
- 4) 老年者糖尿病患者の腎機能について、高血圧症等の合併を考慮した臨床的蛋白尿、NAG-indexの検討。
- 5) 老年者糖尿病患者の臨床像、特に発症年代別にみた各種合併症に関する検討。
- 6) 高齢者糖尿病治療に関する研究、特に薬物療法と低血糖との関連からの検討。
- 7) 血糖持続測定による経口ブドウ糖負荷試験の血糖曲線およびインスリン動態の解析と経口ブドウ糖負荷試験の判定基準に関する検討。
- 8) 老年者におけるグルカゴン負荷試験の臨床的意義に関する検討。
- 9) 鉄過剰時の肝細胞およびkupper細胞への鉄の取り込み機構に関する検討。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 山下直博，盤若博司：〔総説〕老年者の貧血（特集：老年者診断のキーポイント）。Medical Way, 4, 47～50, 1987.
- 2) 中野博司，大庭建三，盤若博司：〔総説〕治療の実際；老人の糖尿病と治療。臨と研, 64, 1535～1538, 1987.
- 3) 山下直博，春山勝，中野博司，大庭建三，妻島昌平，盤若博司：〔報告〕筋肉内転移を認めた肺扁平上皮癌の1例。内科, 60, 1127, 1987.
- 4) 折茂肇<sup>1)</sup>，井上哲郎<sup>2)</sup>，須田明男<sup>3)</sup>，中井瑠美子<sup>1)</sup>，室田景久<sup>4)</sup>，上野博嗣<sup>4)</sup>，白旗敏克<sup>4)</sup>，井藤英喜<sup>5)</sup>，白木正孝<sup>5)</sup>，盤若博司，志賀幸雄，大庭建三，染谷一彦<sup>6)</sup>，岡野一年<sup>6)</sup>，藤林繁<sup>6)</sup>，串田一博<sup>2)</sup>，角佳志彦<sup>2)</sup>，高橋栄明<sup>7)</sup>，今野俊幸<sup>7)</sup>，谷沢龍彦<sup>7)</sup>，富田明夫<sup>8)</sup>，黒川昌栄<sup>8)</sup>，岩田久<sup>9)</sup>，大西利夫<sup>10)</sup>，金章宝<sup>10)</sup>，森田陸司<sup>11)</sup>，福永仁夫<sup>11)</sup>，前山巖<sup>12)</sup>，山本吉蔵<sup>12)</sup>，岸本英彰<sup>12)</sup>，茨木邦夫<sup>13)</sup>，乗松尋道<sup>13)</sup>，嘉陽宗俊<sup>13)</sup>（<sup>1)</sup>東大老年病，<sup>2)</sup>浜松医大整形，<sup>3)</sup>山形大整形，<sup>4)</sup>東京慈恵医大整形，<sup>5)</sup>都立養育院病院，<sup>6)</sup>聖マリアンナ医大3内，<sup>7)</sup>新潟大学整形，<sup>8)</sup>名古屋大学1内，<sup>9)</sup>名古屋大学整形，<sup>10)</sup>大阪大学4内，<sup>11)</sup>川崎医大核医学，<sup>12)</sup>鳥取大学整形，<sup>13)</sup>琉球大学整形）：〔原著〕骨粗鬆症に対するYM-11221 (Salmon Calcitonin) の臨床的検討。Progress in Medicine, 10, 1865～1881, 1987.
- 5) 大友英一<sup>1)</sup>，勝沼英字<sup>2)</sup>，盤若博司（<sup>1)</sup>浴風会病院，<sup>2)</sup>東京医大老人科）：〔原著〕老年者各種低血圧症に対するTS-701 (Midodrine Hydrochloride) の有用性。薬理と治療, 15, 3007～3023, 1987.
- 6) 大庭建三，大崎良一郎，春山勝，中野博司，山下直博，洲上正章，妻島昌平，板垣晃之，盤若博司：〔原著〕肥満因子の面よりの老年者耐糖能異常に関する検討。第7回肥満学会記録。p.319～320, 1987.
- 7) 板垣晃之，大庭建三：〔原著〕肥満のリスクと予後；老年期の肥満が動脈硬化性疾患に及ぼす影響について。第7回肥満学会記録。p.42～43, 1987.
- 8) 大庭建三，春山勝，南順文，中野博司，山下直博，洲上正章，高尾嘉興，野崎太矩祠，志賀幸雄，妻島昌平，盤若博司：〔原著〕老年者糖尿病のコントロール指標としての朝食前および朝食後血糖値の臨床的意義；HbA<sub>1c</sub>よりの検討。日老医会誌, 24, 532～537, 1987.

- 9) 板垣晃之, 春山勝, 吉田亮一<sup>1)</sup>, 鈴木孝臣<sup>1)</sup>, 早川道夫<sup>1)</sup>, 大友英一<sup>1)</sup>, 盤若博司 ( <sup>1)</sup> 浴風会病院 ) : [ 原著 ] 老年者糖尿病と脳梗塞 ; 特に治療法との関連. 日老医学会誌, 24, 519~524, 1987.
- 10) 中野博司, 山下直博, 野崎太矩祠, 大庭建三 : [ 総説 ] 老年者糖尿病における HbA<sub>1c</sub>, HbA<sub>1c</sub> ( 特集 : 老年者の新しい検査とその意義 ). Geriatric Med., 25, 1699~1703, 1987.
- 11) 春山勝, 板垣晃之, 早川道夫<sup>1)</sup>, 大友英一<sup>1)</sup>, 中野博司, 大庭建三, 盤若博司 ( <sup>1)</sup> 浴風会病院 ) : [ 原著 ] 老年者の肥満と動脈硬化に関する検討. 動脈硬化, 15, 965~969, 1987.
- 12) 春山勝, 堀内利信, 中野博司, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司, 板垣晃之<sup>1)</sup>, 早川道夫<sup>1)</sup>, 大友英一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 浴風会病院 ) : [ 原著 ] 老年者の肥満と動脈硬化に関する検討. ( 第 2 報 ) 肥満の経過よりの検討. 動脈硬化, 15, 1619~1624, 1988.
- 13) 盤若博司 : [ 総説 ] 私の印象に残った症例 ; 気尿. Geriatric Med., 26, 264~265, 1988.
- 14) 盤若博司 : [ 総説 ] 日常外来における老年者診療の注意点. 日本耳鼻科学会東京都地方部会第62回学術講演会第13回総会講演集, p.3~21, 1988.
- 15) 久保雅博, 大庭建三, 春山勝, 武内寛, 平井真明, 中野博司, 瀧上正章, 野崎太矩祠, 妻鳥昌平, 盤若博司, 板垣晃之, 早川道夫<sup>1)</sup>, 大友英一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 浴風会病院 ) : [ 原著 ] 老年者糖尿病の診断基準に関する検討 ; 生命予後および心・脳血管病変の面より. 日老医学会誌, 25, 147~151, 1988.

## 著 書

- 1) 篠原恒樹<sup>1)</sup>, 板垣晃之 ( <sup>1)</sup> 浴風会病院 ) : 新病態栄養学双書 ; 老年者. 第 1 出版株式会社, 1986.
- 2) 大庭建三, 中野博司, 春山勝, 盤若博司, 板垣晃之 : [ 分担 ] 老年者の糖代謝障害と脳血管障害. “糖尿病学1987” ( 小坂樹徳, 赤沼安夫編 ), p.329~351, 診断と治療社, 1987.
- 3) 大庭建三 : [ 分担 ] 老年期軽度耐糖能異常者の取扱い. “老年病診療” ( 永野允, 小澤利男, 中村治雄, 西山茂夫, 藤田拓男編 ), p.1143の2, 3, 六法出版社, 1987.
- 4) 中野博司 : [ 分担 ] 老年期糖尿病とHbA<sub>1c</sub>, HbA<sub>1c</sub>の意義. “老年病診療” ( 永野允, 小澤利男, 中村治雄, 西山茂夫, 藤田拓男編 ), p.1165の2, 3, 六法出版社, 1987.
- 5) 板垣晃之 : [ 分担 ] 老年期糖尿病にみられる低血糖症. “老年病診療” ( 永野允, 小澤利男, 中村治雄, 西山茂夫, 藤田拓男編 ), p.1149の2~5, 六法出版社, 1987.

## 学会発表

- 1) 藤田敬四郎<sup>1)</sup>, 新井愛彦<sup>1)</sup>, 平井敏之<sup>1)</sup>, 後藤博一<sup>1)</sup>, 仲地紀良, 飯田和美<sup>1)</sup>, 岩城弘子<sup>1)</sup>, 丸山千里<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> ワクチン療法研究施設 ) : [ 一般講演 ] 末期癌医療コンサルテーション ; 特にSSM治験外来における現況をとおして. 日本医科大学医学会第60回例会, 1986.
- 2) 島井新一郎<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 清野精彦<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>2)</sup>, 盤若博司 ( <sup>1)</sup> 集中治療室, <sup>2)</sup> 第 1 内科 ) : [ 一般講演 ] 急性心筋梗塞における顆粒球エラスターゼ値 (  $\alpha 1$  - proteinase inhibitor - elastase complex ) 測定の意味. 第84回日本内科学会講演会, 1987.
- 3) 大庭建三, 春山勝, 中野博司, 妻鳥昌平, 盤若博司, 板垣晃之, 早川道夫<sup>1)</sup>, 大友英一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 浴風会病院 ) : [ 一般講演 ] 老年者の糖代謝障害と脳・心血管障害. 第84回日本内科学会講演会, 1987.
- 4) 大庭建三, 山崎理香, 春山勝, 中野博司, 瀧上正章, 妻鳥昌平, 盤若博司, 板垣晃之, 早川道夫<sup>1)</sup>, 大友英一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 浴風会病院 ) : [ 一般講演 ] 老年者の耐糖能異常と脳・心血管障害 ; 特に高血圧症の影響について. 第30回日本糖尿病学会総会, 1987.
- 5) 西和紀, 春山勝, 中野博司, 瀧上正章, 山下直博, 野崎太矩祠, 志賀幸雄, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司 : [ 一

- 般講演] 血糖連続測定による経口ブドウ糖負荷試験の検討 (第2報). 第30回日本糖尿病学会総会, 1987.
- 6) 中野博司, 武内寛, 平井真明, 山下直博, 野崎太矩祠, 志賀幸雄, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司: [一般講演] 脾CTと脾外分泌能; 耐糖能および年齢面よりの検討. 第30回日本糖尿病学会総会, 1987.
  - 7) 板垣晃之, 吉田亮一<sup>1)</sup>, 大友英一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>浴風会病院): [一般講演] 高齢者の糖尿病治療に関する検討; 低血糖症状について. 第30回日本糖尿病学会総会, 1987.
  - 8) 山崎理香, 平井真明, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 島田研三, 野崎太矩祠, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司: [一般講演] 脳梗塞で入院中に発見された老年者真性多血症の1例. 第5回関東老年病学会研究会, 1987.
  - 9) 盤若博司: [特別講演] 日常外来における老年者診療の注意点. 日本耳鼻科学会東京都地方部会. 第62回学術講演会第13回総会, 1987.
  - 10) 春山勝, 中野博司, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司, 板垣晃之, 早川道夫<sup>1)</sup>, 大友英一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>浴風会病院): [一般講演] 老年者軽度耐糖能異常と脳血管障害; 剖検所見よりの検討. 第19回日本動脈硬化学会総会, 1987.
  - 11) 山崎理香, 芳賀克也, 魚住敏, 中野博司, 山下直博, 妻鳥昌平, 盤若博司: [展示] 肝血管腫を合併したHB抗原キャリアーの2例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
  - 12) 武部健一郎, 家所哲夫, 大崎良一郎, 西和紀, 島田研三, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司: [展示] Maturity-onset diabetes in youth (MODY) の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
  - 13) 中野博司, 久保雅博, 春山勝, 武内寛, 平井真明, 洲上正章, 野崎太矩祠, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司, 板垣晃之, 早川道夫<sup>1)</sup>, 大友英一<sup>1)</sup>, (<sup>1)</sup>浴風会病院): [一般講演] 老年者糖尿病の診断基準に関する検討; 生命予後および心・脳血管病変の面より. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
  - 14) 島田研三, 神成節子<sup>1)</sup>, 吉野芳夫<sup>1)</sup>, 妻鳥昌平, 盤若博司, 小黒辰夫<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第2生化, <sup>2)</sup>中央電頭): [一般講演] 鉄過剰時の肝細胞及びKupffer細胞への鉄の取込み機構について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
  - 15) 飯田和美<sup>1)</sup>, 藤田敬四郎<sup>1)</sup>, 仲地紀良, 後藤博一<sup>1)</sup>, 新井愛彦<sup>1)</sup>, 岩城弘子<sup>1)</sup>, 平井敏之<sup>1)</sup>, 丸山千里<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>ワクチン療法研究施設): [展示] SSM経口投与の試み. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
  - 16) 藤田敬四郎<sup>1)</sup>, 平井敏之<sup>1)</sup>, 後藤博一<sup>1)</sup>, 飯田和美<sup>1)</sup>, 仲地紀良, 新井愛彦<sup>1)</sup>, 岩城弘子<sup>1)</sup>, 丸山千里<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>ワクチン療法研究施設): [展示] 当施設における結核菌体抽出物質 (SSM) 使用登録癌患者数の現況と推移. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
  - 17) 板垣晃之: [一般講演] 糖尿病 (インスリン治療歴10年以上), 腎不全, 甲状腺機能低下に痴呆様症状を伴った高齢者の一例. 第15回臨床内分泌代謝研究会, 1987.
  - 18) Fujita.K.<sup>1)</sup>, Hirai.T.<sup>1)</sup>, Iida.K.<sup>1)</sup>, Arai.Y.<sup>1)</sup>, Nakachi.K., Goto.H.<sup>1)</sup>, Iwaki.H.<sup>1)</sup> and Maruyama.C.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>ワクチン療法研究施設): [一般講演] A long term survey of various malignancies in treatment with SSM (Maruyama vaccine). The 8th Asia Pacific Cancer Conference (Seoul), 1987.
  - 19) 魚住敏, 山崎理香, 南順文, 平井真明, 中野博司, 洲上正章, 野崎太矩祠, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司: [一般講演] 老年者糖尿病とNAG; 高血圧症合併の面よりの検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
  - 20) 大庭健三, 春山勝, 中野博司, 妻鳥昌平, 盤若博司, 板垣晃之, 早川道夫<sup>1)</sup>, 大友英一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>浴風会病院): [一般講演] 老年者における肥満と脳動脈硬化症; 剖検例よりの検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
  - 21) 西和紀, 春山勝, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 野崎太矩祠, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司: [一般講演] 年齢および耐糖能からみた経口ブドウ糖負荷時のCPR/IRI比に関する検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
  - 22) 武内寛, 中野博司, 山下直博, 島田研三, 野崎太矩祠, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司: [一般講演] 脾CT像と脾外分泌能; 耐糖能および年齢面よりの検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
  - 23) 中野博司, 山崎理香, 南順文, 魚住敏, 武内寛, 洲上正章, 野崎太矩祠, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司: [一般講演] 老年者糖尿病の臨床像に関する検討; 発症年代別の治療法・合併症の検討. 第29回日本老年医学会総会,

1987.

- 24) 板垣晃之, 吉田亮一<sup>1)</sup>, 大友英一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>浴風会病院) : [一般講演] 高齢者の糖尿病治療に関する検討; Tight Control の意義について. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 25) 大崎良一郎, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 野崎太矩嗣, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司: [一般講演] 老年者耐糖能異常における75g OGTT - GLUCAGON test の検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 26) 島井真一郎<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 真鍋辰哉<sup>2)</sup>, 春山勝, 田中隆<sup>2)</sup>, 矢島俊己<sup>2)</sup>, 高田加寿子<sup>1)</sup>, 清野精彦<sup>2)</sup>, 松山謙<sup>2)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 大竹稔<sup>2)</sup>, 盤若博司 ( <sup>1)</sup>集中治療室, <sup>2)</sup>第1内科) : [一般講演] 低T<sub>3</sub>, T<sub>4</sub>症候群, 急性心筋梗塞での検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 27) 藤田敬四郎<sup>1)</sup>, 飯田和美<sup>1)</sup>, 新井愛彦<sup>1)</sup>, 仲地紀良, 後藤博一<sup>1)</sup>, 宮崎定活<sup>1)</sup>, 本多悟<sup>1)</sup>, 岩城弘子<sup>1)</sup>, 平井敏之<sup>1)</sup>, 丸山千里<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>ワクチン療法研究施設) : [一般講演] 当施設における結核菌体抽出物質 (SSM) 使用登録癌患者の現況 (第9報). 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 28) 飯田和美<sup>1)</sup>, 藤田敬四郎<sup>1)</sup>, 後藤博一<sup>1)</sup>, 新井愛彦<sup>1)</sup>, 仲地紀良, 宮崎定活<sup>1)</sup>, 本多悟<sup>1)</sup>, 岩城弘子<sup>1)</sup>, 平井敏之<sup>1)</sup>, 丸山千里<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>ワクチン療法研究施設) : [一般講演] 非治癒切除胃癌におけるSSM の延命効果の検討. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 29) 山崎理香, 武部健一郎, 中野博司, 山下直博, 島田研三, 野崎太矩嗣, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司: [一般講演] 顆粒球減少の著しかったRefractory anemia with excess of blasts の一例. 第6回関東老年病学会研究会, 1987.
- 30) 島田研三, 三上俊夫<sup>1)</sup>, 神成節子<sup>1)</sup>, 吉野芳夫<sup>1)</sup>, 盤若博司, 小黒辰夫<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>第2生化, <sup>2)</sup>中央電頭) : [一般講演] 鉄過剰時におけるラット肝細胞およびKupffer細胞内での鉄動態について. 第11回鉄代謝研究会, 1987.
- 31) 芳賀克也, 中野博司, 山下直博, 洲上正章, 島田研三, 野崎太矩嗣, 大庭建三, 妻鳥昌平, 盤若博司, 浅野伍朗<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第2病理) : [一般講演] 著明な白血球増多にて発見された老年者腹部平滑筋肉腫の1例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.

## [第二病院内科]

### 研究概要

第二病院内科では、循環器、腎臓、呼吸機、消化器を中心に以下の研究を行った。

循環器：昨年度から始めた糖尿病患者の心肺機能に関する研究の第二報として、糖尿病患者の左心機能について、心プールシンチグラフィーを用い、エルゴメーターによる負荷心プールシンチグラフィーを行い、糖尿病患者では正常対照者に比べ左心機能が有意に低下していることを明らかにした。

腎臓：糖尿病性腎症の血液透析時の心機能評価、特に double product, 左室仕事量および全身血管抵抗についての研究を行った。

呼吸器：昨年度に引き続き、びまん性間質性肺炎についての研究。

消化器：胃潰瘍、十二指腸潰瘍に対する維持療法についての研究を行った。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 村沢恒男, 羽入田陽一郎, 鈴木攻, 上田征夫, 原文男: [原著] 糖尿病性腎症の血液透析における心機能評価; 特にdouble product, 左室仕事量および全身血管抵抗について. 人工臓器, 17, 94~97, 1988.
- 2) 原文男: [原著] 頻脈を来す疾患; 原因・発生機序・治療法. 薬局, 39, 431~438, 1988.

## 学会発表

- 1) 藤井裕介, 倉田文秋, 松原貴規, 遠山俊之, 藤本紘太郎, 嶋崎譲, 上田征夫, 原文男:〔展示〕運動負荷心プー  
ルシンチングラフィーによる糖尿病患者の左心機能評価. 第84回日本内科学会総会, 1987.
- 2) 増田康文, 松原貴規, 鈴木透理, 藤本紘太郎, 斉藤正人, 上田征夫, 原文男, 川並汪一<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>第二病院病理):  
〔一般講演〕進行性全身性硬化症に合併した胃, 十二指腸潰瘍穿孔の1例. 第365回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 3) 石井正志, 知念正人, 増田康文, 鈴木攻, 村沢恒夫, 藤本紘太郎, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原文男:〔展示〕  
慢性腎不全患者の $\beta_2$ -micro-globulinならびにアルミニウム蓄積とその対策. 第55回日本医科大学医学会総会,  
1987.
- 4) 小伊藤保雄<sup>1)</sup>, 福田節子<sup>1)</sup>, 金光由美子<sup>1)</sup>, 蘭美砂代<sup>1)</sup>, 渡辺春子<sup>1)</sup>, 玉手ひさ子<sup>1)</sup>, 飯野幸永<sup>1)</sup>, 原文男(<sup>1)</sup>第二  
病院中央検査室):〔展示〕Coag - A・Mate・XCに関する基礎的検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 5) 長戸路卓, 遠山俊之, 原田雄一, 関純一, 松原貴規, 藤井裕介, 倉田文秋, 嶋崎譲, 上田征夫, 原文男:〔展示〕  
びまん性間質性肺炎の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 6) 関純一, 鈴木攻, 原田雄一, 松原貴規, 遠山俊之, 倉田文秋, 藤井裕介, 嶋崎譲, 斉藤正人, 上田征夫, 原文男:  
〔展示〕胃潰瘍, 十二指腸潰瘍に対する維持療法の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 7) 村沢恒男, 鈴木攻, 前川馨, 遠山俊之, 羽入田陽一郎, 原文男, 津留健<sup>1)</sup>, 永野淳二<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>天草第一病院):  
〔一般講演〕糖尿病性腎症状の血液透析における酸素分圧と double product の関係; 非糖尿病性腎症との比較  
について, 第4回天草郡市医師会医学会, 1987.
- 8) 村沢恒男, 羽入田陽一郎, 鈴木攻, 上田征夫, 原文男:〔一般講演〕糖尿病性腎症の血液透析における心機能評  
価; 特にdouble product左室仕事量および全身血管抵抗について. 第25回日本人工臓器学会大会, 1987.
- 9) 石井正志, 羽入田陽一郎, 増田康文, 鈴木攻, 知念正人, 須田宏之, 本田由幸, 村沢恒男, 藤本紘太郎, 上田征  
夫, 原文男:〔一般講演〕高度の腹水貯留, 巨大陰のう水腫を来した肝硬変に緊急腹水穿刺および再注入を行っ  
た1例. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 10) 本田由幸, 村沢恒男, 藤井裕介, 藤本紘太郎, 倉田文秋, 嶋崎譲, 斉藤正人, 羽入田陽一郎, 上田征夫, 原文男:  
〔一般講演〕発作性頻拍症状に引き続き, 著名な高K血症と急激に進行する意識障害を呈した肝細胞癌の1例.  
第370回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 11) 岩本正彦, 嶋崎譲, 松原貴規, 藤井裕介, 須田宏之, 斉藤正人, 上田征夫, 原文男, 福永淳<sup>1)</sup>, 佐藤雅史<sup>1)</sup>, 川  
並汪一<sup>2)</sup>(<sup>1)</sup>第二病院放射線科, <sup>2)</sup>同病理):〔一般講演〕右心房内腫瘍栓の発育を生前に診断しえた肝細胞癌  
の1例. 第371回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 12) 岩本正彦, 嶋崎譲, 松原貴規, 藤井裕介, 須田宏之, 斉藤正人, 上田征夫, 原文男, 福永淳<sup>1)</sup>, 佐藤正志<sup>1)</sup>, 川  
並汪一<sup>2)</sup>(<sup>1)</sup>第二病院放射線科, <sup>2)</sup>同病理):〔一般講演〕右心房内腫瘍栓の発育を生前に診断した肝細胞癌の  
1例. 第64回日本医科大学医学会総会, 1987.

## 〔多摩永山病院内科〕

### 研究概要

多摩永山病院内科では, 循環器疾患, 特に虚血性心疾患・高血圧症の発生機序・病態・診断・治療に関する研究の  
ほか, 薬剤科との共同研究としてTDM (Therapeutic Drug Monitoring) を臨床の場に取り入れ, 各種疾患のより  
安全かつ効果的な治療法につき検討を行っている。

- 1) 高血圧症; 運動負荷試験に対する心・循環動態および血中カテコラミン・c-AMPの反応性の差異, 24時間記  
録携帯用心電計・携帯用血圧計を用いた心拍数・血圧の日内変動の分析などを行うことにより, 高血圧症の病  
態, 特に圧受容体の反応性・左心室肥大など心病変の出現機序・自律神経系の関与の程度などを明らかにする

とともに、より客観的な治療方針の決定と効果判定方法の確立をめざしている。また、高血圧症者の心電図にしばしばみられる左室肥大・ST-T偏位・陰性U波の臨床的意義と病態の解明、栄養課・看護部・薬剤部とのチーム医療によるより安全かつ効果的な治療法についての研究も成果をあげつつある。

- 2) 虚血性心疾患；第一内科との共同研究により、狭心症から急性心筋梗塞への進展機序、狭心症の病型分類と病態、無症候性心筋虚血の臨床的意義と予後、急性心筋梗塞の治療法、特に梗塞巣の拡大阻止法の開発などをテーマに各種研究が行われている。
- 3) TDM；TDMでは薬物動態と臨床所見を詳細に分析し、薬物を安全かつ効果的に使用すること、すなわち、最小の投与量で最大の薬効を得ることを目的としているが、わが国においては実際の臨床の場ではほとんど応用されていない。当内科では薬剤部との協力により、積極的に各種薬剤の血中濃度を測定、薬剤の最適投与間隔と投与量を決定し、予測血中濃度と、実測血中濃度および臨床的效果とを比較検討している。特に気管支喘息急性期の治療計画、急性期と安定期の薬行動態の差異につき詳細な検討を行い、発作回数の減少とコンプライアンスの向上を認めている。

## 論 文

- 1) Kishida, H.<sup>1)</sup>, Hata, N., Nejima, J.<sup>1)</sup>, Suzuki, T., Otsu, F., Saito, T.<sup>1)</sup> and Kusama, Y.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>1st. Dept. of Int. Med.) : [原著] Prognosis of patients with persistent negative U wave following myocardial infarction. Jpn. Heart J., 28, 15~25, 1987.
- 2) Kishida, H.<sup>1)</sup>, Hata, N., Kusama, Y.<sup>1)</sup>, Suzuki, T., Saito, T.<sup>1)</sup>, Nejima, J.<sup>1)</sup>, Otsu, F., Yasutake, M.<sup>1)</sup>, Koumi, S.<sup>1)</sup> and Nakagomi, A.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>1st. Dept. of Int. Med.) : [原著] Factors influencing the clinical course and the long term prognosis of patients with variant angina. Jpn. Heart J., 28, 293~306, 1987.
- 3) 岸田浩<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 宗像一雄<sup>1)</sup>, 岡野和弘, 針谷吉人, 藤原忠通<sup>2)</sup>, 林順一<sup>3)</sup>, 笠井源吾<sup>4)</sup>, 橋本英洋<sup>5)</sup>, 宗像純司<sup>6)</sup>, 川越栄<sup>6)</sup>, 福田純<sup>6)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1内科, <sup>2)</sup>稲田登戸病院内科, <sup>3)</sup>湯河原厚生年金病院, <sup>4)</sup>国立横須賀病院内科, <sup>5)</sup>下谷病院内科, <sup>6)</sup>都立駒込病院内科) : [原著] 本態性高血圧症に対するN-696の第II相前期臨床試験成績につて. Ther. Res., 6, 295~313, 1987.
- 4) 吉澤浩司<sup>1)</sup>, 針谷吉人, 小島俊彦<sup>2)</sup>, 野尻徳行<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>浜松医科大学公衆衛生学教室, <sup>2)</sup>国立立川病院産婦人科, <sup>3)</sup>八王子赤十字血液センター) : [原著] 輸血後B型肝炎の現況と対策. 肝胆脾, 14, 535~542, 1987.
- 5) 石川富男<sup>1)</sup>, 森本千秋<sup>1)</sup>, 矢島由貴<sup>1)</sup>, 中原保裕<sup>1)</sup>, 村田正弘<sup>2)</sup>, 梶木屋英子<sup>3)</sup> 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二 (<sup>1)</sup>栄養科, <sup>2)</sup>薬剤科, <sup>3)</sup>看護部) : [原著] 高血圧治療におけるチーム医療体制；塩分摂取量にみる食事指導の効果. 臨床栄養, 70, 817~821, 1987.
- 6) 筒井末春<sup>1)</sup>, 長沢紘一, 本多和雄<sup>2)</sup>, 渋谷健<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>東邦大心療内科, <sup>2)</sup>益田赤十字病院内科, <sup>3)</sup>東京医大薬理) : [原著] 低血圧に対する塩酸ミドドリンの有用性の検討；塩酸エチレフリンを対象とした二重盲検群間比較試験. 臨床成人病, 17, 1201~1214, 1987.
- 7) 高野照夫<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室) : [原著] 急性心筋梗塞時の薬物療法の実際；循環器薬の使いかた・セミナー. Medical Practice, 4, 1420~1425, 1987.
- 8) 高野照夫<sup>1)</sup>, 鈴木健 (<sup>1)</sup>集中治療室) : [原著] 血行動態モニタリングをどう活用するか (心筋梗塞のconventional treatment). Medicina, 24, 2369~2371, 1987.
- 9) 岸田浩<sup>1)</sup>, 鈴木健, 斉藤勉<sup>1)</sup>, 大津文雄, 畑典武 (<sup>1)</sup>第1内科) : [原著] 不安定狭心症における無自覚性心筋虚血発作について. ICUとCCU, 12, 93~101, 1988.
- 10) 長沢紘一, 筒井末春<sup>1)</sup>, 本多和雄<sup>2)</sup>, 斉藤敏二<sup>3)</sup>, 難波経彦<sup>4)</sup>, 八幡浩二, 原文雄<sup>5)</sup>, 藤原忠通<sup>6)</sup>, 八田真人<sup>7)</sup>, 宗像純司<sup>8)</sup>, 橋本英洋<sup>9)</sup>, 永田勝太郎<sup>10)</sup>, 菊地長徳<sup>11)</sup> (<sup>1)</sup>東邦大学医学部心療内科, <sup>2)</sup>益田赤十字病院内科, <sup>3)</sup>誠



高会小金原病院内科, <sup>4)</sup> 済生会神奈川県病院内科, <sup>5)</sup> 第二病院内科, <sup>6)</sup> 稲田登戸病院循環器科, <sup>7)</sup> 白十字総合病院内科, <sup>8)</sup> 都立駒込病院内科, <sup>9)</sup> 私立学校教職員共済組合下谷病院内科, <sup>10)</sup> 東邦大学医学部附属大橋病院麻酔科, <sup>11)</sup> 東京女子医科大学付属第二病院内科) : [原著] 起立失調症候群に対する amezinium metilsulfate (LU-1631) の臨床的検討. 臨薬理, 19, 9~10, 1988.

- 11) 中原保裕<sup>1)</sup>, 村田正弘<sup>1)</sup>, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二 (<sup>1)</sup> 同業剤科) : [原著] Captopril の血清カリウム値に対する影響の検討. 臨薬理, 19, 175~176, 1988.
- 12) 大津文雄, 鈴木健, 岸田浩<sup>1)</sup>, 斉藤勉<sup>1)</sup>, 草間芳樹<sup>1)</sup>, 畑典武<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup>, 田中邦夫, 針谷吉人, 八幡浩二, 藤原忠通<sup>2)</sup>, 浜本紘<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup> 第1内科, <sup>2)</sup> 国家公務員共済組合登戸病院内科, <sup>3)</sup> 榊原記念クリニック) : [原著] 不安定狭心症に対する nisoldipine の効果; Holter 心電図による検討. 臨薬理, 19, 207~208, 1988.
- 13) 鈴木健, 大津文雄, 岸田浩<sup>1)</sup>, 斉藤勉<sup>1)</sup>, 草間芳樹<sup>1)</sup>, 畑典武, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup>, 田中邦夫, 針谷吉人, 八幡浩二, 藤原忠通<sup>2)</sup>, 浜本紘<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup> 第1内科, <sup>2)</sup> 国家公務員共済組合登戸病院内科, <sup>3)</sup> 榊原記念クリニック) : [原著] 安静狭心症に対する nisoldipine (BAY K5552) の効果. 臨薬理, 19, 209~210, 1988.

## 著 書

- 1) Otsu, F. and Kishida, H. <sup>1)</sup> (<sup>1)</sup> 1st Dept. of Int. Med.) : [分担] Antianginal efficacy of nisoldipine in patients with unstable angina pectoris, evaluation on Holter ECG. "Nisoldipine" (Hugenholtz, P.G. ed.), p.115~122, Spring-Verlag, Berlin, 1987.

## 学会発表

- 1) 大津文雄, 鈴木健, 富士崎成子, 田中邦夫, 中村辰男, 針谷吉人, 八幡浩二, 岸田浩<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup> 第1内科) : [展示] 本態性高血圧症者の運動負荷心電図における ST 低下; 陰性 U 波の検討. 第84回日本内科学会総会, 1987.
- 2) 福岡長知, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 奥村英正<sup>1)</sup>, 前田昭太郎<sup>2)</sup>, 武内仁<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup> 第1内科, <sup>2)</sup> 多摩永山病院病理検査室, <sup>3)</sup> 埼玉医大第1内科) : [一般講演] 原発性マクログロブリン血症経過中に急性白血病を合併した1剖検例. 第365回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 3) 中込明裕, 田中邦夫, 草間芳樹, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 前田昭太郎<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup> 多摩永山病院病理検査室, <sup>2)</sup> 第1内科) : [一般講演] 粥腫崩壊による血栓形成のため急死した急性心筋梗塞の1剖検例. 第124回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1987.
- 4) 中込明裕, 福岡長知, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 前田昭太郎<sup>2)</sup>, 奥村英正<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup> 多摩永山病院病理検査室, <sup>2)</sup> 第1内科) : [一般講演]  $\beta$ -streptococcus A 群により大動脈弁穿破を来した感染性心内膜炎の2例. 第366回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 5) 説田浩一, 猪口直美, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文男, 針谷吉人, 八幡浩二, 岸田浩<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup> 第1内科) : [一般講演] 本態性高血圧症者における24時間 R-R 間隔ヒストグラムの検討. 第8回ホルター心電図研究会, 1987.
- 6) 金子ひろ子<sup>1)</sup>, 斉藤勉<sup>1)</sup>, 猪口直美<sup>1)</sup>, 木内要<sup>1)</sup>, 草間芳樹<sup>1)</sup>, 畑典武<sup>1)</sup>, 鈴木健, 大津文雄, 岸田浩<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup> 第1内科) : [一般講演] 狭心症発作頻度による重症度判定の限界; 特にホルター心電図所見による検討. 第8回ホルター心電図研究会, 1987.
- 7) 福岡長知, 中村辰夫, 小林薫, 説田弘一, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 岸田浩<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup> 第1内科) : [一般講演] 本態性高血圧症者における運動負荷試験の意義. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.

- 8) 齊藤勉<sup>1)</sup>, 金子ひろ子<sup>1)</sup>, 猪口直美<sup>1)</sup>, 木内要<sup>1)</sup>, 畑典武<sup>1)</sup>, 鈴木健, 大津文雄, 岸田浩<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>(<sup>1</sup>第1内科)</sup>: [一般講演] 狭心症発作頻度による重症度判定の限界. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 9) 吉田千景<sup>1)</sup>, 西島美輝子<sup>1)</sup>, 鈴木摩理<sup>1)</sup>, 新宅孝征<sup>1)</sup>, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二<sup>(<sup>1</sup>多摩永山病院中央検査室)</sup>: [一般講演] 長時間記録携帯型血圧計の使用経験. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 10) 説田浩一, 福岡長知, 中村辰男, 田中邦夫, 鈴木健, 富士崎成子, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 岸田浩<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>(<sup>1</sup>第1内科)</sup>: [一般講演] 高齢者の本態性高血圧症と運動負荷試験. 第29回老年医学会総会, 1987.
- 11) 福岡長知, 中村辰男, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 岸田浩<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup><sup>(<sup>1</sup>第1内科)</sup>: [一般講演] 本態性高血圧症者における陰性 U 波の意義. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 12) 田中邦夫, 中村辰男, 福岡長知, 鈴木健, 富士崎成子, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 岸田浩<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup><sup>(<sup>1</sup>第1内科)</sup>: [展示] 本態性高血圧症者の運動負荷心電図におけるST低下に及ぼすカテコラミンの影響. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 13) 岸田浩<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>(<sup>1</sup>第1内科)</sup> [シンポジウム] Silent ischemia に対するホルター心電図法の応用. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 14) 齊藤勉<sup>1)</sup>, 岸田浩<sup>1)</sup>, 金子ひろ子<sup>1)</sup>, 猪口直美<sup>1)</sup>, 木内要<sup>1)</sup>, 草間芳樹<sup>1)</sup>, 畑典武<sup>1)</sup>, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一<sup>1)</sup><sup>(<sup>1</sup>第1内科)</sup>: [一般講演] 狭心症におけるホルター心電図所見; とくに無症候性 ST 下降について. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 15) Nakahara, Y.<sup>1)</sup>, Murata, M.<sup>1)</sup>, Setta, K., Tanaka, K., Fujizaki, S., Suzuki, T., Otsu, F., Hariya, Y. and Yahata, K. (<sup>1</sup>Pharmacy Service, Tama Nagayama Hospital): [一般講演] Possible advantage of variable serum theophylline concentration in chronic bronchial asthma patients. XII World Congress of Asthmology (Barcelona), 1987.
- 16) 小林薫, 鈴木健, 田中邦夫, 富士崎成子, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 岸田浩<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup><sup>(<sup>1</sup>第1内科)</sup>: [一般講演] 本態性高血圧症患者の運動負荷試験時における循環動態とカテコラミンの反応性について. 第28回日本脈管学会総会, 1987.
- 17) 長野具雄, 中村辰男, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 山本鼎<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>2)</sup><sup>(<sup>1</sup>多摩永山病院放射線科, <sup>2</sup>第1内科)</sup>: [一般講演]  $\beta$  ブロッカー服用中に出現した肺動脈瘤の1例. 第368回内科学会関東地方会, 1987.
- 18) 小林薫, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 中原保裕<sup>1)</sup>, 村田正弘<sup>(<sup>1</sup>多摩永山病院薬剤科)</sup>: [一般講演] TDMを用いた高齢者における Tobramycin (Tob) 投与方法の検討. 第6回関東老年病学会, 1987.
- 19) 中込明裕, 長野具雄, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 前田昭太郎<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>2)</sup><sup>(<sup>1</sup>多摩永山病院病理検査室, <sup>2</sup>第1内科)</sup>: [一般講演] 難治性発作性上室内性頻拍症に対して房室結節カテテル電気的切除を施行した1剖検例. 第369回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 20) 大津文雄, 鈴木健, 岸田浩<sup>1)</sup>, 齊藤勉<sup>1)</sup>, 草間芳樹<sup>1)</sup>, 畑典武<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup>, 田中邦夫, 針谷吉人, 八幡浩二, 藤原忠通<sup>2)</sup>, 浜本紘<sup>3)</sup><sup>(<sup>1</sup>第1内科, <sup>2</sup>稲田登戸病院内科, <sup>3</sup>榊原記念クリニック)</sup>: [一般講演] 不安定狭心症に対する Nisoldipine の効果; Holter 心電図による検討. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 21) 鈴木健, 大津文雄, 岸田浩<sup>1)</sup>, 齊藤勉<sup>1)</sup>, 草間芳樹<sup>1)</sup>, 畑典武<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup>, 田中邦夫, 針谷吉人, 八幡浩二, 藤原忠通<sup>2)</sup>, 浜本紘<sup>3)</sup><sup>(<sup>1</sup>第1内科, <sup>2</sup>稲田登戸病院内科, <sup>3</sup>榊原記念クリニック)</sup>: [一般講演] 安静狭心症に対する Nisoldipine (BAY k 5552) の効果. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 22) 中原保裕<sup>1)</sup>, 村田正弘<sup>1)</sup>, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二<sup>(<sup>1</sup>多摩永山病院薬</sup>

剤科) : [一般講演] Captopril の血清カリウム値に対する影響の検討. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.

- 23) 長澤紘一<sup>1)</sup>, 筒井末春<sup>2)</sup>, 本多和雄<sup>3)</sup>, 斉藤敏二<sup>4)</sup>, 難波経彦<sup>5)</sup>, 八幡浩二, 原文男<sup>6)</sup>, 藤原忠通<sup>7)</sup>, 八田真人<sup>8)</sup>, 宗像純司<sup>9)</sup>, 橋本英洋<sup>10)</sup>, 永田勝太郎<sup>11)</sup>, 菊地長徳<sup>12)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科, <sup>2)</sup>東邦大学医学部心療内科, <sup>3)</sup>益田赤十字病院内科, <sup>4)</sup>誠高会小金原病院内科, <sup>5)</sup>済生会神奈川県病院内科, <sup>6)</sup>第二病院内科, <sup>7)</sup>稲田登戸病院循環器科, <sup>8)</sup>白十字総合病院, <sup>9)</sup>都立駒込病院内科, <sup>10)</sup>私立学校教職員共済組合下谷病院内科, <sup>11)</sup>東邦大学医学部付属大橋病院麻酔科, <sup>12)</sup>東京女子医科大学付属第二病院内科) : [一般講演] 起立失調症候群に対する amezinium metilsulfate (LU-1631) の臨床的検討. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 24) 栗原広孝, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 中原保裕<sup>1)</sup>, 村田正弘<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>多摩永山病院薬剤科) : [一般講演] 気管支喘息急性期における Theophylline 製剤投与方法の検討. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 25) 後藤正道, 小林薫, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 荒牧琢己, 奥村英正<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科) [一般講演] 遷延する黄疸に対しコレステラミンが有効と思われた重症ウイルス性肝炎の1例. 第370回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 26) 後藤正道, 鈴木健, 大津文雄, 斉藤勉<sup>1)</sup>, 岸田浩<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科) : [一般講演] 狭心症における発作時自覚症の有無と年齢について; Holter 心電図による検討. 第22回日本成人病学会, 1988.
- 27) 金子ひろ子<sup>1)</sup>, 岸田浩<sup>1)</sup>, 斉藤勉<sup>1)</sup>, 猪口直美<sup>1)</sup>, 畑典武<sup>1)</sup>, 鈴木健, 大津文雄, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科) : [一般講演] 陳旧性心筋梗塞例における無症候性虚発作について. 第22回日本成人病学会, 1988.
- 28) 後藤正道, 長野具雄, 中込明裕, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 前田昭太郎<sup>1)</sup>, 山本鼎<sup>2)</sup>, 奥村英正<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>多摩永山病院病理検査室, <sup>2)</sup>同放射線科, <sup>3)</sup>第1内科) : [一般講演] 腸管内結石を伴い悪性奇形腫と鑑別困難であった脂肪肉腫の1例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 29) 長野具雄, 富士崎成子, 田中邦夫, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 八幡浩二, 前田昭太郎<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>多摩永山病院病理検査室, <sup>2)</sup>第1内科) [一般講演] 著明な脾萎縮を認めたSLEの1剖検例. 第371回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 30) 上田洋一, 中村辰男, 田中邦夫, 富士崎成子, 鈴木健, 大津文雄, 針谷吉人, 長澤紘一, 前田昭太郎<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>多摩永山病院病理検査室, <sup>2)</sup>第1内科) : [一般講演] びまん性汎細気管支炎様の臨床所見を呈した吸引性肺炎の1剖検例. 第372回日本内科学会関東地方会, 1988.

## 2. 第二内科学講座

### 〔第一病院内科〕

#### 研究概要

第二内科学教室の研究のメインテーマは脳卒中に関する研究であり、とくに長年にわたるその診断、予知、予防についての臨床的研究は現在の脳卒中学の基礎として評価されてきている。現在ではその継続のほかにさらに研究領域が広がり、一つには動物を用いた実験的脳卒中により、とくに脳浮腫についての病理、生理、生化学的な面よりの基礎的研究、なかでも現代医学のトピックの一つであるプロスタグランディンの脳卒中急性期の病態に及ぼす役割、脳卒中モデル動物のMRIによる脳血管透過性、糖代謝の検討などは注目に値するものである。また、Xeを用いた脳血管障害の脳循環代謝の研究も長年にわたる業績があり、近年はPET、SPECTを含めた研究が進められており、とくに痴保に関する脳循環代謝の研究は優れた業績を発表してきている。そのほか新しい局面よりの研究として脳卒中急性期の病態とオピオイドペプチドとの関連があり注目を浴びているものである。また、脳卒中危険因子の最大の要因である高血圧、動脈硬化についても、臨床面からのアプローチとともに、動脈硬化発生機序解明を目的として、マクロファージ培養により細胞学的、組織化学的な研究も行われている。さらに腎臓グループは透析を中心とした臨床研究として骨カルシウム代謝、プルミニウム蓄積等について研究を進めている。以上教室には大別して五つの研究グループがあり、各グループとも国内外の関係学会で幅広く活発な活動を行っている。

#### 研究業績

##### 論文

- 1) 鈴木悟：〔原著〕高血圧自然発症ラットを用いての実験的脳虚血に及ぼす降圧治療期間の影響。日医大誌，54，118～127，1987.
- 2) 一井本：〔原著〕ラット抹消神経加齢性変化の初発部位とその進展。臨神経，27，401～411，1987.
- 3) 清水純，片山泰朗，南沢宏明，杉本繁，鈴木悟：〔原著〕再開通モデルにおける脳浮腫および脳エネルギー代謝へのアラキドン酸代謝物の関与。脳と神，39，355～360，1987.
- 4) 赫彰郎，北村伸：〔原著〕痴呆と脳代謝。臨と研，64，1095～1101，1987.
- 5) 飯田恵，片山泰朗，清水純，目々澤肇，赫彰郎：〔原著〕実験的脳虚血における頭頂葉皮質および海馬の血液関門および神経細胞障害の検討。日医大誌，54，196～199，1987.
- 6) 赫彰郎，福生吉裕：〔原著〕脳卒中再発予防と栄養。Pharm. Med.，5，48，1987.
- 7) 宮崎徳蔵<sup>1)</sup>，笠原昇，氏家隆，後藤達範，赫彰郎（<sup>1)</sup>東京都多摩老人医療センター）：〔原著〕脳血管性痴呆および老年痴呆の脳循環動態。老年期痴呆，2，91～96，1987.
- 8) 赫彰郎，氏家隆：〔総説〕脳卒中の診断；PETとSPECT。Modern Physician，7，23～27，1987.
- 9) 赫彰郎：〔総説〕脳・神経・筋；海綿静脈洞症候群。日臨，45（春季臨時増刊号），277，1987.
- 10) 福生吉裕：〔総説〕正しいストレスの受け方。保健，（陽春号），17～20，1987.
- 11) 赫彰郎：〔総説〕危険因子をもつ脳卒中患者の管理。神経内科治療，4，191～197，1987.
- 12) 赫彰郎：〔総説〕脳卒中の病型診断。Modern Physician，7，289，1987.
- 13) 赫彰郎，杉本繁：〔総説〕脳血管障害。医と薬学，17，1113～1118，1987.
- 14) 福生吉裕：〔総説〕ストレスと病気。Pioneers，No.26，53～58，1987.
- 15) 福生吉裕：〔総説〕マグネシウムの役割について。若さの栄養学，No.52，2～11，1987.
- 16) 赫彰郎：〔総説〕脳浮腫。臨床医，13，606～607，1987.

- 17) 赫彰郎, 福生吉裕: [原著] マグネシウムと動脈硬化; 脂質代謝との関連を中心に. 循環科学, 21, 511~516, 1987.
- 18) 片山泰朗, 清水純, 赫彰郎: [原著] 脳血管障害とPG. Modern Physician, 7, 403~406, 1987.
- 19) 赫彰郎, 手塚博幸, 後藤達範: [総説] 脳血管性障害による頭痛. 治療, 69, 1167~1172, 1987.
- 20) 赫彰郎, 黒木副武, 北村伸: [総説] 痴呆と脳循環. 臨成人病, 17, 923~928, 1987.
- 21) 目々澤肇: [原著] アラキドン産注入による虚血性脳障害発生に関する研究; SHRSRとWKYにおける差異の検討. 日医大誌, 54, 251~266, 1987.
- 22) 赫彰郎, 大友英一<sup>1)</sup>, 平井俊策<sup>2)</sup>, 荒木五郎<sup>3)</sup>, 伊藤栄一<sup>4)</sup>, 中島光好<sup>(1) 浴風会病院神経内科, 2) 群馬大学医学部神経内科, 3) 東海大学医学部附属大磯病院内科, 4) 国立名古屋病院内科, 5) 浜松医科大学薬理学</sup>: [原著] 脳血管障害に対する塩酸ニカルジピン徐放製剤 (YC-93LA) の有用性. 医のあゆみ, 141, 877~900, 1987.
- 23) 赫彰郎, 坂本静樹: [原著] 虚血性脳障害の脳循環. Geriat Med., 25, 960~968, 1987.
- 24) 小林陽二, 福生吉裕, 岡本栄一, 今津修, 赫彰郎, 金川卓郎<sup>1)</sup> (<sup>1) 田尻ヶ丘病院</sup>): [原著] 長期経管栄養法における諸問題点; 血液凝固線溶系の検討より. 動脈硬化, 15, 691~694, 1987.
- 25) 赫彰郎, 後藤文男<sup>1)</sup>, 平井俊策<sup>2)</sup>, 田川皓一<sup>3)</sup>, 加川端夫<sup>4)</sup> (<sup>1) 慶應義塾大学神経内科, 2) 群馬大学神経内科, 3) 秋田県立脳血管研究センター神経内科, 4) 東京女子医科大学脳神経外科</sup>): [その他] 脳循環障害; 脳循環障害 (急性期) に対する治療法の選択. 治療学, 19, 79~95, 1987.
- 26) 赫彰郎, 今津修: [総説] 脳血管性痴呆. 老年医学, 25, 1134~1140, 1987.
- 27) 小林陽二: [その他] 耳たぶのしわは動脈硬化の重大な危険信号. 壮快, 14, 150~153, 1987.
- 28) 片山泰朗, 杉本繁, 鈴木悟, 清水純, 赫彰郎: [原著] 高血圧自然発症ラット (SHR) を使用した実験的脳虚血急性期における降圧治療の影響. 脳卒中, 9, 291~297, 1987.
- 29) 小林陽二, 福生吉裕, 赫彰郎, 金川卓郎, 渡辺均<sup>1)</sup>, 広瀬久昭<sup>1)</sup> (<sup>1) 田尻ヶ丘病院</sup>): [原著] サンケンラクトの低蛋白血症に対する治療効果についての考察. JJPEN, 9, 643~649, 1987.
- 30) 目々澤肇, 片山泰朗, 杉本繁, 清水純, 鈴木悟, 赫彰郎, 石原島繁彦<sup>1)</sup>, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1) 第2病理</sup>): [原著] 高血圧自然発症ラットおよびWister-Kyotoラットにおけるアラキドン酸内頸動脈注入による虚血性脳障害発生の差異. 脳と神, 39, 751~760, 1987.
- 31) 永積惇, 漆山和夫<sup>1)</sup>, 宮崎徳蔵<sup>2)</sup>, 花島浩<sup>3)</sup>, 伊与田浩介<sup>4)</sup>, 瀬田建一<sup>5)</sup>, 飯島紘栄<sup>6)</sup>, 金川卓郎<sup>7)</sup>, 立花栄一<sup>8)</sup>, 赫彰郎 (<sup>1) 栃木県南総合病院, 2) 東京都多摩老人医療センター, 3) 佼成病院, 4) 博慈会記念病院, 5) 老人病研究所付属病院, 6) 大野中央病院, 7) 田尻ヶ丘病院, 8) 目白第二病院</sup>): [原著] 高血圧症を伴った慢性期脳血管障害に対する $\alpha_1$ ブロッカー・デタントールの臨床効果. 老年医学, 25, 1247~1258, 1987.
- 32) 片山泰朗, 清水純, 鈴木悟, 柏木史彦, 神谷達司, 赫彰郎, 芦田伸一郎<sup>1)</sup> (<sup>1) 第一製薬研究所</sup>): [その他] 血小板の実験的脳虚血の病態に及ぼす効果. 第14会かなえ医学奨励金 第14会かなえ医学奨励金受賞者研究業績集, 第14集, p.126~140, 1987.
- 33) 赫彰郎: [総説] 神経・筋疾患治療薬 (脳血管障害); 急性期の薬物治療. Medicina, 24, 1842~1844, 1987.
- 34) 伊與田浩介<sup>1)</sup>, 池田祐司<sup>1)</sup>, 漆山和夫<sup>2)</sup>, 後藤達範<sup>2)</sup>, 飯島紘栄<sup>3)</sup>, 金川卓郎<sup>4)</sup>, 木野一晴<sup>5)</sup>, 渡辺庄造<sup>5)</sup>, 立花栄一<sup>6)</sup>, 杉本繁, 永積惇, 赫彰郎 (<sup>1) 博慈会記念病院内科, 2) 栃木県南総合病院内科, 3) 大野中央病院内科, 4) 田尻ヶ丘病院内科, 5) 済生会平塚病院内科, 6) 目白第二病院内科</sup>): [その他] 酒石酸イフェンプロジル (FX-505-10) の脳動脈硬化症に対する臨床的検討. Geriat. Med., 1987.
- 35) 赫彰郎, 荒木五郎<sup>1)</sup>, 加川端夫<sup>2)</sup>, 江澤健一郎<sup>3)</sup> (<sup>1) 東海大学医学部大磯病院内科, 2) 東京女子医科大学付属脳神経センター脳神経外科, 3) 江澤内科医院</sup>): [その他] 脳出血; 最近の動向をめぐって. 循環科学, 7, 1062~1073, 1987.

- 36) 小林陽二, 福生吉裕, 中沢良寿, 加藤仁志, 渋谷敏道, 赫彰郎, 金川卓郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>田尻ヶ丘病院): [原著] Diagonal Ear Lobe Creaseの動脈硬化判定の有用性についての考察; 集団検診受診者における検討より. 日老医学会誌, 24, 525~531, 1987.
- 37) 赫彰郎, 手塚博幸: [総説] 老年者の疼痛とその対策; 頭痛 (慢性). 老人科診療, 8, 358~363, 1987.
- 38) 赫彰郎, 坂本静樹: [総説] エミッションCTの診断的意義. 臨と研, 64, 3402~3405, 1987.
- 39) 赫彰郎, 飯野耕三<sup>1)</sup>, 端和夫<sup>2)</sup>, 山口武典<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>国立療養所福岡東病院院長, <sup>2)</sup>札幌医科大学脳神経外科, <sup>3)</sup>国立循環器病センター内科): [その他] 脳卒中急性期治療の実際. Medicina, 24, 2580~2591, 1987.
- 40) 赫彰郎, 原一男: [その他] 亜急性壊死性リンパ節炎. 日医新報ジュニア版, No.267, 3~7, 1987.
- 41) 千葉隆胤, 重田俊一, 三浦隆正, 手塚博幸, 赫彰郎, 池田祐司, 伊與田浩介<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>博慈会記念病院内科): [原著] 脳血管障害における opioid peptideの経時的変動. 自律神経, 24, 536~543, 1987.
- 42) 鈴木悟, 目々澤肇, 片山泰朗, 清水純, 杉本繁, 永積惇, 赫彰郎: [原著] Brovincamine (BV26-723)の急性期脳虚血に及ぼす効果; SHRSRの両側総頸動脈結紮モデルにおける検討. 脳神経, 39, 1117~1124, 1987.
- 43) 稲葉治樹: [原著] 脳血栓症における血液凝固線溶因子の変動. 日医大誌, 54, 631~641, 1987.
- 44) 永積惇, 赫彰郎: [原著] 被殻出血の内科的治療予後; 特に神経学的重症度3あるいはIVaであった例の予後と予後規定因子の検討. 高血圧性脳出血の治療, 2, 3~8, 1987.
- 45) Themner, K.<sup>1)</sup>, Malmqvist, K.G.<sup>1)</sup>, Martins, E.<sup>1)</sup>, Inamura, K. and Siesjö, B.K.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Lund University): [原著] Investigation of ischemic rat brains using a proton microprobe. Nuclear Instruments and Methods in Physics Research, B22, 214-216, 1987.
- 46) Inamura, K., Oisson, Y.<sup>1)</sup> and Siesjö, B.K.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>University of Uppsala): [原著] Substantia nigra damage induced by ischemia in hyperglycemic rats; A light microscopic study. Acta Neuropathol. (Berl.), 75, 131~139, 1987.
- 47) 目々澤肇, 片山泰朗, 清水純, 鈴木悟, 赫彰郎: [原著] 急性期脳虚血における Fluosol DAの虚血性脳保護作用の検討. Brain Hypoxia, 1, 67~73, 1987.
- 48) 福生吉裕, 小林陽二, 岩崎正知, 永島幹夫, 村松忠, 斉藤彰, 高橋常文, 神原礼文, 尾上敏夫, 渋谷敏道, 赫彰郎, 瀬田健一<sup>1)</sup>, 新家陽樹<sup>1)</sup>, 前原千鶴<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>老人病附属病院内科, <sup>2)</sup>博慈会記念病院栄養科): [原著] 脳血管障害者の再発予防を目的とした経管栄養剤の研究. (第二報) EPA rich魚油の検討. 日本静脈・経腸栄養研究会誌, 3, 182~185, 1988.
- 49) 小林陽二, 福生吉裕, 渋谷敏道, 村松忠, 尾上敏夫, 神原礼文, 赫彰郎, 金川卓郎<sup>1)</sup>, 渡辺均<sup>1)</sup>, 広瀬久昭<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>田尻ヶ丘病院): [原著] 低蛋白血症例に対する S.K80 (Sankenlact) の効果に付いての一考察. 日本静脈・経腸栄養研究会誌, 3, 186~189, 1988.
- 50) 赫彰郎, 黒木副武: [総説] Positron emission tomography. 老年医学, 26, 82~88, 1988.
- 51) 赫彰郎: [総説] 脳卒中急性期の治療; 特に補液について. Modern Physician, 8, 90, 1988.
- 52) 柏木史彦, 片山泰朗, 鈴木悟, 清水純, 永積惇, 赫彰郎: [原著] 高張溶液 (glycerol) の実験的脳虚血に及ぼす効果. Part 1. 過酸化脂質, prostaglandins, 脳浮腫及び脳代謝の検討. 脳神経, 40, 179~185, 1988.
- 53) 南澤宏明: [原著] 高血圧自然発症ラットを用いた虚血性脳浮腫の発現と脳組織エイコサノイドとの関連; 特に脳組織ロイコトリエンとの関連. 日医大誌, 55, 73~81, 1988.
- 54) 福生吉裕, 鈴木秀徳, 岩崎正知, 赫彰郎: [原著] マグネシウムの四肢末消皮膚温度に及ぼす効果; サーモグラフィによる検討. マグネシウム, 6, 167~176, 1988.
- 55) 岩崎正知, 福生吉裕, 小林陽二, 永島幹夫, 斉藤彰, 村松忠, 赫彰郎, 漆山和夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>栃木県南総合病院): [原著] 脳卒中患者に対する Mg<sup>2+</sup>の臨床的有用性. マグネシウム, 6, 177~184, 1988.

- 56) 渋谷敏道：〔原著〕脳血栓症とプロテインCの関連. 日医大誌, 55, 51~58, 1988.
- 57) 北村伸, 赫彰郎：〔総説〕PETによる診断. メディカル・ビューポイント, 9, 3, 1988.
- 58) 赫彰郎：〔総説〕くも幕下出血の診断と治療. 日医師会誌, 99, 967~972, 1988.
- 59) 村松忠：〔その他〕脳梗塞慢性期の患者に隠された虚血性心疾患に注意を. Medical Tribune, 3月24日付, 36~37, 1988.
- 60) Minamisawa, H., Terashi, A., Katayama, Y., Kanda, Y.<sup>1)</sup>, Shimizu, J., Shiratori, T.<sup>1)</sup>, Inamura, K., Kaseki, H.<sup>1)</sup> and Yoshino, Y.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Second Department of Biochemistry): 〔原著〕Brain eicosanoid levels in spontaneously hypertensive rats after ischemic with reperfusion; Leukotriene C<sub>4</sub> as a possible cause of cerebral edema. Stroke, 19, 372~377, 1988.
- 61) 片山泰朗, 柏木史彦, 清水純, 溝口正明, 杉本繁, 永積惇, 赫彰郎：〔原著〕蛋白分解酸素阻害剤urinastatinの実験的脳虚血に及ぼす効果. Prog. Med., 8, 733~738, 1988.

## 著 書

- 1) 赫彰郎, 北村伸：〔分担〕脳血管障害；脳血管障害のPET（ボジトロンCT）. “Common Disease Series 2”, p.210~217, 南江堂, 1987.
- 2) 赫彰郎, 北村伸：〔分担〕意識障害. “中枢神経疾患のMRI”（喜多村孝一監修, 加川瑞夫, 赫彰郎編著）, p.23~27, 中外医学社, 1987.
- 3) 伊與田浩介, 赫彰郎：〔分担〕頭痛. “中枢神経疾患のMRI”（喜多村孝一監修, 加川瑞夫, 赫彰郎編著）, p.28~30, 中外医学社, 1987.
- 4) 赫彰郎, 氏家隆：〔分担〕知能障害（痴呆）. “中枢神経疾患のMRI”（喜多村孝一監修, 加川瑞夫, 赫彰郎編著）, p.31~39, 中外医学社, 1987.
- 5) 赫彰郎, 伊與田浩介, 加川瑞夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京女子医科大学): 〔分担〕けいれん・てんかん；けいれん・てんかんについて, てんかんのMRI. “中枢神経疾患のMRI”（喜多村孝一監修, 加川瑞夫, 赫彰郎編）, p.40~50, 中外医学社, 1987.
- 6) 赫彰郎, 氏家隆：〔分担〕言語障害（構音障害と失語）・失行・失認. “中枢神経疾患のMRI”（喜多村孝一監修, 加川瑞夫, 赫彰郎編著）, p.51~60, 中外医学社, 1987.
- 7) 赫彰郎, 氏家隆：〔分担〕運動麻痺. “中枢神経疾患のMRI”（喜多村孝一監修, 加川瑞夫, 赫彰郎編）p.61~66, 中外医学社, 1987.
- 8) 伊與田浩介, 赫彰郎：〔分担〕脳血管障害；脳梗塞. “中枢神経疾患のMRI”（喜多村孝一監修, 加川瑞夫, 赫彰郎編）, p.145~159, 中外医学社, 1987.
- 9) 伊與田浩介, 赫彰郎：〔分担〕TIA. “中枢神経疾患のMRI”（喜多村孝一監修, 加川瑞夫, 赫彰郎編）, p.160~164, 中外医学社, 1987.
- 10) 赫彰郎, 伊與田浩介：〔分担〕変性疾患；大脳変性症. “中枢神経疾患のMRI”（喜多村孝一監修, 加川瑞夫, 赫彰郎編）, p.300~312, 中外医学社, 1987.
- 11) 赫彰郎, 伊與田浩介：〔分担〕大脳基底核の変性. “中枢神経疾患のMRI”（喜多村孝一監修, 加川瑞夫, 赫彰郎編）, p.313~323, 中外医学社, 1987.
- 12) 赫彰郎, 永積惇, 北浜正：〔分担〕脳血管障害を伴う高血圧症の病態と治療. “老年者高血圧とCa拮抗薬”（五島雄一郎編）, p.40~47, メディカルレビュー社, 1987.
- 13) 赫彰郎：〔分担〕髄膜刺激症状；頭蓋内圧亢進症状の診かた. “臨床神経内科学”（平山恵造編）, p.21~26, 南山堂, 1988.

- 14) 赫彰郎, 千葉隆胤: [分担] 脳血管障害とneuropeptides. “Annual Review 神経 1988” (後藤文男, 萬年徹, 高倉公朋, 木下真男, 井原康夫編), p.155~163, 中外医学社, 1988.
- 15) 赫彰郎: [分担] 脳血管障害の合併症. “今日の治療指針1988年版” (日野原重明, 阿部正知編), p.209~211, 医学書院, 1988.
- 16) 赫彰郎, 北浜正, 宮川秀郎: [分担] 脳動脈写. “成人病治療の進歩” (吉村正治, 原澤道美, 梅田博道編), p.17~23, 現代医療社, 1987.
- 17) 手塚博幸: あなたの頭痛; 原因・症状・直し方. 白馬出版, 1988.

## 学会発表

- 1) 赫彰郎, 片山泰朗, 杉本繁, 清水純, 添田敏幸, 鈴木悟, 南澤宏明, 目々澤肇: [一般講演] 脳血管障害に関する研究; 脳虚血時における血小板の脳浮腫および脳エネルギー代謝に及ぼす影響. 第84回日本内科学会総会, 1987.
- 2) 大藺英一, 河辺満彦, 荒井龍彦, 葉山修陽, 鈴木悟, 神谷達司, 原一男, 赫彰郎, 石崎正通<sup>1)</sup>, 山中宣昭<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1病理): [一般講演] 障害物競争で横紋筋融解症から急性腎不全をきたした, 潜在性筋疾患が疑われた1症例. 第17回日本肝臓病学会東部部会, 1987.
- 3) 河辺満彦, 荒井龍彦, 葉山修陽, 原一男, 赫彰郎, 石崎正通<sup>1)</sup>, 山中宣昭<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup>, 勝野浩<sup>2)</sup>, 栗原怜<sup>2)</sup>, (<sup>1)</sup>第1病理, <sup>2)</sup>立正佼成会中野病院): [一般講演] 血漿交換及び pulse 療法により著効を示した急速進行性糸球体腎炎の1症例. 第17回日本腎臓病学会東部部会, 1987.
- 4) 北村伸, 氏家隆, 黒木副武, 坂本静樹, 添田敏幸, 赫彰郎, 飯尾正明<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立中野病院放射線科): [一般講演] パーキンソン病患者の脳血流, 脳酸素代謝についての検討. 第28回日本神経学会総会, 1987.
- 5) 神谷達司, 片山泰朗, 清水純, 鈴木悟, 目々澤肇, 柏木史彦, 杉本繁, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] Bradykinin (BK) の脳浮腫発生の関与に関する研究 (第1報). BKの注入とBK合成阻害剤の効果の検討. 第28回日本神経学会総会, 1987.
- 6) 荒木俊彦, 氏家隆, 小島直志, 後藤達範, 重田俊一, 飯田正美, 手塚博幸, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup>, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>東京都多摩老人医療センター): [一般講演] 脳循環に影響を及ぼす諸因子の検討. 第28回日本神経学会総会, 1987.
- 7) 大森容子, 鈴木秀徳, 海江田亮, 宮川秀郎, 萩原万里子, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] サーモグラフィよりみた脳卒中患者の手背皮膚温と障害度との関連について. 第28回日本神経学会総会, 1987.
- 8) 柏木史彦, 片山泰朗, 清水純, 鈴木悟, 目々澤肇, 飯田恵, 於保倫之助, 赫彰郎: [一般講演] 高張溶液 (グリセロール) の実験的脳虚血に及ぼす効果. (第2報) 投与方法に関する検討. 第28回日本神経学会総会, 1987.
- 9) 桂研一郎, 神田佳和<sup>1)</sup>, 南澤宏明, 清水純, 片山泰朗, 久安早苗<sup>1)</sup>, 赫彰郎, 吉野芳夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2生化): [一般講演] Endotoxin による脳組織 Leukotrienes 産生亢進作用及び vitamin A 酸によるその抑制作用. 第28回日本神経学会総会, 1987.
- 10) 五十嵐博中, 湯浅龍彦<sup>1)</sup>, 桑原武男<sup>1)</sup>, 宮武正<sup>1)</sup>, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>新潟大学医学部脳研究所神経内科): [一般講演] 実験的脳虚血におけるエネルギー代謝, BBB透過性並びに乳酸値の経時的変化; 多核種NMRによる研究. 第28回日本神経学会総会, 1987.
- 11) 加藤利昭, 添田敏幸, 北村伸, 氏家隆, 黒木副武, 赫彰郎: [一般講演] 標準失語症検査得点と局所脳循環代謝の検討. 第28回日本神経学会総会, 1987.
- 12) 李勝彦, 北浜正, 萩原万里子, 海江田亮, 永積惇, 赫彰郎, 伊與田浩介<sup>1)</sup>, 瀬田健一<sup>1)</sup>, 池田祐司<sup>1)</sup>, 新城之介<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>博慈会記念病院内科): [一般講演] MRIにて白質に広汎な高信号域を呈した高齢者の検討. 第28回日本神経学会総会, 1987.
- 13) 千葉隆胤, 重田俊一, 三浦隆正, 手塚博幸, 永積惇, 赫彰郎, 池田祐司<sup>1)</sup>, 伊與田浩介<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>博慈会記念病院内



- 科) : [一般講演] 脳血管障害における自律神経と  $\beta$  - endorphin, Met - enkephalin の検討. 第28回日本神経学会総会, 1987.
- 14) 五十嵐博中, 湯浅龍彦, 日高和幸<sup>1)</sup>, 桑原武夫<sup>1)</sup>, 宮武正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>新潟大学脳研究所神経内科) : [一般講演] <sup>31</sup>P MRS による脳エネルギー代謝の研究. 第28回日本神経学会総会, 1987.
  - 15) 永積惇 : [一般講演] 脳卒中の診断と治療. 第193回富士宮市医師会学術講演会, 1987.
  - 16) 神田佳和<sup>1)</sup>, 桂研一郎, 南沢宏明, 久安早苗<sup>1)</sup>, 吉野芳夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2生化) : [一般講演] 熱傷ラット肺及び脳における prostanoids 遊出に対する vitamin A の作用. 第41回日本栄養・食糧学総会, 1987.
  - 17) 福生吉裕, 葉山修陽, 永島幹夫, 小山潤三, 原一男, 赫彰郎, 王城龍義<sup>1)</sup>, 瀬田健一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>老人病研究所付属病院) : [一般講演] LDL apheresis の CTX 患者への応用. プラスマフェレーシス治療研究会第7回シンポジウム, 1987.
  - 18) 葉山修陽, 福生吉裕, 村松忠, 河辺満彦, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎 : [一般講演] 高脂血症における LDL - apheresis 治療効果について. プラスマフェレーシス治療研究会第7回シンポジウム, 1987.
  - 19) 坂本静樹, 北村伸, 氏家隆, 黒木副武, 添田敏幸, 赫彰郎, 飯尾正明<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立療養所中野病院放射線科) : [一般講演] アルツハイマー型老年痴呆患者の脳循環代謝 ; <sup>15</sup>O ポジトロン CT を用いて. 第2回老年精神医学研究会, 1987.
  - 20) 神谷達司, 片山泰朗, 清水純, 鈴木悟, 目々澤肇, 柏木史彦, 杉本繁, 永積惇, 赫彰郎 : [一般講演] Bradykinin (BK) の脳浮腫発生の関与に関する研究 ; BK の注入と BK 合成阻害剤の効果の検討. 第10回脳浮腫研究会, 1987.
  - 21) 桂研一郎, 南沢宏明, 清水純, 片山泰朗, 後藤達範<sup>1)</sup>, 漆山和夫<sup>1)</sup>, 神田佳和<sup>1)</sup>, 吉野芳夫<sup>2)</sup>, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>栃木県県南総合病院, <sup>2)</sup>第2生化) [一般講演] 脳梗塞および脳出血患者血漿ロイコトリエン C<sub>4</sub>, B<sub>4</sub>, SRS - A (Slow reacting substance of Anaphylaxis) の経時的变化の検討. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 22) 清水純, 片山泰朗, 鈴木悟, 目々澤肇, 柏木史彦, 溝口正明, 赫彰郎 : [一般講演] 実験的脳虚血における血小板の脳浮腫及び脳エネルギー代謝に及ぼす影響. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 23) 於保倫之助, 片山泰朗, 柏木史彦, 添田敏幸, 鈴木悟, 目々澤肇, 南沢宏明, 赫彰郎 : [一般講演] 実験的脳虚血におけるウリナスタチンの効果. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 24) 後藤達範<sup>1)</sup>, 漆山和夫<sup>1)</sup>, 新井弘一<sup>1)</sup>, 小山潤三<sup>1)</sup>, 赫彰郎, 加藤仁志, 荒木俊彦, 保津豊徳 (<sup>1)</sup>栃木県県南総合病院内科) : [一般講演] 脳血管障害例に合併する急性心筋梗塞について. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 25) 岡本栄一<sup>1)</sup>, 浜本真<sup>1)</sup>, 加藤利昭<sup>1)</sup>, 森山光一<sup>1)</sup>, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup>, 津島隆也<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>東京都多摩老人医療センター神経内科, <sup>2)</sup>同健康管理室) : [一般講演] 老人ホームにおける脳卒中発生率と生活環境. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 26) 海江田亮, 北浜正, 李勝彦, 鈴木秀徳, 宮川秀郎, 萩原万里子, 伊與田浩介<sup>1)</sup>, 永積惇, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>博慈会記念病院内科) [一般講演] MRI における脳室周囲高信号領域の検討. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 27) 萩原万里子, 李勝彦, 海江田亮, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎, 池田祐司<sup>1)</sup>, 瀬田健一<sup>1)</sup>, 伊與田浩介 (<sup>1)</sup>博慈会記念病院内科) : [一般講演] 脳血管性痴呆の MRI ; 臨床鑑別に対する一考察. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 28) 福生吉裕, 吉井博, 永島幹夫, 神原礼文, 斉藤彰, 加藤仁志, 小林陽二, 赫彰郎, 中沢良寿<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>恵仁会府中病院) : [一般講演] 脳卒中後に出現する LPL 抑制因子はカケチンか. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 29) 神原礼文, 福生吉裕, 吉井博, 永島幹夫, 小林陽二, 赫彰郎 : [一般講演] 経静脈脂肪負荷試験による脳卒中予後の検討. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 30) 千葉隆<sup>1)</sup>, 池田祐司<sup>1)</sup>, 伊與田浩介<sup>1)</sup>, 新城之介<sup>1)</sup>, 重田俊一, 三浦隆正, 手塚博幸, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>博慈会記念病院内科) : [一般講演] 脳血管障害における  $\beta$  - endorphin, Met - enkephalin の検討. 第12回日本脳卒中学会総

会, 1987.

- 31) 村松忠, 加藤仁志, 尾上敏夫, 中沢良寿<sup>1)</sup>, 小林陽二, 福生吉裕, 森島明, 永積惇, 赫彰郎: (<sup>1)</sup>府中恵仁会病院内科): [一般講演] 脳梗塞慢性期患者の心機能の非侵襲的評価. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
- 32) 荒木俊彦, 保津豊徳, 氏家隆, 小島直志, 重田俊一, 飯田正美, 手塚博幸, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup>, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>東京都多摩老人医療センター): [一般講演] 基底核梗塞症状の脳循環動態. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
- 33) 保津豊徳<sup>1)</sup>, 新井弘一<sup>1)</sup>, 後藤達範<sup>1)</sup>, 漆山和夫<sup>1)</sup>, 荒木俊彦, 坂本静樹, 飯田正美, 赫彰郎, 宮崎徳蔵<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>栃木県県南総合病院内科, <sup>2)</sup>東京都多摩老人医療センター神経内科): [一般講演] 糖尿病患者および糖尿病を合併する脳血管障害例における脳血流動態について. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
- 34) 黒木副武, 宮川秀郎, 萩原万里子, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] 脳梗塞患者の頸動脈, 椎骨動脈における頭蓋平均循環時間と脳血流量の関連について. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
- 35) 渋谷敏道, 小林陽二, 福生吉裕, 赫彰郎, 風間睦美<sup>1)</sup>, 安部英<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>帝京大学医学部第1内科): [一般講演] 脳血栓とProtein CおよびProtein C-like fractionの関連. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
- 36) 岩崎正知, 福生吉裕, 小林陽二, 永島幹夫, 斉藤彰, 赫彰郎, 漆山和夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>栃木県県南総合病院): [一般講演] 脳梗塞急性期におけるMgの効果. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
- 37) 鈴木秀徳, 大森容子, 海江田亮, 宮川秀郎, 萩原万里子, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] サーモグラフィよりみた脳卒中患者の四肢皮膚温と障害度との関連について. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
- 38) Minamisawa, H., Katayama, Y., Terashi, A., Shimizu, J., Inamura, K., Mizoguchi, M., Katsura, K., Obo, R., Kanda, Y.<sup>1)</sup> and Yoshino, Y.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Second Department of Biochemistry): [一般講演] Relationship of leukotriene C<sub>4</sub> and ischemic brain edema in stroke-resistant spontaneously hypertensive rat. XIII International Conference of Cerebral Blood Flow and Metabolism (Montreal), 1987.
- 39) Inamura, K., Martins, E.<sup>1)</sup>, Marmqvist, K.G.<sup>1)</sup> and Siesjö, B.K.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Lund University): [一般講演] Accumulation of calcium and loss of potassium in the hippocampus following transient cerebral ischemia; A study with proton microprobe. XIII International Conference of Cerebral Blood Flow and Metabolism (Montreal), 1987.
- 40) Igarashi, H., Yuasa, T.<sup>1)</sup>, Nagashima, K.<sup>1)</sup>, Kuwabara, T.<sup>1)</sup>, Miyatake, T.<sup>1)</sup> and Terashi, A. (<sup>1)</sup>Department of Neurology Brain Research Institute Niigata University): [一般講演] Early changes in BBB permeability following transient ischemia demonstrated IH-MRI. XIII International Conference of Cerebral Blood Flow and Metabolism (Montreal), 1987.
- 41) Katayama, Y., Shimizu, J., Suzuki, S., Memezawa, H., Kashiwagi, F., Kamiya, T. and Terashi, A.: [一般講演] Role of platelets as a factor aggravating cerebral ischemia. XIII International Conference of Cerebral Blood Flow and Metabolism (Montreal), 1987.
- 42) Inamura, K., Martins, E.<sup>1)</sup> and Siesjö, B.K.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Lund University): [一般講演] Tissue pH in substantia nigra during and after recovery from status epilepticus; Relationship of acidosis to developing hypermetabolic necrosis. XIII International Conference of Cerebral Blood Flow and Metabolism (Montreal), 1987.
- 43) 大藺英一, 鈴木悟, 葉山修陽, 原一男, 赫彰郎: [一般講演] 急性腎不全を契機に発見されたMcArdle病の一例. 第101回日本神経学会関東地方会, 1987.
- 44) 森山光一<sup>1)</sup>, 浜本真<sup>1)</sup>, 吉井博<sup>1)</sup>, 加藤利昭<sup>1)</sup>, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京都多摩老人医療センター神経内科): [一般講演] 痴呆症状で発症したと思われる脳原発性リンパ腫の一例. 第101回日本神経学会関東地方会, 1987.
- 45) 赫彰郎: [特別講演] 脳虚血とアラキドン酸代謝物. 第10回近畿CVD研究会, 1987.
- 46) 小宮山佐, 酒寄修, 添田敏幸, 北村伸, 溝口正明, 手塚博幸, 原一男, 赫彰郎: [一般講演] Positron emission

CTで早期に病態を把握しえた Creutzfeldt - Jakob 病の 1 症例. 第366回日本内科学会関東地方会, 1987.

- 47) 葉山修陽, 河辺満彦, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎: [一般講演] Catheter 留置により鎖骨下静脈内血栓を生じた一透析症例. 第32回日本透析療法学会総会, 1987.
- 48) 齊藤彰, 松井南<sup>1)</sup>, 野村信夫<sup>1)</sup>, 石崎良太郎<sup>1)</sup>, 永島幹夫, 岩崎正知, 加藤仁志, 小林陽二, 福生吉裕, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>日本獣医畜産大学分子腫瘍研究室): [一般講演] Nuclear run off transcription 法によるマクロファージ由来増殖因子の測定について. 第19回日本動脈硬化学会総会, 1987.
- 49) 福生吉裕, 永島幹夫, 齊藤彰, 神原礼文, 渋谷敏道, 小林陽二, 新井弘一, 赫彰郎: [一般講演] 胸線と動脈硬化 (第一報). 胸線摘出モデルによる血中リポ蛋白への影響について. 第19回日本動脈硬化学会総会, 1987.
- 50) 羽田和正<sup>1)</sup>, 西槇貴代美<sup>1)</sup>, 堀江祥子<sup>1)</sup>, 長谷川卓志<sup>1)</sup>, 中島信治<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>老人病研究所): [一般講演] 血清 TC レベルの増加による HDL 亜分画内脂質量および脂質比の変動に関する研究. 第19回日本動脈硬化学会総会, 1987.
- 51) 中島信治<sup>1)</sup>, 西槇貴代美<sup>1)</sup>, 堀江祥子<sup>1)</sup>, 長谷川卓志<sup>1)</sup>, 羽田和正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>老人病研究所): [一般講演] HDL 画分内リン脂質と HDL 画分内 non polar lipid 量との関連についての 2, 3 の考察. 第19回日本動脈硬化学会総会, 1987.
- 52) 赫彰郎: [特別講演] 老年期痴呆の脳循環代謝. 九州老年期痴呆研究会, 1987.
- 53) Ohtomo, E.<sup>1)</sup>, Terashi, A. et al. (<sup>1)</sup>浴風会病院): [一般講演] A multi-center double blind study of tiapride compared with inactive placebo in patients with psychiatric symptoms caused by cerebrovascular origins. Second World Congress of Neuroscience (Budapest, Hungary), 1987.
- 54) 重田俊一, 小島直志, 路川健, 加藤仁志, 飯田正美, 溝口正明, 永積惇, 原一男, 赫彰郎, 木村剛<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1病院): [一般講演] 高令発症した progressive systemic sclerosis 1 剖検例. 第367回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 55) 五十嵐博中, 赫彰郎, 湯浅龍彦<sup>1)</sup>, 宮武正<sup>1)</sup>, 藤原直士<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>新潟大学医学部脳研究所神経内科, <sup>2)</sup>新潟大学医学部麻酔学教室): [一般講演] In vivo <sup>13</sup>C - MR spectroscopy による脳内グルコース代謝の測定及び脳虚血モデルへの応用. 第2回 Brain Hypoxia 研究会, 1987.
- 56) 黒木副武, 北浜正, 萩原万里子, 永積惇, 赫彰郎, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京都多摩医療センター): [一般講演] 動注 DSA による頭がい平均循環時間と脳血流量算出について. 第24回日本臨床生理学会総会, 1987.
- 57) 李勝彦, 北浜正, 萩原万里子, 海江田亮, 添田敏幸, 永積惇, 赫彰郎, 瀬田健一, 池田祐司<sup>1)</sup>, 伊與田浩介<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>博慈会記念病院): [一般講演] MRI にて両側蛋白質に広汎な高信号域を呈した症例の脳循環代謝動態の検討. 第24回日本臨床生理学会総会, 1987.
- 58) 千葉隆胤, 重田俊一, 三浦隆正, 手塚博幸, 赫彰郎, 池田祐司<sup>1)</sup>, 伊與田浩介<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>博慈会記念病院内科): [一般講演] 脳障害時の血漿 Met - enkephalin と自律神経について. 第24回日本臨床生理学会総会, 1987.
- 59) 村松忠, 福生吉裕, 小林陽二, 加藤仁志, 中沢良寿, 吉井博, 稲葉治樹, 赫彰郎: [一般講演] 大動脈波速度と動脈硬化の Risk factor の関係について. 第24回日本臨床生理学会総会, 1987.
- 60) 尾上敏夫, 村松忠, 永島幹夫, 斎藤彰, 加藤仁志, 小林陽二, 福生吉裕, 森島明, 赫彰郎: [一般講演] 大動脈弓の臨床的意義 (第3報). 大動脈波速度と突出度との関係. 第24回日本臨床生理学会総会, 1987.
- 61) 大森容子, 鈴木秀徳, 海江田亮, 宮川秀郎, 萩原万里子, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] サーモグラフィよりみた脳卒中患者の四肢皮膚温と障害度との関連について. 第24回日本臨床生理学会総会, 1987.
- 62) 臼田和弘, 李勝彦, 北村伸, 手塚博幸, 赫彰郎: [一般講演] 超皮質性運動失語と肢節運動失行を呈した一例. 第102回日本神経学会関東地方会, 1987.
- 63) 五十嵐博中, 湯浅龍彦<sup>1)</sup>, 宮武正<sup>1)</sup>, 藤原直士<sup>2)</sup>, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>新潟大・脳研・神内, <sup>2)</sup>同・麻酔): [一般講演] In Vivo <sup>13</sup>C - MR spectroscopy による脳内グルコース代謝の測定. 第10回日本磁気共鳴医学会大会, 1987.
- 64) 赫彰郎: [特別講演] 脳血管障害の病態; 特に脳循環代謝の面より. 老年病と代謝を語る会第10回研究会, 1987.

- 65) 後藤達範<sup>1)</sup>, 漆山和夫<sup>1)</sup>, 小山潤三<sup>1)</sup>, 本田治久<sup>1)</sup>, 赫彰郎, 手塚博幸, 保津豊徳, 新井弘一 (<sup>1)</sup>栃木県南総合病院内科): [一般講演] 脳梗塞発症後 TIA および片マヒ型片頭痛を繰り返す 1 症例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 66) 重田俊一, 保津豊徳, 荒木俊彦, 千葉隆胤, 氏家隆, 小島直志, 後藤達範, 飯田正美, 手塚博幸, 赫彰郎, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京都多摩老人医療センター神経内科): [一般講演] 皮質下脳梗塞の CT 像と超電導型 MRI 像の比較. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 67) 柳沢正志<sup>1)</sup>, 海江田亮<sup>1)</sup>, 荒木宏<sup>1)</sup>, 今井博彦<sup>1)</sup>, 千葉隆胤<sup>1)</sup>, 池田祐司<sup>1)</sup>, 伊與田浩介<sup>1)</sup>, 永積惇, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>博慈会記念病院内科): [一般講演] 足立区における脳卒中患者の臨床的検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 68) 吉井博, 森山光一, 加藤利昭, 濱本眞, 宮崎徳蔵, 津島隆也 (<sup>1)</sup>東京都多摩老人医療センター神経内科, <sup>2)</sup>同健康管理室): [一般講演] 施設老人における心身の健康度についての調査. 第 1 報 血圧, 活発度, 痴呆スケールによる検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 69) 大石一二三<sup>1)</sup>, 横田隆<sup>2)</sup>, 小山美弥<sup>2)</sup>, 中島信治<sup>2)</sup>, 大網弘<sup>2)</sup>, 斉藤彰, 松井南<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>協同乳業株式会社研究所, <sup>2)</sup>老人病研究所, <sup>3)</sup>日本獣医畜産大学分子腫瘍学研究所): [展示] マクロファージ産生 Heparitinase の部分精製. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 70) 立花米一<sup>1)</sup>, 辻之英<sup>2)</sup>, 手塚博幸, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>目白第一病院内科, <sup>2)</sup>同脳神経外科): [展示] 代謝性および脳血管性疾患における聴性脳幹反応の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 71) 添田敏幸, 北村伸, 氏家隆, 加藤利昭, 黒木副武, 坂本静樹, 赫彰郎: [展示] 痴呆における脳循環代謝. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 72) 安武正弘<sup>1)</sup>, 佐々木熙之<sup>1)</sup>, 柴田純一<sup>1)</sup>, 伊與田浩介<sup>2)</sup>, 新城之介<sup>2)</sup>, 藤松雅彦<sup>3)</sup>, 神田哲朗<sup>3)</sup>, 駕瀧雅男<sup>3)</sup>, 早川弘一<sup>4)</sup>, 奥村英正<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>博慈会記念病院循環器科, <sup>2)</sup>同内科, <sup>3)</sup>同放射線科, <sup>4)</sup>第 1 内科): [展示] MRI (Magnetic Resonance Imaging) により検出した心内占拠性病変 4 例の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 73) 羽田和正<sup>1)</sup>, 西楨貴代美<sup>1)</sup>, 長谷川卓司<sup>1)</sup>, 中島信治<sup>1)</sup>, 福生吉裕 (<sup>1)</sup>老人病研究所): [展示] Xanthoma 患者の血清 cholesterol dynamics に関する検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 74) 西楨貴代美, 羽田和正, 長谷川卓司, 中島信治 (老人病気研究所): [展示] 血清 TC レベルの増加による HDL 画分内脂質量および脂質比の変動に関する研究. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 75) 中島博子<sup>1)</sup>, 菊地有道<sup>1)</sup>, 伊藤久美子<sup>1)</sup>, 田本万里<sup>1)</sup>, 伊藤純子<sup>1)</sup>, 小口栄基子<sup>1)</sup>, 福生吉裕 (<sup>1)</sup>第一病院薬剤科): [展示] 昭和59年 1 月~61年12月までの 3 年間における新薬の開発に関する調査. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 76) 矢向真奈美<sup>1)</sup>, 萬羽幸枝<sup>1)</sup>, 佐野真己<sup>1)</sup>, 植草はる枝<sup>1)</sup>, 斧可也人<sup>1)</sup>, 福生吉裕 (<sup>1)</sup>第一病院栄養科): [展示] 八丈島住民の栄養調査について 第 2 報. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 77) 今井博彦<sup>1)</sup>, 海江田亮<sup>1)</sup>, 荒木宏<sup>1)</sup>, 柳沢正志<sup>1)</sup>, 池田祐司<sup>1)</sup>, 伊與田浩介<sup>1)</sup>, 永積惇, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>博慈会記念病院内科): [展示] 副腎皮質ステロイドが有効であった遺伝性血管神経浮腫 (HANE) の 1 例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 78) 福生吉裕, 葉山修陽, 永島幹夫, 小山潤三, 原一男, 赫彰郎, 玉城龍義<sup>1)</sup>, 瀬田健一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>老人病研究所付属病院内科): [展示] LDL アフェレーシスが有効であった小脳・腱・黄色腫 (CTX) の 1 症例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 79) 石渡俊行<sup>1)</sup>, 中山一郎<sup>1)</sup>, 福地孝明<sup>1)</sup>, 三田茂<sup>1)</sup>, 目々澤肇<sup>1)</sup>, 岩田好文<sup>1)</sup>, 小松原登<sup>1)</sup>, 花島浩<sup>1)</sup>, 横山宗伯<sup>2)</sup>, 三浦妙太<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>佼成病院内科, <sup>2)</sup>第 2 病理, <sup>3)</sup>佼成病院病理科): [展示] 不明熱を主訴とし, 間節症状の乏しかったリウマチ性血管炎の 1 剖検例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 80) Arai, K., Fukuo, Y., Koyama, J., Kambara, R., Hada, K., Kobayashi, Y. and Terashi, A.: [一般講演] Gustatory

- disturbance in patients with cerebral vascular disease. The 7th Asian Oseanian Congress of Neurology (Bali), 1987.
- 81) Fukuo, Y., Hayama, N., Koyama, J., Hara, K., Terashi, A., Tamaki, C.<sup>1)</sup> and Seta, K. (<sup>1)</sup>Institute of Geriatric Hospital) : [一般講演] Effect of LDL plasma pheresis on cerebrotendinous xanthomatosis. The 7th Asian Oseanian Congress of Neurology (Bali), 1987.
  - 82) Fukuo, Y., Nagashima, M., Yoshii, H., Kambara, R., Kobayashi, Y. and Terashi, A. : [一般講演] Studies on lipoprotein lipase inhibitor that appeared in Acute phase of CVD patients. The 7th Asian Oseanian Congress of Neurology (Bali), 1987.
  - 83) Hagiwara, M., Kaieda, M., Suzuki, H., Miyagawa, H., Imazu, O., Kuroki, S., Kitahama, T., Nagazumi, A., Terashi, A. and Urushiyama, K. : [一般講演] Clinical study on vascular dementia; Correlation between psychic function, CT findings and circulation time. The 7th Asian Oseanian Congress of Neurology (Bali), 1987.
  - 84) Inaba, H., Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Nagashima, M., Yoshii, H., Muramatsu, T., Iwasaki, M., Terashi, A. and Kanekawa, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Department of Internal Medicine, Tajirigaoka Hospital, Ibaraki) : [一般講演] Changes of coagulation fibrinolytic factors in cerebral thrombosis. The 7th Asian Oseanian Congress of Neurology (Bali), 1987.
  - 85) Kaieda, R., Kitahama, T., Ri, K., Suzuki, H., Hagiwara, M., Iyoda, K., Nagazumi, A. and Terashi, A. : [一般講演] MRI periventricular high intensity lesions. The 7th Asian Oseanian Congress of Neurology (Bali), 1987.
  - 86) Katsura, K., Minamisawa, H., Katayama, Y., Shimizu, J., Goto, T., Urushiyama, K., Kanda, Y.<sup>1)</sup>, Yoshino, Y.<sup>1)</sup> and Terashi, A. : [一般講演] Plasma levels of leukotriene C4, B4, slow reacting substance of anaphylaxis in chronological phases of cerebrovascular disease. The 7th Asian Oseanian Congress of Neurology (Bali), 1987.
  - 87) Kanbara, R., Fukuo, Y., Yoshii, H., Nagashima, M., Koyama, J., Arai, K. and Terashi, A. : [一般講演] A new trial by A intravenous fat emulsion test on patients in acute phase of cerebral vascular disease for evaluation of their prognosis. The 7th Asian Oseanian Congress of Neurology (Bali), 1987.
  - 88) Moriyama, K., Terashi, A., Tezuka, H., Koizumi, I., Iida, M., Miura, T., Kitamura, S., Shigeta, T., Ujike, T., Kato, T., Imazu, O., Chiba, T., Kuroki, S., Sakamoto, S., Miyazaki, T.<sup>1)</sup>, Hamamoto, M.<sup>1)</sup>, Okamoto, E.<sup>1)</sup> and Tsushima, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Department of Neurology, Tokyo Metropolitan Tama Geriatric Hospital) : [一般講演] Correlation between regional cerebral blood flow and dementia in Parkinson's disease. The 7th Asian Oseanian Congress of Neurology (Bali), 1987.
  - 89) Sakamoto, S., Kitamura, S., Ujike, T., Kuroki, S., Kato, T., Soeda, T., Terashi, A. and Iio, M.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Department of Radiology, Nakano National Hospital) : [一般講演] Regional cerebral blood flow and oxygen metabolism in patients with dementia of the Alzheimer's type using <sup>15</sup>O and positron emission tomography. The 7th Asian Oseanian Congress of Neurology (Bali), 1987.
  - 90) Shimizu, J., Katayama, Y., Suzuki, S., Memezawa, H., Kashiwagi, F. and Terashi, A. : [一般講演] Role of platelet as a factor aggravating cerebral ischemia. The 7th Asian Oseanian Congress of Neurology (Bali), 1987.
  - 91) Suzuki, H., Omori, Y., Kaieda, M., Memezawa, H., Hagiwara, M., Kitahama, T., Nagazumi, A. and Terashi, A. : [一般講演] The relationship between skin temperature of extremities measured by infra - red thermography and functional prognosis in the chronic stage of stroke. The 7th Asian Oseanian Congress

of Neurology (Bali), 1987.

- 92) Iwasaki, M., Fukuo, Y., Kobayashi, Y., Nagashima, M., Saitoh, A., Muramatsu, T. and Terashi, A. :  
〔一般講演〕 Effect of magnesium on regional cerebral blood flow in cerebrovascular disease. The 7th Asian  
Oseanian Congress of Neurology (Bali), 1987.
- 93) 後藤達範, 漆山和夫, 新井弘一, 小山潤三, 本田治久 (栃木県南総合病院) : 〔一般講演〕 脳血管障害におけ  
る急性心筋梗塞について. 第27回全国国保地域医療学会, 1987.
- 94) 加藤利昭<sup>1)</sup>, 浜本真<sup>1)</sup>, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup>, 伊藤雄二<sup>2)</sup>, 吉村正博<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>東京都多摩老人医療センター神経内科, <sup>2)</sup>同,  
臨床病理科) : 〔一般講演〕 OPCAが疑われた小脳梗塞の一部検例. 第102回日本神経学会関東地方会, 1987.
- 95) 神谷達司, 片山泰朗, 清水純, 鈴木悟, 目々澤肇, 柏木史彦, 杉本繁, 永積惇, 赫彰郎 : 〔一般講演〕  
Bradykinin (BK) の脳浮腫発生の関与に関する研究; BKの注入とBK合成阻害剤の効果の検討. 第28回日本脈  
管学会総会. 1987.
- 96) 海江田亮, 北浜正, 李勝彦, 鈴木秀徳, 萩原万里子, 伊與田浩介<sup>1)</sup>, 永積惇, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>博慈会記念病院) :  
〔一般講演〕 MRIにおける脳室周囲高信号領域の検討. 第28回日本脈管学会総会. 1987.
- 97) 鈴木秀徳, 大森容子, 海江田亮, 宮川秀郎, 萩原万里子, 北浜正, 手塚博幸, 永積惇, 赫彰郎 : 〔一般講演〕 赤  
外線サーモグラフィによる自律神経機能評価の試み. 第28回日本脈管学会総会. 1987.
- 98) 萩原万里子, 宮川秀郎, 黒木副武, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎 : 〔一般講演〕 脳血管性痴呆の頭蓋内平均循環時間  
について; 動注のDSA法による. 第28回日本脈管学会総会. 1987.
- 99) 葉山修陽, 羽田和正, 大蘭英一, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎, 中島信治<sup>1)</sup>, 栗原怜<sup>2)</sup>, 河辺満彦<sup>2)</sup>, 米島秀夫<sup>2)</sup>  
(<sup>1)</sup>老人病研究所, <sup>2)</sup>春日部秀和病院内科) : 〔一般講演〕 透析患者におけるHDL・LDL glycosylationにつて;  
糖尿病性腎症を中心に. 第30回日本腎臓学会総会, 1987.
- 100) 稲村憲治, 赫彰郎, Siesjö, B.K.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Lund University) : 〔招待講演〕 虚血後Hippocampus CA1領域におけ  
る細胞障害とカルシウム蓄積. 第30回脳循環代謝研究会, 1987.
- 101) 五十嵐博中, 赫彰郎, 湯浅龍彦<sup>1)</sup>, 宮武正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>新潟大学脳研究所神経内科) : 〔一般講演〕 NMRによる脳虚血  
モデルの経時的観察; エネルギー代謝, 脳内 pH 及び乳酸値. 第30回脳循環代謝研究会, 1987.
- 102) 大森容子, 鈴木秀徳, 手塚博幸, 赫彰郎 : 〔一般講演〕 頭痛とサーモグラフィー; 血管性頭痛患者の冷却負荷試  
験による自律神経機能評価の試み. 第15回頭痛研究会, 1987.
- 103) 坂本静樹, 北村伸, 氏家隆, 黒木副武, 添田敏幸, 赫彰郎, 飯尾正明<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立療養所中野病院放射線科) :  
〔一般講演〕 アルツハイマー型老年痴呆患者の脳循環代謝; O-15ポジトロンCTを用いて. 第27回日本核医学  
会総会, 1987.
- 104) 内藤巖<sup>1)</sup>, 風間睦美<sup>1)</sup>, 田原千枝子<sup>1)</sup>, 安部英<sup>1)</sup>, 渋谷敏道, 石井秀美<sup>2)</sup>, 中野昌彦<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>帝京大第1内科, <sup>2)</sup>帝京  
大薬学部) : 〔一般講演〕 脳血管障害における血漿トロンボモジュリンの臨床的意義. 第29回日本臨床血液学会  
総会, 1987.
- 105) 李勝彦, 北浜正, 萩原万里子, 海江田亮, 北村伸, 永積惇, 赫彰郎, 池田祐司<sup>1)</sup>, 伊與田浩介<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>博慈会記念  
病院) : 〔一般講演〕 白質に広汎な高信号域をMRIで呈した高齢者の脳循環動態の検討. 第29回日本老年医学  
会総会, 1987.
- 106) 北浜正, 李勝彦, 海江田亮, 萩原万里子, 永積惇, 赫彰郎, 伊與田浩介<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>博慈会記念病院) : 〔一般講演〕  
MRIによる橋・小脳の評価; OPCA例における検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 107) 荒木俊彦, 保津豊徳, 氏家隆, 小島直志, 重田俊一, 飯田正美, 手塚博幸, 赫彰郎, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>都多摩老人  
医療センター) : 〔一般講演〕 基底核梗塞症の脳循環の面よりみた危険因子の検討. 第29回日本老年医学会総会,  
1987.

- 108) 後藤達範<sup>1)</sup>, 漆山和夫<sup>1)</sup>, 小山潤三<sup>1)</sup>, 新井弘一<sup>1)</sup>, 赫彰郎, 加藤仁志, 荒木俊彦, 保津豊徳 (<sup>1)</sup>栃木県南総合病院・内科): [一般講演] 脳血管障害における急性心筋梗塞について. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 109) 中島信治<sup>1)</sup>, 西槇貴代美<sup>1)</sup>, 堀江祥子<sup>1)</sup>, 長谷川卓志<sup>1)</sup>, 羽田和正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>老人病研究所): [一般講演] HDL 画分内リン脂質とHDL画分内 non polar lipid 量との関連についての2, 3の考察. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 110) 西槇貴代美<sup>1)</sup>, 堀江祥子<sup>1)</sup>, 羽田和正<sup>1)</sup>, 長谷川卓志<sup>1)</sup>, 中島信治<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>老人病研究所): [一般講演] 血清 TC レベルの増加による HDL 画分内脂質量および脂質比の変動に関する研究. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 111) 小林陽二, 福生吉裕, 赫彰郎, 金川卓郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>田尻ヶ丘病院): [一般講演] 脳血栓後遺症例における脂質と血液凝固線溶系に関する検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 112) 羽田和正<sup>1)</sup>, 西槇貴代美<sup>1)</sup>, 堀江祥子<sup>1)</sup>, 長谷川卓志<sup>1)</sup>, 中島信治<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>老人病研究所): [一般講演] Glycosylated lipoprotein の測定を試みに関する一試案. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 113) 浜本真<sup>1)</sup>, 森山光一<sup>1)</sup>, 加藤利昭<sup>1)</sup>, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup>, 津島隆也<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>東京都多摩老人医療センター神経内科, <sup>2)</sup>同健康管理室): [一般講演] 高血圧老人に関する調査. 第一報 血圧, 活発度, 痴呆スケールによる検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 114) 津島隆也<sup>1)</sup>, 浜本真<sup>1)</sup>, 森山光一<sup>1)</sup>, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京都多摩老人医療センター神経内科): [一般講演] 養護老人ホーム居住者における医学的研究. 第一報 視力障害者に関する検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 115) 鈴木秀徳, 大森容子, 海江田亮, 宮川秀郎, 萩原万里子, 北浜正, 手塚博幸, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] 赤外線サーモグラフィによる自律神経機能評価の試み. 第40回自律神経学会総会, 1987.
- 116) 小貫陽子<sup>1)</sup>, 永川祐三<sup>1)</sup>, 郭紫峯<sup>1)</sup>, 折茂肇<sup>1)</sup>, 森島明<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>東大老年病科, <sup>2)</sup>春日部秀和病院): [一般講演] 老年者狭心症および糖尿病における覚醒時と睡眠時の自律神経機能指標 CV<sub>RR</sub> の意義. 第40回自律神経学会総会, 1987.
- 117) Kamiya, T., Katayama, Y., Shimizu, J., Soeda, T., Nagazumi, A. and Terashi, A.: [一般講演] Studies on relationship of bradykinin to ischemic brain edema in stroke resistant spontaneously hypertensive rat. 7th International Symposium on Brain Edema (Baltimore), 1987.
- 118) Memezawa, H., Katayama, Y., Shimizu, J., Suzuki, S., Kashiwagi, F., Kamiya, T. and Terashi, A.: [一般講演] The effects of fluosol-DA on brain edema, energy metabolites and tissue O<sub>2</sub> content in acute cerebral ischemia. 7th International Symposium on Brain Edema (Baltimore), 1987.
- 119) Kashiwagi, F., Katayama, Y., Shimizu, J., Suzuki, S. and Terashi, A.: [一般講演] Effect of timing and amount of a hyperosmotic agent glycerol on experimental ischemic brain edema and metabolism. 7th International Symposium on Brain Edema (Baltimore), 1987.
- 120) Katayama, Y., Shimizu, J., Suzuki, S., Memezawa, H., Kashiwagi, F., Kamiya, T. and Terashi, A.: [一般講演] Role of platelets as a factor aggravating cerebral ischemia. 7th International Symposium on Brain Edema (Baltimore), 1987.
- 121) 目々澤肇<sup>1)</sup>, 片山泰朗, 杉本繁, 清水純, 鈴木悟, 柏木史彦, 神谷達司, 永積惇, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>倭成病院内科): [一般講演] 高脂肪食の SHRSR における実験的脳虚血発症に及ぼす影響. 第23回高血圧自然発症ラット学会, 1987.
- 122) 立花米一<sup>1)</sup>, 上野邦弘<sup>1)</sup>, 平田俊吉<sup>1)</sup>, 手塚博幸, 赫彰郎 (<sup>1)</sup>目白第二病院内科): [一般講演] 黄疸出血性レプトスピラ病の1例. 第63回多摩医学会, 1987.
- 123) 永島幹夫, 斉藤彰, 福生吉裕, 赫彰郎, 松井南<sup>1)</sup>, 野村信夫<sup>1)</sup>, 石崎良太郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日本獣医畜産大学分子腫瘍研究所): [一般講演] リン酸カルシウム法による WHHL 兔大動脈 DNA の形質転換. 日本動脈硬化学会冬季大会, 1987.

- 124) 福生吉裕, 葉山修陽, 永島幹夫, 小山潤三, 小林陽二, 原一男, 赫彰郎, 玉白龍義<sup>1)</sup>, 瀬田健一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>老人病研究所付属病院): [一般講演] LDL - apheresisにより血中cholesterolの減少を認めたCTXの一症例. 日本動脈硬化学会冬季大会, 1987.
- 125) 小林陽二, 福生吉裕, 赫彰郎, 金川卓郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>田尻ヶ丘病院): [一般講演] 痴呆を伴う脳梗塞後遺症例における血清脂質および血液凝固線溶系の検討; 精神機能と運動機能との関連性についての検討より. 日本動脈硬化学会冬季大会, 1987.
- 126) 小林陽二, 福生吉裕, 岡本栄一, 今津修, 赫彰郎, 金川卓郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>田尻ヶ丘病院): [一般講演] 長期経管栄養法における諸問題点; 血液凝固線溶系の検討. 日本動脈硬化学会冬季大会, 1987.
- 127) 小山潤三, 小林陽二, 福生吉裕, 新井弘一, 神原礼文, 赫彰郎: [一般講演] 多価不飽和脂肪酸とアポ蛋白の関連; 中性脂肪の与える影響についての検討. 日本動脈硬化学会冬季大会, 1987.
- 128) 赫彰郎: [一般講演] 脳血管障害の病態と治療. 第1回栃木県セレポート研究会, 1987.
- 129) 上田哲史, 荒木俊彦, 路川健, 北村伸, 赫彰郎: [一般講演] Emery - Dreifuss 型筋萎縮症の一例. 第103回日本神経学会関東地方会, 1987.
- 130) 加茂力<sup>1)</sup>, 川名加代子<sup>1)</sup>, 清水亨<sup>1)</sup>, 北村伸, 飯尾正明<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>聖マリアンナ医科大学第二内科, <sup>2)</sup>国立療養所中野病院放射線科): [一般講演] ハンチントン舞蹈病の一例; 特に SPECT 及び PET の比較検討. 第103回日本神経学会関東地方会, 1987.
- 131) 永積惇: [一般講演] 脳血管障害の診断と血圧管理について. 第308回臨床談話会, 1987.
- 132) 小林陽二, 福生吉裕, 渋谷敏道, 松村忠, 尾上敏夫, 神原礼文, 赫彰郎, 金川卓郎<sup>1)</sup>, 渡辺均<sup>1)</sup>, 広瀬久昭<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>田尻ヶ丘病院): [一般講演] 低蛋白血症例に対する S.K80 (Sankenlact) の効果に付いての一考察. 第3回日本静脈・経腸栄養研究会, 1988.
- 133) 福生吉裕, 小林陽二, 岩崎正知, 永島幹夫, 松村忠, 斉藤彰, 高橋常文, 神原礼文, 尾上敏夫, 渋谷敏道, 赫彰郎, 瀬田健一<sup>1)</sup>, 新家陽樹<sup>1)</sup>, 前原千鶴<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>老人病付属病院内科, <sup>2)</sup>博慈会記念病院栄養科): [一般講演] 脳血管障害者の再発予防を目的とした経管栄養剤の研究. (第二報) EP.Arach魚油の検討. 第3回日本静脈・経腸栄養研究会, 1988.
- 134) 高橋常文, 福生吉裕, 小林陽二, 加藤仁志, 吉井博, 稲葉治樹, 渋谷敏道, 羽田和正, 村松忠, 岩崎正知, 永島幹夫, 赫彰郎: [一般講演] 魚肉摂取による血中胆汁酸組成への影響について 第II報. 第22回日本成人病学会総会, 1988.
- 135) 鈴木秀徳, 大森容子, 海江田亮, 萩原万里子, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎: [一般講演] サーモグラフィよりみた慢性期脳卒中患者の四肢皮膚温と障害度との関連について. 第22回日本成人病学会総会, 1988.
- 136) 黒木副武, 北浜正, 萩原万里子, 永積惇, 赫彰郎, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京都多摩老人医療センター): [一般講演] 動注DSAによる頭蓋平均循環時間と脳血流量算出について. 第22回日本成人病学会総会, 1988.
- 137) 海江田亮, 北浜正, 李勝彦, 鈴木秀徳, 萩原万里子, 永積惇, 赫彰郎, 伊與田浩介<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>博慈会記念病院): [一般講演] MRIにおける脳室周囲高信号領域の検討. 第22回日本成人病学会総会, 1988.
- 138) 河辺満彦, 栗原怜<sup>1)</sup>, 米島秀夫<sup>1)</sup>, 那須亮一<sup>2)</sup>, 木村祥一郎<sup>2)</sup>, 秋葉隆<sup>3)</sup>, 葉山修陽, 矢部啓夫<sup>4)</sup>, 中川智之<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>春日部秀和病院腎内科, <sup>2)</sup>同放射線科, <sup>3)</sup>東京医科歯科大学第2内科, <sup>4)</sup>慶応義塾大学整形外科): [一般講演] 骨量ファントム使用 Quantative computed tomography (QCT) による成人健常者の腰椎骨塩含量について. 第22回日本成人病学会総会, 1988.
- 139) 稲村憲治, 赫彰郎, Martins, E. <sup>1)</sup>, Siesjö, B.K. <sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Lund University): [一般講演] 脳虚血後の Hippocampus CA1 病変におけるCa蓄積; Calcium mediated cell damageの証明. 第6回 Cytoprotection 研究会, 1988.
- 140) 萩原万里子, 李勝彦, 海江田亮, 北浜正, 永積惇, 赫彰郎, 池田祐司<sup>1)</sup>, 瀬田健一<sup>1)</sup>, 伊與田浩介<sup>1)</sup>



(<sup>1</sup>博慈会記念病院内科) : [一般講演] 脳血管性痴呆のMRI; 部位による臨床的検討. 第13回日本脳卒中学会総会, 1988.

141) 柏木史彦, 片山泰朗, 清水純, 神谷達司, 飯田恵, 於保倫之助, 五十嵐博中, 赫彰郎 : [一般講演] EPA (eicosapentaenoic acid) 長期経口投与の実験的脳虚血に及ぼす効果; SHRSPにての検討. 第13回日本脳卒中学会総会, 1988.

142) 黒木副武, 北浜正, 萩原万里子, 永積惇, 赫彰郎, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup> (<sup>1</sup>東京都多摩老人医療センター) : [一般講演] 動注 DSA による頭蓋平均循環時間と頸部血流量の関係について. 第13回日本脳卒中学会総会, 1988.

143) 稲村憲治, 赫彰郎, Smith, M.L.<sup>1)</sup>, Siesjö, B.K. (<sup>1</sup>Lund University) : [特別講演] 高血糖ラットにおける虚血性脳障害. (第一報) Substantia nigra における血流およびエネルギー代謝. 第13回日本脳卒中学会総会, 1988.

144) 飯田正美, 荒木俊彦, 保津豊徳<sup>1)</sup>, 千葉隆胤, 小島直志, 重田俊一, 手塚博幸, 宮崎徳蔵<sup>1)</sup>, 赫彰郎 (<sup>1</sup>東京都多摩老人医療センター) : [一般講演] 基底核梗塞症の脳循環動態; 再発例の検討. 第13回日本脳卒中学会総会, 1988.

145) 赫彰郎, 桂研一郎, 片山泰朗, 清水純, 永積惇, 南澤宏明 : [一般講演] 脳梗塞および脳出血患者血漿ロイコトリエンC<sub>4</sub>, B<sub>4</sub>, SRS-A の経時的变化の検討. 第85回日本内科学会総会, 1988.

146) 大山雅史, 若林良則, 北村伸, 手塚博幸, 赫彰郎 : [一般講演] Carmofur脳症の1例; 特に脳循環代謝所見について. 第104回日本神経学会関東地方会, 1988.

147) 小林陽二, 福生吉裕, 赫彰郎, 金川卓郎<sup>1)</sup> (<sup>1</sup>田尻ヶ丘病院) : [一般講演] 痴呆を伴う脳梗塞後遺症例における血清脂質および血液凝固線溶系についての考察; 精神機能と運動機能との関連性についての検討より. 第13回日本脳卒中学会総会, 1988.

## [第一病院理学診療科]

### 研究概要

本年度も昨年に引き続き二つの大きな流れのもとに研究はなされた.

その一つは運動器の疼痛の臨床医学的研究として腰痛, 頸肩腕症候群, 肩こり, 振動障害などの理学療法の効果について特に発症初期の集中的な施行の有効なことは論をまたないが, 初期にかかり理学診療を実施しえなかった症例に対しても, 初期治療と同様に短期間の外来的な集中治療とともに日常生活の指導をふくめた木目細かい対応により十分効果が期待できることを報告している. 昨年度第22回日本医学会総会において『腰痛とその対策』なるシンポジウムがもたれ, その司会の責を果たしたがその総括として各演者の論文をまとめ, かつ腰痛の総説を第22回日本医学会総会会誌にまとめ, さらに腰痛の理学療法, 診断法などについて報告している.

他の流れは吉野助教授を中心とする関節研究グループで関節リウマチを中心とする基礎的, 臨床的研究である膝関節を主体とする人工関節への取り組み, 正座可能な人工関節の開発, 手術術式の改善, 合併症の検討などその業績は単に本邦のみならず諸外国でも成績の良い点について高い評価を受けている. 人工関節に関しては股関節ではほぼ完成の域に達しており, われわれは肩関節, 肘関節, 手指関節, 足関節についてもその経験を積み, みるべき成績をあげている. 今後この方面についても一定した成績を期待できるものと思う.

### 研究業績

#### 論文

1) 石田肇 : [総説] 腰痛・肩凝り・五十肩. 医と薬学, 17, 915~919, 1987.

2) 小野恵都子, 吉野慎一, 沢崎康順, 中村洋 : [原著] 関節リウマチの後足部変形について. 整炎外, 30, 653~656,

1987.

- 3) Yoshino, S., Shoji, H. and Komaamine, M. [原著] Improved range of motion with the Y/S total knee arthroplasty system. Clin. Orthop., 218, 150~163, 1987.
- 4) 吉野慎一, 中村洋, 鈴木昇: [原著] 選択的動脈造影を施行した急速破壊型股関節症の1症例. 整災外, 30, 535~538, 1987.
- 5) 石田肇: [総説] 腰痛の治療. 臨と研, 61, 181~185, 1987.
- 6) Ishida, H.: [総説] Lower back pain and its treatment. Asian Medical Journal, 30, 432~436, 1987.
- 7) 藤森十郎, 吉野慎一, 川島健, 沢崎康順, 黄田道信, 飯盛仁志: [原著] RA 股の Protrusio Acetabuli に対する人工股関節置換術; 臼蓋底骨移植術の成績と手術法に対する考察を中心に. 整形外科, 38, p.1423~1429, 1987.
- 8) 藤森十郎, 吉野慎一, 森重登志雄, 岸本真, 鈴木昇, 大場英己: [報告] 慢性関節リウマチ経過中に SLE と Sjögren 症候群, さらに Crohn 病を併発した一例. リウマチ, 27, 294~300, 1987.
- 9) 藤森十郎, 吉野慎一, 川島健, 沢崎康順, 鎌田利一, 岸本真, 志賀弘朗: [原著] 変形性膝関節症に対する人工関節置換術の臨床成績. 整災外, 30, 1693~1700, 1987.
- 10) 石田肇: [総説] 腰痛症の診断と理学療法 (特集: 腰痛の総合管理). 総合臨, 36, 2502~2506, 1987.
- 11) 石田肇: [総説] むち打ち (愁訴への対応: 整形外科領域). 現代医療, 20, 509~512, 1988.
- 12) 石田肇, 松野誠夫: [総説] シンポジウム腰痛とその対策. 第22回日本医学会総会誌 [1], p.295~302, 1988.
- 13) 石田肇: [総説] 慢性関節リウマチ (特集: 老年医学の最近のトピックス II). Geriatric Medicine, 26, 2173, 1988.
- 14) 石田肇: [総説] 腰痛の理学療法. 日本医師会誌, 99, 437~443, 1988.
- 15) 川島健: [原著] Effect of Bromhexine on Sjögren's syndrome accompanied by rheumatoid arthritis. 日医大誌, 55, 191~200, 1988.

## 著 書

- 1) 吉野慎一: [編集] リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患. 医歯薬出版, 1988.
- 2) 吉野慎一: [分担] 「リウマチ」とは. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野慎一編), 医歯薬出版, p.1~5, 1988.
- 3) 吉野慎一: [分担] 関節の構造と機能. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野慎一編), 医歯薬出版, p.6~9, 1988.
- 4) 藤森十郎: [分担] 関節リウマチ. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野慎一編), 医歯薬出版, p.10~31, 1988.
- 5) 川島健: [分担] 変形性膝関節症. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野慎一編), 医歯薬出版, p.32~52, 1988.
- 6) 鎌田利一: [分担] 強直性脊椎炎. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野慎一編), 医歯薬出版, p.53~57, 1988.
- 7) 鎌田利一: [分担] ライター症候群. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野慎一編), 医歯薬出版, p.58~59, 1988.
- 8) 鎌田利一: [分担] 乾癬性関節炎. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野慎一編), 医歯薬出版, p.60~62, 1988.
- 9) 鎌田利一: [分担] 慢性炎症性腸疾患に関連する関節炎. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野慎一編), 医歯薬出版, p.63~64, 1988.
- 10) 沢崎康順: [分担] 神経病性関節症. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉

- 野槇一編), 医歯薬出版, p.65~70, 1988.
- 11) 川島健: [分担] 痛風. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野槇一編), 医歯薬出版, p.71~82, 1988.
  - 12) 岸本真: [分担] 化膿性関節炎. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野槇一編), 医歯薬出版, p.83~88, 1988.
  - 13) 志賀弘朗: [分担] 骨・関節結核. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野槇一編), 医歯薬出版, p.89~93, 1988.
  - 14) 飯盛仁志: [分担] ベーチェット症候群. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野槇一編), 医歯薬出版, p.94~99, 1988.
  - 15) 沢崎康順: [分担] オクロノシス (組織黒変症). “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野槇一編), 医歯薬出版, p.100~102, 1988.
  - 16) 沢崎康順: [分担] 肥大性骨関節症. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野槇一編), 医歯薬出版, p.103~105, 1988.
  - 17) 沢崎康順: [分担] 末端肥大症. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野槇一編), 医歯薬出版, p.106~108, 1988.
  - 18) 小岩政仁: [分担] 関節疾患と運動療法. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野槇一編), 医歯薬出版, p.109~124, 1988.
  - 19) 梶野明英: [分担] 人工関節. “リハビリテーション医学講座 15 関節リウマチとその近縁疾患” (吉野槇一編), 医歯薬出版, p.125~141, 1988.
  - 20) 藤森十郎: [分担] 変形性膝関節炎. “今日の治療指針 第2版” (日野原重明, 阿部正和総編集), p.1263~1264. 医学書院, 1988.

#### 学会発表

- 1) 藤森十郎, 吉野槇一, 川島健, 沢崎康順, 志賀弘朗, 大久保哲行: [一般講演] 変形性膝関節症に対する人工関節置換. 第60回日本整形外科学会学術集会, 1987.
- 2) 小林辰次<sup>1)</sup>, 杉井吉彦<sup>1)</sup>, 今井卓夫<sup>1)</sup>, 中村洋, 司馬正邦<sup>1)</sup>, 林光俊<sup>2)</sup>: (<sup>1)</sup>武蔵野赤十字病院整形外科, <sup>2)</sup>杏林大整形外科): [報告] 足指の壊疽に続発したMultiple organ failure (MOF, 複合臓器不全) の2症例. 第503回整形外科集談会東京地方会, 1987.
- 3) 吉野槇一, 川島健, 沢崎康順, 鎌田利一, 志賀弘朗: [一般講演] ヘパーデン結節患者の合併症について. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987.
- 4) 志賀弘朗, 藤森十郎, 鎌田利一, 飯盛仁志, 吉野槇一: [一般講演] RA患者にみられたD-penicillamineとよるとされる再生不良性貧血の一例. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987.
- 5) 藤森十郎, 吉野槇一, 川島健, 岸本真, 大久保哲行: [一般講演] RA患者にみられた重症筋無力症の4例. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987.
- 6) 川島健, 吉野槇一, 藤森十郎, 瀧康紀, 大久保哲行, 吉川達祐, 生沢秀男<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>生沢義肢製作所): [一般講演] RAの環軸関節前方亜脱臼に対する頸椎装具の考案. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987.
- 7) 伊藤勝巳<sup>1)</sup>, 内田詔爾<sup>1)</sup>, 西野仁樹<sup>1)</sup>, 小岩政仁 (<sup>1)</sup>東京都立墨東病院リウマチ科): [一般講演] 慢性関節リウマチに対するD-ペニシラミン療法著効例の検討. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987.
- 8) 小岩政仁, 内田詔爾<sup>1)</sup>, 伊藤勝巳<sup>1)</sup>, 西野仁樹<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京都立墨東病院リウマチ科): [一般講演] RA頸椎の実態調査. 第3報 第31回日本リウマチ学会総会, 1987.

- 9) 西野仁樹<sup>1)</sup>, 内田詔爾<sup>1)</sup>, 伊藤勝巳<sup>1)</sup>, 小岩政仁 ( <sup>1)</sup>東京都立墨東病院リウマチ科 ) : [一般講演] 慢性関節リウマチにおけるロベンザリット (CCA) ・金製剤併用療法; Preliminary Study. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987.
- 10) 内田詔爾<sup>1)</sup>, 伊藤勝巳<sup>1)</sup>, 西野仁樹<sup>1)</sup>, 小岩政仁, 梶野明英 ( <sup>1)</sup>東京都立墨東病院リウマチ科 ) : [一般講演] 関節炎の細胞性免疫の研究. 第1報 末梢血および関節液のリンパ球サブセットの解析. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987.
- 11) 内田詔爾<sup>1)</sup>, 伊藤勝巳<sup>1)</sup>, 西野仁樹<sup>1)</sup>, 小岩政仁, 梶野明英, 沢井高志<sup>2)</sup>, 京極方久<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>東京都立墨東病院リウマチ科, <sup>2)</sup>東北大学第1病理 ) : [一般講演] 間接炎の細胞性免疫の研究・第2報 末梢血および関節液のリンパ球サブセットとStageの相関について. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987.
- 12) 川島健, 吉野慎一, 藤森十郎, 瀧康紀, 大久保哲郁行, 吉川達裕, 生沢秀男 : [一般講演] RA の還軸関節前方亜脱臼に対する頸椎装具の考案. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987.
- 13) Kawashima,K., Yoshino,S., Taki,Y., Ohkubo,T. and Yodhikawa,T. : [展示] Cervical collars in rheumatoid atlanto-axial subluxation. 11th European Congress of Rheumatology, 1987.
- 14) Shoji,H., D'Ambrosia,R., Dabezies,E. and Yoshino,S. : [展示] Influential factors for better flexion after total knee arthroplasty. 第51回アメリカリウマチ学会総会, 1987.
- 15) Yoshinp,S. [シンポジウム] Postoperative results of Y/S total knee system. 国際人工関節シンポジウム, 1987.
- 16) Yoshino,S., Komagamine,M. and Shoji,H. : [一般講演] Full squatting following total knee replacement in rheumatoid arthritis. 第17回国際整形災害外科学会, 1987.
- 17) 内田詔爾<sup>1)</sup>, 伊藤勝巳<sup>1)</sup>, 西野仁樹<sup>1)</sup>, 小岩政仁, 梶野明英 ( <sup>1)</sup>東京都立墨東病院リウマチ科 ) : [一般講演] RA 滑液のリンパ球サブセットについて. 第2回日本整形外科学会基礎学術集会, 1987.
- 18) 杉井吉彦<sup>1)</sup>, 今井卓夫<sup>1)</sup>, 佐藤茂<sup>1)</sup>, 中村洋, 司馬正邦<sup>1)</sup>, 篠田瑞穂<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>武蔵野赤十字病院整形外科, <sup>2)</sup>関東通信病院整形外科 ) : [一般講演] 転移性脊椎腫瘍による脊髄麻痺の治療経験; 後方除圧, 固定の意義. 第36回東日本臨床整形外科学会, 1987.
- 19) 中村洋, 小林辰次<sup>1)</sup>, 池川志郎<sup>1)</sup>, 杉井吉彦<sup>1)</sup>, 今井卓夫<sup>1)</sup>, 司馬正邦<sup>1)</sup>, 安岡正三<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>武蔵野赤十字病院整形外科, <sup>2)</sup>安岡整形外科脳外科 ) : [報告] Von Recklinghausen 病に合併した低磷血症性骨軟化症の一例. 第15回関東整形災害外科学会, 1987.
- 20) 鎌田利一, 岸本真, 吉野慎一, 飯盛仁志, 黄田道信, 東海林宏<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>ルイジアナ州立大学整形外科 ) : [一般講演] 人工膝関節の荷重屈曲時における運動学的解析. 第15回日本リウマチ関節外科学会, 1987.
- 21) 黄田道信, 内田詔爾<sup>1)</sup>, 伊藤勝巳<sup>1)</sup>, 西野仁樹<sup>1)</sup>, 小岩政仁 ( <sup>1)</sup>東京都立墨東病院リウマチ科 ) : [一般講演] 破壊高度なRA膝における十字靱帯の肉眼的及び病理学的所見の検討について. 第15回日本リウマチ関節外科学会, 1987.
- 22) 小岩政仁, 内田詔爾<sup>1)</sup>, 伊藤勝巳<sup>1)</sup>, 西野仁樹<sup>1)</sup>, 黄田道信 ( <sup>1)</sup>東京都立墨東病院リウマチ科 ) : [一般講演] RA 頸椎の環軸椎癒合例の検討. 第15日本リウマチ関節外科学会, 1987.
- 23) 梶野明英, 古沢清吉<sup>1)</sup>, 内田毅<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>湯河原厚生年金病院整形外科 ) : [一般講演] 股関節病変を合併した掌蹠膿疱症の1例. 第15回日本リウマチ関節外科学会, 1987.
- 24) 川島健, 鈴木昇, 大久保哲行, 吉野慎一, 永井俊, 田中幹夫, 吉川達祐 : [一般講演] Piperacillin の骨組織内濃度に関する検討. 第34回日本価額療法学会東日本支部総会, 1987.
- 25) Shoji,H. and Yoshino,S. [ポスター] Factors influencing range of motion in total knee arthroplasty. 第55回アメリカ整形外科学会, 1988.

- 26) Shoji,H. and Yoshino,S. [一般講演] Influential factors for better range of motion in total knee arthroplasty. 第55回アメリカ整形外科学会, 1988.

### 3. 第三内科学講座

#### 〔付属病院第3内科〕

##### 研究概要

消化器病学, 血液学および内分泌学の三領域を中心に, 主として下記の基礎的ならびに臨床的研究を行った。

消化器病学については, ①食道静脈瘤, 潰瘍性大腸炎, 大腸ポリープなどにおける電子内視鏡の診断的意義, ②消化性潰瘍における十二指腸胃逆流と胃排泄能, ③消化性潰瘍の薬物療法, ④門脈圧亢進症における血行動態と上部消化管病変, ⑤内視鏡的食道静脈瘤硬化療法, ⑥脂肪肝の腹腔鏡的観察, ⑦経内頸静脈的肝生検法の改良など, 臨床に主眼を置いた研究を継続した。

血液学について臨床面では, ①急性白血病的化学療法の改善, ②慢性骨髓増殖症候群に対するインターフェロンの臨床的有用性, ③骨髓異形成症候群の予後判定因子解析, ④肝硬変の血球減少機序解明などを研究テーマにとりあげ, さらに特発性血小板減少性紫斑病, 再生不良性貧血, 骨髓異形成症候群などの治療ならびに病態に関する多施設共同研究に参加した。基礎的研究としては, ⑤特発性血小板減少性紫斑病における巨核球前駆細胞のキネティクス, ⑥巨核球産生刺激因子の精製, ⑦ヒト遺伝子組換えG-CSFの白血病細胞に及ぼすin vitro効果, ⑧培養細胞の電顕的観察法, ⑨造血器腫瘍細胞株樹立などの成果を紙上または学会において発表した。

内分泌学については, ①テストステロンは視床下部ソマトスタチン(SS)分泌の量とリズムを規定する因子であることを明らかにし, ②ACTH放出因子(CRF)の摂食抑制作用はSSにより解除されることを見出し, それぞれ報告した。現在進行中の研究課題には, ③monosodium glutamateによる成長ホルモン(GH)分泌障害, ④SSによるGH-RHの分泌調節, ⑤インスリン様成長因子のGH分泌調節における意義, ⑥TRHの中樞作用とGABA受容体の関係などがあり, その他, 先端肥大症, Kallman症候群および特発性下垂体性小人症の治療に関する多施設共同研究に継続参加した。

##### 研究業績

##### 論文

- 1) 服部慎:〔原著〕ストレス潰瘍発生に対するCorticotropin-Releasing Factorの中樞効果. 日医大誌, 54, 245~250, 1987.
- 2) 田口克司:〔原著〕アルコール障害肝における類洞変化;特にフィブロネクチンの産生と血管増生の関連について. 肝臓, 28, 439~446, 1987.
- 3) 平塚秀雄:〔原著〕「ワカモト便秘薬」の臨床的評価. 基礎と臨, 21, 2691~2701, 1987.
- 4) Shimoyama, M.<sup>1)</sup>, Abe, T.<sup>2)</sup>, Miyamoto, K.<sup>2)</sup>, Minato, K.<sup>1)</sup>, Tobinai, K.<sup>1)</sup>, Nagoshi, H.<sup>3)</sup>, Matunaga, M., Nomura, T., Tsubota, T.<sup>4)</sup>, Ohnoshi, T.<sup>4)</sup>, Kimura, I.<sup>4)</sup> and Suemasu, K.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>National Cancer Center, <sup>2)</sup>Kyoto Prefectural University of Medicine, <sup>3)</sup>Jikei Medical College, <sup>4)</sup>Okayama University):〔原著〕Chromosome aberrations and clinical features of adult T cell leukemia virus type I. Blood, 69, 984~989, 1987.
- 5) 浦部晶夫<sup>1)</sup>, 高久史磨<sup>1)</sup>, 前川正<sup>2)</sup>, 岩田展明<sup>2)</sup>, 宮脇修一<sup>2)</sup>, 三浦恭定<sup>3)</sup>, 佐々木龍平<sup>3)</sup>, 北川誠一<sup>3)</sup>, 溝口秀昭<sup>4)</sup>, 星野茂<sup>4)</sup>, 野村武夫, 森真由美<sup>5)</sup>, 山口潜<sup>6)</sup>, 武藤良知<sup>6)</sup>, 高谷治<sup>7)</sup>, 佐藤典治<sup>7)</sup>, 衣笠恵士<sup>8)</sup>, 足立山夫<sup>8)</sup>, 若林芳久<sup>9)</sup>, 平嶋邦猛<sup>10)</sup>, 福田正高<sup>10)</sup>, 島田馨<sup>11)</sup>, 浅野茂隆<sup>11)</sup>, 青木延雄<sup>12)</sup> (<sup>1)</sup>東大3内, <sup>2)</sup>群大3内, <sup>3)</sup>自治医大血液科, <sup>4)</sup>東京女子医大内科, <sup>5)</sup>都老人医療センター血液内科, <sup>6)</sup>虎の門病院血液科, <sup>7)</sup>防衛医大3内, <sup>8)</sup>都立墨東病院内科, <sup>9)</sup>順天堂大内科, <sup>10)</sup>埼玉医大1内, <sup>11)</sup>東大医科研内科, <sup>12)</sup>東京医歯大1内):〔原著〕血液疾患に伴う顆粒球減少時の感染症に対するCefmetazole (CMZ)の臨床的效果;多施設共同研究. 臨血, 28, 524~528, 1987.

- 6) 浦部晶夫<sup>1)</sup>, 高久史磨<sup>1)</sup>, 北川誠一<sup>2)</sup>, 三浦恭定<sup>2)</sup>, 檀和夫, 野村武夫, 増田道彦<sup>3)</sup>, 溝口秀昭<sup>3)</sup>, 矢野尊啓<sup>4)</sup>, 外山圭助<sup>4)</sup>, 浦山京子<sup>5)</sup>, 稲松孝思<sup>5)</sup>, 島田馨<sup>6)</sup>, 岩田展明<sup>7)</sup>, 小峰光博<sup>7)</sup> (<sup>1)</sup>東大3内, <sup>2)</sup>自治医大血液科, <sup>3)</sup>東京女子医大内科, <sup>4)</sup>慶応大内科, <sup>5)</sup>都老人医療センター感染症科, <sup>6)</sup>東大医科研内科, <sup>7)</sup>群大3内): [原著] 血液疾患に合併した重症感染症に対するCalvulanic acid/Ticarcillinの効果. Jpn. J. Antibiotics, 40, 749~758, 1987.
- 7) 常岡健二, 渡辺昂, 他: [原著] 急性胃炎および慢性胃炎の急性増悪に対するSofalconeの治療効果; 内視鏡評価を中心としたCetraxateとの多施設二重盲検比較試験. 臨成人病, 17, 681~700, 1987.
- 8) 平塚秀雄: [総説] 便通異常外来と大腸癌検診センター (特集: 医療の新メニュー). 病院, 46, 562~563, 1987.
- 9) 野村武夫: [総説] ITP; 診断と治療の進歩 (特集: 止血と血栓; 病態と治療の進歩). カレントセラピー, 5, 853~857, 1987.
- 10) Takaku, F.<sup>1)</sup>, Urabe, A.<sup>1)</sup>, Mizoguchi, H.<sup>2)</sup>, Hoshino, S.<sup>2)</sup>, Toyama, K.<sup>3)</sup>, Tanaka, K.<sup>3)</sup>, Nomura, T., Dan, K., Fujioka, S.<sup>4)</sup>, Saito, T.<sup>4)</sup>, Ogawa, T.<sup>5)</sup>, Mutoh, Y.<sup>6)</sup> and Yamaguchi, H.<sup>6)</sup>, (<sup>1)</sup>University of Tokyo, <sup>2)</sup>Tokyo Women's Medical College, <sup>3)</sup>Tokyo Medical College, <sup>4)</sup>Mitsui Memorial Hospital, <sup>5)</sup>Keio University, <sup>6)</sup>Toranomon Hospital): [原著] High-dose cytosine arabinoside in the consolidation therapy of acute nonlymphocytic leukemia in remission. Sem. Oncol., 14, 55~57, 1987.
- 11) 白尾国昭: [原著] ラフト脊髄小脳路の脊髄および下部延髄における経路; 逆行性軸索流法による研究. 日医大誌, 54, 301~313, 1987.
- 12) 佐々木坦: [原著] 上部消化管出血に対する内視鏡下凝固因子噴霧の止血効果. 日医大誌, 54, 324~332, 1987.
- 13) 山門進, 玉川恭士, 田口文彦, 岸田輝幸, 大沢勉, 吉田豊, 渡辺昂, 小林正文: [臨床研究] 潰瘍性大腸炎の電子内視鏡診断. 日臨, 45, 1277~1283, 1987.
- 14) 野村武夫: [総説] 特発性血小板減少性紫斑病 (特集: 慢性疾患の薬物療法と指導・管理). 医学と薬学, 17, 1441~1448, 1987.
- 15) 大橋和史, 阿曾亮子: [原著] 薬剤による尿路障害. 臨泌, 41, 457~468, 1987.
- 16) 平塚秀雄, 他: [原著] 糞便中ヒトヘモグロビン検出用試薬「ヘモレックス」の検討. Progress in Medicine, 7, 1235~1239, 1987.
- 17) Shimada, T.<sup>1)</sup>, Inokuchi, K. and Nienhuis, A.W.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>NIH): [原著] Site-specific demethylation and normal chromatin structure of the human dihydrofolate reductase gene promoter after transfection into CHO cells. Mole. Cell. Biol., 7, 2830~2837, 1987.
- 18) 平塚秀雄, 名尾良憲<sup>1)</sup>, 他 (<sup>1)</sup>三楽病院): [原著] 胃炎に対するEa-0671 (テブレノン) の臨床評価. 臨成人病, 17, 1453~1462, 1987.
- 19) 野村武夫: [総説] 急性白血病 (特集: Emergencyへの対応). 内科, 60, 590~593, 1987.
- 20) 小林正文: [総説] 消化性潰瘍の薬物療法. 埼玉医会誌, 22, 83~88, 1987.
- 21) 井上剛輔<sup>1)</sup>, 永井俊彦<sup>1)</sup>, 鳥羽研二<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>東京都多摩老人医療センター, <sup>2)</sup>東京大学老年病): [総説] 尿酸性化能試験. 日臨, 45 (夏季増刊号), 1127~1136, 1987.
- 22) Kuriya, S., Kwak, J., Tajika, K., Minoda, Y., Nomura, T. and Murphy, M.J., Jr.: [原著] Cloning of murine megakaryocyte progenitor cells in a fibrin clot culture system. Exp. Hematol., 15, 896~901, 1987.
- 23) Kuriya, S., Kamamoto, T. and Murphy, M.J., Jr.: [原著] Effects of urinary extracts from patients with idiopathic thrombocytopenic purpura or aplastic anemia on rodent platelet production and megakaryocytopoiesis. Exp. Cell Biol., 55, 257~264, 1987.
- 24) 野村武夫: [総説] 経口鉄療法とお茶. 内科, 60, 680, 1987.

- 25) 野村武夫：〔総説〕薬剤性血液障害の最近の動向（特集：薬剤と血液障害）。臨床と薬物治療，6，586～589，1987.
- 26) 野村武夫：〔総説〕特発性血小板減少性紫斑病の治療薬（特集：これだけは知っておきたい薬の使い方）。Medicina，24，2200～2201，1987.
- 27) 小林正文：〔総説〕腸リンパ管拡張症の薬物治療，栄養法。Medicina，24，2079，1987.
- 28) 内田隆也：〔総説〕胃ポリプ切除術。手術，4，1477～1491，1987.
- 29) 大橋和史，阿曾亮子，大道浩子：〔原著〕薬物相互作用。クリニカルファーマシー，11，32～38，1987.
- 30) 金谷通：〔原著〕*Vibrio cholerae* non O-1に関する生能学的研究；水系環境における*Vibrio cholerae* O-1との比較。日医大誌，54，519～527，1987.
- 31) 鈴木繁：〔原著〕血清中の蛋白分画（Albuminと $\gamma$ -Globulin）と血清総蛋白濃度間に存在する平衡関係のモデル化と，その肝機能障害時の変動に及ぼす要因の検討。日医大誌，54，528～539，1987.
- 32) 平塚秀雄：〔原著〕消化管運動賦活調整剤 Cisapride の常習便秘に対する使用経験。新療と新薬，24，115～123，1987.
- 33) 平塚秀雄，名尾良憲<sup>1)</sup>，他（<sup>1)</sup>三楽病院）：〔原著〕胃潰瘍におけるTG-51の用量設定試験；多施設二重盲検法による適正用量の検討。薬理と治療，15，4157～4168，1987.
- 34) 会田大義，瀬底正彦，川上明彦，村岡恒良，香取利一，林伸幸，宮田邦久，小林正文，野村武夫：〔原著〕逆流性食道炎治療に用いられる薬剤の効果と限界。消化器科，7，381～387，1987.
- 35) 会田大義，瀬底正彦，他：〔総説〕逆流性食道炎。Medical Practice，10，1692～1998，1987.
- 36) 俵里英子：〔研究〕消化器疾患の心身医学的アプローチ。Medical Practice，10，1678～1682，1987.
- 37) 野村武夫：〔総説〕白血球数の正常値。内科，60，840，1987.
- 38) 平塚秀雄，他：〔総説〕消化器末期癌のターミナルケア。臨成人病，17，1641～1646，1987.
- 39) 厨信一郎：〔総説〕急性白血病のFAB分類。臨検，31，1324～1325，1987.
- 40) 中井義勝<sup>1)</sup>，若林一二，他（LH-RH治療研究会）（<sup>1)</sup>京都大学第二内科）：〔論文〕Luteinizing hormone-releasing hormone (LH-RH)による視床下部性性腺機能障害者の治療に関する研究。ホルモンと臨床，35，595～610，1987.
- 41) 平塚秀雄，他：〔総説〕最近の進歩を含めた薬物療法の実際，慢性便秘。Medical Practice，10，1632～1628，1987.
- 42) 金沢秀典，多田教彦，松坂聡，宮田邦久，黒田肇，小林正文：〔原著〕経内頸静脈的肝生検の経験。日消病会誌，84，2419，1987.
- 43) 小林正文：〔総説〕防御因子増強剤。Medicament News，1205号，6～8，1987.
- 44) Maekawa, T.<sup>1)</sup>, Miura, T.<sup>2)</sup>, Takaku, F.<sup>3)</sup>, Fujioka, S.<sup>4)</sup>, Kawato, M.<sup>5)</sup>, Adachi, Y.<sup>6)</sup>, Miura, Y.<sup>7)</sup>, Mizoguchi, H.<sup>8)</sup>, Nomura, T., Ohhashi, T.<sup>3)</sup>, Onozawa, Y.<sup>9)</sup>, Shishido, H.<sup>10)</sup> and Toyama, K.<sup>11)</sup> (<sup>1)</sup>Gunma University, <sup>2)</sup>Akita University, <sup>3)</sup>Tokyo University, <sup>4)</sup>Mitui Memorial Hospital, <sup>5)</sup>National Tokyo Second Hospital, <sup>6)</sup>Tokyo Metropolitan Bokuto Hospital, <sup>7)</sup>Jichi Medical College, <sup>8)</sup>Tokyo Women's Medical College, <sup>9)</sup>Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, <sup>10)</sup>Dokkyo Medical College, <sup>11)</sup>Tokyo Medical College) : 〔原著〕Effect of levamisole on the duration of first remission and survival in adult patients with acute leukemia. Acta Therapeutica, 13, 425～437, 1987.
- 45) 岡田憲明，末岡伸夫，長谷川修，田近賢二，田辺義博，林伸幸，会田大義，平川恒久，瀬底正彦，渡辺昂，小林正文，野村武夫：〔病例報告〕急性アルコール性食道炎の1例。消内視鏡の進歩，31，240，1987.
- 46) 末岡伸夫，岩切勝彦，青木正明，林伸幸，大木一郎，香川隆男，吉田豊，瀬底正彦，平川恒久，小林正文，渡辺昂，野村武夫：〔研究報告〕電子内視鏡の胃病変観察における有用性。消内視鏡の進歩，31，101～104，1987.
- 47) 渡淳，宮田邦久，山田益弘，多田教彦，松坂聡，金沢秀典，佐々木坦，瀬底正彦，渡辺昂，小林正文，野村武夫：〔研究報告〕食道静脈瘤内圧測定を試み。消内視鏡の進歩，31，67～69，1987.



- 48) 平塚秀雄：〔総説〕消化器診療の進歩と問題点；胃潰瘍の再発．消内視鏡の進歩，31，14～16，1987.
- 49) 高久史磨<sup>1)</sup>，毛利昇<sup>2)</sup>，下山正徳<sup>3)</sup>，小川一誠<sup>4)</sup>，野村武夫（<sup>1)</sup>東大3内，<sup>2)</sup>東大病理，<sup>3)</sup>国立がんセンター薬物療法部，<sup>4)</sup>癌研化学療法科）：〔総説〕悪性リンパ腫．内科，60，1315～1331，1987.
- 50) Hiratsuka H., et al. : 〔総説〕Endoscopic radical treatment for early gastric cancer. "Recent Topics of Digestive Endoscopy", p.314～324, Excerpta Medica, Amsterdam 1987.
- 51) 岡田憲明，末岡伸夫，長谷川修，田近賢二，田辺義博，林伸幸，会田大義，平川恒久，瀬底正彦，渡辺昂，小林正文，野村武夫：〔症例〕急性アルコール性食道炎の1例．消内視鏡の進歩，31，240～242，1987.
- 52) Ohashi,K., Aso,R. and Suzuki,K : 〔原著〕Is the bioavailability of famotidine reduced by an antacid? Jpn. J. Clin. Pharmacol. Ther., 18, 589～593, 1987.
- 53) 浦部晶夫<sup>1)</sup>，高久史磨<sup>1)</sup>，溝口秀昭<sup>2)</sup>，増田道彦<sup>2)</sup>，野村武夫，厨信一郎，戸川敦<sup>3)</sup>，天野正道<sup>3)</sup>，藤岡成徳<sup>4)</sup>，斉藤恒博<sup>4)</sup>，三谷絹子<sup>4)</sup>，山口潜<sup>5)</sup>，武藤良和<sup>6)</sup>（<sup>1)</sup>東大3内，<sup>2)</sup>東京女子医大内科，<sup>3)</sup>国立病院医療センター内科，<sup>4)</sup>三井記念病院血液内科，<sup>5)</sup>虎の門病院血液科）：〔原著〕各種血液疾患に伴う真菌症および抗生剤に反応しない発熱患者に対するミコナゾールの効果．日化療会誌，36，19～24，1988.
- 54) Akira,S., Wakabayashi,I., Sugihara,H., Minami,S., Takahashi,F. and Motoyama,A. (<sup>1)</sup>Dept. Obstet. Gynecol.) : 〔論文〕Effect of testosterone on growth hormone secretion in female rats during a continuous infusion of growth hormone releasing factor. Neuroendocrinology, 47, 116～124, 1988.
- 55) 瀬底正彦：〔報告〕最近経験した胃アニサキス症の3例．東京内科医会誌，4，86～88，1988.
- 56) 高橋文恵：〔原著〕成人におけるGRF負荷試験の臨床的意義；インスリン低血糖試験，L-dopa負荷試験との比較．日医大誌，55，23～28，1988.
- 57) 野村武夫，前川正<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>群馬大）：〔原著〕特発性血小板減少性紫斑病の治療に関する多施設共同プロスペクティブ研究（中間報告 その4）．厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班昭和62年度研究業績報告書，p.184～185，1988.
- 58) 野村武夫，五味聖二，前川正<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>群馬大）：〔原著〕特発性血小板減少性紫斑病におけるPA IgGの意義に関する多施設共同研究．厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班昭和62年度研究業績報告書，p.186～187，1988.
- 59) 野村武夫，前川正<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>群馬大）：〔原著〕特発性血小板減少性紫斑病のピンカアルカロイド緩速点滴静注療法に関する多施設共同パイロット研究．厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班昭和62年度研究業績報告書，p.188～189，1988.
- 60) 野村武夫，檀和夫，五味聖二：〔原著〕特発性血小板減少性紫斑病の骨髓巨核球キネティクスに関する研究．厚生省特定疾患特発性造血障害調査研究班昭和62年度研究業績報告書，p.198～199，1988.
- 61) 竹本忠良<sup>1)</sup>，並木正義<sup>2)</sup>，平塚秀雄，他（<sup>1)</sup>山口大学，<sup>2)</sup>旭川医大）：〔原著〕急性胃粘膜病変に対するRanitidineの臨床的有用性の検討；セトラキサートを対照薬とした二重盲検試験．臨成人病，18，383～398，1988.
- 62) 小林正文：〔総説〕最近の進歩を含めた薬物治療法の実際・胃炎．Medical Practice, 4, 1608～1611, 1988.
- 63) 小林正文，津久井拓，秦泉寺亮，渡淳，大矢智恵，高田啓介：〔総説〕上部消化管出血へのアプローチ・診断．Medicina, 25, 412～414, 1988.
- 64) Shibasaki,T.<sup>1)</sup>, Kim,S.Y.<sup>1)</sup>, Yamauchi,N.<sup>1)</sup>, Masuda,A.<sup>1)</sup>, Imaki,T.<sup>1)</sup>, Hotta,M.<sup>1)</sup>, Demura,H.<sup>1)</sup>, Wakabayashi,I., Ling,N.<sup>2)</sup> and Shizume,K.<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>Dept. Med. Tokyo Women's, Med. Coll., <sup>2)</sup>The Salk, Institute）：〔論文〕Antagonistic effect of somatostatin on corticotropin-releasing factor-induced anorexia in the rat. Life Sci., 42, 329～334, 1988.
- 65) 平塚秀雄，他：〔原著〕H<sub>2</sub>拮抗剤Ranitidine注射液1日2回投与法の上部消化管出血に対する臨床的有用性の検討．現代医療，20，804～809，1988.

66) 平塚秀雄：〔総説〕消化性潰瘍の食事療法（消化性潰瘍とその周辺）。Medicina, 25, 458～459, 1988.

## 著 書

- 1) 平塚秀雄：〔分担〕日常診療の変革。“Cimetidine”（三好秋馬編），p.321～336，医薬ジャーナル社，1987.
- 2) 平塚秀雄：〔分担〕小腸；生検および機能検査。小腸；診断のすすめ方。“消化器内視鏡；大腸・小腸”（武藤徹一郎編），p.190～216，医学書院，1987.
- 3) 野村武夫：〔分担〕鉄欠乏性貧血。“新臨床内科学 第5版”（阿部正和，日野原重明，本間日臣編），p.504～506，医学書院，1987.
- 4) 野村武夫：〔分担〕無トランスフェリン血症。“新臨床内科学 第5版”（阿部正和，日野原重明，本間日臣編），p.506，医学書院，1987.
- 5) 野村武夫：〔分担〕鉄芽球性貧血。“新臨床内科学 第5版”（阿部正和，日野原重明，本間日臣編），p.506～508，医学書院，1987.
- 6) 平塚秀雄：〔分担〕処方の実際。“最新消化性潰瘍要覧”（監修松尾裕）p.594～609，R & Dプランニング，1987.
- 7) 野村武夫：〔分担〕鉄欠乏性貧血。“臨床薬物治療学大系 16 膠原病／血液疾患”（砂原茂一，植木昭和監修），p.255～261，情報開発研究所，1987.
- 8) 野村武夫：〔分担〕鉄芽球性貧血。“臨床薬物治療学大系 16 膠原病／血液疾患”（砂原茂一，植木昭和監修），p.261～265，情報開発研究所，1987.
- 9) 野村武夫：〔分担〕二次性貧血。“臨床薬物治療学大系 16 膠原病／血液疾患”（砂原茂一，植木昭和監修），p.265～268，情報開発研究所，1987.
- 10) 平塚秀雄：〔企画監修〕消化管内視鏡診断・胃Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ；ビジュアル医学書シリーズ。アイオニクス，1987.
- 11) 平塚秀雄：〔分担〕内視鏡治療の果す役割。“内視鏡治療手技の実際”（後藤由夫・浅木茂編）。p.226～233，医薬ジャーナル社，1987.
- 12) 野村武夫，檀和夫，田近賢二：〔分担〕急性白血物の化学療法；過去20余年における自験症例の治療成績の変遷について。“白血病細胞の生物学的特性とその制御”（宮崎保監修），p.328～336，癌と化学療法社，1987.
- 13) 野村武夫：〔分担〕出血性素因。“内科学書 新訂第3版 1. 代謝疾患・内分泌疾患・血液造血器疾患”（山村雄一，吉利和監修），p.412～415，中山書店，1987.
- 14) 野村武夫：〔分担〕ビリルビンの産生と黄疸が起こるメカニズム。“NIM Fundamentales 血液”（高久史磨，高田明和編），p.112～126，医学書院，1987.
- 15) 野村武夫：〔分担〕アイソトープを用いる検査。“内科学書 新訂第3版 1. 代謝疾患・内分泌疾患・血液造血器疾患”（山村雄一，吉利和監修），p.319～321，中山書店，1987.
- 16) 野村武夫：〔分担〕溶血の検査。“内科学書 新訂第3版 1. 代謝疾患・内分泌疾患・血液造血器疾患”（山村雄一，吉利和監修），p.353～355，中山書店，1987.
- 17) 野村武夫：〔分担〕血漿蛋白の検査。“内科学書 新訂第3版 1. 代謝疾患・内分泌疾患・血液造血器疾患”（山村雄一，吉利和監修），p.405～406，中山書店，1987.
- 18) 野村武夫：〔分担〕ビリルビン。“正常値と異常値の間；その判定と対策（全面改訂版）”（日野原重明，河合忠編），p.26～27，中外医学社，1987.
- 19) 野村武夫：〔分担〕ウロビリノーゲン。“正常値と異常値の間；その判定と対策（全面改訂版）”（日野原重明，河合忠編），p.28～31，中外医学社，1987.
- 20) 瀬底正彦：〔分担〕食道静脈瘤。“診断・治療マニュアル”（阿部裕，和田達雄編集），p.407～410，金原出版，

1987.

- 21) 野村武夫：〔分担〕顆粒球減少症．“診断・治療マニュアル”（阿部裕，和田達生編），p.681～682，金原出版，1987.
- 22) 野村武夫：〔分担〕急性白血球のFAB分類；解説と評価．“血液病理；最近の動向”（島峰徹郎編），p. 1～10，国際病理アカデミー日本支部，1987.
- 23) 小林正文：〔分担〕先天性腸疾患．“内科学 6．消化管・脾・腹膜の疾患，5．腸疾患”，p.581～584，朝倉書店，1987.
- 24) 平塚秀雄，江崎昌俊<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>平塚胃腸病院）：〔分担〕イレウス．急性虫垂炎．“診断・治療マニュアル”（阿部裕，和田達生編），p.434～437．金原出版，1987.
- 25) 野村武夫：〔分担〕アルキル化人免疫グロブリン．“話題の血液・骨・関節・結合組織疾患と新薬”（吉村正治，原沢道美，梅田博道編），p.54～57，現代医療社，1988.
- 26) 野村武夫：〔分担〕ITP治療法の進歩．“Annual Review 血液1988”（高久史磨，青木延雄，仁保喜之，長尾大編），p.128～135，中外医学社，1988.
- 27) 野村武夫：〔分担〕特発性血小板減少性紫斑病．“今日の診断指針（第2版）”（亀山正邦，亀田治男，高久史磨，阿部令彦総編集），p.951～953，医学書院，1988.
- 28) 野村武夫：〔分担〕血液造血臓器疾患治療薬の動向．“今日の治療指針1988”（日野原重明，阿部正和総編集），p.481，医学書院，1988.
- 29) 小林正文：〔分担〕内視鏡的食道静留硬化療法．“今日の治療指針1988”（日野原重明，阿部正利総編集），p.79～80，医学書院，1988.

#### 学会発表

- 1) 大木一郎，厨信一郎，檀和夫，桑原哲夫，田辺義博，五味聖二，緒方清行，山田隆，田近賢二，野村武夫：〔一般講演〕肝硬変における貧血ならびに白血球減少の発生秩序に関する研究．第84回日本内科学会，1987.
- 2) 平塚秀雄，安井譲，他：〔一般講演〕大腸隆起性病変の検討；特に早期癌を中心に．第73回日本消化器病学会総会，1987.
- 3) 坂本文夫，田口克司，幸坂宣俊，金沢秀典，黒田肇，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕アルコール性肝線維症の臨床的検討；アルコール性肝炎との比較．第73回日本消化器病学会総会．1987.
- 4) 金沢秀典，松坂聡，多田教彦，宮田邦久，田口克司，黒田肇，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕経内頸静脈的肝生検の経験．第73回日本消化器病学会総会，1987.
- 5) 金沢秀典，松坂聡，多田教彦，宮田邦久，黒田肇，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕肝硬変症の血行動態，食道静脈瘤におよぼすnadololの効果；propranololとの比較．第73回日本消化器病学会総会，1987.
- 6) 宮田邦久，金沢秀典，松坂聡，多田教彦，黒田肇，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕奇静脈血流量に関する検討．（第6報）食道静脈瘤硬化療法とpropranolol経口投与の奇静脈血流量へおよぼす影響．第73回日本消化器病学会総会，1987.
- 7) 金沢秀典，松坂聡，多田教彦，宮田邦久，田口克司，黒田肇，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕経内頸静脈的肝生検の経験．第73回日本消化器病学会総会，1987.
- 8) 金沢秀典，松坂聡，多田教彦，宮田邦久，黒田肇，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕肝硬変の血行動態，食道静脈瘤におよぼすnadololの効果；propranololとの比較．第73回日本消化器病学会総会，1987.
- 9) 青木正明，末岡伸夫，比留間博之，津久井拓，山門進，田口文彦，玉川恭士，平川恒久，渡辺昂，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕悪性リンパ腫における胃病変の検討．第73回日本消化器病学会総会，1987.

- 10) 田辺義博, 田近賢二, 緒方清行, 五味聖二, 山田隆, 大木一郎, 桑原哲夫, 檀和夫, 厨信一郎, 野村武夫: [一般講演] 慢性期慢性骨髓性白血病に対する $\beta$ -インターフェロンの臨床効果. 第49回日本血液学会総会, 1987.
- 11) 厨信一郎, 田近賢二, 檀和夫, 野村武夫, Murphy, M. J., Jr.: [展示] フィブリン凝塊法によるマウス骨髄および脾巨核球コロニーの形態学的検討. 第49回日本血液学会総会, 1987.
- 12) 大木一郎, 田近賢二, 緒方清行, 五味聖二, 山田隆, 田辺義博, 桑原哲夫, 檀和夫, 厨信一郎, 野村武夫: [一般講演] 肝硬変患者血清のin vitro赤芽球コロニー形成抑制作用 第2報. 第49回日本血液学会総会, 1987.
- 13) 檀和夫, 田近賢二, 緒方清行, 山田隆, 五味聖二, 田辺義博, 大木一郎, 桑原哲夫, 厨信一郎, 野村武夫: [一般講演] Myelodysplastic syndromeの予後判定因子に関する検討. 第49回日本血液学会総会, 1987.
- 14) 阿曾亮子, 今井康雄, 大橋和史, 中原保裕, 村田正弘, 大津文雄, 針谷吉人, 小幡浩二: [一般講演] パソコンによる副作用モニタリングデータの集計とその利用. 日本薬学会第107年会, 1987.
- 15) 平塚秀雄: [VTRシンポジウム: 特別発言] 内視鏡的治療法の新しい展開. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 16) 平川恒久, 香川隆男, 大矢智恵, 成田淳夫, 永井俊彦, 黒田肇, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 塩酸による腐蝕性胃炎の基礎的検討. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 17) 玉川恭士, 比留間博之, 末岡伸夫, 山門進, 青木正明, 田口文彦, 岸田輝幸, 大沢勉, 吉田豊, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] TV-Endoscopeによる大腸ポリープの観察. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 18) 末岡伸夫, 青木正明, 林伸幸, 渡淳, 玉川恭士, 田口文彦, 香川隆男, 佐々木坦, 瀬底正彦, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 電子内視鏡による食道静脈瘤の観察; 従来のファイバースコープとの比較. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 19) 高田啓介, 比留間博之, 山門進, 渡淳, 大矢智恵, 香川隆男, 佐々木坦, 平川恒久, 成田淳夫, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 内視鏡下胃内3次元計測法を用いた胃潰瘍治療経過の検討(第二報). 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 20) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 早期胃癌の内視鏡的局所切除手技. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 21) 香川隆男, 他: [一般講演] 十二指腸乳頭部癌に対する経皮経肝胆道検査(PTC,S)の経験. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 22) 平塚秀雄, 安井譲: [一般講演] 即日大腸内視鏡検査の意義と成績. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 23) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 家族性大腸ポリポージスの7例. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 24) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 早期胃癌の内視鏡的局所切除手技. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 25) 平塚秀雄, 安井譲, 他: [一般講演] 即日大腸内視鏡検査の意義と成績. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 26) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 発光ダイオード(LED)による光化学療法. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 27) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 家族性大腸ポリポージスの7例. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 28) 平塚秀雄, 安井譲, 他: [一般講演] 内視鏡的ポリペクトミーした大腸早期癌症例の検討. 第13回臨床内視鏡研究会, 1987.
- 29) 杉原仁, 若林一二, 南史朗, 明楽重夫<sup>1)</sup>, 高橋文恵, 本山敦子(<sup>1)</sup>産婦人科): [一般講演] Monosodium Glutamate投与ラットにおけるThyroxine, TestosteroneのGH分泌に及ぼす影響. 第60回日本内分泌学会学術総会, 1987.
- 30) 南史朗, 若林一二, 杉原仁, 明楽重夫<sup>1)</sup>, 本山敦子, 高橋文恵(<sup>1)</sup>産婦人科): [一般講演]  $\alpha$ -methyl- $\beta$ -tyrosineによるソマトスタチン分泌修飾作用. 第60回日本内分泌学会学術総会, 1987.

- 31) 平塚秀雄, 他: [一般講演] Cronkhite - Canada症候群の小腸病変について; 電子内視鏡を用いて. 第18回日本消化吸収学会, 1987.
- 32) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 腫瘍内出血をきたした巨大な腎血管筋脂肪腫の1切除例. 第50回日本超音波医学会総会, 1987.
- 33) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 超音波検査上フィブリン塊により扁平隆起像を認めた急性胆嚢炎の例. 第50回日本超音波医学会, 1987.
- 34) 平塚秀雄: [主題: シンポに準ずる] 消化器診療の進歩と問題点; 胃潰瘍の再発. 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 35) 岡田憲明, 末岡伸夫, 長谷川修, 田近賢二, 田辺義博, 林伸幸, 会田大義, 平川恒久, 瀬底正彦, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 急性アルコール性食道炎の1例. 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 36) 安井謙, 平塚秀雄, 他: [一般講演] IIa様扁平隆起を呈した緩和型胃アニサキス症の1例. 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 37) 末岡伸夫, 岩切勝彦, 大木一郎, 香川隆男, 吉田豊, 瀬底正彦, 平川恒久, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 電子内視鏡による胃病変の観察; 従来のファイバースコープとの比較. 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 38) 渡淳, 宮田邦久, 山田益弘, 多田教彦, 松坂聡, 金沢秀典, 佐々木坦, 瀬底正彦, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 食道静脈瘤内圧測定を試み(第二報). 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 39) 猪口孝一, 沢田秀雄, 岡田憲明, 伊藤敏治, 田近賢二, 緒方清行, 五味聖二, 山田隆, 田辺義博, 大木一郎, 桑原哲夫, 檀和夫, 厨信一郎, 野村武夫, 篠原多美子<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター染色体研究室): [一般講演] 抗腫瘍化学法後に発生したMyelodysplastic Syndromeの2症例. 第97回日本臨床血液学会例会, 1987.
- 40) 黒田肇: [卒後教育講演] 腹腔鏡検査の基本. 第10回日本消化器内視鏡学会セミナー, 1987.
- 41) Kamamoto, T., Kuriya, S. and Murphy, M. J., Jr.: [一般講演] Effects of aplastic anemia patient urinary extracts on murine splenic and marrow erythroid progenitors in vivo. Fifteenth Annural Meeting of International Society for Experimental Hematology (Buf falo, USA), 1986.
- 42) Ogata, K., Kuriya, S., Dan, K. and Nomura, T.: [一般講演] Simple method for enrichment of human megakaryocyte colony stimulating factor. 16th Annual Meeting, International Society of Experimental Hematology (Tokyo), 1987.
- 43) 杉原仁, 五味聖二, 永井俊彦, 他: [一般講演] 十二指腸悪性リンパ腫の1例. 第195回日本消化器病学会関東甲信越地方会, 1987.
- 44) 山田益弘, 山門進, 渡淳, 田口文彦, 玉川恭士, 高田啓介, 岸田輝幸, 大沢勉, 吉田豊, 平川恒久, 渡辺昂, 小林正文, 古川清憲<sup>1)</sup>, 平良敦史<sup>1)</sup>, 恩田昌彦<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1外科): [一般講演] 穿孔により炎症性腫瘍を形成した非特異性腫瘍の1例. 第195回日本消化器病学会関東甲信越地方会, 1987.
- 45) Ohashi, K., Gillies, H. C. and Rogers, H. J.: [展示] Correlation between Anthracy clines (Doxorublin, Idarubicin) clearance and LCG kinetics. 10th International Congress of Phurmacology (Sydney), 1987.
- 46) 伊藤敏治: [海外留学者講演] 合成ペプチド含有リポソームによる HSV のマウスへの致死感染からの防御効果. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 47) 猪口孝一: [海外留学者講演] 銅イオンの赤血球変形能に及ぼす影響; 電子共鳴法を用いて. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 48) 津久井拓<sup>1)</sup>, 末岡伸夫<sup>1)</sup>, 山田益弘<sup>1)</sup>, 秦泉寺亮<sup>1)</sup>, 林伸幸<sup>1)</sup>, 川上明彦<sup>1)</sup>, 瀬底正彦<sup>1)</sup>, 渡辺昂<sup>1)</sup>, 荒牧琢己<sup>2)</sup>, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫, 大矢徹<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>内視鏡センター, <sup>2)</sup>第1内科, <sup>3)</sup>付属病院放射線科): [展示] 原発

- 性肝細胞癌に対する経カテーテル動脈内塞栓術（TAE）後に発生した胃潰瘍の1例。第55回日本医科大学医学学会総会，1987.
- 49) 白石史典<sup>1)</sup>，平塚秀雄，恵畑欣一（<sup>1)</sup>平塚胃腸病院）：〔一般講演〕SCG（creening colonography）の有用性について。第55回日本医科大学医学学会総会，1987.
  - 50) 渡淳，宮田邦久，山田益弘，津久井拓，瀬底正彦，渡辺昂，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕食道静脈瘤内圧測定の試み。第55回日本医科大学医学学会総会，1987.
  - 51) 沢倫太郎<sup>1)</sup>，磯崎太一<sup>1)</sup>，福田功<sup>1)</sup>，高橋英彦<sup>1)</sup>，波多野久昭<sup>1)</sup>，鈴木昭<sup>1)</sup>，荒木勤<sup>1)</sup>，岡田憲明，野村武夫（<sup>1)</sup>産婦人科）：〔展示〕妊娠に合併した鉄芽球性貧血の1症例。第55回日本医科大学医学学会総会，1987.
  - 52) 津久井拓，末岡伸夫，山田益弘，秦泉寺亮，林伸幸，川上明彦，瀬底正彦，黒田肇，渡辺昂，小林正文，野村武夫，荒牧琢巳<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1内科）：〔展示〕原発性肝細胞癌に対する経カテーテル動脈内塞栓術（TAE）後に発生した胃潰瘍の1例。第55回日本医科大学医学学会総会，1987.
  - 53) 田口克司，山田益弘，津久井拓，宮田邦久，山田裕之，多田教彦，松坂聡，坂本文夫，金沢秀典，幸坂宣俊，黒田肇，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕先天性肝内胆管拡張症（caroli病）の1症例。第22回腹腔鏡懇話会，1987.
  - 54) 田辺義博，細根勝，安恵美，岡田憲明，亀谷純，田近賢二，伊藤敏治，猪口孝一，緒方清行，五味聖二，山田隆，大木一郎，桑原哲夫，檀和夫，厨信一郎，野村武夫：〔一般講演〕赤芽球癆の2症例；末梢血単核球によるCFU-E抑制例と血清によるCFU-E抑制例。第98回日本臨床血液学会例会，1987.
  - 55) Ohashi, K., Kim, H. J., Nakama, K. and Akimoto, T.: 〔展示〕Morphologic studies on exocrine pancreas of diabetic WBN/Kob rats. Lessons From Animal Diabetes - 2nd International Workshop (Geneva), 1987.
  - 56) 山田隆，厨信一郎：〔ワークショップ〕血栓性血小板減少性紫斑病2症例の治療経験。日本臨床血液学会第29回総会，1987.
  - 57) 野村武夫，前川正<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>群馬大）：〔一般講演〕特発性血小板減少性紫斑病（ITP）の治療に関する多施設共同ブロスぺクティブ研究 続報。第29回日本臨床血液学会総会，1987.
  - 58) 檀和夫，田近賢二，山田隆，緒方清行，五味聖二，田辺義博，大木一郎，厨信一郎，野村武夫：〔一般講演〕成人急性白血病の治療成績と臨床病態。第29回日本臨床血液学会総会，1987.
  - 59) 大木一郎，田近賢二，伊藤敏治，猪口孝一，緒方清行，五味聖二，山田隆，田辺義博，桑原哲夫，檀和夫，厨信一郎，野村武夫：〔一般講演〕肝硬変貧血の発生機序に関する臨床的検討。第29回日本臨床血液学会総会，1987.
  - 60) 厨信一郎，緒方清行，檀和夫，田近賢二，山田隆，五味聖二，田辺義博，大木一郎，野村武夫：〔一般講演〕再生不良性貧血患者尿由来の巨核球コロニー刺激因子に関する検討。第29回日本臨床血液学会総会，1987.
  - 61) 田口克司，金沢秀典，多田教彦，松坂聡，山田裕之，坂本文夫，黒田肇，小林正文，野村武夫：〔一般講演〕アルコール肝炎における内脈圧と肝組織像の経時的変化。第22回日本肝臓学会東部会，1987.
  - 62) 南史朗，杉原仁，高橋文恵，本山教子，若林一二：〔一般講演〕in vivoにおけるGRFによるGH分泌に対するソマトスタチン（SS）前投与の効果。第14回日本内分泌学会神経内分泌分科会，1987.
  - 63) 平塚秀雄，安井謙，他：〔一般講演〕大腸検診における免疫学的便潜血試験の有用性について。第5回大腸検査法研究集会，1987.
  - 64) 平塚秀雄，高島和彦<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>平塚胃腸病院）：〔一般講演〕大腸検診啓蒙用ビデオ「大腸がん早期発見のために」製作について。第5回大腸検査法研究集会，1987.
  - 65) 平塚秀雄，寺門康雄<sup>1)</sup>，他（<sup>1)</sup>平塚胃腸病院）：〔一般講演〕バリエネマを使用した注腸X線検査法SCGのVTR製作について。第5回大腸検査法研究集会，1987.
  - 66) 岩切勝彦，末岡伸夫，林伸幸，田辺義博，川上明彦，瀬底正彦，平川恒久，渡辺昂，小林正文，野村武夫，佐々

- 木健志<sup>1)</sup>, 小泉潔<sup>1)</sup>, 川本雅司<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>胸部外科, <sup>2)</sup>第1病理): [一般講演] 食道と交通した縦隔内気管支囊種の1例. 第196回日本消化器病学会関東地方会, 1987.
- 67) 永井俊彦, 他 (東京多摩老人医療センター): [一般講演] 養護老人ホーム居住者における医学的研究. 第1報 視力障害者に関する検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 68) 金沢秀典, 黒田肇: [シンポジウム] 「門脈血行異常の病態と対策」 奇静脈血流量に関する検討. 第22回日本肝臓学会東部会, 1987.
- 69) 多田教彦, 金沢秀典, 山田裕之, 宮田邦久, 松坂聡, 坂本文夫, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] Hepatic Venous Pressure Gradientの臨床的意義. 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 70) 大矢智恵, 成田淳夫, 比留間博之, 高田啓介, 香川隆男, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫, 奥山厚<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>放射線科): [一般講演] 肝胆道シンチグラフィーによる胃内胆汁逆流と幽門前庭部病変との関連に対する検討. 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 71) 比留間博之, 大矢智恵, 高田啓介, 三宅一昌, 成田淳夫, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫, 奥山厚<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>1)</sup>, 永井俊彦<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>放射線科, <sup>2)</sup>多摩老人医療センター消化器内科): [一般講演] 胃・十二指腸潰瘍における胃排出能と十二指腸胃逆流との関連について. 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 72) 多田教彦, 金沢秀典, 山田裕之, 宮田邦久, 松坂聡, 坂本文夫, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] Hepatic Venous Pressure Gradientの臨床的意義. 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 73) 金沢秀典: [ラウンドテーブルディスカッション] 門脈圧亢進症における奇静脈血流量の測定と意義について (門脈圧亢進症の血行動態). 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 74) 渡辺昂, 末岡伸夫: [シンポジウム] 各種胃疾患と背景胃粘膜像胃ポリープの背景胃粘膜病変. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 75) 黒田肇, 山田益弘: [シンポジウム] 脂肪肝における腹腔鏡検査の診断的意義 病因からみた脂肪肝の腹腔鏡の特徴について. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 76) 江崎昌俊<sup>1)</sup>, 平塚秀雄 (<sup>1)</sup>平塚胃腸病院): [シンポジウム] 早期胃癌に対する内視鏡的切除法; 消化器腫瘍に対する内視鏡的治療の方法論とその評価. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 77) 末岡伸夫, 瀬底正彦: [パネルディスカッション] 電子内視鏡の評価と将来展望 食道静脈瘤を対象として (電子内視鏡の評価と将来展望). 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 78) 平塚秀雄: [パネルディスカッション: 特別発言] 電子内視鏡の評価と将来展望. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 79) 松坂聡: [ラウンドテーブルディスカッション] 特発性細菌性腹膜炎 (SBP) について (難治性腹水の治療). 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 80) 平塚秀雄, 他: [実技ワークショップ] 下部消化管内視鏡の実技; 特に体位変換と用手圧迫の有用性について. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 81) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 大腸アメバー症5症例の検討. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 82) 平塚秀雄, 安井譲: [一般講演] 高齢者に対する colonoscopy による screening の試み. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 83) 平塚秀雄, 他: [一般講演] Short Bowel Syndromeにおける小腸拡大内視鏡の意義. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 84) 佐藤薫隆<sup>1)</sup>, 平塚秀雄, 他 (<sup>1)</sup>佼成病院): [一般講演] Short Bowel Syndromeにおける小腸拡大内視鏡の意義. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 85) 汪嶋志<sup>1)</sup>, 平塚秀雄 (<sup>1)</sup>北京301医院): [一般講演] Preliminary investigation of ferritin in gastric and

- conic mucosa obtained endoscopically; A report of 153 cases. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 86) 安井謙, 平塚秀雄, 他: [一般講演] 大腸S m癌の検討; 特に内視鏡的ポリペクトミー後の取り扱いについて. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 87) 安井謙, 平塚秀雄, 他: [一般講演] 大腸Sm癌の検討; 特に内視鏡的ポリペクトミー後の取り扱いについて. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 88) 金重輝, 佐々木坦, 三石卓, 香取利一, 桑名壮太郎, 小林正文, 氏原康之<sup>1)</sup>, 青木伸弘<sup>1)</sup>, 吉安正行<sup>1)</sup>, (<sup>1)</sup>三菱重工大倉山病院外科): [一般講演] 総胆管憩室症の1例. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 89) 田口文彦, 山田裕之, 宮田邦久, 田近賢二, 山門進, 玉川恭士, 岸田輝幸, 大沢勉, 吉田豊, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] TV-Endoscope, TCE-50Lの使用経験; 試作型と市販型の比較検討. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 90) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 内視鏡治療により残存直腸ポリープの消失を認めた密生型家族性大腸ポリポージスの1例. 第14回臨床内視鏡研究会, 1987.
- 91) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 副腎myelipomaの3例. 第51回日本超音波医学会総会, 1987.
- 92) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 脾漿液性嚢胞腺腫の一切除例. 第51回日本超音波医学会総会, 1987.
- 93) 平塚秀雄, 他: [一般講演] 胆嚢ポリープの自然史の検討. 第2報 外来受診例. 第51回日本超音波医学会, 1987.
- 94) 南史朗, 杉原仁, 本山敦子, 高橋文恵, 若林一二: [一般講演] ソマトスタチンによる成長ホルモンの分泌修飾. 第60回日本内分泌学会秋季学術大会, 1987.
- 95) 高橋文恵, 本山敦子, 杉原仁, 南史朗, 若林一二: [一般講演] ACTH依存性Cushing症候群に対するbromocriptine長期投与の効果. 第60回日本内分泌学会秋季学術大会, 1987.
- 96) 坂本俊樹, 馬淵綾子, 横室公三, 厨信一郎, 庄左司佑: [一般講演] 免疫系による生体の統御 (XXVI) 肝再生と造血系肝再生によっておこる造血幹細胞の変動と肝細胞のCSF産生能の変化. 第17回日本免疫学会総会学術集会, 1987.
- 97) 渡淳, 山田益弘, 津久井拓, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫, 佐々木坦: [一般講演] 内視鏡的純エタノール局注療法による消化生潰瘍再出血予防効果の検討. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 98) 浅見恭士, 大橋和史, 大道浩子, 阿曾亮子: [一般講演] Cefotaxime, Cefoperazoneの薬物動態に及ぼす肝疾患の影響. 第8回日本臨床薬理学会総会, 1987.
- 99) 阿曾亮子, 大道浩子, 大橋和史: [一般講演] 副作用情報提供とその利用法; 厚生省副作用モニター報告およびFDA副作用報告を用いての検討. 第8回日本臨床薬理学会総会, 1987.
- 100) 齊藤勉, 金子ひろ子, 畑典武, 岸田浩, 早川弘一, 大橋和史: [一般講演] 狭心症に対するNifedipineとDiltiazemの併用効果. 第8回日本臨床薬理学会総会, 1987.
- 101) 神代真琴, 山田裕之, 宮田邦久, 松坂聡, 多田教彦, 田口克司, 坂本文夫, 幸坂宣俊, 金沢秀典, 平川恒久, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 右心房腔内に浸潤発育した肝細胞癌の1例. 第197回日本消化器病学会関東地方会, 1987.
- 102) 林伸幸<sup>1)</sup>, 末岡伸夫<sup>1)</sup>, 岩切勝彦<sup>1)</sup>, 秦泉寺亮<sup>1)</sup>, 大矢智恵<sup>1)</sup>, 川上明彦<sup>1)</sup>, 瀬底正彦<sup>1)</sup>, 渡辺昂<sup>1)</sup>, 金重輝<sup>1)</sup>, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫 (<sup>1)</sup>内視鏡センター): [一般講演] 食道静脈瘤検索中にみられた食道カンジダ症4例の検討. 第45回日本内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 103) 平塚秀雄, 他: [一般講演] Focal cancer in the duodenal villous tumor. 第45回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 104) 平塚秀雄, 他: [一般講演] Cancer in the ectopie mucosa in duodenum. 第45回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.



- 105) 松坂聡, 金沢秀典, 多田教彦, 宮田邦久, 田口克司, 山田裕之, 山田益弘, 津久井拓, 坂本文夫, 幸坂宣俊, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 腹腔鏡検査(気腹操作)の門脈圧へ及ぼす影響. 第45回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 106) 林伸幸, 末岡伸夫, 岩切勝彦, 秦泉寺亮, 大矢智恵, 川上明彦, 瀬底正彦, 渡辺昂, 金重輝, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 食道静脈癌検索中にみられた食道カンジダ症4例の検討. 第45回日本内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 107) 山田益弘, 山田裕之, 田口克司, 坂本文夫, 渡辺洋一, 幸坂宣俊, 金沢秀典, 吉田豊, 平川恒久, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 高齢者腸結核に合併した肝粟粒結核の2例. 第21回腹腔鏡懇話会, 1988.
- 108) 山田裕之, 山田益弘, 田口克司, 坂本文夫, 幸坂宣俊, 金沢秀典, 平川恒久, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 腹腔鏡直視下肝生検後のマイクロ波凝固止血法について. 第21回腹腔鏡懇話会, 1988.
- 109) 平川恒久: [シンポジウム] 今後の臨床検査業務に求む条件医師の立場から. 第5回私立医科大学臨床検査技師会, 1988.
- 110) 山田益弘, 津久井拓, 山田裕之, 宮田邦久, 多田教彦, 松坂聡, 田口克司, 坂本文夫, 幸坂宣俊, 金沢秀典, 平川恒久, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 腹腔鏡的に経過を長期観察しえた慢性活動性肝炎の1例. 第21回腹腔鏡懇話会, 1988.
- 111) 南定, 山門進, 大矢智恵, 比留間博之, 渡淳, 高田啓介, 香川隆男, 平川恒久, 小林正文, 野村武夫, 他: [一般講演]  $H_2$ 受容体拮抗薬により約4年間観察した Zollinger-Ellison 症候群 (ZES) の1例. 第198回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 112) 五味聖二, 厨信一郎, 檀和夫, 大木一郎, 野村武夫: [展示] 血小板結合性免疫グロブリンG (PAIgG) の測定に及ぼす血清 $\alpha$ -グロブリンの影響について. 第85回日本内科学会講習会, 1988.
- 113) 若林一二, 南史朗, 新谷英滋, 高橋文恵, 杉原仁, 本山教子: [展示] ソマトスタチン (SS) による反跳性分泌を用いた成長ホルモン (GH) 刺激試験の基礎的検討. 第85回日本内科学会講習会, 1988.
- 114) 平川恒久, 香川隆男, 高田啓介, 黒田肇, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [展示] 腐蝕性胃炎の内視鏡検査実施時期の検討. 第85回日本内科学会講習会, 1988.
- 115) 香川隆男, 平川恒久, 末岡伸夫, 高田啓介, 永井俊彦, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 苛性ソーダによる腐蝕性胃炎の基礎的検討. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.
- 116) 白尾国昭, 齊藤大三, 吉田茂昭, 大倉久直<sup>1)</sup>, 田原栄一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>国立がんセンター病院内科, <sup>2)</sup>広島大学第1病理): [一般講演] Monoclonal 抗体9A3一定量化と胃癌診断への応用. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.
- 117) 宮田邦久, 金沢秀典, 多田教彦, 松坂聡, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 肝硬変症における奇静脈流血の供血源に関する検討. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.
- 118) 松坂聡, 金沢秀典, 山田益弘, 津久井拓, 宮田邦久, 多田教彦, 黒田肇, 小林正文: [一般講演] ニトログリセリンの全身, 肝血行動態および奇静脈血流量に対する影響. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.
- 119) 津久井拓, 金沢秀典, 山田益弘, 松坂聡, 多田教彦, 宮田邦久, 山田裕之, 黒田肇, 渡辺昂, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 肝疾患の胃病変における門脈圧亢進の病因的意義について. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.
- 120) 田口克司, 坂本文夫, 金沢秀典, 幸坂宣俊, 黒田肇, 小林正文, 野村武夫: [一般講演] 閉塞肝静脈圧と肝組織像を経過観察しえたアルコール性肝炎の2症例. 第193回日本消化器病学会関東甲信越地方会, 1987.

## 4. 精神医学講座

### [付属病院神経科・第一病院神経科]

#### 研究概要

教室の主要な研究テーマには、精神生理学、精神薬理学、コンサルテーション・リエゾン精神医学、社会精神医学、心身医学、犯罪精神医学およびその他の各領域があり、各々活発に研究が進められている。

精神生理学の領域では、定量脳波や誘発電位によるうつ病など内因精神病の脳機能統合の研究が行われ、本年は治療による変化が新たに研究された。また、 $\alpha$  周波数の経年的変化のうつ病における特徴の研究も加わった。催眠や気功による脳波変化の定量脳波学的研究の成果がシンポジウムに取り上げられた。

精神薬理学領域では、本学法医学教室と共同で向精神薬微量定量（多剤同寸測定）を研究し、その測定限界や精度向上に努めている。また、向精神薬の第Ⅱ・Ⅲ相試験を数多く行っている。

コンサルテーション・リエゾン精神医学では、付属病院CCMに収容された自殺者の精神医学的側面についての研究の他、CCMやCCUで働く医師のストレスについての研究が開始された。

社会精神医学領域では、アルコール依存症者の治療につき、本年は主として保健所など地域との関連を通じた研究が行われた。分裂病者の居住の問題に対する疫学的研究はさらに種々の居住形態について分析された。

心身医学的研究では、過食を主体とする神経性不食症の類型化を試みている。また、虚血性心疾患の性格学、治療における心理的側面の研究、本学産婦人科と共同の Emesis や maternity blues の研究も続けられている。

その他、犯罪精神医学での事例研究、セネストパチー、パセドウ精神病、小児・思春期精神医学、一般心理学などの研究が従来どおり進められているが、特に近年増加の著しい思春期精神障害の性格学、治療学さらに定量脳波学的側面の研究が開始された。

#### 研究業績

##### 論文

- 1) 広瀬貞雄, 山本裕水: [原著] 反応性うつ病者による仇討殺人の一鑑定例. 犯罪誌, 52, 127~138, 1986.
- 2) 黒澤尚: [総説] 内科医に必要な救急治療; 精神症状. Medicina, 24, 794~796, 1987.
- 3) 黒澤尚: [原著] 救急センターに収容された自殺未遂者の精神面のケア. 日医新報, No.3295, 28~32, 1987.
- 4) 遠藤俊吉, 藤波茂忠, 他: [原著] うつ病およびうつ状態に対するRU39780 (塩酸ビネダリン) の臨床評価; imipramine を対照とする二重盲検群間比較試験. Clin. Eval., 15, 371~379, 1987.
- 5) 黒澤尚: [総説] 産褥期精神障害の対処法の実際. 産婦の実際, 36, 1275~1279, 1987.
- 6) 黒澤尚: [総説] 救命救急センターで働く医師のストレス. 医のあゆみ, 142, 764, 1987.
- 7) 遠藤俊吉: [総説] 心身症と他疾患の鑑別; うつ病 (特集: 心身症の診かたと治療). Modern Physicians, 7, 997~1000, 1987.
- 8) 黒澤尚: [総説] 救命救急センターでみられる精神症状. Medical Way, 4, 118~122, 1987.
- 9) 黒澤尚: [総説] 最近注目されている急性中毒とその対策; 薬物による自殺未遂者の実態. 医のあゆみ, 143, 10~12, 1987.
- 10) 黒澤尚: [総説] 急激な発症をみた精神症状とその対応. Medical Practice, 4, 1905~1908, 1987.
- 11) 黒澤尚: [原著] 看護スタッフが期待する精神科コンサルテーション. 日医新報, No.3315, 43~48, 1987.
- 12) 岩崎正人: [総説] 薬物の急性中毒 (医薬品を含む). 老年精神医学, 4, 329~333, 1987.
- 13) 岩崎正人: [総説] 休養と生活; アルコールとストレスケア. 公衆衛生, 51, 325~327, 1987.

- 14) 岩崎正人：〔原著〕東京都精神科救急におけるアルコール精神疾患の処遇に対する検討。アルコール研，4，163～169，1987.
- 15) 森隆夫，秋山美紀夫，遠藤俊吉，木村真人，倉岡幸令，朝田薫：〔原著〕うつ病者の脳波定量分析；PF・Index 座標とその Laterality. 臨脳波，29，665～669，1987.
- 16) 岩崎正人：〔総説〕いわゆるキッチンドリンカーの実態と治療，総合臨，36，2053～2054，1987.
- 17) 岩崎正人：〔総説〕アルコール依存症の理解を深めるために，生活教育，31，27～38，1987.
- 18) 岩崎正人：〔総説〕アルコール退薬症候群. Medical Way，4，27～31，1987.
- 19) 森隆夫，遠藤俊吉：〔総説〕ヒステリー. 内科，60，560～562，1987.
- 20) 藤波茂忠：〔総説〕甲状腺疾患と症状精神病. 精神科治療学，3，191～198，1988.
- 21) 黒澤尚：〔総説〕自殺の実態；自殺について関心を. 医のあゆみ，144，223～224，1988.
- 22) 黒澤尚：〔総説〕自殺の実態；自殺未遂者. 医のあゆみ，144，228～230，1988.
- 23) 黒澤尚：〔原著〕救命救急センターにおける心身医学の教育. 心身医学，28，54～59，1988.
- 24) 藤木健夫：〔原著〕気と大脳両半球. 医のあゆみ，144，651～653，1988.
- 25) 黒澤尚：〔総説〕自殺未遂者の治療システム. 医のあゆみ，144，749～750，1988.
- 26) 岩崎正人：〔総説〕アルコール依存症における病識. 精神科治療学，3，71～77，1988.
- 27) 森隆夫：〔総説〕うつ病者の大脳半球機能. 医のあゆみ，144，613，1988.
- 28) 高木宏昌，倉岡幸令，遠藤俊吉，林田真喜子<sup>1)</sup>，仁平真<sup>1)</sup>，渡辺日章<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>法医）：〔原著〕パーソナルコンピューターを用いた多波長検出器付 multi-HPLC システムによる向精神薬の分析；とくに多剤同時測定における有用性. Jpn. J. Psychopharmacol.，7，247～248，1988.
- 29) 藤原豪：〔原著〕精神遅滞児に対する感覚統合療法. 理療と作療，22，158～166，1988.
- 30) 黒澤尚，山本保博：〔原著〕救命救急センターにおける自殺未遂者の精神面のケアについて. 第22回日本医学会総会誌(1)，p.403，1988.

## 著 書

- 1) 遠藤俊吉：〔分担〕精神疾患の種類と治療；心因反応・反応精神病・性格異常. “臨床薬物治療大系14（精神・神経疾患）”（小椋力編），p.81～98，情報開発研究所，1987.
- 2) Endo, S., Mori, T., Kojima, D., Akiyama, M., Takagi, H., Kuraoka, Y. and Kimura, M.：〔分担〕Quantitative EEG and evoked potential study on hemispheric differences in Japanese depressive patients. “Cerebral Dynamics, Laterality and Psychopathology” (Takahashi, R., Flor-Henry, P., Gruzelier, J. and Niwa, S. eds.), p.85～92, Elsevier, Amsterdam, 1987.
- 3) 遠藤俊吉，藤木健夫：〔分担〕総論的事項（治療）. “精神医学—自己研修問題と解説”（加藤伸勝，中嶋照夫編），p.26～34，156～168，中外医学社，1987.
- 4) 橋口英俊：〔分担〕社会性の発達と指導. “保育心理学”（教師養成研究会幼児教育心理学部会編），p.79～94，学芸図書，1987.
- 5) 岩崎正人，他：〔分担〕アルコール症. “図説臨床精神医学講座 成人の精神医学〔B〕”（島園安雄他編），p.208～225，メジカルビュー社，1987.
- 6) 岩崎正人：〔分担〕不安と嗜癖・依存. “不安の科学と健康”（河野，風祭編），p.125～129，朝倉書店，1987.
- 7) 黒澤尚：〔分担〕自殺未遂者；救命救急センターからの報告. “精神科 MOOK 16 自殺”（春原千秋編），p.72～82，金原出版，1987.
- 8) 遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠：〔編集〕メンタルヘルス実践大系3. こころの不調；指導と実践のための基礎知

識。日本図書センター，1988。

- 9) 遠藤俊吉：〔分担〕精神科の病気。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.8～21，日本図書センター，1988。
- 10) 黒澤尚：〔分担〕精神科へのかかり方。“メンタルヘルス大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.47～52，日本図書センター，1988。
- 11) 山本裕水：〔分担〕精神分裂病。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.54～65，日本図書センター，1988。
- 12) 恩田寛：〔分担〕精神分裂病；破瓜型。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.66～72，日本図書センター，1988。
- 13) 山口哲顕：〔分担〕精神分裂病；緊張型。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.73～76，日本図書センター，1988。
- 14) 高木宏昌：〔分担〕精神分裂病；妄想型。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.77～79，日本図書センター，1988。
- 15) 倉岡幸令：〔分担〕躁うつ病の概念。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.80～90，日本図書センター，1988。
- 16) 森隆夫：〔分担〕躁うつ病の概念；双極型。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.91～95，日本図書センター，1988。
- 17) 落裕美：〔分担〕躁うつ病の概念；単極型。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.96～100，日本図書センター，1988。
- 18) 秋山美紀夫：躁うつ病の概念；退行期うつ病。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.101～107，日本図書センター，1988。
- 19) 西松能子：〔分担〕話題のシンドローム。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.108～113，日本図書センター，1988。
- 20) 藤波茂忠：〔分担〕神経症の概念。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.114～123，日本図書センター，1988。
- 21) 山口英人：〔分担〕不安神経症。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.124～128，日本図書センター，1988。
- 22) 越智真理子：〔分担〕抑うつ神経症。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.129～134，日本図書センター，1988。
- 23) 塚川光利：〔分担〕心気症。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.135～139，日本図書センター，1988。
- 24) 白山正人：〔分担〕ヒステリー。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.140～145，日本図書センター，1988。
- 25) 荒井圭介：〔分担〕強迫神経症。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.146～151，日本図書センター，1988。
- 26) 斎藤隆亮：〔分担〕離人神経症。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.152～154，日本図書センター，1988。
- 27) 斎藤隆亮：〔分担〕恐怖症。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”（遠藤俊吉，黒澤尚，藤波茂忠編），p.155～159，日本図書センター，1988。
- 28) 藤木健夫：〔分担〕心因反応。“メンタルヘルス実践大系3。こころの不調；指導と実践のための基礎知識”

- (遠藤俊吉, 黒澤尚, 藤波茂忠編), p.160~170, 日本図書センター, 1988.
- 29) 藤波茂忠: [分担] 心身症の概念. “メンタルヘルス実践大系 3. こころの不調; 指導と実践のための基礎知識” (遠藤俊吉, 黒澤尚, 藤波茂忠編), p.165~170, 日本図書センター, 1988.
  - 30) 岩崎正人: [分担] 薬物依存. “メンタルヘルス実践大系 3. こころの不調; 指導と実践のための基礎知識” (遠藤俊吉, 黒澤尚, 藤波茂忠編), p.216~221, 日本図書センター, 1988.
  - 31) 岩崎正人: [分担] アルコール依存症. “メンタルヘルス実践大系 3. こころの不調; 指導と実践のための基礎知識” (遠藤俊吉, 黒澤尚, 藤波茂忠編), p.222~229, 日本図書センター, 1988.
  - 32) 黒澤尚: [分担] 救命救急センターにおける Consultation Liaison Psychiatry. “精神科 Mook 20 精神科救急医療” (山崎敏雄編), p.46~54, 金原出版, 1988.
  - 33) 岩崎正人, 他: [分担] アルコール関連障害に対する救急処置. “精神科 Mook 20 精神科救急医療” (山崎編), p.175~184, 金原出版, 1988.
  - 34) 黒澤尚: [分担] 嗜眠状態. “精神神経科マニュアル” (柏瀬宏隆編), p.33~34, 朝倉書店, 1988.
  - 35) 西松能子: [分担] 夢幻状態. “精神神経科マニュアル” (柏瀬宏隆編), p.34~36, 朝倉書店, 1988.
  - 36) 黒澤尚: [分担] 酩酊状態. “精神神経科マニュアル” (柏瀬宏隆編), p.36~39, 朝倉書店, 1988.
  - 37) 黒澤尚: [分担] 自殺念慮. “精神神経科マニュアル” (柏瀬宏隆編), p.62~63, 朝倉書店, 1988.
  - 38) 西松能子: [分担] 睡眠障害. “精神神経科マニュアル” (柏瀬宏隆編), p.74~75, 朝倉書店, 1988.
  - 39) 黒澤尚: [分担] 自殺企図者の精神面の対応. “精神神経科マニュアル” (柏瀬宏隆編), p.63~68, 朝倉書店, 1988.
  - 40) 黒澤尚: [分担] CCUにおける精神症状とその対策. “狭心症・心筋梗塞” (関口守衛編), p.291~294, 南江堂, 1988.
  - 41) 黒澤尚: [分担] 救命救急センターで働く医師のストレス. “メデイカル・トピックス(2)”, p.224, 医歯薬出版, 1988.
  - 42) 橋口英俊: [分担] 拒食と過食, “同時代子ども研究 第1巻 食べる・飲む” (斎藤次郎他編), p.217~247, 新曜社, 1988.
  - 43) 橋口英俊: [分担] 準拠集団, ソシオメトリー. “現代子ども大百科” (平山宗宏編集代表), p.356~358, 中央法規出版, 1988.

#### 学会発表

- 1) 黒澤尚, 山本保博: [シンポジウム] 救命救急センターにおける自殺未遂者の精神面のケアについて (救急医療と自殺). 第22回日本医学会総会, 1987.
- 2) 黒澤尚: [一般講演] 身体医学の学習も忘れずに. 第83回日本精神神経学会総会, 1987.
- 3) 林峻一郎<sup>1)</sup>, 越智真理子, 相良宗徳, 白山正人, 山口英人, 遠藤俊吉, 小峯和茂<sup>2)</sup>, 土屋守正<sup>2)</sup>, 森岡恭介<sup>3)</sup>  
(<sup>1)</sup>北里大学衛生学部精神衛生学, <sup>2)</sup>西ヶ原病院, <sup>3)</sup>多摩病院): [一般講演] アパート居住の精神分裂病者の生活の特徴. 第83回日本精神神経学会総会, 1987.
- 4) 橋口英俊: [シンポジウム] 東洋医学の立場から; 東西思想とカウンセリング (学会企画シンポジウム). 日本相談学会第20回大会, 1987.
- 5) 福田啓子, 武石仁美, 橋口英俊: [一般講演] 幼稚園教育と小学校教育の関連について (V). 人間尊重の保育と教育. 日本保育学会第40回大会, 1987.
- 6) 黒澤尚: [シンポジウム] 救命救急センターにおける心身医学の教育. (21世紀に向けての心身医学の展望). 第28回日本心身医学会総会, 1987.

- 7) 春日利彦, 岩崎正人, 遠藤俊吉: [一般講演] 根こぎうつ病的な規制をもった引越うつ病の一症例. 東京精神医学懇話会, 1987.
- 8) 内川裕元<sup>1)</sup>, 佐藤田鶴子<sup>1)</sup>, 時安喜彦<sup>1)</sup>, 久野吉雄<sup>1)</sup>, 藤波茂忠 (<sup>1)</sup>日本歯科大学): [一般講演] 顎・顔面領域に奇妙な訴えをもった一症例. 第2回日本歯科心身医学会総会, 1987.
- 9) 森隆夫: [シンポジウム] うつ病と脳波 (テーマ: 脳波と催眠). 第3回日本催眠学会総会, 1987.
- 10) 藤木健夫: [シンポジウム] 気功と脳波 (テーマ: 脳波と催眠). 第3回日本催眠学会総会, 1987.
- 11) 黒澤尚: [セミナー] ICUでみられる精神症状とその対応. ICU・CCU看護婦卒後教育セミナー, 1987.
- 12) 白山正人, 藤波茂忠, 浜本紘<sup>1)</sup>, 青山花子<sup>1)</sup>, 新保きみ子<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>榊原記念クリニック): [一般講演] 運動療法の精神面への効果: “虚血性心疾患における検討.” 第10回心臓リハビリテーション研究会, 1987.
- 13) 荻原喜茂<sup>1)</sup>, 高桑光俊<sup>1)</sup>, 荒井圭介 (<sup>1)</sup>多摩病院): [一般講演] 精神分裂病患者の作業行動障害について 第2報. 精神病理懇話会, 1987.
- 14) 相良宗徳, 鈴木博子, 朝田薫, 小松正枝, 岩崎正人, 遠藤俊吉: [一般講演] 摂食障害の病像の変化について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 15) 岩崎正人, 他: [一般講演] アルコール相談を1年行ってみて. 第79回東京都衛生局学会, 1987.
- 16) 岩崎正人, 遠藤俊吉, 他: [一般講演] 東京都内保健所における酒害相談の実態. 第22回日本アルコール医学会総会, 1987.
- 17) 菅沼憲治, 橋口英俊, 西村純一: [報告] アーサーション・テスト作成の試み(4)(5). 日本心理学会第51回大会, 1987.
- 18) 岩崎正人, 遠藤俊吉, 他: [一般講演] 東京都大田区桃谷保健所における酒害相談中断例の検討. 第46回日本公衆衛生学会総会, 1987.
- 19) 岩崎正人, 遠藤俊吉, 他: [一般講演] 学校における精神衛生問題; 精神疾患に罹患した学生に対する教師の対応について. 第3回日本精神衛生学会総会, 1987.
- 20) 森隆夫, 秋山美紀夫, 木村真人, 朝田薫, 鈴木博子, 倉岡幸令, 遠藤俊吉: [一般講演] 内因性うつ病者における大脳半球機能の定量脳波学的研究 第4報. 第17回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1987.
- 21) 高木宏昌, 小島大輔, 倉岡幸令, 遠藤俊吉: [一般講演] 聴覚誘発電位による日本人のうつ病者の大脳半球機能の研究 第3報. 第17回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1987.
- 22) 朝田薫, 鈴木博子, 木村真人, 秋山美紀夫, 森隆夫, 遠藤俊吉: [展示] 摂食障害における脳波定量分析; うつ病者群との比較. 第17回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1987.
- 23) 長谷川朝穂, 鈴木博子, 黒澤尚, 遠藤俊吉, 田中啓治<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 松田潔<sup>2)</sup>, 山本保博<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室, <sup>2)</sup>救急医学): [一般講演] Critical careに従事する医師の生活環境とストレスの実態調査. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 24) 長谷川朝穂, 黒澤尚, 遠藤俊吉, 田中啓治<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室): [一般講演] CCUに働く医師のストレスについて. 第7回CCU研究会, 1987.
- 25) 林峻一郎<sup>1)</sup>, 越智真理子, 相良宗徳, 白山正人, 山口英人, 遠藤俊吉, 小峯和茂<sup>2)</sup>, 土屋守正<sup>2)</sup>, 内海健<sup>3)</sup>, 森岡恭介<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>北里大学衛生学部精神衛生学, <sup>2)</sup>西ヶ原病院, <sup>3)</sup>東大医学部部分院神経科, <sup>4)</sup>多摩病院): [一般講演] 都営住宅の研究. (3) 都営2種居住分裂病患者の教理解析. 第8回日本社会精神医学会総会, 1988.
- 26) 岩崎正人, 遠藤俊吉: [一般講演] アルコール依存症に対する総合病院精神科の役割の検討. 第8回日本社会精神医学会総会, 1988.
- 27) 春日利彦, 岩崎正人, 遠藤俊吉: [一般講演] 一男性同性愛者の心理規制に関する考察. 東京精神医学懇話会, 1988.
- 28) 黒澤尚, 長谷川朝穂, 遠藤俊吉, 高野照夫<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, (<sup>1)</sup>集中治療室): [シンポジウム] ICU, CCUにお

- ける患者環境；医師の立場から(主題：ICU, CCUにおける患者環境)．第15会日本集中治療医学会総会，1988.
- 29) 長谷川朝穂，黒澤尚，後藤証子<sup>1)</sup>，金子栄子<sup>1)</sup>，田中啓治<sup>1)</sup>，高野照夫<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>集中治療室)：〔一般講演〕CCUに於ける看護スタッフのストレス．第15会日本集中治療医学会総会，1988.
- 30) 長谷川朝穂，黒澤尚，遠藤俊吉，高野照夫<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>集中治療室)：〔一般講演〕Critical careにおける精神心理的問題に対するアプローチの実態．第15会日本集中治療医学会総会，1988.
- 31) 長谷川朝穂，黒澤尚，遠藤俊吉，高野照夫<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>集中治療室)：〔一般講演〕ICU症候群．第15会日本集中治療医学会総会，1988.
- 32) 長谷川朝穂，黒澤尚，遠藤俊吉，田中啓治<sup>1)</sup>，高野照夫<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>集中治療室)：〔一般講演〕CCUに働く医師のストレス解消法．第24回日本救急医学会関東地方会，1988.
- 33) 岩崎康孝，黒澤尚，遠藤俊吉，他：〔一般講演〕第三次救命施設に収容されるてんかん患者についての第一報．その治療．第24回日本救急医学会関東地方会，1988.
- 34) 小松正枝，岩崎正人，遠藤俊吉：〔一般講演〕神経性食思不振症の治療中大脳基底核に良性神経膠腫が疑れた一症例．第52回日本心身医学会関東地方会，1988.

## 5. 小児科学講座

### [付属病院小児科・多摩永山病院小児科]

#### 研究概要

本年度の各研究班の主な業績は次のとおりである。

血液：小児の集団検診で発見された貧血の取り扱い方，白血病の分類，晩期障害を含めた合併症・治療法などの諸問題に関するもの。

循環器：学童集団検診についての検査所見，貧血・喘息などの心機能，川崎病の心血管障害，小児の動脈硬化の危険因子としての高脂血症，新しい強心剤，digitalis like immunoreactive substance, h. ANPなどに関するもの。

呼吸器：小児呼吸音・連続性雑音の分析，胸部 impedance pneumatography による胸部疾患の検討，喘息児の特異的 IgG<sub>4</sub> 抗体に関するもの。

腎疾患：集団検尿による腎疾患の診断・管理に関する諸研究，尿比重検査導入への試み，尿蛋白分析の臨床的意義，運動負荷試験の影響に関するもの。

免疫：赤血球 C3b レセプター，phosphodiesterase 活性度に関するもの。

神経：抗けいれん剤の血中濃度と坐薬による治療に関するもの。

新生児：低出生体重児・未熟児を含む，合併症母体からの新生児，呼吸不全，分娩外傷，感染，母乳黄疸，水頭症とその予後，APR - score ラテックス，極小未熟児の栄養，NICUの臨床に関するもの。

各領域からの種々の臨床的解説とまれな症例報告。

#### 研究業績

##### 論文

- 1) Ogawa, S., Nakanishi, T.<sup>1)</sup> and Takao, A.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Tokyo Women's College Heart Institute of Japan) : [原著] Effect of Milrinone on myocardial mechanical function and cyclic AMP content in the fetal rabbit. *Pediatr. Res.*, 22, 282~285, 1987.
- 2) 伊藤保彦，浅野健，太田耕造，金子清志，古井民一郎<sup>1)</sup>，小倉雄一，山下誠夫，福永慶隆，山本正生，植田穰 (<sup>1)</sup>第二病院小児科) : [報告] FAB分類上M5とまぎらわしかった common ALLの1例. *日本小児血液学会雑誌*, 1, 147~153, 1987.
- 3) 雨宮伸<sup>1)</sup>，村上睦美，他 (<sup>1)</sup>東京都医師会学校医会腎臓疾患・小児糖尿病検討委員会) : [原著] 学校検診検尿による小児糖尿病マス・スクリーニング法改善の試み；グリコヘモグロビン測定の実用化について. *日小児会誌*, 91, 911~917, 1987.
- 4) 広津卓夫<sup>1)</sup>，植田穰，山本正生，他 (<sup>1)</sup>慈恵医大) : [原著] 小児急性性白血病患児の寛解導入時における感染予防対策. *日本小児血液学会雑誌*, 1, 53~60, 1987.
- 5) 山本正生，金子清志，太田耕造，小倉雄一，植田穰，他 : [報告] 急性リンパ性白血病に合併した Papova Virus による進行性多巣性白質脳症の1小児例. *臨血*, 28, 541~546, 1987.
- 6) 赤松洋<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科) : [総説] 早産低体重児のトータルケア. *小児看護*, 10, 469~476, 1987.
- 7) 赤松洋<sup>1)</sup>，他 (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科) : [原著] 超未熟児の生育限界. *周産期医*, 17, 509~514, 1987.
- 8) 土田昌広<sup>1)</sup>，月本一郎<sup>1)</sup>，山本正生，植田穰，小宮山淳<sup>2)</sup>，別所文雄<sup>3)</sup>，中沢真平<sup>4)</sup>，細谷亮太<sup>5)</sup> (<sup>1)</sup>東邦大，<sup>2)</sup>信



- 州大,<sup>3)</sup>東大,<sup>4)</sup>慶応大,<sup>5)</sup>聖路加病院):〔原著〕FAB分類におけるM2の多様性と数量的解釈の試み. 日本小児血液学会雑誌, 1, 135~140, 1987.
- 9) 飛田正俊, 岡部俊成, 向後俊昭, 平山恒夫, 田中真理子<sup>1)</sup>, 武雅夫<sup>2)</sup>, 石原正博<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科, <sup>2)</sup>多摩永山病院整形外科):〔報告〕大腿骨遠位骨端部の血行性化膿性骨髓炎の1幼児例. 小児臨, 40, 111~115, 1987.
- 10) 平山恒夫:〔総説〕小児の動脈硬化とその危険因子としての高脂血症. 臨栄, 71, 135~141, 1987.
- 11) 務川靖, 五十嵐利一, 加藤隆司, 吉田豊, 坂本純一<sup>1)</sup>, 真鍋重人<sup>1)</sup>, 安田正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>大宮総合病院):〔原著〕MCLSの胸部X線所見. 臨床小児放射線研究会雑誌, 3, 34~35, 1987.
- 12) 伊藤保彦, 福永慶隆, 山本正生, 植田稜, 久下栄<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日本免疫研究所):〔原著〕Flow Cytometryを用いた赤血球C3bレセプター(CR1)の測定 第1報. アレルギー, 36, 277~287, 1987.
- 13) 五十嵐利一, 務川靖, 吉田豊, 植田稜, 坂本純一<sup>1)</sup>, 真鍋重人<sup>1)</sup>, 安田正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>大宮総合病院):〔原著〕胸郭インピーダンス; 小児肺疾患のImpedance pneumographyによる診断. 現代医療, 19, 1405~1410, 1987.
- 14) 山本正生, 神野直昭, 金子清志, 太田耕造, 小倉雄一, 福永慶隆, 植田稜:〔原著〕小児急性白血病に伴う脳炎-脳症. 日本小児血液学会雑誌, 1, 14~23, 1987.
- 15) 植田稜:〔総説〕小児急性白血病の抗白血病薬による治療の諸問題. 日医大誌, 54, 573~580, 1987.
- 16) 真鍋重人<sup>1)</sup>, 安田正<sup>1)</sup>, 務川靖, 坂本純一<sup>1)</sup>, 五十嵐利一, 加藤隆司, 坂芳樹, 吉田豊 (<sup>1)</sup>大宮総合病院):〔原著〕小児気管, 気管支異物における胸部単純X線写真の検討. 臨床小児放射線研究会雑誌, 2, 40~41, 1987.
- 17) 前田美穂, 岡部俊成, 三輪純子, 向後俊昭, 山本正生, 平山恒夫, 植田稜, 前田昭太郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院病理検査室):〔報告〕13歳女子にみられた横行結腸のmucinous carcinoma. 小児診療, 50, 1250, 1987.
- 18) Takemura, T. and Akamatsu, H.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科):〔原著〕Ultrastructural study on the pulmonary parenchyma of the neonates following Prolonged mechanical ventilation. Acta Pathol.Jpn., 37, 1115~1126, 1987.
- 19) 坂本純一:〔原著〕喘息児の呼吸音分析に関する研究. 日小児会誌, 91, 1575~1587, 1987.
- 20) 村上睦美, 山本博章<sup>1)</sup>, 植田稜 (<sup>1)</sup>川崎協同病院):〔総説〕学校における尿スクリーニングの現状とその問題点. 小児内科, 19, 921~930, 1987.
- 21) 伊藤保彦, 小倉雄一, 岡部俊成, 小越丈夫, 神野直昭, 福永慶隆, 山本正生, 植田稜:〔報告〕家族集積性を認め, 新生児期より難治性の下痢, 肛門周囲膿瘍を呈し死亡した1男児例. 小児臨, 40, 2021~2026, 1987.
- 22) 山本隆彰:〔原著〕Streptococcal nephritis - strain associated proteinの精製と性状についての研究. 日医大誌, 54, 403~412, 1987.
- 23) 植田稜:〔総説〕貧血の成因と鑑別診断. 小児内科, 19, 1061~1066, 1987.
- 24) 赤松洋<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科):〔総説〕母乳(性)黄疸. 産婦の実際, 36, 1329~1334, 1987.
- 25) 赤松洋<sup>1)</sup>, 他 (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科):〔総説〕外表奇形. 産婦の実際, 36, 1411~1418, 1987.
- 26) 渡辺創<sup>1)</sup>, 山本博章, 他 (<sup>1)</sup>川崎協同病院小児科):〔原著〕気管支喘息児におけるIgE値の経年的測定に関する検討. 日小児会誌, 91, 2753~2758, 1987.
- 27) 渡辺創<sup>1)</sup>, 山本博章, 他 (<sup>1)</sup>川崎協同病院小児科):〔原著〕小児期に喘息を治療させることの重要性について. 川医会誌, 4, 58~60, 1987.
- 28) 伊藤保彦, 加藤隆司, 松岡和彦, 山本正生, 植田稜, 関山達也<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1内科):〔報告〕薬剤性と思われ, 免疫異常を伴った遷延性胆汁うっ滞性肝炎の1例. 小児診療, 50, 1820~1825, 1987.
- 29) 川上義<sup>1)</sup>, 赤松洋, 他 (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科):〔原著〕未熟児のサイトメガロウィルス感染. 新生児誌, 23, 747~751, 1987.
- 30) 川上義<sup>1)</sup>, 赤松洋, 他 (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科):〔報告〕Crib - O - Gramによる新生児聴カス

クリーニングにより発見された難聴児例について. 新生児誌, 23, 689~695, 1987.

- 31) 渡辺創<sup>1)</sup>, 山本博章, 他<sup>(<sup>1)</sup>川崎協同病院小児科)</sup>: [原著] 気管支喘息児に対する夜間眠前吸入の試み. 小児診療, 50, 1826~1828, 1987.
- 32) 吉田豊, 五十嵐利一, 務川靖: [総説] 呼吸器疾患の薬物療法. 小児臨床, 40, 2761~2779, 1987.
- 33) 吉田豊, 五十嵐利一, 務川靖: [総説] 呼吸障害の病態生理. 小児看護, 10, 1315~1323, 1987.
- 34) 赤松洋<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [総説] 分娩損傷. 小児科MOOK (新生児の神経病), 50, 145~159, 1987.
- 35) 赤松洋<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [総説] 新生児メレナ. ドクターサロン, 31, 25~28, 1987.
- 36) 務川靖, 五十嵐利一, 真鍋重人<sup>1)</sup>, 坂本純一<sup>1)</sup>, 吉田豊, 川並汪一<sup>(<sup>1)</sup>大宮総合病院)</sup>: [報告] *Trichosporon cutaneum* が抗原と思われる過敏性肺炎の兄妹発症例. 小児内科, 19, 1671~1676, 1987.
- 37) 沼口正英<sup>1)</sup>, 赤松洋, 他<sup>(<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科)</sup>: [報告] *Campylobacter fetus* の体内感染による新生児髄膜炎の1例. 産婦の実験, 38, 1803~1806, 1987.
- 38) 赤松洋<sup>1)</sup>, 他<sup>(<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科)</sup>: [総説] NICUの臨床. Innervision, 2, 17~36, 1987.
- 39) 加藤和夫<sup>1)</sup>, 葉山正陽<sup>1)</sup>, 横谷進<sup>1)</sup>, 朝比奈美子<sup>1)</sup>, 斉藤綾子<sup>1)</sup>, 豊口晶<sup>1)</sup>, 村上睦美, 山田卓男<sup>1)</sup>, 竹内道子<sup>1)</sup>, 五十嵐すみ子<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>横浜南共済病院): [原著] 横浜市金沢区における最近5年間の学校集団検尿の第三次精検の検討. 小児科, 40, 3431~3436, 1987.
- 40) 山本博章, 尾身ふじ子<sup>1)</sup>, 他<sup>(<sup>1)</sup>川崎協同病院小児科)</sup>: [原著] 新DPT 3混ワクチン接種部位マッサージによる局所反応の比較. 小児臨床, 40, 3373~3376, 1987.
- 41) 赤松洋<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [総説] 新生児細菌感染症の起炎菌; 起炎菌の変遷. 周産期医, 17(臨時増刊号), 255~263, 1987.
- 42) 山本正生, 福永慶隆, 神野直昭, 竹鼻純子, 浅野健, 伊藤保彦, 植田穰: [報告] 自己免疫性溶血清貧血およびIgA欠損症を乳児期より認め, その後 common variable immunodeficiency の病態と汎血球減少を呈してきた1女児例. 日本小児血液学会雑誌, 2, 84~89, 1988.
- 43) 村上睦美: [総説] 日本の腎不全予防対策の中の学校検尿の実践と成果. 保健同人生活教育, 3, 9~11, 1988.
- 44) 関和男<sup>1)</sup>, 赤松洋<sup>(<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科)</sup>: [原著] preterm PROMの母親から生まれた児の管理; われわれのアプローチ. 産婦の実験, 37, 239~242, 1988.
- 45) 吉田豊, 真鍋重人<sup>1)</sup>, 五十嵐利一, 務川靖<sup>(<sup>1)</sup>大宮総合病院)</sup>: [総説] 細菌性肺炎とウイルス肺炎. 画像診断, 8, 126~133, 1988.
- 46) 山本正生, 浅野健, 太田耕造, 前田美穂, 植田穰: [総説] 鉄欠乏性貧血; 最近の話題を中心に. 小児診療, 51, 213~221, 1988.
- 47) 山本正生, 伊藤保彦, 福永慶隆, 植田穰: [総説] 乳児急性白血病の特性. 小児科, 29, 153~162, 1988.
- 48) 赤松洋<sup>1)</sup>, 他<sup>(<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科)</sup>: [原著] Nosocomial infectionによるGBS敗血症 and/or 髄膜炎. 小児臨床, 41, 391~396, 1988.
- 49) 岡部俊成, 飛田正俊, 加藤隆司, 向後俊昭, 平山恒夫, 他: [原著] モノクロナール抗体を用いた高感度IgEキットの基礎的, 臨床的検討. 小児臨床, 41, 401~408, 1988.
- 50) 前田美穂, 太田耕造, 植田穰: [原著] 昭和61年度貧血検査の実施成績と貧血相談室の診療概要. 東京都予防医学協会協会年報 昭和61年度版, 第17巻, p.56~60, 1988.
- 51) 村上睦美, 植田穰: [総説] 食事療法; 小児腎疾患の食事療法. 小児科, 29, 249~257, 1988.
- 52) 渡辺正規, 渡辺善一郎, 小川俊一, 磯裕明, 日野佳昭, 津村治男, 平山恒夫, 神野直昭, 安田正<sup>1)</sup>, 他<sup>(<sup>1)</sup>大宮総合病院)</sup>: [報告] 右主肺動脈閉鎖, 心室中隔欠損, 動脈管開存, 左上大静脈遺残, 両側重複腎盂・尿管を伴った

4q intersitial deletion の 1 例. 小児臨床, 41, 535~540, 1988.

## 著 書

- 1) Johnston, R.B., Kitagawa, S., Edwards, C.K., Channon, J.Y. and Suzuki, H.: [分担] The respiratory burst in activated macrophage. "Host Defenses and Immunomodulation to Intracellular Pathogens" (Eisenstein, G. ed.), p.142~152, Plenum, New York, 1987.
- 2) 山本正生: [分担] 小児科総論. "医師国家試験パートナーシリーズ 昭和63年度版 臨床実地問題注解 小児科" p. 1~48, 金原出版, 1987.
- 3) 小宮山淳<sup>1)</sup>, 植田穰, 山本正生, 他<sup>(<sup>1)</sup>信州大)</sup>: [分担] 小児急性非リンパ性白血病のFAB分類. "小児血液がんの病態と治療" (藤本猛男編), p.44~50, 癌と科学療法社, 1987.
- 4) 吉田豊: [分担] 呼吸困難. "小児看護 看護学双書" (小林登他編), p.294~304, 文光堂, 1987.
- 5) 吉田豊, 五十嵐利一, 務川靖: [分担] 気胸, 縦隔気腫. "小児疾患の診断治療基準" (馬場一雄, 小林登監), p.428~429, 東京医学社, 1987.
- 6) 吉田豊: [分担] 呼吸困難. "今日の小児治療指針 第7版" (塙嘉之他編), p.17~19, 医学書院, 1987.
- 7) 吉田豊: [分担] 細菌性肺炎. "今日の小児治療指針 第7版" (塙嘉之他編), p.349~351, 医学書院, 1987.
- 8) 五十嵐利一, 務川靖, 坂本純一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>大宮総合病院): [分担] 扁桃肥大; アデノイド増殖症. "小児疾患の診断治療基準" (馬場一雄, 小林登監), p.400~401, 東京医学社, 1987.
- 9) 山本正生, 前田美穂, 植田穰: [分担] 血液・造血器疾患; 鉄欠乏性貧血. "小児疾患の診断治療基準" (馬場一雄, 小林登監), p.478~479, 東京医学社, 1987.
- 10) 赤松洋<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [分担] 呼吸不全. "診断・治療マニュアル第1版" (阿部裕他編集主幹), p.1339, 金原出版, 1987.
- 11) 赤松洋<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [分担] 合併症母体よりの新生児の取り扱い. "今日の小児治療指針 第7版" (塙嘉之他編), p.168, 医学書院, 1987.
- 12) 村上睦美: [分担] 慢性糸球体腎炎. "今日の小児治療指針 第7版" (塙嘉之他編), p.464~465, 医学書院, 1987.
- 13) 村上睦美: [分担] Chance proteinuria and/or hematuria. "小児疾患の診断治療指針" (馬場一雄他編), p.532~533, 東京医学社, 1987.
- 14) 五十嵐利一, 務川靖, 吉田豊, 植田穰, 坂本純一<sup>1)</sup>, 真鍋重人<sup>1)</sup>, 安田正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>大宮総合病院): [分担] 胸郭インピーダンス; 小児肺疾患のImpedance pneumographyによる診断. "成人病治療の進歩; 新しい治療効果判定法" (吉村正治他編), p.269~274, 現代医療社, 1987.
- 15) 山本正生: [分担] 乳幼児集団における感染症の扱い方. "小児保険シリーズ No.32 乳幼児の健診と保育" (平山宗宏, 高野陽編), p.49~59, 日本保健協会, 1988.
- 16) 村上睦美: [分担] 慢性腎炎: 集団検尿の現場から. "気になる病気の基礎知識", p.232~233, 日本エディタースクール出版部, 1988.
- 17) 村上睦美: [分担] 検尿システムと学校医. "学校医マニュアル" (大国真彦編), p.108~126, 文光堂, 1988.
- 18) 吉田豊: [分担] 胸痛. "今日の小児治療指針 第1版" (前川喜平他編), p.141~143, 医学書院, 1988.
- 19) 村上睦美: [分担] 血清カリウムの異常. "今日の小児診断指針 第1版" (前川喜平他編), p.265~268, 医学書院, 1988.
- 20) 赤松洋<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [分担] 新生児の分娩損傷. "今日の治療指針 第2版" (亀山正邦他編), p.1508, 医学書院, 1988.

- 21) 村上睦美：〔分担〕急性糸球体腎炎，ネフローゼ症候群，紫斑病性腎炎．“新薬物療法 ’88年版”（上田泰他編），p.462～463，478～481，メジカルビュー，1988．

## 学会発表

- 1) 五十嵐利一，務川靖，加藤隆司，山本正生，吉田豊，植田穰，坂本純一<sup>1)</sup>，真鍋重人<sup>1)</sup>，安田正<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>大宮総合病院）：〔一般講演〕小児における経胸郭的インピーダンス法（II）．第90回日本小児科学会総会，1987．
- 2) 村上睦美：〔シンポジウム〕小児科医と学校保健；慢性疾患患児の健診と管理；腎疾患．第90回日本小児科学会総会，1987．
- 3) 渡辺創<sup>1)</sup>，山本博章，他（<sup>1)</sup>川崎協同病院小児科）：〔一般講演〕気道過敏性の年齢別変動についての検討；喘息児と非喘息児との比較．第90回日本小児科学会総会，1987．
- 4) 渡辺正規，古谷正伸，藤田武久，津村治男，藤野修，磯裕明，弓削邦夫<sup>1)</sup>，橋本清<sup>2)</sup>，平山恒夫，植田穰，守田利貞<sup>3)</sup>，他（<sup>1)</sup>三菱重工大倉山病院，<sup>2)</sup>付属第二病院，<sup>3)</sup>国立東静病院）：〔一般講演〕糖原病，Congenital generalized lipodystrophy，Mitochondrial myopathyに伴った心筋疾患の3例．第90回日本小児科学会総会，1987．
- 5) 渡辺善一郎，神保修，渡辺正規，日野佳昭，小川俊一，津村治男，磯裕明，山本正生，平山恒夫，植田穰：〔一般講演〕貧血時における超音波心エコー図およびパルスドプラ法による左心機能の検討．第90回日本小児科学会総会，1987．
- 6) 村上睦美：〔特別講演〕学校集団検尿．第50回日本小児科学会埼玉地方会，1987．
- 7) 横谷進<sup>1)</sup>，葉山正陽，加藤和夫<sup>1)</sup>，他（<sup>1)</sup>横浜南共済病院）：〔一般講演〕新生児期より治療を開始した仮性低アルドステロン症の1女児例．第167回日本小児科学会神奈川県地方会，1987．
- 8) 守田利貞<sup>1)</sup>，上砂光裕，飛田正俊（<sup>1)</sup>国立東静病院）：〔一般講演〕新生児寒冷障害の1例．第68回日本小児科学会静岡地方会，1987．
- 9) 飛田正俊，上砂光裕，守田利貞<sup>1)</sup>，（<sup>1)</sup>国立東静病院）：〔一般講演〕FAB分類上L1の特徴を示し，OKM1陽性で，ANLLの治療に反応したAML（M1）の1症例．第68回日本小児科学会静岡地方会，1987．
- 10) 宗像恵美子，伊藤加壽子，安保和俊，土屋正己，村上睦美，山本博章<sup>1)</sup>，植田穰（<sup>1)</sup>川崎協同病院）：〔一般講演〕集団検尿での尿比重検査の検討．第22回日本小児腎臓病学会，1987．
- 11) 松浦賢長<sup>1)</sup>，倉橋俊至，村上睦美，山本博章<sup>2)</sup>，植田穰，村上勝美（<sup>1)</sup>東京大学，<sup>2)</sup>川崎協同病院）：〔一般講演〕微少血尿を呈する症例への対応に関する研究．第22回日本小児腎臓病学会，1987．
- 12) 村上睦美，伊藤拓，他：〔一般講演〕東京における学校集団検尿の実態．第22回日本小児腎臓病学会，1987．
- 13) 務川靖，五十嵐利一，吉田豊，坂本純一<sup>1)</sup>，真鍋重人<sup>1)</sup>，安田正<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>大宮総合病院）：〔一般講演〕小児の連続性ラ音の解析について．第10回肺音研究会，1987．
- 14) 神前格<sup>1)</sup>，福原幸子<sup>1)</sup>，兼田瑞穂<sup>1)</sup>，鈴木均，柿沼カツ子<sup>1)</sup>，南谷幹夫<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>東京都臨床医学総合研究所，<sup>2)</sup>都立駒込病院）：〔一般講演〕好中球機能異常症の診断—過去7年間の症例検討．第8回日本炎症学会，1987．
- 15) 安保和俊，伊藤加壽子，宗像恵美子，土屋正己，芦田光則<sup>1)</sup>，村上睦美，山本博章<sup>2)</sup>，植田穰，石崎正通<sup>3)</sup>，山中宣昭<sup>3)</sup>，馬杉洋三<sup>3)</sup>（<sup>1)</sup>勝榮堂病院，<sup>2)</sup>川崎協同病院，<sup>3)</sup>第1病理）：〔一般講演〕Small kidney 12例の臨床病理学的検討．第22回日本小児腎臓病学会，1987．
- 16) 伊藤加壽子，安保和俊，土屋正己，岡部俊成，宗像恵美子，松岡和彦，村上睦美，平山恒夫，植田穰，渋谷正則<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>多摩永山病院生化学研究室）：〔一般講演〕High-performance Gel Permeation Chromatography（GPC）による尿蛋白の分析とその臨床応用 第2報．第22回日本小児腎臓病学会，1987．
- 17) 榎戸久，古谷正伸，藤田武久<sup>1)</sup>，釜菟敏，藤野修，橋本清<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第二病院小児科）：〔一般講演〕てんかん患児におけるカルバマゼピン（CBZ）の遊離型血中濃度に関する検討．第29回日本小児神経学会総会，1987．

- 18) 榎戸久, 古谷正伸, 藤田武久<sup>1)</sup>, 釜薙敏, 藤野修, 橋本清<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第二病院小児科) : [ 展示 ] 四肢不全麻痺を初発症状とした頸髄 enterogenous cyst の一女児例. 第29回日本小児神経学会総会, 1987.
- 19) 関和男<sup>1)</sup>, 赤松洋, 他 ( <sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科) : [ 一般講演 ] 新生児期発症の HOCM を合併した Noonan 症候群の 1 例. 第23回日本小児循環器学会, 1987.
- 20) 古谷正伸, 榎戸久, 藤田武久<sup>1)</sup>, 小川俊一, 釜薙敏, 津村治男, 藤野修, 橋本清<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第二病院小児科) : [ 展示 ] 拡張型心筋症様所見を呈した Becker 型筋ジストロフィー症の一例. 第29回日本小児神経学会総会, 1987.
- 21) 小川俊一, 中西敏雄<sup>1)</sup>, 高尾篤良<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>東京女子医大・心研) : [ 一般講演 ] 新しい強心薬 Milrinone の未熟心筋における陽性変力効果. 第23回日本小児循環器学会, 1987.
- 22) 神保修, 小川俊一, 津村治男, 渡辺正規, 日野佳昭, 渡辺善一郎, 平山恒夫, 山内邦昭<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>東京都予防医学協会) : [ 一般講演 ] 学校心臓検診におけるコンピュータ自動解析による QTc の再検討. 第23回日本小児循環器学会, 1987.
- 23) 西巻滋<sup>1)</sup>, 赤松洋, 他 ( <sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科) : [ 一般講演 ] 過去 7 年間に経験した先天性閉塞性水頭症 9 例の検討. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 24) 西沢善樹<sup>1)</sup>, 継仁, 赤松洋, 他 ( <sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科) : [ 一般講演 ] 細菌性敗血症 and/or 髄膜炎の起炎菌と発症日齢. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 25) 川上義<sup>1)</sup>, 赤松洋, 他 ( <sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科) : [ 一般講演 ] 尿中よりサイトガロウィルス分離同定された 4 症例. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 26) 日野佳昭, 神保修, 渡辺正規, 渡辺善一郎, 小川俊一, 津村治男, 磯裕明, 平山恒夫 : [ 一般講演 ] 川崎病遠隔期患児における心房ペースング負荷による冠循環動態と左室機能の変動. 第23回日本小児循環器学会, 1987.
- 27) 榎戸久, 古谷正伸, 二上哲志<sup>1)</sup>, 釜薙敏, 高石康子, 藤野修, 植田穰, 藤田武久<sup>2)</sup>, 橋本清<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>伊豆通信病院, <sup>2)</sup>第二病院小児科) : [ 一般講演 ] てんかん患児におけるカルバマゼピン (CBZ) の遊離型血中濃度に関する検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 28) 岡部俊成, 加藤隆司, 飛田正俊, 向後俊昭, 平山恒夫, 山本正生, 植田穰 : [ 一般講演 ] ホスホジエステラーゼ (PDE) 活性測定法の検討および気管支喘息患児における PDE 値について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 29) 岡部俊成, 加藤隆司, 向後俊昭, 平山恒夫, 他 : [ 一般講演 ] モノクロナール抗体を用いた高感度 IgE 測定キットの基礎的および臨床的検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 30) 渋谷正則<sup>1)</sup>, 渡辺正規, 平山恒夫, 日野佳昭, 太田耕造, 伊藤加寿子, 植田穰, 山口乙丸<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>多摩永山病院生化学研究室, <sup>2)</sup>小豆沢病院) : [ 一般講演 ] 新生児臍帯血中の Digixin-like Immunoreactive Substance について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 31) 小倉雄一, 山本正生, 植田穰, 上田一博<sup>1)</sup>, 桜井実<sup>2)</sup>, 宮崎澄雄<sup>3)</sup>, 横山雄<sup>4)</sup>, 月本一郎<sup>5)</sup>, 中沢真平<sup>6)</sup>, 別所文雄<sup>7)</sup>, 鞭熙<sup>8)</sup> ( <sup>1)</sup>広島大, <sup>2)</sup>三重大, <sup>3)</sup>佐賀医大, <sup>4)</sup>弘前大, <sup>5)</sup>東邦大, <sup>6)</sup>慶応大, <sup>7)</sup>東京大, <sup>8)</sup>自治医大) : [ 一般講演 ] 小児期白血病長期寛解患者にみられる後期障害について (第一次アンケート調査結果). 第29回日本小児血液学会, 1987.
- 32) 藤田武久<sup>1)</sup>, 渋谷展子<sup>1)</sup>, 橋本清<sup>1)</sup>, 太田秀穂<sup>1)</sup>, 小坂好男<sup>2)</sup>, 伊藤桂子<sup>2)</sup>, 平野公晟<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>第二病院小児科, <sup>2)</sup>同薬剤科) : [ 一般講演 ] てんかん患児におけるバルプロ酸ナトリウムの朝服用前血中濃度に関する検討; 特に L/D 比について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 33) 榎戸久, 古谷正伸, 釜薙敏, 藤野修, 藤田武久<sup>1)</sup>, 橋本清<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第二病院小児科) : [ 一般講演 ] 7 歳以降まで経過を追跡した複合型熱性けいれんの予後. 第21回日本てんかん学会, 1987.
- 34) 加藤隆司, 岡部俊成, 向後俊昭, 平山恒夫, 務川靖, 五十嵐利一, 飛田正俊, 吉田豊, 山本正生, 植田穰 : [ 一般講演 ] 気管支喘息時における特異 IgG4 (ハウスダスト, ダニ) 測定値の 1 年後の変化と臨床経過との検討.

第20回日本小児呼吸器疾患学会, 1987.

- 35) 関和男<sup>1)</sup>, 継仁, 赤松洋, 他 (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [一般講演] GBS latex testの有用性. 第32回未熟児新生児学会, 1987.
- 36) 継仁, 赤松洋<sup>1)</sup>, 他 (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [一般講演] APR - Scoreラテックスの有用性について. 第32回未熟児新生児学会, 1987.
- 37) 勝部康弘, 榎戸久, 古谷正伸, 釜菴敏, 藤野修, 藤田武久<sup>1)</sup>, 橋本清<sup>1)</sup>, 鬼海靖彦, 長尾建樹<sup>2)</sup>, 平孝臣<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院小児科, <sup>2)</sup>下館市民病院脳神経外科): [展示] 部分発作で発症した脳動静脈奇形の1例. 第21回日本てんかん学会, 1987.
- 38) 西巻滋<sup>1)</sup>, 赤松洋, 他 (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [一般講演] 脳室腹腔内短絡術 (VPシャント術) 施行水頭症児の運動発達と精神発達. 第32回未熟児新生児学会, 1987.
- 39) 西沢善樹<sup>1)</sup>, 継仁, 赤松洋, 他 (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [一般講演] 細菌性敗血症 and/or 髄膜炎の出生体重と危険因子. 第32回未熟児新生児学会, 1987.
- 40) 赤松洋<sup>1)</sup>, 継仁, 他 (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [一般講演] ハイリスク新生児の再入院. 第32回未熟児新生児学会, 1987.
- 41) 赤松洋<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [基調講演] 極小未熟児の栄養; 最近のトピックス (蛋白, ペプチド, 脂質, 糖質を中心に). 第32回未熟児新生児学会プレ・コンgresセミナー, 1987.
- 42) 村上睦美: [特別講演] 集団検尿の問題点. 中四国小児腎臓病研究会, 1987.
- 43) 務川靖, 五十嵐利一, 坂本純一, 真鍋重人, 吉田豊: [一般講演] Accessory Diaphragmと思われた1例. 第19回臨床小児放射線研究会, 1987.
- 44) 務川靖, 五十嵐利一, 吉田豊, 植田穰, 坂本純一<sup>1)</sup>, 真鍋重人<sup>1)</sup>, 安田正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>大宮総合病院): [一般講演] 気管支喘息児の連続性ラ音解析方法の検討. 第20回日本小児呼吸器疾患学会, 1987.
- 45) 務川靖, 五十嵐利一, 吉田豊, 植田穰, 坂本純一<sup>1)</sup>, 真鍋重人<sup>1)</sup>, 安田正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>大宮総合病院): [一般講演] 気管支喘息児の連続性ラ音の解析 (第1報). 第20回日本小児呼吸器疾患学会, 1987.
- 46) 安保和俊, 伊藤加壽子, 宗像恵美子, 土屋正己, 村上睦美, 山本博章<sup>1)</sup>, 植田穰, 石崎正通<sup>2)</sup>, 山中宣昭<sup>2)</sup>, 馬杉洋三<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>川崎協同病院, <sup>2)</sup>第1病理): [一般講演] 10年間経過を観察し得たMPGN 10例の臨床経過ならびに治療効果に関する検討. 第30回日本腎臓病学会, 1987.
- 47) 伊藤加壽子, 安保和俊, 土屋正己<sup>1)</sup>, 岡部俊成, 宗像恵美子, 松岡和彦, 村上睦美, 山本博章, 平山恒夫, 植田穰, 渋谷正則<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院生化学研究室): [一般講演] 小児慢性糸球体腎炎 (IgA腎症) 患児への運動負荷に対する影響. 第30回日本腎臓病学会, 1987.
- 48) 岡部俊成, 加藤隆司, 向後俊昭, 平山恒夫, 他: [一般講演] モノクロナール抗体を用いた高感度IgE測定キットの基礎的・臨床的検討. 第24回日本小児アレルギー学会, 1987.
- 49) 山本博章, 尾身ふじ子<sup>1)</sup>, 他 (<sup>1)</sup>川崎協同病院小児科): [一般講演] 健康児に対する水痘生ワクチン接種後の臨床的追跡調査成績. 第34回日本小児保健学会総会, 1987.
- 50) 勝部康弘, 神保修, 渡辺善一郎, 小川俊一, 前田美穂, 平山恒夫: [一般講演] Idiopathic sick sinus syndromeの一小児例. 第126回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1987.
- 51) 松浦賢長<sup>1)</sup>, 倉橋俊至<sup>1)</sup>, 平山宗宏<sup>1)</sup>, 村上睦美, 植田穰 (<sup>1)</sup>東大保健衛生学科): [一般講演] 学校検尿における微量血尿にかんする研究. 第34回日本小児保健学会, 1987.
- 52) 川上義<sup>1)</sup>, 赤松洋, 他 (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [一般講演] 新生児期に重傷の脳障害児と診断された児の乳児期以降の療育について. 第34回日本小児保健学会, 1987.
- 53) 浅野健, 務川靖, 山本正生, 植田穰: [一般講演] 術後 Vincristin, adriamycin, cyclophosphamideの三者併

用療法により二年間寛解状態を持續している ovarian mixed germ cell tumor の 1 女児例. 第 3 回日本小児がん研究会, 1987.

- 54) 村上睦美, 伊藤加壽子, 宗像恵美子, 安保和俊, 土屋正己, 山本博章<sup>1)</sup>, 植田穰, 岡田義治<sup>2)</sup>, 山内邦昭<sup>2)</sup>  
(<sup>1)</sup>川崎協同病院, <sup>2)</sup>東京都予防医学協会): [一般講演] 集団検尿への尿比重検査導入の試み. 第34回日本小児保健学会, 1987.
- 55) 藤野修, 榎戸久, 古谷正伸, 高石康子, 釜薙敏, 藤田武久<sup>1)</sup>, 橋本清<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院小児科): [一般講演] ジアゼパム坐剤による熱性痙攣の治療. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 56) 豊口晶<sup>1)</sup>, 他 (<sup>1)</sup>横浜南共済病院): [一般講演] Diego式血液型不適合による新生児溶血性黄疸の 1 例. 第169回日本小児科学会神奈川県地方会, 1987.
- 57) 麻生誠二郎<sup>1)</sup>, 赤松洋, 他 (<sup>1)</sup>日赤医療センター新生児未熟児科): [一般講演] 一般病院小児科における重傷心身障害児医療の現況. 第34回日本小児保健学会, 1987.
- 58) 神保修, 勝部康弘, 渡辺善一郎, 安保和俊, 小川俊一, 津村治男, 村上睦美, 平山恒夫: [一般講演] 右矮小腎および左腎に腎外腎盂を伴った大動脈縮窄症の 1 例. 第371回日本小児科学会東京都地方会講話会. 1987.
- 59) 吉田豊, 五十嵐利一, 務川靖, 植田穰, 坂本純一<sup>1)</sup>, 真鍋重人<sup>1)</sup>, 安田正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>大宮総合病院): [一般講演] 小児気管支喘息に対する小青竜湯, 小紫胡湯の使用経験. 第 7 回東京小児東洋医学懇話会, 1987.
- 60) 吉田豊: [特別講演] 小児喘息の対策; 小児科的考え方. 第17回日本小児耳鼻咽喉科研究会, 1987.
- 61) 岡部俊成, 飛田正俊, 加藤隆司, 向後俊昭, 平山恒夫, 前田美穂, 他: [一般講演] 13歳女児の横行結腸癌の 1 例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 62) 今井大洋<sup>1)</sup>, 川畑勉<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>栃木県南総合病院): [一般講演] 川崎病再発例 3 例の臨床的検討. 第53回日本小児科学会栃木県地方会, 1988.
- 63) 小松崎英樹<sup>1)</sup>, 豊口晶, 斉藤綾子, 朝比奈美子, 横谷進, 加藤和夫 (<sup>1)</sup>横浜南共済病院): [一般講演] 小児アルコール性低血糖症の 2 例. 第170回日本小児科学会神奈川県地方会, 1988.
- 64) 小西好文<sup>1)</sup>, 山本博章, 他 (<sup>1)</sup>川崎協同病院小児科): [一般講演] 小児外傷性肺気腫の 1 例. 第 5 回川崎市医師会医学会, 1988.
- 65) 務川靖, 五十嵐利一, 坂本純一<sup>1)</sup>, 真鍋重人<sup>1)</sup>, 吉田豊 (<sup>1)</sup>大宮総合病院): [一般講演] Accessory diaphragm と思われた 1 例. 第374回日本小児科学会東京都地方会, 1988.
- 66) Murakami, M., Ueda, Y. and Murakami, K.: [シンポジウム] Urinary mass screening at elementary and junior high school children in Japan. 6th Asian Congress of Pediatrics(Tokyo), 1988.

## [第一病院小児科]

### 研究概要

昭和62年度は付属病院より第一病院への移転により, 研究面についても種々のマイナス要因が影響し, 研究業績として示されたものは例年に比し減少した. しかし, 現在では, 医局員各自の努力とともに, 研究課題の拡大充実と進行は着々と行れてきており, 期して待つべきものがある.

本年度の研究概要は次のとおり.

小児糖尿病: 小児 IDDM の合併症 (厚生省研究班) について, 各種パラメータについて検索中であるが, 特に尿中微量アルブミンなど腎合併症の早期発見について.

小児 IDDM について, 日常生活, サマーキャンプ時のコントロール状態の分析とこれに基づいた妥当性のあるコントロール基準の作成について.

小児肥満: 超音波断層法 (Bモード) による皮下脂肪厚の測定, 水中体重判定法による %fat の測定などにより,

小児肥満のより正確な測定法の検討を行い、これを基としての肥満児各種代謝異常の判別にとりかかっている。

小児てんかん： てんかんに対する抗けいれん剤使用について、その断薬の基準、副作用、相互干渉作用などについての研究が進行中。

気管支喘息： アストグラフによる小児気管支喘息の肺機能分析について、次年度にも引き続き発表の予定。

循環器： ACTH注射による心筋の肥厚現象について動物実験も加えて検討を加えてきた。

## 研究業績

### 論文

- 1) 江口儀太, 渡部博道, 野沢富一, 菅井光明, 若林恒郎, 手代木正, 留目優子, 大国寿士: [原著] Culturette Brand Ten - Minute group A Strep. IDの使用経験; A群レンサ球菌同定法であるStrept ID法と培養法の比較検討. 小児臨床, 40, 1201~1204, 1987.
- 2) Teshirogi, T., Hosoi, H., Ohki, Y. and Kagoshima, T.: [原著] Classification of diabetes mellitus by studies of c-peptide secretory capacity. Acta Paediatr. Jpn., 29, 325~339, 1987.
- 3) 江上格, 会田邦晴, 金徳栄, 渡辺章, 内藤善哉, 和田雅世, 吉村和泰, 山本達也, 思田昌彦, 鹿子島俊夫, 手代木正: [原著] 破裂肝芽腫T4のsecond look超右3区域切除による治療切除成功の1例. 小児外科, 19, 1605~1610, 1987.
- 4) 二宮恵子, 判治直人, 渡辺茂, 石川辰雄, 斎藤正敏, 花開さなえ, 藤井栄一, 手代木正: [原著] 小児難治性てんかんACTH療法中にみられた心肥大および心機能変化について. 日本小児循環器病学会雑誌, 3, 246~250, 1987.
- 5) 江口儀太, 仁藤卓二: [原著] 北村山地区におけるA群溶連菌保菌者の実態調査 第3報. 山形医師会報, 432, 54~59, 1987.
- 6) 市瀬裕美, 目沢憲一, 宮本幹夫, 若林恒郎, 手代木正: [原著] 小児気管支喘息におけるアストグラフの使用経験. 日医大誌, 54, 669~672, 1987.
- 7) Ichinose, H., Tatsuoka, T., Hosoi, H., Teshirogi, T., Ueda, Y., Urabe, A. and Takaku, F.: [原著] Report of a case with congenital pure red cell aplasia and triphalangeal thumbs; Aase syndrome. Acta Paediatr. Jpn., 29, 877~878, 1987.
- 8) 海老原和子, 岸恵, 若林恒郎: [原著] Prepulseless stageより観察しえた大動脈炎症候群の一例. 臨床小児放射線研究会雑誌, 3, 32~33, 1987.

### 著書

- 1) 手代木正: [分担] 精神疾患 遺尿症. “今日の小児治療指針 第7版” (塙嘉之, 三河春樹, 重田政信編), p.538~539, 医学書院, 1987.
- 2) 若林恒郎: [分担] 救急処置 溺水. “今日の小児治療指針 第7版” (塙嘉之, 三河春樹, 重田政信編), p.26~27, 医学書院, 1987.
- 3) 若林恒郎: [分担] 救急処置 熱射病. “今日の小児治療指針 第7版” (塙嘉之, 三河春樹, 重田政信編), p.23~24, 医学書院, 1987.

### 学会発表

- 1) 目沢憲一, 松崎慎一郎, 若林恒郎: [一般講演] 梅毒性骨軟骨炎の1乳児例. 第25回埼玉県医学会総会, 1987.
- 2) 藤井栄一, 平柳直人, 峰田喬臣, 手代木正: [一般講演] 初診時VEPの無反応を呈し, ACTH療法により, そ



- の正常化を認めた特発性 West 症候群の一例。第15回関東小児てんかん研究会，1987。
- 3) 江口儀太，渡部博道，野沢富一，神田佳和，吉野芳夫，手代木正：〔一般講演〕MCLS 及び急性下気道炎における Vitamin A の変動とその意義について。第90回日本小児科学会総会，1987。
  - 4) 大木由加志，峰田喬臣，細井宏益，手代木正：〔一般講演〕小児糖尿病 Summer Camp 中の Control 状況と，それに基づいた Control 基準について。第90回日本小児科学会総会，1987。
  - 5) 龍岡達子，入江学，二宮恵子，手代木正，平井幸彦，吉野芳夫：〔一般講演〕ラット初代培養肝細胞におけるインスリン受容体の年齢的差違について。第90回日本小児科学会総会，1987。
  - 6) 岸恵，大木由加志，峰田喬臣，細井宏益，手代木正：〔一般講演〕Novopen system を用いた半合成ヒトインスリン類回注射法の使用経験。第90回日本小児科学会総会，1987。
  - 7) 渡辺茂，石川辰雄，二宮恵子，斉藤正敏：〔一般講演〕大動脈からの冠動脈起始異常の4例。第23回日本小児循環器学会，1987。
  - 8) 石川辰雄，二宮恵子，望月信幸，判治直人，斉藤正敏，渡辺茂，高見沢邦武：〔一般講演〕Balloon catheter と tip deflecting wire を用いた右心カテ法の1手技。第23回日本小児循環器学会，1987。
  - 9) 二宮恵子，石川辰雄，梶尾房枝，判治直人，望月信幸，斉藤正敏，手代木正：〔一般講演〕ドップラーエコー法による肺血管抵抗の非侵襲的評価。第23回日本小児循環器学会，1987。
  - 10) 野沢富一，渡部博道，江口儀太：〔一般講演〕過去2年間に於ける北村山地区学童の学校検尿結果について。第39回日本小児科学会山形地方会，1987。
  - 11) 山際岩雄，小幡和也，内藤万砂文，内藤真一，鷲尾正彦，大田政広，江口儀太：〔一般講演〕進行性神経芽細胞腫に対する東北地区グループスタディプロトコールにより著明に縮小し，切除できた stage III。第39回日本小児科学会山形地方会，1987。
  - 12) 大木由加志，角田守，望月信幸，幡谷直樹，峰田喬臣，細井宏益，手代木正：〔一般講演〕IDDM 患者の尿中アルブミン，尿中 NAG および尿中  $\beta_2$ -マイクログロブリンについて。第5回小児糖尿病カンファレンス，1987。
  - 13) 細井宏益，入江学，望月信幸，幡谷直樹，鹿子島俊夫，大木由加志，峰田喬臣，手代木正：〔一般講演〕小児糖尿病サマーキャンプ参加 IDDM 児の尿中微量アルブミンについて。第55回日本医科大学医学会総会，1987。
  - 14) 大木由加志，望月信幸，幡谷直樹，峰田喬臣，細井宏益，手代木正：〔一般講演〕IDDM 患者の Control 状況と Control 基準について。第21回日本小児内分泌学会，1987。
  - 15) 渡部博道，野沢富一，江口儀太：〔一般講演〕北村山地区で過去3年間に見られたA群レンサ球菌の菌型及びその変動について。第40回日本小児科学会山形地方会，1987。

## 〔第二病院小児科〕

### 研究概要

付属病院との協力体制もようやく整い，特に神経研究班による意識障害，てんかん，変性疾患などの研究が第二病院を中心に行われるようになった。

新生児，未熟児については産科との診療面における協力体制は略々確立したものの担当人員の不足から班としての活躍はいまだしの観があるが着々とデータ整理を行っている。

循環器も前年に引き続き川崎病を中心とした心血管の解剖学的，生化学的分析に意欲的に取り組んでいる。また川崎市の児童，生徒の集団検診についても診断，判定基準が設定されてデータ処理が行えるようになった。

アレルギー班に関しては担当人員不足に反比例して患者が増加し，データ分析に苦勞しているが近々に成績が得られるものと期待している。

ラットによる消化酵素の膜消化に関する研究は第二生化学教室の協力を得てラクターゼおよびマルターゼについて

はすでに成果を収め、現在はペプチダーゼについての実験が行われている。

## 論文

- 1) 品川洋一, 太田裕子, 木村方美, 石井民一郎, 太田秀穂, 福永淳<sup>1)</sup>, 佐藤雅史<sup>1)</sup>, 渡部英之<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>1)</sup>, 川並汪一<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>第二病院放射線科, <sup>2)</sup>同病理 ): [報告] 下痢を誘因とした迷入脾による腸重積症の一例. 臨床小児放射線研究会雑誌, 3, 72~73, 1987.
- 2) 橋本清: [総説] MRIによる単純ヘルペス脳炎の早期診断. 医のあゆみ, 144, 903, 1988.

## 著書

- 1) 橋本清: [分担] 失神. “今日の小児診断指針” (前川喜平, 白木和夫, 土屋裕編), p.70~72, 医学書院, 1988.

## 学会発表

- 1) 林毅陸, 西沢善樹, 永井雄一, 藤田武久, 古井民一郎, 武藤隆雄, 品川洋一, 橋本清, 太田秀穂: [一般講演] 川崎病に合併した急性脳症. 第90回日本小児科学会総会, 1987.
- 2) 品川洋一, 太田裕子, 木村方美, 古井民一郎, 太田秀穂, 福永淳<sup>1)</sup>, 渡部英之<sup>1)</sup>, 佐藤雅史<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>1)</sup>, 川並汪一<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>第二病院放射線科, <sup>2)</sup>同病理 ): [一般講演] 下痢を誘因とした迷入脾による腸重積症の一例. 第18回小児放射線研究会, 1987.
- 3) 橋本清, 藤田武久, 矢嶋浩三<sup>1)</sup>, 古谷正伸<sup>2)</sup>, 小越文夫<sup>2)</sup>, 河村弘康<sup>3)</sup>, 佐藤順一<sup>4)</sup>, 森松義雄<sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup>脳神経外科, <sup>2)</sup>下館市民病院小児科, <sup>3)</sup>下館市民病院脳外科, <sup>4)</sup>東京都神経研病理 ): [一般講演] 大脳白質, 基底核, 視床に主座を有し, 強いアストログリアの反応を示す慢性炎症の1例. 第28回日本神経病理学会総会, 1987.
- 4) 品川洋一, 小泉要介, 太田裕子, 木村方美, 渡辺一雄, 太田秀穂, 平井真実<sup>1)</sup>, 三樹勝<sup>1)</sup>, 川並汪一<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>第二病院外科, <sup>2)</sup>同病理 ): [一般講演] 迷入脾による腸重積症の一例. 第167回日本小児科学会神奈川県地方会, 1987.
- 5) 榎戸久<sup>1)</sup>, 古谷正伸<sup>1)</sup>, 釜菴敏<sup>1)</sup>, 藤野修<sup>1)</sup>, 藤田武久, 橋本清 ( <sup>1)</sup>付属病院小児科 ): [一般講演] てんかん患児におけるカルバマゼピン (CBZ) の遊離型血中濃度に関する検討. 第29回日本小児神経学会総会, 1987.
- 6) 榎戸久<sup>1)</sup>, 古谷正伸<sup>1)</sup>, 釜菴敏<sup>1)</sup>, 藤野修<sup>1)</sup>, 藤田武久, 橋本清, 中野博美<sup>2)</sup>, 佐藤潔<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院小児科, <sup>2)</sup>順天堂大脳外科 ): [一般講演] 四肢不全麻痺を初発症状とした頸髄 enterogenous cyst の1女児例. 第29回日本小児神経学会総会, 1987.
- 7) 榎戸久<sup>1)</sup>, 古谷正伸<sup>1)</sup>, 二上哲志<sup>1)</sup>, 釜菴敏<sup>1)</sup>, 高石康子<sup>1)</sup>, 藤野修<sup>1)</sup>, 植田穰<sup>1)</sup>, 藤田武久, 橋本清 ( <sup>1)</sup>付属病院小児科 ): [一般講演] てんかん患児におけるカルバマゼピン (CBZ) の遊離濃度に関する検討. 第55回日本医大医学会総会, 1987.
- 8) 藤田武久, 渋井展子, 橋本清, 太田秀穂, 小坂好男<sup>1)</sup>, 伊藤桂子<sup>1)</sup>, 平野公晟<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第二病院薬剤科 ): [一般講演] てんかん患児におけるバルプロ酸ナトリウムの朝服薬前血中濃度に関する研究; 特に L/D 比について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 9) 服部康弘<sup>1)</sup>, 榎戸久<sup>1)</sup>, 古谷正伸<sup>1)</sup>, 釜菴敏<sup>1)</sup>, 藤野修<sup>1)</sup>, 藤田武久, 橋本清, 鬼海靖彦<sup>2)</sup>, 長尾建樹<sup>3)</sup>, 平孝臣<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院小児科, <sup>2)</sup>下館市民病院小児科, <sup>3)</sup>同脳神経外科 ): [一般講演] 部分発作で発症した脳動脈奇形の1例. 第21回日本てんかん学会, 1987.
- 10) 榎戸久<sup>1)</sup>, 古谷正伸<sup>1)</sup>, 釜菴敏<sup>1)</sup>, 藤野修<sup>1)</sup>, 藤田武久, 橋本清 ( <sup>1)</sup>付属病院小児科 ): [一般講演] 7才以降まで経過を追跡した複合型熱性けいれんの予後. 第21回日本てんかん学会, 1987.
- 11) 橋本清, 藤田武久, 岡田進<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第一病院放射線科 ): [一般講演] 透明中隔腔及びベルガ腔を伴う症例の検討; その発現頻度及びその臨床的意義について. 第1回神奈川小児神経懇話会, 1988.

- 12) 太田裕子, 小泉要介, 林毅陸, 西沢善樹, 品川洋一, 橋本清, 太田秀穂: 〔一般講演〕MRIが診断に有用だった脳腫瘍の1例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 13) 藤田武久, 小泉要介, 渋谷展子, 橋本清: 〔一般講演〕一側性脳梗塞を伴った点頭てんかんの1例. 第15回関東小児てんかん研究会, 1988.

## 6. 放射線医学講座

### 〔付属病院放射線科〕

#### 研究概要

付属病院放射線科にて現在までにはっきりとした形で結果の得られた研究群および進展中の研究について述べ、将来的な構想については機会をあらためる。

付属病院放射線科の基本的な研究姿勢は臨床放射線医学であるが、最近の傾向として臨床放射線医学に直結する基礎研究の比重が大きくなりつつあることが挙げられる。このような方向性はわれわれの教室における特徴の一つとして、単に国内のみならず、国際的にも高い評価を得ている。

今年度の業績を振り返ってみると、数年来継続してきた研究が完成の域に近づき、同時に次のステップに移りつつあることを感じさせるものが多い。血管造影部門では、昨年同様診断とともに、悪性腫瘍、動脈出血、門脈圧亢進、血管狭窄拡張、精索静脈瘤の治療とこれらの効果向上のための工夫が中心である。また継続中の新しい造影剤の基礎、臨床研究は、DSAと結び付くことによって、患者の侵襲を大幅に軽減することになり、血管造影を外来検査の一環として定着させることを可能とした。DSAによる肺循環の測定や、心機能評価も形態変化の観察とともに外来検査として施行可能に成りつつある。今後の課題はより有用なソフトの開発にかかっており、この面でも積極的に取り組んでいる。呼吸器系では肺癌の病理組織と肺血管の関与、FBALによる病態解析のほか、新しい方向として慢性肺疾患における病理 - 放射線画像の関連研究が始まった。

悪性腫瘍に関しては、当教室における画像診断、放射線治療、Interventional radiologyなどが集学的診療のなかで重きをなしている。さらに PACS の一環として Digital 画像の光ディスクへの保管および CRT を用いた画像処理および診断（栃木県立がんセンター画像診断部との共同研究）、肝胆膵悪性腫瘍における CT 画像と他画像診断との比較検討、消化管診断における放射線診断と内視鏡との検討、骨関節 X 線診断と核医学を始めとする他画像診断との検討、等基礎的研究も続行されている。

核医学部門では研究は各科の協力を得て多岐にわたる。主なものを部位ごとに記す。

脳：脳血流障害部位、範囲の早期診断と定量化

呼吸器：肺血流、換気に加え、エロゾル（吸入）シンチによる、気道線毛上皮機能の定量化（主に小児の閉塞性肺疾患に対して）

心臓：SPECT を応用した心筋血流障害の定量化、および運動負荷前後の心筋イメージの変化とその臨床的検討、心筋機能の核医学的定量化核聴診器と心動態シンチデータの比較

門脈：門脈圧亢進症に伴う門脈血行動態シンチと門脈血流異常の定量化

消化器：経直腸的タリウムシンチによる、肺血流 shunt の定量化、肝胆道シンチを用いた、胆道分泌物の胃内逆流現象のシンチグラフィー

放射線治療部門では放射線治療そのものについての発表件数は多くはないが数年来着実な治療症例を重ねており、近き将来には大きな成果を発表できることであろう。進められている研究テーマを以下に記す。

①治療計画における各種画像診断の利用、②放射線解剖に即した Target 照射、③放射線性白血球減少に対する各種薬剤の予防効果の研究、④癌性疼痛に対する姑息的照射の最適化についての検討、⑤密封小線源治療の適応の拡大（特に各部位におけるアプリーターの試作についての研究）、⑥温熱療法の放射線照射との併用に関する研究、⑦温熱療法と血管塞栓術の併用効果に対する基礎的研究、⑧がん治療統計に関する研究

## 研究業績

### 論文

- 1) 宮下次廣, 恵畑欣一: [総説] 最近の画像診断の価値; 適応を中心にして (特集: 頸部腫瘍の臨床 診断の進め方). 臨外, 42, 451~459, 1987.
- 2) 隈崎達夫, 他: [原著] 脳血管造影に於ける Iohexol の臨床的有用性. 薬理と治療, 15, 185~196, 1987.
- 3) 恵畑欣一: [総説] 脊椎疾患 (特集, 老年者疾患の画像診断). 老年医学, 25, 721~735, 1987.
- 4) 岡田進, 朝日良一, 田島なつき, 隈崎達夫, 長谷川節夫<sup>1)</sup>, 菊池洋史<sup>2)</sup>, 上坂伸宏<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>通信病院血液内科, <sup>1)</sup>第1生理): [原著] イオン性低浸透圧造影剤 Ioxaglate の赤血球に及ぼす作用. 日医放線会誌, 47, 729~744, 1987.
- 5) 隈崎達夫: [総説] 血管カテーテルによる外傷性出血の診断と治療. 治療, 69, 150~158, 1987.
- 6) 青海川秀敏, 隈崎達夫: [総説] シリーズ: 撮像からの読影のコツ (31). 治療, 69, 119~123, 1987.
- 7) 田島廣之, 細井盛一, 大矢徹, 伊藤公一郎, 片山信仁, 梅原松臣<sup>1)</sup>, 隈崎達夫, 恵畑欣一 (<sup>1)</sup>第1外科): [原著] 特発性血小板減少性紫斑病に対する部分的脾動脈塞栓術の経験. 臨放線, 32, 635~639, 1987.
- 8) 恵畑欣一, 他: [原著] 進行食道癌に対する術前併用療法. 癌と化療, 14, 1941~1943, 1987.
- 9) 恵畑欣一, 隈崎達夫, 他: [原著] 脳血管造影における iohexol の臨床的有用性; 本邦における metrizamide との多施設比較試験. 脈管学, 27, 443~451, 1987.
- 10) 隈崎達夫: [総説] 直流通電による癌の治療. 日医大誌, 54, 349, 1987.
- 11) 隈崎達夫: [原著] Iohexol を用いた IADSA; 特に等浸透圧性剤 (iohexol 140) の有用性について. 基礎と臨, 20, 717~730, 1987.
- 12) 恵畑欣一, 隈崎達夫, 渡部英之: [総説] 診断関係の話題, 腹部領域. 臨放線, 32, 826~830, 1987.
- 13) 大矢徹, 隈崎達夫: [総説] シリーズ; 撮像から読影のコツ (33). 治療, 69, 169~173, 1987.
- 14) 隈崎達夫, 上坂伸宏: [報告] 造影剤の赤血球膜に及ぼす作用; 圧-流量関係による解析を中心として. "Evolution in Contrast Media 3", p.14~15, Excerpta Medica, 1987.
- 15) 隈崎達夫, 横倉稔明, 中沢広重, 奥山厚, 大矢徹, 他: [総説] 腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断『頭頸部』. 治療, 69, 3~18, 1987.
- 16) 隈崎達夫, 横倉稔明, 中沢広重, 奥山厚, 大矢徹, 北浜博之, 他: [総説] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断『胸部』. 治療, 69, 19~32, 1987.
- 17) 横倉稔明, 大矢徹, 北浜博之, 奥山厚, 中沢広重, 隈崎達夫, 他: [総説] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断『乳房』. 治療, 69, 33~41, 1987.
- 18) 隈崎達夫, 横倉稔明, 中沢広重, 奥山厚, 大矢徹, 北浜博之, 他: [総説] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断『肝・胆・脾』. 治療, 69, 43~60, 1987.
- 19) 大矢徹, 奥山厚, 北浜博之, 中沢広重, 横倉稔明, 隈崎達夫, 他: [総説] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断『上部消化管』. 治療, 69, 61~73, 1987.
- 20) 隈崎達夫, 横倉稔明, 中沢広重, 奥山厚, 大矢徹, 北浜博之, 他: [総説] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断『下部消化管』. 治療, 69, 75~80, 1987.
- 21) 隈崎達夫, 横倉稔明, 中沢広重, 奥山厚, 大矢徹, 北浜博之, 他: [総説] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断『腎・副腎』. 治療, 69, 81~95, 1987.
- 22) 隈崎達夫, 横倉稔明, 中沢広重, 奥山厚, 大矢徹, 北浜博之, 他: [総説] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断『骨盤腔』. 治療, 69, 97~108, 1987.
- 23) 奥山厚, 大矢徹, 北浜博之, 中沢広重, 横倉稔明, 隈崎達夫: [総説] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断『後腹膜腔』. 治療, 69, 109~123, 1987.

- 24) 隈崎達夫, 横倉稔明, 中沢広重, 奥山厚, 大矢徹, 北浜博之, 他:〔総説〕悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断『骨・軟部』. 治療, 69, 125~139, 1987.
- 25) 大石卓爾, 渡潤, 林宏光, 赤沼弘勝, 伊藤公一郎, 大矢徹, 田島廣之, 有賀長規, 細井盛一, 本多一義, 隈崎達夫, 恵畑欣一:〔報告〕重症骨盤骨折におけるTAEの有用性. 日本血管造影Interventional Radiology 研究会雑誌, 2, 38~39, 1987.
- 26) 隈崎達夫:〔原著〕骨盤骨折;特に重症例を中心として(特集:出血のRadiology—診断とその治療—). 画像診断, 17, 1152~1159, 1987.
- 27) 隈崎達夫, 田島廣之, 大矢徹, 伊藤公一郎, 細井盛一, 恵畑欣一:〔原著〕選択的肺動脈造影に伴う肺動脈圧, 全身血圧および心拍数の変動. 脈管学, 27, 1239~1245, 1987.
- 28) 大矢徹, 隈崎達夫:〔総説〕シリーズ;画像診断 撮像から読影のコツ (37). 治療, 69, 155~160, 1987.
- 29) 隈崎達夫, 恵畑欣一, 他:〔報告〕Abdominal apoplexyの2症例. 日救急医学会誌, 8, 160~162, 1987.
- 30) 隈崎達夫, 他:〔原著〕等張性造影剤ioxaglate (ER-61)のDSAにおける使用経験. 日医放線会誌, 48, 38~44, 1988.
- 31) 隈崎達夫:〔総説〕Interventional Radiology外傷性出血に対するカテーテル治療. 治療学, 20, 64~68, 1988.
- 32) 桜井恵, 他:〔報告〕腐蝕性食道狭窄症に対し食道全摘・結腸移植を行った1幼児治験例. 日臨外医会誌, 49, 304~309, 1988.
- 33) 片山信仁, 大矢徹, 田島廣之, 隈崎達夫, 恵畑欣一, 塗谷榮二, 山門進:〔原著〕TAEにて治癒しえた外傷性ヘモビリアの1例. 臨放線, 33, 401~404, 1988.
- 34) 伊藤公一郎, 大矢徹, 田島廣之, 大石卓爾, 汲田伸一郎, 隈崎達夫, 恵畑欣一:〔原著〕血漿等浸透圧造影剤ioxaglate 160 mgI/mlのDASにおける使用経験. 薬理と治療, 16, 159~167, 1988.
- 35) 隈崎達夫:〔原著〕血管造影の現況;最近の動向を中心として. 日本医学放射線学会物理部会誌, 27, 1~25, 1988.
- 36) Kumazaki, T. and Uyesaka, N.:〔原著〕Effect of water soluble iodinated contrast media on red cell deformability and vasculature; The pressure Flow relationship of erythrocyte suspension in the perfusion of bull-frog's hind limbs. "Advance and Future Trends of Contrast Media", p.168~176, 1988.

## 著 書

- 1) 隈崎達夫:〔分担〕後腹膜疾患;後腹膜の解剖. “放射線医学大系25A”(田坂皓他編), p.121~124, 中山書店, 1987.
- 2) 隈崎達夫:〔分担〕後腹膜疾患;後腹膜領域の放射線検査法—腹部単純撮影, 断層撮影, 消化管造影, 注腸造影, 尿路造影, 後腹膜充気法. “放射線医学大系25A”(田坂皓他編), p.125~127, 中山書店, 1987.
- 3) 青海川秀敏:〔分担〕後腹膜疾患;後腹膜領域の放射線検査法—超音波検査. “放射線医学大系25A”(田坂皓他編), p.128, 中山書店, 1987.
- 4) 斎藤了一:〔分担〕後腹膜疾患;後腹膜領域の放射線検査法—核医学検査. “放射線医学大系25A”(田坂皓他編), p.130, 中山書店, 1987.
- 5) 宮下次廣:〔分担〕後腹膜疾患;後腹膜領域の放射線検査法—リンパ造影法. “放射線医学大系25A”(田坂皓他編), p.134~137, 中山書店, 1987.
- 6) 大矢徹:〔分担〕後腹膜疾患;後腹膜領域の放射線検査法—血管造影. “放射線医学大系25A”(田坂皓他編), p.137~139, 中山書店, 1987.
- 7) 隈崎達夫:〔分担〕後腹膜疾患;後腹膜領域の放射線検査法—生検. “放射線医学大系25A”(田坂皓他編),

p.139~141, 中山書店, 1987.

- 8) 西川博, 田島廣之, 隈崎達夫: [分担] 後腹膜疾患; 腫瘍. “放射線医学大系25A” (田坂皓他編), p.143~149, 中山書店, 1987.
- 9) 宮下次廣, 隈崎達夫: [分担] 後腹膜疾患; 炎症性疾患. “放射線医学大系25A” (田坂皓他編), p.151~157, 中山書店, 1987.
- 10) 奥山厚, 隈崎達夫: [分担] 後腹膜疾患; 血管病変. “放射線医学大系25A” (田坂皓他編), p.159~168, 中山書店, 1987.
- 11) 有賀長規, 本多一義, 隈崎達夫: [分担] 後腹膜疾患; 外傷. “放射線医学大系25A” (田坂皓他編), p.170~177, 中山書店, 1987.
- 12) 恵畑欣一: [分担] 消化管X線検査, 薬理X線検査法. “放射線医学大系18A” (田坂皓他編), p.113~123, 中山書店, 1987.
- 13) 隈崎達夫, 水野杏一: [分担] 放射線診断学; 冠動脈造影法. “臨床放射線医学全書7/A” (阿部光幸他編), p.31~66, 金原出版, 1987.
- 14) 隈崎達夫: [分担] 放射線診断学; 大動脈造影法. “臨床放射線医学全書7/A” (阿部光幸他編), p.61~73, 金原出版, 1987.
- 15) 隈崎達夫: [分担] 放射線診断学; 大静脈造影法. “臨床放射線医学全書7/A” (阿部光幸他編), p.74~84, 金原出版, 1987.
- 16) 隈崎達夫, 中沢広重: [分担] 放射線診断学; 心臓撮影方法と正常像. “臨床放射線医学全書7/A” (阿部光幸他編), p.119~123, 金原出版, 1987.
- 17) 隈崎達夫, 中沢広重: [分担] 放射線診断学; 心拡大. “臨床放射線医学全書7/A” (阿部光幸他編), p.124~144, 金原出版, 1987.
- 18) 隈崎達夫, 佐藤雅史, 山本鼎<sup>1)</sup>, (<sup>1)</sup>永山病院放射線科): [分担] 経カテーテル動・静脈塞栓術と動注療法—肺—. “Interventional Radiology” (平松京一他編), p.60~72, 金原出版, 1987.
- 19) 隈崎達夫, 細井盛一, 田島廣之, 田尻孝<sup>1)</sup>, (<sup>1)</sup>第1外科): [分担] 経カテーテル動・静脈塞栓術と動注療法—脾—. 食道静脈瘤に対する脾動脈塞栓術. “Interventional Radiology” (平松京一他編), p.203~213, 金原出版, 1987.
- 20) 隈崎達夫, 有賀長規, 本多一義: [分担] 経カテーテル動・静脈塞栓術と動注療法—骨盤—外傷. “Interventional Radiology” (平松京一他編), p.267~276, 金原出版, 1987.

#### 学会発表

- 1) 大矢徹, 汲田伸一郎, 弦間和仁, 玉井仁, 山本彰, 片山信仁, 田島廣之, 細井盛一, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [一般講演] 大動脈解離における逆行性解離の放射線診断; 特にCT, 血管造影と手術所見の対比について. 第46回日本医学放射線学会総会, 1987.
- 2) 山本彰, 高橋政之, 保坂純郎, 市川太郎, 坂本光史, 大石卓爾, 伊藤公一郎, 大矢徹, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [一般講演] 腰動脈の外傷性出血に対する塞栓術の経験. 第46回日本医学放射線学会総会, 1987.
- 3) 片山信仁, 坂本光史, 宮下次廣, 青海川秀敏, 三谷原重雄, 奥山厚, 渡部英之, 恵畑欣一: [展示] Presacral spaceのX線学的検討 (第2報). 第46回日本医学放射線学会総会, 1987.
- 4) 細井盛一, 玉井仁, 大矢徹, 田島廣之, 隈崎達夫, 恵畑欣一, Roumieu, G.<sup>1)</sup>, Huget, J.G.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Marseille 大学 Timone 病院放射線科): [展示] 死体肝による肝右葉門脈枝走行のX線学的検討; 解剖学成書との対応について. 第46回日本医学放射線学会総会, 1987.

- 5) 伊藤公一郎, 田島廣之, 山本彰, 玉井仁, 田島なつき, 大矢徹, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [展示] 選択的肺動脈影における血行動態の変動; Diatrizoate 292, Iohexol 300及びIohexol 140の比較. 第46回日本医学放射線学会総会, 1987.
- 6) 梅原松臣<sup>1)</sup>, 田尻孝<sup>1)</sup>, 梅森真理<sup>1)</sup>, 山田和人<sup>1)</sup>, 鄭淳<sup>1)</sup>, 金徳栄<sup>1)</sup>, 山下精彦<sup>1)</sup>, 恩田昌彦<sup>1)</sup>, 奥山厚, 山岸嘉彦, 恵畑欣一 (第1外科): [一般講演] 門脈圧亢進症に対するSSPの有用性. 第73回日本消化器病学会総会, 1987.
- 7) 大矢徹, 田島廣之, 伊藤公一郎, 片山信二, 玉井仁, 汲田伸一郎, 細井盛一, 本多一義, 隈崎達夫, 恵畑欣一 [一般講演] 食道静脈に対する脾動脈及び左胃動脈塞栓術併用 (SAE+LGAE) の有用性に関する検討; PTO TIOとの相乗効果を含めて. 第10回日本血管造影 Interventional Radiology 研究会, 1987.
- 8) Ito, K., Oya, I., Tajima, H., Gemma, K., Kumita, S., Kumazaki, T. and Ebata, K.: [国際学会] Cardiovascular responses following selective pulmonary angiography; A clinical comparison of Diatrizoate, Ioxaglate, Iopamidol and Iohexol. VI European Congress of Radiology (Lisbon), 1987.
- 9) Kumazaki, T.: [国際シンポジウム] Effect of watersoluble iodinated contrast media on Pressure - flow relationship of red cell suspension. Contrast Media 87 World Symposium (Paris), 1987.
- 10) 宮下次廣: [特別講演] 放射線治療について. 第14回放射線治療技術懇話会, 1987.
- 11) 小坂真一<sup>1)</sup>, 庄司佑<sup>1)</sup>, 山手昇<sup>1)</sup>, 田中茂夫<sup>1)</sup>, 池下正敏<sup>1)</sup>, 鈴木敏克<sup>1)</sup>, 三枝直紀<sup>1)</sup>, 玉井仁, 奥山厚 (胸部科): [一般講演] 室房伝導の血行動態に及ぼす影響; 心プー ルイメー ジング法による検討. 第2回日本心臓ベシ ング学会, 1987.
- 12) 隈崎達夫, 恵畑欣一, 他: [一般講演] Abdominal apoplexy の2症例. 第23回救急医学会関東地方会, 1987.
- 13) 恵畑欣一: [教育講演] 症状からみた画像診断. 日本医師会生涯教育講座, 1987.
- 14) 汲田伸一郎, 市川太郎, 大矢徹, 隈崎達夫, 伊藤公一郎, 奥山厚: [一般講演] UK療法により肺塞栓を来たたと考えられる右房内 free - floating - thrombus の1例. 第25回心臓放射線研究会, 1987.
- 15) 斎藤了一, 奥山厚, 多田周, 高岩成光, 汲田伸一郎, 高橋政之, 市川太郎, 五十嵐義晃, 山本鼎, 山岸嘉彦, 恵畑欣一: [一般講演] 軟部腫瘍のシンチグラフィー. 第27回日本核医学会関東甲信越地方会, 1987.
- 16) 須崎紳一郎<sup>1)</sup>, 山田拓<sup>1)</sup>, 安田和弘<sup>1)</sup>, 小関一英<sup>1)</sup>, 益子邦洋<sup>1)</sup>, 辺見弘<sup>1)</sup>, 山本保博<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup>, 有賀長規, 本多一義, 恵畑欣一 (救命救急センター): [パネルディスカッション] 鈍的肝損傷に対するTAEの適応意義; とくに非開腹例において. 第9回日本腹部救急診療研究会, 1987.
- 17) 山口裕通<sup>1)</sup>, 山田智彦<sup>1)</sup>, 和田英理<sup>1)</sup>, 小田彰<sup>1)</sup>, 高橋政之, 有竹澄江, 高岩成光, 山本鼎 (多摩永山病院救急センター): [一般講演] 肝挫傷のCTによる考察. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 18) 高橋政之, 有竹澄江, 高岩成光, 山本鼎, 山口裕道<sup>1)</sup>, 山田智彦<sup>1)</sup>, 和田英理<sup>1)</sup>, 小田彰<sup>1)</sup> (多摩永山病院救急センター): [一般講演] 肺挫傷の画像診断; CT所見を中心に. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 19) 斎藤了一, 奥山厚, 桜井恵, 保坂純郎, 片山信仁, 稲垣禎彦, 宮下次廣, 青海川秀敏, 三谷原重雄, 高橋政之, 恵畑欣一, 山岸嘉彦, 山本鼎: [一般講演] 骨・軟部腫瘍の核医学イメージング. 第55回日本医科大学医学会, 1987.
- 20) 山下精彦<sup>1)</sup>, 恩田昌彦<sup>1)</sup>, 笹島耕二<sup>2)</sup>, 田尻孝<sup>1)</sup>, 谷口善郎<sup>1)</sup>, 岡崎滋樹<sup>1)</sup>, 高井淳<sup>1)</sup>, 恵畑欣一, 田久保海督<sup>2)</sup> (第1外科, <sup>2)</sup>埼玉県立がんセンター): [展示] 進行食道癌に対する術前併用療法. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 21) 宮下次廣, 林宏光, 渡潤, 桜井恵, 保坂純郎, 片山信仁, 稲垣禎彦, 斎藤了一, 青海川秀敏, 奥山厚, 三谷原重雄, 恵畑欣一: [展示] 放射線治療における超音波断層法の有用性. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 22) 大矢徹, 赤沼弘勝, 高橋政之, 大石卓爾, 伊藤公一郎, 田島廣之, 弦間和仁, 汲田伸一郎, 市川太郎, 山本彰, 玉井仁, 隈崎達夫, 恵畑欣一, 吉田和弘<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup> (泌尿器科): [展示] 精索静脈瘤に対する経カテ



テル的塞栓術の有用性. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.

- 23) 伊藤公一郎, 大矢徹, 大石卓爾, 弦間和仁, 汲田伸一郎, 市川太郎, 山本彰, 玉井仁, 田島廣之, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [展示] 血漿等浸透圧造影剤 loxaglate 160 mgI/ml の IADSA における有用性. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 24) 白石史典<sup>1)</sup>, 平塚秀雄<sup>2)</sup>, 恵畑欣一 (<sup>1)</sup>平塚胃腸病院消化器内科, <sup>2)</sup>同外科): [一般講演] SCG (screening colonography) の有用性について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 25) 奥山厚, 斎藤了一, 隈崎達夫, 山岸嘉彦, 恵畑欣一: [一般講演] 動脈瘤に置ける RI イメージングの有用性. 第27回日本核医学会総会, 1987.
- 26) 谷口善郎<sup>1)</sup>, 恩田昌彦<sup>1)</sup>, 山下精彦<sup>1)</sup>, 森山雄吉<sup>1)</sup>, 田尻孝<sup>1)</sup>, 笹島耕二<sup>1)</sup>, 滝沢隆雄<sup>1)</sup>, 青木伸弘<sup>1)</sup>, 岡崎滋樹<sup>1)</sup>, 内田英二<sup>1)</sup>, 恵畑欣一, 田久保海督<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第1外科, <sup>2)</sup>埼玉がんセンター病理): [一般講演] 進行食道癌に対する術前併用療法 放射線単独療法との比較. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 27) 大石卓爾, 渡潤, 林宏光, 赤沼弘勝, 伊藤公一郎, 大矢徹, 田島廣之, 有賀長規, 細井盛一, 本多一義, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [一般講演] 重症骨盤骨折におけるTAEの有用性. 第11回日本血管造影・Interventional Radology 研究会, 1987.
- 28) 伊藤公一郎, 田島廣之, 大矢徹, 大石卓爾, 青海川秀敏, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [一般講演] 造影剤浸透圧の肺循環に及ぼす影響; Diatrizoate と Iohexol の比較. 第28回日本脈管学会総会, 1987.
- 29) Kumazaki, T.: [シンポジウム] The Effect of water soluble iodinated contrast media on red cell deformability and vasculature; The pressure flow relationship of erythrocyte suspension. International Symposium on Contrast Media (Tokyo), 1987.
- 30) 斎藤了一, 奥山厚, 市川太郎, 隈崎達夫, 山岸嘉彦, 恵畑欣一, 五味淵誠<sup>1)</sup>, 富士崎隆<sup>1)</sup>, 田中茂夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>胸部外科): [一般講演] 肺癌症例に施行した心プールシンチグラフィー及び核聴診器による左室機能評価の比較検討. 第26回心臓放射線研究会, 1987.
- 31) 保坂純郎, 林宏光, 赤沼弘勝, 高橋政之, 汲田伸一郎, 山本彰, 稲垣禎彦, 伊藤公一郎, 田島廣之, 大矢徹, 宮下次廣, 奥山厚, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [一般講演] 腹部実質臓器の外傷性出血に対するTAEの有用性. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 32) 大石卓爾, 渡潤, 弦間和仁, 市川太郎, 玉井仁, 片山信仁, 伊藤公一郎, 田島廣之, 斎藤了一, 大矢徹, 三谷原重雄, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [一般講演] 重症骨盤骨折に対するTAE施行上の問題点について. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 33) 比留間博之<sup>1)</sup>, 大矢智恵<sup>1)</sup>, 高田啓介<sup>1)</sup>, 三宅一昌<sup>1)</sup>, 成田淳夫<sup>1)</sup>, 渡辺昂<sup>1)</sup>, 小林正文<sup>1)</sup>, 野村武夫<sup>1)</sup>, 奥山厚, 山岸嘉彦, 永井俊彦<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第3内科): [一般講演] 胃・十二指腸潰瘍における胃排出能と十二指腸胃逆流との関連について. 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 34) 玉井仁, 山本彰, 赤沼弘勝, 宮下次廣, 三谷原重雄, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [一般講演] パーソナルコンピューターによる三次元表示システムの開発. 第367回日本医学放射線学会関東地方会, 1988.
- 35) 隈崎達夫: [教育講演] 画像診断のトピックス; DSA. 第13回日本救急医学会教育セミナー, 1988.
- 36) 市川太郎, 赤沼弘勝, 玉井仁, 山本彰, 宮下次廣, 三谷原重雄, 隈崎達夫, 恵畑欣一: [一般講演] いわゆるガーゼオーマのCT像について. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 37) 隈崎達夫: [特別講演] 新世代造影剤と最近の血管造影. 第2回多摩画像診断研究会, 1988.
- 38) 恵畑欣一: [教育講演] 腹部救急疾患における画像診断のポイント. 第10回日本腹部救急診療研究会, 1988.
- 39) 梅原松臣<sup>1)</sup>, 恩田昌彦<sup>1)</sup>, 山下精彦<sup>1)</sup>, 田中宣威<sup>1)</sup>, 田尻孝<sup>1)</sup>, 徳永昭<sup>1)</sup>, 滝沢隆雄<sup>1)</sup>, 青木伸弘<sup>1)</sup>, 金徳栄<sup>1)</sup>, 羽尾邦彦<sup>1)</sup>, 鄭淳<sup>1)</sup>, 有馬保生<sup>1)</sup>, 吉末信彦<sup>1)</sup>, 石川紀行<sup>1)</sup>, 吉田寛<sup>1)</sup>, 恵畑欣一, 隈崎達夫, 本多一義, 大矢徹,

- 田島廣之，伊藤公一郎（<sup>1)</sup>第1外科）：〔ワークショップ〕復部救急疾患における画像診断のポイント．第10回日本腹部救急診療研究会，1988．
- 40) 隈崎達夫：〔特別講演〕低浸透圧造影剤とDSA．第1回東北低浸透圧造影剤研究会，1988．
- 41) 山岸嘉彦，大石卓爾，田島なつき，鍛喜美江，斎藤了一，高岩成光，奥山厚，佐藤雅史，五十嵐義晃，渡部英之：〔一般講演〕疲労骨折の骨シンチグラフィ（最近経験した症例について）．第28回日本核医学会関東甲信越地方会，1988．
- 42) 大矢徹，林宏光，渡潤，汲田伸一郎，山本彰，伊藤公一郎，田島廣之，隈崎達夫，恵畑欣一：〔一般講演〕大動脈解離術後症例における偽腔の変化について；CT，DSAを検討して．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 43) 梅原正臣<sup>1)</sup>，伊藤公一郎，大矢徹，隈崎達夫，田尻孝<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1外科）：〔一般講演〕門脈圧亢進症の血行動態(2)．特に左胃動脈の動態と食道静脈瘤の関係について．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 44) 斎藤了一，高橋政之，玉井仁，宮下次廣，青海川秀敏，三谷原重雄，奥山厚，山岸嘉彦，恵畑欣一：〔一般講演〕骨および軟部腫瘍におけるシンチグラフィの有用性．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 45) 大石卓爾，伊藤公一郎，大矢徹，田島廣之，宮下次廣，三谷原重雄，奥山厚，隈崎達夫，恵畑欣一：〔一般講演〕重症骨盤骨折に対する経動脈塞栓術の適応と手技に関する検討．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 46) 保坂純郎，弦間和仁，片山信仁，伊藤公一郎，大矢徹，田島廣之，奥山厚，隈崎達夫，恵畑欣一：〔一般講演〕腹部実質臓器の外傷性出血に対するTAEの有用性．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 47) 赤沼弘勝，市川太郎，汲田伸一郎，大石卓爾，玉井仁，山本彰，大矢徹，隈崎達夫，恵畑欣一：〔一般講演〕当施設に置ける緊急血管造影検査の現況Interventional Angiographyを中心として．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 48) 片山信仁，保坂純郎，山本彰，宮下次廣，青海川秀敏，三谷原重雄，奥山厚，渡部英之，恵畑欣一：〔展示〕Presacral spaceのX線学的検討（第3報）．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 49) 伊藤公一郎，田島廣之，大矢徹，大石卓爾，赤沼弘勝，林宏光，渡潤，隈崎達夫，恵畑欣一：〔展示〕等浸透圧造影剤によるDSA - 肺動脈造影 - 肺動脈圧，肺循環時間，造影能の検討．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 50) 田島廣之，大矢徹，伊藤公一郎，汲田伸一郎，赤沼弘勝，細井盛一，隈崎達夫，恵畑欣一：〔展示〕肺動脈造影に伴う循環動態の変動；特に心世代造影剤の評価を中心として．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 51) 隈崎達夫，岡田進<sup>1)</sup>，上坂伸宏<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1生理）：〔展示〕水溶性ヨード造影剤の圧 - 流量関係に及ぼす作用；特に赤血球形態変化との関連性を中心として．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 52) 細井盛一，隈崎達夫，他：〔展示〕水溶性ヨード造影剤と抗生物質の配合変化について．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 53) 高橋政之，梅原松臣<sup>1)</sup>，奥山厚，山岸嘉彦，田尻孝<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1外科）：〔展示〕門脈圧亢進症の血行動態(1)．特に左胃静脈の動態と食道静脈瘤の関係について．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 54) 宮下次廣，高橋政之，弦間和仁，山本彰，玉井仁，片山信仁，青海川秀敏，三谷原重雄，恵畑欣一：〔展示〕放射線治療医にとっての超音波断層法；特に電子線治療における有用性について．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 55) 隈崎達夫：〔教育講演〕心臓・血管撮影．日本医学放射線学会第55回物理部会大会，1988．

## 〔第一病院放射線科〕

### 研究概要

昭和62年度の業績には例年と比べ特に大きな変化はみられない．以下に臨床的研究，基礎的研究に分け概略を記す．

#### 1) 臨床的研究

当科は各種画像診断を一貫して放射線科医による数少ない施設で、画像診断に関する研究が大部分を占めている。本年度もCT, MRI, TAE, DR, 超音波検査, サーマグラフィの業績がある。例年と異なるのはSPECTが導入され核医学に関する研究が加わったことである。

第16回ヨーロッパ放射線会議にて乳房の超音波検査について長年の積み重ねた経験を基とした発表を行ない(加藤), サーマグラフィに関しては乳房を中心に研究を続けていることが評価され第22回日本医学会総会にて講演を行った(伊藤)。

## 2) 基礎的研究

第一生理学教室の御指導により造影剤の赤血球病態生理学的研究に一つの結論が導かれ発表した。

中央電子顕微鏡研究施設との協同研究による微粒子フェライト磁性体の医学的研究の応用の研究は続行中であるが、その成果を発表した。

CRT診断, PACS等に関する一連の研究, ビデオメモリの放射線画像診断に関する研究が続けられている。

## 3) その他

本年度も国際交流が活発で、国際会議での講演(加藤, 赤石), フランス留学よりの帰国(石原), 中国からの留学(牛)による業績がみられた。

## 研究業績

### 論文

- 1) 加藤富三, 鈴木次夫, 多田周, 岡田進, 赤石健, 柳田直樹, 佐藤俊彦: [原著] II. 胸部 4. 縦隔・胸腺・胸膜(特集: がんの画像診断図譜). 総合臨, 36(増刊号), 1024~1038, 1987.
- 2) 五十嵐義晃: [原著] サーマグラフィ. Med. Technol., 15, 1159~1164, 1987.
- 3) 多田周, 関谷敏彦, 五十嵐義晃, 伊藤正, 加藤富三, 岡田進<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 佼成病院放射線科 ): [原著] コンタクトサーモグラフィによる乳癌のQuantitative Diagnosisの試み. Bio - Medical Thermography, 7, 73~76, 1987.
- 4) 石原聖久, 斎木名執, 岡田進, 多田周, 笹森斉, 伊藤正, 加藤富三, Faure, C.: [原著] 非骨化性線維腫(NOF); 線維性骨皮質欠損(FCD)との比較及び特殊形について. 臨床小児放射線研究会雑誌, 3, 112~113, 1987.
- 5) 石原聖久: [報告] トゥルソー病院(パリ第6大学付属小児病院)放射線科研修報告. 臨床小児放射線研究会雑誌, 3, 136~137, 1987.
- 6) Bernard, C., Ishihara, K., Sirinelli, D. and Faure, C.: [原著] Les lésions fibreuses du squelette chez le nourrisson et l'enfant. Ann. Radiol. (Paris), 30, 307~322, 1987.
- 7) 横倉稔明<sup>1)</sup>, 北浜博之, 中沢広重, 他 ( <sup>1)</sup> 下谷病院放射線科 ), : [原著] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断 乳房. 治療, 69, 1913~1922, 1987.
- 8) 原田潤太<sup>1)</sup>, 横倉稔明<sup>2)</sup>, 北浜博之, 中沢広重, 他 ( <sup>1)</sup> 東京慈恵会医科大学, <sup>2)</sup> 下谷病院放射線科 ): [原著] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断 頭頸部. 治療, 69, 1883~1898, 1987.
- 9) 栗林幸夫<sup>1)</sup>, 横倉稔明<sup>2)</sup>, 北浜博之, 中沢広重, 他 ( <sup>1)</sup> 東海大学, <sup>2)</sup> 下谷病院放射線科 ): [原著] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断 胸部. 治療, 69, 1899~1912, 1987.
- 10) 古井滋<sup>1)</sup>, 横倉稔明<sup>2)</sup>, 北浜博之, 中沢広重, 他 ( <sup>1)</sup> 東海大学, <sup>2)</sup> 下谷病院放射線科 ): [原著] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断 肝・胆・脾. 治療, 69, 1923~1940, 1987.
- 11) 大矢徹, 横倉稔明<sup>1)</sup>, 北浜博之, 中沢広重, 他 ( <sup>1)</sup> 下谷病院放射線科 ): [原著] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断 上部消化管. 治療, 69, 1941~1954, 1987.
- 12) 大山行雄<sup>1)</sup>, 横倉稔明<sup>2)</sup>, 北浜博之, 中沢広重, 他 ( <sup>1)</sup> 聖マリアンナ医科大学, <sup>2)</sup> 下谷病院放射線科 ): [原著] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断 下部消化管. 治療, 69, 1955~1960, 1987.

- 13) 井戸邦雄<sup>1)</sup>, 横倉稔明<sup>1)</sup>, 北浜博之, 中沢広重, 他 ( <sup>1)</sup>慶応義塾大学, <sup>2)</sup>下谷病院放射線科 ) : [原著] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断 腎・副腎. 治療, 69, 1961~1977, 1987.
- 14) 山田隆之<sup>1)</sup>, 横倉稔明<sup>2)</sup>, 北浜博之, 中沢広重, 他 ( <sup>1)</sup>東京女子医科大学, <sup>2)</sup>下谷病院放射線科 ) : [原著] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断 骨盤腔. 治療, 69, 1977~1988, 1987.
- 15) 奥山厚<sup>1)</sup>, 横倉稔明<sup>2)</sup>, 北浜博之, 中沢広重, 他 ( <sup>1)</sup>付属病院放射線科, <sup>2)</sup>下谷病院放射線科 ) : [原著] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断 後腹膜腔. 治療, 69, 1989~2004, 1987.
- 16) 平岩隆男<sup>1)</sup>, 横倉稔明<sup>2)</sup>, 北浜博之, 中沢広重, 他 ( <sup>1)</sup>順天堂大学, <sup>2)</sup>下谷病院放射線科 ) : [原著] 悪性腫瘍とまぎらわしい良性疾患の画像診断 骨・軟部. 治療, 69, 2005~2019, 1987.
- 17) 伊藤正, 加藤富三, 五十嵐義晃, 渡辺均<sup>1)</sup>, 北浜博之, 岡田進 ( <sup>1)</sup>田尻ヶ丘病院 ) : [原著] 乳癌の画像診断におけるサーモグラフィの役割. 第22回日本医学会総会誌 (II) (高久史磨編), p.770~771, 1988.
- 18) 伊藤正 : [原著] 日仏放射線医学. Isotope News, No. 397, 27, 1987.
- 19) 伊藤正 : [総説] サーモグラフィによる乳癌診断. Medical Aray, 5, 16~17, 1988.
- 20) 加藤富三, 伊藤正, 五十嵐義晃 : [総説] 医用サーモグラフィの臨床応用. 東京都医師会誌, 40, 3~7, 1988.

#### 学会発表

- 1) 伊藤正, 加藤富三, 五十嵐義晃, 北浜博之 : [特別講演] Science 乳癌の画像診断におけるサーモグラフィの役割 (レクチャーシリーズ). 第22回日本医学会総会, 1987.
- 2) 笹森斉, 和田良仁, 唐沢信安, 加藤富三, 他 : [展示] 磁性体粒子の放射線医学的応用に関する研究 (第2報). 磁性体粒子注入による経時的体内分布について. 第46回日本医学放射学会総会, 1987.
- 3) 笹森斉, 和田良仁, 唐沢信安, 加藤富三, 上島久正, 青木一子<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>放医研 ) : [一般講演] 磁性体粒子の放射線医学的応用に関する研究. (第II報) 磁性体粒子注入による経時的体内分布について. 第46回日本医学放射線学会総会, 1987.
- 4) 関谷敏彦, 赤石健, 和田良仁, 菊池隆介, 柳田直樹, 茂古沼吉宗, 石原聖久, 五十嵐義晃, 伊藤正 : [一般講演] 痛みのサーモグラフィ (第II報). 第46回日本医学放射線学会総会, 1987.
- 5) 岡田進, 加藤富三, 上坂伸宏<sup>1)</sup>, 菊池洋史<sup>1)</sup>, 古浜和久<sup>1)</sup>, 品川嘉也<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1生理 ) : [一般講演] イオン性低浸透圧造影剤 (Ioxaglate) の循環動態に及ぼす作用; カエル後肢還流実験による解析. 第46回医学放射線学会総会, 1987.
- 6) 石原聖久, 斎木名執, 岡田進, 多田周, 笹森斉, 伊藤正, 加藤富三, Faure, C. : [一般講演] 非骨化性線維腫 (NOF); 線維性骨皮質欠損 (FCD) との比較及び特殊形について. 第18回臨床小児放射線研究会, 1987.
- 7) 石原聖久 : [一般講演] トゥルソー病院 (パリ第6大学付属小児科病院) 放射線科研修報告. 第18回臨床小児放射線研究会. 1987.
- 8) 多田周, 関谷敏彦, 五十嵐義晃, 伊藤正, 加藤富三, 岡田進<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>佼成病院放射線科 ) : [一般講演] コンタクトサーモグラフィによる乳癌の Quantitative Diagnosis の試み. 日本サーモグラフィ学会第4回大会, 1987.
- 9) Akaishi, T.,<sup>1)</sup> Kato, T., Ito, T. and Iguchi, T.<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>Kohsei General Hospital Department of Radiology ) : [Oral Presentation] Videofluorography using a high-resolution digital image system. VI European Congress of Radiology (Portugal, Lisboa), 1987.
- 10) Kato, T., Ito, T., Igarashi, Y., Kikuchi, R., Akaishi, T.<sup>1)</sup> and Sasamori, H.<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>Kohsei General Hospital Department of Radiology ) : [Oral Presentation] The important role of ultrasonography for breast cancer imaging. VI European Congress of Radiology (Portugal Lisboa), 1987.
- 11) 和田良仁, 笹森斉, 伊藤正, 加藤富三, 他 : [一般講演] 磁性体微粒子を芯物質としたアドリアマイシンマイクロ

ロカプセルの基礎的研究. 第364回日本医学放射線学会関東地方会, 1987.

- 12) 石王道人, 佐藤俊彦, 柳田直樹, 市川三奈江, 茂古沼吉宗, 鈴木次夫, 伊藤正, 加藤富三: [一般講演] 当科に置けるTAE療法の現況. 第364回日本医学放射線学会関東地方会, 1987.
- 13) 石原聖久: [海外留学者講演] ツールソー病院 (パリ第6大学付属小児病院) 放射線科研修報告; 非骨化性線維腫のX線像について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 14) 赤石健<sup>1)</sup>, 笹森斉<sup>1)</sup>, 井口俊<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>佼成病院放射線科 ): [一般講演] 高解像度デジタルビデオメモリーの消化管透視への応用. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 15) 和田良仁, 笹森斉, 唐沢信安, 加藤富三, 他: [一般講演] 磁性体微粒子を芯物質とした抗癌剤マイクロカプセルの悪性腫瘍におよぼす影響についての基礎的研究. 第19回臨床電子顕微鏡学会総会, 1987.
- 16) 鈴木振一郎<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>NTT東京中央健康管理センター放射線科 ): [展示] 心エコーにおける左心系の断層像による正常値の算出に対する考察. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 17) 柳田直樹, 佐藤俊彦, 青木文, 関谷敏彦, 石王道人, 菊池隆介, 多田周, 五十嵐義晃, 伊藤正, 加藤富三, 他: [一般講演] 乳房撮影の乳腺実質パターンの診断的価値に関する研究. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 18) 斎木名執<sup>1)</sup>, 横倉稔明<sup>1)</sup>, 佐藤俊彦, 伊藤正, 加藤富三 ( <sup>1)</sup>下谷病院放射線科 ): [一般講演] 肝および脾の腫瘍性病変に対するDynamic CTおよびRapid sequential CTの有用性について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 19) 五十嵐俊夫<sup>1)</sup>, 斎木名執<sup>2)</sup>, 横倉稔明<sup>2)</sup>, 他 ( <sup>1)</sup>下谷病院産婦人科, <sup>2)</sup>同放射線科 ): [一般講演] 診断に苦慮した卵巣腫瘍の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 20) 菊池隆介, 佐藤俊彦, 柳田直樹, 石王道人, 関谷敏彦, 多田周, 茂古沼吉宗, 鈴木次夫, 五十嵐義晃, 伊藤正, 加藤富三: [展示] 最新型RI装置デジタルガンマカメラGCA-602Aの使用経験. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 21) 多田周, 岡田進, 関谷敏彦, 五十嵐義晃, 伊藤正, 加藤富三, 井口俊<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>佼成病院放射線科 ): [展示] コンタクトサーモグラフィによる乳癌のQuantitative Diagnosisの試み. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 22) 本田一義<sup>1)</sup>, 北浜博之<sup>1)</sup>, 他 ( <sup>1)</sup>栃木県立がんセンター画像診断部 ): [展示] TCT-900Sによるシネ表示の有用性. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 23) 孫田誠三<sup>1)</sup>, 北浜博之<sup>1)</sup> 他 ( <sup>1)</sup>栃木県立がんセンター画像診断部 ): [展示] いわゆるPACSの使用経験; TDISの有用性について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 24) 笹森斉<sup>1)</sup>, 和田良仁, 加藤富三, 他 ( <sup>1)</sup>佼成病院放射線科 ): [展示] 磁性体粒子の医学的応用に関する基礎的研究. 第2報 経時的体内分布ならびに生化学的変化. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 25) 北浜博之<sup>1)</sup>, 他 ( <sup>1)</sup>栃木県立がんセンター画像診断部 ): [展示] CR処理画像における乳房撮影の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 26) 石原聖久: [一般講演] ツールソー病院 (パリ第6大学付属小児病院) 放射線科研修報告; 非骨化性線維腫のX線像について. 日仏医学会, 1987.
- 27) 佐藤俊彦, 柳田直樹, 川勝樹夫, 牛広明, 関谷敏彦, 豊島宏二, 斎木名執, 多田周, 茂古沼吉宗, 五十嵐義晃, 伊藤正, 加藤富三, 他: [一般講演] 先天性子宮頸管・腔閉鎖症の一例; MR像を中心に. 第367回日本医学放射線学会関東地方会, 1988.
- 28) 山岸嘉彦, 佐藤雅史, 渡部英之, 五十嵐義晃, 他: [一般講演] 病的骨折の骨シンチグラフィ; 最近経験した症例について. 第28回日医核医学会関東甲信越地方会, 1988.
- 29) 横倉稔明<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>下谷病院放射線科 ): [特別講演, シンポジウム (指定発言)] 腹部超音波診断の進歩. 第47回日本医学放射線学会総会, 1988.

- 30) 五十嵐義晃：〔一般講演〕機能的な精神疾患を主体とした<sup>123</sup>I・IMP SPECT像の検討。第47回日本医学放射線学会総会，1988。
- 31) 山岸嘉彦，五十嵐義晃，他：〔一般講演〕骨単純X線写真における normal variant 例に対するシンチグラフィの意義。第47回日本医学放射線学会総会，1988。
- 32) 斎木名執，佐藤俊彦，伊藤正，菊池隆介<sup>1)</sup>，横倉稔明<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>下谷病院放射線科）：〔一般講演〕肝腫瘍性病変に対する Dynamic CT 及び Rapid Sequential CT の有用性について。第47回日本医学放射線学会総会，1988。
- 33) 和田良仁，笹森斉，伊藤正，加藤富三，他：〔展示〕磁性体微粒子を芯物とした Adriamycin マイクロカプセルによる経カテーテル化学塞栓療法の基礎的研究。第47回日本医学放射線学会総会，1988。
- 34) 多田周，関谷敏彦，佐藤俊彦，青木文，五十嵐義晃，伊藤正，加藤富三：〔一般講演〕コンタクトサーモグラフィによる乳癌の Quantitative Diagnosis の試み。第47回日本医学放射線学会総会，1988。
- 35) 北浜博之<sup>1)</sup>，孫田誠三<sup>1)</sup>，本田一義<sup>1)</sup>，他（<sup>1)</sup>栃木県立癌センター）：〔一般講演〕デジタル画像による乳房撮影像の検討。第47回日本医学放射線学会総会，1988。
- 36) 鈴木振一郎<sup>1)</sup>，浅井隆二<sup>1)</sup>，他（<sup>1)</sup>NTT東京中央健康管理センター放射線科）：〔一般講演〕脂肪肝の超音波断層像について amplitude - histogram を用いた肝腎コントラストの定量的解析 - 第1報。第39回通信医学会総会，1988。
- 37) 菊池隆介<sup>1)</sup>，横倉稔明<sup>1)</sup>，斎木名執（<sup>1)</sup>下谷病院放射線科）：〔展示〕TDIS - FILEによるCRT診断。第47回日本医学放射線学会総会，1988。
- 38) 横倉稔明<sup>1)</sup>，菊池隆介<sup>1)</sup>，斎木名執（<sup>1)</sup>下谷病院放射線科）：〔一般講演〕TDIS - FILEによる画像情報管理。第47回日本医学放射線学会総会，1988。
- 39) 横倉稔明<sup>1)</sup>，他（<sup>1)</sup>下谷病院放射線科）：宇宙衛星による医学画像の送受信。第47回日本医学放射線学会総会，1988。
- 40) 牛広明：〔特別講演〕Differential diagnosis on early cancer and benign polyp of the colon. 第47回日本医学放射線学会総会，1988。

## 〔第二病院放射線科〕

### 研究概要

#### 放射線診断学

- 1) 肺疾患に対し，気管支鏡を用いたBAL，肺生検を行っている。
- 2) 川崎市民の胸部間接撮影による胸部疾患集団検診業務の中心的役割を果たし，結核，癌のみならず広く胸部疾患を取り上げている。
- 3) 上部消化管の消化性潰瘍のX線診断学において，単に潰瘍のみの形態的診断に止まらず，潰瘍形成の背景となる攻撃因子（胃分泌機能）および粘膜自体の防御因子等，粘膜のもつ機能を画像に表現する，いわゆる functional radiology に目標をおき，研究を続行中である。
- 4) 川崎市および東京都大田区からの依頼により，地域住民の胃癌計画診断業務に参画している。

#### 放射線治療学

肺癌に対してBAL，放射線治療を，主として外科的切除不能例につき，積極的治療を行っている。

#### 核医学

- 1) 骨シンチグラフィを骨腫瘍に施行し，Gaシンチグラフィを併用し，良悪の鑑別の可能性を追求している。
- 2) 骨腫瘍以外の骨疾患，例えば炎症，無腐性骨壊死，代謝性疾患，骨折，特に疲労骨折，正常異変，原因不明の痛みなどにも骨シンチグラフィを応用し，病態の把握や経過の判定に利用している。
- 3) 他の付属3病院と共同で小児の骨疾患につき骨シンチグラフィを行い，成人との違いや，小児に多い疾患の診

断に利用している。

## 研究業績

### 論文

- 1) 山岸嘉彦：〔総説〕シリーズ：核医学 骨シンチグラフィー I 基礎から正常像迄. Innervision, 2(7), 45～47, 1987.
- 2) 山岸嘉彦：〔総説〕シリーズ：核医学 骨シンチグラフィー II 異常像. Innervision, 2(8), 41～45, 1987.
- 3) 疋田史典, 山岸嘉彦：〔総説〕シリーズ：画像診断 撮像から読影のコツ (32) 肺結核. 治療, 69, 1281～1285, 1987.
- 4) 篠原義智, 山岸嘉彦, 花輪峰夫：〔総説〕シリーズ：画像診断 撮像から読影のコツ (34) 肺小細胞未分化癌. 治療, 69, 1674～1680, 1987.
- 5) 福永淳, 山岸嘉彦, 門倉辰夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>門倉病院)：〔総説〕シリーズ：画像診断 撮像から読影のコツ (35) 胆嚢癌. 治療, 69, 1868～1872, 1987.
- 6) 玉井仁<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦 (<sup>1)</sup>付属病院放射線科)：〔総説〕シリーズ：画像診断 撮像から読影のコツ (36) 骨巨細胞腫. 治療, 69, 2038～2041, 1987.
- 7) 佐藤雅史, 篠原義智：〔症例〕糖尿病性ケトアシドーシスに合併した縦隔気腫の1例. 日本胸疾患会誌, 26, 91～95, 1988.

### 著書

- 1) 佐藤雅史, 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 山本鼎<sup>2)</sup>, (<sup>1)</sup>付属病院放射線科, <sup>2)</sup>多摩永山病院放射線科)：〔分担〕肺. “Interventional Radiology” (平松京一, 打田日出夫編), p.60～72, 金原出版, 1987.
- 2) 渡部英之：〔分担〕消化器のX線診断 消化器. Annual Review P.65～70, 中外医学社, 1988.

### 学会発表

- 1) 佐藤雅史, 山本鼎<sup>1)</sup>, 福永淳, 鍛喜美恵, 篠原義智, 疋田史典, 渡部英之, 山岸嘉彦 (<sup>1)</sup>多摩永山病院放射線科)：〔一般講演〕胸部正面像におけるvisible major fissureの臨床的意義について. 第46回日本医学放射線学会総会, 1987.
- 2) 藤井裕介<sup>1)</sup>, 倉田文秋<sup>1)</sup>, 松原貴規<sup>1)</sup>, 遠山俊之<sup>1)</sup>, 島崎譲<sup>1)</sup>, 藤本紘太郎<sup>1)</sup>, 上田征夫<sup>1)</sup>, 原文夫<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦 (<sup>1)</sup>第二病院内科)：〔一般講演〕運動負荷心プールシンチグラフィーによる糖尿病患者の左心機能評価. 第84回日本内科学会講演会, 1987.
- 3) 品川洋一<sup>1)</sup>, 太田裕子<sup>1)</sup>, 木村方美<sup>1)</sup>, 石井民一郎<sup>1)</sup>, 太田秀穂<sup>1)</sup>, 福永淳, 佐藤雅史, 渡部英之, 山岸嘉彦, 川並汪一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院小児科, <sup>2)</sup>同病理部)：〔一般講演〕下痢を誘因とした迷入臍による腸重積症の1例. 第18回臨床小児放射線研究会, 1987.
- 4) 鍛喜美恵, 佐藤雅史, 福永淳, 篠原義智, 疋田史典, 渡部英之, 山岸嘉彦, 久吉隆郎<sup>1)</sup>, 三樹勝<sup>1)</sup>, 川並汪一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院外科, <sup>2)</sup>同病理部)：〔一般講演〕興味ある発育を示した空洞形成肺胞上皮癌の一例. 第89回日本肺癌学会関東部会, 1987.
- 5) 久吉隆郎<sup>1)</sup>, 平田正信<sup>1)</sup>, 田崎達也<sup>1)</sup>, 土屋嘉哉<sup>1)</sup>, 天野純治<sup>1)</sup>, 三樹勝<sup>1)</sup>, 佐藤雅史, 難波亨<sup>2)</sup>, 葉山典泰<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院外科, <sup>2)</sup>国立立川病院外科)：〔一般講演〕集検で発見された25才女性肺線癌一切除例. 第89回日本肺癌学会関東部会, 1987.
- 6) 山岸嘉彦, 大石卓爾<sup>1)</sup>, 田島なつき<sup>2)</sup>, 鍛喜美恵, 斎藤了一<sup>1)</sup>, 高岩成光, 奥山厚<sup>1)</sup>, 佐藤雅史, 五十嵐義晃<sup>3)</sup>,

- 渡部英之（<sup>1</sup>付属病院放射線科，<sup>2</sup>多摩永山病院放射線科，<sup>3</sup>第一病院放射線科）：〔一般講演〕疲労骨折のシンチグラフィー；最近経験した症例について．第28回日本核医学会関東甲信越地方会，1987.
- 7) 斎藤了一<sup>1</sup>，大石卓爾<sup>1</sup>，渡潤<sup>1</sup>，林宏光<sup>1</sup>，奥山厚<sup>1</sup>，山岸嘉彦，恵畑欣一<sup>1</sup>（<sup>1</sup>付属病院放射線科）：〔一般講演〕肺血栓塞栓症に於ける肺血流シンチグラフィーの重要性．第28回日本核医学会関東甲信越地方会，1987.
- 8) 斎藤了一<sup>1</sup>，奥山厚<sup>1</sup>，多田周<sup>2</sup>，高岩成光，汲田伸一郎<sup>1</sup>，高橋政之<sup>1</sup>，市川太郎<sup>1</sup>，五十嵐義晃<sup>2</sup>，山本鼎<sup>3</sup>，山岸嘉彦，恵畑欣一<sup>1</sup>（<sup>1</sup>付属病院放射線科，<sup>2</sup>第一病院放射線科，<sup>3</sup>多摩永山病院放射線科）：〔一般講演〕軟部腫瘍のシンチグラフィー．第28回日本核医学会関東甲信越地方会，1987.
- 9) 鍛喜美恵，佐藤雅史，福永淳，篠原義智，疋田史典，渡部英之，山岸嘉彦，久吉隆郎<sup>1</sup>，三樹勝<sup>1</sup>（<sup>1</sup>第二病院外科）：〔一般講演〕興味ある発育を示した空洞形成性肺胞上皮癌の1例．第55回日本医科大学医学会総会，1987.
- 10) 斎藤了一<sup>1</sup>，奥山厚<sup>1</sup>，桜井恵<sup>1</sup>，保坂純郎<sup>1</sup>，片山信仁<sup>1</sup>，稲垣禎彦<sup>1</sup>，宮下次広<sup>1</sup>，青海川秀敏<sup>1</sup>，三谷原重雄<sup>1</sup>，高橋政之<sup>1</sup>，恵畑欣一<sup>1</sup>，山岸嘉彦，山本鼎<sup>2</sup>（<sup>1</sup>付属病院放射線科，<sup>2</sup>多摩永山病院放射線科）：〔一般講演〕骨・軟部腫瘍の核医学イメージング．第55回日本医科大学医学会総会，1987.
- 11) 難波享<sup>1</sup>，葉山典泰<sup>1</sup>，田崎達也<sup>2</sup>，久吉隆郎<sup>2</sup>，平田正信<sup>2</sup>，土屋喜哉<sup>2</sup>，天野純治<sup>2</sup>，三樹勝<sup>2</sup>，佐藤雅史，山岸嘉彦，川並汪一<sup>3</sup>（<sup>1</sup>国立立川病院外科，<sup>2</sup>第二病院外科，<sup>3</sup>同病理部）：〔一般講演〕切除後に脳転移を来した25歳女性肺線癌の1例．第55回日本医科大学医学会総会，1987.
- 12) 久吉隆郎<sup>1</sup>，田崎達也<sup>1</sup>，平田正信<sup>1</sup>，土屋喜哉<sup>1</sup>，天野純治<sup>1</sup>，三樹勝<sup>1</sup>，佐藤雅史，山岸嘉彦，松本光司<sup>2</sup>，難波享<sup>3</sup>（<sup>1</sup>第二病院外科，<sup>2</sup>同病理部，<sup>3</sup>国立立川病院外科）：〔一般講演〕low grade malignancyを呈した肺muco-epidermoid carcinomaの1例．第55回日本医科大学医学会総会，1987.
- 13) 奥山厚<sup>1</sup>，斎藤了一<sup>1</sup>，隈崎達夫<sup>1</sup>，山岸嘉彦，恵畑欣一<sup>1</sup>（<sup>1</sup>付属病院放射線科）：〔一般講演〕動脈瘤におけるRIイメージングの有用性．第27回日本核医学会総会，1987.
- 14) 斎藤了一<sup>1</sup>，奥山厚<sup>1</sup>，市川太郎<sup>1</sup>，隈崎達夫<sup>1</sup>，山岸嘉彦，恵畑欣一<sup>1</sup>，五味淵誠<sup>2</sup>，富士崎隆<sup>2</sup>，田中茂夫<sup>2</sup>（<sup>1</sup>付属病院放射線科，<sup>2</sup>同胸部外科）：〔一般講演〕肺癌症例に施行した心プールシンチグラフィーおよび核聴診器による左室機能評価の比較検討．第26回心臓放射線研究会，1987.
- 15) 佐藤雅史：〔教育講演〕肺癌集検の efficacy．第7回日本画像医学会，1988.
- 16) 福永淳，鍛喜美恵，高岩成光，疋田史典，佐藤雅史，渡部英之，山岸嘉彦，望月功<sup>1</sup>，山口裕史<sup>1</sup>，平井真美<sup>1</sup>，三樹勝<sup>1</sup>（<sup>1</sup>第二病院外科）：〔一般講演〕大腸癌に伴う炎症性変化について；X線像を中心に．日本医科大学医学会第64回例会，1988.
- 17) 岩本正彦<sup>1</sup>，島崎譲<sup>1</sup>，松原貴規<sup>1</sup>，藤井裕介<sup>1</sup>，斎藤正人<sup>1</sup>，上田征夫<sup>1</sup>，原文夫<sup>1</sup>，福永淳，佐藤雅史，川並汪一<sup>2</sup>（<sup>1</sup>第二病院内科，<sup>2</sup>同病理部）：〔一般講演〕右心房内腫瘍栓の発育を生前に診断し得た肝細胞癌の1例．日本医科大学医学会第64回例会，1988.
- 18) 山岸嘉彦：〔特別講演〕骨腫瘍の画像診断．第8回岡山骨転移カンファレンス，1988.
- 19) 渡部英之，吉谷和男<sup>1</sup>（<sup>1</sup>大森日赤病院）：〔一般講演〕大森保健所管内における地域胃集検の成績について．第35回日本消化器集団検診学会関東地方会，1988.
- 20) 森川哲行，鍛喜美恵，佐藤雅史，福永淳，高岩成光，疋田史典，渡部英之，山岸嘉彦，久吉隆郎<sup>1</sup>，平田正信<sup>1</sup>，川並汪一<sup>2</sup>，岩本正彦<sup>3</sup>（<sup>1</sup>第二病院外科，<sup>2</sup>同病理部，<sup>3</sup>同内科）：〔一般講演〕末梢にBOOP様病変を合併した肺門部扁平上皮癌の1例．第91回日本肺癌学会関東部会，1988.
- 21) 久吉隆郎<sup>1</sup>，難波享<sup>1</sup>，田崎達也<sup>1</sup>，田崎博也<sup>1</sup>，赤石順<sup>1</sup>，平田正信<sup>1</sup>，天野純治<sup>1</sup>，三樹勝<sup>1</sup>，佐藤雅史，篠原義智（<sup>1</sup>第二病院外科）：〔一般講演〕虫垂炎で発見された同時性盲腸・肺重複癌の1切除例．第91回日本肺癌学会関東部会，1988.
- 22) 渡部英之，福永淳，鍛喜美恵，篠原義智，高岩成光，佐藤雅史，山岸嘉彦，恵畑欣一<sup>1</sup>（<sup>1</sup>付属病院放射線科）：



- 〔一般講演〕十二指腸球部の微細粘膜像；X線像，内視鏡所見との対比．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 23) 佐藤雅史，山本鼎<sup>1)</sup>，青海川秀敏<sup>2)</sup>，篠原義智，田中利彦<sup>3)</sup>，佐多和秀<sup>4)</sup>（<sup>1)</sup>多摩永山病院放射線科，<sup>2)</sup>付属病院放射線科，<sup>3)</sup>神奈川県立がんセンター放射線科，<sup>4)</sup>稲田登戸病院呼吸器科）：〔展示〕非結節性末梢型肺癌症例の検討．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 24) 斎藤了一<sup>1)</sup>，高橋政之<sup>1)</sup>，玉井仁<sup>1)</sup>，宮下次廣，<sup>1)</sup>青海川秀敏<sup>1)</sup>，三谷原重雄<sup>1)</sup>，奥山厚<sup>1)</sup>，山岸嘉彦，恵畑欣一<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>付属病院放射線科）：〔一般講演〕骨および軟部腫瘍におけるシンチグラフィーの有用性．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 25) 高橋政之<sup>1)</sup>，梅原松臣，奥山厚<sup>1)</sup>，山岸嘉彦，田尻孝<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>付属病院放射線科，<sup>2)</sup>第1外科）：〔一般講演〕門脈圧亢進症の血行動態（1）．特に左胃静脈の動態と食道静脈瘤の関係について．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 26) 山岸嘉彦，福永淳，鍛喜美恵，篠原義智，斎藤了一<sup>1)</sup>，高岩成光，奥山厚<sup>1)</sup>，疋田史典，佐藤雅史，五十嵐義晃<sup>2)</sup>，渡部英之（<sup>1)</sup>付属病院放射線科，<sup>2)</sup>第一病院放射線科）：〔展示〕骨単純X線写真におけるnormal variant例に対するシンチグラフィーの意義．第47回日本医学放射線学会総会，1988．
- 27) 片山信仁<sup>1)</sup>，渡部英之（<sup>1)</sup>付属病院放射線科）：〔一般講演〕Presacral spaceのX線学的検討（第3報）．第47回日本医学放射線学会総会，1988．

## 〔多摩永山病院放射線科〕

### 研究概要

- 1) 肺癌に対する気管支動脈内制癌剤注入療法，全身的化学療法および放射線治療を組み合わせた集学的治療の研究
- 2) 肺野末梢のcoin lesionに対するCTガイド下肺針生検の研究
- 3) 川崎市の住民検診をフィールドにした肺癌集団検診の研究
- 4) 多摩永山病院救命救急センターとの共同による肝および肺損傷の画像診断に関する研究
- 5) 慢性気管支炎と喫煙との相関に関する気管支鏡的研究

### 研究業績

#### 著 書

- 1) 隈崎達夫<sup>1)</sup>，佐藤雅史<sup>2)</sup>，山本鼎（<sup>1)</sup>付属病院放射線科，<sup>2)</sup>第二病院放射線科）：〔分担〕肺．“Interventional Radiology”（平松京一，打田日出夫編），p.60～72，金原出版，1987．

#### 学会発表

- 1) 篠原義智<sup>1)</sup>，青海川秀敏<sup>2)</sup>，山本鼎，清水浩<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第二病院放射線科，<sup>2)</sup>付属病院放射線科）：〔一般講演〕経皮的CTガイド下肺針生検法の実施上の問題点と工夫．第10回日本気管支学会総会，1987．
- 2) 篠原義智<sup>1)</sup>，青海川秀敏<sup>2)</sup>，山本鼎，清水浩<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第二病院放射線科，<sup>2)</sup>付属病院放射線科）：〔一般講演〕原発性肺癌における経気管支的細胞診陰性症例の検討．第10回日本気管支学会総会，1987．
- 3) 青海川秀敏<sup>1)</sup>，篠原義智<sup>2)</sup>，山本鼎，清水浩<sup>1)</sup>，恵畑欣一<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>付属病院放射線科，<sup>2)</sup>第二病院放射線科）：〔一般講演〕禁煙効果の気管支鏡的検討；慢性気管支炎症例における検討．第10回日本気管支学会総会，1987．
- 4) 山口裕通<sup>1)</sup>，山田智彦<sup>1)</sup>，和田英理<sup>1)</sup>，小田彰<sup>1)</sup>，汲田伸一郎，高橋政之，有竹澄江，高岩成光，山本鼎（<sup>1)</sup>救命救急センター）：〔一般講演〕肝挫傷のCTによる考察．第55回日本医科大学医学会総会，1987．
- 5) 高橋政之，汲田伸一郎，有竹澄江，高岩成光，山本鼎，山口裕通<sup>1)</sup>，山田智彦<sup>1)</sup>，和田英理<sup>1)</sup>，小田彰<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>救命救急センター）：〔一般講演〕肺挫傷の画像診断；CT所見を中心に．第55回日本医科大学医学会総会，1987．

- 6) 斎藤了一<sup>1)</sup>, 奥山厚<sup>1)</sup>, 桜井恵<sup>1)</sup>, 保坂純郎<sup>1)</sup>, 片山信仁<sup>1)</sup>, 稲垣禎彦<sup>1)</sup>, 宮下次廣<sup>1)</sup>, 青海川秀敏<sup>1)</sup>, 三谷原重雄<sup>1)</sup>, 高橋政之<sup>1)</sup>, 恵畑欣一<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>2)</sup>, 山本鼎 ( <sup>1)</sup>付属病院放射線科, <sup>2)</sup>第二病院放射線科 ) : [一般講演] 骨・軟部腫瘍の核医学イメージング. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 7) 後藤正道<sup>1)</sup>, 長野具雄<sup>1)</sup>, 中込明裕<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 長沢紘一<sup>1)</sup>, 前田昭太郎<sup>2)</sup>, 山本鼎, 奥村英正<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>同病理検査室, <sup>3)</sup>第1内科 ) : [一般講演] 腸管内結石を伴い悪性奇形腫と鑑別困難であった脂肪肉腫の1例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 8) 山岸嘉彦<sup>1)</sup>, 大石卓爾<sup>2)</sup>, 田島なつき, 鍛喜美恵<sup>1)</sup>, 斎藤了一<sup>2)</sup>, 高岩成光<sup>1)</sup>, 奥山厚<sup>2)</sup>, 佐藤雅史<sup>1)</sup>, 五十嵐義晃<sup>3)</sup>, 渡部英之<sup>1)</sup>, ( <sup>1)</sup>第二病院放射線科, <sup>2)</sup>付属病院放射線科, <sup>3)</sup>第一病院放射線科 ) : [一般講演] 疲労骨折の骨シンチグラフィー; 最近経験した症例について. 第28回日本核医学会関東甲信越地方会, 1988.
- 9) 佐藤雅史<sup>1)</sup>, 山本鼎, 青海川秀敏<sup>2)</sup>, 篠原義智<sup>2)</sup>, 田中利彦<sup>3)</sup>, 佐多和秀<sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup>第二病院放射線科, <sup>2)</sup>付属病院放射線科, <sup>3)</sup>神奈川県立がんセンター放射線科, <sup>4)</sup>稲田登戸病院呼吸器内科 ) : [展示] 非結節性末梢型肺癌症例の検討. 第47回日本医学放射線学会総会, 1988.
- 10) 恵畑欣一 : [教育講演] 症状からみた画像診断. 日本医師会生涯教育講座, 1987.

## 7. 皮膚科学講座

### 〔付属病院皮膚科〕

#### 研究概要

- 1) 薬疹, 接触皮膚炎: 掻皮貼付試験, 皮内反応, challenge test 等による原因物質の確認および統計, さらにアレルギーカードを発行し再発の予防に努めている.
- 2) 皮膚細菌感染症: 分離細菌および薬剤感受性の統計.
- 3) 皮膚真菌症の原因検索および統計.
- 4) 皮膚結核の診断, 治療, および臨床統計.
- 5) 梅毒の診断, 治療および統計に関する研究: 分画 TPHA を指標とする治療の効果判定.
- 6) 皮膚腫瘍の臨床診断および病理学的研究: 特に電顕, 酵素抗体法を用いた研究.

### 〔付属病院形成外科〕

#### 研究概要

まず形成外科創設以来の研究主題である埋入異物, 同種移植およびケロイドに関する業績の集大成として新知見を加えて著書となったことは意義深い.

次に本年度着手した独自の研究をあげる.

- 1) 形成外科領域におけるコンピュータの利用 (特に国際的に注目を浴びている).
- 2) 筋膜皮弁, 特に cervicoscapular flap の開発.
- 3) ワイアフレーム外固定法の考案と応用.
- 4) 有茎頭蓋骨弁による顔面骨変形の治療.

### 〔第一病院皮膚科〕

#### 研究概要

- 1) 皮膚腫瘍の発生および診断に関する研究. 特に電顕等を用いた病理組織学的検索.
- 2) STD に関する研究. 特に蛍光抗体法, 酵素抗体法を用いた組織内スピロヘータ局在性の検索.
- 3) サーモグラフィーによる皮膚疾患の診断および, その応用に関する研究.
- 4) 悪性腫瘍の増殖抑制に関する研究. 特に細胞培養を用いた各種治療法の効果について.

### 〔第二病院皮膚科〕

#### 研究概要

- 1) 接触皮膚炎, 薬疹: patch scratch test, challenge test によるアレルギー物質の検索と統計的解析.
- 2) 皮膚腫瘍: 簡便かつ美容的な術式である open treatment の治療法の検討. 電顕, 蛍光抗体法を用いた病理組織学的検索.
- 3) STD : 梅毒の治療と分画 TPHA 推移の相関.
- 4) 感染症: 皮膚細菌感染症の分離菌と薬剤感受性の統計的解析. 真菌症の研究.

## [付属病院皮膚科]

### 研究業績

#### 論文

- 1) 本田光芳：〔総説〕薬疹。日医大誌，54，193～195，1987.
- 2) 矢島純：〔原著〕帯状疱疹患者における遅延型皮膚反応。日医大誌，54，153～161，1987.
- 3) 畑三恵子：〔原著〕ネオマイシンパッチテスト陽性例の年次推移，およびアミノ配糖体系抗生物質パッチテスト陽性例についての検討。日医大誌，54，141～152，1987.
- 4) 曾我早奈絵，佐々木映子，畑三恵子，矢島純，服部怜美<sup>1)</sup>，本田光芳（<sup>1)</sup>第二病院皮膚科）：〔原著〕下肢の基底細胞癌。皮病診療，9，345～348，1987.
- 5) 青木見佳子，川並汪一<sup>1)</sup>，石崎正通<sup>1)</sup>，馬杉洋三<sup>1)</sup>，本田光芳（<sup>1)</sup>第1病理）：〔原著〕肉芽腫形成性皮膚疾患におけるランゲルハンス細胞の動態。アレルギー，36，337～344，1987.
- 6) 本田光芳：〔原著〕制汗消臭剤FM-10の治験報告。新薬と臨，36，1037～1043，1987.
- 7) 本田光芳：〔総説〕赤ら顔と酒皰。皮膚と美容，19，3128～3130，1987.
- 8) 松村英子，飯泉陽子<sup>1)</sup>，畑三恵子，矢島純，服部怜美<sup>1)</sup>，本田光芳（<sup>1)</sup>第二病院皮膚科）：〔原著〕イミダゾール系抗真菌剤主剤によるアレルギー性接触皮膚炎。皮膚臨床，29，673～677，1987.
- 9) 本田光芳，矢島純，他：〔原著〕パスタロンソフト（SK-201）の臨床効果の検討。基礎と臨床，21，4763～4773，1987.
- 10) 新谷真理子，佐々木映子，佐藤元泰<sup>1)</sup>，畑三恵子，矢島純，服部怜美<sup>1)</sup>，本田光芳（<sup>1)</sup>第二病院皮膚科）：〔原著〕酪酸ヒドロコルチゾンによるアレルギー性接触皮膚炎。皮膚臨床，29，857～863，1987.
- 11) 青木見佳子，矢島純，服部怜美<sup>1)</sup>，本田光芳，川並汪一<sup>2)</sup>，池川修一<sup>3)</sup>，石原和之<sup>3)</sup>（<sup>1)</sup>第二病院皮膚科，<sup>2)</sup>第1病理，<sup>3)</sup>国立ガンセンター皮膚科）：〔原著〕悪性血管内皮細胞腫の2例。臨皮，41，811～816，1987.
- 12) 本田光芳，矢島純，畑三恵子，松村英子，宮崎芳博<sup>1)</sup>，原捷之<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>持田製薬株式会社薬粧開発部）：〔原著〕コラーージュクリームの臨床経験ならびに安全性の検討。新薬と臨，36，1708～1714，1987.
- 13) 本田光芳，石永三千，他：〔原著〕各種皮膚疾患に対する「間宮」アロエ軟膏の治療経験。西日本皮膚科，49，919～926，1987.
- 14) 新見やよい，佐々木映子，藤岡三千，畑三恵子，矢島純，服部怜美<sup>1)</sup>，本田光芳，杉山千代志<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第二病院皮膚科，<sup>2)</sup>結核研究所付属病院臨床検査課）：〔原著〕尋常性狼瘡の1例。皮病診療，9，949～952，1987.
- 15) 本田光芳，新見やよい：〔原著〕皮膚結核の現況。皮膚臨床，29，1205～1214，1987.
- 16) 本田光芳，佐々木映子：〔原著〕スプロフェン軟膏の湿疹，皮膚炎群および帯状疱疹に対する臨床効果の検討；ブフェキサマック軟膏との比較試験。臨床医薬，3，1209～1228，1987.
- 17) 川並汪一<sup>1)</sup>，青木見佳子，三宅弘章<sup>2)</sup>，務川靖<sup>3)</sup>（<sup>1)</sup>第二病院病理部，<sup>2)</sup>第1病理，<sup>3)</sup>小児科）：〔原著〕過敏性肺炎におけるランゲルハンス細胞系抗原提示細胞の役割について。アレルギー，11，999～1005，1987.
- 18) 藤岡三千，本田光芳：〔原著〕アトピー性皮膚炎と手の湿疹。皮病診療，9，1031～1034，1987.
- 19) 本田光芳：〔総説〕おむつ部位に見られる皮膚変化。日小皮会誌，6，57～59，1987.
- 20) 佐藤光治，本田光芳，他：〔原著〕瘙癢を伴う各種皮膚疾患の治療に及ぼすニボラジン<sup>®</sup>錠の有用性について。医学と薬学，18，1651～1665，1987.
- 21) 畑三恵子，松村英子，本田光芳：〔総説〕アトピー性皮膚炎の治療；ステロイド外用療法。小児臨，40，3241～3246，1987.
- 22) 服部怜美<sup>1)</sup>，本田光芳（<sup>1)</sup>第二病院皮膚科）：〔総説〕汗疱，発汗異常（小児の皮膚，正常と異常）。小児内科，19（臨時増刊号），510～512，1987.
- 23) 服部怜美<sup>1)</sup>，三枝由紀子<sup>1)</sup>，飯泉陽子<sup>1)</sup>，佐藤元泰<sup>1)</sup>，青木見佳子，本田光芳，石井洋司<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第二病院皮膚科，

- <sup>2)</sup>福山市) : [原著] Basaloid cell proliferationを伴う淡褐色局面内に生じた Trichilemmal Carcinoma の 1 例. 日本皮膚悪性腫瘍学会機関誌, 2, 149~151, 1987.
- 24) 本田光芳 : [総説] 手の湿疹. 皮膚と美容, 20, 3240, 1988.
- 25) Sasaki, E., Shinya, M., Fujioka, M., Sato, M.<sup>1)</sup>, Hata, M., Yajima, J., Hattori, S.<sup>1)</sup> and Honda, M. (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科) : [原著] Contact dermatitis due to amcinonide. Contact Dermatitis, 18, 61~62, 1988.
- 26) 松村英子, 佐藤光治, 本田光芳 : [原著] 下腿潰瘍と接触皮膚炎. アレルギーの臨床, 8, 118~120, 1988.
- 27) 畑三恵子, 佐々木映子, 本田光芳 : [総説] スキンクリームについて (特集: 小児によくみられる皮膚疾患). 小児看護, 124, 219~223, 1988.
- 28) 楠俊雄, 楠万佐子<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京都) : [総説] 皮膚真菌症 (特集: 小児によくみられる皮膚疾患). 小児看護, 124, 205~208, 1988.
- 29) 青木見佳子 : [原著] ヒト皮膚マスト細胞の組織化学的・超微形態学的多様性. アレルギー, 37, 166~173, 1988.
- 30) 新谷真理子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 服部怜美<sup>1)</sup>, 本田光芳, 中溝宗永<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科, <sup>2)</sup>耳鼻科) : [原著] ゴム腫. 皮膚臨床, 30, 287~288, 1988.
- 31) 新見やよい, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 服部怜美<sup>1)</sup>, 本田光芳, 岡本哲<sup>2)</sup>, 河村堯<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科, <sup>2)</sup>産婦人科) : [原著] 妊婦梅毒の 1 例. 皮膚臨床, 30, 321~324, 1988.

## 著 書

- 1) 本田光芳 : [分担] 接触皮膚炎. “皮膚科治療ハンドブック” (大城戸宗男編), p.116~119, 南山堂, 1987.
- 2) 本田光芳 : [分担] 皮膚 (薬疹). “臨床薬物治療学大系” (砂原茂一, 植木昭和監修), p.246~255, 情報開発研究所, 1987.
- 3) 矢島純, 本田光芳 : [分担] 貨幣状湿疹 (自家感作性皮膚炎) (nummular eczema). “カラーアトラス皮膚科診療 QUESTIONS & ANSWERS” (西山茂夫他編), p.18~19, 六法出版社, 1987.
- 4) 畑三恵子, 本田光芳 : [分担] 主婦 (手) 湿疹 (Housewife's dermatitis). “カラーアトラス皮膚科診療 QUESTIONS & ANSWERS” (西山茂夫他編), p.16~17, 六法出版社, 1987.
- 5) 佐藤元泰<sup>1)</sup>, 本田光芳 (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科) : [分担] 骨関節, 結合組織疾患と皮膚. “皮膚科MOOK No.10 全身と皮膚” (三木吉春, 他編), p.265~271, 金原出版, 1987.
- 6) 本田光芳 : [分担] 皮膚抗酸菌症. “診断, 治療マニュアル” (阿部裕, 和田達雄編), p.1505~1506, 金原出版, 1987.
- 7) 本田光芳 : [分担] スキンケア. “今日の小児治療指針” (埴嘉之, 三河春樹, 重田政信編), p.551~552, 医学書院, 1987.
- 8) 本田光芳 : [分担] 異汗性湿疹. “皮膚疾患 最新の治療 '87-'88” (西山茂男, 島雄周平, 堀嘉昭編), p.26, 南江堂, 1987.
- 9) 本田光芳 : [分担] 紅皮症 (剥脱性皮膚炎). “今日の治療指針” (大城戸宗男編), p.637~638, 医学書院, 1988.

## 学会発表

- 1) 新見やよい, 佐々木映子, 藤岡三千, 畑三恵子, 矢島純, 服部怜美<sup>1)</sup>, 本田光芳, 杉山千代志<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科, <sup>2)</sup>結核研究所付属病院臨床検査課) : [一般講演] 尋常性狼瘡の 1 例. 第86回日本皮膚科学会学術大会, 1987.
- 2) 白井洋司<sup>1)</sup>, 梅田敏彦<sup>1)</sup>, 塩塚正純<sup>1)</sup>, 大久保正智<sup>1)</sup>, 百束比古<sup>1)</sup>, 石井和博<sup>1)</sup>, 文入正敏<sup>1)</sup>, 本田光芳, 服部怜美<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>形成外科, <sup>2)</sup>第二病院皮膚科) : [一般講演] 2 種類の前額皮弁により鼻の再建を施行した squamous cell

- carcinoma の 2 症例. 第 3 回日本悪性腫瘍学会総会, 1987.
- 3) Yajima, J., Shinya, M., Sasaki, E., Fujioka, M., Hata, M., Hattori, S.<sup>1)</sup> and Honda, M. (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科): [展示] Two cases of contact allergy to topical corticosteroid preparations. 17th World Congress of Dermatology (W. Berlin), 1987.
  - 4) Hattori, S.<sup>1)</sup> and Honda, M. (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科): [展示] Two cases of basal cell carcinoma on nevus Ota. 17th World Congress of Dermatology (W. Berlin), 1987.
  - 5) 本田光芳: [シンポジウム] おむつ部位に見られる皮膚変化. 第11回日本小児皮膚科学会, 1987.
  - 6) 飯泉陽子<sup>1)</sup>, 三枝由紀子<sup>1)</sup>, 佐藤元泰<sup>1)</sup>, 服部怜美<sup>1)</sup>, 本田光芳 (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科): [一般講演] Dyskeratosis congenita. 第11回日本小児皮膚科学会, 1987.
  - 7) 楠俊雄: [一般講演] 誤診されやすい乳児皮膚カンジダ症の臨床像. 第11回日本小児皮膚科学会, 1987.
  - 8) 松村英子, 飯泉陽子<sup>1)</sup>, 畑三恵子, 矢島純, 服部怜美<sup>1)</sup>, 本田光芳 (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科): [一般講演] クロコナゾールによるアレルギー性接触皮膚炎. 第17回抗原研究会, 1987.
  - 9) 藤本和久, 三枝由紀子<sup>1)</sup>, 飯泉陽子<sup>1)</sup>, 佐藤元泰<sup>1)</sup>, 服部怜美<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科): [展示] 皮膚細菌感染症の分離細菌薬剤感受性について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
  - 10) 青木見佳子, 川並汪一<sup>1)</sup>, 石崎正通<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup>, 本田光芳 (<sup>1)</sup>第1病理): [一般講演] 肉芽腫形成性皮膚疾患における樹状細胞およびリンパ球の動態, 第37回日本アレルギー学会総会, 1987.
  - 11) 青木見佳子, 川並汪一<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup>, 本田光芳 (<sup>1)</sup>第1病理): [一般講演] 肥満細胞の皮膚病変への関与と顆粒形態について. 第37回日本アレルギー学会総会, 1987.
  - 12) 飯泉陽子<sup>1)</sup>, 三枝由紀子<sup>1)</sup>, 佐藤元泰<sup>1)</sup>, 服部怜美<sup>1)</sup>, 青木見佳子, 本田光芳 (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科): [一般講演] Sebaceous epithelioma. 第51回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1987.
  - 13) 佐藤光治, 藤岡三千, 服部怜美<sup>1)</sup>, 本田光芳, 村山享一<sup>2)</sup>, 馬場俊吉<sup>3)</sup>, 永井眞之<sup>4)</sup>, 清水洋一<sup>5)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科, <sup>2)</sup>脳神経外科, <sup>3)</sup>耳鼻科, <sup>4)</sup>眼科, <sup>5)</sup>第一病院眼科): [一般講演] 梅毒性粘膜斑の1例. 第51回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1987.
  - 14) 木下真介, 青木見佳子, 畑三恵子, 矢島純, 服部怜美<sup>1)</sup>, 本田光芳 (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科): [一般講演] Clear cell acanthoma の1例. 日本皮膚科学会第642回東京地方会, 1987.
  - 15) 久喜邦康<sup>1)</sup>, 伊藤由美, 佐藤光治, 藤岡三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳 (<sup>1)</sup>第2病理): [一般講演] スポロトリコーシスの1例. 日本皮膚科学会第642回東京地方会, 1987.
  - 16) 佐々部真琴, 江川ゆり, 畑三恵子, 矢島純, 服部怜美<sup>1)</sup>, 本田光芳 (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科): [一般講演] Ibuprofen piconol によるアレルギー性接触皮膚炎の12例. 日本皮膚科学会第642回東京地方会, 1987.
  - 17) 田宮由美子, 松村英子, 佐々木映子, 畑三恵子, 矢島純, 服部怜美<sup>1)</sup>, 本田光芳 (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科): [一般講演] 吉草酸プレトニゾロン, スルコナゾール, ストレプトマイシンによる接触皮膚炎の1例. 日本皮膚科学会第642回東京地方会, 1987.
  - 18) 宮田新, 青木見佳子, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳, 齊藤裕<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京都): [一般講演] 顔面播種状粟粒性狼瘡の小児例. 日本皮膚科学会第642回東京地方会, 1987.
  - 19) 横室公三<sup>1)</sup>, 馬淵綾子<sup>1)</sup>, 末沢梨佳<sup>1)</sup>, 新谷真理子, 山下浩二<sup>1)</sup>, 本田光芳 (<sup>1)</sup>微生物・免疫): [一般講演] 免疫系による生体の統御 (XXIII). 肝非実質細胞による培養肝実質細胞の増殖の制御. 第17回日本免疫学会, 1987.
  - 20) 馬淵綾子<sup>1)</sup>, 横室公三<sup>1)</sup>, 末沢梨佳<sup>1)</sup>, 新谷真理子, 山下浩二<sup>1)</sup>, 本田光芳 (<sup>1)</sup>微生物・免疫): [一般講演] 免疫系による生体の統御 (XXII). 培養肝細胞による同系脾細胞の増殖とMLRの抑制. 第17回日本免疫学会, 1987.

- 21) 伊藤由美, 青木見佳子, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳: [一般講演] Vellus hair cyst の1例. 日本皮膚科学会第644回東京地方会, 1988.
- 22) 江川ゆり, 青木見佳子, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳: [一般講演] 硬化性萎縮性苔癬 の3例. 日本皮膚科学会第644回東京地方会, 1988.
- 23) 小泉雄一郎<sup>1)</sup>, 柳田真理子<sup>1)</sup>, 本田光芳 (<sup>1)</sup>水戸協同病院): [一般講演] Transversalに配列した median raphe cyst of the penis の1例. 第6回日本皮膚科学会茨城地方会, 1988.
- 24) 松村英子, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳, 森岡衛<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京都): [一般講演] 吉草酸 ベタメサゾン, 金によるアレルギー性接触皮膚炎の1例. 日本皮膚科学会第645回合同臨床東京地方会, 1988.
- 25) 秋元正字<sup>1)</sup>, 百束比古<sup>1)</sup>, 白井洋司<sup>1)</sup>, 大久保正智<sup>1)</sup>, 滝沢康<sup>1)</sup>, 文入正敏<sup>1)</sup>, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 本田光芳, 服部怜美<sup>2)</sup>, 三神寛<sup>3)</sup>, 平井隆<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>形成外科, <sup>2)</sup>第二病院皮膚科, <sup>3)</sup>第一病院皮膚科, <sup>4)</sup>総合会津中央病院形成外科): [一般講演] 悪性線維性組織球腫とその手術について. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 26) 佐々部真琴, 青木見佳子, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳: [一般講演] 転移性皮膚癌. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 27) 宮田新, 青木見佳子, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳, 若林恒郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第一病院小児科): [一般講演] Letterer - Siwe 病の1例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 28) 田宮由美子, 青木見佳子, 佐々木映子, 石永三千, 畑三恵子, 矢島純, 本田光芳: [一般講演] 放射線照射後に生じた基底細胞癌. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 29) 滝沢康<sup>1)</sup>, 百束比古<sup>1)</sup>, 白井洋司<sup>1)</sup>, 大久保正智<sup>1)</sup>, 梅田敏彦<sup>1)</sup>, 秋元正字<sup>1)</sup>, 文入正敏<sup>1)</sup>, 本田光芳, 久喜邦康<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>形成外科, <sup>2)</sup>第2病理): [一般講演] 隆起性皮膚線維肉腫とその切除範囲について. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.

## [付属病院形成外科]

### 研究業績

#### 論文

- 1) 中山恵二<sup>1)</sup>, 今井俊哉<sup>1)</sup>, 西原潔<sup>1)</sup>, 星健二<sup>1)</sup>, 中村進一<sup>1)</sup>, 白井洋司<sup>1)</sup>, 山本泰一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第一病院皮膚科, <sup>2)</sup>老人病研究所): [原著] 特異な組織像を呈した脂腺癌の1例. *Skin Cancer*, 2, 25~28, 1987.
- 2) 百束比古, 白井洋司, 梅田敏彦, 平井隆, 吉田秀也, 滝沢康, 文入正敏, 大久保正智<sup>1)</sup>, 石井和博<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>総合会津中央病院形成外科, <sup>2)</sup>大浜第一病院形成外科): [原著] Cross - leg fasciocutaneous flapの9例. 整災外, 31, 421~425, 1988.
- 3) Hyakusoku, H., Okubo, M. and Fumiiri M.: [原著] Combination of the square flap method and the dermal sling to correct flat or inverted nipples. *Aesth. Surg.*, 12, 107~109, 1988.

#### 著書

- 1) 文入正敏, 百束比古: [分担] 生体反応 (人工補填材の). “図説臨床形成外科講座1” (添田周吾, 塚田貞夫, 大浦武彦編), P.44~45, メジカルビュー社, 1987.
- 2) 文入正敏, 百束比古: [分担] ヒト・アジュバント病. “図説臨床形成外科講座1” (添田周吾, 塚田貞夫, 大浦武彦編), P.46~48, メジカルビュー社, 1987.
- 3) 文入正敏, 百束比古: [分担] 隆起性皮膚線維肉腫. “図説臨床形成外科講座1” (添田周吾, 塚田貞夫, 大浦武彦編), p.230~231, メジカルビュー社, 1987.
- 4) 文入正敏: [分担] 植皮術の分類. “標準形成外科学” (鬼塚卓弥, 福田修編), p.27, 医学書院, 1987.

- 5) 文入正敏：〔分担〕異種移植．“標準形成外科学”（鬼塚卓弥，福田修編），p.28，医学書院，1987.
- 6) 文入正敏：〔分担〕同種移植．“標準形成外科学”（鬼塚卓弥，福田修編），p.28～30，医学書院，1987.
- 7) 文入正敏：〔分担〕自家移植．“標準形成外科学”（鬼塚卓弥，福田修編），p.30，医学書院，1987.
- 8) 百束比古，文入正敏：〔分担〕乳房異物注入後の合併症．“図説臨床形成外科講座”（塩谷信幸，塚田貞夫，大浦武彦編），P.74～75，メジカルビュー社，1987.
- 9) 文入正敏，百束比古：〔分担〕外傷性異物．“新外科学大系29B”（木本誠二編），p.224～226，中山書店，1987.
- 10) 文入正敏，百束比古：〔分担〕人工補填物（プロテーゼ）埋入による合併症および後遺症．“新外科学大系29B”（木本誠二編），p.227～235，中山書店，1987.
- 11) 文入正敏，百束比古：〔分担〕刺青．“新外科学大系29B”（木本誠二編），p.235～237，中山書店，1987.
- 12) 文入正敏，白井洋司：〔分担〕ケロイド．“診断・治療マニュアル—Medical Treatment—”，p.1483～1484，金原出版，1987.

## 学会発表

- 1) 徳永昭<sup>1)</sup>，清水康仁<sup>1)</sup>，吉行俊郎<sup>1)</sup>，森野一英<sup>1)</sup>，横井公良<sup>1)</sup>，古川清憲<sup>1)</sup>，滝沢隆雄<sup>1)</sup>，田中宣威<sup>1)</sup>，森山雄吉<sup>1)</sup>，大川共一<sup>1)</sup>，恩田昌彦<sup>1)</sup>，大久保正智，百束比古，石井和博，文入正敏，吉安正行<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第1外科，<sup>2)</sup>三菱重工大倉山病院外科）：〔一般講演〕Miles 手術を施行した肛門周囲皮膚悪性腫瘍の2症例．第41回大腸肛門病学会，1986.
- 2) 久吉隆郎<sup>1)</sup>，三樹勝<sup>1)</sup>，天野純治<sup>1)</sup>，土屋喜哉<sup>1)</sup>，河島文幸<sup>1)</sup>，松林博男<sup>1)</sup>，田崎達也<sup>1)</sup>，諏訪智治<sup>1)</sup>，百束比古，三神寛（<sup>1)</sup>第二病院外科）：〔一般講演〕胸骨切除を行った再発乳癌の2症例．第10回癌治療懇話会，1986.
- 3) 百束比古：〔教育講演〕乳房異物．第30回日本形成外科学会学術講習会，1987.
- 4) 百束比古，大久保正智，梅田敏彦，平井隆，文入正敏：〔一般講演〕遊離あるいは有茎血管束移植により作成したsecondary flapによる再建と適応．第30回日本形成外科学会総会，1987.
- 5) 大久保正智，百束比古，文入正敏：〔一般講演〕幼少時に造鼻術を施行されたOrbital hypertelorismに対するU-osteotomyの経験．第30回日本形成外科学会総会，1987.
- 6) 平井隆，百束比古，文入正敏，干場信之<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>日本電気ソフトウェア）：〔展示〕コンピュータを用いた局所皮弁の三次元的解析．第30回日本形成外科学会総会，1987.
- 7) 平井隆，吉田秀也，文入正敏：〔展示〕組織反射スペクトル解析を用いた皮弁血行再開機序の考察．第30回日本形成外科学会，1987.
- 8) 百束比古，白井洋司，大久保正智，塩塚正純，梅田敏彦，吉田秀也，文入正敏，平井隆<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>総合会津中央病院形成外科）：〔一般講演〕重度顔面熱傷に対するわれわれの形成手術について．第13回日本熱傷学会，1987.
- 9) 白井洋司，梅田敏彦，塩塚正純，大久保正智，百束比古，石井和博，文入正敏，本田光芳<sup>1)</sup>，服部怜美<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>付属病院皮膚科，<sup>2)</sup>第二病院皮膚科）：〔一般講演〕2種類の前額皮弁による鼻の再建を施行したsquamous cell carcinomaの2症例．第3回日本皮膚悪性腫瘍学会，1987.
- 10) 吉田秀也，白井洋司，百束比古，大久保正智，文入正敏：〔一般講演〕有棘細胞癌を合併した多発性ボーエン病の1症例．第133回日本形成外科学会東京地方会，1987.
- 11) 百束比古，白井洋司，大久保正智，塩塚正純，平井隆，吉田秀也，文入正敏，梅田敏彦<sup>1)</sup>，石井和博<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>会津中央病院形成外科，<sup>2)</sup>大浜第一病院形成外科）：〔一般講演〕cross-leg fasciocutaneous flap 8例の経験．第133回日本形成外科学会東京地方会．1987.
- 12) 大久保正智<sup>1)</sup>，百束比古，文入正敏，矢嶋浩三<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>総合会津中央病院形成外科，<sup>2)</sup>脳神経外科）：〔一般講演〕前頭筋弁とfree outer-table calvarial bone graftを用いた外傷性顔面変形の再建．第134回日本形成外科学会



東京地方会, 1987.

- 13) 百束比古, 白井洋司, 梅田敏彦, 吉田秀也, 文入正敏, 大久保正智<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>総合会津中央病院形成外科 ): [一般講演] superficial cervical vessels を基とする fasciocutaneous flap ; 特に cervicoscapular flap の可能性について. 第134回日本形成外科学会東京地方会, 1987.
- 14) 平井隆, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] wire frame 創外固定法の身体各所の植皮に対する応用. 第135回日本形成外科学会東京地方会, 1987.
- 15) 文入正敏: [特別講演] われわれの開発した形成外科手術. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 16) 平井隆, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] ワイアフレーム創外固定法の考案. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 17) 百束比古, 白井洋司, 大久保正敏, 梅田敏彦, 文入正敏, 奥田稔<sup>1)</sup>, 山下精彦<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>耳鼻咽喉科, <sup>2)</sup>第1外科 ): [展示] マイクロサージャリーによる種々の組織移植. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 18) 白井洋司, 百束比古, 塩塚正純, 文入正敏: [展示] われわれの小耳症形成術. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 19) 大久保正智, 百束比古, 文入正敏: [展示] われわれの考案した陥没乳頭形成法. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 20) 吉田秀也, 百束比古, 大久保正智, 文入正敏: [展示] Cervicodorsal fasciocutaneous flap と Cervicoscapular fasciocutaneous flap. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 21) 滝沢康, 百束比古, 白井洋司, 吉田秀也, 文入正敏, 大久保正智<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>総合会津中央病院形成外科 ): [展示] われわれの足底踵部再建法. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 22) 秋元正字, 百束比古, 平井隆, 文入正敏: [展示] コンピュータによる局所皮弁の二次元的解析; ツールの開発とその応用の可能性. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 23) 平井隆, 百束比古, 文入正敏: [展示] コンピュータを用いた局所皮弁の三次元的解析. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 24) 梅田敏彦, 平井隆, 百束比古, 文入正敏: [展示] 潰瘍を呈した隆起性皮膚線維肉腫の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 25) 大久保正智, 百束比古, 文入正敏, 矢嶋浩三<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>脳神経外科 ): [一般講演] outer-table calvarial bone を用いた前額部変形の形成について. 第5回日本頭蓋顎顔面外科学会, 1987.
- 26) 百束比古, 大久保正智, 白井洋司, 文入正敏: [一般講演] 広範囲熱傷の再建に対する美容外科的検討. 第10回日本美容外科学会総会, 1987.
- 27) 大久保正智, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] Distally based temporal muscle flap による額部陥没の充填. 第10回日本美容外科学会総会, 1987.
- 28) 大久保正智, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] U - osteotomy 後の orbital hypertelorism 症例に対する隆鼻術と重瞼術の効果について. 第10回日本美容外科学会総会, 1987.
- 29) 平井隆, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] 顔面外傷の治療. 第63回日本医大医学会例会, 1987.
- 30) 吉田秀也, 大久保正智, 文入正敏: [一般講演] 手の熱傷の治療. 第63回日本医大医学会例会, 1987.
- 31) 大久保正智, 百束比古, 文入正敏: [一般講演] Free hair boarder flap による鼻上唇の再建について. 第14回マイクロサージャリー学会, 1987.
- 32) 滝沢康, 百束比古, 白井洋司, 大久保正智, 中山恵二<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第一病院皮膚科 ): [一般講演] 面皰母班の1例. 第137回日本形成外科学会東京地方会, 1987.
- 33) 梅田敏彦, 百束比古, 平井隆, 文入正敏: [一般講演] 潰瘍を呈した隆起性皮膚線維肉腫の1例. 第138回日本

形成外科学会東京地方会, 1988.

- 34) 滝沢康, 百束比古, 白井洋司, 大久保正智, 梅田敏彦, 秋元正字, 文入正敏, 本田光芳<sup>1)</sup>, 久喜邦康<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>皮膚科, <sup>2)</sup>第2病理): [一般講演] 隆起性皮膚線維肉腫とその切除範囲について. 第64回日本医大医学会例会, 1988.
- 35) 秋元正字, 百束比古, 白井洋司, 大久保正智, 滝沢康, 文入正敏, 佐々木映子<sup>1)</sup>, 石永三千<sup>1)</sup>, 畑三恵子<sup>1)</sup>, 本田光芳<sup>1)</sup>, 服部怜美<sup>2)</sup>, 三神寛<sup>3)</sup>, 平井隆<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科, <sup>2)</sup>第二病院皮膚科, <sup>3)</sup>第一病院皮膚科, <sup>4)</sup>総合会津中央病院形成外科): [一般講演] 悪性線維性組織球腫とその手術について. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 36) 百束比古, 梅田敏彦, 吉田秀也, 秋元正字, 滝沢康, 文入正敏: [一般講演] Venous flapの小経験. 第139回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 37) 秋元正字, 百束比古, 白井洋司, 大久保正智, 梅田敏彦, 平井隆, 滝沢康, 文入正敏, 三神寛<sup>1)</sup>, 服部怜美<sup>2)</sup>, 本田光芳<sup>3)</sup>, 石井和博<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>第1病院皮膚科, <sup>2)</sup>第2病院皮膚科, <sup>3)</sup>付属病院皮膚科, <sup>4)</sup>大浜第一病院形成外科): [一般講演] 悪性線維性組織球腫の5例. 第139回日本形成外科学会東京地方会, 1988.

## 〔第一病院皮膚科〕

### 研究業績

#### 論文

- 1) 井原ちひろ, 中山恵二, 中村進一: [原著] 下腿に発生した Trichilemmal Cyst の1例. 臨皮, 4, 351~353, 1987.
- 2) 星健二: [総説] 臍の炎症. Pediatric Dermatology, 10, 2, 1987.
- 3) Nakamura, S., Nakayama, K., Ito, F. and Hoshi, K.: [原著] A case of trichilemmal cyst on the leg. J. Dermatol., 14, 178~179, 1987.
- 4) 中村進一: [総説] 脱毛. 小児診療, 50, 2065~2067, 1987.
- 5) 中山恵二, 今井俊哉, 西原潔, 星健二, 中村進一, 白井洋司<sup>1)</sup>, 山本泰一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>形成外科, <sup>2)</sup>老人病研究所): [原著] 特異な組織像を呈した脂腺癌の1例. Skin Cancer., 2, 25~28, 1987.
- 6) 菊池洋子, 中山恵二, 星健二, 中村進一: [図譜] Bowenoid papulosis. STD, 67, 1~4, 1987.
- 7) 菊池洋子, 中山恵二, 星健二, 中村進一: [原著] Bowenoid papulosis. STD, 67, 5~8, 1987.
- 8) Nakamura, S., Nakayama, K., Mikami, H. and Imai, T.: [原著] Multiple necrotizing fasciitis; Its etiology and histopathological features. J. Dermatol., 14, 604~608, 1987.
- 9) Nakamura, S. and Nakayama, K.: [原著] Ultrastructural Observation on Mixed Tumor (Pleomorphic Adenoma) Comparison between Benign and Malignant Neoplasms. J. Clin. Electron Microscopy, 20, 289~294, 1987.
- 10) Nakamura, S., Nakayama, K., Nishihara, K. and Imai, T.: [原著] Sebaceous carcinoma; With special reference to histologic differential diagnosis. J. Dermatol., 15, 55~59, 1988.
- 11) 青木雅子, 中山恵二, 恩田周太郎, 中村進一, 山本泰一<sup>1)</sup>, 飯田和美<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>老人病研究所, <sup>2)</sup>ワクチン療法研究施設): [クリニカラー] 陰茎結核疹. 皮膚臨床, 30, 397~398, 1988.
- 12) 青木雅子, 中山恵二, 恩田周太郎, 中村進一, 山本泰一<sup>1)</sup>, 飯田和美<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>老人病研究所, <sup>2)</sup>ワクチン療法研究施設): [原著] 陰茎結核疹の1例. 皮膚臨床, 30, 422~423, 1988.
- 13) Onda, S.: [原著] Thermography from the standpoint of dermatology. Asian. Med. J., 31, 179~182, 1988.
- 14) 宗像醇: [原著] 新生児の皮膚病変. 小児内科, 19, 208~212, 1988.

## 学会発表

- 1) 中村進一, 中山恵二, 今井俊哉: [一般講演] Multiple mixed tumorの電顕像. 第14回皮膚科電顕研究会, 1987.
- 2) 中山恵二, 井原ちひろ, 今井俊哉, 中村進一: [一般講演] Basedow病に合併した Sweet病の1例. 第86回日本皮膚科学会学術大会, 1987.
- 3) 今井俊哉, 中山恵二, 三神寛, 中村進一, 渋谷哲男<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2外科): [一般講演] 重複癌の2例. 第3回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1987.
- 4) 星健二, 中山恵二, 三神寛, 中村進一: [一般講演] 表皮内表皮腫を伴った皮膚付属器癌の1例. 第3回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1987.
- 5) 中山恵二, 今井俊哉, 中村進一, 金森幸男<sup>1)</sup>, 山本泰一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院泌尿器科, <sup>2)</sup>老人病研究所): [一般講演] 毛細血管拡張性肉芽腫を伴った陰茎悪性黒色腫. 第3回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1987.
- 6) 伊東文行, 中村進一, 大竹清子<sup>1)</sup>, 石崎正通<sup>1)</sup>, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理): [一般講演] 第II期梅毒の1例. 第638回日本皮膚科学会東京地方会, 1987.
- 7) 大谷敦子, 中山恵二, 恩田周太郎, 中村進一: [一般講演] 一部に Bowen病を認めた多発性砒素角化症? 第638回日本皮膚科学会東京地方会, 1987.
- 8) 三神寛, 井上かがね, 伊東文行, 中村進一: [一般講演] Superficial erythematous basal cell epitheliomaの1例. 第638回日本皮膚科学会東京地方会, 1987.
- 9) Ito, F. and Nakamura, S.: [一般講演] A study on the demonstration of treponema pallidum in the tissue of syphilis. XVII th World Congress of Dermatology (Berlin), 1987.
- 10) 中村進一, 青木雅子, 大谷敦子, 今井俊哉, 古谷清久, 中村小枝子, 恩田周太郎: [一般講演] 小児の脱毛症に対する電気刺激療法の試み. 第11回日本小児皮膚科学会学術大会, 1987.
- 11) 中山恵二, 星健二, 恩田周太郎, 中村進一: [一般講演] Solitary steatocystomaの1例. 第639回日本皮膚科学会東京地方会, 1987.
- 12) 今井俊哉, 中山恵二, 中村進一, 林厚生<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立市): [一般講演] Clear cell hidradenomaの1例. 第639回日本皮膚科学会東京地方会, 1987.
- 13) 星健二: [一般講演] 脂漏性角化症の統計的観察. 第640回日本皮膚科学会東京研究地方会, 1987.
- 14) 星健二: [一般講演] 脂漏性角化症の統計的観察. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 15) 古谷清久, 恩田周太郎, 中村進一, 五十嵐義晃<sup>1)</sup>, 笹森典雄<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第一病院放射線科, <sup>2)</sup>牧田病院): [一般講演] 転移性皮膚癌の1例. 第641回日本皮膚科学会東京地方会, 1987.
- 16) 青木雅子, 中山恵二, 恩田周太郎, 中村進一: [一般講演] 陰茎結核疹の1例. 第641回日本皮膚科学会東京地方会, 1987.
- 17) 三枝由紀子<sup>1)</sup>, 飯泉陽子<sup>1)</sup>, 佐藤元泰<sup>1)</sup>, 服部怜美<sup>1)</sup>, 伊東文行 (<sup>1)</sup>第二病院皮膚科): [一般講演] 第2期顕症梅毒の2例. 第641回日本皮膚科学会東京地方会, 1987.
- 18) 中山恵二, 伊東文行, 今井俊哉, 恩田周太郎, 中村進一, 後藤正紀<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>飯田市): [一般講演] Granular cell tumorの1例. 第51回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1987.
- 19) Nakamura, S., Nakayama, K. and Ito, F.: [一般講演] Pediculosis pubis infestation. Vth Regional Conference of South East Asian and the Western Pacific Branch (Bali), 1987.
- 20) Imai, T. and Nakamura, S.: [一般講演] A report of STD patients in a private clinic in Japan; With special reference to some cases of syphilis. Vth Regional Conference of South East Asian and the

Western Pacific Branceh (Bali), 1987.

- 21) 今井俊哉, 中山恵二, 中村進一, 後藤正紀<sup>1)</sup> (飯田市) : [一般講演] Clear cell hidradenomaの1例. 第642回日本皮膚科学会東京地方会, 1987.
- 22) 滝沢康<sup>1)</sup>, 百束比古<sup>1)</sup>, 文入正敏<sup>1)</sup>, 中山恵二 (形成外科) : [一般講演] 面皰母斑の1例. 第137回日本形成外科学会東京地方会, 1987.
- 23) 青木雅子, 今井俊哉, 三神寛, 中山恵二, 中村進一 : [一般講演] Nodular melanomaの1例. 第644回日本皮膚科学会東京地方会, 1988.
- 24) 並松茂樹<sup>1)</sup>, 中村進一, 中山恵二, 西原潔, 今井俊哉, 山本泰一<sup>2)</sup> (第一病院電顕室, <sup>2)</sup>老人病研究所) : [一般講演] 低分化型脂腺癌; 光顕ならびに電顕的観察. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 25) 中村進一, 中山恵二, 古谷清久, 弓削庫太<sup>1)</sup>, 山本泰一<sup>2)</sup> (第一病院耳鼻科, <sup>2)</sup>老人病研究所) : [一般講演] 多発性混合腫瘍; 光顕ならびに電顕的観察. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 26) 秋元正宇<sup>1)</sup>, 百束比古<sup>1)</sup>, 白井洋司<sup>1)</sup>, 大久保正智<sup>1)</sup>, 滝沢康<sup>1)</sup>, 文入正敏<sup>1)</sup>, 佐々木映子<sup>2)</sup>, 石永三千<sup>2)</sup>, 畑三恵子<sup>2)</sup>, 本田光芳<sup>2)</sup>, 服部怜美<sup>3)</sup> 三神寛, 平井隆<sup>4)</sup> (形成外科, <sup>2)</sup>付属病院皮膚科, <sup>3)</sup>第二病院皮膚科, <sup>4)</sup>会津中央病院形成外科) : [一般講演] 悪性線維性組織球腫とその手術について. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 27) 梅田敏彦<sup>1)</sup>, 百束比古<sup>1)</sup>, 白井洋司<sup>1)</sup>, 平井隆<sup>1)</sup>, 文入正敏<sup>1)</sup>, 中山恵二 (形成外科) : [一般講演] 潰瘍を呈した隆起性皮膚線維肉腫の1例. 第138回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 28) 秋元正宇<sup>1)</sup>, 白井洋司<sup>1)</sup>, 大久保正智<sup>1)</sup>, 梅田敏彦<sup>1)</sup>, 平井隆<sup>1)</sup>, 文入正敏<sup>1)</sup>, 服部怜美<sup>2)</sup>, 本田光芳<sup>3)</sup>, 石井和博<sup>4)</sup>, 三神寛 (形成外科, <sup>2)</sup>第二病院皮膚科, <sup>3)</sup>付属病院皮膚科, <sup>4)</sup>大浜第一病院形成外科) : [一般講演] 悪性線維性組織球腫の5例. 第139回日本形成外科学会東京地方会, 1988.
- 29) Munakata, A. : [シンポジウム] A trial for primary care system in children's skin disease. 6th Asian Congress of Pediatrics (Tokyo), 1988.

## [第二病院皮膚科]

### 研究業績

#### 論文

- 1) 服部怜美, 三枝由紀子, 飯泉陽子, 佐藤元泰, 青木見佳子<sup>1)</sup>, 本田光芳<sup>1)</sup>, 石井洋二<sup>2)</sup> (付属病院皮膚科, <sup>2)</sup>福山市) : [原著] Basaloid cell proliferation を伴う褐色局面内に生じた Trichilemmal carcinoma の1例. Skin Cancer, 2, 149~151, 1987.
- 2) 曾我早奈絵<sup>1)</sup>, 佐々木映子<sup>1)</sup>, 畑三恵子<sup>1)</sup>, 矢島純<sup>1)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup> (付属病院皮膚科) : [原著] 下肢の基底細胞癌. 皮膚診療, 9, 345~348, 1987.
- 3) 青木見佳子<sup>1)</sup>, 矢島純<sup>1)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup>, 川並汪一<sup>2)</sup>, 池川修一<sup>3)</sup>, 石原和之<sup>3)</sup> (付属病院皮膚科, <sup>2)</sup>第二病院病理部, <sup>3)</sup>国立ガンセンター皮膚科) : [原著] 悪性血管内皮細胞腫の2例. 臨皮, 41, 811~816, 1987.
- 4) 新見やよい<sup>1)</sup>, 佐々木映子<sup>1)</sup>, 藤岡三千<sup>1)</sup>, 畑三恵子<sup>1)</sup>, 矢島純<sup>1)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup>, 杉山千代志<sup>2)</sup> (付属病院皮膚科, <sup>2)</sup>結核研究所) : [原著] 尋常性狼瘡の1例. 皮膚診療, 9, 949~952, 1987.
- 5) 新谷真理子<sup>1)</sup>, 佐々木映子<sup>1)</sup>, 佐藤元泰, 畑三恵子<sup>1)</sup>, 矢島純<sup>1)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup> (付属病院皮膚科) : [原著] 酪酸ヒドロコルチゾンによるアレルギー性接触皮膚炎. 皮膚臨床, 29, 857~863, 1987.
- 6) 松村英子<sup>1)</sup>, 飯泉陽子, 畑三恵子<sup>1)</sup>, 矢島純<sup>1)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup> (付属病院皮膚科) : [原著] イミダゾール系抗真菌剤主剤によるアレルギー性接触皮膚炎. 皮膚臨床, 29, 673~677, 1987.
- 7) 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup> (付属病院皮膚科) : [総説] 汗疱, 発汗異常 (小児の皮膚、正常と異常). 小児内科, 19(臨時増刊号) 510~512, 1987.

- 8) 飯泉陽子, 佐藤元泰, 服部怜美, 青木見佳子<sup>1)</sup>, 本田光芳<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科): [原著] 脂腺上皮腫. 日本皮膚病理組織研究会会誌, 3, 86~89, 1987.
- 9) Sasaki, E., Shinya, M., Fujioka, M., Sato, M., Hata, M., Yajima, J., Hattori S. and Honda, M. : [原著] Contact dermatitis due to amcinonide. Contact Dermatitis, 18, 61~62, 1988.
- 10) 新谷真理子<sup>1)</sup>, 石永三千<sup>1)</sup>, 畑三恵子<sup>1)</sup>, 矢島純<sup>1)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup>, 中溝泉永<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科, <sup>2)</sup>同耳鼻科): [図譜] ゴム腫. 皮膚臨床, 30, 287~288, 1988.

## 著 書

- 1) 佐藤元泰, 本田光芳<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科): [分担] 骨, 関節, 結合織疾患と皮膚. “皮膚科 MOOK No.10 全身疾患の皮膚症状” (三木吉治編), p.265~271, 金原出版, 1987.
- 2) 服部怜美: [分担] 褥瘡. “今日の治療指針 30” (日野原重明, 阿部正和編), p.666~667, 医学書院, 1988.

## 学会発表

- 1) 佐藤元泰, 三枝由紀子, 飯泉陽子, 服部怜美, 青木見佳子<sup>1)</sup>, 本田光芳<sup>1)</sup>, 岸清一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科, <sup>2)</sup>東京都): [展示] 特異な臨床像を呈した基底細胞癌の1例. 第86回日本皮膚科学会学術大会, 1987.
- 2) 服部怜美, 三枝由紀子, 飯泉陽子, 佐藤元泰, 青木見佳子<sup>1)</sup>, 本田光芳<sup>1)</sup>, 石井洋二<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科, <sup>2)</sup>福山市): [展示] Basaloid cell proliferationを伴う褐色局面内に出じた Trichilemmal carcinoma の1例. 第86回日本皮膚科学会学術大会, 1987.
- 3) 新見やよい<sup>1)</sup>, 佐々木映子<sup>1)</sup>, 藤岡三千<sup>1)</sup>, 畑三恵子<sup>1)</sup>, 矢島純<sup>1)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup>, 杉山千代志<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科, <sup>2)</sup>結核研究所): [一般講演] 尋常性狼瘡の1例. 第86回日本皮膚科学会学術大会, 1987.
- 4) 白井洋司<sup>1)</sup>, 梅田敏彦<sup>1)</sup>, 塩塚正純<sup>1)</sup>, 大久保正智<sup>1)</sup>, 百束比古<sup>1)</sup>, 石井和博<sup>1)</sup>, 文入正敏<sup>1)</sup>, 本田光芳<sup>2)</sup>, 服部怜美 (<sup>1)</sup>付属病院形成外科, <sup>2)</sup>同 皮膚科): [一般講演] 2種類の前額皮弁より鼻の再建を施行した Squamous cell carcinoma の2例. 第3回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1987.
- 5) 服部怜美, 三枝由紀子, 飯泉陽子, 佐藤元泰, 本田光芳<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科): [パネルディスカッション] 顔面に多発した潰瘍の1例. 第3回日本臨床皮膚科医学会学術大会, 1987.
- 6) 服部怜美, 三枝由紀子, 飯泉陽子, 佐藤元泰, 本田光芳<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科): [パネルディスカッション] BCG 接種部位に皮疹と全身の散布疹. 第3回日本臨床皮膚科医学会学術大会, 1987.
- 7) Hattori, S. and Honda, M.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科): [展示] Two cases of basal cell carcinomas on nevus Ota. 17th World Congress of Dermatology (Berlin), 1987.
- 8) Yajima, J.<sup>1)</sup>, Shinya, M.<sup>1)</sup>, Sasaki, E.<sup>1)</sup>, Fujioka, M., Hata, M.<sup>1)</sup>, Hattori, S. and Honda, M.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科): [展示] Two cases of contact allergy to topical corticosteroid preparations. 17th World Congress of Dermatology (Berlin), 1987.
- 9) 飯泉陽子, 三枝由紀子, 佐藤元泰, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科): [一般講演] Dyskeratosis congenita. 第11回小児皮膚科学会学術大会, 1987.
- 10) 松村英子<sup>1)</sup>, 飯泉陽子, 畑三恵子<sup>1)</sup>, 矢島純<sup>1)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科): [一般講演] クロコナゾールによるアレルギー性接触皮膚炎. 第17回抗原研究会, 1987.
- 11) 飯泉陽子, 佐藤元泰, 服部怜美, 青木見佳子<sup>1)</sup>, 本田光芳<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科): [一般講演] 脂腺上皮腫. 第3回日本皮膚病理組織研究会, 1987.
- 12) 藤本和久<sup>1)</sup>, 三枝由紀子, 飯泉陽子, 佐藤元泰, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院皮膚科): [展示] 皮膚細菌感染症の分離菌と薬剤感受性. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.

- 13) 三枝由紀子, 飯泉陽子, 佐藤元泰, 服部怜美, 伊東文行<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第一病院皮膚科) : [一般講演] 第2期頸症梅毒の2例. 日本皮膚科学会第641回東京地方会, 1987.
- 14) 飯泉陽子, 三枝由紀子, 佐藤元泰, 服部怜美, 青木見佳子<sup>1)</sup>, 本田光芳<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院皮膚科) : [一般講演] Sebaceous epithelioma. 第51回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1987.
- 15) 佐藤光治<sup>1)</sup>, 藤岡三千<sup>1)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup>, 村山享一<sup>2)</sup>, 馬場俊吉<sup>3)</sup>, 永井真之<sup>4)</sup>, 清水洋一<sup>5)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院皮膚科, <sup>2)</sup>同脳神経外科, <sup>3)</sup>同耳鼻科, <sup>4)</sup>同眼科, <sup>5)</sup>第一病院眼科) : [一般講演] 梅毒性粘膜斑の1例. 第51回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1987.
- 16) 木下真介<sup>1)</sup>, 青木見佳子<sup>1)</sup>, 畑三恵子<sup>1)</sup>, 矢島純<sup>1)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院皮膚科) : [一般講演] Clear cell acanthoma の1例. 日本皮膚科学会第642回東京地方会, 1987.
- 17) 田宮由美子<sup>1)</sup>, 松村英子<sup>1)</sup>, 佐々木映子<sup>1)</sup>, 畑三恵子<sup>1)</sup>, 矢島純<sup>1)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院皮膚科) : [一般講演] 吉草酸酢プレドニゾロン, スルコナゾール, ストレプトマイシンによる接触皮膚炎の1例. 日本皮膚科学会第642回東京地方会, 1987.
- 18) 佐々部真琴<sup>1)</sup>, 江川ゆり<sup>1)</sup>, 畑三恵子<sup>1)</sup>, 矢島純<sup>1)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院皮膚科) : [一般講演] Ibuprofen piconol. 日本皮膚科学会第642回東京地方会, 1987.
- 19) 飯泉陽子, 三枝由紀子, 佐藤元泰, 服部怜美 : [一般講演] Taping tapeによる接触皮膚炎の1例. 日本皮膚科学会第645回東京地方会, 1988.
- 20) 秋元正字<sup>1)</sup>, 百束比古<sup>1)</sup>, 白井洋司<sup>1)</sup>, 大久保正智<sup>1)</sup>, 梅田敏彦<sup>1)</sup>, 平井隆<sup>1)</sup>, 滝沢修<sup>1)</sup>, 文入正敏<sup>1)</sup>, 三神寛<sup>2)</sup>, 服部怜美, 本田光芳<sup>3)</sup>, 石井和博<sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院形成外科, <sup>2)</sup>第一病院皮膚科, <sup>3)</sup>付属病院皮膚科, <sup>4)</sup>大浜第一病院形成外科) : [一般講演] 悪性線維性組織球種の5例. 第139回日本形成外科学会東京地方会, 1988.

## 8. 臨床病理学講座

### 〔付属病院臨床病理科〕

#### 研究概要

肺癌を中心とした悪性腫瘍の化学，免疫療法ならびに基礎腫瘍学を中心に以下に示すような研究を行った。

臨床的研究としては，①肺小細胞癌における化学療法のIstcourseとして，VCR，ADM，ACNUとVCR，THP-ADM，ACNU，そして2nd courseとしてCDDP，CDDP+Etoposide，CDDP+CQの直接抗腫瘍効果および延命効果を昭和61年度から継続して比較検討した。②lysosme-labilizerとしての効果を期待し，CDDP+VDSとUrokinaseとの併用効果の研究を非小細胞肺癌に対して継続して行った。③非小細胞肺癌に対するCDDP+CBDCA併用療法のPilot studyを開始した。④非小細胞肺癌におけるCDDP+VDS，PSKの免疫化学療法の有効性ならびにCDDP+VDS→Radiation後の維持療法としてのUFTの有用性を多施設共同研究で行った。⑤CDDPの腎機能軽減を目的としたSodium Thio Sulfateの有用性を継続検討した。⑥各種新抗癌剤のPhase studyを全国多施設共同で行った。⑦最近注目されているLAK細胞を用いた養子免疫療法を開始した。⑧癌性胸膜炎に対する新免疫療法剤の有効性を検討した。

基礎的研究としては，①LAK細胞を用いた養子免疫療法と化学療法との適切な併用条件を確立するために，in vitro，in vivoの実験によって，LAK細胞誘導能および誘導されたLAK細胞に及ぼす抗癌剤の影響，抗癌剤で処理された腫瘍細胞に対するLAK細胞の感受性の変化を追求するとともに，human tumor clonogenic cell assay (HTCA)を用いて，抗癌剤とLAK細胞の適切な投与スケジュールについて検討を行った。さらに必要時にLAK細胞誘導を行いうるシステムを確立するために，リンパ球凍結保存の基礎的検討を行った。②抗癌剤投与における適切な順位選択決定のため，Successive Colony Assayによる定量的検討を行った。③各種抗癌剤の至適投与条件，併用効果を動物実験で検討した。④新たな腫瘍マーカーの臨床的意義を検討した。

#### 研究業績

##### 論文

- 1) 矢野平一<sup>1)</sup>，日野光紀，西脇裕<sup>1)</sup>，児玉哲郎<sup>1)</sup>，林辺晃<sup>1)</sup>，工藤秀雄<sup>1)</sup>，井上裕二<sup>1)</sup>，西山祥行<sup>1)</sup>，曾根康之<sup>1)</sup>，大嶋寿海<sup>1)</sup>，税所孝樹<sup>1)</sup>，北谷知己<sup>1)</sup>，松山智治<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院）：〔原著〕肺癌における各種腫瘍マーカーの検討；特にneuron-specific enolase (NSE)について。癌と化療，14，77～83，1987。
- 2) 西山祥行<sup>1)</sup>，西脇裕<sup>1)</sup>，児玉哲郎<sup>1)</sup>，曾根康之<sup>1)</sup>，税所孝樹<sup>1)</sup>，大嶋寿海<sup>1)</sup>，日野光紀，井上裕二<sup>1)</sup>，工藤秀雄<sup>1)</sup>，林辺晃<sup>1)</sup>，北谷知己<sup>1)</sup>，松山智治<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院）：〔原著〕肺癌におけるT因子，N因子の術前評価の検討；CTスキャン使用，未使用の比較。肺癌，27，155～161，1987。
- 3) 林辺晃<sup>1)</sup>，西脇裕<sup>1)</sup>，児玉哲郎<sup>1)</sup>，西山祥行<sup>1)</sup>，矢野平一<sup>1)</sup>，工藤秀雄<sup>1)</sup>，本田亮一<sup>1)</sup>，日野光紀，井上裕二<sup>1)</sup>，税所孝樹<sup>1)</sup>，大嶋寿海<sup>1)</sup>，北谷知己<sup>1)</sup>，松山智治<sup>1)</sup>，長崎二三夫<sup>1)</sup>，玉井誠一<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院，<sup>2)</sup>防衛医大病理）：〔報告〕Cisplatin，Vinblastine，Bleomycin併用化学療法にて摘除可能となった縦隔悪性胚細胞腫瘍の2例。肺癌，27，181～187，1987。
- 4) 井上裕二<sup>1)</sup>，税所孝樹<sup>1)</sup>，児玉哲郎<sup>1)</sup>，林辺晃<sup>1)</sup>，日野光紀，忽滑谷直孝，高橋健郎<sup>1)</sup>，黒木基夫<sup>1)</sup>，西山祥行<sup>1)</sup>，北谷知己<sup>1)</sup>，松山智治<sup>1)</sup>，矢野平一<sup>1)</sup>，加藤治文<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院，<sup>2)</sup>東京医大・外科）：〔原著〕気管支鏡生検にて消失し肺門部早期扁平上皮癌を示唆した5症例。気管支学，9，205～212，1987。
- 5) 林辺晃<sup>1)</sup>，児玉哲郎<sup>1)</sup>，西脇裕<sup>1)</sup>，工藤秀雄<sup>1)</sup>，井上裕二<sup>1)</sup>，忽滑谷直孝，神楽岡治彦<sup>1)</sup>，黒木基夫<sup>1)</sup>，高橋健郎<sup>1)</sup>，西山裕行<sup>1)</sup>，北谷知己<sup>1)</sup>，松山智治<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院）：〔原著〕肺癌における血清CA19-9の臨床的検討；CEAと比較して。癌と化療，14，711～715，1987。

- 6) 仁井谷久暢, 吾妻安良太: [総説] in vitro 制癌剤感受性試験. 臨検, 31, 1053~1058, 1987.
- 7) 仁井谷久暢, 吉村明修: [総説] 抗癌剤の用法・容量設定試験の考え方と留意点. 臨床医薬, 3, 655~665, 1987.
- 8) 渋谷昌彦, 河内重人, 青山昭徳, 村田朗, 馬場誠, 平田清司, 大塚麻理子, 松坂三枝, 矢野侃, 仁井谷久暢: [原著] Batroxobin による Defibrinogenation の転移抑制効果と Natural killer (NK) 活性. 癌と化療, 14, 2286~2292, 1987.
- 9) 石井勝<sup>1)</sup>, 阿部令彦<sup>2)</sup>, 大倉久直<sup>3)</sup>, 岡崎伸生<sup>4)</sup>, 河合忠<sup>5)</sup>, 斉藤洋一<sup>6)</sup>, 澤武紀雄<sup>7)</sup>, 高見沢裕吉<sup>8)</sup>, 河内正<sup>9)</sup>, 仁井谷久暢, 服部信<sup>10)</sup>, 坂義人<sup>11)</sup>, 町田豊平<sup>12)</sup> (<sup>1)</sup>埼玉県立がんセンター・臨床検査部, <sup>2)</sup>慶応義塾大学医学部・外科, <sup>3)</sup>国立がんセンター・臨床検査部, <sup>4)</sup>同・内科, <sup>5)</sup>自治医科大学・臨床病理, <sup>6)</sup>神戸大学医学部・第1外科, <sup>7)</sup>金沢大学がん研究所・内科, <sup>8)</sup>千葉大学医学部・産婦人科, <sup>9)</sup>東京女子医科大学消化器病センター, <sup>10)</sup>金沢大学医学部, 第1内科, <sup>11)</sup>岐阜大学医学部・泌尿器科, <sup>12)</sup>東京慈恵会医科大学・泌尿器科): [原著] CA-50EIA キットの基礎的検討ならびに臨床的有用性. 癌と化療, 14, 2548~2555, 1987.
- 10) 河内重人, 鳥袋全哲, 青山昭徳, 矢野侃, 長谷川浩一<sup>1)</sup>, 坪井栄孝<sup>1)</sup>, 仁井谷久暢 (<sup>1)</sup>坪井病院): [原著] 肺小細胞癌患者の血清NSE値について; 特に経時的測定の臨床的意義. 癌と化療, 14, 2469~2474, 1987.
- 11) 古江尚<sup>1)</sup>, 仁井谷久暢 (<sup>1)</sup>帝京大学・溝口内科): [原著] 天然型ガンマ・インターフェロンの第II相試験. 癌と化療, 14, 2542~2543, 1987.
- 12) 仁井谷久暢, 日野光紀: [総説] 肺癌 (特集: がんの High-Risk Group). 癌と化療, 14, 2632~2637, 1987.
- 13) 仁井谷久暢: [総説] 効果判定のあり方 (特集: 癌治療と Quality of life). ライフ・サイエンス, 7, 1959~1962, 1987.
- 14) 広沢彰, 酒井茂利, 飯塚和弘, 仁井谷久暢, 林原賢治, 坪井栄孝<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>坪井病院): [原著] Cis-Dichlorodiammine-platinum (II) の全身投与による腎機能の影響と Sodium Thiosulfate 併用の効果. 癌と化療, 14, 2870~2875, 1987.
- 15) 松山智治<sup>1)</sup>, 西脇裕<sup>1)</sup>, 忽滑谷直孝 (<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院): [総説] 肺癌のターミナルケア. 臨成人病, 17, 1666~1664, 1987.
- 16) 仁井谷久暢, 渋谷昌彦: [総説] VP16をめぐる (特集: 抗癌洗剤開発の現況 (下)). 化学療法の領域, 3, 1817~1823, 1987.
- 17) 仁井谷久暢: [総説] プレオマイシン. 癌と化療, 14, 3173~3179, 1987.
- 18) Kimura, K.<sup>1)</sup>, Taguchi, T.<sup>2)</sup>, Urashizaki, I.<sup>3)</sup>, Ohno, R.<sup>4)</sup>, Abe, O.<sup>5)</sup>, Furue, H.<sup>6)</sup>, Hattori, T.<sup>7)</sup>, Ichihashi, H.<sup>8)</sup>, Inoguchi, K.<sup>9)</sup>, Majima, H.<sup>10)</sup>, Niitani, H., Ota, K.<sup>11)</sup>, Saito, T.<sup>12)</sup>, Suga, S.<sup>13)</sup>, Suzuoki, Y.<sup>14)</sup>, Wakui, A.<sup>15)</sup> and Yamada, K.<sup>16)</sup> (<sup>1)</sup>国立名古屋病院, <sup>2)</sup>大阪大学, <sup>3)</sup>札幌医大, <sup>4)</sup>長崎大学, <sup>5)</sup>慶應大学, <sup>6)</sup>帝京大学, <sup>7)</sup>広島大学, <sup>8)</sup>千葉がんセンター, <sup>9)</sup>愛知がんセンター, <sup>12)</sup>癌研, <sup>15)</sup>東北大学, <sup>16)</sup>名古屋大学): [原著] Phase I study of recombinant human tumor necrosis factor. Cancer Chemother. Pharmacol., 20, 223~229, 1987.
- 19) Morinaga, S.<sup>1)</sup>, Watanabe, H.<sup>1)</sup>, Genma, A., Mukai, K.<sup>1)</sup>, Nakajima, T.<sup>1)</sup>, Shimozato, Y.<sup>1)</sup>, Goya, T., 2nd<sup>1)</sup> and Shinoda, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立がんセンター): [原著] Plasmacytoma of the lung associated with nodular deposits of immunoglobulin. Am. J. Surg. Pathol., 11, 989~995, 1987.
- 20) 仁井谷久暢, 栗原稔<sup>1)</sup>, 長谷川浩一<sup>2)</sup>, 八田善夫<sup>3)</sup>, 諏訪敏一<sup>4)</sup>, 坪井栄孝<sup>5)</sup>, 安川昭<sup>1)</sup>, 吉森浩三, 河内正男<sup>1)</sup>, 田口進<sup>3)</sup>, 崎村恭也<sup>5)</sup>, 西田恭也<sup>1)</sup>, 古江尚<sup>6)</sup> (<sup>1)</sup>昭和大学豊洲消化器化, <sup>2)</sup>坪井病院内科, <sup>3)</sup>昭和大学第2内科, <sup>4)</sup>大宮日赤外科, <sup>5)</sup>大宮日赤内科, <sup>6)</sup>帝京大学溝口内科): [原著] 非切除胃癌症例に対する 5'-deoxy-5-fluorouridine の比較第II相試験; 連日経口投与と間欠経口投与の比較. 癌と化療, 14, 3345~3350, 1987.
- 21) 浅村尚生<sup>1)</sup>, 森永正二郎<sup>1)</sup>, 下里幸雄<sup>1)</sup>, 弦間昭彦, 佐藤雄一<sup>1)</sup>, 水谷保幸<sup>1)</sup>, 江口研二<sup>1)</sup>, 土屋了介<sup>1)</sup>, 成毛紹夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立がんセンター): [原著] 縦隔原発びまん性硬化性大細胞型悪性リンパ腫の3例. 病理と臨, 6, 81~87, 1988.



- 22) 吉田勝明<sup>1)</sup>, 森永正二郎<sup>1)</sup>, 弦間昭彦, 下里幸雄<sup>1)</sup>, 土屋了介<sup>2)</sup>, 江口研二<sup>3)</sup> (国立がんセンター病理, <sup>2)</sup>同・外科, <sup>3)</sup>同・内科): [報告] 骨形成を伴う肺腺癌の1例, 肺癌, 28, 87~92, 1988.
- 23) 仁井谷久暢, 広沢彰: [総説] 肺癌 (特集: 抗癌剤の上手な使い方). クリニカ, 15, 35~39, 1988.
- 24) 吉村明修, 仁井谷久暢: [総説] 肺癌集団検診と早期発見. 日医大誌, 55, 213~216, 1988.
- 25) 仁井谷久暢, 吉森浩三: [総説] 呼吸器疾患; 肺癌 (特集: 主要疾患の外来診療). 診断と治療, 76, 503~506, 1988.
- 26) Tsubura, E.<sup>1)</sup>, Ota, K.<sup>2)</sup>, Niitani, H., Horiuchi, A.<sup>3)</sup> and Masaoka, T.<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>国立刀根山病院, <sup>2)</sup>愛知がんセンター, <sup>3)</sup>近畿大学第3内科, <sup>4)</sup>大阪成人病センター): [原著] Restoration of leukopenia in cancer patients by new synthetic muramyl peptide derivative, Advances in the Biosciences, 68, 381~386, 1988.

## 著 書

- 1) 仁井谷久暢, 馬場誠: [分担] 化学療法. “看護Mook No.23 がんと看護” (馬場一雄編), p.56~63, 金原出版, 1987.
- 2) 皆川彰: [分担] 高血圧, 動脈硬化, 高脂血症, 高尿酸血症,などを合併している場合. “糖尿病運動療法のでびき (第二版)” (糖尿病治療研究会編), p.100~106, 医歯薬出版, 1988.

## 学会発表

- 1) 工藤秀雄<sup>1)</sup>, 森永正二郎<sup>1)</sup>, 野口雅之<sup>1)</sup>, 弦間昭彦, 興石義彦<sup>1)</sup>, 下里幸雄<sup>1)</sup>, 成毛韶夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立がんセンター): [一般講演] 肺 “mast cell tumor” の1手術例. 第88回日本肺癌学会関東支部会, 1987.
- 2) 黒木基夫<sup>1)</sup>, 西山祥行<sup>1)</sup>, 高橋健郎<sup>1)</sup>, 村杉雅秀<sup>1)</sup>, 忽滑谷直孝, 井上裕二<sup>1)</sup>, 林辺晃<sup>1)</sup>, 児玉哲郎<sup>1)</sup>, 西脇裕<sup>1)</sup>, 北谷知己<sup>1)</sup>, 松山智治<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立がんセンター): [一般講演] 1 cm以下肺癌切除3例の経験. 第88回日本肺癌学会関東支部会, 1987.
- 3) 忽滑谷直孝, 西脇裕<sup>1)</sup>, 児玉哲郎<sup>1)</sup>, 林辺晃<sup>1)</sup>, 井上裕二<sup>1)</sup>, 西山祥行<sup>1)</sup>, 高橋健郎<sup>1)</sup>, 黒木基夫<sup>1)</sup>, 村杉雅秀<sup>1)</sup>, 北谷知己, 松山智治<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院): [一般講演] 癌性疼痛に対する経口麻薬剤の使用経験. 第88回日本肺癌学会関東支部会, 1987.
- 4) 酒井茂利, 広沢彰, 飯塚和弘, 仁井谷久暢, 吉森浩三, 林原賢二, 坪井榮孝<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>坪井病院): [一般講演] 肺癌患者の腎機能に及ぼすCDDP全身投与の影響とSTS併用の効果. 第27回日本胸部疾患学会, 1987.
- 5) 馬場誠, 渋谷昌彦, 村田朗, 河内重人, 大塚麻理子, 松坂三枝, 青山昭徳, 矢野侃, 仁井谷久暢, 小泉潔<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>胸部外科): [一般講演] Cisplatinium (CDDP) 及びCDDPを含む併用療法の末梢血リンパ球NK活性に及ぼす影響. 第27回日本胸部疾患学会, 1987.
- 6) 村田朗, 渋谷昌彦, 青山昭徳, 河内重人, 馬場誠, 大塚麻理子, 松坂三枝, 矢野侃, 仁井谷久暢: [一般講演] Batroxobinによるdefibrinogenationの肺転移抑制効果とNK活性. 第27回日本胸部疾患学会, 1987.
- 7) 山口哲生, 長谷川浩一, 林裕人, 平良修, 中島宏昭, 小松彦太郎, 滝沢弘隆, 石橋弘義, 武田潤, 藤川晃成, 内山照雄, 仁井谷久暢 (東京癌化学療法研究会 (肺癌部会)): [一般講演] 非小細胞肺癌に対するCDDP・VDS, CDDP・ACNU二剤併用療法の比較試験. 第27回日本胸部疾患学会, 1987.
- 8) 倉根修二, 日野光紀, 渋谷昌彦, 島袋全哲, 河内重人, 吉村明修, 仁井谷久暢, 小林国彦, 長谷川浩一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>坪井病院): [一般講演] 肺小細胞に対する化学療法; ADM, VCR, ACNVとTHP-ADM, VCR, ACNVの比較. 第27回日本胸部疾患学会, 1987.
- 9) 富山元次郎: [一般講演] Glycated Hbに関する研究; 正常値およびHb F, 異常Hbについて. 第30回日本糖尿病学会総会, 1987.

- 10) 皆川彰, 本山三生, 青山昭徳, 島袋全哲, 渋谷昌彦, 瀬川純子, 高山弘平: [展示] S T Z 糖尿病ラットの代謝位相に及ぼす training の影響について. 第30回日本糖尿病学会総会, 1987.
- 11) 村杉雅秀<sup>1)</sup>, 西山祥行<sup>1)</sup>, 高橋健郎<sup>1)</sup>, 黒木基夫<sup>1)</sup>, 佐々木拓子<sup>1)</sup>, 忽滑谷直孝, 林辺晃<sup>1)</sup>, 児玉哲郎<sup>1)</sup>, 西脇裕<sup>1)</sup>, 北谷知己<sup>1)</sup>, 松山智治<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院): [一般講演] 肺過誤腫および肺硬化性血管腫の手術例の検討. 第62回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 12) 浅村尚生<sup>1)</sup>, 弦間昭彦, 興石義彦, 野口雅之<sup>1)</sup>, 下里幸雄<sup>1)</sup>, 森永正二郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立がんセンター): [一般講演] 気管支内発育を示した胸腺腫の2例. 第89回日本肺癌学会関東部会, 1987.
- 13) 忽滑谷直孝, 西脇裕<sup>1)</sup>, 児玉哲郎<sup>1)</sup>, 林辺晃<sup>1)</sup>, 佐々木拓子<sup>1)</sup>, 西山祥行<sup>1)</sup>, 高橋健郎<sup>1)</sup>, 黒木基夫<sup>1)</sup>, 村杉雅秀<sup>1)</sup>, 北谷知己<sup>1)</sup>, 松山智治<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立がんセンター): [一般講演] 原発性肺小細胞癌の長期生存例について. 第89回日本肺癌学会関東部会, 1987.
- 14) 黒木基夫<sup>1)</sup>, 西山祥行<sup>1)</sup>, 村杉雅秀<sup>1)</sup>, 高橋健郎<sup>1)</sup>, 北谷知己<sup>1)</sup>, 松山智治<sup>1)</sup>, 忽滑谷直孝, 佐々木拓子<sup>1)</sup>, 林辺晃<sup>1)</sup>, 児玉哲郎<sup>1)</sup>, 西脇裕<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院): [一般講演] 術後病期 I 期の原発性肺腺癌の再発例について. 第89回日本肺癌学会関東部会, 1987.
- 15) 村田朗, 渋谷昌彦, 河内重人, 青山昭徳, 大塚麻理子, 松坂三枝, 仁井谷久暢: [一般講演] Poly I : C によるマウス肺NK活性の増強. 第15回日本臨床免疫学会総会, 1987.
- 16) Azuma, A., Hino, M., Hirotsawa, A., Shimabukuro, Z., Aoyama, A., Ootsuka, M., Matsusaka, M. and Niitani, H.: [一般講演] Analysis of drug sensitivity by successive colony forming assay. 15th International Congress of Chemotherapy (Istanbul), 1987.
- 17) Yoshimori, K., Hasegawa, K., Niitani, H., Yano, T., Kurihara, M.<sup>1)</sup>, Saito, T.<sup>2)</sup>, Taguchi, T.<sup>3)</sup>, Hatta, Y.<sup>4)</sup>, Suwa, T.<sup>5)</sup>, Yasui, A.<sup>6)</sup> and Sakimura, M.<sup>7)</sup> (<sup>1)</sup>昭和大学豊洲病院, <sup>2)</sup>癌研究会付属病院, <sup>3)</sup>大阪大学微生物研究所付属病院, <sup>4)</sup>昭和大学医学部付属病院, <sup>5)</sup>大宮日赤病院・外科, <sup>6)</sup>昭和大学付属豊洲病院・消化器科, <sup>7)</sup>大宮日赤病院・内科): [一般講演] Study on efficacy and safety of 5'-deoxy-5-fluorouridine (5'-DFUR) with intermittent administration. 15th International Congress of Chemotherapy (Istanbul), 1987.
- 18) Niitani, H., Kurane, S., Hino, M., Shibuya, M., Shimabukuro, Z., Kawachi, S., Yoshimura, A., Kobayashi, K. and Hasegawa, K.: [一般講演] A pandomized phase II study of THP and ADM combined with VCR and ACNU for small cell lung cancer. 15th International Congress of Chemotherapy (Istanbul), 1987.
- 19) 村田朗, 渋谷昌彦, 河内重人, 青山昭徳, 大塚麻理子, 松坂三枝, 仁井谷久暢: [一般講演] Poly I : C によって増強されたマウス肺NK細胞の肺転移巣に及ぼす影響. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 20) 坪井永保, 吉村明修, 倉根修二, 広田健児, 村田朗, 大塚麻理子, 松坂三枝, 仁井谷久暢: [展示] 凍結リンパ球のLAK活性誘導能に関する基礎的検討. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 21) 富山元次郎: [展示] コンピューター・グラフィックスによる長期間の血糖変動曲線解析の試み. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 22) 谷口泰之, 吾妻安良太, 河内重人, 仁井谷久暢, 久勝章司, 長谷川浩一<sup>1)</sup>, 坪井栄孝<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>慈山会研究所付属坪井病院): [一般講演] 肺癌患者におけるシリアルSSEA-1抗原 (SLX) 測定 of 臨床的意義. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 23) 中広一善, 森川哲行, 村田朗, 日野光紀, 吉村明修, 河内重人, 仁井谷久暢: [一般講演] 原発性肺癌における骨転移の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 24) 遠藤満里子, 森文子, 野本剛史, 本山三生, 皆川彰: [一般講演] HEP-2細胞を用いたANA検出法. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 25) 日比野俊, 村田朗, 仁井谷久暢: [一般講演] 当科で経験した多発性神経炎と内分泌症状を伴う Plasma cell

dyscrasia (高月病) の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.

- 26) 富山元次郎: [一般講演] computer graphicsによる長期間の血糖変動曲線解析の試み. 第34回日本臨床病理学会, 1987.
- 27) 渋谷昌彦, 馬場誠, 飯塚和弘, 酒井茂利, 大塚麻理子, 松坂三枝, 仁井谷久暢: [ワークショップ] In vitroにおける抗癌剤のLAK活性に及ぼす影響 (IL-2・LAK療法). 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 28) 長谷川浩一<sup>1)</sup>, 林原賢治, 古江尚<sup>2)</sup>, 麦谷曜夫<sup>2)</sup>, 広田文雄<sup>2)</sup>, 仁井谷久暢, 島袋全哲, 栗原稔<sup>3)</sup>, 安斉勝行<sup>3)</sup>, 中尾功<sup>4)</sup>, 伊藤恵一<sup>4)</sup>, 藤田浩<sup>5)</sup>, 塚越茂<sup>6)</sup> (<sup>1)</sup>慈山会付属坪井病院内科, <sup>2)</sup>帝京大学溝口病院内科, <sup>3)</sup>昭和大学豊洲病院消化器, <sup>4)</sup>癌研究会内科, <sup>5)</sup>鶴見大学細菌, <sup>6)</sup>癌研究会化学療法センター): [ワークショップ] 5'-O-L-Valy 1-5-Fluorouridine・HCl(FO-152)の第1相試験 (新しい抗癌剤). 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 29) 久勝章司, 長谷川浩一<sup>1)</sup>, 中尾功<sup>2)</sup>, 伊藤恵一<sup>2)</sup>, 星野章<sup>3)</sup>, 仁井谷久暢, 島袋全哲, 吉村明修, 古江尚<sup>4)</sup>, 麦谷曜夫<sup>4)</sup>, 広田文雄<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>坪井病院内科, <sup>2)</sup>癌研究会内科, <sup>3)</sup>安城更生病院化学療法科, <sup>4)</sup>帝京大学溝口病院内科): [ワークショップ] 5施設共同研究によるMST-16臨床第1相試験 (新しい抗癌剤). 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 30) 諏訪敏一<sup>1)</sup>, 佐藤忠敏<sup>1)</sup>, 崎村恭也<sup>2)</sup>, 矢野侃, 島袋全哲, 仁井谷久暢, 吉森浩三, 長谷川浩一<sup>3)</sup>, 河内正男<sup>4)</sup>, 泉嗣彦<sup>4)</sup>, 栗原稔<sup>4)</sup>, 西田佳昭<sup>5)</sup>, 安井昭<sup>5)</sup>, 八田善夫<sup>6)</sup>, 古江尚<sup>7)</sup> (<sup>1)</sup>大宮日赤病院外科, <sup>2)</sup>同内科, <sup>3)</sup>坪井病院内科, <sup>4)</sup>昭和大学豊洲病院消化器科, <sup>5)</sup>同外科, <sup>6)</sup>同第2内科, <sup>7)</sup>帝京大学内科): [ワークショップ] 間歇投与による5'-deoxy-5-fluorouridineの有効性と安全性の検討 (新しい抗癌剤). 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 31) 吉村明修, 倉根修二, 村田朗, 坪井永保, 広田健児, 大塚麻理子, 松坂三枝, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢: [一般講演] 化学療法のLAK活性誘導能に及ぼす影響. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 32) 皆川彰, 本山三生, 瀬川純子, 高山弘平, 青山昭徳, 島袋全哲, 渋谷昌彦: [一般講演] STZ糖尿病ラットにおける運動トレーニングの影響; 特に高齢群について. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 33) 児玉哲郎<sup>1)</sup>, 西脇裕<sup>1)</sup>, 林辺晃<sup>1)</sup>, 忽滑谷直孝, 佐々木拓子<sup>1)</sup>, 濱田隆博<sup>1)</sup>, 西山祥行<sup>1)</sup>, 高橋健郎<sup>1)</sup>, 黒木基夫<sup>1)</sup>, 村杉雅秀<sup>1)</sup>, 西村光世<sup>1)</sup>, 北谷知己<sup>1)</sup>, 松山智治<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院): [ワークショップ] 経気管支生検における腺癌診断の問題点 (腺癌“早期癌”の問題点). 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 34) 林辺晃<sup>1)</sup>, 西脇裕<sup>1)</sup>, 児玉哲郎<sup>1)</sup>, 忽滑谷直孝, 佐々木拓子<sup>1)</sup>, 濱田隆博<sup>1)</sup>, 村杉雅秀<sup>1)</sup>, 西村光世<sup>1)</sup>, 黒木基夫<sup>1)</sup>, 高橋健郎<sup>1)</sup>, 西山祥行<sup>1)</sup>, 北谷知己<sup>1)</sup>, 松山智治<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院): [ワークショップ] 非小細胞癌の化学療法, 非小細胞癌の化学療法 (予後からの検討). 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 35) 西山祥行<sup>1)</sup>, 高橋健郎<sup>1)</sup>, 林辺晃<sup>1)</sup>, 忽滑谷直孝, 佐々木拓子<sup>1)</sup>, 濱田隆博<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院): [一般講演] 当院における多発性原発性肺癌の検討. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 36) 黒木基夫<sup>1)</sup>, 西山祥行<sup>1)</sup>, 高橋健郎<sup>1)</sup>, 村杉雅秀<sup>1)</sup>, 西村光世<sup>1)</sup>, 北谷知己<sup>1)</sup>, 松山智治<sup>1)</sup>, 忽滑谷直孝, 佐々木拓子<sup>1)</sup>, 林辺晃<sup>1)</sup>, 児玉哲郎<sup>1)</sup>, 西脇裕<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院): [一般講演] 腫瘍径2cm以下の腺癌例の検討. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 37) 野口雅之<sup>1)</sup>, 秋葉直志<sup>1)</sup>, 興石義彦<sup>1)</sup>, 弦間昭彦, 中島孝<sup>1)</sup>, 下里幸雄<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立がんセンター研究所病理): [一般講演] 胸膜中皮腫の免疫組織学的検討. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 38) 吾妻安良太, 河内重人, 仁井谷久暢, 久勝章司, 長谷川浩一<sup>1)</sup>, 坪井榮孝<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>慈山会坪井病院): [一般講演] 肺癌患者におけるシアリルSSEA-1抗原 (SLX) 測定の臨床的意義. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 39) 興石義彦<sup>1)</sup>, 野口雅之<sup>1)</sup>, 金井歳雄<sup>1)</sup>, 弦間昭彦, 広橋説雄<sup>1)</sup>, 中島孝<sup>1)</sup>, 下里幸雄<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立がんセンター研究所病理部): [一般講演] 肺癌におけるras遺伝子産物 (rasp21) の発現. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 40) 弦間昭彦, 中島孝<sup>1)</sup>, 野口雅之<sup>1)</sup>, 興石義彦<sup>1)</sup>, 下里幸雄<sup>1)</sup>, 白石昌彦<sup>2)</sup>, 関谷剛男<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>国立がんセンター研究

- 所病理, <sup>2)</sup>国立がんセンター腫瘍遺伝子): [一般講演] ヒト肺癌のヌードマウス可移植性と myc 遺伝子増幅及び免疫組織学的所見. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 41) 小林国彦, 長谷川浩一<sup>1)</sup>, 坪井栄孝<sup>1)</sup>, 矢野侃, 仁井谷久暢, 大熨泰亮<sup>2)</sup>, 古瀬清行<sup>3)</sup>, 福岡正博<sup>4)</sup>, 西村穰<sup>5)</sup>  
(<sup>1)</sup>慈山会坪井病院, <sup>2)</sup>岡山大学第2内科, <sup>3)</sup>国立療養所近畿中央病院内科, <sup>4)</sup>大阪府立羽曳野病院内科, <sup>5)</sup>愛知県がんセンター内科): [一般講演] 既治療肺小細胞癌に対する CDDP, CDDP - CQ, CDDP - etoposide 療法の比較検討. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 42) 吉村明修, 倉根修二, 村田朗, 坪井永保, 広田健児, 大塚麻理子, 松坂三枝, 渋谷昌彦, 仁井谷久暢: [一般講演] 化学療法の LAK 活性誘導能に及ぼす影響. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 43) 弦間昭彦, 吉田勝明<sup>1)</sup>, 野口雅之<sup>1)</sup>, 中島孝<sup>1)</sup>, 下里幸雄<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立がんセンター): [一般講演] 骨形成を伴う肺腺癌の2例. 第90回日本肺癌学会関東部会, 1987.
- 44) 西村光世<sup>1)</sup>, 西山祥行<sup>1)</sup>, 高橋健郎<sup>1)</sup>, 黒木基夫<sup>1)</sup>, 村杉雅秀<sup>1)</sup>, 北谷知己<sup>1)</sup>, 松山智治<sup>1)</sup>, 濱田隆博<sup>1)</sup>, 佐々木拓子<sup>1)</sup>, 忽滑谷直孝, 林辺晃<sup>1)</sup>, 児玉哲郎<sup>1)</sup>, 西脇裕<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院): [一般講演] 5次気管支発生の Occult lung cancer の2例. 第90回日本肺癌学会関東部会, 1987.
- 45) 佐々木拓子<sup>1)</sup>, 西脇裕<sup>1)</sup>, 西山祥行<sup>1)</sup>, 児玉哲郎<sup>1)</sup>, 林辺晃<sup>1)</sup>, 高橋健郎<sup>1)</sup>, 忽滑谷直孝, 黒木基夫<sup>1)</sup>, 村杉雅秀<sup>1)</sup>, 西村光世<sup>1)</sup>, 濱田隆博<sup>1)</sup>, 北谷知己<sup>1)</sup>, 松山智治<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立療養所松戸病院): [一般講演] N<sub>2</sub> 症例に対する Neoadjuvant chemotherapy の経験. 第90回日本肺癌学会関東部会, 1987.
- 46) 富山元次郎: [一般講演] Glycosylated hemoglobin 10年の軌跡; その光芒と陰影. 第25回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 1988.
- 47) 富山元次郎: [一般講演] Computer graphics による長期間の血糖変動曲線の試み. 第25回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 1988.
- 48) 竹田雄一郎, 吉村明修, 山田浩一, 仁井谷久暢: [一般講演] 興味ある腫瘍症例; 腹膜中皮腫と診断された1例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 49) 中広一善, 竹田雄一郎, 山田浩一, 馬場誠, 仁井谷久暢: [一般講演] 当科で経験した三重癌の1例. 日本医科大学医学会第64回例会. 1988.
- 50) 日野光紀, 倉根修二, 渋谷昌彦, 吉村明修, 河内重人, 仁井谷久暢, 小林国彦, 長谷川浩一<sup>1)</sup>, 坪井栄孝<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup>慈山会坪井病院・内科): [一般講演] 肺小細胞癌に対する ADM, VCR, ACNU と THP - ADM, VCR, ACNU による Randomized phase II study の検討. 第85回日本内科学会講演会, 1988.
- 51) 広沢彰, 酒井茂利, 飯塚和弘, 仁井谷久暢: [一般講演] CDDP 2 クール投与症例に対する STS 併用効果の検討. 第85回日本内科学会講演会, 1988.
- 52) 吾妻安良太, 日野光紀, 広沢彰, 青山昭徳, 大塚麻理子, 松坂三枝, 仁井谷久暢: [一般講演] 継代コロニー形成培養法による抗癌剤感受性試験の検討. 第21回制癌剤適応研究会, 1988.

## 9. 第一外科学講座

### 〔付属病院外科〕

#### 研究概要

教室では、腹膜炎、イレウスを中心とする急性腹症の病態、特に細菌性ショック発来機構の解明ならびに病態に応じた新しい治療法の確立をめざし、恩田教授の指導のもと森山助教授、滝沢講師らにより精力的に研究が進められている。その成果は内外の専門誌に掲載され、この方面において学会の指導的役割を担っている。さらにその治療における高圧酸素療法の有効性についても高く評価されている。さらに外科的感染症における細菌性因子の役割について臨牀的、実験的に様々な研究が進められているが、なかでも代田名誉教授によって導入された無菌生物はこれらの病態の解明に有用でその研究成績は高く評価されている。

従前より胆石症における結石生成の研究が進められていたが、今日では厚生省肝内結石調査研究班の一員として恩田教授、森山助教授らにより共同研究が展開されている。成果は班会議はもとより、内外の学会で報告され、今日、消化器癌治療において外科的治療を中心とする集学的治療の重要性が認識されている。教室では食道 - 山下助教授、笹島講師、胃 - 吉葉教授、山下助教授、徳永講師、大腸 - 田中助教授、肝、胆道、脾 - 恩田教授、田尻講師を中心に治療成績向上の努力がなされ、その成果は内外の学会、専門誌に報告され、注目されている。制癌研究の一環としてヌードマウスが導入され、癌治療指針の新しい手段となっている。

食道静脈瘤治療は困難をきわめている。教室では血行動態の解析により病態に応じた最適な治療法を選択し良好な成績を得、山下助教授、田尻講師らにより国際会議を中心に報告、評価されている。

小児外科領域については江上助教授を中心として研究が進められている。

なお海外留学生は常時、3～4人を数え、最近では米国国立癌研究所、シンシナチ大学、ネブラスカ大学との共同研究が進められ、その成果は内外の学会、専門誌に報告されている。

#### 研究業績

##### 論 文

- 1) Uchida, E., Tempero, M.A., Burnett, D.A., Steplewski, Z. and Pour, P.: [原著] Correlative studies on antigenicity of pancreatic cancer and blood group types. *Cancer Detect. Prev. Suppl.*, 1, 145 ~ 148, 1987.
- 2) Tempero, M.A., Uchida, E., Takasaki, H., Burnett, D.A., Steplewski, Z. and Pour, P.: [原著] Relationship of carbohydrate antigen 19-9 and Lewis antigens in pancreatic cancer. *Cancer Res.*, 47, 5501~5503, 1987.
- 3) Takasaki, H., Uchida, E., Tempero, M.A., Burnett, D.A., Metzgar, R.S. and Pour, P.: [原著] Comparative studies on expression of CA19-9 and DU-PAN-2 in pancreatic cancer tissue. *Int. J. Pancreatol.*, 2, 349 ~ 360, 1987.
- 4) Nishi, K., Tokunaga, A., Shimizu, Y., Yoshiyuki, T., Wada, M., Matsukura, N., Tanaka, N., Onda, M. and Asano, G.: [原著] Immunohistochemical study of intracellular estradiol in human gastric cancer. *Cancer*, 59, 1328~1332, 1987.
- 5) Pongchairerks, P., Matsukura, N., Tokunaga, A., Tanaka, N., Onda, M., Miki, M., Asano, G. and Hirota, T. (Natl. Cancer Center): [原著] Lectin histochemical studies on gastric intestinal metaplasia with *Ulex europaeus* agglutinin. I. *dolichos biflorus* and peanut agglutinins in comparison with gastric

- and small and large intestinal mucosa. *Acta Histochem. Cytochem.*, 20, 147~161, 1987.
- 6) Miyoshi, T. and Yamakawa, T. : [原著] Endoprosthesis insertion under choledochoscopic guidance for management of malignant biliary obstruction. "Recent Topics of Digestive Endoscopy", *Excerpta Medica*, p.345~351, 1987.
  - 7) Clussen, M.<sup>1)</sup>, Hagenmüller, F.<sup>1)</sup>, Gösner, W.<sup>1)</sup>, Yamakawa, T. and Frank, F.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>München University) : [原著] Laser treatment of bile duct cancer via percutaneous choledochoscopy. *Endoscopy*, 19, 74~75, 1987.
  - 8) 小西清二, 沖浜裕司, 田代真一, 古川清憲, 金徳栄, 滝沢隆雄, 田尻孝, 田中宣威, 森山雄吉, 山下精彦, 三樹勝, 恩田昌彦 : [原著] 急性閉塞性化膿性胆管炎 (AOSC) の病態と治療. 腹部救急診療の進歩, 7, 291~295, 1987.
  - 9) 恩田昌彦 : [総説] イレウスの病態と治療. 腹部救急診療の進歩, 7, 565~576, 1987.
  - 10) 森山雄吉, 松田健, 京野昭二, 有馬保生, 田代真一, 鄭淳, 羽尾邦彦, 古川清憲, 中島米次郎, 金徳栄, 笹島耕二, 滝沢隆雄, 徳永昭, 田中宣威, 山下精彦, 恩田昌彦 : [原著] 麻痺性イレウスに対する高圧酸素療法. 腹部救急診療の進歩, 7, 647~651, 1987.
  - 11) 田島広之<sup>1)</sup>, 細井盛一<sup>1)</sup>, 大矢徹<sup>1)</sup>, 伊藤公一郎<sup>1)</sup>, 片山信二<sup>1)</sup>, 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 恵畑欣一<sup>1)</sup>, 梅原松臣 (<sup>1)</sup>放射線科) : [原著] 特発性血小板減少性紫斑病に対する部分的脾動脈塞栓術の経験. 臨放線, 32, 635 ~ 639, 1987.
  - 12) Takubo, K.<sup>1)</sup>, Takai, A., Takayama, S.<sup>2)</sup>, Sasajima, K., Yamashita, K. and Fujuta, K.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>Saitama Cancer Center Dep. of Pathology, <sup>2)</sup>Saitama Cancer Center Dep. of Abdonininal Surgery) : [原著] Intraductal spread of esophageal squamous cell carinoma. *Cancer*, 59, 1751~1757, 1987.
  - 13) Takubo, K., Takai, A., Yamashita, K. and Onda, M. : [原著] Carcindma with signet ring celles of the esophagus. *Acta Pathol. Jpn.*, 37, 989~995, 1987.
  - 14) 笹島耕二, 谷口善郎, 森野一英, 山下精彦, 恩田昌彦, 田久保海誉<sup>1)</sup>, 恵畑欣一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>埼玉がんセンター病理, <sup>2)</sup>放射線科) : [原著] 進行食道癌に対する術前併用療法. 癌と化療, 14, 1941~1943, 1987.
  - 15) 大滝修司<sup>1)</sup>, 吉村成子, 関戸仁<sup>1)</sup>, 高橋正純<sup>1)</sup>, 金子等<sup>1)</sup>, 山川達郎 (<sup>1)</sup>帝京大学溝口病院外科) : [原著] 肝部分切除後に誘導される免疫抑制状態に関する臨床的検討. 消と免疫, 19, 216~219, 1987.
  - 16) 山川達郎, 大滝修司 : [原著] 反復する胆管炎 この症例で行うべき検査と治療方針. 外科, 49, 761~765, 1987.
  - 17) 森山雄吉 : [総説] イレウス. 内科, 60, 432~437, 1987.
  - 18) 大川共一 : [原著] 当院における不織布シングルユースシステムの採用経緯について. 日手術部医会誌, 8, 317~318, 1987.
  - 19) 大川共一 : [原著] 不織布による手術室運営システムの導入について. 日手術部医会誌, 8, 319~321, 1987.
  - 20) 大川共一 : [原著] 不織布による手術室運営システムの導入経緯について. 日手術部医会誌, 8, 375~379, 1987.
  - 21) 山川達郎 : [原著] 脾, 胆道癌の臨床 胆道癌の診断. *Gastroenterol Eudosc.*, 29, 2855~2859, 1987.
  - 22) 徳永昭, 恩田昌彦, 清水康仁, 吉行俊郎, 西恵吾, 松倉則夫, 田中宣威 : [原著] 胃癌組織における生物学的特性の検討 ; Estrogen receptor (ER), Estradiol (E<sub>2</sub>), Epidermal growth factor (EGF) を指標として. 日外会誌, 88, 1113~1116, 1987.
  - 23) 辺見弘<sup>1)</sup>, 江上格 (<sup>1)</sup>救急医学) : [総説] 熱傷 (特大号 : 小児科医のための境界領域ガイドライン). 小児診療, 50, 1911~1915, 1987.
  - 24) 江上格, 大塚敏文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>救急医学) : [総説] 腹部外傷 (特大号 : 小児科医のための境界領域ガイドライン). 小

- 児診療, 50, 1938~1941, 1987.
- 25) 木山輝郎, 江上格, 林久太佳, 吉村和泰, 和田雅世, 滝沢隆雄, 恩田昌彦, 益子邦洋<sup>1)</sup>, 辺見弘<sup>1)</sup>, 黒川順<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup>, 山本保博<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>救急医学 ): [原著] 小児骨盤骨折の検討. 外科診療, 29, 1799~1800, 1987.
  - 26) 山川達郎, 三芳端: [カラーグラフ] Practice of Endoscopy 胆道内視鏡シリーズ・1 胆道内視鏡の目的. 臨外, 42, 1593~1595, 1987.
  - 27) 山川達郎, 三芳端: [カラーグラフ] Practice of Endoscopy 胆道内視鏡シリーズ・2 術中胆道鏡. 臨外, 42, 1747~1749, 1987.
  - 28) 山川達郎, 三芳端: [カラーグラフ] Practice of Endoscopy 胆道内視鏡シリーズ・3 術後胆道鏡その1. 臨外, 42, 1893~1895, 1987.
  - 29) 森山雄吉, 恩田昌彦, 吉葉昌彦, 滝沢隆雄, 中島米次郎, 京野昭二: [総説] 臨床統計よりみたわが国のイレウス. 外科, 49, 1389~1398, 1987.
  - 30) 渡辺章, 江上格, 松田健, 矢野正和, 恩田昌彦: [報告] 小児門脈圧亢進症における脾摘後自家移植の1例. 日消外会誌, 20, 1121~1124, 1987.
  - 31) 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 滝沢隆雄, 徳永昭, 中島米治郎, 古川清憲, 田代真一, 京野昭二, 横井公良: [総説] イレウスに対する保存的療法の限界. 消外, 10, 1539~1548, 1987.
  - 32) 吉村成子, 恩田昌彦: [話題] シクロスポリンの肝再生に及ぼす影響. 医のあゆみ, 143, 164, 1987.
  - 33) 青木伸弘, 有馬保生, 渡辺章, 徳永昭, 田尻孝, 田中宣威, 山下精彦, 恩田昌彦, 有賀長規<sup>1)</sup>, 伊藤公一郎<sup>1)</sup>, 西川博<sup>1)</sup>, 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 畑典武<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>放射線科, <sup>2)</sup>第1内科 ): [症例報告] 早期診断により血行再建のみにて治癒した急性上腸間膜動脈閉塞症の一例. 外科, 49, 841~845, 1987.
  - 34) 浅野健<sup>1)</sup>, 松岡和彦<sup>1)</sup>, 山本正生<sup>1)</sup>, 植田稔<sup>1)</sup>, 的場文雄, 江上格, 恩田昌彦 ( <sup>1)</sup>小児科 ): [報告] 術前に巨大な Adenomyomatosis と診断し得た1女児例. 小児診療, 50, 1415~1418, 1987.
  - 35) 江上格, 会田邦晴, 金徳栄, 渡辺章, 内藤善哉, 和田雅世, 吉村和泰, 山本達也, 恩田昌彦, 鹿児島俊夫<sup>1)</sup>, 手代木正<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>小児科 ): [報告] 破裂肝芽腫T<sub>4</sub>の Second look 超右3区域切除による治療切除成功の1例. 小児外科, 19, 1605~1610, 1987.
  - 36) 山川達郎: [カラーグラフ] Practice of Endoscopy 胆道内視鏡シリーズ・4 術後胆道鏡・その2 手技的な事項を中心として. 臨外, 43, 13~15, 1988.
  - 37) 山川達郎: [カラーグラフ] Practice of Endoscopy 胆道内視鏡シリーズ・5 遺残結石症例に対する術後胆道鏡. 臨外, 43, 143~146, 1988.
  - 38) 山川達郎: [カラーグラフ] Practice of Endoscopy 胆道内視鏡シリーズ・6 肝内結石症に対する術後胆道鏡・その1 手技の事項を中心として. 臨外, 43, 295~298, 1988.
  - 39) Yamakawa, T., Esguerra, R.D., Kaneko, H. and Fukuma, E.: [原著] Percutaneous transhepatic endoprosthesis in malignant obstruction of the bile duct. World J. Surg., 12, 78~84, 1988.
  - 40) Liu, Y.F., Zheng, X.D., Tajiri, T., Umehara, M., Yamashita, K., Onda, M., Ohya, T.<sup>1)</sup>, Hosoi, S.<sup>1)</sup> and Kumazaki, T.<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>Dep. of Radiology ): [原著] The clinical of posterior gastric vein in portal hypertention as visualized in portograms. Nippon Ika Daigaku Zasshi, 55, 209~212, 1988.
  - 41) 鎌田直司<sup>1)</sup>, 吉村成子 ( <sup>1)</sup>国立小児病院小児医療研究センター実験外科 ): [総説] 肝移植における免疫学的特殊性. Medical Immunology, 15, 263~267, 1988.
  - 42) 田尻孝, 恩田昌彦, 梅原松臣, 山下精彦, 金徳栄, 鄭淳, 足立幹夫, 山田和人, 吉田寛, 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 本多一義<sup>1)</sup>, 細井盛一<sup>1)</sup>, 大矢徹<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>放射線科 ): [原著] 食道胃静脈瘤出血に対する保存的治療. 救急医学, (臨時増刊号), S-98~S-99, 1988.

- 43) 江上格, 渡辺章, 清水康仁, 吉行俊郎, 松田健, 内藤善哉, 高井淳, 山下精彦, 恩田昌彦, 桜井恵<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup>, 香川隆男<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>救急医学, <sup>2)</sup>第3内科): [報告] 腐食性食道狭窄症に対し食道全摘・結腸移植を行った1幼児治験例. 日臨外会誌, 49, 304~309, 1988.

## 著 書

- 1) Tempers, M.A., Uchida, E., Takasaki, H., Kay, D. and Pour, P.: [分担] Biologic studies in pancreatic cancer. "New Trends in Gastroenterology 1987" (Sugahara, K. ed.), p.135~151, Int. Commit of JSGE (Tokyo), 1987.
- 2) 山下精彦: [分担] 食道アカラシア. "診断・治療マニュアル. MT Medical Treatment" (阿部裕, 和田達雄編集主幹), p.403~404, 金原出版, 1987.
- 3) 山下精彦: [分担] 食道裂孔ヘルニア. "診断・治療マニュアル. MT Medical Treatment" (阿部裕, 和田達雄編集主幹), p.404~405, 金原出版, 1987.
- 4) Takubo, K.<sup>1)</sup>, Takai, A., Sasajima, K., Yamashita, K., Tanaka, Y.<sup>2)</sup> and Fujita, K.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>Dept. of Pathology, Saitama Cancer Center, <sup>2)</sup>Dept. of Abdominal Sugery, Saitama Cancer Center): [分担] Perineural spread of esophageol carcinoms. "Diseases of Esophagus", p.89~92, Spring-Verlag, Berlin, 1987.
- 5) 恩田昌彦, 田中宣威, 横井公良: [分担] イレウスと大腸癌. "大腸癌診療指針 14, No. 3", p.177~181, クリニカ, 1987.
- 6) 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 細井盛一<sup>1)</sup>, 田島廣之<sup>1)</sup>, 田尻孝 (<sup>1)</sup>放射線科): [分担] 食道静脈瘤に対する脾動脈塞栓術. "International Radiology", p.203 ~ 209, 金原出版, 1987.
- 7) 山川達郎, 飯泉成司: [分担] 胆道鏡. "消化器内視鏡. 3 十二指腸乳頭部・膵管・胆道・肝臓" (藤田力也編), p.15~25, 医学書院, 1987.
- 8) 山川達郎: [分担] 肝内胆管ドレナージ法. "図説 標準外科手術(2) [肝・胆・膵・脾]" (井口潔編), p.44~47, へるす出版, 1987.
- 9) 山川達郎: [分担] 急性腹症; 急性虫垂炎, 腸閉塞を中心に. "図説外科学" (三島好雄編), p.367~377, 南山堂, 1987.
- 10) 田尻孝: [分担] 脾動脈塞栓法. "外科診療Q&A追録第17号" (長尾房大編), p.948 ~ 951, 六法出版社, 1988.

## 学会発表

- 1) 伊達治行, 高橋秀明, 森野一平, 京野昭二, 松倉則夫, 吉安正行, 徳永昭, 田中宣威, 森山雄吉, 山下精彦, 吉葉昌彦, 恩田昌彦: [一般講演] Stage IV 胃癌の手術成績に対する各因子の影響. 第46回胃癌研究会, 1986.
- 2) 徳永昭, 清水康仁, 吉行俊郎, 西恵吾, 松倉則夫, 田中宣威, 森山雄吉, 山下精彦, 恩田昌彦: [シンポジウム] 胃癌組織における生物学的特性の検討; Estrogen receptor (ER), Estradiel (E<sub>2</sub>), Epidermal growth factor (EGF) を指標として (Subcellular levelないし cellular levelの研究と外科領域における診断・治療の進歩). 第87回日本外科学会総会, 1987.
- 3) 宇井義典, 金子等, 山川達郎, 三芳端, 伊藤誠二, 福間英祐, 吉村成子, 大滝修司, 関戸仁, 高橋正純, 吉崎明彦: [一般講演] 組織破壊と癌細胞の着床に関する実験的研究. 第87回日本外科学会総会, 1987.
- 4) 福間英祐, 金子等, 山川達郎, 宇井義典, 関戸仁, 吉村成子, 伊藤誠二, 三芳端, エスゲラ・リカルド: [一般講演] 抗癌剤油脂懸濁液; 特に Nimustinel Lipiodol を用いた癌局所療法. 第87回日本外科学会総会, 1987.
- 5) 田代真一, 梅原松臣, 鄭淳, 金徳栄, 古川清憲, 滝沢隆雄, 田尻孝, 田中宣威, 恩田昌彦: [シンポジウム] 短腸症候群; その病態と治療. 第73回日本消化器病学会総会 (小腸研究会), 1987.



- 6) 梅原松臣, 田尻孝, 梅森真理, 山田和人, 鄭淳, 金徳栄, 山下精彦, 恩田昌彦, 奥山厚<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>1)</sup>, 恵畑欣一<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup>放射線科): [一般講演] 門脈圧亢進症に対する SSPの有用性. 第73回日本消化器病学会総会, 1987.
- 7) 田尻孝, 梅原松臣, 梅森真理, 足立幹夫, 鄭淳, 金徳栄, 山下精彦, 恩田昌彦, 大矢徹<sup>1)</sup>, 隈崎達夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>放射線科): [一般講演] 食道静脈瘤治療における各種塞栓療法組合せの意義. 第73回日本消化器病学会総会, 1987.
- 8) 中谷親弘: [教育講演] らいのリハビリテーション(2). 第60回日本らい学会 (第22回日本医学会総会分科会), 1987.
- 9) 中谷親弘: [一般講演] 下垂足へのらせん状下腿補装具の経験. 第60回日本らい学会 (第22回日本医学会総会分科会), 1987.
- 10) 清水康二, 吉行俊郎, 林哲弘, 増森興治, 西恵吾, 橋本正好, 松倉則夫, 田代真一, 古川清憲, 徳永昭, 田中宣威, 恩田昌彦, 浅野伍郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理): [展示] ノードマウス移植ヒト胃癌組織における腫瘍の増殖と間質変化. 第87回日本外科学会総会, 1987.
- 11) 中谷親弘: [一般講演] 口唇下垂に対する咬筋移行術の反省. 第60回日本らい学会 (第22回日本医学会総会分科会), 1987.
- 12) 横室茂樹, 氏原康之, 西恵吾, 鄭淳, 徳永昭, 田中宣威, 森山雄吉, 山下精彦, 恩田昌彦: [一般講演] 胃癌穿孔例の臨床病理学的検討. 第73回日本消化器病学会総会, 1987.
- 13) Nakajima, Y., Ashraf, M.<sup>1)</sup> and Millard, R.W.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>University of Cincinnati): [展示] Reperfusion injury to epithelial cells in canine intestinal ischemia; An ultrastructural evaluation. The 71 the Annual Meeting of FASEB (Washington D.C.), 1987.
- 14) 梅原松臣, 大矢徹<sup>1)</sup>, 田島広之<sup>1)</sup>, 伊藤公一郎<sup>1)</sup>, 片山信二<sup>1)</sup>, 玉井仁<sup>1)</sup>, 汲田伸一郎<sup>1)</sup>, 細井盛一<sup>1)</sup>, 本多一義<sup>1)</sup>, 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 恵畑欣一<sup>1)</sup>, 田尻孝, 恩田昌彦 (<sup>1)</sup>放射線科): [一般講演] 食道静脈瘤に対する脾動脈および左胃動脈塞栓術併用 (SAE+LGE) の有効性に関する検討; PTO・TIOとの相乗効果を含めて. 第10回日本血管造影 Interrentinal Radiology 研究会, 1987.
- 15) 山川達郎, エスグラ・リカルド: [VTR シンポジウム] Clinical signification of postoperative choledochoscopy in the management of retained biliary tract stone (主題: 総胆管結石の診断と治療). 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 16) 吉崎明彦, 山川達郎, 金子等, 斉藤美津雄, 福岡英祐, 飯泉成司, 宇井義典, 大滝修司, 関戸仁, 高橋正純, 平井淳, 三芳端: [一般講演] 最近5年間の急性虫垂炎症例の検討; 殊に遺残膿瘍について. 第32回神奈川県消化器病研究会, 1987.
- 17) 木山輝郎, 恩田昌彦, 山下精彦, 徳永昭, 笹島耕二, 鄭淳, 京野昭二, 林哲弘: [一般講演] 大量下血にて発症した胃カルチノイドの一例. 第194回日本消化器病学会関東甲信越地方会, 1987.
- 18) 飯泉成司, 山川達郎, 三芳端, 伊藤誠二, 金子等, 吉村成子, 福岡英祐, 高橋正純, 関戸仁, 宇井義典, 藤田賢一: [一般講演] Olympus CHF-5QAの使用経験について. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 19) 大川共一: [一般講演] 手術室運営における不織布バックの効果. 第62回日本医科器械学会総会, 1987.
- 20) Nakajima, Y., Ashraf, M.<sup>1)</sup> and Millard, R.W.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>University of Cincinnati): [一般講演] Critical morphological changes in the ischemic intestine following restoration of blood flow. The Scanning Electron Microscopy/1987 Annual Meeting (Hamilton, Ontario), 1987.
- 21) 山下精彦: [特別講演] 食道癌の外科的治療と補助療法. 中国西安医科大学. 1987.
- 22) 京野昭二, 恩田昌彦, 吉葉昌彦, 山下精彦, 田尻孝, 徳永昭, 笹島耕二, 田代真一, 鄭淳, 伊達治行: [一般講演] 胆道癌の経過中に併発した巨大食道・胃潰瘍の一例. 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 23) 田尻孝, 梅原松臣, 足立幹夫, 山田和人, 鄭淳, 金徳栄, 山下精彦, 恩田昌彦, 大矢徹<sup>1)</sup>, 奥山厚<sup>1)</sup>, 本多一義<sup>1)</sup>,

- 隈崎達夫<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>放射線科 ) : [一般講演] 慢性肝不全に対する脾動脈塞栓術の長期的有用性. 第23回日本肝臓学会総会, 1987.
- 24) 加藤俊二, 山下克美<sup>1)</sup>, 佐藤茂秋<sup>1)</sup>, 金徳栄, 田尻孝, 山下精彦, 恩田昌彦 ( <sup>1)</sup>国立ガンセンター研究所生化学部 ) : [一般講演] 肝癌患者の肝組織における mitomycin C - DNA 付加体の検出. 第23回日本肝臓学会総会, 1987.
- 25) 吉村成子, 山川達郎, 恩田昌彦 : [一般講演] 免疫系による肝再生現象の修飾. 第23回日本肝臓学会総会, 1987.
- 26) 木山輝郎, 恩田昌彦, 山下精彦, 笹島耕二, 鄭淳, 田尻孝, 林久太佳 : [一般講演] マロリーワイス症候群を合併した特発性食道破裂 (Boerhaave 症候群) の一例. 第41回食道疾患研究会, 1987.
- 27) 木山輝郎, 江上格, 林久太佳, 吉村和泰, 和田雅世, 滝沢隆雄, 恩田昌彦, 益子邦洋<sup>1)</sup>, 黒川顕<sup>1)</sup>, 山本保博<sup>1)</sup>, 辺見弘<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>救命救急センター ) : [一般講演] 小児骨盤骨折の検討. 第60回東京小児外科研究会, 1987.
- 28) 西恵吾, 恩田昌彦, 清水康仁, 吉行俊郎, 松倉則夫, 徳永昭, 田中宣威, 森山雄吉, 山下精彦 : [一般講演] 教室における胃癌手術症例の年齢別特徴; とくに Estrogen receptor (ER), Estradiol (E<sub>2</sub>), Epidermal growth factor (EGF) を指標として. 第49回胃癌研究会, 1987.
- 29) 谷口善郎, 笹島耕二, 森野一英, 山下精彦, 恩田昌彦, 田久保海誓<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>埼玉がんセンター病理 ) : [一般講演] Stage III, IV 食道癌症例に対する術前併用療法. 第41回食道疾患研究会, 1987.
- 30) 田久保海誓<sup>1)</sup>, 笹島耕二, 山下精彦, 三山健司<sup>2)</sup>, 田中洋一<sup>2)</sup>, 蔭田吉四郎<sup>2)</sup>, 田中洋一<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>埼玉がんセンター病理, <sup>2)</sup>埼玉がんセンター腹部外科, <sup>3)</sup>東大2外 ) : [一般講演] 食道癌の形態学的 Heterogeneity. 第41回食道疾患研究会, 1987.
- 31) 鄭淳, 恩田昌彦, 山下精彦, 田尻孝, 金徳栄, 足立幹夫, 山田和人, 池田五十鈴, 吉田寛 : [ワークショップ] 食道静脈瘤に対する硬化療法の選択. 第30回日本消化器外科学会総会, 1987.
- 32) 吉田寛, 恩田昌彦, 山中洋一郎, 梅原松臣, 山田和人, 京野昭二, 足立幹夫, 鄭淳, 田代真一, 金徳栄, 徳永昭, 笹島耕二, 田尻孝, 山下精彦 : [一般講演] 食道静脈瘤合併肝硬変患者に対する胃切除術の検討. 第30回日本消化器外科学会総会, 1987.
- 33) 松倉則夫, 恩田昌彦, 内田英二, 横井公良, 有馬保生, 橋本正好, 京野昭二, 伊達治行, 田代真一, 鄭淳, 足立幹夫, 古川清憲, 中島米次郎, 滝沢隆雄, 徳永昭, 田尻孝, 田中宣威, 森山雄吉, 山下精彦, 吉葉昌彦 : [一般講演] 胃癌出血 (吐血) 例の検討. 第30回日本消化器外科学会総会, 1987.
- 34) 宿前貴子<sup>1)</sup>, 村田正弘<sup>1)</sup>, 小田彰 ( <sup>1)</sup>薬剤科 ) : [一般講演] 農薬中毒に対する情報提供と処置の問題. 第9回中毒研究会, 1987.
- 35) 横井公良, 吉行俊郎, 西恵吾, 清水康仁, 橋本正好, 山田和人, 田代真一, 古川清憲, 徳永昭, 田中宣威, 森山雄吉, 恩田昌彦 : [一般講演] 教室における高齢者大腸癌の臨床病理学的検討. 第27回大腸癌研究会. 1987.
- 36) 内田英二, 内藤善哉, 会田邦晴, 笹島耕二, 田尻孝, 江上格, 恩田昌彦 : [展示] 正常ヒト脾における血液中物質の免疫組織化学的検索. 第18回日本脾臓学会総会, 1987.
- 37) 古川清憲, 恩田昌彦, 橋本正好, 吉行俊郎, 清水康人, 内藤善哉, 西恵吾, 田代真一, 松倉則夫, 徳永昭, 田中宣威, 森山雄吉 : [展示] Recklinghavsens 病に合併し著明な浸潤増生を示した Paget 病の 1 症例. 第46回乳癌研究会, 1987.
- 38) 山川達郎, 平井淳, 金子等 : [パネルディスカッション] 肝内結石症の内視鏡的治療; 13年間の経験. 第23回日本胆道学会総会, 1987.
- 39) 岡崎滋樹, 江上格, 渡辺章, 松田健, 伊達治行, 古川清憲, 滝沢隆雄, 田尻孝, 森山雄吉, 恩田昌彦, 小林正文<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第3内科 ) : [要望演題] 脾・胆管合流異常の合併疾患; 特に胆嚢癌についての検討. 第23回日本胆道学会

総会, 1987.

- 40) 有馬保生, 恩田昌彦, 三樹勝, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 田尻孝, 徳永昭, 滝沢隆雄, 古川清憲, 金徳栄, 伊藤誠二, 田代真一: [要望演題] 胃切除術後の胆石, 胆嚢炎の検討. 第23回日本胆道学会総会, 1987.
- 41) 山中洋一郎, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田尻孝, 伊藤誠二, 有馬保生: [一般演題] 短期間のうちに形成された炭酸カルシウム結石の1例. 第195回日本消化病学会関東甲信越地方会, 1987.
- 42) 鄭淳, 恩田昌彦, 山下精彦, 田尻孝, 金徳栄, 足立幹夫, 伊達治行, 有馬保生, 梅原松臣: [一般演題] 治療に困難をきたした再出血例の検討とその対策. 第4回食道静脈瘤硬化療法研究会, 1987.
- 43) Millard, R.W.<sup>1)</sup>, Nakajima, Y. and Ashraf, M.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>University of Cincinnati): [一般講演] Scanning electron microscopy of ischemic intestinal mucosa. The Annual Meeting of the Electron Microscopy Society of America (EMSA 1987) (Baltimore), 1987.
- 44) 大川共一: [特別講演] 直腸, 肛内疾患の外科的治療, および手術部医学について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 45) 伊藤誠二, 恩田昌彦: [ラウンドテーブルディスカッション] 急性胆嚢炎の手術適応. 第9回日本腹部救急診療研究会, 1987.
- 46) 徳永昭, 恩田昌彦, 山下精彦, 森山雄吉, 田中宣威, 松倉則夫, 西恵吾: [シンポジウム] スキルス胃癌に対する内分泌療法の試み (ホルモン療法). 第14回制癌剤臨床研究会関東部会, 1987.
- 47) 田尻孝, 恩田昌彦, 山下精彦, 金徳栄, 鄭淳, 足立幹夫, 山田和人, 梅原松臣, 吉田寛: [シンポジウム] 食道胃静脈瘤出血に対する保存的療法の適応と限界. 第9回, 日本腹部救急診療研究会, 1987.
- 48) 山下精彦, 恩田昌彦, 笹島耕二, 田尻孝, 谷口善郎, 岡崎滋樹, 高井淳, 恵畑欣一<sup>1)</sup>, 田久保海誓<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>放射線科, <sup>2)</sup>埼玉ガンセンター病理): [一般講演] 進行食道癌に対する術前併用療法. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 49) Yamakawa, T., Kaneko, H., Fukuma, E., Yoshimura, S., Hirai, A., Saitoh, M., Ohtaki, S., Takahashi, M. and Sekido, H.: [一般講演] Local or arterial injection of nimustine - lipiodol suspension for management of incurable malignant tumor. 8th Asia Pacific Cancer Conference (Seoul), 1987.
- 50) Yamakawa, T., Kaneko, H., Yoshimura, S., Saitoh, M., Fukuma, E., Hirai, A., Izumi, S., Ui, Y. and Yoshizaki, A.: [一般講演] A percutaneous transhepatic biliary endoprosthesis for malignant obstruction of the biliary tract. 8th Asia Pacific Cancer Conference (Seoul), 1987.
- 51) 清水康仁, 吉行俊郎, 林哲弘, 小島範子, 西恵吾, 松倉則夫, 古川清憲, 徳永昭, 田中宣威, 恩田昌彦, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理): [一般講演] ノードマウス移植ヒト胃癌培養細胞腫瘍の増殖における線維芽細胞の影響. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 52) 清水康仁, 吉行俊郎, 林哲弘, 浅野伍朗<sup>1)</sup>, 小島範子, 西恵吾, 松倉則夫, 古川清憲, 徳永昭, 田中宣威, 恩田昌彦 (<sup>1)</sup>第2病理): [一般講演] ノードマウス移植ヒト胃癌培養細胞腫瘍における腫瘍の増殖と間質変化. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 53) 小島範子, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 滝沢隆雄, 吉安正行, 笹島耕二, 徳永昭, 田尻孝, 金徳栄, 吉村成子, 内藤善哉: [展示] 実験的四塩化炭素肝障害に対する高圧酸素療法の影響 第2報. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 54) 京野昭二, 恩田昌彦, 吉葉昌彦, 山下精彦, 田中宣威, 田尻孝, 徳永昭, 伊藤誠二, 松倉則夫, 伊達治行, 横井公良, 高崎俊明, 林久太佳: [一般講演] 高齢者非手術胃癌の長期経過観察症例について. 第45回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 55) 高橋政之<sup>1)</sup>, 汲田伸一郎<sup>1)</sup>, 有竹澄江<sup>1)</sup>, 高岩成光<sup>1)</sup>, 山本鼎<sup>1)</sup>, 山口裕通, 山田智彦, 和田英理, 小田彰 (<sup>1)</sup>放

- 射線科) : [一般講演] 肺挫傷の画像診断; CT所見を中心に. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 56) 山口裕通, 山田智彦, 和田英理, 小田彰, 汲田伸一郎<sup>1)</sup>, 有竹澄江<sup>1)</sup>, 高岩成光<sup>1)</sup>, 山本鼎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>放射線科) :  
[一般講演] 肝挫傷のCTによる考察. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 57) 百東比古, 白井洋司, 大久保正智, 梅田敏彦, 文入正敏<sup>1)</sup>, 奥田稔<sup>2)</sup>, 山下精彦 (<sup>1)</sup>形成外科, <sup>2)</sup>付属・耳鼻科) :  
[展示] マイクロ・サージャリーによる種々の組織移植. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 58) 木山輝郎, 笹島耕二, 林久太佳, 鄭淳, 山下精彦, 恩田昌彦 : [展示] マロリーワイス症候群を合併した特発性  
食道破裂 (Boerhaave 症候群) の一例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 59) 山本達也<sup>1)</sup>, 高井淳<sup>1)</sup>, 的場文夫<sup>1)</sup>, 羽尾邦彦<sup>1)</sup>, 山口裕通, 山田智彦, 樋口勝美, 山下精彦, 恩田昌彦 (<sup>1)</sup>国立  
横須賀病院外科) : [展示] 最近経験した残胃癌 4 症例について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 60) 吉松信彦, 恩田昌彦, 山下精彦, 左近司光明, 吉田初雄, 立花正徳, 小川芳雄, 坪井栄孝<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>慈山会研究所付  
属坪井病院) : [展示] 臍頭十二指腸切除を行った Alonso - Lej III 型の先天性胆管拡張症の 1 例. 第55回日本  
医科大学医学会総会, 1987.
- 61) 笹島耕二, 宮下正夫, 谷口善郎, 山下精彦, 恩田昌彦, Haris, C.C.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Lab. of Human cercinvaenesis, NIH.USA):  
[一般講演] ヒト食道上皮細胞における 12 - 0 - tetradecanaylphorbd - 13 - acetate (TPA) 効果の epidermal  
growth factor (EGF) による抑制. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 62) 岡崎滋樹, 江上格, 渡辺章, 松田健, 伊達治行, 田代真一, 古川清憲, 田尻孝, 森山雄吉, 恩田昌彦, 小林正文<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup>第3内科) : [一般講演] 膵管胆道合流異常における胆嚢癌合併症例の臨床病理学的検討. 第10回日本膵管  
胆道合流異常研究会, 1987.
- 63) Kato, S., Yamashita, K.<sup>1)</sup>, Kim, T., Tajiri, T., Onda, M., Sato, S.<sup>1)</sup> and Sugimura, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>NAH  
Cancer Center Res. Inst.) : [一般講演] DNA modification with mitomycin C in patients detected by  
<sup>32</sup>P - postlabeling method. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 64) 松倉則夫, 恩田昌彦, 清水康仁, 吉行俊郎, 西恵吾, 笹島耕二, 徳永昭, 田中宣威, 山下精彦, 田久保海蒼<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup>埼玉がんセンター病理) : [一般講演] 胃癌と胃潰瘍併存症例の背景粘膜の検討. 第46回日本癌学会総会,  
1987.
- 65) 西恵吾, 恩田昌彦, 清水康仁, 吉行俊郎, 松倉則夫, 徳永昭, 田中宣威, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理) : [展示]  
胃癌の内分泌学的特性に関する研究; Estrogen receptor (ER), Estradiol (E<sub>2</sub>), Epidermal growth factor (EGF)  
を指標として. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 66) 西恵吾, 恩田昌彦, 清水康仁, 吉行俊郎, 松倉則夫, 徳永昭, 田中宣威, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理) : [展示]  
胃癌における Estrogen receptor (ER), Estradiol (E<sub>2</sub>), Epidermal growth factor (EGF). 第46回日本癌  
学会総会, 1987.
- 67) 伊藤誠二, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田尻孝, 古川清憲, 田代真一, 鄭淳, 有馬保生, 沖浜裕司, 岡崎滋樹 : [展示]  
閉塞性黄疸に対する胆道鏡の役割. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 68) 小島範子, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田中宣威, 滝沢隆雄, 吉安正行, 笹島耕二, 徳永昭, 田尻孝, 金徳栄, 吉村成子,  
内藤善哉 : [展示] 実験的の四塩化炭素肝障害に対する高圧酸素療法の影響 第2報. 第55回日本医科大学医学会  
総会, 1987.
- 69) 斎藤忠生, 恩田昌彦, 鈴木英之, 山田智彦, 中尾充, 鄭淳, 田代真一, 古川清憲, 中島米治郎, 滝沢隆雄, 田中  
宣威 : [展示] 消化器外科領域とエンドトキシン血症; 合成基質を用いた (血中) Et 定量法について. 第55回  
日本医科大学医学会総会, 1987.
- 70) 松倉則夫, 恩田昌彦, 清水康仁, 吉行俊郎, 西恵吾, 笹島耕二, 徳永昭, 田中宣威, 山下精彦, 田久保海蒼 :  
[展示] 胃癌と胃潰瘍併存症例の背景粘膜の検討. 第46回日本癌学会総会, 1987.

- 71) 木山輝郎, 笹島耕二, 林久太佳, 鄭淳, 山下精彦, 恩田昌彦:〔展示〕マロリーワイス症候群を合併した特発性食道破裂(Boerhaave 症候群)の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 72) 吉行俊郎, 清水康仁, 小島範子, 西恵吾, 松倉則夫, 徳永昭, 田中宣威, 恩田昌彦, 浅野伍朗<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>第2病理):〔展示〕ヌードマウス可移植性ヒト胃癌の増殖と間質の変化;血管と線維芽細胞の役割. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 73) 吉行俊郎, 清水康仁, 小島範子, 西恵吾, 松倉則夫, 徳永昭, 田中宣威, 恩田昌彦, 浅野伍朗<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>第2病理):〔展示〕ヌードマウス可移植性ヒト胃癌組織における腫瘍と間質の変化. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 74) 恩田昌彦:〔特別講演〕消化器外科領域とエンドトキシン. 第2回急性循環不全研究会, 1987.
- 75) 梅原松臣, 恩田昌彦:〔シンポジウム〕門脈圧亢進症の血行動態;特に食道静脈瘤への血液供給路としての左胃動静脈の役割について. 第22回日本肝臓学会東部会, 1987.
- 76) 徳永昭, 恩田昌彦, 清水康仁, 吉行俊郎, 西恵吾, 横井公良, 松倉則夫, 田中宣威, 森山雄吉, 山下精彦, 吉安正行, 青木伸弘, 氏原康之:〔一般講演〕妊娠経過中または分娩直後に発症した胃癌症例の検討. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 77) 田中宣威, 清水康仁, 吉行俊郎, 西恵吾, 高崎秀明, 内田英二, 横井公良, 田代真一, 松倉則夫, 古川清憲, 徳永昭, 滝沢隆雄, 森山雄吉, 山下精彦, 恩田昌彦:〔一般講演〕胃・大腸癌のOncologic emergencyに対する外科的治療の検討. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 78) 吉村成子, 恩田昌彦, 田尻孝, 笹島耕二, 古川清憲, 田代真一, 野田泰嗣, 加藤俊二, 斎藤忠生, 鈴木英之:〔一般講演〕肝再生に対するシクロスポリン及び各種免疫系細胞の影響. 第22回日本肝臓学会東部会, 1987.
- 79) 小島範子, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田尻孝, 金徳栄, 吉村成子, 野田泰嗣, 内藤善哉, 加藤俊二, 梅原松臣:〔一般講演〕実験的四塩化炭素肝障害に対する高圧酸素療法の影響. 第22回日本肝臓学会東部会, 1987.
- 80) 田尻孝, 恩田昌彦, 梅原松臣, 山下精彦, 金徳栄, 鄭淳, 山田和人, 足立幹夫, 吉田寛:〔一般講演〕脾動脈塞栓術(SAE)の肝門脈血行動態および肝機能に及ぼす影響. 第20回日本門脈圧亢進症研究会, 1987.
- 81) 京野昭二, 恩田昌彦, 山下精彦, 田尻孝, 笹島耕二, 伊達治行, 谷口善郎, 渡辺学, 高橋政之<sup>1)</sup>, 隅崎達夫<sup>1)</sup>, 恵畑欣一<sup>1)</sup>, 田久保海誓<sup>2)</sup>(<sup>1)</sup>放射線科, <sup>2)</sup>埼玉ガンセンター病理):〔一般講演〕無症状に経過し, 術前に悪性が疑われた食道平滑筋肉腫の一例. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 82) 石川紀行, 恩田昌彦, 山下精彦, 田中宣威, 田尻孝, 古川清憲, 中島米治郎, 田代真一, 京野昭二, 山田和人, 横井公良, 吉松信彦, 内藤善哉, 梅原松臣, 吉行俊郎:〔一般講演〕下血を主訴として緊急入院した121例の検討. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 83) 平良敦史, 恩田昌彦, 石川紀行, 横井公良, 田代真一, 松倉則夫, 古川清憲, 中島米治郎, 滝沢隆雄, 徳永昭, 田中宣威, 森山雄吉, 山下精彦:〔一般講演〕大腸癌治療切除後の再切除症例の検討;とくに再治療切除例について. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 84) 伊藤誠二, 恩田昌彦, 森山雄吉, 田尻孝, 古川清憲, 田代真一, 鄭淳, 伊達治行, 有馬保生, 斎藤忠生, 鈴木英之:〔一般講演〕胆石症, 特に緊急手術症例の検討. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 85) 金徳栄, 梅原松臣, 内藤善哉, 加藤俊二, 野辺義嗣, 吉村成子, 古谷政一, 有馬保生, 渡辺章, 羽尾邦彦, 吉安正行, 徳永昭, 滝沢隆雄, 田尻孝, 田中宣威, 森山雄吉, 山下精彦, 大川共一, 恩田昌彦:〔一般講演〕大腸癌肝転移切除例の検討. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 86) 梅原松臣, 田尻孝, 吉田寛, 山田和人, 鄭淳, 金徳栄, 山下精彦, 恩田昌彦, 奥山厚<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>放射線科):〔一般講演〕門脈圧亢進症の血行動態;特に左胃静脈と食道静脈瘤の関係について. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 87) 伊達治行, 恩田昌彦, 山下精彦, 笹島耕二, 京野昭二, 内田英二, 宮下次広<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>放射線科):〔一般講演〕超

- 音波内視鏡（EUS）による食道癌の外膜浸潤の診断。第49回日本臨床外科医学会総会，1987。
- 88) 大川共一，池野広幸，本山三生，皆川彰：〔一般講演〕中央手術部における清浄度について；空中浮遊細菌数と検出菌。第9回日本手術部医学会総会，1987。
- 89) 大川共一：〔一般講演〕不織布システム導入後の経過について。第9回日本手術部医学会総会，1987。
- 90) 大川共一，池野広幸，本山三生，皆川彰：〔一般講演〕手術室における空中浮遊細菌の測定。第34回日本臨床病理学会総会，1987。
- 91) 羽尾邦彦，山田智彦，樋口勝美，山口裕通，山本達也，山口豊明：〔一般講演〕食道癌肉腫の2例。第42回国立病院診療所総合医学会，1987。
- 92) 田尻孝，恩田昌彦，山下精彦，金徳栄，鄭淳，足立幹夫，山田和人，梅原松臣，吉田寛，隅崎達夫<sup>1)</sup>，本多一義<sup>1)</sup>，細井盛一<sup>1)</sup>，大矢徹<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>放射線科）：〔シンポジウム〕食道胃静脈瘤出血に対する保存的治療。第15回日本救急医学会総会，1987。
- 93) 山川達郎：〔実技ワークショップ〕PTCS（主題：膵，胆道内視鏡の実技）。第34回日本消化器内視鏡学会総会，1987。
- 94) 梅原松臣：〔ラウンドテーブルディスカッション〕門脈圧亢進症の血行動態；特に左胃静脈と食道静脈瘤の関係について。第29回日本消化器病学会大会，1987。
- 95) 林久太佳，恩田昌彦，山下精彦，田尻孝，伊藤誠二，京野昭二，伊達治行，横井公良，内田英二，有馬保生，吉村成子：〔一般講演〕総胆管囊腫術後の膵石による反復性膵炎に対し，術中胆道ファイバースコープによる膵管の検索が有用であった例。第6回胆膵内視鏡研究会，1987。
- 96) 山下精彦，恩田昌彦，吉葉昌彦，田尻孝，徳永昭，古川清憲，足立幹夫，伊達治行，山田和人，横井公良，有馬保生，内田英二，橋本正好，梅原松臣：〔一般講演〕年次的にみた，消化性潰瘍緊急手術の検討。第15回日本救急医学会総会，1987。
- 97) 山下精彦，恩田昌彦，田尻孝，笹島耕二，徳永昭，金徳栄，松倉則夫，伊達治行，谷口善郎，内藤委仲，田久保海誉<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>埼玉ガンセンター病理）：〔一般講演〕占居部位が異なり高度の狭窄を呈したBarrett食道の3症例。第29回日本消化器病学会大会，1987。
- 98) 古川清憲，恩田昌彦，横井公良，橋本正好，松倉則夫，田代真一，徳永昭，滝沢隆雄，田中宣威，森山雄吉，山下精彦：〔一般講演〕ホワイトヘッド肛門に対する三角皮弁を用いたSliding skin graft (SSG) による手術。第42回日本大腸肛門病学会，1987。
- 99) 吉田寛，恩田昌彦，山下精彦，田尻孝，金徳栄，鄭淳，梅原松臣：〔一般講演〕食道静脈瘤に対する治療の進歩。日本医科大学医学会第63回例会，1987。
- 100) 橋本正好，恩田昌彦，清水康仁，吉行俊郎，横井公良，松倉則夫，古川清憲，徳永昭，田中宣威，森山雄吉，山下精彦：〔一般講演〕直腸癌局所の切除症例の検討。第42回日本大腸肛門病学会，1987。
- 101) 木山輝郎，江上格，林久太佳，吉村和泰，和田雅世，滝沢隆雄，恩田昌彦，須崎伸一郎<sup>1)</sup>，益子邦洋<sup>1)</sup>，黒川顕<sup>1)</sup>，山本保博<sup>1)</sup>，大塚敏文<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>救命救急センター）：〔一般講演〕小児多発外傷に於ける骨盤骨折合併例の検討。第15回日本救急医学会総会，1987。
- 102) 吉村成子，恩田昌彦，田尻孝，笹島耕二，古川清憲，田代真一，野田泰嗣，加藤俊二，斎藤忠生，鈴木英之：〔一般講演〕消化器癌におけるH<sub>2</sub>- antagonistの免疫賦活に関する臨床および実験的検討。第29回日本消化器病学会大会，1987。
- 103) 西恵吾，恩田昌彦，清水康仁，吉行俊郎，松倉則夫，徳永昭，田中宣威，山下精彦：〔一般講演〕胃癌組織におけるEitrogen receptor (ER)，Estradiol (E<sub>2</sub>)，Epidermal growth factor (EGF) の検索。第29回日本消化器病学会大会，1987。

- 104) 恩田昌彦：〔教育講演〕イレウスに対する高圧酸素療法。第22回日本高気圧環境医学会総会，1987。
- 105) 伊達治行，恩田昌彦，山下精彦，田中宣威，田尻孝，徳永昭，京野昭二，内田英二，有馬保生：〔一般講演〕超音波内視鏡（EUS）による膵腫瘍性病変の診断；とくに切除の可否について。第29回日本消化器病学会大会，1987。
- 106) 山下精彦，恩田昌彦，吉葉昌彦，田尻孝，徳永昭，古川清憲，足立幹夫，伊達治行，山田和人，横井公良，有馬保生，内田英二，橋本正好，梅原松臣：〔一般講演〕年次的に見た消化性潰瘍緊急手術の検討。第15回日本救急医学会総会，1987。
- 107) Yamakawa, T., Hagemnuller, F. <sup>1)</sup> and Clasen, M. <sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>München University)：〔一般講演〕Percutaneous transhepatic prosthesis for palliation. International Symposium on the Treatment of Bile Duct Cancer: Multidisciplinary Approach (Fukuoka), 1987。
- 108) 京野昭二，恩田昌彦，吉葉昌彦，山下精彦，田中宣威，田尻孝，徳永昭，伊藤誠二，松倉則夫，鄭淳，伊達治行，横井公良，高崎秀明，林久太佳：〔一般講演〕高齢者非手術胃癌の長期経過観察症例について。第45回日本消化器内視鏡学会関東地方会，1987。
- 109) 京野昭二，高井淳，谷口善郎，田久保海誉，田尻孝，笹島耕二，山下精彦，恩田昌彦：〔一般講演〕早期の食道 Oat cell concinuma の一例。第19回東京女子医大消化器病センター例会，1988。
- 110) 徳永昭，恩田昌彦，山下精彦，森山雄吉，田中宣威，松倉則夫，京野昭二，内田英二，西恵吾，清水康仁，吉行俊郎：〔一般講演〕胃癌の内分泌特性の検討と内分泌療法を試み。第50回胃癌研究会，1988。
- 111) 斉藤忠生，恩田昌彦，足立憲治，森山雄吉，田中宣威，田尻孝，徳永昭，笹島耕二，滝沢隆雄，古川清憲，中島米治郎，田代真一，鄭淳，中尾充，内藤善哉，鈴木英之：〔一般講演〕短腸症候群；とくに小腸粘膜上皮に対する腸内細菌の影響について。第21回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会，1988。
- 112) 山下精彦，恩田昌彦，田尻孝，笹島耕二，岡崎滋樹，谷口善郎，田久保海誉<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>埼玉ガンセンター病理)：〔主題関連演題〕A<sub>3</sub>食道癌の合併療法と治療成績；A<sub>3</sub>食道癌。第31回日本消化器外科学会総会，1988。
- 113) 福岡英祐，金子等，高橋正純，山川達郎：〔一般講演〕抗癌剤油脂懸濁液（特に nimustine Lipioclol 懸濁液）を応用した targeting chemotherapy。第31回日本消化器外科学会総会，1988。
- 114) 高橋正純，金子等，宇井義典，関戸仁，永井哲志，斉藤美津雄，平井淳，小林俊介，輦止勝磨，山川達郎：〔一般講演〕胃癌患者に対する Lentinan 局所投与の免疫学的検討。第31回日本消化器外科学会総会，1988。
- 115) 小林又泰，恩田昌彦，山下精彦，森山雄吉，田中宣威，徳永昭，松倉則夫，足立幹夫，横井公良，岡崎滋樹，西恵吾，清水康仁，吉行俊郎：〔一般講演〕若年者胃癌の臨床病理学的検討。第31回日本消化器外科学会総会，1988。
- 116) 梅原松臣，恩田昌彦，山下精彦，田尻孝，金徳栄，鄭淳，足立幹夫，山田和人，吉田寛，隈崎達夫<sup>1)</sup>，本多一義<sup>1)</sup>，奥山厚<sup>1)</sup>，大矢徹<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>放射線科)：〔一般講演〕食道静脈瘤への血液供給路としての左胃動静脈の動態，第31回日本消化器外科学会総会，1988。
- 117) 鈴木英之，恩田昌彦，森山雄吉，田中宣威，田尻孝，滝沢隆雄，伊藤誠二，中島米治郎，古川清憲，田代真一，鄭淳，中尾充，山田智彦，斉藤忠生：〔一般講演〕外科的疾患とエンドトキシン血症。第31回日本消化器外科学会総会，1988。
- 118) 滝井昇，恩田昌彦，山下精彦，田尻孝，金徳栄，鄭淳，足立幹夫，松倉則夫，山田和人，岡崎滋樹，梅原松臣，吉田寛：〔一般講演〕治療に抵抗し頻回に大量吐血を来した食道・胃静脈瘤の1例。第24回日本救急医学会関東地方会，1988。
- 119) 吉村成子：〔パネルディスカッション〕肝の再生をめぐる諸問題；特に治療面を中心として。第74回日本消化器病学会総会，1988。

- 120) 梅原松臣, 恩田昌彦, 山下精彦, 田中宣威, 田尻孝, 徳永昭, 滝沢隆雄, 青木伸弘, 金徳栄, 羽尾邦彦, 鄭淳, 有馬保生, 吉松信彦, 石川紀行, 吉田寛, 恵畑欣一<sup>1)</sup>, 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 本多一義<sup>1)</sup>, 大矢徹<sup>1)</sup>, 田島広之<sup>1)</sup>, 伊藤公一郎<sup>1)</sup> (放射線科) : [ワークショップ] 消化管救急疾患に対する緊急血管造影の有用性. 第10回日本腹部救急診療研究会, 1988.
- 121) 山田智彦, 小田彰, 和田英理, 塩田吉宣, 安東俊明, 谷口善郎, 吉岡正智<sup>1)</sup> (多摩永山病院外科) : [一般講演] 多彩な病態を呈した多発外傷の一例. 第36回城西外科研究会, 1988.
- 122) 高橋政之<sup>1)</sup>, 梅原松臣, 奥山厚<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>1)</sup>, 田尻孝 (放射線科) : [一般講演] 門脈圧亢進症の血行動態(1). 特に左胃静脈の動態と食道静脈瘤の関係について. 第47回日本医学放射線学会総会, 1988.
- 123) 梅原松臣, 田尻孝, 伊藤公一郎<sup>1)</sup>, 大矢徹<sup>1)</sup>, 田島広之<sup>1)</sup>, 本多一義<sup>1)</sup>, 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 恵畑欣一<sup>1)</sup> (放射線科) : [一般講演] 門脈圧亢進症の血行動態(2). 特に左胃静脈の動態と食道静脈瘤の関係について. 第47回日本医学放射線学会総会, 1988.
- 124) 田尻孝, 梅原松臣, 吉田寛, 山田和人, 足立幹夫, 鄭淳, 金徳栄, 山下精彦, 恩田昌彦 : [一般講演] 門脈圧亢進症の血行動態(1). 各種検査法の門脈圧に与える影響について. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.
- 125) 梅原松臣, 田尻孝, 吉田寛, 山田和人, 足立幹夫, 鄭淳, 金徳栄, 山下精彦, 恩田昌彦 : [一般講演] 門脈圧亢進症の血行動態(2). 食道静脈瘤への血液供給路としての左胃動静脈の動態について. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.
- 126) 斉藤美津雄, 山川達郎 : [一般講演] 雑種成犬を用いた実験による cholangiovenous reflux の検討. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.
- 127) 永井哲志, 輦止勝磨, 山川達郎, 金子等, 小林俊介, 平井淳, 斉藤美津雄, 福岡英祐, 高橋正純, 関戸仁, 宇井義典, 大滝修司 : [一般講演] 総胆管腸管吻合ラットにおける胆道系の病理, 病態学的検討. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.
- 128) 山田和人, 恩田昌彦, 金徳栄, 田尻孝, 古川清憲, 梅原松臣, 斉藤忠生, 鈴木英之, 小島範子, 神田佳和<sup>1)</sup>, 吉野芳夫<sup>1)</sup> (第2生化) : [一般講演] エドトキシンにより誘導されるロイコトリエン C<sub>4</sub> に対するビタミンA の抑制作用. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.

## [多摩永山病院外科]

### 研究概要

- 1) 当院開設以来10年間の消化器外科疾患(消化性潰瘍, 胆石・胆嚢炎など)の治療成績をまとめて, 多摩地域の医学研究会において報告した.
- 2) 新たに乳腺外来を設けて, 乳腺の迅速穿刺吸引細胞診を積極的に行い, 乳癌の早期診断と治療に努めており, 良好な成績が得られている.
- 3) 前年度に引き続いて, 潰瘍性大腸炎に対する5-ASA注腸療法の治療効果について検討している.

### 研究業績

#### 論文

- 1) 中尾充, 吉岡正智, 田中洋介, 和田勲武, 細井通則, 小西清二, 野田泰嗣, 的場文夫, 前田昭太郎<sup>1)</sup> (多摩永山病院病理検査室) : [報告] 小腸広範切除を行った急性腹症の2例. 腹部救急診療の進歩, 7, 535~539, 1987.
- 2) 田中洋介, 吉岡正智, 和田勲武, 中尾充, 小西清二, 野田泰嗣, 吉松信彦, 的場文夫 : [総説] 胃癌手術症例の検討. 多摩消化器シンポジウム誌, 1, 41~45, 1987.



- 3) 吉岡正智：〔総説〕診療の秘訣；緊急を要する腹痛患者。Modern Physician, 7, 1172, 1987.
- 4) 田中洋介, 吉岡正智, 和田勲武, 中尾充, 細井通則, 鳥羽昌仁, 八木和郎, 小西清二, 野田泰嗣, 的場文夫：〔総説〕大腸癌手術症例の検討。多摩消化器シンポジウム誌, 1, 48~55, 1987.

#### 学会発表

- 1) 鳥羽昌仁, 吉岡正智, 田中洋介, 和田勲武, 細井通則, 八木和郎, 安東俊明, 的場文夫, 前田昭太郎<sup>1)</sup>, 恩田昌彦<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院病理検査室, <sup>2)</sup>第1外科)：〔示説〕診断と治療に難渋した良性胆管狭窄の2例。第30回日本消化器外科学会総会, 1987.
- 2) 田中洋介, 吉岡正智, 和田勲武, 安東俊明, 上田光孝, 鳥羽昌仁, 樋口勝美, 八木和郎：〔シンポジウム〕胃十二指腸潰瘍手術症例の臨床的検討。第3回多摩消化器シンポジウム, 1987.
- 3) 上田光孝, 吉岡正智, 田中洋介, 和田勲武, 安東俊明, 鳥羽昌仁, 樋口勝美, 八木和郎：〔一般講演〕術後イレウスの臨床的検討；手術適応と手術時期について。第35回城西外科研究会, 1987.
- 4) 安東俊明, 吉岡正智, 田中洋介, 和田勲武, 細井通則, 鳥羽昌仁, 八木和郎, 的場文夫, 恩田昌彦<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1外科)：〔ラウンド・テーブルディスカッション〕急性胆嚢・胆管炎における手術時期の臨床的検討。第9回日本腹部救急診療研究会, 1987.
- 5) 田中洋介, 吉岡正智, 和田勲武, 八木和郎, 安東俊明, 鳥羽昌仁, 樋口勝美, 上田光孝, 前田昭太郎<sup>1)</sup>, 新宅孝征<sup>1)</sup>, 大塚俊司<sup>1)</sup>, 杉山佳世子<sup>1)</sup>, 恩田昌彦<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院病理検査室, <sup>2)</sup>第1外科)：〔一般講演〕乳癌の早期診断；穿刺吸引迅速細胞診の有用性について。第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 6) 大塚俊司<sup>1)</sup>, 杉山佳世子<sup>1)</sup>, 奥田朗夫<sup>1)</sup>, 東敬子<sup>1)</sup>, 新宅孝征<sup>1)</sup>, 前田昭太郎<sup>1)</sup>, 吉岡正智, 田中洋介, 和田勲武：〔示説〕乳癌におけるエストロゲンレセプターの検討；特に細胞形態および核DNA量との関係について。第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 7) 杉山佳世子<sup>1)</sup>, 前田昭太郎<sup>1)</sup>, 新宅孝征<sup>1)</sup>, 大塚俊司<sup>1)</sup>, 奥田朗夫<sup>1)</sup>, 東敬子<sup>1)</sup>, 吉岡正智, 田中洋介, 和田勲武 (<sup>1)</sup>多摩永山病院病理検査室)：〔一般講演〕乳腺の外来迅速穿刺吸引細胞診。第26回日本臨床細胞学会秋期大会, 1987.
- 8) 八木和郎, 吉岡正智, 田中洋介, 和田勲武, 細井通則, 安東俊明, 鳥羽昌仁, 的場文夫, 前田昭太郎<sup>1)</sup>, 新宅孝征<sup>1)</sup>, 大塚俊司<sup>1)</sup>, 杉山佳世子<sup>1)</sup>, 恩田昌彦<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院病理検査室, <sup>2)</sup>第1外科)：〔一般講演〕乳腺腫瘍に対する穿刺吸引細胞診（迅速診断）の臨床的検討。第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 9) 田中洋介, 吉岡正智, 安東俊明, 樋口勝美, 鳥羽昌仁, 八木和郎, 上田光孝：〔シンポジウム〕急性胆嚢炎の治療（手術時期を中心にした臨床的検討）。第4回多摩消化器シンポジウム, 1988.
- 10) 高田月彦, 吉岡正智, 田中洋介, 山田和人, 樋口勝美, 上田光孝, 増森興治, 山田智彦, 前田昭太郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院病理検査室)：〔一般講演〕腸重積により緊急手術された小腸悪性腫瘍の一例。第36回城西外科研究会, 1988.
- 11) 増森興治, 吉岡正智, 田中洋介, 山田和人, 樋口勝美, 上田光孝, 山田智彦, 高田月彦, 前田昭太郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院病理検査室)：〔一般講演〕十二指腸狭窄症状を呈した線虫症の一例。第36回城西外科研究会, 1988.
- 12) 山田智彦<sup>1)</sup>, 吉岡正智, 小田彰<sup>1)</sup>, 和田英理<sup>1)</sup>, 塩田吉宣<sup>1)</sup>, 安東俊明<sup>1)</sup>, 谷口善郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院救命救急センター)：〔一般講演〕多彩な病態を呈した多発外傷の一例。第36回城西外科研究会, 1988.

## 10. 第二外科学講座

### [第一病院外科・付属病院胸部外科]

#### 研究概要

第二外科学講座は、第一病院においては脳外科以外のすべて外科疾患を診療、教育、研究の対象としており、付属病院では胸部心臓血管疾患を主な対象としている。第二病院外科も第二外科教室に属するが別に記載する。

- 1) 心臓外科：先天性心疾患の病態生理、治療、後天性心疾患は弁置換術、虚血性心疾患の外科が主な研究、治療の対象である。IABP、補助循環に関する診療、研究は本学集中治療室との共同により優れた成果を得ている。また不整脈の外科治療も研究、診療の主要テーマであり、国内の水準をリードしている。
- 2) 血管外科：大動脈瘤、特に解離性大動脈瘤に対する治療成績の向上は著しい。新しい人工血管、補助心臓、ペースメーカーなどME、人工臓器に関する研究もすすめられており、臨床応用も次第に拡大発展しつつある。
- 3) 甲状腺外科：第一病院における甲状腺外科の患者数は1日40名以上に達し、週4例以上の手術がある。甲状腺炎、甲状腺癌など興味ある。疾患が増え、さらには上皮小体の外科も新しい分野を開きつつある。
- 4) 肺外科：肺癌の手術例は急激に増加し、特に胸部外科では年間40例を越え、その他良性腫瘍、化膿症、血管異常など興味ある症例が増加している。研究テーマとしては進行癌に対する拡大根治手術とともに臨床病理科との共同で集学的治療の効果も検討している。
- 5) 食道外科：主に第一病院にて診療、研究がなされ、手術適応例においては粘膜下造影所見と外膜浸潤の対比、リンパ流の方向、初期例あるいは全身状態の悪い者に対する非開胸抜去法不適応例には内視鏡的挿管法などが研究である。
- 6) 胃腸外科：教室の伝統的テーマであるイレウスの研究は経管栄養、腸内細菌叢に関するものが現在の主なものである。胃癌大腸癌の根治手術の方式にも、工夫が加えられている。
- 7) 肝臓外科：肝臓癌は可能な限り広汎切除、不適応例には門注療法、持続動注を行う。乳癌、胸壁、縦隔の手術も増加している。

#### 研究業績

##### 論文

- 1) Eisenberg, S.B., Boineau, J.P., Schuessler, R.B., Saffitz, J.E., Harada, A. and Cox, J.L.: [原著] Transatrial chemical ablation of ischemic ventricular tachyarrhythmias. Surgical Forum, XXXVI, 232~234, 1985.
- 2) D'Agostino, H.J., Jr., Harada, A., Eisenberg, S.B., Schuessler, R.B., Boineau, J.P. and Cox, J.L.: [原著] Surgical ablation of atrial fibrillation in a canine model of chronic mitral regurgitation. Surgical Forum, XXXVII, 300~301, 1986.
- 3) Harada, A., D'Agostino, H.J., Jr., Scafuri, A., Boineau, J.P. and Cox, J.L.: [原著] Isolation of the right atrium with preservation of the SA node; A new technique for the treatment of supraventricular tachycardia. Surgical Forum, XXXVII, 302~303, 1986.
- 4) 松島伸治, 原田厚, 児玉行弘, 山手昇, 庄司佑, 足立憲治<sup>1)</sup>, 三樹勝<sup>1)</sup>, 三谷原重雄<sup>2)</sup>, 福田悠<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>第1外科, <sup>2)</sup>放射線科, <sup>3)</sup>第1病理): [症例報告] 肺癌の小腸転移; 多発性転移による小腸穿孔の経験例. 外科, 48, 514~517, 1986.
- 5) Nitta, T., Yamate, N., Tanaka, S., Ikeshita, M., Asano, T., Matsuyama, Y., Iedokoro, Y. and

- Shoji, T.: [原著] The effect of transatrial chemical ablation with Lugol's solution on ventricular vulnerability. Proc. International Symposium on Cardiac Arrhythmias, No. 1, 448~451, 1986.
- 6) 渡辺秀裕, 須田雍夫, 関根毅, 岩瀬和泉, 藤田吉四郎 (埼玉がんセンター腹部外科): [原著] 多発胃癌症例の臨床病理学的検討. 埼玉医会誌, 21, 403~408, 1986.
  - 7) 二宮淳一, 加治正弘, 森岡晴記, 佐々木建志, 山内茂生, 萩原俊彦, 山手昇, 庄司佑: [原著] IAEP使用高齢者開心術の検討. 循環器, 21, 300~302, 1987.
  - 8) 小泉潔, 庄司佑, 山手昇, 宇都宮英敏, 寺田功一, 児玉行弘, 塩田晶彦, 根岸綱: [症例報告] 慢性に経過した左主気管支カルチノイドの一治験例. 臨胸外, 7, 65~69, 1987.
  - 9) 布施修一, 佐藤薫隆, 庄司佑: [症例報告] 肝門部胆管癌と鑑別困難にあった原発性硬化性胆管炎の一例. 胆道, 1, 150~155, 1987.
  - 10) 金内秀士, 庄司佑: [総説] 胃癌術後の免疫能回復. 日医師会誌, 97, 118, 1987.
  - 11) 宮入健: [原著] 胃切除後における骨ミネラル量の推移. 日臨外医会誌, 48, 759~765, 1987.
  - 12) 庄司佑, 小泉潔: [総説] 肺癌に対する右下葉切除術. 外科治療, 57, 15~23, 1987.
  - 13) 高岩玲子, 篠永ミツエ, 白木琴江, 設楽春子, 坂本なつ子, 川口広美, 三上喜美子, 吉田伸司, 米田絵美, 馬越正通: [総説] 術前患者訪問の意義と役割看護マニュアル作製を試みて. 日手術部医会誌, 8, 401~405, 1987.
  - 14) 小泉潔, 庄司佑, 山手昇, 笹井巧, 武井裕, 田村浩一, 児玉行弘: [症例報告] 両側肺転移巣の良性転化を示した嚔丸未熟型奇形腫の一治験例. 肺癌, 27, 409~414, 1987.
  - 15) 小松原登, 岡本弘子, 鮎沢徹, 三田茂, 佐藤薫隆, 近添拓也, 為我井芳郎: [報告] IIa+IIc型早期大腸癌の1例. 胃と腸, 22, 947~951, 1987.
  - 16) 秋丸就甫, 上田義夫, 馬越正通, 庄司佑: [症例報告] 虫垂粘膜内出血による大量下血の1例. 腹部救急診療の進歩, 8, 133~135, 1988.
  - 17) 二宮淳一, 萩原俊彦, 浅野哲雄, 羽鳥信郎, 武井裕, 佐々木健志, 加治正弘, 原口秀司, 山手昇, 庄司佑: [原著] 乳幼児開心術におけるPulsatile Bypass Pumpによる拍動流の心筋保護効果. 胸部外科, 40, 726~730, 1987.
  - 18) 天神敏博, 庄司佑, 井上知之<sup>1)</sup>, 萩野哲朗<sup>1)</sup>, 佐々木功典<sup>1)</sup>, 高橋学<sup>1)</sup>, 浅野伍朗<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>山口大第2病理, <sup>2)</sup>第2病理): [原著] Rhodamin 123を用いた細胞動態の解析; 特に制癌剤及びビタミンA誘導体の影響について. 日癌治療会誌, 22, 1341~1347, 1987.
  - 19) 龍野勝彦, 菊池利夫, 高橋幸宏, 万納寺栄一, 雑田隆夫, 榊原高之, 川瀬満彦: [原著] 弁なしconduitによる静脈心室一肺動脈extracardiac conduit repairの遠隔成績. 日胸外会誌, 35, 1164~1169, 1987.
  - 20) 小泉潔, 庄司佑, 山手昇, 田中茂夫, 松島伸治, 五味淵誠, 向井佐志彦, 笹井巧, 児玉行弘, 塩田晶彦: [原著] 進行肺癌に対する外科治療の臨床的検討. 日胸外会誌, 35, 1705~1711, 1987.
  - 21) 池下正敏, 山手昇, 田中茂夫, 橋本憲二, 浅野哲雄, 小泉潔, 松山譲, 小坂真一, 家所良夫, 原田厚, 新田隆, 川本雅司, 庄司佑: [原著] カテーテル電極による新しい房室ブロック作成術の研究; 急性実験 (第1報). 心臓ペーシング, 3, 435~441, 1987.
  - 22) 日置正文, 家所良夫, 宇都宮英敏, 庄司佑, 若林武雄, 佐藤要吾: [原著] 乳幼児開心術における心筋保護法の臨床的検討. 胸部外科, 40, 911~914, 1987.
  - 23) 佐藤薫隆, 為我井芳郎, 近添拓也, 向井佐志彦 (佼成病院外科): [原著] 胃全摘後長期の問題点, とくに続発性吸収不良症候群における小腸生検の意義. 消化と吸収, 10, 173~176, 1987.
  - 24) 渋谷哲男, 馬越正通, 大場英己, 吉川厚, 内山喜一郎, 今井茂, 猪口正孝, 田中昌彦, 庄司佑: [原著] 経管栄養施行時の腸内細菌叢の変動. 消化と吸収, 10, 177~179, 1987.
  - 25) 内山正一, 福田悠, 馬杉洋三, 庄司佑: [原著] 乳腺腫瘍におけるelastosisの電顕的免疫組織化学的検索. 結合

- 組織, 19, 334~335, 1987.
- 26) 高橋望, 竹田裕之, 浅野伍朗<sup>1)</sup>, 庄司佑: (第2病理): [原著] 胃癌における細胞外基質の免疫組織化学的検討. 結合組織, 19, 306~307, 1987.
  - 27) 庄司佑, 山手昇, [総説] 冠動脈外科の進歩; 冠動脈再建術 - 冠動脈バイパス手術. 日臨, (1987増刊), 912~925, 1987.
  - 28) 田中茂夫: [総説] 狭心症の臨床; 冠動脈狭窄の診断と分類. 日臨, (1987増刊), 626~633, 1987.
  - 29) 岩瀬和泉, 関根毅, 三山健司, 内田治, 水口滋之, 田中洋一, 武内脩, 須田雍夫, 藤田吉四郎, 田久保海誉<sup>1)</sup> (埼玉県立がんセンター腹部外科, <sup>1)</sup>同病理部): [症例] 上行結腸に原発した非Hodgkin悪性リンパ腫の1例. 日消外会誌, 21, 151~154, 1988.
  - 30) 秋丸琥甫, 上田義夫, 馬越正通, 庄司佑: [症例報告] 虫垂粘膜内出血による大量下血の1例. 腹部救急診療の進歩, 8, 133~135, 1988.
  - 31) 小泉潔, 庄司佑, 山手昇, 浅野哲雄, 落雅美, 羽鳥信郎, 児玉行弘, 根岸綱, 福田悠: [症例報告] 肺胸膜起原の良性限局型線維性中皮種の2治験例. 臨胸外, 8, 73~77, 1988.
  - 32) 萩原俊彦: [原著] 冠動脈再建手術における心筋保護法; 静脈グラフトの吻合順序に関する検討. 日胸外会誌, 36, 45~54, 1988.
  - 33) 二宮淳一, 庄司佑, 山手昇, 塚田一義, 小林洋<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>中央電顕): [原著] 冠動脈再建用大伏在静脈の適切な採取, 保存法に関する超微形態学的研究. 日胸外会誌, 36, 31~37, 1988.
  - 34) 天神敏博, 浅野伍朗<sup>1)</sup>, 庄司佑 (第2病理): [原著] 制癌剤のDNA合成速度におよぼす影響. “厚生省がん研究助成金によるフローサイトメトリーを用いたがん細胞の診断並びに治療のモニタリングに関する研究 昭和61年度 報告書”, p.31~38, 1987.
  - 35) 佐々木功典<sup>1)</sup>, 田中一成<sup>1)</sup>, 村上知之<sup>1)</sup>, 萩野哲郎<sup>2)</sup>, 河崎正裕<sup>1)</sup>, 高橋学<sup>1)</sup>, 天神敏博<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>山口大学医学部第2病理, <sup>2)</sup>香川医科大学病院病理部): [原著] Rhodaunin 123 とPropidium Iodideとを用いたFCMによるCell Viabilityの算定. 癌の臨床, 34, 13~16, 1988.
  - 36) 池下正敏, 庄司佑: [総説] 不整脈の外科治療 特に頻脈性不整脈の手術. 治療, 70, 208~213, 1988.
  - 37) 維田隆夫: [総説] 心タンポナーデ; 救急治療の実際. 治療, 70, 329~335, 1988.
  - 38) 庄司佑, 田中茂夫: [総説] 循環器疾患. 最新の治療, 306~308, 1988.
  - 39) 庄司佑, 山手昇, 田中茂夫, 池下正敏, 浅野哲雄, 松山謙, 武井裕, 佐々木建志, 新田隆, 加治正弘: [原著] 心筋梗塞に合併する心室頻拍の外科治療. 日心臓血管外会誌, 17, 402~404, 1988.
  - 40) 田中昌彦, 田中宏治, 庄司佑: [原著] 血漿交換療法併用によるLAK Cell誘導の増強効果. 人工臓器, 17, 311~313, 1988.
  - 41) 田中宏治, 田中昌彦, 庄司佑: [原著] 沈澱法による免疫抑制物質の除去On line化とその効果. 人工臓器, 17, 351~354, 1988.
  - 42) 木田絵美, 高岩玲子, 坂本なつ子, 川口広美, 三上喜美子, 馬越正通, 設楽春子: [総説] 手術室における新人教育について. 日手術部医会誌, 9, 35~37, 1988.
  - 43) 原田厚: [原著] 急性心筋梗塞に合併した心原性ショックにおけるintraaortic balloon pumping (IABP) の効果と限界に関する臨床的検討. 日胸外会誌, 36, 167~178, 1988.
  - 44) 笹井巧, 小泉潔, 松島伸治, 五味潤誠, 山手昇, 庄司佑: [症例報告] 腫瘍影を呈した肺放線菌症の1手術例. 日胸外会誌, 36, 277~280, 1988.
  - 45) 野崎基: [原著] 抗サイトケラチンモノクローナル抗体による各種腫瘍の組織化学的・生化学的研究; 甲状腺腫瘍を中心として. 日外会誌, 89, 408~415, 1988.

## 著 書

- 1) 維田隆夫：〔分担〕急性期ポンプ失調；心原生ショック．“急性心筋梗塞の診断と治療”（広沢弘七郎編），p.220～227，医学書院，1985.
- 2) 鈴木章一：〔分担〕胃粘膜下腫瘍．“消化管内視鏡診断 胃Ⅲ”（平塚秀雄監修），p.7～14，アイオニクス株式会社，1987.
- 3) 鈴木章一：〔編集〕埼玉県立がんセンター腹部外科の胃癌切除例の統計と関連業績．（須田雍夫監修），1987.

## 学会発表

- 1) 坂本俊樹，前田隆志，佐藤薫隆，秀嶋周，近添拓也，浦田謙二，為我井芳郎，三浦妙太，布施修一：〔一般講演〕悪性関節リウマチに伴う小腸多発穿孔をきたした1例．第720回外科集談会，1986.
- 2) 藤松利浩，野口真吾，平田滋，塚田一義，水谷隆，渡辺一彦，田中繁<sup>1)</sup>，合志彰<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>会津中央病院外科）：〔一般講演〕良性腹腔内腫瘍の3治療例．第112回東北外科集談会，1986.
- 3) 渡辺一彦，野口真吾，平田滋，塚田一義，藤松利浩，水谷隆，北浜秀男，庄司佑：〔一般講演〕肝内結石症の非手術的治療例．第112回東北外科集談会，1986.
- 4) 塚田一義，野口真吾，平田滋，水谷隆，北浜秀男，渡辺一彦，藤松利浩，庄司佑<sup>1)</sup>：〔一般講演〕温熱療法を併用した集学的治療を行なった1再発肝細胞癌例．第112回東北外科集談会，1986.
- 5) 坂本俊樹，佐藤薫隆，近添拓也，為我井芳郎，布施修一，向井佐志彦，前田隆志，秀嶋周，浦田謙二，浜島昭人，小松原登，鮎沢徹：〔一般講演〕早朝あるいは類似進行癌を思わせた胃マチルス3例の検討．第32回日本消化器内視鏡学会総会，1986.
- 6) 長浜充二，斉藤節，金子理，浅川清人，岡田多摩男：〔一般講演〕原発性アルドステロン症；副腎腺腫の一例．茨城外科集談会，1986.
- 7) Tsukada, S., Noguchi, S., Hirata, T., Mizutani, T. and Shoji, T. : 〔一般講演〕Circulation blockage hyperthermo - chemo - radiotherapy for liver cancer. 3rd Annual Meeting of Jpn. Society of Hyperthermic Oncology, 1986.
- 8) 山本英希，庄司佑，馬越正通，井手道也，三宅弘章，白石敦：〔示説〕胃悪性神経鞘腫の1例．第31回日本消化器外科学会総会，1987.
- 9) 川村一彦<sup>1)</sup>，林晃一<sup>1)</sup>，藤松利浩<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>栃木県南総合病院外科）：〔一般講演〕残胃癌にて輸入脚閉塞症を呈した一例．第728回外科集談会，1987.
- 10) 清水一雄，庄司佑，野崎基，井手道也<sup>1)</sup>，伊藤国彦<sup>1)</sup>，森秀樹<sup>1)</sup>，三宅弘章（<sup>1)</sup>伊藤病院）：〔示説〕抗サイトケラチンモノクローナル抗体による乳頭濾胞状甲状腺癌の組織化学的検討．第87回日本外科学会総会，1987.
- 11) 石神直之，三枝直紀，竜野勝彦，維田隆夫，菊池利夫<sup>1)</sup>，高橋幸宏<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>榊原記念病院）：〔一般講演〕漏斗部心室中隔欠損症の外科形態と臨床像．第87回日本外科学会総会，1987.
- 12) 小坂真一，田中茂夫，三枝直紀，庄司佑，榊原重泰，池下正敏：〔一般講演〕混合静脈血の温度変化による rate responsive pacemaker の臨床経験．第26回日本ME学会大会，1987.
- 13) 加治正弘，田中茂夫，三枝直紀，庄司佑，榊原重泰，池下正敏：〔一般講演〕心室機能評価の指標としてのSDR測定装置の開発．第26回日本ME学会大会，1987.
- 14) Tamura, T., Tamura, K., Pajaro, O.E., Frater, R.W.M., Goldiner, P.L., Oka, Y. and Yellin, E.L. : 〔一般講演〕Effect of isoflurane on diastolic function in the chronically instrumented dog. 第34回日本麻酔学会総会，1987.
- 15) Yellin, E.L., Nikolic, S., Meisner, J.S., Tamura, K., Tamura, T., Riad, A. and Frater, R.W.M. : 〔一般

- 講演] Intrinsic response to transient changes in left ventricular filling; Modulation of Frank - Starling mechanism. 71st Annual Meeting FASEB (N.Y., USA), 1987.
- 16) 師田哲郎, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 大腿動脈パッチ形成術後に発生した仮性動脈瘤の1例. 第15回血管外科研究会, 1987.
  - 17) 池下正敏, 松山謙, 山手昇, 宇都宮英敏, 田中茂夫, 武井裕, 萩原俊彦, 佐々木建志, 浅野哲雄, 加治正弘, 小坂真一, 庄司佑: [展示 (ビデオ)] 急性心筋梗塞に合併する心室中隔穿孔の急性期手術. 第17回日本心臓血管外科学会, 1987.
  - 18) 二宮淳一, 浅野哲雄, 庄司佑, 松山謙, 山手昇, 佐々木建志, 田中茂夫, 山内茂生, 池下正敏, 加治正弘, 萩原俊彦: [一般講演] 高齢者開心術におけるIABPの有効性と問題点. 第17回日本心臓血管外科学会, 1987.
  - 19) 池下正敏, 宇都宮英敏, 山手昇, 笹井巧, 田中茂夫, 佐々木建志, 新田隆, 萩原俊彦, 加治正弘, 浅野哲雄, 庄司佑, 小坂真一, 榊原重泰, 松山謙: [一般講演] Monostout Bjork - Shiley 弁による僧帽弁置換術の早期臨床成績. 第17回日本心臓血管外科学会, 1987.
  - 20) 山手昇, 浅野哲雄, 加治正弘, 萩原俊彦, 三枝直紀, 榊原重泰, 佐々木建志, 五味潤誠, 羽島伸郎, 二宮淳一, 富士崎隆, 池下正敏, 落雅美, 庄司佑: [一般講演] 急性心筋梗塞後の心室中隔穿孔に対する外科治療. 第17回日本心臓血管外科学会, 1987.
  - 21) 寺田功一<sup>1)</sup>, 常本実<sup>1)</sup>, 島田宗洋<sup>1)</sup>, 太田喜義<sup>1)</sup>, 安藤直明<sup>1)</sup>, 半田宣弘<sup>1)</sup>, 鎌田聡<sup>1)</sup>, 加治正弘<sup>1)</sup>, 石沢瞭<sup>2)</sup>, 高野良裕<sup>2)</sup>, 山本真<sup>2)</sup>, 二瓶浩一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>国立小児病院心臓血管外科, <sup>2)</sup>同循環器科): [一般講演] 内蔵逆位・房室錯位を伴う心奇形 (IDD) における根治手術例の検討. 第17回日本心臓血管外科学会, 1987.
  - 22) 龍野勝彦<sup>1)</sup>, 石神直之<sup>1)</sup>, 菊池利夫<sup>1)</sup>, 高橋幸宏<sup>1)</sup>, 万納寺栄一<sup>1)</sup>, 維田隆夫<sup>1)</sup>, 榊原高之<sup>1)</sup>, 川瀬光彦<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>榊原記念病院外科): [一般講演] 漏斗部心室中隔欠損症の手術例の検討. 第17回日本心臓血管外科学会, 1987.
  - 23) 庄司佑<sup>1)</sup>, 山手昇<sup>1)</sup>, 田中茂夫<sup>1)</sup>, 池下正敏<sup>1)</sup>, 浅野哲雄<sup>1)</sup>, 松山謙<sup>1)</sup>, 武井裕<sup>1)</sup>, 田村浩一<sup>1)</sup>, 佐々木建志<sup>1)</sup>, 新田隆<sup>1)</sup>, 矢島俊己<sup>1)</sup>, 川本雅司<sup>1)</sup>, 加治正弘<sup>1)</sup> 原口秀司<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>胸部外科): [一般講演] 心筋梗塞に合併する心室頻拍の外科治療. 第17回日本心臓血管外科学会, 1987.
  - 24) Tamura, K., Tamura, T., Pajaro, O.E., Frater, R.W.M., Oka, Y., Goldiner, P.L. and Yellin, E.L.: [展示] Synchronous high frequency jet ventilation does not affect phasic transmitral flow pattern in the dog heart. 16th Annual Education and Scientific Symposium, Society of Critical Care Medicine (Atlanta, USA), 1987.
  - 25) Nikolic, S., Yellin, E.L., Tamura, K., Vetter, H., Tamura, T., Meisner, J.S. and Frater, R.W.M.: [一般講演] Positive and negative diastolic pressure - Volume relations of the canine left ventricle. The 8th International Conference of the Cardiovascular System Dynamic Society (N.Y., USA), 1987.
  - 26) Tanaka, S., Osaka, S., Asano, T., Ikeshita, M., Yamate, N. and Shoji, T.: [一般講演] Evaluation of respiratory function in patients with respiratory dependent rate responsive pacemaker. NASPE 8th Annual Scientific Session (Los Angeles, USA), 1987.
  - 27) 川村一彦, 山内仁紫, 吉森勝: [一般講演] 骨盤全摘を必要とした興味ある2症例. 194回日本消化器病学会関東甲信越地方会, 1987.
  - 28) 宇都宮英敏, 日置正文, 佐藤要悟, 家所良夫, 庄司佑: [一般講演] 心房心室筋組織に対する心筋保護効果; ADP, ATP, AMP, CPによる比較検討. 第24回日本小児科外科学会総会, 1987.
  - 29) 二宮淳一, 萩原俊彦, 原口秀司, 田中茂夫, 加治正弘, 山手昇, 佐々木建志, 庄司佑, 浅野哲雄: [一般講演] 小児開心術後の輸血後肝炎に対する予防法の検討. 第24回日本小児科外科学会, 1987.
  - 30) 日置正文, 若村武雄, 宇都宮英敏, 萩原俊彦, 吉尾隆, 山手昇, 佐藤要悟, 庄司佑, 家所良夫: [一般講演] 小

児開心後のMOF例の検討. 第24回日本小児科外科学会総会, 1987.

- 31) 為我井芳郎, 佐藤薫隆, 近添拓也, 向井佐志彦, 渡辺秀裕, 宮入健, 猪口正孝, 酒井欣男, 北村裕, 浜島昭人, 小松原登, 鮎沢徹: [一般講演] 腺腫合併症有無より見た大腸早期癌の臨床病理学的検討. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 32) 吉井勇, 佐藤薫隆: [一般講演] 発症期まえに内視鏡観察し得た前庭部急性多発性潰瘍26症例. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 33) 川村一彦, 山内仁紫, 吉森勝: [一般講演] 小児胆嚢捻転の1治療例. 第725回外科集談会, 1987.
- 34) 塩田晶彦, 原口秀司, 浅野哲雄, 池下正敏, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 腹部に限局した囊状の解離性大動脈瘤の2例. 第725回外科集談会, 1987.
- 35) 五味潤誠, 山手昇, 秋丸號甫, 日置正文, 小泉潔, 小坂真一, 松山謙, 森岡晴記, 庄司佑: [一般講演] 悪性胸腺腫の拡大根治手術. 第4回日本呼吸器外科学会, 1987.
- 36) 小泉潔, 森岡晴記, 川本雅司, 塩田晶彦, 若林武雄, 富士崎隆, 笹井巧, 松島伸治, 向井佐志彦, 五味潤誠, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 高齢者進行肺癌切除例の検討. 第4回日本呼吸器外科学会, 1987.
- 37) 田中隆<sup>1)</sup>, 佐々部典子<sup>1)</sup>, 矢島俊己, 清野精彦<sup>1)</sup>, 松山謙<sup>2)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 小林義典<sup>2)</sup>, 富士崎成子<sup>2)</sup>, 早川弘一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室, <sup>2)</sup>第1内科): [一般講演] 経食道心房頻回刺激法による心房粗動の停止; 経静脈右心房頻回刺激法との比較. 第2回日本心臓ペースング学会, 1987.
- 38) 田中茂夫, 三枝直紀, 浅野哲雄, 小坂真一, 松山謙, 池下正敏, 山手昇, 庄司佑, 清野精彦<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室, <sup>2)</sup>第1内科): [シンポジウム] 血行動態からみた rate responsive ペースメーカーの適応と器種の選定. 第2回日本心臓ペースング学会, 1987.
- 39) 加治正弘, 佐々木建志, 三枝直紀, 松山謙, 浅野哲雄, 榊原重泰, 池下正敏, 田中茂夫, 山手昇, 庄司佑: [展示] O<sub>2</sub> サブライーデマンドレシオよりみた各種ペースングのmodoの比較検討. 第2回日本心臓ペースング学会, 1987.
- 40) 佐々部典子<sup>1)</sup>, 田中隆<sup>1)</sup>, 小林義典<sup>1)</sup>, 飯田恵子<sup>1)</sup>, 井野威<sup>1)</sup>, 新博次<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 矢島俊己, 松山謙, 高野照夫<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第1内科, <sup>2)</sup>集中治療室): [一般講演] 心房粗動に対する経食道心房頻回刺激単独ならびに抗不整脈薬併用の効果. 第2回日本心臓ペースング学会, 1987.
- 41) 庄司佑: [シンポジウム] ペースメーカー患者の生活予後と生命予後, ペースメーカー植込術500例の術後検討. 第2回日本心臓ペースング学会, 1987.
- 42) 真崎義隆, 田中茂夫, 池下正敏, 大堀久男, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 洞不全症候群 (S.S.S.) に対する心房ペースングの遠隔成績. 第2回日本心臓ペースング学会, 1987.
- 43) 鎌田聡<sup>1)</sup>, 堂本実<sup>1)</sup>, 太田喜義<sup>1)</sup>, 島田宗洋<sup>1)</sup>, 山田泉<sup>1)</sup>, 寺田功一, 石沢瞭<sup>2)</sup>, 高野良祐<sup>2)</sup>, 二瓶浩一<sup>2)</sup>, 脇田傑<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>国立小児病院心臓血管外科, <sup>2)</sup>同循環器科): [一般講演] DORV (noncommitted VSD) 兼 PS の1手術治療例. 第62回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 44) 阿部能明<sup>1)</sup>, 万納寺栄一<sup>1)</sup>, 維田隆夫, 森克彦<sup>2)</sup>, 村上保夫<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>榊原記念病院外科, <sup>2)</sup>同小児科): [一般講演] 13歳腹部大動脈縮窄症に対する Axillo - femoral Bypass 手術治療. 第62回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 45) 浅野哲雄, 小泉潔, 山手昇, 二宮淳一, 武井裕, 塩田晶彦, 加治正弘, 庄司佑: [一般講演] 大動脈弁・僧帽弁置換術後左室破裂の1例. 第62回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 46) 森岡晴記, 西村仁志<sup>1)</sup>, 山本光伸<sup>1)</sup> (埼玉がんセンター胸部外科): [一般講演] 前縦隔原発の Yolk Sac Tumor の1手術例. 第62回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 47) 天神敏博, 浅野哲雄, 木村俊仁, 竹田裕之<sup>1)</sup>, 高橋孝<sup>1)</sup>, 高橋望<sup>1)</sup>, 庄司佑 (<sup>1)</sup>山口大): [一般講演] Rhodawine

123を用いた臓器保存の評価。FCM - Cell Biology 研究会第5会学術集会, 1987.

- 48) 真鍋辰哉<sup>1)</sup>, 横室茂樹<sup>1)</sup>, 立原江利子<sup>1)</sup>, 矢島俊己<sup>1)</sup>, 島井新一郎<sup>1)</sup>, 清野精彦<sup>1)</sup>, 松山謙<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 雪吹周生<sup>1)</sup>, 栗原広孝<sup>1)</sup>, 小坂真一, 浅野哲雄, 山手昇 (<sup>1)</sup>集中治療室): [一般講演] 急性心筋梗塞に合併した左室自由壁破裂後, 40日間生存した1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第124回例会, 1987.
- 49) 水谷隆<sup>1)</sup>, 平田滋<sup>1)</sup>, 塚田一義<sup>1)</sup>, 西崎宣<sup>1)</sup>, 秀嶋周<sup>1)</sup>, 浦田謙二<sup>1)</sup>, 庄司佑 (<sup>1)</sup>総合会津中央病院外科): [一般講演] 原発性肝癌の治療経験. 第120回福島医学会, 1987.
- 50) 西崎宣<sup>1)</sup>, 平田滋<sup>1)</sup>, 塚田一義<sup>1)</sup>, 水谷隆<sup>1)</sup>, 秀嶋周<sup>1)</sup>, 浦田謙二<sup>1)</sup>, 庄司佑 (<sup>1)</sup>総合会津中央病院外科): [一般講演] 肝内結石症の非手術的治療例. 第120回福島医学会, 1987.
- 51) 秀嶋周<sup>1)</sup>, 平田滋<sup>1)</sup>, 塚田一義<sup>1)</sup>, 水谷隆<sup>1)</sup>, 西崎宣<sup>1)</sup>, 浦田謙二<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>総合会津中央病院外科): [一般講演] 乳癌術後に発生した対側乳腺原発悪性リンパ腺の1例. 第120回福島医学会, 1987.
- 52) 塚田一義<sup>1)</sup>, 平田滋<sup>1)</sup>, 水谷隆<sup>1)</sup>, 西崎宣<sup>1)</sup>, 浦田謙二<sup>1)</sup>, 秀嶋周<sup>1)</sup>, 庄司佑 (<sup>1)</sup>総合会津中央病院外科): [一般講演] 切除不能肝癌に対する温熱療法. 第120回福島医学会, 1987.
- 53) 平田滋<sup>1)</sup>, 塚田一義<sup>1)</sup>, 水谷隆<sup>1)</sup>, 西崎宣<sup>1)</sup>, 浦田謙二<sup>1)</sup>, 秀嶋周<sup>1)</sup>, 庄司佑 (<sup>1)</sup>総合会津中央病院外科): [一般講演] 縦隔内気管狭窄の1例. 第120回福島医学会, 1987.
- 54) 加治正弘, 佐々木建志, 家所良夫, 浅野哲雄, 萩原俊彦, 二宮淳一, 池下正敏, 田中茂夫, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] SJM弁によるMVR後高度溶血を合併した1乳児例. 第62回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 55) 外園久芳, 佐藤薫隆, 為我井芳郎, 下田忠和: [一般講演] 食道と胃の同時性早期重複癌の1例. 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 56) 三田茂, 小松原登, 岩田好文, 横山宗伯, 鮎沢徹, 川勝樹史, 石浮俊行, 中島治美, 佐藤薫隆: [一般講演] 大腸 Grannlar Cell Tumor の1例. 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 57) 高橋望, 竹田裕之, 浅野伍朗<sup>1)</sup>, 庄司佑 (<sup>1)</sup>第2病理): [一般講演] 胃癌における細胞外基質の免疫組織化学的検討. 第19回日本結合組織学会総会, 1987.
- 58) 内山正一, 福田悠<sup>1)</sup>, 益田幸成<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup>, 庄司佑 (<sup>1)</sup>第1病理): [一般講演] 乳腺腫瘍におけるelastosis の電顕的免疫組織化学的検索. 第19回日本結合組織学会総会, 1987.
- 59) 佐藤薫隆, 近添拓也, 為我井芳郎, 向井佐志彦: [一般講演] 胃癌手術の断端浸潤に関する術中生検の問題点と対策. 第30回日本消化器外科学会総会, 1987.
- 60) 川村一彦, 山内仁紫, 吉森勝 (栃木県・県南総合病院外科): [一般講演] 小腸穿孔の臨床的検討. 第30回日本消化器外科学会総会, 1987.
- 61) 野口譲治, 秀島宏, 田中映吾: [一般講演] 孤立性脾膿瘍より汎発性腹膜炎をおこした一例. 第30回日本消化器外科学会総会, 1987.
- 62) 東光邦, 内山喜一郎, 徳竹哲, 渡辺庄造: [一般講演] 小腸々間膜脂肪過形成による成人腸重積症の一例. 第30回日本消化器外科学会総会, 1987.
- 63) 佐藤薫隆, 近添拓也, 為我井芳郎, 向井佐志彦, 渡辺秀裕, 猪口正孝, 北村裕, 酒井欣男, 長浜充二: [一般講演] 消化吸収からみた胃全摘後長期の問題点, とくに2死亡例について. 第18回日本消化吸収学会, 1987.
- 64) 渋谷哲男, 今井茂, 馬越正通, 猪口正孝, 大場英巳, 田中昌彦, 吉川厚, 庄司佑, 内山喜一郎: [一般講演] 経管栄養施行時の腸内細菌叢の変動. 第18回日本消化吸収学会, 1987.
- 65) 川村一彦, 藤松利浩, 吉森勝 (栃木県・県南総合病院外科): [一般講演] 比較的まれな肺分画症および肺硬化性血管腫の治療例. 第70回栃木県臨床外科集談会, 1987.
- 66) 向井佐志彦, 佐藤薫隆, 近添拓也, 為我井芳郎, 庄司佑, 前田隆志: [一般講演] 乳癌に対する Aminoglutitethemide



(AG), 特に少量投与の臨床経験. 第46回乳癌研究会, 1987.

- 67) 高橋真佐司, 森秀樹, 東光邦, 陳老永, 酒井欣男, 北浜秀男, 岩瀬和泉, 金内秀士, 庄司佑: [展示] 抗癌剤マ  
イクロカプセルの基礎的研究. 第3回日本DDS研究会, 1987.
- 68) 川村一彦, 藤松利浩, 吉森勝: [一般講演] 腹腔内出血を伴い, 急性胆嚢炎を呈した胆嚢癌穿孔の1治験例. 第  
195回日本消化器病学会関東甲信越地方会講演. 1987.
- 69) 山内仁紫, 常本実<sup>1)</sup>, 島田宗洋<sup>1)</sup>, 太田喜義<sup>1)</sup>, 鎌田聡<sup>1)</sup>, 岩崎安記<sup>1)</sup>, 日向三郎<sup>1)</sup>, 石沢瞭<sup>2)</sup>, 高野良裕<sup>2)</sup>, 脇田  
傑<sup>1)</sup>, 二瓶浩一<sup>1)</sup>, 仲本雅哉<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立小児病院心臓血管外科, <sup>2)</sup>同循環器科): [一般講演] 左側心耳並列を伴っ  
た三尖弁閉鎖症(IIb)の1手術治験例. 第63回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 70) 森岡晴記, 西村仁志<sup>1)</sup>, 山本光伸<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>埼玉県立がんセンター胸部外科): [一般講演] 当科で経験した胸腔内  
髄膜瘤の2症例. 第63回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 71) 坂尾寿彦<sup>1)</sup>, 新田隆<sup>2)</sup>, 野原秀公<sup>1)</sup>, 阪田健介<sup>1)</sup>, 万納寺栄一<sup>1)</sup>, 維田隆夫, 川瀬光彦<sup>1)</sup>, 榊原高之<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>榊原記念  
病院): [一般講演] 右側内胸動脈を使用した冠血行再建手術19例の経験. 第63回日本胸部外科学会関東甲信越  
地方会, 1987.
- 72) 佐々木建志, 小泉潔, 山手昇, 田中茂夫, 塩田晶彦, 田村浩一, 川本雅司, 福島孝男, 庄司佑: [一般講演] 食  
道発生気管嚢腫の1治験例. 第63回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 73) 野原秀公<sup>1)</sup>, 川瀬光彦<sup>1)</sup>, 万納寺栄一<sup>1)</sup>, 阪田健介<sup>1)</sup>, 維田隆夫, 榊原高之<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>榊原記念病院外科): [一般講  
演] Cabrol手術の3例. 第63回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 74) 笹井巧<sup>1)</sup>, 榊原重泰<sup>1)</sup>, 加治正弘<sup>1)</sup>, 山手昇, 庄司佑 (<sup>1)</sup>海老名総合病院外科): [一般講演] Fungus - ball様  
のレ線像を呈した胸腔内異物の1例. 第63回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 75) 国枝哲夫, 野村信夫, 松井南, 石崎良太郎, 秋丸琥甫, 中神義三, 庄司佑: [示説] ヒト甲状腺癌細胞株, 胃癌  
および膵臓癌手術材料におけるN - ras, およびH - ras遺伝子の活性化. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 76) 高橋望, 浅野伍朗, 竹田裕之, 庄司佑, 久喜邦康, 天神敏博: [一般講演] 胃癌における細胞外基質の性状につ  
いての免疫組織化学的検討. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 77) 竹田裕之, 庄司佑, 高橋望, 浅野伍朗, 天神敏博, 久喜邦康: [示説] ヒト胃癌における基底膜の性状に関する  
免疫組織学的研究. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 78) 井出道也, 北浜秀男, 秋丸琥甫, 布施修一, 小林薫, 清水一雄, 加藤秀和, 庄司佑, 山本英希: [一般講演]  
乳癌術後胸壁欠損部に腹直筋有茎植皮を施行した1症例. 第726回外科集談会, 1987.
- 79) 川村一彦, 藤松利浩, 吉森勝: [一般講演] 急性気腫性胆嚢炎の1治験例. 第726回外科集談会, 1987.
- 80) 山本英希, 加藤秀和, 秋丸琥甫, 庄司佑, 井出道也, 久喜邦康: [一般講演] 局所再発をくり返した膵膵部の悪  
性間葉腫の1例. 第726回外科集談会, 1987.
- 81) Akimaru, K., Saitoh, M., Uchiyama, K., Tago, M., Oba, H., Shibuya, T., Magoshi, M., Kanauchi, S. and  
Shoji, T.: [一般講演] Subcutaneous portal and arterial reservoirs for chemotherapy of non - resectable  
liver carcinoma. The 32nd World Congress of Surgery (Sydney, Australia), 1987.
- 82) Ikeshita, M., Yamate, N., Tanaka, S., Ninomiya, J., Hioki, M., Asano, T., Ochi, M., Osaka, S.,  
Takei, H., Nitta, T. and Shoji, T.: [一般講演] Cardiac cryosurgery; Application of cryothermia for  
surgical treatment of refractory tachyarrhythmias. 第18回国際心臓血管外科学会 (Sydney, Australia), 1987.
- 83) 雪吹周生, 加藤貴雄, 清野精彦, 高野照夫<sup>1)</sup>, 矢島俊巳, 山手昇, 本田二郎, 田中啓治 (<sup>1)</sup>集中治療室): [一  
般講演] ウロキナーゼ全身投与が奏功した右肩内可能性血栓の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会第125回  
例会, 1987.
- 84) 吉川厚, 岩瀬竜臣, 長谷川伝, 大場英巳, 馬越正通: [パネルディスカッション] 腹部外傷の保存的療法の限界

- と手術のタイミング、保存的療法により良好な経過をとった肝性傷4例の検討。第9回腹部救急診療研究会, 1987.
- 85) 金子道也: [一般講演] ラット甲状腺の実験的各種環境下における乳腺, 子宮, 副腎の組織学的検討と, 臨床例の比較。第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 86) 本田二郎, 矢島俊巳, 佐々木建志, 宇都宮英敏, 松山謙, 小坂真一, 浅野哲雄, 萩原俊彦, 二宮淳一, 池下正敏, 田中茂夫, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 2弁置換術の臨床成績。第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 87) 西崎宣<sup>1)</sup>, 平田滋<sup>1)</sup>, 塚田一義<sup>1)</sup>, 水谷隆<sup>1)</sup>, 秀嶋周<sup>1)</sup>, 浦田謙二<sup>1)</sup>, 原口秀司<sup>1)</sup>, 庄司佑 ( <sup>1)</sup>総合会津中央病院外科 ): [展示] 肝内結石症の非手術的治療例。第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 88) 塚田一義<sup>1)</sup>, 平田滋<sup>1)</sup>, 水谷隆<sup>1)</sup>, 西崎宣<sup>1)</sup>, 秀嶋周<sup>1)</sup>, 浦田謙二<sup>1)</sup>, 原口秀司<sup>1)</sup>, 庄司佑 ( <sup>1)</sup>総合会津中央病院外科 ): [展示] 肝癌に対する集学的治療。第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 89) 小金澤滋<sup>1)</sup>, 高柳佳司<sup>1)</sup>, 木村謙一<sup>1)</sup>, 木村俊仁, 金内秀士 ( <sup>1)</sup>木村病院大腸肛門病センター ): [一般講演] 痔核の新しい分類法私案と最近の治療について。第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 90) 加治正弘<sup>1)</sup>, 笹井巧<sup>1)</sup>, 榊原重泰<sup>1)</sup>, 西川博<sup>2)</sup>, 齋藤達雄<sup>2)</sup>, 新田隆<sup>3)</sup>, 山手昇<sup>3)</sup>, 庄司佑<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>海老名総合病院外科, <sup>2)</sup>同放射線科, <sup>3)</sup>胸部外科 ): [一般講演] 小腸穿孔の5例。第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 91) 末田結美, 篠永ミツエ, 白木琴江, 高岩玲子, 坂本なつ子, 川口広美, 三上喜美子, 馬越正通, 設楽春子: [一般講演] 手術室における新人教育について。第9回日本手術部医学会総会, 1987.
- 92) 川村一彦, 藤松利浩, 吉森勝: [一般講演] 肛門部 mixoid liposarcoma の1治療例。第196回日本消化器病学会関東地方会, 1987.
- 93) 岩切勝彦<sup>1)</sup>, 平川恒久<sup>1)</sup>, 末岡伸夫<sup>1)</sup>, 渡辺昂<sup>1)</sup>, 林伸幸<sup>1)</sup>, 小林正文<sup>1)</sup>, 野村武夫<sup>1)</sup>, 田辺義博<sup>1)</sup>, 川上明彦, 佐々木建志, 小泉潔, 瀬底正彦, 川本雅司 ( <sup>1)</sup>第3内科 ): [一般講演] 食道と交通した縦隔内気管支囊腫の1例。第196回日本消化器病学会関東地方会, 1987.
- 94) 舍利弗都々子, 長岡豊, 工藤玄恵, 塩田敬, 向井佐志彦, 佐藤薫隆: [一般講演] 多彩な組織像を示した悪性葉状囊胞肉腫の1例。第26回日本臨床細胞学会秋期大会, 1987.
- 95) 田中茂夫, 小坂真一, 佐々木建志, 浅野哲雄, 宇都宮英敏, 池下正敏, 加治正弘, 山手昇, 矢島俊巳, 新田隆, 庄司佑: [一般講演] AICD植込例の適応と問題点。第1回不整脈外科研究会, 1987.
- 96) 田中昌彦, 金内秀士, 田中宏治, 庄司佑, 井出道也, 秋丸號甫: [一般講演] 血漿交換療法を併用したLAK細胞誘導の有用性。第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 97) 齊藤節, 金内秀士, 秋丸號甫, 庄司佑, 内山喜一郎, 大場英巳: [一般講演] 切除不能の原発性肝癌に対する門注動注併用療法。第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 98) 渋谷哲男, 小熊将之, 馬越正通, 猪口正孝, 大場英巳, 田中昌彦, 内山喜一郎, 庄司佑, 今井茂: [一般講演] 胃癌患者血清におけるSNO-5009の臨床的検討。第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 99) 田中宏治, 金内秀士, 田中昌彦, 庄司佑, 秋丸號甫, 原一男<sup>1)</sup>, 田中良明 ( <sup>1)</sup>第2内科 ): [一般講演] 沈澱法 (SAC法) による免疫抑制物質の除去。第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 100) 塚田一義, 秀嶋周, 平田滋, 庄司佑, 水谷隆, 西崎宣: [一般講演] 肝癌に対する血行遮断温熱療法。第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 101) 村田実, 田中寿英, 鈴木紳, 高山泰雄, 阿部光樹, 三井田努, 維田隆夫, 榊原高之, 小井井良夫 (榊原記念病院): [一般講演] 電気生理学的検査中に non-clinical VT が認められた sustained VT 3例の臨床的電気生理学的検討。第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 102) 佐々木建志, 浅野哲雄, 山手昇, 小坂真一, 田中茂夫, 松山謙, 池下正敏, 三枝直紀, 二宮淳一, 田村浩一, 萩原俊彦, 寺田功一: [一般講演] 大動脈解離術後遠隔期における解離腔の運命; A型大動脈解離症例。第28回日本脈管学会総会, 1987.

- 103)小坂真一, 二宮淳一, 五味潤誠, 日置正文, 小泉潔, 秋丸號甫, 塩田晶彦, 池下正敏, 富士崎隆, 田中茂夫, 武井裕, 山手昇, 庄司佑:〔一般講演〕PTFE graftによる上大静脈血行再建術の適応と成績. 第28回日本脈管学会総会, 1987.
- 104)亀山孝二<sup>1)</sup>, 浅野伍朗<sup>1)</sup>, 木村俊仁, 宮坂千晶, 石原島繁彦<sup>1)</sup>, 内野文男, 山田宜孝<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理):〔一般講演〕心筋梗塞症例における冠動脈変化の定性的および定量的解析. 第28回日本脈管学会総会, 1987.
- 105)池下正敏, 山手昇, 田中茂夫, 日置正文, 浅野哲雄, 小坂真一, 落雅美, 武井裕, 家所良夫, 寺田功一, 庄司佑:〔一般講演〕頻脈性不整脈の外科治療における cryosurgery の応用. 第49回日本臨床外科医学会, 1987.
- 106)酒井欣男, 佐藤薫隆, 近添拓也, 向井佐志彦, 為我井芳郎, 渡辺裕秀, 猪口正孝, 北村裕, 長浜充二, 三浦妙太:〔一般講演〕乳腺疾患に対するFNAの診断学的意義に関する検討. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 107)向井佐志彦, 佐藤薫隆, 近添拓也, 為我井芳郎, 庄司佑, 山手昇:〔一般講演〕乳癌における組織内CEAの臨床的意義, 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 108)大場英巳, 馬越正通, 白石敦, 庄司佑, 吉尾隆, 渋谷哲男:〔一般講演〕食道静脈瘤に対する手術適応と手術成績. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 109)吉川厚, 岩淵竜臣, 長谷川伝, 馬越正通:〔一般講演〕特異な穿孔形態をとった腹壁瘢痕ヘルニアの1例. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 110)二宮淳一, 萩原俊彦, 加治正弘, 田中茂夫, 佐々木建志, 山手昇, 浅野哲雄, 庄司佑:〔一般講演〕小児開心術後の輸血後肝炎対策. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 111)日置正文, 若村武雄, 家所良夫, 武井裕, 佐藤要悟, 庄司佑, 宇都宮英敏:〔一般講演〕腹部大動脈腸動脈領域疾患に対する外科治療. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 112)五味潤誠, 富士崎隆, 野田哲郎, 笹井巧, 松本忠彦, 小泉潔, 森岡晴記, 田中茂夫, 塩田晶彦, 山手昇, 庄司佑:〔一般講演〕胸壁合併切除再建症例の検討. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 113)森岡晴記, 山手昇, 笹井巧, 庄司佑, 小泉潔, 五味潤誠<sup>1)</sup>, 山本光伸<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>埼玉がんセンター):〔一般講演〕気管支腫瘍6例の検討. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 114)川村一彦, 山内仁紫, 吉森勝(栃木県県南病院):〔一般講演〕最近6年間における急性膵炎手術症例の臨床的検討. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 115)北村裕, 佐藤薫隆, 近添拓也, 向井佐志彦, 為我井芳郎, 渡辺秀裕, 猪口正孝, 酒井欣男, 長浜充二:〔一般講演〕胃前庭部ul - IV潰瘍の臨床的検討. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 116)酒井欣男, 渡辺秀裕, 佐藤薫隆, 猪口正孝, 近添拓也, 北村裕, 向井佐志彦, 長浜充二, 為我井芳郎:〔一般講演〕乳腺疾患に対するFNAの診断学的意義に関する検討. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 117)秋丸號甫, 馬越正通, 斉藤節, 金内秀士, 内山喜一郎, 庄司佑, 渋谷哲男:〔シンポジウム〕肝癌に対する新しいアプローチ; 切除不能肝癌に対する新しい局所化学療法. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 118)白石敦, 山本英巳, 馬越正通, 田中良明, 渋谷哲男, 庄司佑, 大場英巳:〔一般講演〕開腹歴のないイレウス症例の検討. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 119)塚田一義, 浦田謙二, 平田滋, 庄司佑, 水谷隆, 西崎宣, 秀嶋周:〔示説〕肝癌に対する血行遮断温熱療法. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 120)田中茂夫, 加治正弘, 三枝直紀, 佐々木建志, 小坂真一, 榊原重泰, 池下正敏, 山手昇, 庄司佑:〔一般講演〕Rate responsive pacemakerの血行動態と適応の検討. 第40回日本胸部外科学会, 1987.
- 121)池下正敏, 山手昇, 田中茂夫, 浅野哲雄, 小坂真一, 佐々木建志, 田村浩一, 三枝直紀, 新田隆, 矢島俊己, 庄司佑, 維田隆夫<sup>1)</sup>, 榊原高之<sup>1)</sup>, 村田実<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>榊原記念病院):〔一般講演〕虚血性心室頻拍に対する心内膜切除術(ERP)とEndocardial cryoablation(ECA)の心機能と伝導系に与える影響について. 第40回日本胸部外

科学会, 1987.

- 122) 二宮淳一, 萩原俊彦, 浅野哲雄, 羽鳥信郎, 武井裕, 佐々木建志, 山内茂生, 森岡晴記, 三枝直紀, 加治正弘, 原口秀司, 師田哲郎, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 乳幼児開心術における pulsatile bypass pump による拍動流の心筋保護効果. 第40回日本胸部外科学会, 1987.
- 123) 五味淵誠, 本田二郎, 森岡晴記, 塩田晶彦, 富士崎隆, 笹井巧, 小泉潔, 田中茂夫, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] Nuclear Stethoscope による肺切除術後症例の運動負荷時心機能の検討. 第40回日本胸部外科学会, 1987.
- 124) 萩原俊彦, 山手昇, 田中茂夫, 池下正敏, 日置正文, 二宮淳一, 浅野哲雄, 佐々木建志, 庄司佑: [一般講演] 急性心筋梗塞後心室中隔穿孔に対する急性期手術症例の検討. 第40回日本胸部外科学会, 1987.
- 125) 浅野哲雄, 山手昇, 池下正敏, 小坂真一, 田村浩一, 加治正弘, 原口秀司, 杉本忠彦, 庄司佑: [一般講演] 急性心筋梗塞に伴う心破裂救命症例の左室瘤・心室性頻拍症に対する瘤切除, 心内膜切除, 心内膜凍結術. 第40回日本胸部外科学会, 1987.
- 126) 小坂真一, 池下正敏, 二宮淳一, 原口秀司, 武井裕, 萩原俊彦, 浅野哲雄, 田中茂夫, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 僧帽弁位における monostrut Björk - Shiley 弁の血行動態及び早期臨床成績. 第40回日本胸部外科学会, 1987.
- 127) 小泉潔, 山手昇, 五味淵誠, 富士崎隆, 笹井巧, 若林武雄, 塩田晶彦, 佐藤要悟, 田村浩一, 川本雅司, 杉本忠彦, 本田二郎, 庄司佑: [一般講演] 肺癌切除例の肺血管外水分量に関する検討; 急性期管理の効果を中心に. 第40回日本胸部外科学会, 1987.
- 128) 松山謙, 田中茂夫, 原口秀司, 矢島俊己, 原田厚, 五味淵誠, 池下正敏, 山手昇, 庄司佑, 高野照夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室): [一般講演] 左心バイパス時の右心機能に関する実験的検討; 冠動脈中隔枝結紮モデルにおいて. 第40回日本胸部外科学会, 1987.
- 129) 笹井巧, 川本雅司, 森岡晴記, 塩田昌彦, 家所良夫, 若林伸行, 宇都宮英敏, 富士崎隆, 小泉潔, 五味淵誠, 日置正文, 田中茂夫, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 転移性肺腫瘍の外科治療, 予後因子の検討. 第40回日本胸部外科学会, 1987.
- 130) 田村浩一, 川本雅司, 佐々木建志, 池下正敏, 山手昇, 庄司佑, 馬杉洋三<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1病棟): [一般講演] 心筋梗塞後心室中隔穿孔の手術例における術創部治癒過程に対する病理組織学的検討. 第40回日本胸部外科学会, 1987.
- 131) 川本雅司, 森岡晴記, 塩田晶彦, 若林武雄, 笹井巧, 富士崎隆, 小泉潔, 平田滋, 松島伸治, 五味淵誠, 向井佐志彦, 山手昇, 庄司佑, 渋谷昌彦<sup>1)</sup>, 仁井谷久暢<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>臨床病理): [一般講演] 肺癌外科治療における集学的治療の試み; CDDP, OK432 によるランダムイズドトライアルを中心に. 第40回日本胸部外科学会, 1987.
- 132) 矢島俊己, 山手昇, 田中茂夫, 池下正敏, 浅野哲雄, 松山謙, 原田厚, 新田隆, 庄司佑: [一般講演] 心筋梗塞急性期に発生する心室性不整脈に対する心内膜 Lugol 液塗布法の心機能に与える影響について. 第40回日本胸部外科学会, 1987.
- 133) 池田みさ子, 高田勝美, 川真田美和子, 鈴木英弘, 藤田昌雄, 維田隆夫, 村田実: [一般講演] WPW 症候群の high risk group 患者の麻酔経験. 第7回臨床麻酔学会総会, 1987.
- 134) 田中茂夫, 齊藤文明, 榊原重泰, 二宮淳一, 松山謙, 小坂真一, 浅野哲雄, 三枝直紀, 加治正弘, 池下正敏, 庄司佑: [一般講演] 呼吸代謝能よりみた各種レート応答型ペースメーカー (RRPM) の心拍応答状況の比較. 第25回日本人工臓器学会, 1987.
- 135) 二宮淳一, 師田哲郎, 原口秀司, 加治正弘, 三枝直紀, 森岡晴記, 山内茂生, 浅野哲雄, 庄司佑: [一般講演] 拍動流体外循環の乳幼児開心術における心機能に及ぼす影響. 第25回日本人工臓器学会, 1987.
- 136) 二宮淳一, 山内茂生, 森岡晴記, 三枝直紀, 原口秀司, 小坂真一, 庄司佑, 能勢之彦<sup>1)</sup>, 相沢猛<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>Cleveland Clinic, <sup>2)</sup>日機装): [一般講演] 肺高血圧を伴った高度右心不全に対する右心バイパス時の拍動流と非拍動流

の比較検討. 第25回日本人工臓器学会, 1987.

- 137) 森岡晴記, 二宮淳一, 山内茂生, 三枝直紀, 林晃一, 庄司佑: [一般講演] 急性左心不全に対する心拍同期式流量補助可能な balloon pumping 法の効果. 第25回日本人工臓器学会, 1987.
- 138) 小坂真一, 池下正敏, 森岡晴記, 山内茂生, 鈴木敏克, 三枝直紀, 五味淵誠, 田中茂夫, 庄司佑: [一般講演] 混合静脈血の温度変化による rate-responsive pacemaker の臨床使用経験 1. 第25回日本人工臓器学会, 1987.
- 139) 小坂真一, 池下正敏, 二宮淳一, 藤本正信, 田村浩一, 原田厚, 浅野哲雄, 田中茂夫, 庄司佑: [一般講演] 僧帽弁位における monostrut Björk-Shiley 弁の血行動態及び臨床的評価 1. 第25回日本人工臓器学会, 1987.
- 140) 加治正弘, 三枝直紀, 松山謙, 浅野哲雄, 榊原重泰, 池下正敏, 田中茂夫, 庄司佑: [一般講演] O<sub>2</sub> サプライ-デマンドレシオよりみた各種ベージングモードの比較検討. 第25回日本人工臓器学会, 1987.
- 141) 森岡晴記, 林晃一, 二宮淳一, 真崎義隆, 萩原俊彦, 田中茂夫, 山内茂生, 山手昇, 佐々木建志, 庄司佑: [一般講演] 流星補助を加味した IABP 法の研究. 第8回 IABP 研究会, 1987.
- 142) 山内茂生, 福島孝男, 朽方規喜, 保坂浩希, 本田二郎, 林晃一, 塩田晶彦, 佐々木建志, 小坂真一, 小泉潔, 浅野哲雄, 萩原俊彦, 五味淵誠, 二宮淳一, 池下正敏, 田中茂夫, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 破裂性腹部大動脈瘤症例について. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 143) 石川仁, 鈴木章一, 須田雍夫, 三山健司, 関根毅, 藤田吉四郎, 武内脩, 本間威, 田中洋一, 米田修一, 内田健二, 高山昇二郎: [一般講演] 空腸悪性リンパ腫の1例. 第5回埼玉県外科集談会, 1987.
- 144) 平田泰, 関根毅, 田中洋一, 須田雍夫, 三山健司, 藤田吉四郎, 石川仁, 鈴木章一, 直居豊, 内田健二, 砂倉瑞良, 武内脩, 田久保海苔: [一般講演] 壁内転移により切除不能となった胸部食道癌の1例. 第5回埼玉県外科集談会, 1987.
- 145) 鈴木章一, 須田雍夫, 関根毅, 武内脩, 内田健二, 田中洋一, 石川仁, 三山健司, 藤田吉四郎 (埼玉県立がんセンター-腹部外科): [一般講演] 異所3重複癌の2例. 第5回埼玉県外科集談会, 1987.
- 146) 佐藤薫隆, 近添拓也, 向井佐志彦, 為我井芳郎: [一般講演] 胃癌肉眼分類の問題点, とくに衝突癌の存在について. 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 147) 佐藤薫隆, 向井佐志彦, 為我井芳郎, 平塚秀男: [一般講演] Short Bowel Syndrome における小腸拡大内視鏡の意義. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 148) 五味淵誠, 塩田晶彦, 山手昇, 森岡晴記, 田中茂夫, 本田二郎, 小泉潔, 杉本忠彦, 笹井巧, 富士崎隆, 庄司佑: [一般講演] 肺癌症例における肺切除後運動負荷時の肺機能の検討. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 149) 小泉潔, 川本雅司, 塩田晶彦, 佐々木建志, 笹井巧, 平田滋, 向井佐志彦, 松島伸治, 川村一彦, 田中茂夫, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 教室における気管・気管支形成術の経験. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 150) 塩田晶彦, 山手昇, 小泉潔, 川本雅司, 原口秀司, 真崎義隆, 師田哲郎, 林晃一, 庄司佑: [一般講演] 高齢者肺癌切除例の肺血管外水分量の検討. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 151) 小泉潔, 川本雅司, 塩田晶彦, 三枝直紀, 若林武雄, 富士崎隆, 笹井巧, 小坂真一, 萩原俊彦, 五味淵誠, 二宮淳一, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] T<sub>3</sub> 肺癌切除例における心・大血管合併切除に関する問題点. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 152) 坂本俊樹, 馬淵綾子, 横室公三, 厨信一郎, 庄司佑: [一般講演] 肝再生と造血系; 肝再生に伴っておこる造血幹細胞の変動と, 肝細胞の CSF 産生能の変化. 第17回日本免疫学会総会学術集会, 1987.
- 153) 浅野哲雄, 山手昇, 池下正敏, 二宮淳一, 小坂真一, 松山謙, 庄司佑: [シンポジウム] 心筋梗塞合併症の外科治療. 第15回日本救急医学会, 1987.
- 154) 斉藤了一<sup>1)</sup>, 奥山厚<sup>1)</sup>, 市川太郎<sup>1)</sup>, 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>1)</sup>, 恵畑欣一<sup>1)</sup>, 五味淵誠, 富士崎隆, 田中茂夫 (放射線科): [一般講演] 肺癌症例に施行した心プールシンチグラフィーおよび核聴診器による左室機能評

価の比較検討. 第26回心臓放射線研究会, 1987.

- 155) 浜島昭人, 向井佐志彦, 佐藤薫隆, 渡辺秀裕, 為我井芳郎, 小山寿雄, 長浜充二<sup>1)</sup>, 酒井欣男<sup>1)</sup>, 北村裕<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 倭成病院 ): [ 症例 ] 急性腹症を呈した大網原発と思われる血管肉腫の1症例. 第727回外科集談会, 1987.
- 156) 萩原俊彦, 池下正敏, 林晃一, 田中茂夫, 川本雅司, 山手昇, 山内茂生, 庄司佑, 小泉潔: [ 症例 ] 比較的巨大的な食道平滑筋腫の1治験例. 第727回外科集談会, 1987.
- 157) 川村一彦, 藤松利浩, 吉森勝: [ 症例 ] 17年間軟部組成へ再発, 転移をくり返した線維脂肪肉腫1例. 第727回外科集談会, 1987.
- 158) 松井聡, 庄司佑, 日置正文, 武井裕<sup>1)</sup>, 尾上敏夫<sup>1)</sup>, 吉川厚<sup>1)</sup>, 村松忠<sup>1)</sup>, 家所良夫<sup>1)</sup>, 加藤仁志<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 第2内科 ): [ 症例 ] 腹痛を初発症状とする細菌性心内膜炎による僧帽弁閉鎖不全症の1治験例. 第727回外科集談会, 1987.
- 159) 林晃一, 塩田晶彦, 三枝直紀, 浅野哲雄, 杉本忠彦, 二宮淳一, 川本雅司, 山手昇, 佐々木建志, 庄司佑: [ 一般講演 ] A-Cバイパス術および腹部大動脈切除術の一期的手術後腸管壊死をきたした一例. 第727回外科集談会, 1987.
- 160) 小坂真一, 浅野哲雄, 真崎義隆, 本田二郎, 林晃一, 杉本忠彦, 師田哲郎, 池下正敏, 田中茂夫, 山手昇, 庄司佑: [ 一般講演 ] 心筋梗塞後, 心臓破裂 (blow out type) の急性期2救命例. 第64回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 161) 家所良夫, 小林薫, 白石敦, 田中宏治, 武内裕, 日置正文, 渋谷哲男, 庄司佑: [ 一般講演 ] 心不全を初発症状とした肺癌の一例. 第64回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 162) 森岡晴記, 西村仁志, 山本光伸 (埼玉県立がんセンター胸部外科): [ 一般講演 ] 興味ある経過を示した胸腔内 Angiolipoma の1治験例. 第64回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 163) 阪田健介<sup>1)</sup>, 龍野勝彦<sup>1)</sup>, 菊池利夫<sup>1)</sup>, 高橋幸宏<sup>1)</sup>, 新田隆<sup>1)</sup>, 森克彦<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 榊原記念病院外科, <sup>2)</sup> 同小児科 ): [ 一般講演 ] Cor. TGA+PSに対する弁なし conduit による Rastelli 術後遠隔期のTRに対する弁置換の1例. 第64回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 164) 長浜充二, 酒井欣男, 佐藤薫隆<sup>1)</sup>, 近添拓世<sup>1)</sup>, 向井佐志彦<sup>1)</sup>, 為我井芳郎<sup>1)</sup>, 渡辺秀裕, 小山寿雄, 北村裕, 小松原登<sup>1)</sup>, 三浦妙太<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 倭成病院 ): [ 一般講演 ] 腸重積をくり返した上部空腸平滑筋肉腫の一例. 第45回消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 165) 上地一平, 富士崎隆, 上妻達也, 永井元, 石田正統<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 東京船員保険病院 ): [ 一般講演 ] 超音波内視鏡が診断上有用であった食道粘膜下腫瘍の1例. 第197回日本消化器病学会関東地方会, 1987.
- 166) 維田隆夫, 野原秀公, 新田隆, 阪田健介, 広田潤, 万納寺栄一, 川瀬光彦, 榊原高之 (榊原記念病院): [ 一般講演 ] 開心術における無輸血手術の工夫; 輸血による合併症予防の為に. 第2回心臓血管外科ウインターセミナー, 1988.
- 167) 新田隆, 広田潤, 阪田健介, 野原秀公, 万納寺栄一, 維田隆夫, 川瀬光彦, 榊原高之 (榊原記念病院): [ 一般講演 ] 両側内胸動脈を用いた冠動脈血行再建術21例の経験. 第2回心臓血管外科ウインターセミナー, 1988.
- 168) 鈴木章一, 関根毅, 須田雍夫, 藤田吉四郎, 平田泰, 能井良司, 石川仁, 三比和美, 内田健二, 高山昇二郎, 田中洋一, 武内脩, 吉田清一: [ 一般講演 ] 胃原発性非上皮性悪性腫瘍の検討. 第25回埼玉県医学会総会, 1988.
- 169) 須田雍夫, 田中洋一, 鈴木章一, 武内脩, 平田泰, 関根毅, 石川仁, 藤田吉四郎, 内田健二, 吉田清一: [ 一般講演 ] 初発胃癌手術1167例の臨床統計と遠隔成績. 第25回埼玉県医学会総会, 1988.
- 170) 田中洋一, 関根毅, 平田泰, 須田雍夫, 鈴木章一, 藤田吉四郎, 石川仁, 田久保海誉, 内田健二, 吉田清, 武内脩: [ 一般講演 ] 食道癌壁内転移の検討. 第25回埼玉県医学会総会, 1988.
- 171) 関根毅, 武内脩, 平田泰, 須田雍夫, 石川仁, 藤田吉四郎, 鈴木章一, 高山昇二郎, 内田健二, 田中洋一, 吉田清一: [ 一般講演 ] 直腸癌に対する直腸切断術の遠隔成績. 第25回埼玉県医学会総会, 1988.

- 172) 須田雍夫, 武内脩, 鈴木章一, 関根毅, 石川仁, 藤田吉四郎, 内田健二, ニッ木浩一, 田中洋一, 赤沢修吾 :  
〔一般講演〕化療施行期間からみた切除胃癌の遠隔成績. 第50回胃癌研究会, 1988.
- 173) 山内仁紫<sup>1)</sup>, 常本実<sup>1)</sup>, 島田宗洋<sup>1)</sup>, 太田喜義<sup>1)</sup>, 日向三郎<sup>1)</sup>, 岩崎安記<sup>1)</sup>, 池下正敏, 浅野哲雄, 石沢瞭<sup>2)</sup>,  
高野良裕<sup>2)</sup>, 脇田傑<sup>2)</sup>, 二瓶浩一<sup>2)</sup>, 仲本雅哉<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>国立小児病院心臓血管外科, <sup>2)</sup>国立小児病院循環器科) :  
〔一般講演〕WPW 症候群を伴った完全大血管転位症Ⅲ群の1手術治験例. 第65回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 174) 師田哲郎, 林晃一, 福島孝男, 川本雅司, 佐々木建志, 浅野哲雄, 池下正敏, 山手昇, 庄司佑 : 〔一般講演〕Cabrol  
手術後, 解離性大動脈瘤 (De Bakey Ⅲb) を発生した Marfan 症候群の1手術例. 第65回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 175) 本田二郎, 二之宮淳一, 佐々木建志, 加治正弘, 山内茂生, 宇都宮英敏, 浅野哲雄, 山手昇, 庄司佑, 小川俊一<sup>1)</sup>,  
平山恒夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>同小児科) : 〔一般講演〕Interruption complex の1乳児手術治験例. 第65回日本胸部外科学会  
関東甲信越地方会, 1988.
- 176) 高橋幸宏<sup>1)</sup>, 龍野勝彦<sup>1)</sup>, 菊池利夫<sup>1)</sup>, 阪田健介<sup>1)</sup>, 新田隆<sup>1)</sup>, 野原秀公<sup>1)</sup>, 村上保夫<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>榊原記念病院外科,  
<sup>2)</sup>同小児科) : 〔一般講演〕左側肺動脈再建, 房室弁修復を併せ行なった単心室に対する Fontan 手術の1治験  
例. 第65回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 177) 野原秀公<sup>1)</sup>, 龍野勝彦<sup>1)</sup>, 菊池利夫<sup>1)</sup>, 高橋幸宏<sup>1)</sup>, 阪田健介<sup>1)</sup>, 新田隆<sup>1)</sup>, 村上保夫<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>榊原記念病院外科,  
<sup>2)</sup>同小児科) : 〔一般講演〕半月弁人工弁置換術後3年10カ月後に Rastelli 手術を施行した総動脈幹症の1治験  
例. 第65回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1988.
- 178) 松久威史<sup>1)</sup>, 伊藤正秀<sup>1)</sup>, 大島博<sup>1)</sup>, 西島重光<sup>2)</sup>, 大塚茂<sup>2)</sup>, 越野立夫<sup>2)</sup>, 渡辺一彦, 布施修一, 庄司佑 (<sup>1)</sup>内視  
鏡科, <sup>2)</sup>産婦人科) : 〔一般講演〕妊娠に合併した胃癌の2症例; 内視鏡科の胃癌症例との比較を含めて. 日本  
医大医学会第64回例会, 1988.
- 179) 池下正敏, 山手昇, 田中茂夫, 萩原俊彦, 浅野哲雄, 小坂真一, 宇都宮秀敏, 原田厚, 佐々木建志, 山内茂生,  
新田隆, 矢島俊己, 庄司佑 : 〔一般講演〕頻脈性不整脈の外科治療における cryosurgery の心臓に与える影響に  
ついて. 第18回日本心臓血管外科学会, 1988.
- 180) 二宮淳一, 庄司佑, 山手昇, 田中茂夫, 池下正敏, 萩原俊彦, 浅野哲雄, 松山謙, 小坂真一, 佐々木建志, 山内  
茂生, 森岡晴記, 高野照夫<sup>1)</sup>, 宇都宮英敏<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室) : 〔一般講演〕高度心不全に対する補助循環の血  
行動態及び臨床的検討. 第18回日本心臓血管外科学会, 1988.
- 181) 二宮淳一, 庄司佑, 山手昇, 田中茂夫, 富士崎隆, 三枝直紀, 山内茂生, 佐々木建志, 田村浩一, 林晃一, 野一  
色泰晴<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>岡山大学リハビリテーション外科) : 〔一般講演〕Laser welding の基礎的研究, 特に人工血管吻  
合の可能性について 第1報. 第18回日本心臓血管外科学会, 1988.
- 182) 浅野哲雄, 萩原俊彦, 山手昇, 田中茂夫, 池下正敏, 日置正文, 二宮淳一, 庄司佑 : 〔一般講演〕心筋梗塞合併  
症の治療; VSP・MR に対する IABP の効果と限界. 第18回日本心臓血管外科学会, 1988.
- 183) 大場英巳, 渋谷哲男, 北俊典, 馬越正通, 吉尾隆, 庄司佑, 木村俊仁 : 〔一般講演〕食道静脈瘤に対する食道裂  
孔切開を加えた経腹的食道離断術の術後合併症と予後. 第31回日本消化器外科学会, 1988.
- 184) 佐藤薫隆, 近添拓世, 向井佐志彦, 為我井芳郎, 渡辺秀裕, 小山寿雄, 酒井欣男, 北村裕, 長浜充二 : 〔一般講  
演〕3年以上生存した Borrmann Ⅳ型胃癌の臨床病理学的検討. 第31回日本消化器外科学会総会, 1988.
- 185) 長浜充二, 佐藤薫隆, 近添拓世, 向井佐志彦, 為我井芳郎, 小山寿雄, 渡辺秀裕, 酒井欣男, 北村裕, 小松原登 :  
〔一般講演〕大きさ1cm以下の大腸カルチノイドの6例. 第31回日本消化器外科学会総会, 1988.
- 186) 鈴木章一, 関根毅, 須田雍夫, 他 (埼玉県立がんセンター) : 〔一般講演〕大腸低分化腺癌の臨床病理学的検討.  
第31回日本消化器外科学会総会, 1988.

- 187)長浜充二, 佐藤薫隆<sup>1)</sup>, 近添拓世<sup>1)</sup>, 向井佐志彦<sup>1)</sup>, 為我井芳郎<sup>1)</sup>, 小山寿雄, 渡辺秀裕, 酒井欣男, 北村裕 (1)  
佼成病院): [一般講演] 大きさ1 cm以下の大腸カルチノイドの6例. 第31回日本消化器外科学会総会, 1988.
- 188)山本英希, 馬越正通, 井出道也, 三宅弘章, 白石敦, 庄司佑: [示説] 胃悪性神経鞘腫の一例. 第31回日本消化器外科学会総会, 1988.
- 189)広本雅之, 高橋正人, 津嶋秀人, 日下部輝夫<sup>1)</sup> (1)日下部病院): [一般講演] 直腸S状部に原発した腺扁平上皮癌の1例. 第198回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 190)川村一彦, 林晃一, 藤松利浩: [一般講演] 虫垂カルチノイドを伴った急性虫垂炎の1例. 第198回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 191)小坂真一, 池下正敏, 二宮淳一, 真崎義隆, 林晃一, 師田哲郎, 杉本忠彦, 本田二郎, 浅野哲雄, 田中茂夫, 田中啓治<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup>, 山手昇, 庄司佑 (1)集中治療室): [一般講演] 急性心筋梗塞後, 左室自由壁破裂の外科治療の検討; 特に最近経験した blow-out 型の2急性期救命例を中心に. 第18回日本心臓血管外科学会, 1988.
- 192)佐々木建志, 山手昇, 田中茂夫, 池下正敏, 二宮淳一, 萩原俊彦, 浅野哲雄, 小坂真一, 山内茂生, 庄司佑: [一般講演] A型大動脈解離に対する急性期手術; 手術成績, 遠隔期の残存解離腔からみた手術術式の検討. 第18回日本心臓血管外科学会, 1988.
- 193)阪田健介, 龍野勝彦, 菊池利夫, 高橋幸宏, 川瀬光彦, 榊原高之, 維田隆夫, 万納寺栄一: [一般講演] 1才未満の総肺静脈還流異常症の心内修復術の検討. 第18回日本心臓血管外科学会, 1988.
- 194)榊原高之, 維田隆夫, 万納寺栄一, 高橋幸宏, 菊池利夫, 龍野勝彦, 川瀬満彦: [パネルディスカッション] 急性心筋梗塞に対する緊急A-C バイパス手術の問題点. 第18回日本心臓血管外科学会, 1988.
- 195)川村一彦, 林晃一, 藤松利浩 (栃木県・県南総合病院外科): [一般講演] 虫垂カルチノイドを伴った急性虫垂炎の1例. 第198回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 196)原田厚, 池下正敏, 浅野哲雄, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 右房起源の上室性不整脈に対する右房隔離術の電気生理学的効果. 第2回不整脈外科研究会, 1988.
- 197)石川仁<sup>1)</sup>, 須田雍夫<sup>1)</sup>, 関根毅<sup>1)</sup>, 鈴木章一, 藤田吉四郎<sup>1)</sup> (1)埼玉県立がんセンター): [一般講演] 巨大肝嚢胞の2症例. 第198回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 198)関根毅, 田中洋一, 石川仁, 武内脩, 平田泰, 須田雍夫, 鈴木章一, 内田健二, 藤田吉四郎: [一般講演] 人工肛門造設術における術後合併症; とくにストーマの陥没ないし陥凹の検討. 第28回大腸癌研究会, 1988.
- 199)石川仁, 田中洋一, 関根毅, 武内脩, 平田泰, 須田雍夫, 鈴木章一, 藤田吉四郎, 内田健二: [一般講演] 直腸癌治癒切除例における補助化学療法の検討. 第28回大腸癌研究会, 1988.
- 200)松久成史<sup>1)</sup>, 渡辺一彦<sup>1)</sup>, 伊藤正秀<sup>1)</sup>, 布施修一<sup>1)</sup>, 大島博<sup>1)</sup>, 庄司佑 (1)内視鏡科): [一般講演] 妊娠に合併した胃癌の2症例. 第198回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 201)Nikolie, S., Yellin, E.L., Tamura, K., Tamura, T., Owusu, K., Dahm, M. and Frater, R.W.M.: [一般講演] Viscous properties of the lu-Silu completely relaxed left ventricle are insignificant at normal strain rates. The 37th annual Scientific Session American College of Cardiology (Atlanta, USA). 1988.
- 202)吉川厚<sup>1)</sup>, 長谷川伝<sup>1)</sup>, 大場英己, 馬越正通 (1)目白病院): [ポスターセッション] 急性腹症の画像診断消化管穿孔における腹部CTの有用性. 第10回日本腹部救急診療研究会, 1988.
- 203)後藤慎介, 大場英己, 馬越正通, 金内秀士, 前田隆志, 庄司佑, 佐久間俊行: [一般講演] 索状物により小腸の完全断裂を生じたイレウスの1例. 第10回日本腹部救急診療研究会, 1988.
- 204)田中茂夫: [シンポジウム] 左心補助施行時の右心機能. 第16回人工心臓と補助循環懇話会, 1988.
- 205)鈴木章一, 内田健二, 須田雍夫, 石川仁, 関根毅, 平田泰, 武内脩, 藤田吉四郎, 田中洋一: [一般講演] 胃原発悪性リンパ腫手術例の検討. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.



- 206) 北村裕, 長浜充二, 金内秀士, 小川泰史, 高橋正人, 斎藤節, 布施修一, 鈴木章一, 庄司佑: [一般講演] 十全大補湯と免疫機能. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.
- 207) 川村一彦, 林晃一, 藤松利浩: [一般講演] 残胃癌にて輸入脚閉塞症を呈した一例. 第728回外科集談会, 1988.
- 208) 保坂浩希, 浅野哲雄, 小泉潔, 山内茂生, 塩田晶彦, 山手昇, 庄司佑: [一般講演] 内腸骨動脈瘤破裂の一例. 第728回外科集談会, 1988.

## 〔第一病院内視鏡科〕

### 研究概要

当科の昭和62年度の研究業績は, 消化管の形態と機能に関するものが主体をなした. なかでも第34回日本消化器内視鏡学会総会のシンポジウムにおいて伊藤講師らが発表した“良性胃疾患の背景胃粘膜に関する病理組織学的ならびに免疫組織学的検討”と, 同じく松久らが講演した“内視鏡的に検討した噴門と幽門の形態と機能について”の二つの研究成果は, 学会においても脚光を浴びている.

形態的な面からの研究では, 上述のはかにHe-Neレーザー光による内視鏡的診断の試み, 胃内圧変化時における早期胃癌, びらん性胃炎の内視鏡像についての検討, 組織学的検索からみた胃黄色腫の発生機序の考察等がある. また十二指腸の小隆起について検討し, 他に先がけて内視鏡的ならびに生検組織学的な診断基準を提唱した.

機能的な要素を含んだ研究としては, 従来行っている消化管の内圧, pH, ホルモンの測定をより推進させる一方, 新たに胆汁酸を測定して幽門形態と胆汁逆流の関連性を観察した. また胃排出能検査の導入により消化性潰瘍との相関についても検討した.

臓器別にみると胃・十二指腸に関するもののはかに, 独自の食道静脈瘤硬化療法を開発し, 大腸疾患について幾つかの発表を行った. またチームワークによる高度な医療が要求される現在, 小児科との共同により小児の急性胃粘膜病変について発表した. 産婦人科ならびに外科とも協力し, 妊娠に合併した胃癌症例の報告も行った.

大島教授は, 消化性潰瘍の最新知見が網羅集大成されている「最新消化性潰瘍要覧」に, “老年者胃潰瘍”についてその方面の最高権威として分担執筆した. 当科にはその他にも若干の研究業績があったが, いずれの研究も種々の消化器病の診断と治療に与える臨床的意義の大きいことが特徴である. なお, 当科では大島教授の懇切な指導のもとに, 医局員夫々が研究に励んでいる.

### 〔研究業績〕

#### 論文

- 1) 清水義人, 磯長光, 大島博, 渡辺善一郎<sup>1)</sup>, 三輪純子<sup>1)</sup>, 浅野健<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第一病院小児科 ): [報告] 内視鏡的に診断し得た小児急性胃粘膜病変の3症例. 消化器科, 6, 531~536, 1987.
- 2) 清水義人, 伊藤正秀, 倉禎二, 松久威史, 花牟礼康生, 磯長光, 大島博, 須田信弘<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>物理 ): [原著] He-Neレーザー光による内視鏡的診断; 胃生検採取片を用いた基礎的研究. 消内視鏡の進歩, 30, 109~113, 1987.
- 3) 倉禎二, 松久威史, 伊藤正秀, 大島博: [原著] 内視鏡検査時の胃内圧変化と胃粘膜性状の関連性. 第1報 トランスジューサー法を用いて. 消内視鏡の進歩, 30, 114~118, 1987.
- 4) 伊藤正秀, 大島博: [原著] 胃粘膜の生検病理学的検討; 特に血管数と分布について. 消内視鏡の進歩, 30, 119~123, 1987.
- 5) 松久威史, 磯長光, 大島博: [原著] 幽門輪の形態と機能に関する内視鏡的検討. 消内視鏡の進歩, 30, 132~136, 1987.
- 6) 伊藤正秀, 大島博: [原著] 良性胃疾患とその背景胃粘膜に関する検討 (特集). 消内視鏡の進歩, 31, 22~27, 1987.
- 7) 松久威史, 磯長光, 大島博: [原著] 噴門形態に影響する内視鏡的諸因子. 消内視鏡の進歩, 31, 123~127, 1987.

- 8) 磯長光, 花牟礼康生, 清水義人, 伊藤正秀, 松久威史, 大島博: [原著] 十二指腸ポリープの内視鏡的観察. 消内視鏡の進歩, 31, 221~225, 1987.
- 9) 倉禎二, 清水義人, 伊藤正秀, 高屋善章, 大島博: [報告] 頻回な内視鏡検査により発見された早期胃癌の4例. 消内視鏡の進歩, 31, 313~316, 1987.
- 10) 松久威史: [原著] 噴門と幽門の形態と機能に関する内視鏡的検討 (第1報). 噴門について. Gastroenterological Endoscopy, 30, 3~13, 1988.
- 11) 松久威史: [原著] 噴門と幽門の形態と機能に関する内視鏡的検討 (第2報). 噴門と幽門の関連性について. Gastroenterological Endoscopy, 30, 14~25, 1988.

## 著 書

- 1) 大島博: [分担] 老年者胃潰瘍. “最新消化性潰瘍要覧” (松尾裕監修), p.296~312, R&Dプランニング, 東京, 1987.

## 学会発表

- 1) 伊藤正秀, 松久威史, 清水義人, 大島博: [一般講演] 十二指腸の小隆起に関する内視鏡的, 生検病理学的検討; 十二指腸炎診断の観点から. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 2) 松久威史, 花牟礼康生, 磯長光, 大島博: [一般講演] 内視鏡的に検討した幽門の形態と機能. 第33回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 3) 倉禎二, 清水義人, 伊藤正秀, 高屋善章, 大島博: [一般講演] 胃内視鏡検査を繰り返した際に発見された早期胃癌4症例の検討. 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 4) 松久威史, 大島博: [一般講演] 噴門形態に影響する内視鏡的諸因子. 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 5) 花牟礼康生, 伊藤正秀, 清水義人, 大島博, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理): [一般講演] 特徴ある病理組織学的所見を伴った限局性胃病変の1例. 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 6) 磯長光, 花牟礼康生, 清水義人, 伊藤正秀, 松久威史, 大島博: [一般講演] 十二指腸ポリープの内視鏡的観察. 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 7) 伊藤正秀, 大島博: [シンポジウム] 良性胃疾患とその背景胃粘膜に関する検討. 第44回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 8) 清水義人, 伊藤正秀, 倉禎二, 松久威史, 花牟礼康生, 磯長光, 大島博, 須田信弘<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>物理): [一般講演] 胃生検採取片を用いたHe-Neレーザー光照射に関する基礎的研究. 第4回消化器レーザー内視鏡研究会, 1987.
- 9) 伊藤正秀, 大島博: [一般講演] 背景胃粘膜からみた良性胃疾患の生検病理学的検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 10) 磯長光, 花牟礼康生, 清水義人, 伊藤正秀, 松久威史, 大島博: [展示] 内視鏡的に診断した十二指腸ポリープの観察. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 11) 松久威史, 花牟礼康生, 大島博: [展示] 内視鏡的に検討した幽門の形態と胃運動について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 12) 清水義人, 倉禎二, 花牟礼康生, 伊藤正秀, 磯長光, 大島博: [展示] 直腸生検によりアミロイドーシスと診断した症例の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 13) 花牟礼康生, 伊藤正秀, 大島博, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理): [展示] 集簇型隆起性胃病変に類似した限局性隆起性胃病変の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.

- 14) 倉嶺二, 清水義人, 伊藤正秀, 高屋善章, 大島博: [展示] 早期胃癌 6 症例の内視鏡的逆追跡による検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 15) 松久威史, 大島博: [一般講演] 老年者の幽門形態に関する内視鏡的観察. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 16) 倉嶺二, 伊藤正秀, 松久威史, 大島博: [一般講演] 老年者における内視鏡的胃粘膜性状の検討; 胃内圧変動との関連において. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 17) 倉嶺二, 高塚務, 大島博, 吉川厚<sup>1)</sup>, 村川泰佑<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>目白病院外科, <sup>2)</sup>岩手県立花巻厚生病院外科): [一般講演] 最近経験した若年者結腸癌の1例. 第5回大腸検査法研究集会, 1987.
- 18) 倉嶺二, 伊藤正秀, 磯長光, 松久威史, 清水義人, 花牟礼康生, 大島博: [ポスター] 組織学的検索を中心とした胃黄色腫の検討. 第29回日本消化器病学会大会, 1987.
- 19) 伊藤正秀, 大島博: [シンポジウム] 良性胃疾患の背景胃粘膜に関する病理組織学的ならびに免疫組織学的検討. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 20) 松久威史, 大島博: [シンポジウム] 内視鏡的に検討した噴門と幽門の機能と形態について. 第34回日本消化器内視鏡学会総会, 1987.
- 21) 松久威史, 花牟礼康生, 磯長光, 高塚務, 角田誠之, 大島博: [一般講演] 幽門形態に関する内視鏡的検討; 胃運動能との関連性を含めて. 第45回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 22) 清水義人, 松久威史, 花牟礼康生, 角田誠之, 高塚務, 大島博: [一般講演] 胃内胆汁逆流と幽門形態に関する内視鏡的検討. 第45回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 23) 伊藤正秀, 大島博: [一般講演] 良性胃疾患の背景胃粘膜における粘膜内IgAの検討. 第45回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 24) 倉嶺二, 伊藤正秀, 大島博: [一般講演] 内視鏡検査時の胃内圧変化とたこいば胃炎. 第45回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 25) 花牟礼康生, 角田誠之, 高塚務, 磯長光, 松久威史, 大島博: [一般講演] 胃・十二指腸潰瘍の内視鏡所見と胃排出能の関連性について. 第45回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 1987.
- 26) 倉嶺二, 花牟礼康生, 清水義人, 磯長光, 高塚務, 角田誠之, 大島博: [一般講演] 胃内圧変化時における胃癌 (IIc様病変) の内視鏡像について. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 27) 松久威史, 伊藤正秀, 大島博, 西島重光<sup>1)</sup>, 大塚茂<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 渡辺一彦<sup>2)</sup>, 布施修一<sup>2)</sup>, 庄司佑<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第一病院産婦人科, <sup>2)</sup>第2外科): [一般講演] 妊娠に合併した胃癌の2症例; 内視鏡科の胃癌症例との比較を含めて. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 28) 松久威史, 伊藤正秀, 大島博, 西島重光<sup>1)</sup>, 大塚茂<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 渡辺一彦<sup>2)</sup>, 布施修一<sup>2)</sup>, 庄司佑<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第一病院産婦人科, <sup>2)</sup>第2外科): [一般講演] 妊娠に合併した胃癌の2症例. 第198回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 29) 松久威史, 花牟礼康生, 磯長光, 高塚務, 角田誠之, 清水義人, 大島博: [ポスター] 幽門および噴門形態に関する内視鏡的検討; 胃排出能との関連において. 第74回日本消化器病学会総会, 1988.

## [第二病院外科]

### 研究概要

今年の研究課題とその概要は次の5点.

1. 閉塞性黄疸時の胆汁うっ滞の発生機序に関する病理組織学的研究

第2病理浅野教授の指導のもとに行われたこの研究から, 閉塞性黄疸時における胆汁の病態生理学的変化に肝内胆管上皮細胞の機能もまた重要な役割を演じていることを裏づける所見に注目している.

## 2. 肺癌の外科的治療成績の検討

集団検診により発見されたものと、そうでないものとの2群に大別してみると、その病型、治療成績に異った特徴が見出されるところから、これらについて検討を行っている。

## 3. 重複癌の研究

同時性のもの、異時性のものともに最近その症例の増加が目につくことから、まず臨床的検討から始めたが、このうち特に異時性のものでは、第1癌の集学的治療を終了ないし中止した後、2～3年、あるいは数年以内に第2癌の発病をみるといった症例が何例もあり免疫学的観点からも掘り下げて検索すべき課題と考えている。

## 4. 早期胃癌の内視鏡像と病理組織像の検討

中国ウイグルより留学中のヌル医師の研究テーマとして取り上げたもので、内視鏡所見と切除標本の病理組織学的所見をレトロスペクティブに対比観察、その特徴を検索した。

## 5. 大腸のnon-Hodgkinリンパ腫の研究

頻度としては1教室で数例も経験すれば多いほどのものであるので、今回全国集計を試み95例のデーターを集めたので、これらをまとめ、臨床的特徴について検索した。

# 研究業績

## 論文

- 1) 原一郎, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝, 幕内雅敏<sup>1)</sup>, 高橋将<sup>2)</sup>, 松田正樹<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>国立がんセンター, <sup>2)</sup>都立墨東病院): [報告] 大理石骨病に原発性肝癌, 下咽頭癌, 肺線維症を合併した1症例. 外科診療, 28, 506~510, 1987.
- 2) 久吉隆郎, 三樹勝, 天野純治, 土屋喜哉, 田崎達也, 佐藤雅史<sup>1)</sup>, 篠原義智<sup>1)</sup>, 渡辺英之<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>1)</sup>, 難波亨<sup>2)</sup>, 吉田裕三<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院放射線科, <sup>2)</sup>国立立川病院, <sup>3)</sup>日本電気玉川事業所診療所): [報告] 集団検診で発見された肺癌症例に対する外科的治療の検討. 川崎市医師会医学会誌, 4, 16~19, 1987.
- 3) 久吉隆郎, 三樹勝, 天野純治, 土屋喜哉, 河島文幸, 松林博男, 田崎達也, 諏訪智治, 百束比古<sup>1)</sup>, 三神寛<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>形成外科): [報告] 胸骨切除を行った再発乳癌の2症例. 第10回神奈川癌治療懇話会抄録集, p.9~13, 1988.

## 学会発表

- 1) 土屋喜哉, 三樹勝, 桜井蔚生, 河島文幸, 葉山典泰, 天野純治, 田崎博也, 久吉隆郎, 望月功, 赤岩順, 原一郎, 平井真実, 田崎達也, 松林博男: [示説] Radiation Colitisの発生機序に関する臨床的, 並びに実験的研究. 第87回日本外科学会総会, 1987.
- 2) 山口裕史, 松林博男, 原一郎, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝: [一般講演] 虫垂切除術と術後イレウス. 第32回神奈川県消化器病研究会, 1987.
- 3) 田崎達也, 平野文也, 松林博男, 田崎博也, 平井真実, 原一郎, 河島文幸, 久吉隆郎, 赤岩順, 桜井蔚生, 望月功, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝: [一般講演] 胆管結石治療上の問題点. 第16回神奈川県消化器外科研究会, 1987.
- 4) 久吉隆郎, 平田正信, 田崎達也, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝, 佐藤雅史<sup>1)</sup>, 難波亨<sup>2)</sup>, 葉山典泰 (<sup>1)</sup>第二病院放射線科, <sup>2)</sup>国立立川病院): [一般講演] 集検で発見された25歳女性肺腺癌一切除例. 第89回日本肺癌学会関東部会, 1987.
- 5) 佐藤雅史<sup>1)</sup>, 福永淳<sup>1)</sup>, 鍛喜美恵<sup>1)</sup>, 篠原義智<sup>1)</sup>, 疋田史典<sup>1)</sup>, 渡辺英之<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>1)</sup>, 久吉隆郎, 三樹勝, 川並汪一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院放射線科, <sup>2)</sup>同病理部): [一般講演] 興味ある発育を示した空洞形成肺胞上皮癌の一例. 第89回日本肺癌学会関東部会, 1987.
- 6) 平野文也, 田崎達也, 平井真実, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝: [一般講演] 手術時の血液成分投与による重篤

- な合併症（急性腎不全）症例。第726回外科集談会，1987。
- 7) 久吉隆郎，平田正信，桜井蔚生，土屋喜哉，天野純治，三樹勝，佐藤雅史<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第二病院放射線科）：〔一般講演〕感染を合併した気腫性嚢胞の1切除例。第22回神奈川県感染症研究会，1987。
  - 8) 鍛喜美恵<sup>1)</sup>，佐藤雅史<sup>1)</sup>，福永淳<sup>1)</sup>，篠原義智<sup>1)</sup>，疋田史典<sup>1)</sup>，渡辺英之<sup>1)</sup>，山岸嘉彦<sup>1)</sup>，久吉隆郎，三樹勝（<sup>1)</sup>第二病院放射線科）：〔一般講演〕興味ある発育を示した空洞形成性肺胞上皮癌の1例。第55回日本医科大学医学学会総会，1987。
  - 9) 松本光司<sup>1)</sup>，原亨<sup>1)</sup>，浅野伍朗<sup>1)</sup>，三樹勝（<sup>1)</sup>第2病理）：〔一般講演〕肝内胆汁うっ滞の発生機序に関する病理学的研究。その3 減黄処置後の肝細胞の変化。第55回日本医科大学医学学会総会，1987。
  - 10) 努尔阿不都斯力木，三樹勝，天野純治，土屋喜哉，赤岩順，桜井蔚生，河島文幸，原一郎，平井真実，望月功，久吉隆郎，田崎博也，松林博男，田崎達也，川並汪一<sup>1)</sup>，原亨<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第二病院病理部，<sup>2)</sup>第2病理）：〔一般講演〕早期胃癌の内視鏡像と病理組織像の検討 第1報。第55回日本医科大学医学学会総会，1987。
  - 11) 平野文也，渡辺昌則，荒川薫，内藤英二，吉田宏，山口裕史，諏訪智治，久吉隆郎，平田正信，三樹勝：〔展示〕検診で発見された肺癌症例と非検診例の外科的治療成績の比較について。第55回日本医科大学医学学会総会，1987。
  - 12) 平川慶子<sup>1)</sup>，仁平信<sup>1)</sup>，林田真喜子<sup>1)</sup>，渡辺日章<sup>1)</sup>，菅原理二<sup>2)</sup>，田崎達也，三樹勝（<sup>1)</sup>法医，<sup>2)</sup>化学）：〔展示〕核磁気共鳴法（NMR）の幅広い医学への応用について。第55回日本医科大学医学学会総会，1987。
  - 13) 難波亨<sup>1)</sup>，葉山典泰，田崎達也，久吉隆郎，平田正信，土屋喜哉，天野純治，三樹勝，佐藤雅史<sup>2)</sup>，山岸嘉彦<sup>2)</sup>，川並汪一<sup>3)</sup>（<sup>1)</sup>国立立川病院，<sup>2)</sup>第二病院放射線科，<sup>3)</sup>同病理部）：〔展示〕切除後に脳転移を来した25歳女性肺腺癌の1例。第55回日本医科大学医学学会総会，1987。
  - 14) 久吉隆郎，田崎達也，平田正信，土屋喜哉，天野純治，三樹勝，佐藤雅史<sup>1)</sup>，山岸嘉彦<sup>1)</sup>，松本光司<sup>1)</sup>，難波亨<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第二病院放射線科，<sup>2)</sup>同病理，<sup>3)</sup>国立立川病院）：〔展示〕low grade malignancyを呈した肺mucoepidermoid carcinomaの1例。第55回日本医科大学医学学会総会，1987。
  - 15) 渡辺昌則，久吉隆郎，河島文幸，土屋喜哉，天野純治，三樹勝，黒河内三郎<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>黒河内外科）：〔一般講演〕胃捻転胸腔内脱出を合併した外傷性横隔膜破裂の一手術例。第59回神奈川県臨床外科医学会集談会，1987。
  - 16) 太田吉男<sup>1)</sup>，大庭孝男<sup>1)</sup>，川並汪一<sup>1)</sup>，三樹勝，久吉隆郎（<sup>1)</sup>第二病院病理部）：〔一般講演〕胸腺原発カルテノイド捺印細胞診。第26回日本臨床細胞学会秋期大会学術講演会，1987。
  - 17) 天野純治，松林富士男<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>ブラザ記念病院）：〔シネクリニク〕胃全摘後の再建術式としての非開放性空腸間置術。第49回日本臨床外科医学会総会，1987。
  - 18) 天野純治，三樹勝，赤岩順，望月功，河島文幸，久吉隆郎，吉田宏，諏訪智治：〔一般講演〕難治性乳輪下膿瘍（乳管瘻）の組織学的検討。第49回日本臨床外科医学会総会，1987。
  - 19) 望月功，原亨<sup>1)</sup>，麦谷圭一郎<sup>2)</sup>，松林博男，土屋喜哉，天野純治，三樹勝（<sup>1)</sup>第2病理，<sup>2)</sup>第2生化）：〔一般講演〕胃全摘後の再建術式の検討。第49回日本臨床外科医学会総会，1987。
  - 20) 久吉隆郎，田崎達也，赤岩順，土屋喜哉，天野純治，三樹勝，難波亨<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>国立立川病院）：〔一般講演〕集団検診で発見された肺癌症例に対する外科的治療と予後について。第49回日本臨床外科医学会総会，1987。
  - 21) 黒田亮平<sup>1)</sup>，喜多島豊三<sup>1)</sup>，植田利貞<sup>1)</sup>，中嶋雅彦<sup>1)</sup>，難波亨<sup>1)</sup>，葉山典泰，小島強<sup>1)</sup>，山形博輝<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>国立立川病院）：〔一般講演〕選択的乳管腺葉切除術における円筒メスの試用経験。第42回国立病院療養所総合医学会，1987。
  - 22) 喜多島豊三<sup>1)</sup>，植田利貞<sup>1)</sup>，中嶋雅彦<sup>1)</sup>，難波亨<sup>1)</sup>，黒田亮平<sup>1)</sup>，小泉強<sup>1)</sup>，葉山典泰，山形基天<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>国立立川病院）：〔一般講演〕乳癌手術前後における患側上肢のリンパ系動態機能検査について 第2報。第42回国立病院療養所総合医学会，1987。
  - 23) 渡辺昌則，吉田宏，諏訪智治，望月功，河島文幸，原亨<sup>1)</sup>，原一郎，土屋喜哉，天野純治，三樹勝（<sup>1)</sup>第2病理）：〔一般講演〕本院における過去10年間の潰瘍性大腸炎の検討。第20回神奈川県消化器病医学会総会，1987。

- 24) 荒川薫, 山口裕史, 田崎達也, 赤岩順, 原亨<sup>1)</sup>, 平井真実, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝<sup>(1)第2病理</sup>): [一般講演] クローン病の内視鏡的, レントゲンの経過観察. 第20回神奈川県消化器病医学会総会, 1987.
- 25) 内藤英二, 平野文也, 松林博男, 原亨<sup>1)</sup>, 田崎博也, 桜井蔚生, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝<sup>(1)第2病理</sup>): [一般講演] 結腸に発生した嚢胞性疾患3例. 第20回神奈川県消化器病医学会総会, 1987.
- 26) 難波亨<sup>1)</sup>, 田崎達也, 久吉隆郎, 平田正信, 三樹勝, 佐藤雅史<sup>2)</sup>, 山岸嘉彦<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>国立立川病院, <sup>2)</sup>第二病院放射線科): [展示] 若年者肺癌8切除例の検討. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 27) 久吉隆郎, 田崎達也, 平田正信, 三樹勝, 難波亨<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立立川病院): [一般講演] 肺癌との重複癌手術症例の検討. 第28回日本肺癌学会総会, 1987.
- 28) 吉田宏, 原亨<sup>1)</sup>, 久吉隆郎, 望月功, 赤岩順, 桜井蔚生, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝<sup>(1)第2病理</sup>): [一般講演] 大腸穿孔11例の臨床的検討. 第42回日本大腸肛門病学会総会, 1987.
- 29) 赤岩順, 吉田宏, 原亨<sup>1)</sup>, 難波亨<sup>2)</sup>, 久吉隆郎, 原一郎, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝<sup>(1)第2病理</sup>, <sup>2)</sup>国立立川病院): [一般講演] 大腸悪性リンパ腫全国集計95例の検討. 第42回日本大腸肛門病学会総会, 1987.
- 30) 荒川薫, 渡辺昌則, 内藤英二, 平野文也, 山口裕史, 吉田宏, 田崎達也, 原亨<sup>1)</sup>, 麦谷圭一郎<sup>2)</sup>, 松林博男, 田崎博也, 久吉隆郎, 望月功, 原一郎, 平井真実, 河島文幸, 赤岩順, 桜井蔚生, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝, 松林富士男<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理, <sup>2)</sup>第2生化, <sup>3)</sup>プラザ記念病院): [一般講演] 胃十二指腸潰瘍穿孔に対する松林式大網移植術とその臨床的意義. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 31) 桜井蔚生, 吉田宏, 望月功, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝, 原亨<sup>1)</sup>, 川並汪一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院病理部): [一般講演] 穿孔をきたした多発性非特異性小腸潰瘍の1治験例. 第727回外科集談会, 1987.
- 32) 久吉隆郎, 平野文也, 平田正信, 天野純治, 三樹勝, 原文男<sup>1)</sup>, 後藤雅史<sup>2)</sup>, 山岸嘉彦<sup>2)</sup>, 難波亨<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院内科, <sup>2)</sup>同放射線科, <sup>3)</sup>国立立川病院): [一般講演] 胸腺カルチノイドの二切除例. 第90回日本肺癌学会関東部会, 1987.
- 33) 久吉隆郎, 松本光司<sup>1)</sup>, 赤岩順, 平田正信, 天野純治, 三樹勝<sup>(1)第2病理</sup>): [一般講演] 診断に難渋した胸壁原発性多発性骨髄腫の1例. 第64回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 1987.
- 34) 久吉隆郎, 難波亨<sup>1)</sup>, 平田正信, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝, 佐藤雅史<sup>2)</sup>, 篠原義智<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>国立立川病院, <sup>2)</sup>第二病院放射線科): [一般講演] 若年者の肺癌手術症例の検討. 第5回川崎市医師会医学会, 1988.
- 35) 福永淳<sup>1)</sup>, 鍛喜美恵<sup>1)</sup>, 高岩成光<sup>1)</sup>, 疋田史典<sup>1)</sup>, 佐藤雅史<sup>1)</sup>, 渡部英之<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>1)</sup>, 望月功, 山口裕史, 平井真実, 三樹勝<sup>(1)第二病院放射線科</sup>): [一般講演] 大腸癌に伴う炎症性変化について; X線像を中心に. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 36) 久吉隆郎, 難波亨<sup>1)</sup>, 望月功, 赤岩順, 平田正信, 天野純治, 三樹勝, 原文男<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>国立立川病院, <sup>2)</sup>第二病院内科): [一般講演] 胸腺カルチノイドの2切除例について. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 37) 赤岩順, 三樹勝, 天野純治, 土屋喜哉, 桜井蔚生, 河島文幸, 原一郎, 平井真実, 望月功, 久吉隆郎, 田崎博也, 松林博男, 山口裕史, 吉田宏: [一般講演] 大腸 non-Hodgkin Lymphoma; 全国集計よりみた95例の検討. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 38) 天野純治, 三樹勝, 赤岩順, 桜井蔚生, 河島文幸, 原一郎, 望月功, 久吉隆郎, 松林富士男<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>プラザ記念病院): [ワークショップ] ストーマ設置に際しての工夫, われわれが行っている新しい Closed Skin Level Colostomy とその経過. 第31回日本消化器外科学会総会, 1988.
- 39) 努尔阿不都斯力木, 久吉隆郎, 河島文幸, 赤岩順, 土屋喜哉, 天野純治, 三樹勝: [一般講演] 同一病巣内に共存せる胃早期癌と平滑筋肉腫の一例. 第728回外科集談会, 1988.
- 40) 森川哲行<sup>1)</sup>, 鍛喜美恵<sup>1)</sup>, 佐藤雅史<sup>1)</sup>, 福永淳<sup>1)</sup>, 高岩成光<sup>1)</sup>, 疋田史典<sup>1)</sup>, 渡部英之<sup>1)</sup>, 山岸嘉彦<sup>1)</sup>, 久吉隆郎, 平田正信, 川並汪一<sup>2)</sup>, 岩本正彦<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院放射線科, <sup>2)</sup>同病理, <sup>3)</sup>同内科): [一般講演] 抹消にBOP様病

変を合併した肺門部扁平上皮癌の1例. 第91回日本肺癌学会関東部会, 1988.

- 41) 久吉隆郎, 難波亨<sup>1)</sup>, 田崎達也, 田崎博也, 赤岩順, 平田正信, 天野純治, 三樹勝, 佐藤雅史<sup>2)</sup>, 篠原義智<sup>2)</sup>  
(<sup>1)</sup>国立立川病院, <sup>2)</sup>第二病院放射線科): [一般講演] 虫垂炎で発見された同時性盲腸・肺重複癌の1切除例.  
第91回日本肺癌学会関東部会, 1988.

## 11. 脳神経外科学講座

### 研究概要

当教室の研究題目は、①悪性脳腫瘍の治療法の開発、②重症頭部外傷の病態の究明、③急性期脳血管障害の病態の究明に3大別される。

本年も大体このプロジェクトに沿った研究が行われ、国内、国際学会での発表を行い、特に国際学会における発表に重点をおいてきた。

悪性脳腫瘍の新治療法には、長年行ってきた制癌剤の局所注入療法に加え、今年度より、モノクローナル抗体による治療法の研究が、基礎実験をふまえて出発した。今後この方面に主力が注がれる予定である。

重症頭部外傷の病態については、ここ数年間当教室で行ってきた diffuse axonal injury, talk and die, delayed traumatic intracerebral hematoma の病態の解明が進展し、それぞれ多大の成果を上げた。

急性期脳血管障害の病態の究明に関しては、高血圧性脳出血の血腫吸引療法の症例を集積すると同時に、Thalamus, Midbrain, Pons の出血症例の臨床症状の正確な把握と、聴性脳幹反応やSEP等を駆使した脳幹の生理機能の解明に力を注いでいる。また、これに関連して、脳死症例の脳幹反応の検査への応用や、内分泌機構の特異性等を検討している。

その他小児脳神経外科学、てんかんの外科疼痛、脊髄外科等に対しても、各症例の報告を通して究明が続けられている。

### [付属病院脳神経外科]

#### 研究業績

#### 論文

- 1) 野手洋治, 辻之英, 中沢省三: [報告] 頭蓋穿通創の1例. 救急医, 11, 641~643, 1987.
- 2) 小林士郎, 山本保博, 大塚敏文, 中沢省三: [原著] 脳室ドレナージ; Coronal marking methodの開発. 日医新報, No.3239, 37~40, 1987.
- 3) Matsuura, H., Ikeda, Y., Imai, H. and Nakazawa, S.: [原著] Selective changes of blood flow in experimental brain tumor with induced hypertension. Surg. Neurol., 27, 433~436, 1987.
- 4) 池田幸穂, 安久津靖彦, 中沢省三: [原著] Sturge-Weber 病のMRI像. CT研究, 9, 234~235, 1987.
- 5) 志村俊郎, 平野朝雄, 小野道夫, Llana, J. F., 竹下岩男, 中沢省三: [原著] 頭蓋内 Neuroectodermal cyst の電子顕微鏡学的および免疫組織学的検討. 小児の脳神, 12, 179~184, 1987.
- 6) 横田裕行, 中沢省三: [原著] 人口呼吸器と呼吸管理. Brain Nursing, 3, 691~698, 1987.
- 7) 横田裕行, 中沢省三, 松本正博, 小林士郎: [原著] 脳静脈血栓症における Digital Subtraction Angiography の意義. CT研究, 9, 441~447, 1987.
- 8) 諫山和男, 中沢省三, 小林士郎, 横田裕行, 池田幸穂, 矢嶋浩三, 矢埜正実, 大塚敏文: [原著] 軽度意識障害から急激に悪化する頭部外傷例のCT像; Talk and Deteriorate を中心として. CT研究, 9, 449~455, 1987.
- 9) 村山亨一, 中沢省三, Huang, Y. P.: [原著] AIDS の中枢神経障害; CT所見を中心に. 日医新報, No.3311, 26~29, 1987.
- 10) 今屋久俊: [原著] ラット脾細胞から誘発されるLAK細胞の研究; 9L - glioma に対する抗腫瘍効果について. 日医大誌, 54, 479~484, 1987.
- 11) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 慢性脳損傷; 治療と結果. Neurosurgeons, 6, 27~32, 1987.



- 12) 池田幸穂, 松浦浩, 中沢省三: [原著] 急性期頭部外傷における免疫能の変動; 急性相反応蛋白, 補体活性を中心として. 脳神経, 39, 1111~1115, 1987.
- 13) 野手洋治, 中沢省三, 矢嶋浩三, 辻之英: [原著] 重症頭部外傷急性期における体性感覚誘発電位; 聴性脳幹反応および脳波の臨床的意義. 神経外傷, 10, 89~94, 1987.
- 14) 志村俊郎, 中沢省三, 小林士郎, 横田裕行, 大塚敏文, 向井敏二, 中村俊彦: [原著] Diffuse axonal injury 3 剖検所見と serial CT scan との対比検討. 神経外傷, 10, 232~236, 1987.
- 15) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 頭部外傷の分類. 月刊消防, 10, 52~57, 1988.
- 16) 野手洋治, 辻之英, 中沢省三: [報告] 頭部貫通銃創の 1 例, 救急医, 12, 99~101, 1988.
- 17) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 頭部外傷患者の現場での診断, 処置および搬送. 月刊消防, 10, 64~70, 1988.
- 18) Takahashi, H., Nakazawa, S., Yoshino, Y. and Shimura, T.: [原著] Metabolic studies of the edematous cerebral cortex of the pyridoxamine-treated thiamine-deficient rat. Brain Res., 441, 202~208, 1988.
- 19) 小林士郎, 中沢省三: [報告] 米国における六年制医学教育の現状. 日医新報, No.3331, 91~93, 1988.
- 20) 小林士郎, 中沢省三: [総説] 頭蓋軟部損傷・頭蓋骨折. 月刊消防, 10, 65~74, 1988.
- 21) 坪川孝志, 平川公義, 中沢省三: [総説] 最近の頭部外傷をめぐって. Clinical Neuroscience, 6, 434~446, 1988.

## 著 書

- 1) 小林士郎, 中沢省三: [分担] 頭部外傷・救急医学. “看護のための臨床医学体系 20”, p.238~255, 情報開発研究所, 1988.
- 2) 小林士郎: [分担] 盾状状態. “精神神経科マニュアル” (柏瀬宏隆編), p.39~45, 朝倉書店, 1988.
- 3) 小林士郎: [分担] けいれん状態. “精神神経科マニュアル” (柏瀬宏隆編), p.45~48, 朝倉書店, 1988.
- 4) 小林士郎: [分担] 失神状態. “精神神経科マニュアル” (柏瀬宏隆編), p.48~51, 朝倉書店, 1988.

## 学会発表

- 1) 大井玄<sup>1)</sup>, 寺尾浩明<sup>1)</sup>, 福富和夫<sup>2)</sup>, 中沢省三 (<sup>1)</sup>帝京大医学部公衆衛生学, <sup>2)</sup>国立公衆衛生院衛生統計学部): [一般講演] 植物人間人口の将来予測. 第57回日本衛生学会総会, 1987.
- 2) 喜多村孝幸, 小林士郎, 岡田卓郎, 中沢省三, 黒川顕<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>CCM): [一般講演] 頭部外傷による外減圧開頭術々後管理における経時的超音波診断の有用性. 第10回日本神経外傷研究会, 1987.
- 3) 野手洋治, 矢嶋浩三, 中沢省三, 辻之英<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>目白第二病院脳神経外科): [一般講演] 重症頭部外傷急性期における体性感覚誘発電位, 聴性脳幹反応および脳波の臨床的意義. 第10回日本神経外傷研究会, 1987.
- 4) 横田裕行, 岡田卓郎, 葛原正昭, 小林士郎, 矢嶋浩三, 中沢省三, 山本保博<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup>, 矢埜正実<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>CCM, <sup>2)</sup>麻酔科): [一般講演] 遅発性外傷性小脳内血腫の検討. 第10回日本神経外傷研究会, 1987.
- 5) 矢嶋浩三, 横田裕行, 小林士郎, 中沢省三, 大塚敏文<sup>1)</sup>, 辻之英<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>CCM, <sup>2)</sup>目白第二病院脳神経外科): [一般講演] 後頭部および小脳後面に高吸収域を示した頭部外傷例の検討. 第10回日本神経外傷研究会, 1987.
- 6) 志村俊郎, 中沢省三, 小林士郎, 大塚敏文<sup>1)</sup>, 向井敏二<sup>2)</sup>, 中村俊彦<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>CCM, <sup>2)</sup>東京都監察医務院): [一般講演] Diffuse Axonal injury の病理学的検討; 5剖検所見と serial CT scan の対比. 第10回日本神経外傷研究会, 1987.
- 7) 小林士郎: [セミナー] 重症頭部外傷の治療. 第7回日本神経外科コンgres, 1987.
- 8) Node, Y. and Nakazawa, S.: [Symposium] The value of somatosensory evoked potential in the acute cerebrovascular diseases. International Symposium on Surgery for Cerebral Stroke (Sendai), 1987.
- 9) Node, Y. and Nakazawa, S.: [Symposium] Clinical examination of the somatosensory Evoked

- potential (SEP), auditory brainstem response (ABR), and electroencephalography (EEG), with ruptured cerebral aneurysm in the acute stage. International Symposium on Surgery for Cerebral Stroke (Sendai), 1987.
- 10) Node, Y. and Nakazawa, S.: [Symposium] Serial dynamic CT scan in the patients with acute basal ganglia infarction. International Symposium on Surgery for Cerebral Stroke (Sendai), 1987.
  - 11) 野手洋治, 横田裕行, 中沢省三, 辻之英<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>目白第二病院脳神経外科): [一般講演] 脳底動脈閉塞症急性期における経時的体性感覚誘発電位および聴性脳幹反応測定の臨床的検討. 第28回日本神経学会総会, 1987.
  - 12) 喜多村孝幸<sup>1)</sup>, 藤田安一郎<sup>1)</sup>, 原田一<sup>1)</sup>, 佐藤隆<sup>1)</sup>, 中沢省三 (<sup>1)</sup>第2生理): [一般講演] 脊髄運動細胞における樹状突起の機能について; 発達・記憶に関する実験的・電気生理学的研究. 第28回日本神経学会総会, 1987.
  - 13) 志村俊郎, 中沢省三: [一般講演] 右頭頂葉に発生した石灰化を伴った gliomesenchymal tumor の1生検例. 第28回日本神経病理学会総会, 1987.
  - 14) 橋本清<sup>1)</sup>, 藤田武久<sup>1)</sup>, 矢嶋浩三, 古野正伸<sup>2)</sup>, 小越丈夫<sup>2)</sup>, 河村弘康<sup>3)</sup>, 佐藤順一<sup>4)</sup>, 森松義雄<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>小児科, <sup>2)</sup>下館市民病院小児科, <sup>3)</sup>同脳外科, <sup>4)</sup>東京都神経研病理): [一般講演] 大脳白質, 基底核, 視床に主座を有し強いアストログリアの反応を示す慢性炎症の1例. 第28回日本神経病理学会総会, 1987.
  - 15) 志村俊郎, 中沢省三, 喜多村孝幸, 野手洋治, 山田宣孝<sup>1)</sup>, 浅野伍郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>病理): [一般講演] Mixed glioma 4症例の臨床病理学的検討; 成人例と小児例を対比して. 第5回日本脳腫瘍病理研究会, 1987.
  - 16) 野手洋治, 中沢省三, 辻之英<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>目白第二病院脳神経外科): [一般講演] 高血圧性被殻出血重症例における体性感覚誘発電位, 聴性脳幹反応および脳波の臨床的検討. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 17) 村山亨一, 吉田大蔵, 安久津靖彦, 横田裕行, 岡田卓郎, 志村俊郎, 中沢省三: [一般講演] Massive cerebral hemorrhage をくり返した cerebral amyloid angiopathy の2症例. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 18) 野手洋治, 中沢省三, 辻之英<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>目白第二病院脳神経外科): [一般講演] 破裂脳動脈瘤重症例の検討; SEP, ABR および脳波を中心に. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 19) 矢嶋浩三, 中沢省三, 村山亨一, 諫山和男: [一般講演] Sylvian Hematoma の検討. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 20) 辻之英<sup>1)</sup>, 伊藤保博<sup>1)</sup>, 秋山克彦<sup>1)</sup>, 矢嶋浩三 (<sup>1)</sup>目白第二病院脳神経外科): [一般講演] Posterior circulation の破裂脳動脈瘤急性期外科的治療成績; 急性期搬入症例に於ける Anterior 及び Posterior circulation 破裂脳動脈瘤治療成績二比較検討. 第12回日本脳卒中学会総会, 1987.
  - 21) 岡田卓郎, 野手洋治, 中沢省三, 田代真一<sup>1)</sup>, 石川紀行<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1外科): [一般講演] 食道癌より転移した頭蓋骨腫瘍の一例. 第26回日本脳神経外科学会関東地方会, 1987.
  - 22) 今屋久俊, 中沢省三, 松浦浩<sup>1)</sup>, 工藤玄恵<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>津田沼中央病院脳神経外科, <sup>2)</sup>東邦大学医学部病理): [一般講演] 9L - glioma 担腫瘍ラットにおける Natural Killer 活性の変化. 第15回日本臨床免疫学会総会, 1987.
  - 23) 中沢省三: [一般講演] 遅発性外傷性脳内血腫の病態. 第13回新潟脳神経外科懇話会, 1987.
  - 24) Nakazawa, S., Kobayashi, S. and Ishigooka, S.: [一般講演] Epidemiological studies on patients with vegetative state in Japan. 8th European Congress of Neurosurgery (Barcelona), 1987.
  - 25) Nakazawa, S., Kobayashi, S. and Okada, T.: [一般講演] The significance of delayed traumatic intracerebral hematoma. 8th European Congress of Neurosurgery (Barcelona), 1987.
  - 26) Node, Y. and Nakazawa, S.: [一般講演] The value of somatosensory evoked potential (SEP), auditory brainstem response (ABR) and electroencephalography (EEG) with subarachnoid hemorrhage in the acute stage. 8th European Congress of Neurosurgery (Barcelona), 1987.
  - 27) Node, Y. and Nakazawa, S.: [一般講演] Clinical significance of the somatosensory evoked potential (SEP) and

- auditory brainstem response (ABR) in the patients with severe head injuries. 8th European Congress of Neurosurgery (Barcelona), 1987.
- 28) Shimura, T., Nakazawa, S., Kobayashi, S. and Nakamura, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Tokyo Metropolitan Government Medical Examiner's Office) : [一般講演] Clinicopathological studies of diffuse axonal injury. 8th European Congress of Neurosurgery (Barcelona), 1987.
  - 29) Shimura, T. and Nakazawa, S. : [一般講演] Clinicopathological studies on local injection of adriamycin for primary malignant glioma; Eight rebiopsy cases. 8th European Congress of Neurosurgery (Barcelona), 1987.
  - 30) Murayama, K., Huang, Y. P.<sup>1)</sup>, Shimura, T. and Nakazawa, S. (<sup>1)</sup>Dept. of Radiology, Mt. Sinai Medical Center) : [一般講演] CT findings of AIDS. 8th European Congress of Neurosurgery (Barcelona), 1987.
  - 31) 岡田卓郎, 中沢省三, 小林士郎, 今屋久俊, 横田裕行 : [一般講演] 遅発性外傷性脳内血腫の臨床的検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1979.
  - 32) 喜多村孝幸<sup>1)</sup>, 松本正博<sup>1)</sup>, 石郷岡聡<sup>1)</sup>, 中沢省三 (<sup>1)</sup>多摩水山病院脳神経外科) : [一般講演] 頭部外傷例における<sup>123</sup>I-IMPによる脳血流シンチグラムの意義. 第55回日本医科大学医学会総会, 1979.
  - 33) 葛原正昭<sup>1)</sup>, 北村恭子<sup>1)</sup>, 中江純夫<sup>2)</sup>, 中沢省三 (<sup>1)</sup>目白第三病院脳神経外科, <sup>2)</sup>同CCM) : [一般講演] 高血圧性脳内血腫に対するCT誘導下電位的血腫吸収除去術の経験. 第55回日本医科大学医学会総会, 1979.
  - 34) 村山享一 : [特別講演] AIDSの中樞神経障害; CT所見を中心に. 第55回日本医科大学医学会総会, 1979.
  - 35) 吉田大蔵, 志村俊郎, 中沢省三 : [展示] 悪性脳腫瘍に対する局注療法の治療効果. 第55回日本医科大学医学会総会, 1979.
  - 36) 小南修史, 村山享一, 中沢省三 : [展示] 脳腫瘍の perifocal edema におけるCT scanとMRIの比較検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1979.
  - 37) 清水澄江, 野手洋治, 吉田大蔵, 志村俊郎, 村山享一, 中沢省三, 西松能子<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>神経科) : [展示] 脳内出血を繰り返した脳腫瘍の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1979.
  - 38) 佐々木光由, 吉田大蔵, 伊藤保博, 中沢省三 : [展示] 傍 Locked-in Syndrome を呈した1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1979.
  - 39) 山下陽一, 野手洋治, 水成隆之, 矢嶋浩三, 中沢省三 : [展示] 下垂体腫瘍と脳動脈瘤を合併した1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1979.
  - 40) 栗屋栄, 岡田卓郎, 村山享一, 志村俊郎, 中沢省三 : [展示] 若年者内頸動脈閉塞症の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1979.
  - 41) 葛原正昭<sup>1)</sup>, 北村恭子<sup>1)</sup>, 中江純夫<sup>2)</sup>, 中沢省三 (<sup>1)</sup>目白第三病院脳神経外科, <sup>2)</sup>同CCM) : [展示] 脳動脈瘤破裂後のアラキドン酸代謝. 第55回日本医科大学医学会総会, 1979.
  - 42) 北村恭子<sup>1)</sup>, 葛原正昭<sup>1)</sup>, 中江純夫<sup>2)</sup>, 中沢省三 (<sup>1)</sup>目白第三病院脳神経外科, <sup>2)</sup>同CCM) : [展示] 視床出血における予後不良因子としてのCTおよび臨床所見. 第55回日本医科大学医学会総会, 1979.
  - 43) 志村俊郎, 今屋久俊, 池田幸穂, 中沢省三 : [一般講演] 脳内 calcified Vascular hamartoma の1例. 第27回日本脳神経外科学会関東地方会, 1987.
  - 44) 安久津靖彦<sup>1)</sup>, 清水匡訓<sup>1)</sup>, 陳茂楠<sup>1)</sup>, 工藤玄恵<sup>2)</sup>, 中沢省三 (<sup>1)</sup>佼成病院脳神経外科, <sup>2)</sup>同病理) : [一般講演] 視交叉部繊維毛上皮腫の1剖検例. 第27回日本脳神経外科学会関東地方会, 1987.
  - 45) 喜多村孝幸, 中沢省三, 藤田安一郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2生理) : [一般講演] 樹状突起機能と発達・記憶に関する電気生理学的研究; 成兎及び幼若ブタの脊髄運動細胞において. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.
  - 46) 野手洋治, 矢嶋浩三, 中沢省三 : [一般講演] 重症頭部外傷急性期における体性感覚誘発電位, 聴性脳幹反応お

よび脳波の経時的測定. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.

- 47) 横田裕行, 水成隆之, 小林士郎, 矢嶋浩三, 中沢省三, 山本保博<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>CCM) : [一般講演] 外傷性後頭蓋窩病変の検討; 小脳内血腫に関して. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.
- 48) 横田裕行, 小林士郎, 志村俊郎, 中沢省三, 山本保博<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>CCM) : [一般講演] 脳死患者における視床下部下垂体機能. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.
- 49) 高橋弘, 中沢省三, Sutton, L.N.<sup>1)</sup>, Shut, L.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Childrens Hospital of Philadelphia, University of Pennsylvania) : [一般講演] 抗上皮成長因子受容体モノクローナル抗体を用いた移植ヒト悪性グリオーマのradioimmunodetectionおよびradioimmuno-therapy. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.
- 50) 諫山和男, 小林士郎, 横田裕行, 岡田卓郎, 中沢省三, 大塚敏文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>CCM) : [一般講演] 急性期頭部外傷の問題点 (第2報). “talk and die” 症例における老年者と若年者との比較検討. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.
- 51) 村山幸一, 中沢省三, Huang, Y.P.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Mt. Sinai Medical Center, Radiology Section) : [一般講演] AIDS中枢合併症患者のMalignant LymphomaとToxoplasma Abscess (Granuloma) のCTスキャンの特徴について. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.
- 52) 葛原正昭<sup>1)</sup>, 北村恭子<sup>1)</sup>, 中江純夫<sup>2)</sup>, 中沢省三 (<sup>1)</sup>目白第三病院脳神経外科, <sup>2)</sup>同CCM) : [一般講演] 高血圧性脳内血腫に対する定位的血腫吸引除去術の有効性と手術合併症. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.
- 53) 辻之英<sup>1)</sup>, 伊藤博保<sup>1)</sup>, 秋山克彦<sup>1)</sup>, 矢嶋浩三 (<sup>1)</sup>目白第二病院脳神経外科) : [一般講演] Anterior及びPosterior Circulation 破裂脳動脈瘤治療成績の比較検討. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.
- 54) Node, Y. and Nakazawa, S. : [一般講演] Clinical study of mannitol and glycerol on the raised intracranial pressure (ICP) and on their rebound phenomenon. Triennial Meeting of the International Society for the Study of Brain Edema (Baltimore), 1987.
- 55) Node, Y. and Nakazawa, S. : [一般講演] Clinical study of potassium canrenoate (C-K) of the raised intracranial pressure (ICP). Triennial Meeting of the International Society for the Study of Brain Edema (Baltimore), 1987.
- 56) Kobayashi, S., Nakazawa, S. and Yano, M.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>CCM) : [一般講演] Subarachnoid catheter method; New method of monitoring of intracranial pressure. video library. 37th Annual Meeting of the Congress of Neurological Surgeons (Baltimore), 1987.
- 57) 野手洋治, 矢嶋浩三, 中沢省三, 辻之英<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>目白第二病院脳神経外科) : [一般講演] 重症頭部外傷急性におけるABR, SEPおよびEEGの経時的測定. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 58) 諫山和男, 小林士郎, 横田裕行, 岡田卓郎, 中沢省三, 大塚敏文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>CCM) : [一般講演] 急性期頭部外傷におけるtalk and die症例の検討. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 59) 志村俊郎, 喜多村孝幸, 清水澄江, 松本正博, 中沢省三 : [一般講演] CT scan 上脳血管障害と鑑別が困難であった悪性脳腫瘍の臨床病理学的検討. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 60) 辻之英<sup>1)</sup>, 伊藤博保<sup>1)</sup>, 秋山克彦<sup>1)</sup>, 矢嶋浩三 (<sup>1)</sup>目白第二病院脳神経外科) : [一般講演] 高血圧性被殻出血の急性期治療方針. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 61) 横田裕行<sup>1)</sup>, 山本保博<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup>, 小林士郎, 志村俊郎, 中沢省三 (<sup>1)</sup>CCM) : [シンポジウム] 脳死患者における視床下部; 下垂体機能の検討 - 脳死は全脳死か. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 62) Node, Y. and Nakazawa, S. : [一般講演] Clinical significance of the somatosensory evoked potentials; Auditory brainstem response and electroencephalography in the patients with acute head injuries. 4th General Meeting of Pan-Pacific Surgical Association, Japan Chapter, 1987.

- 63) 水成隆之, 横田裕行, 矢嶋浩三, 中沢省三, 木村昭夫<sup>1)</sup>, 小井土雄一<sup>1)</sup>, 黒川顕<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>CCM) :  
〔一般講演〕外傷性小脳内血腫の手術適応に関して. 日本医科大学医学会第63会例会, 1979.
- 64) 北村恭子, 野手洋治, 葛原正昭, 中沢省三 : 〔一般講演〕視床出血に対する診断と予後. 日本医科大学医学会第63回例会, 1979.
- 65) 猪鹿倉恭子, 岡田卓郎, 矢嶋浩三, 中沢省三, 南史朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第3内科) : 〔一般講演〕特発性血小板減少性紫斑病に合併した両側慢性硬膜下血腫の1例. 第28回日本脳神経外科学会関東地方会, 1987.
- 66) 葛原正昭, 猪鹿倉恭子, 清水澄江, 中沢省三, 中江純夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>目白第三病院CCM) : 〔一般講演〕老年者慢性硬膜下血腫における卒中型の意義. 第1回老年脳神経外科研究会, 1988.
- 67) 横田裕行, 水成隆之, 諫山和男, 小林士郎, 中沢省三, 黒川顕<sup>1)</sup>, 山本保博<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>CCM) : 〔一般講演〕高齢者頭部外傷の特徴; 予後不良とする因子について. 第1回老年脳神経外科研究会, 1988.
- 68) 葛原正昭, 猪鹿倉恭子, 矢嶋浩三, 中沢省三, 中江純夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>目白第三病院CCM) : 〔一般講演〕老年者高血圧性脳内血腫に対するCT誘導下定位的血腫吸引除去術の経験. 第1回老年脳神経外科研究会, 1988.
- 69) 猪鹿倉恭子, 中沢省三, 葛原正昭<sup>1)</sup>, 中江純夫<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>目白第三病院脳神経外科, <sup>2)</sup>同CCM) : 〔一般講演〕天幕上開頭術後に発生した小脳内血腫の1例. 第24回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 70) 葛原正昭<sup>1)</sup>, 中江純夫<sup>2)</sup>, 中沢省三 (<sup>1)</sup>目白第三病院脳神経外科, <sup>2)</sup>同CCM) : 〔一般講演〕脳動脈瘤破裂後のアラキドン酸代謝. 第24回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 71) 清水澄江<sup>1)</sup>, 葛原正昭<sup>1)</sup>, 中江純夫<sup>2)</sup>, 中沢省三 (<sup>1)</sup>目白第三病院脳神経外科, <sup>2)</sup>同CCM) : 〔一般講演〕劇症型慢性硬膜下血腫. 第24回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 72) 岡田卓郎, 村山享一, 志村俊郎, 矢嶋浩三, 中沢省三 : 〔一般講演〕難治性てんかんで発症した脳腫瘍の1例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 73) 小南修史, 猪鹿倉恭子, 村山享一, 志村俊郎, 中沢省三 : 〔一般講演〕頭蓋内に発生した malignant fibrous histiocytoma の1例. 第29回日本脳神経外科学会関東地方会, 1988.
- 74) 清水匡訓<sup>1)</sup>, 足立好司<sup>1)</sup>, 陳茂楠<sup>1)</sup>, 安久津靖彦, 中沢省三 (<sup>1)</sup>佼成病院脳神経外科) : 〔一般講演〕小児脳梗塞の2例. 第29回日本脳神経外科学会関東地方会, 1988.
- 75) 葛原正昭, 猪鹿倉恭子, 中沢省三, 中江純夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>目白第三病院CCM) : 〔一般講演〕両側性慢性硬膜下血腫36例の検討. 第11回日本神経外傷研究会, 1988.
- 76) 猪鹿倉恭子, 志村俊郎, 岡田卓郎, 矢嶋浩三, 中沢省三 : 〔一般講演〕特発性血小板減少性紫斑病に合併した外傷性硬膜下血腫の1例. 第11回日本神経外傷研究会, 1988.
- 77) 横田裕行, 小林士郎, 矢嶋浩三, 中沢省三, 黒川顕<sup>1)</sup>, 山本保博<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>CCM) : 〔一般講演〕外傷性遅発性脳内血腫 (DTICH) における頭蓋内圧測定の意義. 第11回日本神経外傷研究会, 1988.
- 78) 水成隆之, 横田裕行, 小林士郎, 矢嶋浩三, 中沢省三, 木村昭夫<sup>1)</sup>, 小井土雄一<sup>1)</sup>, 黒川顕<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>CCM) : 〔一般講演〕外傷性小脳内血腫におけるABR, ICP測定の有用性. 第11回日本神経外傷研究会, 1988.
- 79) 野手洋治, 中沢省三, 矢嶋浩三 : 〔一般講演〕天幕上脳血管障害急性期重症例における体性感覚誘発電位, 聴性脳幹反応および脳波の経時的測定. 第13回日本脳卒中学会総会, 1988.
- 80) 野手洋治, 中沢省三 : 〔一般講演〕高血圧性橋出血および橋梗塞重症例における経時的体性感覚誘発電位 (SEP), 聴性脳幹反応 (ABR) および脳波の検討. 第13回日本脳卒中学会総会, 1988.
- 81) 村山享一, 中沢省三, Huang, Y.P.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Mt. Sinai Medical Center, Neuroradiology) : 〔一般講演〕脳卒中様症状および神経症状で発症したAIDSについて. 第13回日本脳卒中学会総会, 1988.

## 〔多摩氷山病院脳神経外科〕

### 研究業績

#### 学会発表

- 1) 喜多村孝幸, 松本正博: 〔一般講演〕慢性硬膜下血腫による高次大脳機能障害の検討. 第18回三多摩神経疾患懇話会, 1987.
- 2) 石郷岡聡, 喜多村孝幸, 松本正博: 〔一般講演〕脳腫瘍の術中超音波診断. 第1回日本医科大学多摩氷山病院集談会, 1987.
- 3) 喜多村孝幸, 松本正博, 石郷岡聡, 中沢省三<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院脳神経外科): 〔一般講演〕頭部外傷例における<sup>123</sup>I-iodoamphetaminによる脳血流シンテグラムの意義. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 4) 喜多村孝幸, 松本正博, 高橋弘: 〔一般講演〕<sup>123</sup>I-iodoamphetaminによる脳血流イメージの診断的意義. 第2回日本医科大学多摩氷山病院集談会, 1987.

## 12. 整形外科科学講座

[付属病院整形外科・第一病院整形外科・第二病院整形外科・多摩永山病院整形外科]

### 研究概要

以下の項目に関して、現代の整形外科科学に対応すべく基礎・臨床にわたり広く研究を行っている。

- 1) 筋電図・背髄波について；筋電図は動作学を中心に表面電極および針電極による検索。背髄波は背髄の伝導経路の解明と虚血・pHの変化による伝導系の変化。神経伝導については神経伝導速度および波型の変化についての検索。
- 2) 骨の電気・電磁波刺激による偽関節の治療・骨再生・新生についての臨床的・基礎的研究。
- 3) 末梢神経の再生についての電磁場刺激の有効性について。
- 4) 軟骨の移植と再生についての基礎的・臨床的研究。
- 5) 仙腸関節の解剖・病理およびBiomechanicsについて。
- 6) 仙腸関節性腰痛についての臨床的検索。
- 7) 椎間板のBiomechanicsについて。
- 8) 手根骨の動きによる関節内圧の変化。手部の神経走行の多様性と臨床的相関。
- 9) 脊椎管内静脈叢の解剖・循環動態および臨床的・治療的意義。
- 10) 頸椎および腰椎の手術的固定法について。
- 11) 肩関節再建手術。
- 12) 膝関節手術および人工靱帯移植術の効果について。
- 13) 骨盤骨折の治療および創外固定法の効果について。
- 14) 股関節臼蓋部の回転骨切り術の効果について。
- 15) 硬膜外遊離脂肪移植。
- 16) 腰痛患者の膀胱機能について。
- 17) 悪性腫瘍の広範囲手術的摘出術について。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 大村文敏，中川俊，松尾博由，山口淳一，藤原淳，白井康正：〔原著〕立位負荷腰静脈造影所見よりみた馬尾性間欠跛行の発症機序について（特集・腰仙部根症状の発生機序，基礎と臨床）。臨整外，22，547～554，1987。
- 2) 大村文敏，中川俊，藤原淳，白井康正：〔原著〕腰椎変性疾患における後側方固定術の経験；Spinal instrumentation併用例の比較。中部日整災外会誌，30，1047～1056，1987。
- 3) 松尾博由，白井康正，山崎典之，大村文敏，千葉由雄，中川俊：〔報告〕鎖骨遠位端骨折に対するZuggurtung法の治療経験。臨床スポーツ医，4，62～65，1987。
- 4) 小堀悦孝<sup>1)</sup>，田中政<sup>1)</sup>，新谷富士雄<sup>1)</sup>，稲垣芳則<sup>2)</sup>，松尾博由（<sup>1)</sup>日赤医療センター内科，<sup>2)</sup>慈恵医大外科）：〔報告〕アイスホッケー選手の安静時循環動態。臨床スポーツ医，4，194～196，1987。
- 5) 井伊京一郎，白井康正，石原正博，玉井健介，宮本雅史，藤井信人：〔原著〕脛骨顆間隆起骨折に対する観血的治療経験。日本骨折研究会誌，9，111～114，1987。
- 6) 中山義人，白井康正，山口淳一，井伊京一郎，宮本雅史，川井真，元文芳和：〔原著〕不安定型胸腰椎移行部損傷，骨盤環骨折を伴った多発骨傷の治療成績。臨整外，22，855～864，1987。

- 7) Usami, F. : [報告] Bilateral congenital absence of the flexor pollicis longus with craniofacial abnormalities. J. Hand Surg., 12A, 603~604, 1987.
- 8) 福田憲昭, 宇佐美文章, 肥留川道雄, 池谷正之, 白井康正 : [原著] 指掌側面における指神経交通枝の解剖学的検索. 第2報 繊維解析法による検討. 日本手の外科学会誌, 4, 6~9, 1987.
- 9) 肥留川道雄, 宇佐美文章, 古谷正博, 池谷正之<sup>1)</sup>, 白井康正<sup>(1)</sup>池谷整形外科 : [原著] 陳旧性 PIP 関節背側脱臼骨折の治療経験. 日本手の外科学会誌, 4, 425~428, 1987.
- 10) 白井康正, 中山義人, 川井真 : [原著] 重症骨盤骨折の整形外科的治療. 救急医, 11, 1761~1769, 1987.
- 11) 伊藤博元, 白井康正, 渡辺誠, 中山義人, 藤沢裕志, 横内正直, 松本安司<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>松本整形外科 : [原著] Pulsing electromagnetic fields (PEMFs) による脛骨および大腿骨偽関節の治療経験. 整形外科, 38, 1857~1864, 1987.
- 12) 小堀悦孝<sup>1)</sup>, 松尾博由, 斉藤一郎<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター内科, <sup>2)</sup>高木病院内科) : [報告] スポーティングソサエティ No.1. 臨床スポーツ医, 4, 1338~1341, 1987.
- 13) 白井康正, 山口淳一, 大場俊二, 井上惣一郎 : [原著] 椎間板ヘルニア. 綜合臨, 36, 2529~2533, 1987.
- 14) 中山義人, 白井康正, 中瀬猛, 成田哲也, 伊志嶺隆, 舟越龍也, 山口淳一, 元文芳和 : [原著] 膝蓋軟骨軟化に対する Cave and Rowe 法の治療成績. 日リウマチ・関節外会誌, 6, 437~442, 1987.
- 15) 中山義人, 白井康正, 中瀬猛, 成田哲也, 伊志嶺隆, 舟越龍也, 山口淳一, 元文芳和 : [原著] 膝蓋軟骨軟化症に対する Cave and Rowe 法の治療成績. 東京膝関節研究会雑誌, 8, 257~262, 1987.

## 著 書

- 1) 白井康正 : [監訳] 整形外科外傷マニュアル. (Manual of Acute Orthopaedic Therapeutics. Second Edition, Iversen, L.D. and Clawson, D.K. 著), Medical Science International 社, 1987.
- 2) 玉井健介 : [翻訳] 整形外科外傷マニュアル. (Manual of Acute Orthopaedic Therapeutics. Second Edition, Iversen, L.D. and Clawson, D.K. 著), Medical Science International 社, 1987.
- 3) 白井康正 : [分担] 骨盤の機能解剖. “骨折・外傷シリーズ6 : 骨盤骨折と合併損傷” (糸満盛憲編), p. 1~7, 南江堂, 1987.
- 4) 須田曉, 白井康正, 宮本雅史 : [分担] 尿路・直腸損傷を伴う骨盤骨折. “骨折・外傷シリーズ6 : 骨盤骨折と合併損傷” (糸満盛憲編), p. 155~162, 南江堂, 1987.
- 5) 白井康正 : [分担] 電磁波刺激による偽関節の治療. “高度先進医療の実例 Part 1”, p. 99~108, 薬事新報, 1987.
- 6) 白井康正, 山口淳一 : [分担] 開放性骨折. “骨折・外傷シリーズ7 : 創傷処置のファースト・エイド” (星秀逸編), p. 119~126, 南江堂, 1987.
- 7) 白井康正 : [分担] 急性化膿性腸腰筋炎の症状・診断・治療. “整形外科Q & A : 3 各論 (2)” (河路渡, 三浦幸雄編), p. 190~192, 金原出版, 1987.
- 8) 白井康正 : [分担] 仙腸関節疾患の診断法と主な疾患. “整形外科Q & A : 3 各論 (2)” (河路渡, 三浦幸雄編), p. 193~195, 金原出版, 1987.
- 9) 白井康正 : [分担] 骨盤の脱臼および骨折の分類・症状・合併症・治療法. “整形外科Q & A : 3 各論 (2)” (河路渡, 三浦幸雄編), p. 196~198, 金原出版, 1987.

## 学会発表

- 1) 川井真, 白井康正, 山口淳一, 柴崎徹, 藤井信人, 青木孝文, 大塚敏文<sup>1)</sup>, 益子邦洋<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>救急医学) : [一般講演] 背髄誘発電位におけるアンドーシスの影響. 第60回日本整形外科学会学術集会, 1987.



- 2) 吉田恒丸, 山崎典郎<sup>1)</sup>, 田中秀昭, 久野宗和, 森久保治道, 松本眞彦 (<sup>1)</sup>都立荏原病院) : [一般講演] 腰部脊柱管の前方要素に関する臨床的検討. 第60回日本整形外科学会学術集会, 1987.
- 3) 大村文敏, 中川俊, 松尾博由, 藤原淳, 白井康正 : [一般講演] 腰部脊柱管狭窄症における立位負荷腰静脈造影の意義について. 第60回日本整形外科学会学術集会, 1987.
- 4) 玉井健介, 白井康正, 石原正博, 伊藤博元, 中山義人, 井伊京一郎, 藤井信人 : [展示] 大腿骨近位部骨折に対する Zickel Nail 固定術の成績. 第60回日本整形外科学会学術集会, 1987.
- 5) 中山義人, 白井康正, 山口淳一, 中瀬猛, 伊志嶺隆, 元文芳和, 舟越龍也 : [展示] 膝蓋軟骨軟化症に対する Cave & Rowe 法の治療成績. 第60回日本整形外科学会学術集会, 1987.
- 6) 益子邦洋<sup>1)</sup>, 辺見弘<sup>1)</sup>, 山本保博<sup>1)</sup>, 黒川顕<sup>1)</sup>, 川井真, 大塚敏文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>救急医学) : [パネルディスカッション] 骨盤骨折328例の臨床的検討; とくに後腹膜出血に対する処置を中心にして. 第60回日本整形外科学会学術集会, 1987.
- 7) 木村文敏, 中川俊, 藤原淳, 白井康正 : [シンポジウム] 腰椎変性疾患における後側方固定術の経験; Spinal instrumentation 併用例と非併用例の比較. 第68回中部日本整形外科災害外科学会, 1987.
- 8) 小林千秋, 白井康正, 石原正博, 宮本雅史, 城武俊, 石川雅人, 沼尻秀章, 舟越龍也 : [一般講演] 糖尿病による足部神経病性関節症の2例. 第14回関東整形災害外科学会, 1987.
- 9) Ohmura, F., Nakagawa, T. and Shirai, Y. : [展示] The lumbar epidural venography in the standing position for cauda equine claudication. XIV Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine (Rome, Italy), 1987.
- 10) 肥留川道雄, 宇佐美文章, 古谷正博, 池谷正之<sup>1)</sup>, 白井康正, 武雅夫 (<sup>1)</sup>池谷整形外科) : [一般講演] 陣旧性 PIP 関節背側脱臼骨折の治療経験. 第30回日本手の外科学会, 1987.
- 11) 福田憲昭, 宇佐美文章, 肥留川道雄, 池谷正之, 白井康正 : [一般講演] 指掌側面における指神経交通枝の解剖学的検索. 第2報 繊維解析法による検討. 第30回日本手の外科学会, 1987.
- 12) 福田憲昭, 松本眞彦, 宇佐美文章, 肥留川道雄, 白井康正, 田沼久美子<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2解剖) : [一般講演] 神経繊維解析による指掌側面における指神経交通枝の検索. 日本解剖学会第74回関東地方会, 1987.
- 13) 柴崎徹, 白井康正, 伊藤博元, 玉井健介, 三浦啓志 : [一般講演] 外反股を呈した骨軟骨腫の一例. 関東整形災害外科学会月例会 第503回東京地方会, 1987.
- 14) 古谷正博, 肥留川道雄, 井上惣一郎, 浦田伸一, 西川英樹, 池谷正之<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>池谷整形外科) : [一般講演] スポーツによる手指DIP関節損傷の治療経験. 第13回整形外科スポーツ医学研究会, 1987.
- 15) 黒田賢二, 渡辺誠, 松尾博由, 佐竹裕, 松沢勲, 恩田圭司, 白井康正 : [一般講演] 骨粗鬆症による脊椎圧迫骨折のため両下肢麻痺を来した一症例. 第70回神奈川整形災害外科医会, 1987.
- 16) 伊藤博元, 白井康正, 玉井健介, 横内正直, 中瀬猛, 柴崎徹, 高山裕史, 肥沼正明, 藤井信人 : [一般講演] 脛骨開放骨折後の遷延治癒骨折に対する Pulsing Electromagnetic Fields の治療経験. 第13回日本骨折研究会, 1987.
- 17) 玉井健介, 白井康正, 伊藤博元, 中山義人, 藤倉国男, 石坂公人, 正木高, 成田哲也, 大場俊二, 宮本雅史, 高山裕史 : [シンポジウム] 脛骨々幹部開放骨折の治療; 一次的内固定術を中心に. 第13回日本骨折研究会, 1987.
- 18) 小林千秋, 白井康正, 中川俊, 石原正博, 城武俊, 宮本雅史, 石川雅人, 沼尻秀章, 舟越龍也 : [一般講演] 足における神経病性関節症3例の経験. 第12回足の外科研究会, 1987.
- 19) 井上惣一郎, 白井康正, 肥留川道雄, 西川英樹, 中山義人, 井伊京一郎, 菊地達之, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理) : [一般講演] 椎弓切除術の硬膜周囲組織に及ぼす影響についての実験的研究 (第3報). 第2回日本整形外科学会基礎学術集会, 1987.
- 20) 下川晶, 白井康正, 中山義人, 三浦啓志, 伊志嶺隆, 高山景範 : [パネルディスカッション] H-NMR法によ

る椎間板機能の評価. 第2回日本整形外科学会基礎学術集会, 1987.

- 21) 本間一弘<sup>1)</sup>, 立石哲也<sup>1)</sup>, 牛田多加志<sup>1)</sup>, 下川晶, 宮川俊平<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>工業技術院機械技研, <sup>2)</sup>筑波大学整形外科):  
〔一般講演〕NMR - CTのバイオメカニクスへの応用 (第2報). 第2回日本整形外科学会基礎学術集会, 1987.
- 22) 恩田圭司, 渡辺誠, 松尾博由, 佐竹裕, 黒田賢二: 〔一般講演〕当院における脛骨顆部骨折手術例の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 23) 高山景範, 白井康正, 伊藤博元, 大場俊二, 伊志嶺隆: 〔一般講演〕烏口突起骨折の3例. 関東整形災害外科学会月例会第505回東京地方会, 1987.
- 24) 長田正憲, 渡辺誠, 松尾博由, 佐竹裕, 黒田賢二, 恩田圭司, 七野真: 〔一般講演〕大腿骨顆部骨折と骨粗鬆化. 第5回神奈川関節外科研究会, 1987.
- 25) 中山義人, 白井康正, 山口淳一, 井伊京一郎, 宮本雅史, 川井真, 元文芳和: 〔シンポジウム〕不安定型胸腰椎移行部損傷, 骨盤環骨折を併った多発骨傷の治療成績. 第35回東日本臨床整形外科学会, 1987.
- 26) 中山義人, 白井康正, 井伊京一郎, 宮本雅史, 川井真, 井上惣一郎: 〔一般講演〕Malgaigne骨折に対する創外固定の治療成績. 第36回東日本臨床整形外科学会, 1987.
- 27) 宇佐美文章, 福田憲昭, 大村文敏, 玉井健介, 小野義比古, 肥留川道雄, 中川俊, 白井康正, 松本真彦: 〔一般講演〕大腿骨頭壊死に対する血管束移植の経験. 第36回東日本臨床整形外科学会, 1987.
- 28) 松尾博由, 白井康正, 黒田賢二, 恩田圭司, 渡辺誠, 小堀悦孝<sup>1)</sup>, 齊藤一郎<sup>2)</sup>, 岩根正昭<sup>3)</sup>, 進貞夫<sup>3)</sup>, 生田純男<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター, <sup>2)</sup>高木病院, <sup>3)</sup>スポーティングソサエティNo.1): 〔一般講演〕民間スポーツクラブにおけるスポーツ障害について. 第9回東日本スポーツ医学研究会, 1987.
- 29) 井伊京一郎, 白井康正, 中山義人, 成田哲也, 伊志嶺隆, 高山裕史: 〔一般講演〕脛骨顆間隆起骨折に対する観血的治療経験. 第15回日本リウマチ・関節外科学会, 1987.
- 30) 石川雅人, 白井康正, 山口淳一, 川井真, 柴崎徹, 藤井信人, 青木孝文: 〔一般講演〕頸部脊髓症におけるC-responseの検討(第II報). 第17回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1987.
- 31) 柴崎徹, 白井康正, 山口淳一, 川井真, 石川雅人, 藤井信人, 沢泉卓哉, 青木孝文: 〔展示〕大動脈遮断時の脊髓局所冷却による脊髓誘発電位の変化について. 第17回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1987.
- 32) 井伊京一郎, 白井康正, 宮本雅史, 伊志嶺隆, 井上惣一郎, 藤井信人, 森田欣司, 池下正敏<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2外科): 〔一般講演〕大腿骨骨幹部骨折症例に対するBrooker - Wills intramedullary nailを用いた治療経験. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 33) 中山義人, 白井康正, 菊地達之, 中瀬猛, 成田哲也, 伊志嶺隆, 元文芳和, 舟越龍也: 〔シンポジウム〕膝蓋骨亜脱臼症候群の手術治療. 第15回関東整形災害外科学会, 1987.
- 34) 山口淳一, 白井康正, 三浦啓志, 川井真, 柴崎徹, 石川雅人, 沢泉卓哉: 〔シンポジウム〕頸椎多数回手術例の検討. 第15回関東整形災害外科学会, 1987.
- 35) 高山裕史, 白井康正, 伊藤博元, 山口淳一, 秋元成太<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>泌尿器科): 〔一般講演〕腰椎疾患患者における尿力学的異常. 第15回関東整形災害外科学会, 1987.
- 36) 恩田圭司, 白井康正, 渡辺誠, 松尾博由, 黒田賢二, 沢泉卓哉: 〔一般講演〕脛骨顆部骨折の術後成績. 第15回関東整形災害外科学会, 1987.
- 37) 宇佐美文章, 福田憲昭, 肥留川道雄, 中川俊, 白井康正, 池谷正之<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>池谷整形外科): 〔一般講演〕観血的整復固定を行った天骨鉤状突起単独骨折の3例. 第15回関東整形災害外科学会, 1987.
- 38) 浦田伸一, 白井康正, 肥留川道雄, 西川英樹, 古谷正博, 浅野伍郎<sup>1)</sup>, 新井圭三<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理, <sup>2)</sup>新井病院): 〔一般講演〕手掌に発生した巨大な脂肪腫の1例. 第15回関東整形災害外科学会, 1987.
- 39) 石川雅人, 白井康正, 小林千秋, 菊地達之, 大場俊二, 森田欣司, 森淳: 〔一般講演〕立方骨に発生したAneurysmal

- bone cyst の 1 例. 関東整形災害外科学会月例会第507回東京地方会, 1988.
- 40) 中山義人, 白井康正, 成田哲也, 伊志嶺隆, 高山裕史: 〔一般講演〕前十字靱帯断裂に対する Eriksson 法と Leeds-Keio 人工靱帯による angumentation の術後成績. 第 9 回東京膝関節学会, 1988.
- 41) 肥沼正明, 白井康正, 伊藤博元, 菊地達之, 成田哲也, 舟越龍也, 元文芳和: 〔一般講演〕 Pulsing Electromagnetic Fields における骨折部の局所温度変化 (実験的研究). 第15回生体電気刺激研究会, 1988.
- 42) 元文芳和, 白井康正, 伊藤博元, 高山裕史, 肥沼正明, 舟越龍也: 〔一般講演〕上腕骨腫瘍の術後に発生した偽関節に対する PEMF 刺激の一例. 第15回生体電気刺激研究会, 1988.
- 43) 藤原淳, 白井康正, 中川俊, 大村文敏: 〔一般講演〕第 6 頸椎棘突起に発生した遺伝性多発性骨軟骨腫の一例. 関東整形災害外科学会月例会第508回東京地方会, 1988.
- 44) 黒田賢二, 渡辺誠, 松尾博由, 恩田圭司, 沢泉卓哉, 松沢勲, 七野真: 〔一般講演〕大腿骨巨大巨細胞腫に対するセラミックインプラントの使用経験. 日本医大医学会第64回例会, 1988.
- 45) 古谷正博, 肥留川道雄, 井上惣一郎, 小川ひろみ, 浦田伸一, 白井康正, 池谷正之<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>池谷整形外科): 〔一般講演〕陳旧性深指屈筋腱損傷の治療経験; 遊離腱移植術について. 第 2 回東日本手の外科研究会, 1988.
- 46) 沢泉卓哉, 白井康正, 肥留川道雄, 大場俊二, 伊志嶺隆: 〔一般講演〕手根骨に多発性囊腫状陰影を呈した一症例. 関東整形災害外科学会月例会第509回東京地方会, 1988.

## 13. 産婦人科学講座

### 〔付属病院産婦人科〕

#### 研究概要

教室のメインテーマである胎児の子宮内発育遅延（IUGR）を柱とした周産期学を中心に，腫瘍，内分泌の分野においても広範囲にわたる研究が行われている．ラットIUGR胎児を用いた研究では，肝におけるグリコーゲン代謝の解明が鄭によって，脾におけるインスリンとグルカゴン分泌の調節が八木によって，胎盤絨毛のグルコースとマルトースの吸収動態が高橋によって明らかにされた．またラット胎児肺のシアル酸および胎盤のソマトスタチンの局在と発現に関する研究が小西，倉石らによって行われている．ウサギを用いた研究では米山がサーファクタント抗体を作製して胎児肺の成熟過程を明らかにした．さらに，人工的に灌流したモルモット胎盤を用いた物質輸送の実験が，ハンブルク大学へ留学した波多野によって開始された．河村講師を中心としたグループはヤギの生理的実験モデルを作製し，胎児の体温調節機構と母獣発熱に伴う胎児の循環・内分泌系の反応に関して研究を行い成果を得ている．鴨井，岡本，若月らの超音波グループは発育に伴う胎児の心機能の発達，分娩前後における心機能の変化について臨床面からの分析を行い，学会で講演した．腫瘍の分野では佐々木助教授を中心に，磯崎，太田らが絨毛性疾患，婦人科悪性腫瘍における癌遺伝子発現に関して解明を行った．さらに遺伝子工学，DNA組換え技術を用いて今後は癌遺伝子のトランスフェクションによる研究を行う予定である．内分泌の研究は佐々木助教授，可世木講師を中心に行われており，当教室においても体外受精が開始された．不妊症，切迫流産における内分泌の検討および妊卵着床期のVit.Eの効果の研究が五十嵐らによって行われており，臨床面に応用され着実に治療効果は向上している．産婦人科領域のあらゆる分野を網羅すべく，さらに研究課題を拡大しつつある．

#### 研究業績

##### 論文

- 1) 大野マチ子<sup>1)</sup>，田中幸太郎，篠原継男<sup>1)</sup>，栗田口康一<sup>1)</sup>，山田恵三<sup>1)</sup>，竹石芳光<sup>1)</sup>，兼子和彦<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>葛飾赤十字産院）：〔報告〕出生前診断し得たPrune Belly症候群の一例．日産婦東京会誌，36，82～87，1987.
- 2) 荒木勤：〔原著〕IUGR．産と婦，54，868～873，1987.
- 3) 荒木勤，岩崎卓爾：〔原著〕過期産児の管理，小児看護，10，485～487，1987.
- 4) 石野尚吾：〔総説〕全身性疾患と漢方．からだの科学，（臨時増刊）26～30，1987.
- 5) 荒木勤，西中健二：〔原著〕若年女性における子宮体癌．産婦の実際，36，481～485，1987.
- 6) 岡本哲，岩崎卓爾，太田雄治郎，西中健二，小川秀臣，若月雅美，米山剛一，河村堯，荒木勤：〔原著〕扁平上皮癌化した類皮嚢胞腫の1例．産婦の実際，36，549～553，1987.
- 7) 荒木勤，鴨井青龍：〔原著〕超音波診断の実際，胎児水腫・臍帯ヘルニア．産婦治療，54，575～577，1987.
- 8) 米山芳雄：〔原著〕*Rana catesbeiana* ミトコンドリアDNAのH鎖およびL鎖複製開始領域の構造解析．日医大誌，54，429～440，1987.
- 9) 進純郎<sup>1)</sup>，佐藤喜一<sup>1)</sup>，仁志田博司<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>総合保原中央病院産婦人科，<sup>2)</sup>東京女子医大母子総合医療センター）：〔原著〕安定同位元素<sup>50</sup>Crを用いた新生児赤血球寿命の測定．日新生児会誌，23，366～372，1987.
- 10) 荒木勤，明楽重夫：〔原著〕胎児の発育とそのみかた．周産期医，17，775～781，1987.
- 11) Kaseki, H., Schmidt, G., Friedman, C. T. and Kim, M. H.<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>Ohio University）：〔原著〕A rapid serum estrogen assay suitable for office use in monitoring follicular maturation. Obstet. Gynecol., 70, 412～415, 1987.

- 12) 兼子和彦<sup>1)</sup>, 鴨井青龍 (<sup>1)</sup>葛飾赤十字産院): [総説] 超音波診断の実際; 前置胎盤・常位胎盤早期剝離 (特集 周産期の超音波診断). 産婦治療, 54, 559~561, 1987.
- 13) 荒木勤, 佐々木茂, 磯崎太一: [原著] Biochemical pregnancy の時期; ICON - hCG測定キットによる妊娠の早期診断. 産婦の実際, 36, 733~739, 1987.
- 14) 米山剛一, 小川博康, 五十嵐俊夫, 鈴木聡, 福田功, 河村亮, 荒木勤: [原著] 羊水栓塞症 1 剖検例の病理学的考察. 日産婦東京会誌, 36, 232~236, 1987.
- 15) 小川博康, 鴨井青龍, 荒木勤: [原著] 非免疫性胎児水腫の胎児治療 (特集胎児治療とそのケア). ペリネイタルケア, 6, 529~536, 1987.
- 16) 河村亮, 荒木勤: [原著] 酸素運搬能からみた胎児発育; 特に母児の赤血球内酸素Hb, メトHbおよび 2, 3 DPG の役割. 産婦の世界, 38, 57~62, 1987.
- 17) 荒木勤, 可世木久幸: [原著] 妊娠中のホルモンの変化. 周産期医, 17, 1105~1108, 1987.
- 18) 荒木勤, 岡本哲, 永井進: [原著] 妊娠週数・分娩予定日の修正. 産婦の実際, 36, 1126~1129, 1987.
- 19) 米山芳雄, 荒木勤, 鈴木正雄: [原著] 正常分娩後 1 週間の産褥ケア. 産婦の実際, 36, 1130~1132, 1987.
- 20) 小川博康, 鴨井青龍, 米山剛一, 荒木勤: [原著] 最近経験した非免疫性胎児水腫 8 例の検討. 産婦の実際, 36, 1155~1162, 1987.
- 21) 吉田雄一郎: [原著] ラット新生仔肝におけるミトコンドリア形成. 日医大誌, 54, 453~461, 1987.
- 22) 荒木勤, 河合尚基: [原著] 胎児胎盤の機能とその検査法. 周産期医, 17, 1265~1269, 1987.
- 23) 荒木勤, 小川秀臣: [原著] 産褥の性器と全身の変化. 産婦の実際, 39, 1181~1185, 1987.
- 24) 荒木勤, 鴨井青龍, 鈴木聡: [原著] 常位胎盤早期剝離の取り扱い. 産婦の実際, 36, 1524~1527, 1987.
- 25) 荒木勤, 外山和秀: [原著] 産科ショック対策. 産婦の実際, 36, 1528~1532, 1987.
- 26) 荒木勤, 可世木久幸, 外山和秀: [原著] 経膈プローブによる超音波の卵胞観察. 産婦の実際, 36, 1841~1848, 1987.
- 27) 若月雅美, 天神尚子, 山田隆<sup>1)</sup>, 小西英喜, 鄭光民, 荒木勤 (<sup>1)</sup>下谷病院産婦人科): [原著] 妊娠中期に診断し得た Cystic hygroma の一例. 日産婦東京会誌, 36, 253~256, 1987.
- 28) 朝倉啓文<sup>1)</sup>, 馬淵是純<sup>1)</sup>, 笠原孝之<sup>1)</sup>, 若麻績佳樹<sup>1)</sup>, 力武義之<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤 (第一病院産婦人科): [原著] Chorioamnionitis; 胎児感染を認めた早産症例. 日産婦東京会誌, 36, 309~312, 1987.
- 29) 鄭光民, 荒木勤: [原著速報] IUGR ラットの臓器別糖代謝機構. 産婦治療, 55, 594~594, 1987.
- 30) 荒木勤, 山口暁<sup>1)</sup> (第一病院産婦人科): [原著] 分娩発来メカニズム. 周産期医, 17, 1741~1745, 1987.
- 31) 荒木勤, 岡本哲, 真能純一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院産婦人科): [原著] 前期破水の取り扱い方. 産婦の実際, 36, 1764~1767, 1987.
- 32) 若月雅美, 荒木勤: [原著] 分娩誘発の実際. 産婦の実際, 36, 1768~1770, 1987.
- 33) 荒木勤, 澤倫太郎, 波多野久昭: [原著] 高年初妊婦・初産婦の取り扱い. 産婦の実際, 36, 1926~1928, 1987.
- 34) 岡本哲, 荒木勤: [原著] 軟産道強靱の取り扱い方. 産婦の実際, 36, 1929~1932, 1987.
- 35) 可世木久幸, 大村浩, 五十嵐俊夫, 荒木勤: [原著] 子宮鏡下卵管内精子注入法 (HIT) による不妊治療の試み. 産婦の実際, 36, 1889~1895, 1987.
- 36) 荒木勤, 小川博康, 渡辺美千明: [原著] 性器ヘルペス症合併妊娠. 産婦の実際, 36, 2054~2057, 1987.
- 37) 荒木勤, 米山芳雄, 鈴木正雄: [原著] 膣・外陰血腫. 産婦の実際, 36, 2058~2060, 1987.
- 38) 荒木勤, 中井章人<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第一病院産婦人科): [原著] 陣痛誘発とその方法. 周産期医, 17, 1897~1902, 1987.
- 39) 河村亮, 加藤礼子, 西中健二, 矢島純: [原著] 妊娠梅毒 (特集: 産科からみた周産期感染症 - 臨床編). 周産期医, 17 (臨時増刊), 200~205, 1987.

- 40) 磯崎太一, 太田雄治郎, 鈴木聡, 倉石公路, 米山芳雄, 米山剛一, 高橋英彦, 佐々木茂, 荒木勤, 野村信夫<sup>1)</sup>  
〔<sup>1)</sup>日本獣医畜産大・分子腫瘍〕:〔原著〕胞状奇胎肺転移症例の細胞遺伝子学的検索と細胞性癌遺伝子の発現について. 臨婦産, 41, 886~887, 1987.
- 41) 家永聡, 可世木久幸, 大村浩, 五十嵐俊夫, 外山和秀, 荒木勤:〔原著〕ヒステロファイバースコープによる子宮内腔および卵管の検索. 日産婦東京会誌, 36, 379~382, 1987.
- 42) 中井章人<sup>1)</sup>, 朝倉啓文<sup>1)</sup>, 横田明重<sup>1)</sup>, 西島重光<sup>1)</sup>, 若麻績佳樹<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤 (第一病院産婦人科)  
〔原著〕超音波断層法による胎児尿産生量の短時間計測法. 日産婦東京会誌, 36, 345~348, 1987.
- 43) 佐々木茂:〔原著〕Mother School (母親学級)のありかた. 周産期医, 18, 31~36, 1988.
- 44) 進純郎<sup>1)</sup>, 小川博康 (<sup>1)</sup>総合保原中央病院産婦人科):〔総説〕新生児死亡の親に対する医療職の人間らしい対応. 周産期医, 18, 123~126, 1988.
- 45) 荒木勤, 北川優<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第一病院産婦人科):〔原著〕分娩監視法. 周産期医, 18, 133~139, 1988.
- 46) 荒木勤, 明楽重夫<sup>1)</sup>, 岡本哲 (<sup>1)</sup>第一病院産婦人科):〔原著〕つわり・妊娠悪阻の治療. 産婦の実際, 37, 70~74, 1988.
- 47) 荒木勤, 西中健二:〔原著〕弛緩出血の管理. 産婦の実際, 37, 74~77, 1988.
- 48) 荒木勤:〔原著〕前期破水の管理における問題点. 産婦の世界, 40, 1~3, 1988.
- 49) 石野尚吾:〔総説〕産婦人科領域のこころの病. こころの科学, 17, 64~67, 1988.
- 50) 石野尚吾:〔総説〕針・灸治療の現在. こころの科学, 17, 57, 1988.
- 51) 河村堯, 澤倫太郎, 土居大祐, 荒木勤:〔原著〕preterm PROM 妊婦の取り扱い;われわれのアプローチ. 産婦の実際, 37, 207~212, 1988.
- 52) 荒木勤, 波多野久昭:〔原著〕骨盤位の管理. 産婦の実際, 37, 266~268, 1988.
- 53) 波多野久昭, 荒木勤:〔原著〕横位の管理. 産婦の実際, 37, 270~272, 1988.
- 54) 荒木勤, 鈴木聡, 波多野久昭:〔原著〕当教室で行う分娩管理の実際. 産婦治療, 56, 173~176, 1988.
- 55) 田中幸太郎, 荒木勤:〔原著〕子宮外妊娠の診断と治療. 産婦の実際, 37, 388~391, 1988.
- 56) 石野尚吾:〔総説〕清暑益気湯. 日本病院薬剤師会雑誌, 24, 94~95, 1988.
- 57) 石野尚吾:〔総説〕大柴胡湯. 漢方医学講座, 42, 58~65, 1988.
- 58) 石野尚吾:〔総説〕清暑益気湯. 漢方製剤の知識, 5, 183~186, 1988.
- 59) 倉石公路, 荒木勤:〔原著〕Shoulder dystocia (肩甲難産). 産婦の実際, 37, 392~394, 1988.
- 60) 進純郎<sup>1)</sup>, 佐藤喜一<sup>1)</sup>, 荒木勤 (<sup>1)</sup>総合保原中央病院産婦人科):〔原著〕Chorioamniotic separationの臨床的意義とその超音波診断. 産婦の実際, 37, 415~422, 1988.
- 61) 荒木勤, 河村堯:〔原著〕正常発育新生児とは. 周産期医, 18, 411~419, 1988.
- 62) 進純郎<sup>1)</sup>, 佐藤喜一<sup>1)</sup>, 荒木勤 (<sup>1)</sup>総合保原中央病院産婦人科):〔原著〕Amniotic bandの臍帯絞扼により突然胎児死亡をきたした1例. 周産期医, 18, 461~464, 1988.
- 63) 西中健二, 河村堯, 岩崎卓爾, 飯田啓, 荒木勤:〔原著〕17歳の高校生に発生した原発性陰腺癌の1例. 産婦の実際, 37, 435~439, 1988.

## 著 書

- 1) 荒木勤:〔分担〕骨盤位. “診断・治療マニュアル”(阿部裕, 和田達雄編), p.1302~1303, 金原出版, 1987.
- 2) 荒木勤:〔分担〕横位. “診断・治療マニュアル”(阿部裕, 和田達雄編), p.1303~1304, 金原出版, 1987.
- 3) 荒木勤:〔分担〕発熱. “診断・治療マニュアル”(阿部裕, 和田達雄編), p.1336~1339, 金原出版, 1987.
- 4) 可世木辰夫<sup>1)</sup>, 可世木久幸 (<sup>1)</sup>可世木病院):〔分担〕内視鏡による卵管形成術. “産婦人科Mook 39. マイ

クロサージュリー” (藤井明和編), p.158~172, 金原出版, 1987.

- 5) 荒木勤: [分担] 難産. “今日の治療指針 30” (日野原重明, 阿部正和編), p.698~699, 医学書院, 1988.
- 6) 荒木勤: [分担] 胎児奇形. “今日の治療方針” (亀山正邦, 亀田治男, 高久史磨, 阿部令彦編), p.1479~1481, 医学書院, 1988.
- 7) 荒木勤: [分担] 胎児發育異常; 胎児仮死. “エッセンシャル産婦人科学” (秋谷清, 鈴木秋悦, 広井正彦, 森憲正編), p.413~425, 医歯薬出版, 1988.

#### 学会発表

- 1) 河村堯, 大村浩, 小川博康, 澤倫太郎, 天神尚子, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤 (1)第一病院産婦人科): [一般講演] 胎盤の血流動態からみた胎児の体温調節機構; ヒツジ胎仔の生理的実験モデルを用いて. 第39回日本産婦人科学会総会, 1987.
- 2) 角田隆<sup>1)</sup>, 小川隆吉<sup>1)</sup>, 山口暁<sup>1)</sup>, 菊地京子<sup>1)</sup>, 大塚茂<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤 (1)第一病院産婦人科): [一般講演] ラット胎仔脳における Glycogen 代謝調節. 第39回日本産婦人科学会総会, 1987.
- 3) 鄭光民, 小西英喜, 倉石公路, 岩崎卓爾, 家永聡, 加藤礼子, 河村堯, 荒木勤: [一般講演] IUGRラット胎仔肝の glycogen synthase および phosphorylase 活性に対する組織呼吸賦活剤の効果. 第39回日本産婦人科学会総会, 1987.
- 4) 佐々木茂, 吉田雄一郎, 米山芳雄, 磯崎太一, 太田雄治郎, 小川秀臣, 荒木勤, 野村信夫<sup>1)</sup> (1)日本獣医畜産大, 分子腫瘍): [一般講演] 絨毛癌細胞における細胞性癌遺伝子の構造異常と発現の増大に関する研究. 第39回日本産婦人科学会総会, 1987.
- 5) 可世木久幸, 外山和秀, 五十嵐俊夫, 福田功, 佐々木茂, 荒木勤: [展示] ヒト卵胞液プロスタグランディンの高速液体クロマトグラフィー測定法. 第39回日本産婦人科学会総会, 1987.
- 6) 高橋英彦, 米山剛一, 西中健二, 鈴木聡, 河村堯, 鈴木昭, 荒木勤: [展示] IUGR胎盤絨毛におけるグルコースとマルトースの吸収動態; 新鮮絨毛の超微形態的観察. 第39回日本産婦人科学会総会, 1987.
- 7) 進純郎<sup>1)</sup>, 佐藤喜一<sup>1)</sup> (1)総合保原中央病院産婦人科): [一般講演] 超未熟児2例の prenatal care の検討. 日本産婦人科学会福島地方部会春季学術集会, 1987.
- 8) 若月雅美, 天神尚子, 山田隆<sup>1)</sup>, 小西英喜, 鄭光民, 荒木勤 (1)下谷病院産婦人科): [一般講演] 妊娠中期に診断した Cystic hygroma の1例. 第262回日本産婦人科学会東京地方部会, 1987.
- 9) 朝倉啓文<sup>1)</sup>, 馬淵是純<sup>1)</sup>, 笠原孝之<sup>1)</sup>, 若麻績佳樹<sup>1)</sup>, 力武義之<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤 (1)第一病院産婦人科): [一般講演] Chorioamnionitis 胎児感染を認めた早産症例. 第262回日本産婦人科学会東京地方部会, 1987.
- 10) 太田雄治郎, 磯崎太一, 鈴木聡, 佐々木茂, 柴田初子<sup>1)</sup>, 足立千賀子<sup>1)</sup>, 白井早苗<sup>1)</sup>, 松田貴恵<sup>1)</sup>, 荒木勤 (1)付属病院産科病棟): [一般講演] 羊水穿刺による染色体異常の出生前診断. 第5回東京母性衛生学会学術集会, 1987.
- 11) 石野尚吾, 長橋尤<sup>1)</sup> (1)長橋産婦人科): [一般講演] 桃桂承気湯の有効例についての検討. 第38回日本東洋医学会学術総会, 1987.
- 12) 磯崎太一, 高橋英彦, 福田功, 澤倫太郎, 八木寛, 佐々木茂, 荒木勤, 岡田憲明<sup>1)</sup>, 野村武夫<sup>1)</sup> (1)第3内科): [一般講演] 妊娠に合併した鉄芽球性貧血の1症例. 第12回産婦人科・新生児血液研究会, 1987.
- 13) 太田雄治郎, 磯崎太一, 小川秀臣, 米山芳雄, 荒木勤, 野村信夫<sup>1)</sup> (1)日本獣医畜産大学, 分子腫瘍): [一般講演] 子宮癌における細胞性癌遺伝子の構造異常と発現の増大に関する研究. 第73回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 14) 五十嵐俊夫, 外山和秀, 可世木久幸, 佐々木茂, 荒木勤: [一般講演] 血中 Dehydroepiandrosterone

sulfate (DHEAS)と月経前緊張症. 第73回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.

- 15) 諏訪喜宣<sup>1)</sup>, 北川優<sup>1)</sup>, 山口暁<sup>1)</sup>, 朝倉啓文<sup>1)</sup>, 若麻績佳樹<sup>1)</sup>, 力武義之<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤<sup>(<sup>1)</sup>第一病院産婦人科)</sup>: [一般講演] マタニティブルースにおける精神的, 産科的背景. 第73回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 16) 米山剛一, 中島達人<sup>1)</sup>, 小川博康, 高橋英彦, 河村堯, 佐々木茂, 菊地三郎<sup>1)</sup>, 荒木勤<sup>(<sup>1)</sup>第二病院産婦人科)</sup>: [一般講演] 羊水栓塞症の診断および病態に関する病理学的考察. 第73回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 17) 岩崎卓爾, 西中健二, 澤倫太郎, 倉石公路, 天神尚子, 八木覚, 河村堯, 鈴木昭, 荒木勤: [展示] 子宮肉腫に腹膜偽粘液腫を合併した一例. 第73回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 18) 岡本哲, 鴨井青龍, 大村浩, 若月雅美, 小西英喜, 米山芳雄, 河村堯, 荒木勤: [展示] 胎児・新生児の心四腔断面の観察. 第73回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 19) 西中健二, 家永聡, 小川博康, 八木覚, 河村堯, 荒木勤: [展示] 17歳の高校生に発生した原発性陰腺癌の1例. 第73回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 20) 角田隆<sup>1)</sup>, 河合尚基<sup>1)</sup>, 馬淵是純<sup>1)</sup>, 小川隆吉<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤, 中山恵二<sup>2)</sup> (<sup>(<sup>1)</sup>第一病院産婦人科, <sup>(<sup>2)</sup>皮膚科)</sup>: [展示] Bowenoid Papulosisの2例. 第73回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.</sup>
- 21) 磯崎太一, 太田雄治郎, 小川秀臣, 米山芳雄, 佐々木茂, 荒木勤, 野村信夫<sup>1)</sup> (<sup>(<sup>1)</sup>日本獣医畜産大学, 分子腫瘍)</sup>: [展示] 胞状奇胎におけるc-oncogeneのrearrangementとoverexpressionに関する研究. 第73回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 22) 河村堯, 大村浩, 小川博康, 朝倉啓文<sup>1)</sup>, 荒木勤<sup>(<sup>1)</sup>第一病院産婦人科)</sup>: [一般講演] 胎盤循環動態と胎児の体温調節に関する研究. 第8回臨床体温研究会, 1987.
- 23) 大野マチ子<sup>1)</sup>, 田中幸太郎, 篠原継男<sup>1)</sup>, 栗田口康一<sup>1)</sup>, 山田恵三<sup>1)</sup>, 竹石芳光<sup>1)</sup>, 兼子和彦<sup>1)</sup> (<sup>(<sup>1)</sup>葛飾赤十字産院)</sup>: [一般講演] 双胎妊娠における妊婦体重に関する検討. 第73回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 24) 進純郎<sup>1)</sup>, 佐藤喜一<sup>1)</sup>, 小川博康, 荒木勤<sup>(<sup>1)</sup>総合保原中央病院産婦人科)</sup>: [一般講演] chorioamniotic separationの臨床的検討. 第83回日本産婦人科学会東北連合地方部会, 1987.
- 25) 進純郎<sup>1)</sup>, 佐藤喜一<sup>1)</sup>, 星順<sup>2)</sup>, 小川博康, 荒木勤<sup>(<sup>1)</sup>総合保原中央病院産婦人科, <sup>(<sup>2)</sup>東京女子医大小児科)</sup>: [一般講演] 新生児高hematocrit血症と産科的因子の検討. 第67回日本小児科学会福島地方部会, 1987.</sup>
- 26) 星順<sup>1)</sup>, 内田富美子<sup>2)</sup>, 進純郎<sup>2)</sup>, 佐藤喜一<sup>2)</sup> (<sup>(<sup>1)</sup>東京女子医大小児科, <sup>(<sup>2)</sup>総合保原中央病院産婦人科)</sup>: [一般講演] 胎児期より産科・小児科による総合管理を行い得た先天腹水の1例. 第67回日本小児科学会福島地方部会, 1987.</sup>
- 27) 米山剛一, 福田悠<sup>1)</sup>, 石崎正通<sup>1)</sup>, 内山正一<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup>, 岸川テル子<sup>2)</sup>, 西中健二, 荒木勤<sup>(<sup>1)</sup>第1病理, <sup>(<sup>2)</sup>中央電顕)</sup>: [一般講演] 肺サーファクタント抗体を用いたウサギ胎仔肺発達の免疫組織化学的検討. 第23回日本新生児学会総会, 1987.</sup>
- 28) 加藤礼子, 鄭光民, 倉石公路, 小西英喜, 岩崎卓爾, 荒木勤: [一般講演] 子宮動静脈結紮によるラットIUGR胎仔の肝glycogenに関する光学顕微鏡及び電子顕微鏡所見について. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 29) 小西英喜, 鄭光民, 倉石公路, 加藤礼子, 岩崎卓爾, 荒木勤: [一般講演] IUGR胎仔肺における肺胞表面シアル酸の発現. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 30) 倉石公路, 鄭光民, 小西英喜, 加藤礼子, 岩崎卓爾, 荒木勤: [一般講演] IUGR胎仔胎盤Somatostatinの光顕および電顕的検討. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 31) 織田利光<sup>1)</sup>, 中井章人<sup>1)</sup>, 朝倉啓文<sup>1)</sup>, 若麻績佳樹<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤<sup>(<sup>1)</sup>第一病院産婦人科)</sup>: [一般講演] 新生児の泣き声の解析と新生児行動との関連. 第23回日本新生児学会総会, 1987.



- 32) 笠原孝之<sup>1)</sup>, 朝倉啓文<sup>1)</sup>, 中井章人<sup>1)</sup>, 織田利光<sup>1)</sup>, 角田隆<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤<sup>(<sup>1)</sup>第一病院産婦人科)</sup> :  
〔一般講演〕FHR - acceleration および胎児 behaviour の出現様式に関する検討. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 33) 河村亮, 小川博康, 澤倫太郎, 大村浩, 朝倉啓文<sup>1)</sup>, 荒木勤, 進純郎<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第一病院産婦人科, <sup>2)</sup>総合保原中央病院産婦人科) : 〔一般講演〕胎盤循環の血流動態と胎児の体温調節機構に関する研究. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 34) 星順<sup>1)</sup>, 内田富美子<sup>2)</sup>, 進純郎<sup>2)</sup>, 佐藤喜一<sup>2)</sup>, 仁志田博司<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京女子医大小児科, <sup>2)</sup>総合保原中央病院) :  
〔一般講演〕顔貌による男らしさ, 女らしさの発現時期の検討. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 35) Cheng, K.M., Kuraishi, H., Konishi, H., Kato, R., Iwasaki, T., Yagi, S., Ghazizadah, M. and Araki, T. :  
〔一般講演〕The effect of antenatal solcoseryl on hepatic glycogen synthesis in rat fetuses with intrauterine growth retardation. The 3rd International Symposium, The Fetus as a Patient (Matsue), 1987.
- 36) Nishinaka, K., Kawamura, T., Suzuki, S., Ogawa, H., Ohmura, H., Yoneyama, Y., Takahashi, H. and Araki, T. : 〔一般講演〕Effect of nicotine on fetal growth in rats. The 3rd International Symposium, The Fetus as a Patient (Matsue), 1987.
- 37) Kawamura, T., Ogawa, H., Ohmura, H., Sawa, R. and Araki, T. : 〔一般講演〕Effect of environmental temperature on the tissue blood flow in fetal sheep. The 3rd International Symposium, The Fetus as a Patient (Matsue), 1987.
- 38) 内田勝次<sup>1)</sup>, 山田正興, 浜谷次郎<sup>1)</sup>, 高梨安弘<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立横須賀病院) : 〔一般講演〕自然子宮破裂にて母児共救命しえた症例. 第245回日本産婦人科学会神奈川地方部会, 1987.
- 39) 可世木久幸, 進純郎<sup>1)</sup>, 大村浩, 五十嵐俊夫, 外山和秀, 家永聡, 荒木勤<sup>(<sup>1)</sup>総合保原中央病院産婦人科)</sup> :  
〔一般講演〕ヒステロファイバースコープの臨床応用; テフロンチューブを利用して. 第27回日本産婦人科内視鏡学会, 1987.
- 40) 岡本哲, 若月雅美, 鴨井青龍, 澤倫太郎, 福田功, 鈴木聡, 家永聡, 荒木勤 : 〔一般講演〕周産期における心室径の変化. 第10回日本産婦人科学会産科婦人科ME懇話会, 1987.
- 41) 磯崎太一, 太田雄治郎, 鈴木聡, 倉石公路, 米山芳雄, 米山剛一, 高橋英彦, 佐々木茂, 荒木勤, 野村信夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日本獣医畜産大学, 分子腫瘍) : 〔一般講演〕胞状奇胎胎転移症例の細胞遺伝学的検索と細胞性癌遺伝子の発現について. 第5回日本産科婦人科絨毛性疾患懇話会, 1987.
- 42) 加藤礼子, 鄭光民, Ghazizadeh, M., 倉石公路, 小西英喜, 岩崎卓爾, 荒木勤 : 〔一般講演〕実験的 IUGR 胎仔肝組織学的検索; 特に肝 glycogen の局在を中心として. 第11回産婦人科栄養代謝研究会, 1987.
- 43) 八木寛, 鈴木聡, 澤倫太郎, 西中健二, 小川秀臣, 河村亮, 佐々木茂, 荒木勤 : 〔一般講演〕ラット正常発育胎仔と IUGR 胎仔の腭ラ氏島の形態学的検索. 第11回産婦人科栄養代謝研究会, 1987.
- 44) 倉石公路, 鄭光民, 小西英喜, 加藤礼子, 岩崎卓爾, Ghazizadeh, M., 荒木勤, 兼子和彦<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>葛飾赤十字産院) :  
〔一般講演〕IUGR 胎仔胎盤 Somatostatin の局在について; 組織学的検索を中心にして. 第11回産婦人科栄養代謝研究会, 1987.
- 45) 磯崎太一, 太田雄治郎, 小川秀臣, 鈴木聡, 米山芳雄, 佐々木茂, 荒木勤, 野村信夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日本獣医畜産大学, 分子腫瘍) : 〔展示〕胞状奇胎における細胞遺伝学的成因と c - oncogene の rearrangement と overexpression. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 46) 太田雄治郎, 磯崎太一, 小川秀臣, 鈴木聡, 米山芳雄, 佐々木茂, 荒木勤, 野村信夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日本獣医畜産大学, 分子腫瘍) : 〔展示〕子宮腫瘍における細胞性癌遺伝子の構造異常と発現の増大. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 47) 進純郎<sup>1)</sup>, 佐藤喜一<sup>1)</sup>, 星順<sup>2)</sup>, 内田富美子<sup>2)</sup>, 小川博康 (<sup>1)</sup>総合保原中央病院産婦人科, <sup>2)</sup>東京女子医大小児科) :  
〔一般講演〕胎内治療を含めた総合管理が奏効した先天腹水症の1症例. 第35回北日本産婦人科学会, 1987.

- 48) 中井章人<sup>1)</sup>, 朝倉啓文<sup>1)</sup>, 横田明重<sup>1)</sup>, 西島重光<sup>1)</sup>, 若麻績佳樹<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤 ( <sup>1)</sup>第一病院産婦人科 ) :  
〔一般講演〕超音波断層法による胎児尿産生量の短時間計測法, 第263回日本産婦人科学会東京地方部会, 1987.
- 49) 可世木久幸, 大村浩, 五十嵐俊夫, 外山和秀, 家永聡, 荒木勤 : 〔一般講演〕ヒステロファイバースコープによる子宮内腔および卵管の検索. 第263回日本産婦人科学会東京地方部会, 1987.
- 50) 磯崎太一, 許田マチ子<sup>1)</sup>, 栗田口康一<sup>1)</sup>, 山田恵三<sup>1)</sup>, 兼子和彦<sup>1)</sup>, 荒木勤 ( <sup>1)</sup>葛飾赤十字産院 ) : 〔一般講演〕  
双胎妊娠における母体体重増加量の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 51) 五十嵐俊夫, 天神尚子, 山田隆<sup>1)</sup>, 齊木名幸丸<sup>2)</sup>, 横倉稔明<sup>2)</sup>, 荒木勤 ( <sup>1)</sup>下谷病院産婦人科, <sup>2)</sup>同, 放射線科 ) :  
〔一般講演〕診断に苦慮した卵巣腫瘍の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 52) 太田雄治郎, 磯崎太一, 小川秀臣, 鈴木聡, 佐々木茂, 荒木勤, 野村信夫<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>日本獣医畜産大学, 分子腫瘍 ) :  
〔一般講演〕子宮癌における細胞性癌遺伝子の構造異常と発現の増大に関する研究. 第55回日本医科大学医学会  
総会, 1987.
- 53) 吉田雄一郎, 太田雄治郎, 土居大祐, 米山剛一, 飯田啓, 八木覚, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤 : 〔一般講演〕卵  
管絨毛癌の1例 (抄録題名: 子宮外妊娠既往後, 短期間のうちにビマン性肺転移を来した絨毛癌の1例). 第55  
回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 54) 鈴木正雄, 河村堯, 西中健二, 竹内正人, 鈴木昭, 荒木勤 : 〔展示〕ラット胎仔発育に対するニコチンの影響.  
第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 55) 磯崎太一, 太田雄治郎, 鈴木聡, 佐々木茂, 荒木勤, 佐藤純子<sup>1)</sup>, 野村信夫<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院研究棟, <sup>2)</sup>日本獣医畜  
産大学分子腫瘍 ) : 〔展示〕胞状奇胎および絨毛癌におけるc - oncogene の rearrangement と overexpression に  
関する研究. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 56) 小川秀臣, 渡辺美千明, 家永聡, 米山剛一, 八木覚, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤 : 〔展示〕最近経験した Prune -  
Belly Syndrome の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 57) 澤倫太郎, 磯崎太一, 福田功, 高橋英彦, 波多野久昭, 鈴木昭, 荒木勤, 岡田憲明<sup>1)</sup>, 野村武夫<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第3内科 ) :  
〔展示〕妊娠に合併した鉄芽球性貧血の1症例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 58) 波多野久昭 : 〔海外留学者講演〕人工的に灌流したモルモット胎盤における重炭酸の取り込み. 第55回日本医科  
大学医学会総会, 1987.
- 59) 可世木久幸 : 〔海外留学者講演〕米国中西部における医学研究, 研修の成果. 第55回日本医科大学医学会総会,  
1987.
- 60) 河合尚基<sup>1)</sup>, 諏訪喜宣<sup>1)</sup>, 笠原孝之<sup>1)</sup>, 山口暁<sup>1)</sup>, 織田利光<sup>1)</sup>, 明楽重夫<sup>1)</sup>, 中井章人<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤  
( <sup>1)</sup>第一病院産婦人科 ) : 〔パネルディスカッション〕Ip Tcc による卵巣癌治療. 第74回日本産婦人科学会関  
東連合地方部会, 1987.
- 61) 許田マチ子<sup>1)</sup>, 磯崎太一, 篠原継男<sup>1)</sup>, 栗田口康一<sup>1)</sup>, 山口恵三<sup>1)</sup>, 竹石芳光<sup>1)</sup>, 兼子和彦<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>葛飾赤十字産院 )  
〔展示〕裂孔を伴う中隔子宮における羊水過多症の1例. 第74回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 62) 野村忠利<sup>1)</sup>, 中嶋唯夫<sup>1)</sup>, 荒木勤 ( <sup>1)</sup>多摩永山病院, 産婦人科 ) : 〔パネルディスカッション〕骨盤位に対する  
非選択的帝切は避けたい. 第74回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 63) 西中健二, 岩崎卓爾, 大村浩, 石川孝次, 石野尚吾, 荒木勤 : 〔パネルディスカッション〕広汎性子宮全摘出術  
後の膀胱麻痺に対する針療法の効果について. 第74回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 64) 諏訪喜宣<sup>1)</sup>, 相谷佳子<sup>1)</sup>, 田中彰<sup>1)</sup>, 小川隆吉<sup>1)</sup>, 若麻績佳樹<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤 ( <sup>1)</sup>第一病院産婦人科 ) :  
〔パネルディスカッション〕妊婦スポーツが産褥期に及ぼす影響について. 第74回日本産婦人科学会関東連合地  
方部会, 1987.
- 65) 高橋英彦, 鈴木聡, 福田功, 澤倫太郎, 八木覚, 佐々木茂, 荒木勤 : 〔パネルディスカッション〕予定日超過例

の誘発可否. 第74回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.

- 66) 倉石公路, 鄭光民, 小西英喜, 加藤礼子, 河村堯, 荒木勤, 兼子和彦<sup>1)</sup> (1)葛飾赤十字産院): [パネルディスカッション] IUGRの対策: 経母体的糖輸液療法. 第74回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 67) 荒木勤: [パネルディスカッション] 妊娠中のスポーツの可否. 第74回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 68) 磯崎太一, 高橋英彦, 鈴木聡, 澤倫太郎, 佐々木茂, 岡田憲明<sup>1)</sup>, 荒木勤, 野村武夫<sup>1)</sup> (1)第3内科): [展示] 妊娠に合併した鉄芽球形貧血の一症例. 第74回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 69) 山口暁<sup>1)</sup>, 河合尚基<sup>1)</sup>, 諏訪喜宣<sup>1)</sup>, 朝倉啓文<sup>1)</sup>, 越野立夫<sup>1)</sup>, 荒木勤 (1)第一病院産婦人科): [展示] 子宮癌に対する動注療法の経験. 第74回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 70) 家永聡, 外山和秀, 五十嵐俊夫, 可世木久幸, 荒木勤: [展示] 超音波排卵モニタリングとBBTホルモン定量による妊孕性のAssessment. 第74回日本産婦人科学会関東連合地方部会, 1987.
- 71) 内田勝次<sup>1)</sup>, 高梨安弘<sup>1)</sup>, 山田正興, 大久保正<sup>1)</sup> (1)国立横須賀病院): [一般講演] 悪性変化を示した類皮嚢胞腫の一例. 第42回国立病院療養所医学会, 1987.
- 72) 内田勝次<sup>1)</sup>, 浜谷次郎<sup>1)</sup>, 山田正興, 高梨安弘<sup>1)</sup> (1)国立横須賀病院): [一般講演] 子宮頸部原発悪性黒色腫のBCG療法. 第42回国立病院療養所医学会, 1987.
- 73) 磯崎太一, 許田マチ子<sup>1)</sup>, 兼子和彦<sup>1)</sup> (1)葛飾赤十字産院): [一般講演] 双胎妊娠における母体体重増加量の検討. 第28回日本母性衛生学会学術集会, 1987.
- 74) Kaseki, H., Toyama, K., Igarashi, T., Iyenaga, S. and Araki, T.: [一般講演] The role of vitamin E in granulosa cell; Interaction with cholesterol. With World Congress on Human Reproduction (Tokyo), 1987.
- 75) Kaseki, H., Igarashi, T., Toyama, K., Iyenaga, S., Ohmura, H. and Araki, T.: [一般講演] New approach for infertility treatment clinical application of flexible hysteroscope and teflon tubing into uterotubal junction (UTJ). With World Congress on Human Reproduction (Tokyo), 1987.
- 76) 今泉護, 寺崎一利, 石原武, 小山基, 柳沢紘, 石野尚吾: [一般講演] 北里研究所付属東洋医学総合研究所における鍼灸治療の実践. 第44回日本東洋医学会関東甲信越支部会, 1987.
- 77) 石原武, 寺崎一利, 柳沢紘, 石野尚吾: [一般講演] 円形脱毛症の鍼治療の一例. 第44回日本東洋医学会関東甲信越支部会, 1987.
- 78) 花輪寿彦, 江川充, 丁宗鉄, 石野尚吾, 大塚芥男: [一般講演] 微少変化型ネフローゼ症候群の一例. 第44回日本東洋医学会関東甲信越支部会, 1987.
- 79) 五十嵐俊夫, 外山和秀, 家永聡, 大村浩, 可世木久幸, 荒木勤, 竹島勉<sup>1)</sup> (1)財団法人動物繁殖研究所): [一般講演] 性周期, 着床に伴うRat子宮内Vitamin EとCholesterolの変動. 第5回日本受精着床学会, 1987.
- 80) 進純郎<sup>1)</sup>, 小川博康, 佐藤喜一<sup>1)</sup> (1)総合保原中央病院産婦人科): [一般講演] 当院NICU 7年の軌跡と地域医療. 昭和62年度日本産婦人科学会福島地方部会秋季学術集会, 1987.
- 81) 本田任<sup>1)</sup>, 笠間光太郎<sup>1)</sup>, 菅野寛<sup>1)</sup>, 呉竹弘吉<sup>1)</sup>, 進純郎<sup>1)</sup>, 上川直樹<sup>1)</sup>, 長浦良<sup>1)</sup>, 新妻和雄<sup>1)</sup>, 二瓶貢<sup>1)</sup>, 幡研一<sup>1)</sup>, 幡進<sup>1)</sup>, 佐藤章 (1)福島OG会, 2)福島県立医大): [一般講演] 子宮内膜症治療におけるCA125測定の意義 (第2報). 昭和62年度日本産婦人科学会福島地方部会秋季学術集会, 1987.
- 82) 進純郎<sup>1)</sup>, 小川博康, 佐藤喜一<sup>1)</sup>, 河村堯, 波多野久昭, 田中幸太郎, 鈴木聡, 荒木勤 (1)総合保原中央病院産婦人科): [一般講演] 当院におけるin utero chronic preparation実験の現況. 第121回福島県医師会医学大会第271回福島医学会学術研究集会, 1987.
- 83) 大村浩, 竹下俊行<sup>1)</sup>, 宮内裕光<sup>1)</sup>, 小池敏正<sup>1)</sup>, 横田明重<sup>2)</sup> (1)下都賀総合病院産婦人科, 2)第一病院産婦人科): [一般講演] Ip Tccによる卵巣癌治療について. 第26回栃木県農村医学会, 1987.
- 84) 可世木久幸, 五十嵐俊夫, 外山和秀, 家永聡, 大村浩, 荒木勤, 竹島勉<sup>1)</sup> (1)財団法人動物繁殖研究所): [一

- 般講演] 卵巣への Vitamin E および Cholesterol 吸収機構の解明. 第32回日本不妊学会総会, 1987.
- 85) 鈴木聡, 河村堯, 土居大祐, 渡辺美千明, 若月雅美, 鄭光民, 波多野久昭, 荒木勤: [一般講演] 妊娠早期に診断しえた子宮外妊娠の1例, 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 86) 外山和秀, 野村忠利<sup>1)</sup>, 三浦義雄<sup>1)</sup>, 中嶋唯夫<sup>1)</sup>, 前田昭太郎<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院産婦人科, <sup>2)</sup>同病理): [一般講演] 妊娠中期にて常位胎盤早期剝離にDICを併発した急患の1例. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 87) 鴨井青龍, 澤倫太郎, 鈴木聡, 渡辺美千明, 岡本哲, 波多野久昭, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤: [一般講演] 胎生児に投与された黄体ホルモンが原因と思われた女性仮性半陰陽の一例. 第264回日本産婦人科学会東京地方部会, 1987.
- 88) 外山和秀, 野村忠利<sup>1)</sup>, 三浦義雄<sup>1)</sup>, 川村満元<sup>1)</sup>, 中嶋唯夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院産婦人科): [一般講演] 診断困難であった片側腫, 子宮留血腫を形成した重複腫・重複子宮の一症例. 第264回日本産婦人科学会東京地方部会, 1987.
- 89) Kawamura, T., Sawa, R., Suzuki, S., Shin, S. and Araki, T.: [一般講演] Effect of environmental temperature on the organ blood flow in fetal sheep. XIth Asian and Oceanic Congress of Obstetrics and Gynecology (Hong Kong), 1987.
- 90) K.M.Cheng., Konishi, H., Kuraischi, K., Kato, R. and Araki, T.: [一般講演] The effect of solcoseryl on hepatic glycogen synthesis in normal developing and intrauterine growth-retarded (IUGR) rat fetuses. XIth Asian and Oceanic Congress of Obstetrics and Gynecology (Hong Kong), 1987.
- 91) Konishi, H., Cheng, K.M., Kuraishi, K., Iwasaki, T. and Araki, T.: [一般講演] Sialic acid expression in normal developing and intrauterine growth-retarded fetal rat lungs. XIth Asian and Oceanic Congress of Obstetrics and Gynecology (Hong Kong), 1987.
- 92) Kawamura, T., Sawa, R., Shin, S. and Araki, T.: [一般講演] Effect of nicotine on fetal development in rat. XIth Asian and Oceanic Congress of Obstetrics and Gynecology (Hong Kong), 1987.
- 93) Kaseki, H., Ienaga, S., Ohmura, H. and Araki, T.: [一般講演] Hysteroscopic insemination into tube (HIT); New step for infertility treatment. XIth Asian and Oceanic Congress of Obstetrics and Gynecology (Hong Kong), 1987.
- 94) Ohtsuka, S.<sup>1)</sup>, Tsunoda, Y.<sup>1)</sup>, Ogawa, T.<sup>1)</sup>, Konishi, T. and Araki, T.: [一般講演] Control of glycogen metabolism in the brain of rat fetuses. XIth Asian and Oceanic Congress of Obstetrics and Gynecology (Hong Kong), 1987.
- 95) 竹内正人, 波多野久昭, 福田功, 家永聡, 西中健二, 岡本哲, 河村堯, 佐々木茂, 荒木勤: [一般講演] 再発を繰り返す卵巣顆粒膜細胞腫に対する動注療法の試み. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 96) 外山和秀, 野村忠利, 三浦義雄, 中嶋唯夫: [一般講演] 妊娠21週, 早剥→DIC→Afibrinogenemiaを呈した症例の凝血学的解析と治療の検討. 第1回日本産婦人科学会東京地方部会 東京母性保護医協会合同研修会, 1988.
- 97) 荒木勤: [特別講演] 過期妊娠Up-to-date. 第86回鹿児島市産婦人科医会, 1988.

## [第一病院産婦人科]

### 研究概要

当教室の研究は、産科領域では、妊婦、胎児、新生児に分けることができる。妊婦では妊娠中の生活面でいかに有意義にまた快適に妊娠生活を過ごせるかということが研究テーマで、妊娠中のスポーツをとりあげ、産褥精神病の一つであるマタニティブルースと関連を求め、有効な成績が得られた。

胎児では、MEを用い胎児機能計測、つまり胎児尿産生能、音刺激による心拍変化、胎児 Behaviour の出現様式などの研究、さらに胎児計測データベースを作成した。

新生児では、泣き声の分析および Brazelton 新生児行動評価との関連を求めた。

動物実験では、新生児脳室内出血の発生要因に関する研究を論文にまとめあげ、さらにラット胎仔脳における glycogen 代謝調節の研究、また脂質代謝ではリノール酸、リノレン酸食餌による胎仔への影響を現在研究中である。

婦人科領域では、卵巣癌、集学的治療を、子宮内膜症はとみに増加が著しい疾患なので、診断技術の向上、および治療法の確立をはかりデータをまとめあげ臨床研究面での成果をはかりたい。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 明楽重夫：〔原著〕成長ホルモン分泌に対するテストステロンの効果。日医大誌，54，109～117，1987。
- 2) 河合尚基，加藤久盛，角田隆，越野立夫，浅野伍朗<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第2病理）：〔原著〕半頭骨全身無心体の1例。日産婦会誌，39，1021～1024，1987。
- 3) 中井章人，朝倉啓文，越野立夫：〔原著〕超音波断層法による胎児尿路系観察の意義。産婦の実際，36，833～839，1987。
- 4) 諏訪喜宣，河合尚基，永井進，角田隆，越野立夫：〔原著〕絨毛性疾患に対する Etoposide の使用経験。日産婦東京会誌，36，164～168，1987。
- 5) 越野立夫，相谷佳子：〔原著〕子宮筋腫合併妊娠の取り扱い。産婦治療，55，1～4，1987。
- 6) 荒木勤，岡本哲，永井進：〔原著〕妊娠週数，分娩予定日の修正。産婦の実際，36，1126～1129，1987。
- 7) 越野立夫，西島重光：〔原著〕音刺激による胎児機能検査（特集：胎児診断・胎児治療に関する最近の話題）。周産期医，17，1213～1217，1987。
- 8) 荒木勤，河合尚基：〔原著〕胎児・胎盤の機能とその検査法。周産期医，17，1265～1269，1987。
- 9) 朝倉啓文，馬淵是純，笠原孝之，若麻績佳樹，力武義之，越野立夫，荒木勤，早田孝敬<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第2病理）：〔原著〕Chorioamnionitis，胎児感染を認めた早産症例。日産婦東京会誌，36，309～312，1987。
- 10) 荒木勤，山口暁：〔原著〕分娩発来メカニズム。周産期医，17，1741～1745，1987。
- 11) 小川隆吉：〔原著〕妊婦と虫垂炎（特集：産科からみた周産期感染症一臨床編）。周産期医，17（臨時増刊号），117～120，1987。
- 12) 永井進：〔原著〕パソコン通信による産婦人科医療情報ネットワーク（特集1：産婦人科領域でのパソコン利用）。メディカル・パソコン，2，1168～1172，1987。
- 13) 中井章人，朝倉啓文，横田明重，西島重光，若麻績佳樹，越野立夫，荒木勤：〔原著〕超音波断層法による胎児尿産量の短時間計測法。日産婦東京会誌，36，345～348，1987。
- 14) 荒木勤，北川優：〔原著〕分娩監視法。周産期医，18，133～139，1988。
- 15) 越野立夫：〔原著〕子宮筋腫合併妊娠。東母衛誌，4，28～31，1988。
- 16) 山口暁：〔原著〕新生児脳室内出血の発生要因に関する研究；ラット胎仔脳上衣下層の超微形態学的変化。日医大誌，55，13～21，1988。
- 17) 織田利光：〔原著〕正常新生児の泣き声に関する研究。日医大誌，55，29～37，1988。

- 18) Akira, S., Wakabayashi, I., Sugihara, H., Minami, S., Takahashi, F. and Motoyama, A.: [原著] Effect of testosterone on growth hormone secretion in female rats during a continuous infusion of growth hormone releasing factor. *Neuroendocrinology*, 47, 116~124, 1988.
- 19) Takahashi, H., Takeshita, T. and Yokomuro, K.: [原著] Suppression of liver regeneration resulting from intravenous injection of splenic glass adherent cells activated by Poly I:C. *Immunobiology*, 176, 217~227, 1988.

#### 学会発表

- 1) 角田隆, 小川隆吉, 山口暁, 菊池京子, 大塚茂, 越野立夫, 荒木勤: [一般講演] ラット胎仔脳における glycogen 代謝調節. 第39回日本産科婦人科学会総会, 1987.
- 2) 朝倉啓文, 馬淵是純, 笠原孝之, 若麻績佳樹, 力武義之, 越野立夫, 荒木勤: [一般講演] Chorioamnionitis; 胎児感染を認めた早産症例. 第262回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1987.
- 3) 越野立夫: [シンポジウム] 子宮筋腫合併妊娠. 第5回東京母性衛生学会総会, 1987.
- 4) 角田隆, 河合尚基, 馬淵是純, 小川隆吉, 越野立夫, 荒木勤, 中山恵二<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>皮膚科): [展示] Bowenoid papulosis の2例. 第73回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1987.
- 5) 諏訪喜宣, 北川優, 山口暁, 朝倉啓文, 若麻績佳樹, 力武義之, 越野立夫, 荒木勤: [一般講演] マタニティブルーにおける精神的, 産科的背景. 第73回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1987.
- 6) 笠原孝之, 朝倉啓文, 中井章人, 織田利光, 角田隆, 越野立夫, 荒木勤: [一般講演] FHR - acceleration および胎児 behaviour の出現様式に関する検討. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 7) 織田利光, 中井章人, 朝倉啓文, 若麻績佳樹, 越野立夫, 荒木勤: [一般講演] 新生児の泣き声の解析と新生児行動との関連. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 8) 中山裕樹, 岡島弘幸<sup>1)</sup>, 早淵洋子<sup>2)</sup>, 中村満美子<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>神奈川県立がんセンター婦人科, <sup>2)</sup>同病理, 細胞診): [一般講演] 診断確定までに紆余曲折のあった2症例. 第6回日本臨床細胞学会神奈川地方会, 1987.
- 9) 中井章人, 朝倉啓文, 横田明重, 西島重光, 若麻績佳樹, 越野立夫, 荒木勤: [一般講演] 超音波断層法による胎児尿産生量の短時間計測法. 第263回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1987.
- 10) 笠原孝之, 西島重光, 角田隆, 朝倉啓文, 越野立夫: [一般講演] FHR - acceleration および胎児 behaviour の出現様式に関する検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 11) 西島重光, 相谷佳子, 加藤久盛, 大塚茂, 若麻績佳樹, 越野立夫: [展示] 卵巣未分化胚細胞腫の4例; VAC療法の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 12) 安東春美<sup>1)</sup>, 橋田尚志<sup>1)</sup>, 安本茂<sup>1)</sup>, 中山裕樹 (<sup>1)</sup>神奈川県立がんセンター研究所): [展示] 子宮頸部高度異型前癌細胞のホルモン添加無血清培養. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 13) 河合尚基, 諏訪喜宣, 笠原孝之, 山口暁, 織田利光, 明楽重夫, 中井章人, 越野立夫, 荒木勤: [パネルディスカッション] Ip Tccによる卵巣癌治療. 第74回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1987.
- 14) 諏訪喜宣, 相谷佳子, 田中彰, 小川隆吉, 若麻績佳樹, 越野立夫, 荒木勤: [パネルディスカッション] 妊婦スポーツが産褥に及ぼす影響について. 第74回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 1987.
- 15) 明楽重夫, 亀山信彦, 濱野尚和, 高橋亘<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>下館市民病院): [一般講演] 若年性巨大卵巣腫瘍の1例. 第9回茨城医学会産婦人科分科会, 第76回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 1987.
- 16) 山口暁, 北川優, 笠原孝之, 諏訪喜宣, 若麻績佳樹, 越野立夫, 疋田美直<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>埼玉医大): [一般講演] 子宮外妊娠に対する保存的治療の試み. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 17) 越野立夫: [特別講演] 妊婦のスポーツ; 妊婦水泳. 第1回女性スポーツ医学研究会, 1987.

- 18) 大村浩<sup>1)</sup>, 竹下俊行<sup>1)</sup>, 宮内裕光<sup>1)</sup>, 小池敏正<sup>1)</sup>, 横田明重 ( <sup>1)</sup>下都賀総合病院 ) : [一般講演] Ip Tccによる卵巣癌治療について. 栃木県農村医学会, 1987.
- 19) 相谷佳子, 諏訪喜宣, 加藤久盛, 角田隆, 若麻績佳樹, 力武義之, 越野立夫, 山田宣孝<sup>1)</sup>, 浅野伍朗<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第2病理 ) : [一般講演] 悪性腫瘍を強く疑った卵巣血管腫の一例. 第264回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1987.
- 20) Ohtsuka, S., Tsunoda, Y., Ogawa, T., Koshino, T. and Araki, T. : [展示] Control of glycogen metabolism in the brain of rat fetus. XIth Asia & Oceanic Congress of obstetrics and gynaecology (Hong - Kong), 1987.
- 21) 露木佳子, 諏訪喜宣, 加藤久盛, 若麻績佳樹, 力武義之, 越野立夫, 山田宣孝<sup>1)</sup>, 浅野伍朗<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第2病理 ) : [一般講演] CA - 125が高値を呈した卵巣血管腫の1症例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 22) 浅野健<sup>1)</sup>, 務川靖<sup>1)</sup>, 山本正生<sup>1)</sup>, 植田穰<sup>1)</sup>, 小川隆吉, 北川優 ( <sup>1)</sup>付属病院小児科 ) : [一般講演] 術後, Vincristine, adriamycin, cyclophosphamideの3者併用療法により2年間寛解状態を継続しているovarial mixed germ cell tumorの1女児例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 23) 市瀬裕美<sup>1)</sup>, 角田守<sup>1)</sup>, 大木由加志<sup>1)</sup>, 細井宏益<sup>1)</sup>, 手代木正<sup>1)</sup>, 西島重光, 大塚茂, 鈴木恒道<sup>2)</sup>, 川本雅司<sup>3)</sup>, 杉崎祐一<sup>3)</sup>, 中山宣昭<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>第一病院小児科, <sup>2)</sup>付属病院病理部, <sup>3)</sup>第1病理 ) : [一般講演] 急性リンパ球性白血病に卵巣腫瘍を合併した1症例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 24) 松久威史<sup>1)</sup>, 伊藤正秀<sup>1)</sup>, 大島博<sup>1)</sup>, 西島重光, 大塚茂, 渡辺一彦<sup>2)</sup>, 布施修一<sup>2)</sup>, 庄司佑<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>内視鏡科, <sup>2)</sup>第2外科 ) : [一般講演] 妊娠に合併した胃癌の2症例; 内視鏡科の胃癌症例との比較を含めて. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 25) 古谷政一<sup>1)</sup>, 小泉信一郎<sup>1)</sup>, 塩田吉宣<sup>1)</sup>, 明榮重夫<sup>2)</sup>, 亀山信彦<sup>2)</sup>, 濱野尚和<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>下館市民病院外科, <sup>2)</sup>同・産婦人科 ) : [一般講演] 妊娠中, 腸重積症として発症した盲腸癌の1例. 第24回日本救急医学会関東地方部会, 1988.
- 26) 松久威史<sup>1)</sup>, 伊藤正秀<sup>1)</sup>, 大島博<sup>1)</sup>, 西島重光, 大塚茂, 越野立夫, 渡辺一彦<sup>2)</sup>, 布施修一<sup>2)</sup>, 庄司佑<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>内視鏡科, <sup>2)</sup>第2外科 ) : [一般講演] 妊娠に合併した胃癌の2症例. 第198回日本消化器病学会関東地方会, 1988.
- 27) 永井進 : [一般講演] 胎児超音波計測値データベースシステム. 第16回産婦人科マイクロコンピュータ研究会, 1988.

## [第二病院産婦人科]

### 研究概要

腔式超音波プローブを使用した研究業績が本年度の特長的なものである。従来使用されてきた経腹壁超音波では、その分解能の点から、また経直腸法はその使用法の点から問題のあることは否定できなかったが、経腔的な使用法は多くの問題点を解決した。

本法を使用して、従来予想だにされなかった子宮内膜の合目的運動を見出したのは世界的にも初めての報告であり、また本法を使用して切迫早産の診断・治療に応用され、他の子宮収縮の問題とともに、本年度はこの問題に関する報告・研究が多かった。

軟産道の問題に関しては、頸管縫縮術・頸管無力症などの臨床的な問題のほかに、本教室の特徴的な実験法である有重複子宮動物を使用した基礎実験が発展している。

最近では分娩の際の骨産道の研究はやや無視される傾向は否定できないが、当教室では膨大な母体骨盤のデータがあり、これを最近開発された種々のコンピューター技術を駆使して、新しい観点から集計分析が開始され、この研究は今後数年で完成されるものであろう。

妊娠中、産褥期の母体の種々の軽症・重症の合併症・摂生の研究が従来どおり行われてきているが、妊娠中のスポー

ツとかマイナージスターバンスの点を取り上げているのは当教室の特徴的なことであり、その最も代表的なものとして、多くの産婦が興味を持つ妊娠中の靴の基礎的問題が研究されており、このことは今後フィールドリサーチに移行して行くことが期待されるものである。

## 研究業績

### 論文

- 1) 大内和子, 塚田克也, 平野和雄, 高橋通, 荒木良二, 菊池三郎: [原著] 産婦人科臨床における血清 Sial 酸の意義. 聖マリアンナ研究所医学研究業績, No.62, 1~4, 1987.
- 2) 荒木良二, 松尾健志, 塚田克也, 松本譲二, 高橋通, 菊池三郎: [原著] 妊娠中の子宮収縮. 日産婦神奈川会誌, 24, 4~12, 1987.
- 3) 松本譲二: [原著] 妊娠後期ラット子宮筋の交感神経密度と子宮収縮. 日平滑筋会誌, 23, 422~424, 1987.
- 4) 石原楷輔, 松尾健志, 大池澄孝, 平野和雄, 菊池三郎: [原著] 超音波による前置胎盤の診断. 産と婦, 54, 819~823, 1987.
- 5) 石原楷輔, 高木清, 小畑清一郎, 松尾健志, 大池澄孝, 平野和雄, 菊池三郎: [原著] 超音波画像法による検査; 経腔・経直腸超音波検査. 周産期医, 17, 1193~1198, 1987.
- 6) 石原楷輔, 松尾健志, 大池澄孝, 平野和雄, 菊池三郎; [原著] 新しい超音波診断法: 経腔・経直腸診断法. 産婦の世界, 39, 647~652, 1987.
- 7) 大池澄孝, 高木清, 松尾健志, 山藤泰功, 平野和雄, 石原楷輔, 菊池三郎: [原著] 性周期における子宮内膜の経日の観察; 経腔描写法による観察. 日超医会第50回研究発表会講演論文集, 3~4, 1987.
- 8) 平野和雄, 高木清, 松尾健志, 大池澄孝, 石原楷輔, 菊池三郎: [原著] 超音波断層法による頸管無力症診断の試み. 日超医会第50回研究発表会講演論文集, 13~14, 1987.
- 9) 大池澄孝, 高木清, 松尾健志, 山藤泰功, 平野和雄, 石原楷輔, 菊池三郎: [原著] 子宮内膜運動と子宮収縮. 日超医会第51回研究発表会講演論文集, 131~132, 1987.
- 10) 関谷隆夫, 塚田克也, 大池澄孝, 岩崎孝一, 山藤泰功, 平野和雄, 石原楷輔, 菊池三郎: [原著] 早産の背景. 産婦の治療, 55, 372~375, 1987.

### 著書

- 1) 菊池三郎: [分担] 難産. “今日の治療指針”, p.675~676, 医学書院, 1987.
- 2) 菊池三郎, 植竹実: [分担] 巨大児分娩妊婦. “産婦人科Q&A 3. 周産期”, p.113~116, 金原出版, 1987.
- 3) 菊池三郎, 大池澄孝: [分担] 軟産道成熟度の判定. “産婦人科Q&A 3. 周産期”, p.175~178, 金原出版, 1987.
- 4) 菊池三郎, 高橋通: [分担] 頸管縫縮後の分娩対策. “産婦人科Q&A 3. 周産期”, p.185~186, 金原出版, 1987.

### 学会発表

- 1) 松本譲二, 坂元秀樹, 菊池三郎: [展示] 神経切除による子宮筋 gap junction の形成. 第38回日本産科婦人科学会総会, 1987.
- 2) 大池澄孝, 松尾健志, 中島達人, 平野和雄, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 前置胎盤の超音波診断; 経腹的・経直腸的アプローチの比較. 第39回日本産科婦人科学会学術講演会, 1987.
- 3) 松尾健志, 大池澄孝, 平野和雄, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 妊娠中期低置胎盤の母児の予後. 第39回日本産科婦人科学会学術講演会, 1987.
- 4) 大池澄孝, 高木清, 松尾健志, 山藤泰功, 平野和雄, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 産婦人科領域の体腔内



- 走査。性周期における子宮内膜の経日的観察；経描写法による観察。日本超音波医学会，1987。
- 5) 田口正夫，大池澄孝，松本譲二，平野和雄，石原楷輔，菊池三郎，川並汪一<sup>1)</sup>，八木伸一<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第1病理，<sup>2)</sup>八木病院）：〔一般講演〕当科に於ける婦人科性器肉腫。第244回日本産科婦人科学会神奈川地方部会，1987。
  - 6) Oike,K., Takagi,K., Matsuo,K., Hirano,K., Ishihara,K. and Kikuchi,S.: 〔一般講演〕Diagnosis of placenta previa by ultrasonography; Comparison between the transabdominal and transrectal approaches. The Sixth Congress of the European Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology (Helsinki), 1987.
  - 7) 平野和雄，松尾健志，大池澄孝，石原楷輔，菊池三郎：〔一般講演〕頸管無力症の超音波診断の試み。第73回日本産科婦人科学会関東連合総会，1987。
  - 8) 大池澄孝，松尾健志，平野和雄，石原楷輔，菊池三郎：〔一般講演〕正常性周期の子宮内膜の経日的観察。第73回日本産科婦人科学会関東連合総会。1987。
  - 9) 松本譲二：〔一般講演〕妊娠後期ラット子宮筋の交感神経密度と子宮筋の収縮。第29回日本平滑筋学会総会，1987。
  - 10) 高橋通，飯田普也，田中穂積，松本譲二，平野和雄，石原楷輔，菊池三郎：〔一般講演〕骨盤入口面の数理的再検討。第55回日本医科大学医学会総会。1987。
  - 11) 塚田克也，松尾健志，大池澄孝，松本譲二，平野和雄，石原楷輔，菊池三郎：〔一般講演〕経腔経直腸超音波断層法による侵入奇胎の2例。第55回日本医科大学医学会総会，1987。
  - 12) 木下叫一，山藤泰功，小笹潔，松本譲二，高橋通，菊池三郎：〔一般講演〕マタニティーズの基礎的研究。第55回日本医科大学医学会総会，1987。
  - 13) 松本譲二，塚田克也，菊池三郎：〔シンポジウム〕妊娠中のスポーツの可否。第74回日本産科婦人科学会関東連合総会。1987。
  - 14) 塚田克也，松尾健志，大池澄孝，松本譲二，平野和雄，石原楷輔，菊池三郎：〔一般講演〕侵入奇胎の経腔・経直腸法による経過観察。第74回日本産科婦人科学会関東連合総会，1987。
  - 15) 菊池三郎，高橋通，松本譲二，小笹潔：〔一般講演〕婦人の体位と寿命におよぼす経産回数の影響。第42回日本体力医学会大会，1987。
  - 16) Kikuchi,S.: 〔一般講演〕Effect of paternal Smoking on fetus. International Conference on Indoor Air Quality (Tokyo), 1987.
  - 17) 大池澄孝，高木清，小畑清一郎，松尾健志，山藤泰功，平野和雄，石原楷輔，菊池三郎：〔一般講演〕子宮内膜運動と子宮収縮。第50回日本超音波医学会総会，1987。
  - 18) 松本譲二，塚田克也，小畑清一郎，菊池三郎：〔一般講演〕妊娠の不整脈。第24回日本臨床生理学会総会，1987。
  - 19) Matsumoto,J., Tsukada,K., Araki,R., Ishihara,K. and Kikuchi,S.: 〔一般講演〕Supine hypotension and upright hypotension during pregnancy. XIth Asia & Oceania Congress of Obstetrics and Gynecology (Hong Kong), 1987.
  - 20) 木下叫一，小笹潔，山藤泰功，高橋通，菊池三郎：〔一般講演〕マタニティーズの基礎的研究。第248回日本産科婦人科学会神奈川地方部会，1987。
  - 21) 小畑清一郎，高木清，大池澄孝，岩崎孝一，山藤泰功，松本譲二，高橋通，石原楷輔，菊池三郎：〔一般講演〕腔式超音波検査による妊娠初期の観察。第249回日本産科婦人科学会神奈川地方部会，1988。
  - 22) 川並汪一<sup>1)</sup>，小笹潔，岩崎孝一，松本譲二，石原楷輔，菊池三郎（<sup>1)</sup>第二病院病理部）：〔一般講演〕子宮筋腫の悪性化。日本医科大学医学会第64回例会，1988。
  - 23) 松本譲二，菊池三郎：〔シンポジウム〕妊娠中の動悸。第250回日本産科婦人科学会神奈川地方部会，1988。
  - 24) 松尾健志：〔シンポジウム〕妊娠と水腎症。第250回日本産科婦人科学会神奈川地方部会，1988。

- 25) Takahashi, T.: [一般講演] A new model for studies on the mechanism of cervical ripening; The effects of topical PGE2 and pre-labor contractility. The Society of Perinatal Obstetricians (Las Vegas), 1988.
- 26) 関谷隆夫, 小西公麿, 松尾健志, 山藤泰功, 石原楷輔, 菊池三郎: [一般講演] 頸管胎盤の1例とその超音波断層像に対する一考察. 第251回日本産科婦人科学会神奈川地方部会, 1988.

## [多摩永山病院産婦人科]

### 研究概要

- 1) 妊娠中毒症, DICおよび外傷性出血をめぐる凝血学的検討を試み, 凝固・線容能の動態を追求, すでに数次にわたって報告しているが, さらに症例の積み重ねを行っている. また妊娠中毒症, 特に後遺症の長期持続を絶ち, 以後加重型妊娠中毒症発症へ発展することを防ぐべく, 産後5日頃より, 高血圧, 蛋白尿のほか, 尿FDPにも血液FDPなどにも留意して, ウロキナーゼ療法を試み, 従来唱えられていた妊娠中毒症後遺症に卓効を示すことがしばしば認められる事実を確かめ, 報告を試みてきたが, 高血圧症の正常域化に伴う, 静脈脈波の変化から客観的にとらえるべく, 24時間連続血圧変動状態からの諸検討を試み, 従来の妊娠中毒症後遺症に対する再検討を試みている.
- 2) 早産, 特に妊娠24~31週の早産児では, 重篤な奇形合併による自然淘汰現象の一面がみられる. すなわち一次的というか基礎段階での成熟過程, これに伴う胎内発育の急速に進む中で, 失速現象にも似た, 破綻とも受けとめられるための妊娠の早期中絶現象の存在に気づき, 改めて再検討を試みた.
- 3) 重症妊娠中毒症の監視, 特に胎児仮死の出現, これに対する対応, すなわち救命策としての選択帝王切, また早産骨盤位の分娩様式としての積極的な帝王切実施による予後の向上, さらに常位胎盤早期剝離合併早産例中, 特にNICUと連携による児救命策としての下限妊娠期間の検討を, 少しずつ妊娠期間の短縮化による追求も試み100%近い成功は, 妊娠30週, 体重1,000g, これ以下でも数十%の効果が, さらに生育限界としての23週に及ぶことへの努力として検討中である.
- 4) 近年注目される妊婦子宮頸管におけるクラミジア感染の実態の基礎的検討を試み, さらに新生児に対しての検討の足がかりとしたい.

### 研究業績

#### 論文

- 1) 中嶋唯夫: [総説] 早産と奇形 (特集: 早産の治療). 産婦治療, 55, 407~410, 1987.

#### 学会発表

- 1) 三浦義雄, 添野真一, 野村忠利, 中嶋唯夫, 赤松洋<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センターNICU): [一般講演] 院外NICUの協力で成果をあげている選択帝王切実施をめぐる考察. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 2) 野村忠利, 三浦義雄, 中嶋唯夫: [一般講演] 早産と奇形; 特に自然淘汰現象としての児の奇形の関与について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 3) 吉戸隆子, 酒井和子, 飯野伸子, 酒井基容子, 福原美佐子, 小田原綾子, 米山美弥子, 外山和秀, 野村忠利, 中嶋唯夫: [一般講演] 神経性食思不振症及び核出困難な筋腫合併の二分娩例とその保健指導. 第28回日本母性衛生学会総会, 1987.
- 4) 野村忠利, 中嶋唯夫, 荒木勤<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院産婦人科): [パネルディスカッション] 骨盤位は帝王切開と経膈分娩のどちらがよい; 骨盤位に対する非選択帝王切は避けたい. 第74回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総

会, 1987.

- 5) 外山和秀, 野村忠利, 三浦義雄, 中嶋唯夫, 前田昭太郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院病理検査室): [一般講演] 妊娠中期にて常位胎盤早期剝離にDICを併発した急患の1例. 第63回日本医科大学医学会例会, 1987.
- 6) 外山和秀, 野村忠利, 三浦義雄, 川村満元, 中嶋唯夫: [一般講演] 診断困難であった片側腔・子宮留血腫を形成した重複腔・重複子宮の1症例. 第264回日本産科婦人科学会東京地方部会例会, 1987.

## 14. 耳鼻咽喉科学講座

### 〔付属病院耳鼻咽喉科〕

#### 研究概要

教室の研究のメインテーマである神経耳科学、臨床耳科学、気道アレルギー、頭頸部外科、唾液腺に関する成果が主なものである。

気道アレルギー特にアレルギーのケミカルメジエーター、病態生理、肥満細胞の研究が重要課題であった。鼻粘膜におけるこの細胞の動態、分化、増殖の機構の研究は教室大塚、大西のカナダでの留学先の仕事であるが今後の発展が期待できる。本年は日本臨床電子顕微鏡学会を教室が主催し、会長講演とし奥田が、好酸球と肥満細胞に関する教室の業績を総括した。アレルギーの治療等の開発にも積極的に取り組んだ。

頭頸部外科のうち唾液腺腫瘍については、過去3年間にわたる厚生省がん研究の班長を奥田が勤め、班として数々の新しい成果をあげることができ、耳下腺腫瘍も編著した。

耳科学の基礎研究は、動物を用いて、前庭ニューロンの生理、内耳免疫に関する研究が行われた。神経耳科学では、視運動性後眼振の発生機構、前庭眼反射と視覚入力の統合、頭部振動刺激による身体動揺に関する研究が行われ、国内学会および海外での学会で報告し、聴覚に関するものでは、とくに耳鳴の治療（マスカー治療）と、聴性脳幹反応に関する研究が行われた。臨床耳科学に関しては、鼓室形成術の成績、手術前後の耳鳴の変化、突発性難聴の治療が主として研究された。

#### 論文

- 1) 奥田稔：〔総説〕スギ花粉症。臨外，42，427～431，1987.
- 2) 奥田稔，他：〔原著〕AA-673点鼻液のアレルギー性鼻炎に対する臨床薬理学的検討。耳展，30（補2），107～116，1987.
- 3) 奥田稔，他：〔原著〕AA-673点鼻液のアレルギー性鼻炎に対する臨床的検討。耳展，30（補2），117～132，1987.
- 4) 奥田稔，他：〔原著〕アレルギー性鼻炎に対するAA-673点鼻液の臨床評価。耳展，30（補2），133～157，1987.
- 5) 八木聰明，上野博史：〔原著〕モルモット外側半規管一次ニューロンの回転刺激に対する応答。Ear Res. Jpn.，18，471～474，1987.
- 6) 奥田稔：〔原著〕小児の鼻アレルギー。日医師会誌，97，1665～1668，1987.
- 7) 奥田稔：〔総説〕好酸球・好塩基球と炎症。日本炎症学会誌，7，229～240，1987.
- 8) 八木聰明，青木秀治，小林謙，馬場俊吉：〔原著〕鼓室形成術と年齢の関係。日耳鼻会報，90，700～705，1987.
- 9) 小林謙，八木聰明，青木秀治，上野博史，井上英輝，神尾友和：〔原著〕グリセロール・テスト陽性率の時間的変動。耳鼻臨床，79，711～715，1987.
- 10) 奥田稔，他：〔原著〕スギ花粉症に対するトラニラストの季節前投与による予防効果。耳展，30（補3），219～243，1987.
- 11) 八木聰明，小林謙，青木秀治，森園徹志：〔原著〕外耳道異物。耳鼻咽喉科・頭頸部外科MOOK，5，54～63，1987.
- 12) 山口潤，八木聰明，坂井聡子，顔真賢，井上英輝，大久保公裕，平良晋一，中溝宗永：〔原著〕めまいに対する半夏白朮天麻湯の使用経験。耳展，30（補3），255～259，1987.
- 13) 奥田稔：〔原著〕舌根部欠損による誤嚥防止；特に甲状腺移植。耳鼻，33（補2），550～552，1987.
- 14) 奥田稔：〔原著〕誘発テスト；アレルギー性鼻炎。アレルギーの臨床，7，541～544，1987.

- 15) Okuda, M: [総説] Mast cells and the nose. *Allergy Today*, 2, 4~6, 1987.
- 16) 奥田稔, 宇佐神篤: [原著] 日本の花粉症. *耳臨*, 80, 1190~1191, 1987.
- 17) 奥田稔, 鄭鴻祥: [原著] アレルギー鼻粘膜上皮層リンパ球の分布. *日耳鼻免*, 5, 16~17, 1987.
- 18) 鈴木淳一, 加我君孝, 八木聰明: [原著] 米国と英国の医学教育における新しい動き; 医学教育に関するサテライトミーティング報告. *医学教育*, 18, 248~250, 1987.
- 19) 八木聰明, 他: [原著] 耳鼻咽喉科領域における Ampicilin (® Herpen坐剤) の使用経験. *耳展*, 30 (補4), 279~289, 1987.
- 20) 奥田稔: [総説] 周産期の免疫アレルギーの知識 耳鼻咽喉科. *周産期医*, 17, 1328~1332, 1987.
- 21) 奥田稔: [総説] 水粘性後鼻漏. *日医新報*, No.3307, 144, 1987.
- 22) 町井一史, 山野辺滋晴, 青木秀治, 馬場俊吉, 八木聰明: [原著] 耳鳴の客観的評価の検討. *Audiol. Jpn.*, 30, 419~420, 1987.
- 23) 山野辺滋晴, 八木聰明: [原著] ABRによる順応現象の観察. *Audiol. Jpn.*, 30, 469~490, 1987.
- 24) 馬場俊吉, 八木聰明, 青木秀治, 山口潤: [原著] 昏睡患者ABRのI-V波間潜時. *Audiol. Jpn.*, 30, 485~486, 1987.
- 25) 山口潤, 八木聰明, 馬場俊吉: [原著] ABRと頭蓋の大きさの関係 第2報. *Audiol. Jpn.*, 30, 493~494, 1987.
- 26) 八木聰明: [原著] 鼓室形成術と年齢. *医のあゆみ*, 143, 826, 1987.
- 27) Okuda, M: [原著] Ultrafine structure of eosinophil and mast cell in allergy. *J. Clin. EM*, 20, 399~403, 1987.
- 28) 谷本秀司, 石田祐子, 奥田稔: [原著] 鼻アレルギーに及ぼす心身の影響. *呼吸器心身症研究会誌*, 4, 1~5, 1987.
- 29) 奥田稔: [総説] 鼻アレルギーとケミカルメジエーター. アレルギーの臨床, 86, 920~925, 1987.
- 30) 大塚博邦: [総説] 耳鼻咽喉科と薬剤; 投与上の注意点. *JOHNS*, 3, 1815~1819, 1987.
- 31) Otsuka, H., Dolovich, J., Richardson, M., Bienenstock, J. and Denburg, J.: [原著] Metachromatic cell progenitors and specific growth factors in human nasal mucosa and polyps. *Am. Rev. Respir. Dis.*, 136, 710~717, 1987.
- 32) 大塚博邦: [原著] 鼻誘発テストと鼻粘膜好塩基性細胞. *耳鼻臨床*, 33, 893~896, 1987.
- 33) Denburg, J.A., Otsuka, H., Ohnishi, M., Ruhno, J., Bienenstock, J. and Dolovich, J.: [原著] Contribution of basophil/mast cell and eosinophil growth and differentiation to the allergic tissue. *Int. Arch. Allergy Appl. Immunol.*, 82, 321~326, 1987.
- 34) 富山俊一, Harris, J.P.: [原著] 内リンパ嚢内耳免疫反応における重要性について. *Ear Res. Jpn.*, 18, 492~495, 1987.
- 35) Harris, J.P. and Tomiyama, S.: [原著] Experimental immune system of the inner ear. *O.R.L.*, 49, 225~233, 1987.
- 36) 鈴木文雄: [原著] 唾液腺症の臨床的および病理組織学的検討. *日耳鼻会報*, 90, 1048~1062, 1987.
- 37) 中溝宗永, 八木聰明, 小林謙, 青木秀治: [原著] 迷路瘻孔症例の内耳障害に関する検討. *耳鼻臨床*, 81, 33~39, 1988.
- 38) 八木聰明: [原著] 特発性末梢性顔面神経麻痺. *Modern Physician*, 8, 88, 1988.
- 39) 馬場俊吉, 八木聰明, 佐久間文子, 森園徹志, 山口潤: [原著] 急性無酸素状態の聴性脳幹反応. *Audiol. Jpn.*, 31, 40~44, 1988.
- 40) 大塚博邦: [総説] 花粉症をめぐる; 経口抗アレルギー剤の季節前投与法とその効果. *JOHNS*, 4, 281~285,

1988.

- 41) 大塚博邦, 坂口喜清, 渡瀬康雄, 目沢朗憲, 奥田稔, 高橋光明<sup>1)</sup>, 海野徳二<sup>1)</sup>, 木村広行<sup>2)</sup>, (<sup>1)</sup>旭川医大耳鼻科, <sup>2)</sup>静岡済生会耳鼻科): [原著] 鼻粘膜広汎切除術; 遠隔成績について. 耳喉頭頸, 60, 139~144, 1988.
- 42) 大塚博邦, 他: [原著] 鼻粘膜広汎切除術 遠隔成績について. 耳鼻咽喉, 60, 139~144, 1988.
- 43) 大塚博邦: [総説] スギ花粉症の予防はどこまで可能か. アレルギーの臨床, 8, 102~106, 1988.
- 44) Okuda, M.: [原著] Allergic rhinitis. Asian Med. J., 31, 108~112, 1988.
- 45) 森園徹志, 八木聰明, 鈴木文雄, 坂口文雄: [原著] 中耳粘膜に色素斑がみられた太田母斑の1症例. 耳喉頭頸, 60, 333~335, 1988.
- 46) 八木聰明: [原著] 診療の秘訣・めまい. Modern Physician., 8, 396, 1988.
- 47) 八木聰明, 山口潤, 小林謙: [原著] 平衡機能検査; メニエール病とその周辺疾患. 耳鼻咽喉科頭頸部外科MOOK, 7, 86~97, 1988.
- 48) Yagi, T., Yamaguchi, J. and Nonaka, M.: [原著] Neurotological findings in Bell's palsy and Hunt's syndrome. Acta Otolaryngol. 446 (Suppl.), 97~100, 1988.
- 49) 奥田稔, 渡瀬隆雄: [原著] 鼻アレルギーにおける遅発性反応. アレルギーの臨床, 8, 189~192, 1988.
- 50) 八木聰明: [総説] 小児に多い中耳炎. 健康な子ども, 184, 54~55, 1988.
- 51) 八木聰明: [総説] 魔訶不思議・耳鳴りの怪. 健康な子ども, 184, 58~59, 1988.
- 52) 奥田稔, 他: [原著] 鼻過敏症に対する Sch 1000 の鼻汁抑制効果 (第3報). 耳展, 31 (補1), 59~75, 1988.
- 53) 奥田稔: [原著] 急性上気道炎に対する Sch 1000 の鼻汁抑制効果. 耳展, 31 (補1), 77~91, 1988.
- 54) 奥田稔, 他: [原著] 鼻過敏症に対する Sch 1000 の鼻汁抑制効果 (第2報). 耳展, 31 (補1), 37~57, 1988.
- 55) 五十嵐淑晴, 内田正興, 金子省三, 井上哲生, 道脇幸博, 中溝宗永: [症例] 有毛腫瘤を伴った舌白板症の一症例. 耳展, 31 (補1), 69~77, 1988.
- 56) 坂口文雄: [原著] ヒト視運動性眼振の On-, Off-Response について. 日耳鼻会報, 91, 410~415, 1988.

## 著 書

- 1) 奥田稔: [分担] 鼻アレルギー検査. “図説臨床看護医学10巻” (船坂宗太郎編), p.292~293, 同朋出版, 1987.
- 2) 奥田稔: [分担] 鼻金検査. “図説臨床看護医学10巻” (船坂宗太郎編), p.288~289, 同朋出版, 1987.
- 3) 奥田稔: [分担] 鼻アレルギー. “図説臨床看護医学10巻” (船坂宗太郎編), p.336~337, 同朋出版, 1987.
- 4) 奥田稔, 渡瀬隆雄: [分担] 鼻アレルギー. “ロイユトリエンと病態” (室田誠造編), p.135~138, 医学書院, 1987.
- 5) Aoki, H., Yagi, T., Kobayashi, Y. and Kamio, T.: [分担] Effect of VOR gain changes on OKN gain control. “Vestibular System” (Graham, M.D. and Kemink, J.L. eds.), p.489~491, Raven Press, New York, 1987.
- 6) Yagi, T., Ueno, H. and Yamaguchi, J.: [分担] Physiological characteristics of the primary Horizontal canal neurons. “Vestibular system” (Graham, M.D. and Kemink, J.L. eds.), p.141~147, Raven Press, New York, 1987.
- 7) Kobayashi, Y., Yagi, T., Iwasa, H. and Kamio, T.: [分担] Effect of vibratory stimulation on the caloric nystagmus. “Vestibular System” (Graham, M.D. and Kemink, J.L. eds.), p.651~655, Raven Press, New York, 1987.
- 8) 奥田稔: [分担] 鼻アレルギー. “今日の診断治療マニュアル”, p.1599~1601, 金原出版, 1987.
- 9) 奥田稔: [分担] 耳下腺腫瘍臨床統計. “耳下腺腫瘍” (奥田稔編), p.102~114, 240~242, 文光堂, 1987.

- 10) 奥田稔：〔分担〕鼻アレルギー．“臨床薬物治療学体系”（砂原茂一編），p.391～394，情報開発，1987.
- 11) 奥田稔：〔分担〕耳鼻咽喉科の症状．“対症看護”（阿部正和編），p.433～450，医学書院，1987.
- 12) Okuda, M. : 〔分担〕Basophil/metachromatic mediator cell heterogeneity. “Allergic and Vasomotor Rhinitis Pathophysiological Aspects” (Mygind, N. ed.), p.121～135, Munksgaard, Copenhagen, 1987.
- 13) Okuda, M. : 〔分担〕Late Phase allergic reaction in the nose. “Allergic and Vasomotor Rhinitis Pathophysiological Aspects” (Mygind, N. ed.), p.165～171, Munksgaard, Copenhagen, 1987.
- 14) Okuda, M. : 〔分担〕Direct and reflex action of biochemical mediators. “Allergic and Vasomotor Rhinitis Pathophysiological Aspects” (Mygind, N. ed.), p.214～219, Munksgaard, Copenhagen, 1987.
- 15) 大塚博邦：〔分担〕前橋市医師会医学講演集録，p.237～252，前橋市医師会，1987.
- 16) 大塚博邦：〔分担〕ヒト鼻粘膜の肥満細胞．“鼻アレルギーの基礎と臨床”，p.40～43，協企画，1987.
- 17) 大塚博邦：〔分担〕鼻アレルギー．“今日の治療指針30”，p.565～566，医学書院，1988.
- 18) 八木聰明：〔分担〕内耳窓破裂（外リンパ瘻）．“今日の治療指針30”，p.804～805，医学書院，1988.

#### 学会発表

- 1) 鈴木文雄：〔一般講演〕耳下腺手術の実際．神経本幹からのapproach．第1回静岡耳鼻咽喉科臨床研究会，1987.
- 2) Ohnishi, M., Ruhno, J., Delovich, J. and Denburg, J.A. : 〔一般講演〕Enhanced stimulation of growth and differentiation of basophil/mast cell and eosinophil progenitors from allergic individuals by allergic nasal mucosal conditioned medium. American Academy of Allergy and Immunology 43rd (Washington), 1987.
- 3) Denburg, J.A., Ohnishi, M., Ruhno, J., Bienenstock, J. and Dolovich, J. : 〔展示〕The effects of basophil/Mast and eosinophil cell colony-stimulating activities derived from human nasal polyp epithelial scrapings are T-cell dependent. American Academy of Allergy and Immunology 43rd (Washington), 1987.
- 4) 富山俊一, Harris, J.P., Keithley, E.M. : 〔一般講演〕内耳免疫反応；KLH抗原の鼓室階投与後の動態．第35回日本基礎耳科学会，1987.
- 5) 富山俊一, Harris, J.P. : 〔一般講演〕抗原特異的内耳免疫反応．第6回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会，1987.
- 6) 富山俊一, Harris, J.P. : 〔一般講演〕内耳二次免疫反応における遊走浸潤細胞の観察．第6回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会，1987.
- 7) 上野博史, 八木聰明：〔一般講演〕覚醒モルモット外側半規管一次ニューロンの生理学的特性．第88回日本耳鼻咽喉科学会総会，1987.
- 8) 富山俊一, Harris, J.P.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>UCSD, Head and Neck Surgery) : 〔一般講演〕内リンパ嚢，内耳免疫反応における役割．第88回日本耳鼻咽喉科学会総会，1987.
- 9) Yagi, T. and Ueno, H. and : 〔一般講演〕Physiological characteristics of primary horizontal canal neurons in guinea pigs; Response difference between alert and anesthetized animals. Barany Society Meeting (Bologna), 1987.
- 10) Aoki, H. and Yagi, T. : 〔一般講演〕Effect of VOR gain changes on OKR gain control in human subjects. Barany Society Meeting (Bologna), 1987.
- 11) Kobayashi, Y., Yagi, T. and Kamio, T. : 〔一般講演〕The role of cervical inputs in compensation of unilateral labyrinthectomized patients. Barany Society Meeting (Bologna), 1987.
- 12) 坂口喜清：〔一般講演〕当科における鼓室形成術の現況．第26回群馬県地方部会，1987.
- 13) 羽田達正, 奥田稔：〔一般講演〕頭頸部癌の咽頭頭腔進展（第3報）．口腔後部からのリンパ流の観察．第11回

日本頭頸部腫瘍学会, 1987.

- 14) Okuda, M.: [特別講演] Nasal Provocation. The First Shanghai International Medical & Lewinar (Shanghai), 1987.
- 15) 坂口喜清, 井上英輝, 関はるみ: [一般講演] アフリカキンセンカ花粉症の1例. 第18回職業アレルギー研究会, 1987.
- 16) 大河原大次, 八木聰明, 山口潤: [一般講演] 突発性難聴のScale Out症例の検討. 日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会第63回学術講演会, 1987.
- 17) 山野辺滋晴, 町井一史, 八木聰明: [一般講演] マスカー療法の効果と聴力域値変動. 第7回耳鳴研究会, 1987.
- 18) 中溝宗永, 内田正興, 鎌田信悦, 河西信勝, 井上哲生, 増田成夫, 道脇幸博: [一般講演] 頭頸部痛における重複癌. 第11回日本頭頸部腫瘍学会学術講演会, 1987.
- 19) 五十嵐淑晴, 内田正興, 金子省三, 井上哲生, 道脇幸博, 中溝宗永: [一般講演] 舌白板症に伴う有毛性腫瘍の一症例. 第11回日本頭頸部腫瘍学会学術講演会, 1987.
- 20) 道脇幸博, 井上哲生, 内田正興, 中溝宗永, 増田成夫, 高橋久昭: [一般講演] 大唾液腺腫瘍の臨床統計的観察. 第11回日本頭頸部腫瘍学会学術講演会, 1987.
- 21) 目沢朗憲, 大塚博邦, 奥田稔, 谷本秀司, 石田裕子: [一般講演] 声帯ポリープの術前術後における発声機能検査の検討. 第49回耳鼻咽喉科臨床学会, 1987.
- 22) Okuda, M.: [特別講演] Pathophysiological aspects of nasal allergy. 6th International Symposium of Infection and Allergy of Nose (Tokyo), 1987.
- 23) Otsuka, H.: [シンポジウム] Local immunological defense.—Significance of metachromatic cells in allergic rhinitis; Accumulation, progenitors and growth factor of metachromatic cells. 6th International Symposium of Infection and Allergy of Nose (Tokyo), 1987.
- 24) 奥田稔: [会長講演] アレルギーにおける好酸球と肥満細胞の超微形態. 第19回日本臨床電子顕微鏡学会, 1987.
- 25) 関はるみ, 大塚博邦, 大久保公裕, 奥田稔: [一般講演] 鼻アレルギーにおける上皮線毛運動. 第26回日本鼻科学会, 1987.
- 26) 目沢朗憲: [シンポジウム] 鼻アレルギーとPAF. 第26回日本鼻科学会基礎問題研究会, 1987.
- 27) Otsuka, H.: [シンポジウム] Up to date of nasal allergy; Modified RAST. 第6回アジアオセアニア耳鼻咽喉科会議, 1987.
- 28) 中溝宗永, 鎌田信悦, 内田正興: [一般講演] カテュールアミン分泌性頸動脈小体腫瘍の一症例. 第64回日本耳鼻咽喉科学会東京地方部会, 1987.
- 29) 顔英賢, 奥田稔, 坂口喜清, 佐久間文子: [一般講演] Migrating cells in the epithelium of allergic nasal mucosa; An electromicroscopic observation. 第19回日本臨床電子顕微鏡学会, 1987.
- 30) 町井一史, 山野辺滋晴, 青木秀治, 馬場俊吉, 八木聰明: [一般講演] 耳鳴の客観的評価の検討. 第32回日本オージオロジー学会, 1987.
- 31) 山野辺滋晴, 八木聰明: [一般講演] ABRによる順応現象の観察. 第32回日本オージオロジー学会, 1987.
- 32) 馬場俊吉, 八木聰明, 青木秀治, 山口潤: [一般講演] 昏睡患者ABRのI-V波間潜時. 第32回日本オージオロジー学会, 1987.
- 33) 山口潤, 八木聰明, 馬場俊吉: [一般講演] ABRと頭蓋の大きさとの関係 第2報. 第32回日本オージオロジー学会, 1987.
- 34) 小林謙, 三田るり子, 神尾友和(神尾病院): [一般講演] 語音聴力検査と難聴の自覚. 第32回日本オージオロジー学会, 1987.



- 35) 野中学, 鈴木文雄, 矢島洋: [一般講演] 診断が困難であった唾液腺疾患例. 第12回SENT会, 1987.
- 36) 中溝宗永, 内田正興, 鎌田信悦, 川西信勝, 井上哲生, 河端一嘉, 金子省三, 高橋久昭, 増田成夫: [一般講演] 頭頸部管腔癌における重複癌. 第25回日本癌治療学会, 1987.
- 37) 大塚博邦, 坂口喜清, 目沢朗憲, 奥田稔: [一般講演] ヒトの鼻茸から分離した metachromatic cell の性質. 第37回日本アレルギー学会, 1987.
- 38) 大塚博邦, Denburg, J.<sup>1)</sup>, Dolovich, J.<sup>1)</sup>, Bienenstock, J.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>マックマスター大学): [一般講演] 鼻粘膜マスト細胞の増殖分化因子. 第37回日本アレルギー学会, 1987.
- 39) 羽田達正, 奥田稔, 他: [展示] 唾液腺特に顎下腺および小唾液腺腫瘍の臨床統計. 第25回日本癌治療学会, 1987.
- 40) 羽生佐保子, 奥田稔, 目沢朗憲, 山口潤, 仲田菊乃, 山野辺滋晴, 森園徹志: [一般講演] Hypereosinophilia を呈した1症例. 日本耳鼻咽喉科学会, 東京都地方部会第64回学術講演会, 1987.
- 41) Okuda, M.: [パネル] Update diagnostic and treatment modality of nasal allergy. VI Asian-Oceania Congress of Oto-Rhino-Laryngology, (New Dehli), 1987.
- 42) Okuda, M.: [特別講演] Allergic rhinitis and asthma. XIV Annual Meeting of Korean Society of Allergy (Seoul), 1987.
- 43) 羽田達正, 富山俊一, 他: [一般講演] 顎下腺腫瘍の臨床統計. 第32回日本唾液腺学会, 1987.
- 44) 森園徹志, 八木聰明, 小林謙: [一般講演] 頸部振動刺激の身体平衡に及ぼす影響. 第46回日本平衡神経科学会, 1987.
- 45) 井上英輝, 八木聰明, 森園徹志, 坂口文雄: [一般講演] ヒト OKN の on-off-response と視刺激時間の関係について. 第46回日本平衡神経科学会, 1987.
- 46) 八木聰明, 上野博史: [一般講演] モルモット外側半規管一次ニューロンの生理学的特性; 反復振子様回転刺激に対する応答. 第46回日本平衡神経科学会, 1987.
- 47) 小林謙<sup>1)</sup>, 外山竹弥<sup>1)</sup>, 神尾友和<sup>1)</sup>, 森園徹志, 八木聰明 (<sup>1)</sup>神尾病院): [一般講演] 頸部緊張刺激と温度眼振反応. 第46回日本平衡神経科学会, 1987.
- 48) 青木秀治, 八木聰明: [一般講演] メマイ外来患者における ENG の定量的検討. 第46回日本平衡神経科学会, 1987.
- 49) 中溝宗永, 青木秀治, 山野辺滋晴, 八木聰明, 小林謙<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>神尾病院): [一般講演] パッチテストの適応と診断基準について. 第15回日本臨床耳科学会, 1987.
- 50) 青木秀治, 八木聰明: [一般講演] 内リンパ嚢手術が耳鳴に与える影響について. 第15回日本臨床耳科学会, 1987.
- 51) 小林謙<sup>1)</sup>, 佐久間文子<sup>1)</sup>, 石田祐子<sup>1)</sup>, 神尾友和<sup>1)</sup>, 井上英輝 (<sup>1)</sup>神尾病院): [一般講演] 内リンパ嚢減荷手術後のグリセロール・テスト. 第15回日本臨床耳科学会, 1987.
- 52) 八木聰明, 馬場俊吉: [一般講演] 小児真珠腫症と open then closed 法. 第15回日本臨床耳科学会, 1987.
- 53) 羽田達正, 奥田稔: [一般講演] 舌癌治療の問題点; 現況と予後不良因子. 第12回頭頸部癌懇話会, 1988.
- 54) 波多野吟哉, 森園徹志, 山口潤, 青木秀治, 八木聰明: [一般講演] CMI IV 領域のめまい患者特徴. 日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会第65回学術講演会, 1988.
- 55) 富山俊一, Harris, J.P.<sup>1)</sup>, Keithley, E.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>UCSD, Head and Neck Surgery): [一般講演] 内耳免疫反応; KLH 抗原の鼓室階投与後の動態. 第35回日本基礎耳科学会, 1988.
- 56) 八木聰明, 上野博史, 森園徹志: [一般講演] 連続振子様回転刺激に対する外側半規管一次ニューロンの応答. 第35回日本基礎耳科学会, 1988.
- 57) Ohnishi, M., Ruhno, J., Bienenstock, J., Dolovich, J. and Denburg, J.A.: [展示] Hemopoietic growth factor production by human nasal polyp epithelial scrapings; Kinetics, cell source and relationship to clinical status. American academy of allergy and immunology 44th (Anaheim), 1988.

- 58) 大西正樹, 奥田稔, Denburg, J.A., Bienenstock, J., Dolovich, J.: [一般講演] 鼻アレルギー患者鼻粘膜擦過片培養液中の Colony Stimulating Activity について. 第 6 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会, 1988.
- 59) 大塚博邦, 目沢朗憲, 奥田稔, 大西正樹: [一般講演] ヒト鼻茸マスト細胞に対する抗アレルギー剤の効果. 第 6 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会, 1988.
- 60) 大久保公裕, 関はるみ, 大塚博邦, 奥田稔: [一般講演] 耳鼻咽喉科領域における mast cell の heterogeneity. 第 6 回耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会, 1988.

## [第一病院耳鼻咽喉科]

### 研究概要

中耳に関する基礎的研究: 鼓膜の再生修復過程につき, 基礎的ならびに臨床的な研究を行っている. 鼓膜損傷の修復について, モルモット鼓膜の組織培養により, 上皮ならびに固有層粘膜の再生につき電顕的に詳細に検討を行っている. 臨床的には鼓膜穿孔の治療法の検討, さらに耳小骨連鎖の修復方法について, 手術療法を考案中である. アブミ骨環状靱帯の損傷は, 中耳外傷の中でもしばしば起こり, しかも最も聴力と密接な関係にあるので, とくにこの環状靱帯について, ヒト胎児, 成人の靱帯を屍体から得て, その細胞構造, 線維構造につき光顕的, 電顕的に詳細に検索中である.

慢性中耳炎の粘膜につき, 光顕的, 電顕的に検討, さらに免疫組織化学的方法にて, 真珠腫形成の解明に糸口を見出すべく研究中である.

慢性副鼻腔炎の粘膜につき, 光顕的, 電顕的に追及し, 上顎洞蓄膿症の成因につき, さらに粘膜のいかなる病変が蓄膿症の主因となるか X 線検査法を加えて, 検討, 考案中である.

気管粘膜の発生, 分化につき, 器官培養法を用いて, 光顕的, 電顕的に研究を行っている. 組織化学的にも検索中である.

唾液腺腫瘍における細胞分化の特性を, 電顕, 光顕, 免疫酵素, 組織化学的手技を用い正常唾液腺と腫瘍との比較検討している. 特に間質性状の変化を中心に検索中である.

補聴器装用に関する研究も行っている. 補聴器を実際に日常生活にうまく使用する方法, 所有している補聴器が患者の耳に適合しているかどうか. 補聴器の処方方法等種々広く研究を行っている.

耳鳴顔面神経麻痺, 突発性難聴の臨床成績を近く日本オージオロジー学会で報告予定.

### 研究業績

#### 論文

- 1) 露木弘光: [原著] 初代培養ラット肝細胞への鉄取り込み機構. 日医大誌, 54, 551~562, 1987.
- 2) 柏戸泉, 鈴木栄一, 村上光伸, 中村兼一, 弓削庫太: [原著] 鼓膜の組織培養. Ear Res. Jpn., 18, 278~282, 1987.
- 3) 鈴木勲, 鈴木栄一, 村上光伸, 弓削庫太, 上野則之<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第 2 解剖): [原著] 耳小骨関節の形態について. Ear. Res. Jpn., 18, 286~288, 1987.
- 4) 吉弘隆匡, 平野敏一, 弓削庫太, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第 2 病理): [原著] Histochemical observation of salivary gland tumors with special reference to  $Ca^{++}$ -ATPase activity. 日臨電顕会誌, 20, 815~816, 1987.
- 5) 平野一彌, 四倉喜美子, 博多博, 平野敏一: [原著] Netilmian (Netilyn) の上顎洞内粘膜組織移行性について 第一報. Prog. Med., 7, 1035~1039, 1987.

## 学会発表

- 1) 星慎一, 金田恵子, 山下由美, 柏戸泉, 中村兼一, 大藤周彦, 弓削庫太: [一般講演] 慢性中耳炎の粘膜病理 第3報. 第88回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1987.
- 2) 朴茂男<sup>1)</sup>, 服部康夫<sup>1)</sup>, 弓削庫太, 永野泰宏, 宮田伸<sup>2)</sup>, 大屋滋<sup>2)</sup>, 浅野佳徳<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院耳鼻科, <sup>2)</sup>旭中央病院脳神経外科, <sup>3)</sup>旭中央病院): [一般講演] 両側性聴神経腫瘍の一家系. 第88回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1987.
- 3) 平野敏一, 露木弘光, 吉弘隆匡, 村上光伸, 弓削庫太: [一般講演] 耳下腺結核が疑われた一例. 第88回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1987.
- 4) 市川恭介, 服部康夫, 中村賢二: [一般講演] 難治性耳鳴に対する carbamazepine (Tegretol) の使用経験. 日本オージオロジー学会 (第7回耳鳴研究会), 1987.
- 5) 吉弘隆匡, 平野敏一, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理): [一般講演] 唾液腺腫瘍における電顕組織化学的研究. 第11回日本頭頸部腫瘍学会, 1987.
- 6) Hirano, T., Yoshihiro, T., Hattori, H., Yuge, K. and Asano, G.: [一般講演] Role of myoepithelial cell in human salivary gland tumors. The 8th Asia Pacific Cancer Conference (Seoul Korea), 1987.
- 7) 呉橋宜宗, 五味潤睦子, 星慎一, 大藤周彦, 中村賢二, 弓削庫太: [一般講演] 実験的 NITTS に関する研究報告その2. 第32回日本オージオロジー学会, 1987.
- 8) 市川恭介, 服部康夫, 中村賢二: [一般講演] 当科における無難聴性耳鳴について. 第32回日本オージオロジー学会, 1987.
- 9) Hirano, T., Yoshihiro, T., Asano, G. and Yuge, K.: [一般講演] Immunohistochemical characterization of human salivary gland tumors. Fourth General Meeting of Pan-Pacific Surgical Association (Tokyo), 1987.
- 10) 村上忠也, 服部康夫, 弓削庫太: [一般講演] コントロールした他覚耳鳴の1例. 第15回日本臨床耳科学会, 1987.
- 11) 鈴木勲: [一般講演] 耳かきによる中耳及び内耳損傷. 第15回日本臨床耳科学会, 1987.
- 12) 鈴木栄一: [一般講演] 難治かつ訴えの強い耳鳴り症例に対する針治療について. 第15回日本臨床耳科学会, 1987.
- 13) 吉弘隆匡, 平野敏一, 浅野伍朗<sup>1)</sup>, 弓削庫太 (<sup>1)</sup>第2病理): [一般講演] 唾液腺腫瘍における間質性状の変化. 第32回唾液腺学会, 1987.
- 14) 柏戸泉, 頼徳成, 鈴木栄一, 中村兼一, 弓削庫太: [一般講演] 鼓膜の組織培養. 第35回日本基礎耳科学会, 1988.

## [第二病院耳鼻咽喉科]

### 研究概要

当科においては次のごとく臨床的研究と実験的研究を行っている。

#### 1. 臨床的研究

- 1) 急性中耳炎の臨床的観察を行い, 滲出性中耳炎の発症との関連性を検討している.
- 2) 顔面骨折の臨床的観察を行っている.
- 3) 耳鳴と, 自律神経失調, 神経症, ウツ状態などとの関連性を臨床的に追求している.
- 4) 女性の咽喉頭異常感と卵巣機能との関連性を臨床的に調査追求している.

#### 2. 実験的研究

- 1) 気道粘膜線毛細胞の構造異常について; Immotile cilia syndromeを中心として各種気道疾患の線毛を電子顕微鏡的に観察し, 各疾患ごとの線毛構造異常を質的ならびに量的に検索している.
- 2) 気道粘膜損傷の修復過程を実験動物を用いて電子顕微鏡的に観察している.

## 研究業績 論文

- 1) 中嶋慶則, 服部康夫, 澤木修二<sup>1)</sup>, 石井豊太<sup>2)</sup>, 菊地原基敏<sup>3)</sup>, 武田啓介<sup>4)</sup>, 窪田哲昭<sup>5)</sup>, 石塚洋一<sup>6)</sup> ( <sup>1)</sup>横浜市大, <sup>2)</sup>北里大, <sup>3)</sup>聖マリアンナ医大, <sup>4)</sup>東海大, <sup>5)</sup>昭和大藤が丘, <sup>6)</sup>帝京大溝口) : [原著] 耳鼻咽喉科領域における経管栄養剤クリニミールの有用性の検討; 神奈川県下7大学耳鼻咽喉科による共同研究. 耳展, 30, 183~188, 1987.
- 2) 奥田稔<sup>1)</sup>, 矢島洋<sup>2)</sup>, 古内一郎<sup>3)</sup>, 馬場俊吉<sup>4)</sup>, 佐々木好久<sup>5)</sup>, 三宅浩郷<sup>6)</sup>, 藤田洋祐<sup>7)</sup>, 石井哲夫<sup>8)</sup>, 臼井信郎<sup>9)</sup>, 斎藤洋三<sup>10)</sup>, 大塚博邦<sup>11)</sup>, 久松建一<sup>12)</sup>, 斎藤成司<sup>13)</sup>, 石崎文雄<sup>14)</sup>, 小林一女<sup>15)</sup>, 石井純子<sup>16)</sup>, 鍋島みどり<sup>17)</sup>, 荒牧元<sup>18)</sup>, 駒崎洋子<sup>19)</sup>, 洲崎春海<sup>20)</sup>, 遠藤朝彦<sup>21)</sup>, 永倉仁史<sup>22)</sup>, 若盛和雄<sup>23)</sup>, 加藤明理<sup>24)</sup>, 長船宏隆<sup>25)</sup>, 山本昌彦<sup>26)</sup>, 勝村久子<sup>27)</sup>, 水吉陽子<sup>28)</sup>, 目沢朗憲<sup>29)</sup>, 弓削庫太<sup>30)</sup>, 中村兼一<sup>31)</sup>, 鈴木栄一<sup>32)</sup>, 小山英明<sup>33)</sup>, 牧山清<sup>34)</sup>, 古阪徹<sup>35)</sup>, 松田武雄<sup>36)</sup>, 小川浩司<sup>37)</sup>, 古賀慶次郎<sup>38)</sup>, 川久保淳<sup>39)</sup>, 藤岡正勝<sup>40)</sup>, 山口宏也<sup>41)</sup>, 武藤次郎<sup>42)</sup>, 坊野馨二<sup>43)</sup>, 武田英子<sup>44)</sup>, 和田昌士<sup>45)</sup>, 宮川晃一<sup>46)</sup>, 坪井洋<sup>47)</sup>, 熊川孝三<sup>48)</sup>, 田中省三<sup>49)</sup>, 池田洋輔<sup>50)</sup>, 山崎博<sup>51)</sup>, 窪田哲昭<sup>52)</sup>, 海野博之<sup>53)</sup>, 石塚洋一<sup>54)</sup>, 木村元俊<sup>55)</sup>, 新川淳<sup>56)</sup>, 服部康夫, 松浦究, 調所廣之<sup>57)</sup>, 河合純一郎<sup>58)</sup>, 小関洋男<sup>59)</sup>, 永沼正道<sup>60)</sup>, 田中康夫<sup>61)</sup>, 大内利昭<sup>62)</sup>, 島田均<sup>63)</sup>, 長江大介<sup>64)</sup>, 王主栄<sup>65)</sup>, 武田哲男<sup>66)</sup>, 清野仁<sup>67)</sup>, 森朗子<sup>68)</sup>, 木村廣行<sup>69)</sup>, 吉川由絵<sup>70)</sup>, 佐藤学<sup>71)</sup>, 川端五十鈴<sup>72)</sup>, 室井昌彦<sup>73)</sup>, 関根啓一<sup>74)</sup>, 赤星至朗<sup>75)</sup>, 宇佐神正海<sup>76)</sup>, 新井峻<sup>77)</sup>, 友田幸一<sup>78)</sup>, 水野哲夫<sup>79)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院耳鼻科, <sup>2)</sup>静岡済生会病院, <sup>3)</sup>獨協医科大学病院, <sup>4)</sup>伊勢崎市民病院(現, 付属病院耳鼻科) <sup>5)</sup>城西歯科大学病院, <sup>6)</sup>東海大学病院, <sup>7)</sup>千葉大学病院, <sup>8)</sup>東京女子医科大学病院, <sup>9)</sup>東邦大学大橋病院, <sup>10)</sup>東京医科歯科大学病院, <sup>11)</sup>山梨医科大学病院, <sup>12)</sup>慶應義塾大学病院, <sup>13)</sup>昭和大学病院, <sup>14)</sup>東京女子医科大学第二病院, <sup>15)</sup>東京大学病院, <sup>16)</sup>東京慈恵会医科大学病院, <sup>17)</sup>東邦大学大森病院, <sup>18)</sup>日本医科大学第一病院, <sup>19)</sup>日本大学板橋病院, <sup>20)</sup>駿河台日本大学病院, <sup>21)</sup>杏林大学病院, <sup>22)</sup>北里研究所病院, <sup>23)</sup>国立小児病院, <sup>24)</sup>厚生中央病院, <sup>25)</sup>社保中央総合病院, <sup>26)</sup>東京専売病院, <sup>27)</sup>東京通信病院, <sup>28)</sup>東京労災病院, <sup>29)</sup>虎の門病院, <sup>30)</sup>都立豊島病院, <sup>31)</sup>練馬総合病院, <sup>32)</sup>山崎耳鼻咽喉科医院, <sup>33)</sup>昭和大学藤が丘病院, <sup>34)</sup>帝京大学溝口病院, <sup>35)</sup>関東労災病院, <sup>36)</sup>藤沢市民病院, <sup>37)</sup>君津中央病院, <sup>38)</sup>獨協医科大学越谷病院, <sup>39)</sup>済生会川口総合病院, <sup>40)</sup>社保埼玉中央病院, <sup>41)</sup>埼玉医科大学総合医療センター, <sup>42)</sup>群馬大学病院(現, 多野総合病院) <sup>43)</sup>関根クリニック, <sup>44)</sup>山梨県立中央病院, <sup>45)</sup>国立水戸病院, <sup>46)</sup>国立霞ヶ浦病院, <sup>47)</sup>筑波大学病院, <sup>48)</sup>中央大学経済学部) : [報告] スギ花粉症に対するトラニラストの季節前投与による予防効果; 多施設群間比較二重盲検法による検討. 耳展, 30, 219~243, 1987.
- 3) Hattori, Y. and Watanabe, Y. : [原著] Ultrastructural abnormality of cilia in human nasal epithelium. Journal of Clinical Electron Microscopy, 20, 416~417, 1987.

## 著書

- 1) 村上忠也 : [分担] 顔面骨骨折の診断・治療. “耳鼻咽喉科専門医認定試験参考問題集”(日本耳鼻咽喉科学会編), p.134~135, 金原出版, 1987.

## 学会発表

- 1) 松浦究, 朴茂男, 梶本正子, 中嶋慶則, 鶴窪一行, 市川恭介, 村上忠也, 服部康夫 : [一般講演] 更年期障害の一症状としての咽喉頭異常感に対する治療; 性ホルモン療法を中心として. 第88回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1987.
- 2) 朴茂男, 服部康夫, 弓削庫太, 富田伸<sup>1)</sup>, 大屋滋<sup>2)</sup>, 浅野佳徳<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>旭中央病院, 脳神経外科, <sup>2)</sup>旭中央病院耳鼻咽喉科) : [一般講演] 両側性聴神経腫瘍の一家系. 第88回日本耳鼻咽喉科学会総会, 1987.
- 3) 市川恭介, 服部康夫, 中村賢二 : [一般講演] 難治性耳鳴に対するCarbamazepine (Tegretol) の使用経験. 日

本オージオロジー学会（第7回耳鳴研究会），1987.

- 4) 服部康夫, 渡辺雄司: [シンポジウム] 線毛の構造とその異常. 第19回日本臨床電子顕微鏡学会, 1987.
- 5) 市川恭介, 服部康夫, 中村賢二: [一般講演] 当科における無難聴性耳鳴について. 第32回日本オージオロジー学会総会, 1987.
- 6) 梶本正子, 鶴窪一行, 中嶋慶則, 服部康夫: [一般講演] 挿管の気管粘膜に及ぼす影響についての形態学的観察. 第39回気管食道科学会総会, 1987.
- 7) 中嶋慶則, 服部康夫: [一般講演] 当科における小児急性中耳炎の臨床的観察. 第15回日本臨床耳科学会総会, 1987.
- 8) 村上忠也, 服部康夫, 弓削庫太: [一般講演] コントロールした他覚的耳鳴の1例. 第15回日本臨床耳科学会総会, 1987.

## [多摩永山病院耳鼻咽喉科]

### 研究概要

咽頭扁桃の肥大退縮の年齢における経時的变化についてすでに報告しているが、現在、免疫学的変化を発表し、また電子顕微鏡下にもその経時的变化を追求している。そして、鼻アレルギーにおける多摩地域における花粉の飛散度を、現在調査中である。昨年からの麻酔科との協同研究である術後疼痛の軽減化について引き続き研究中である。

### 研究業績

#### 学会発表

- 1) 岩井芳郎: [一般講演] めまい簡易検査法の実際. 第3回多摩耳鼻咽喉科臨床研究会, 1987.
- 2) 呉橋宜宗, 島田早苗, 岩井芳郎, 添野真一, 前田昭太郎<sup>1)</sup>, 奥田郎夫<sup>1)</sup>, 大塚俊司<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院病理検査室): [一般講演] 咽頭扁桃 (Adenoid) の Fiberscope による形態学的観察 第2報. 第27回日本扁桃研究会総会, 1987.
- 3) 呉橋宜宗, 五味淵睦子<sup>1)</sup>, 星慎一<sup>1)</sup>, 大藤周彦<sup>1)</sup>, 中村賢二<sup>1)</sup>, 弓削庫大<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第一病院耳鼻咽喉科): [一般講演] 実験的 NITTS に関する研究報告 その2. 第32回日本オージオロジー学会総会, 1987.

## 15. 泌尿器科学講座

### [付属病院泌尿器科]

#### 研究概要

教室の研究方針は、広い視野に立ち、自由な発想のもとにオリジナリティーの高い研究を行うことをめざしている。

- 1) 尿路結石：経皮的腎尿管切石術について、血管鑄型実験より安全性を確認（西村，本田，日腎総会ワークショップ）し、マザリエロカプリーニ鉗子の有用性（西村，日腎東部総会ワークショップ）を述べ、200例以上（本邦2位）の優れた治療成績（坪井，日泌総会）を報告した。経尿道的尿管切石術では、ウサギ尿管膀胱移行部に拡張・切開操作実験でも安全性を証明（広瀬，日腎総会）し、高齢者に対しても好成績（川村，日老総会）をあげた。さらに電子尿管鏡の出現（吉田，ESWL，Endourology研究会）は結石の治療のみならず、尿路腫瘍の診断治療への応用がなされる日も遠くないように思われる。体外衝撃波結石破碎療法（ESWL）についても、関東通信病院（堀，通信総会）および付属病院にて治療が開始されている。
- 2) 尿路腫瘍：教室における主要テーマの一つである制癌剤感受性テストについては、ヌードマウス移植ヒトウィルムス腫瘍株を使用した皮下移植法の成績（山田，日泌総会），腎被膜下移植法でのヌードマウス優位に関する基礎的検討（堀内，小川，日泌総会），腎被膜下移植法を利用した臨床応用（山中，長谷川，制癌剤適応研究会）についても報告した。in vitroでもin vivoとの比較（金森，日泌総会）や，各方法の特徴，欠点を明らかにした。さらにクローン間での制癌剤感受性の差（寺島，癌治学会）が認められることを述べた。さらに，腫瘍形態学的研究で，褐色細胞腫における良性，悪性の鑑別に際して電顕的追究の意義（吉田，日臨電顕総会シンポ）を報告し，スタンプ細胞診の有用性も発表した。免疫療法の有効性（原，日泌東部総会）を証明し，将来に希望をもてるとした。膀胱腫瘍に対する根治的膀胱全摘除術において，膀胱周囲組織への微小転移の存在，部位，意義（平岡，癌治総会）について述べ，この術式の限界と集学的治療の必要性にも言及した。
- 3) 前立腺肥大症：前立腺剝離切除術（平岡法）に対する評価がなされ（平岡，日泌東部総会特別講演），今後どのように普及されるか期待される。
- 4) 血液透析：透析中にみられる高アミラーゼ血症の臨床的意義（久島，日透療学会）と膜性増殖性糸球体腎炎に対する血漿交換療法の有用性（佐藤，日透療学会）について報告した。

#### 研究業績

##### 論文

- 1) 小川秀彌：〔総説〕前立腺疾患について（特集：10周年記念特集）．雕琢（旭医療センター誌），16，87～99，1987．
- 2) Hiraoka, Y. and Akimoto, M：〔原著〕Anatomy of the prostate from Fetus to adult；Origin of benign prostatic hyperplasia. Urol. Res., 15, 177～180, 1987.
- 3) 平岡保紀，林昭棟，原眞，金森幸男，服部智任，坪井成美，木村剛，秋元成太：〔原著〕進行性膀胱癌に対するnew enbloc radical cystectomy. 西日泌尿，49，1047～1049，1987.
- 4) 久島英二，佐藤正広，沖守，富田勝，秋元成太：〔原著〕Temporary Blood AccessとしてのDouble Lumen Catheterの使用経験．人工臓器，16，734～737，1987.
- 5) 堀内和孝，中島均，沖守，由井康雄，秋元成太：〔原著〕後腹膜線維症の1例．泌尿紀要，33，596～599，1987.
- 6) 坪井成美，西村泰司，秋元成太：〔原著〕老年者に対する経皮的腎尿管結石摘出術の問題点．日老医会誌．24，427～431，1987.
- 7) 小川秀彌，秋元成太：〔原著〕膀胱癌疑似病変．癌治療—今日と明日—，9，17～20，1987.
- 8) 原眞，金森幸男，大原正雄・吉田和弘，秋元成太・臨隆<sup>1)</sup>，加藤一夫<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>国立東静岡病院外科，<sup>2)</sup>岐阜大医学部病

- 理第1) : [症例報告] 精索横紋筋肉種の1例. 西日泌尿, 49, 601~603, 1987.
- 9) 戸塚一彦<sup>1)</sup>, 森口英男<sup>1)</sup>, 小林裕<sup>1)</sup>, 田中成美<sup>1)</sup>, 石山俊次<sup>1)</sup>, 後藤健太郎<sup>1)</sup>, 大場修司<sup>2)</sup>, 徳江章彦<sup>1)</sup>, 米瀬泰行<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup>自治医大, <sup>2)</sup>波崎済生病院泌) : [原著] 経皮的尿管結石摘出術と尿管切石術の比較. 臨泌, 41, 385~388, 1987.
- 10) 矢島勇臣, 西村泰司, 吉田和弘, 富田勝, 引間規夫, 川村直樹, 坪井成美, 本田了, 秋元成太 : [原著] 経皮的腎切石術による腎機能の経時的変化; NAG-index,  $\beta_2$ -microglobulinを指標として. 泌尿紀要, 33, 662~668, 1987.
- 11) 平岡保紀, 秋元成太, 浅野伍朗<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2病理) : [原著] 手術のための前立腺の血行について. 西日泌尿, 49, 1317~1320, 1987.
- 12) 原眞, 金森幸男 : [症例報告] Webbed Penisの一例. 泌尿紀要, 33, 951~952, 1987.
- 13) 杉沢裕 : [原著] 腎内リンパ流及び血流うっ滞とメサンギウム障害. 日腎誌, 24, 633~643, 1987.
- 14) 原眞, 金森幸男, 近藤幸尋, 西村泰司, 秋元成太 : [症例報告] 大きな前部尿道憩室結石の1例. 泌尿紀要, 33, 1125~1128, 1987.
- 15) 山田晋介 : [原著] ヒト泌尿生殖器系悪性腫瘍の異種移植に関する研究. 第VIII報 ノードマウス可移植性ヒトWilms腫瘍に対する化学療法. 日泌尿会誌, 78, 1232~1239, 1987.
- 16) 西村泰司 : [総説] 前立腺炎・副睾丸炎. 医と薬学, 18, 99~104, 1987.
- 17) 小川秀彌 : [総説] J-Jカテーテルの利用と注意. Medical Practice, 4, 1170, 1987.
- 18) Hsieh, S. D.<sup>1)</sup>, Ritsuko, Y.<sup>1)</sup>, Koshi, S.<sup>1)</sup>, Yasuhiko, I.<sup>1)</sup>, Takeshi, K.<sup>1)</sup>, Shuji, O.<sup>2)</sup>, Sachiko, K.<sup>1)</sup> and Ken, S.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Jichi Medical School, <sup>2)</sup>Hazaki Saisei Hospital) : [報告] Amyloidosis presented with whitening and loss of hair which improved after dimethyl sulfoxide (DMSO) treatment. Jpn.J.Med., 26, 393~395, 1987.
- 19) 小川秀彌 : [総説] 浅在性膀胱癌の局所化学療法. Medical Practice, 4, 1338, 1987.
- 20) 秋元成太, 平沢精一, 沖守 : [総説] PNLに必要な腎の解剖; 血管鋳型を中心に (特集: 腎尿路結石のすべて). 腎と透析, 通巻136号 (臨時増刊号), 201~205, 1987.
- 21) 川村直樹 : [総説] TULにおける合併症および問題点 (特集: 腎尿路結石のすべて). 腎と透析, 通巻136号 (臨時増刊号), 221~225, 1987.
- 22) 平岡保紀, 秋元成太 : [原著] 経尿道的前立腺切除術後の後部尿道狭窄について. 日泌尿会誌, 78, 1606~1608, 1987.
- 23) 小林裕<sup>1)</sup>, 徳江章彦<sup>1)</sup>, 米瀬泰行<sup>1)</sup>, 大場修司<sup>2)</sup>, 川井敏郎<sup>1)</sup>, 斉藤健<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>自治医大, <sup>2)</sup>波崎済生病院泌尿器科) : [報告] 内分泌非活性副腎皮質癌. 臨泌, 41, 879~881, 1987.
- 24) 原眞, 金森幸男, 戸塚一彦<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>自治医大泌尿器科) : [症例報告] 巨大膀胱結石の1例. 西日泌尿, 49, 1529~1531, 1987.
- 25) 中神義三, 淡輪邦夫, 小川秀彌, 山田紀道, 他 : [原著] 膀胱癌, 腎細胞癌に対するUFTの使用経験. 泌尿紀要, 33, 1728~1732, 1987.
- 26) 秋元成太 : [総説] 腎血管鋳型. 腎と透析, 23, 823~824, 1987.
- 27) 堀夏樹, 木下修隆<sup>1)</sup>, 杉村芳樹<sup>1)</sup>, 田島和洋<sup>1)</sup>, 栃木宏水<sup>1)</sup>, 川村寿一<sup>1)</sup>, 白石泰三<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>三重大学泌尿器科, <sup>2)</sup>福井医科大学病理) : [原著] 膀胱腫瘍の臨床病理学的研究. 第一編 mappingによる腫瘍の浸潤増殖様式の定量化解析の試み. 日泌尿会誌, 78, 2004~2010, 1987.
- 28) 堀夏樹, 林宣男<sup>1)</sup>, 木下修隆<sup>1)</sup>, 保科彰<sup>1)</sup>, 栃木宏水<sup>1)</sup>, 川村寿一<sup>1)</sup>, 豊田俊<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>三重大学泌尿器科, <sup>2)</sup>三重大学放射線科) : [原著] 膀胱腫瘍の臨床病理学的研究第二編, 選択的阻血動注療法の効果. 日泌尿会誌, 78, 2011

～2015, 1987.

- 29) 森田辰男<sup>1)</sup>, 大場修司, 徳江章彦<sup>1)</sup>, 米瀬泰行<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>自治医大) : [原著] Stage D前立腺癌患者における末梢血リンパ球サブポピュレーションの検討. 日泌尿会誌, 78, 2060～2064, 1987.
- 30) 堀内和孝: [原著] ヌードマウス移植ヒト泌尿生殖器悪性腫瘍株を用いた腎被膜下移植法; (Subrenal capsule assay) における宿主反応の基礎的検討. 日泌尿会誌, 78, 2147～2154, 1987.
- 31) 長谷川潤, 川村直樹, 山田晋介, 坪井成美, 秋元成太: [原著] ヌードマウス移植ヒト膀胱癌, 前立腺癌に対する Carboplatin, Iproplatin の抗腫瘍効果. 癌と化療, 14, 3279～3283, 1987.
- 32) 吉田和弘: [原著] 褐色細胞腫細胞の超微形態; 良・悪性例の比較. 臨床と病理, 5, 1318～1327, 1987.
- 33) 藤岡良彰<sup>1)</sup>, 平澤精一<sup>1)</sup>, 淡輪邦夫<sup>1)</sup>, 外野正己<sup>2)</sup>, 杉澤裕, 秋元成太 ( <sup>1)</sup>河北総合病院泌尿器科, <sup>2)</sup>同病院病理部) : [症例] 前立腺マラコブラキアの1例. 臨泌, 42, 75～78, 1988.
- 34) 小川秀彌: [総説] 体外式腎結石破碎装置について. かんとう病院, No.280, 5, 1988.
- 35) 山中吉郎, 川村直樹, 秋元成太: [報告] 腎偽腫瘍の1例. 泌尿紀要, 34, 326～329, 1988.
- 36) 西村泰司, 川村直樹, 坪井成美, 原眞, 阿部裕行, 秋元成太: [原著] 経皮的腎切石術における結石内細菌と術後の尿路感染との関係について. 日泌尿会誌, 79, 283～286, 1988.
- 37) 金森幸男, 堀内和孝, 山田晋介, 寺島保典, 西村泰司, 秋元成太: [原著] 実験腫瘍株を用いた isotope - uptake による制癌剤感受性試験法の基礎的検討. 日泌尿会誌, 79, 227～234, 1988.
- 38) 西村泰司: [総説] 硬性鏡による経皮的腎尿管切石術. 臨泌, 42, 215～220, 1988.
- 39) 大原正雄, 吉田和弘, 秋元成太: [症例報告] 左上腹部痛を主訴とした後腹膜腫瘍. 臨泌, 42, 280～282, 1988.

## 著 書

- 1) 秋元成太: [分担] 検査 (1). “コアテキスト泌尿器科学” (秋元成太, 小柳知彦, 斎藤泰編), p.8～16, 広川書店, 1987.
- 2) 西村泰司: [分担] 尿路・性器外傷. “コアテキスト泌尿器科学” (秋元成太, 小柳知彦, 斎藤泰編), p.100～108, 広川書店, 1987.
- 3) 秋元成太: [分担] 膀胱腫瘍. “コアテキスト泌尿器科学” (秋元成太, 小柳知彦, 斎藤泰編), p.141～149, 広川書店, 1987.
- 4) 西村泰司: [分担] 非特異性感染症 (1). “コアテキスト泌尿器科学” (秋元成太, 小柳知彦, 斎藤泰編), p.237～242, 広川書店, 1987.
- 5) 西村泰司: [分担] 非特異性感染症 (2). “コアテキスト泌尿器科学” (秋元成太, 小柳知彦, 斎藤泰編), p.243～245, 広川書店, 1987.
- 6) 西村泰司: [分担] 性病・尿路性器結核・寄生虫疾患. “コアテキスト泌尿器科学” (秋元成太, 小柳知彦, 斎藤泰編), p.246～249, 広川書店, 1987.
- 7) 秋元成太: [分担] その他の腎, 尿管及び後腹膜疾患. “コアテキスト泌尿器科学” (秋元成太, 小柳知彦, 斎藤泰編), p.281～287, 広川書店, 1987.
- 8) 秋元成太: [分担] その他の膀胱疾患. “コアテキスト泌尿器科学” (秋元成太, 小柳知彦, 斎藤泰編), p.288～293, 広川書店, 1987.
- 9) 秋元成太: [分担] その他の陰囊疾患. “コアテキスト泌尿器科学” (秋元成太, 小柳知彦, 斎藤泰編), p.301～304, 広川書店, 1987.
- 10) 川村直樹, 秋元成太: [分担] 経尿道的尿管結石碎石術. “高度先進医療の実際”, p.69～75, 薬事新報社, 1987.
- 11) 小川秀彌: [分担] 性病. “家庭医学大事典 初版” (柳下徳雄編), p.1426～1434, 小学館, 1987.



- 12) 小川秀彌：〔分担〕前立腺肥大症．“図解患者指導－入院・退院・セルフケア”（多賀須幸男・大関マサ子編），p.210～215，メヂカルフレンド社，1987．
- 13) 西村泰司：〔分担〕経尿道的尿路切石術．“泌尿器科診療 Q & A”（町田豊平他編），931の10～931の11，六法出版，1987．
- 14) 小川秀彌：〔分担〕亀頭包皮炎．“今日の治療指針 30”（日野原重明，阿部正和総編集），p.468，医学書院，1988．
- 15) 秋元成太：〔分担〕尿閉．“今日の治療指針 30”（日野原重明，阿部正和総編集），p.14～15，医学書院，1988．
- 16) 秋元成太：〔分担〕特発性腎出血．“今日の診断指針”（亀山正邦，亀田治男，高久史麿，阿部令彦総編集）p.1407～1408，医学書院，1988．

#### 学会発表

- 1) 小川秀彌，山田晋介，金子直之，田中求平，平岡保紀，秋元成太：〔一般講演〕膀胱腫瘍に対する抗腫瘍剤の膀胱腔内注入療法 第3報．第38回通信医学協会総会，1987．
- 2) 小川秀彌，田中求平：〔一般講演〕膀胱腫瘍マーカーTPAに関する新しい検査法の開発．第38回通信医学協会総会，1987．
- 3) 坪井成美，矢島勇臣，沖守，平沢精一，西村泰司，秋元成太：〔一般講演〕経皮的腎尿管結石摘出術の腎機能におよぼす影響．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．
- 4) 川村直樹，西村泰司，秋元成太：〔一般講演〕経尿道的尿管結石摘出術の臨床的検討．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．
- 5) 西村泰司，金森幸男，寺島保典，原眞，吉田和弘，秋元成太：〔一般講演〕膀胱炎患者の尿中に出現するマクロファージについて．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．
- 6) 金森幸男，堀内和孝，山田晋介，寺島保典，西村泰司，秋元成太：〔一般講演〕Isotope uptakeによる各種制癌剤の感受性試験法（MPL法）の基礎的検討．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．
- 7) 吉田和弘，広瀬始之，本多了，矢島勇臣，秋元成太：〔一般講演〕5年以上の生存前立腺癌症例の臨床的検討．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．
- 8) 山田晋介，長谷川潤，堀内和孝，吉田和弘，秋元成太：〔一般講演〕ヌードマウス可移植性ヒトWilms腫瘍に対するCisplatin, Carboplatinの効果．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．
- 9) 寺島保典，金森幸男，木村剛，秋元成太：〔一般講演〕腎癌に対するモノクローナル抗体の作製．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．
- 10) 寺島保典，西村泰司，吉田和弘，金森幸男，川村直樹，坪井成美，原眞，秋元成太：〔一般講演〕CDDPの膀胱腫瘍内濃度．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．
- 11) 堀内和孝，金森幸男，山田晋介，由井康雄，中島均，川村直樹，坪井成美，長谷川潤，秋元成太，浅野伍朗<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第2病理）：〔一般講演〕ヌードマウス移植ヒト腫瘍に対する3種制癌剤感受性試験の比較検討．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．
- 12) 平岡保紀，秋元成太：〔展示〕経尿道的前立腺剝離切除術；特に上方部切除法と剝離後の切除法．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．
- 13) 平岡保紀，秋元成太：〔展示〕経尿道的前立腺切除術後の後部尿道狭窄の発生原因と予防．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．
- 14) 平岡保紀，原眞，服部智任，近藤幸尋，坪井成美，金森幸男，西村泰司，木村剛，浅野伍朗：〔展示〕進行性膀胱癌と膀胱筋膜への微小転移．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．
- 15) 田中求平，山田晋介，金子直之，小川秀彌，引間規夫，秋元成太：〔展示〕高度血尿；特にその概念と対策．第

75回日本泌尿器科学会総会, 1987.

- 16) 小川秀彌, 山田晋介, 金子直之, 田中求平, 西村泰司, 秋元成太: [展示] 膀胱腫瘍に対するCarbazil quinoneの腔内注入による再発予防効果. 第75回日本泌尿器科学会総会, 1987.
- 17) 西村泰司, 平岡保紀, 坪井成美, 川村直樹, 秋元成太: [ビデオセッション] マザリエロ・カプリーニ鉗子およびコッヘル鉗子によるPNL. 第75回日本泌尿器科学会総会, 1987.
- 18) Nishimura, T., Hiraoka, Y., Tsuboi, N. and Akimoto, M.: [ビデオセッション] Percutaneous nephrolithotomy with Mazzariello - Caprini and Kocher forceps. 82nd Annual Meeting of American Urological Association (Anaheim), 1987.
- 19) 小川秀彌, 山田晋介, 金子直之, 田中求平: [一般講演] 浅在性膀胱腫瘍に対する抗腫瘍剤の膀胱腔内注入治療効果. 第35回日本化学療法学会総会, 1987.
- 20) 西村泰司: [ワークショップ] 経皮的腎尿管切石術 (主題: 泌尿器科診療における最近の進歩). 第17回日本腎臓学会東部部会, 1987.
- 21) 原眞, 金森幸男, 秋元成太, 戸塚一彦<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>自治医大泌尿器科): [一般講演] 巨大膀胱結石の1例. 第450回日本泌尿器科学会東京地方会, 1987.
- 22) 服部智任, 川村直樹, 秋元成太: [一般講演] 同一腎に発生した腎細胞癌と移行上皮癌の重複癌の1例. 第450回日本泌尿器科学会東京地方会, 1987.
- 23) 山中吉郎, 川村直樹, 吉田和弘, 秋元成太: [一般講演] 大きな前部尿道結石の1例. 第450回日本泌尿器科学会東京地方会, 1987.
- 24) 吉田和弘, 長谷川潤, 寺島保典, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] 末期前立腺癌疼痛に対する集学的治療. 第14回尿路悪性腫瘍研究会, 1987.
- 25) 久島英二, 佐藤正広, 富田勝, 秋元成太: [一般講演] 慢性透析患者における高アミラーゼ血症の臨床的検討. 第32回日本透析療法学会総会, 1987.
- 26) 佐藤正広, 久島英二, 川村直樹, 吉田和弘, 富田勝, 秋元成太, 角田守, 細井宏益: [一般講演] 血漿交換療法が有効であった膜性増殖性糸球体腎炎の一症例. 第32回日本透析療法学会総会, 1987.
- 27) Kimura, K., Kato, T., Takamizawa, H., Tari, K., Suzuoki, T., Sekiba, K., Fukuoka, M., Akimoto, M., Abe, O., Santo, M., Niitani, H., Furue, K., Ohta, K., Kimura, I., Kouno, K., Honma, T., Tominaga, K. and Nijima, T.: [一般講演] Phase I study of Carboplatin. 15th International Congress of Chemotherapy (Istanbul, Turkey), 1987.
- 28) Hiraoka, Y. and Akimoto, M.: [一般講演] The new - TUR - P method "Transurethral Enucleation of Benign Prostatic Hyperplasia". The International Society of Urologic Endoscopy. IV International Congress (Buenos Aires), 1987.
- 29) 吉田和弘: [シンポジウム] 褐色細胞腫細胞の微細比較形態学. 第19回日本臨床電子顕微鏡学会, 1987.
- 30) 佐藤正広, 久島英二, 吉田和弘, 秋元成太, 沖守, 富田勝: [一般講演] 本院における急性腎不全症例の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 31) 長谷川潤, 山中吉郎, 堀内和孝, 秋元成太, 小川秀彌: [一般講演] スードマウスを用いたSubrenale Capsule Assay; 臨床例での検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 32) 寺島保典, 金森幸男, 服部智任, 木村剛, 西村泰司, 秋元成太, 小川秀彌: [展示] 腎細胞癌に対するモノクローナル抗体; 抗原の生化学的性状についての検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 33) 堀内和孝, 山中吉郎, 長谷川潤, 秋元成太, 小川秀彌: [展示] スードマウス移植ヒト膀胱癌株 (NM-B-1), 前立腺癌株 (PRO-1) に対する腎被膜下移植法 (SRCA) を用いた制癌剤感受性試験. 第55回日本医科大学医

学会総会, 1987.

- 34) 広瀬始之, 吉田和弘, 本田了, 秋元成太, 小川秀彌: [展示] 当科外来における男子不妊症の臨床総計. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 35) 久島英二, 佐藤正広, 富田勝, 秋元成太: [展示] 慢性透析患者における高アミラーゼ血症の臨床的検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 36) 大矢徹<sup>1)</sup>, 赤沼弘勝<sup>1)</sup>, 高橋正之<sup>2)</sup>, 大石卓爾<sup>1)</sup>, 伊藤公一郎<sup>1)</sup>, 田島広之<sup>1)</sup>, 弦間和仁<sup>1)</sup>, 汲田伸一郎<sup>1)</sup>, 市川太郎<sup>1)</sup>, 山本彰<sup>1)</sup>, 玉井仁<sup>1)</sup>, 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 恵畑欣一<sup>1)</sup>, 吉田和弘, 秋元成太 (<sup>1)</sup>放射線科): [展示] 精索静脈瘤に対する経カテーテル的塞栓術の有用性. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 37) 広瀬始之, 本田了, 秋元成太: [一般講演] 家兔膀胱尿管移行部への各種外力の影響. 第30回日本腎臓学会総会, 1987.
- 38) 西村泰司, 本田了, 秋元成太: [ワークショップ] 血管鑄型からみた閉塞性腎疾患 (主題: 閉塞性腎症). 第30回日本腎臓学会総会, 1987.
- 39) 平岡保紀: [特別講演] 経尿道の前立腺剝離切除術. 第52回日本泌尿器科学会東部連合総会, 1987.
- 40) 坪井成美, 長谷川潤, 矢島勇臣, 木村剛, 堀内和孝, 山中吉朗, 原眞, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] 先天性奇形腎に対する経皮的腎尿管結石摘出術. 第52回日本泌尿器科学会東部総会, 1987.
- 41) 原眞, 金森幸男, 寺島保典, 木元洋一郎, 近藤幸尋, 大原正雄, 坪井成美, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] Interleukin 2 による進行性尿路腫瘍の治療. 第52回日本泌尿器科学会東部総会, 1987.
- 42) 西村泰司, 寺島保典, 本田了, 吉田和弘, 秋元成太: [一般講演] ダブルJステントの留置により妊娠, 出産しえた両側性水腎症の1例. 第52回日本泌尿器科学会東部総会, 1987.
- 43) 平澤精一<sup>1)</sup>, 藤岡良彰<sup>1)</sup>, 淡輪邦夫<sup>1)</sup>, 海老原善郎<sup>2)</sup>, 外野正己<sup>2)</sup>, 杉澤裕, 秋元成太 (<sup>1)</sup>河北総合病院泌尿器科, <sup>2)</sup>同病理部): [展示] 前立腺マラコプラキアの1例; 本邦報告例の臨床的統計. 第52回日本泌尿器科学会東部総会, 1987.
- 44) 小川秀彌, 近藤幸尋, 堀夏樹, 金子直之, 田中求平: [展示] 腎および腎盂・尿管腫瘍の集学的治療. 第52回日本泌尿器科学会東部総会, 1987.
- 45) 川村直樹, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] 高齢者に対する経尿道的尿管結石摘出術 (TUL) の検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 46) 小川秀彌: [一般講演] 頻回多発再発表在性膀胱腫瘍に対する膀胱腔内注入療法. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 47) 小川秀彌: [一般講演] 表在性膀胱腫瘍に対するADR注入療法の検討. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 48) 平岡保紀, 秋元成太, 木村剛, 浅野伍朗: [一般講演] 尿管腫瘍に対する根治手術. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 49) 赤座英之, 岩動孝一郎, 大石彦彦, 北島清彰, 沢村良勝, 馬場志郎, 吉田和弘, 大谷幹伸, 原田昌興, 郡司篤晃: [一般講演] Stage C,D前立腺癌に対するエストラサイトと他の治療剤との併用療法に関する中央無作為割り付け法による臨床的研究. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 50) 寺島保典, 金森幸男, 堀内和孝, 服部智任, 西村泰司, 秋元成太, 佐藤純子: [一般講演] 膀胱癌細胞株により分離したクローン間における制癌剤の感受性についての検討. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 51) 寺島保典, 金森幸男, 西村泰司, 吉田和弘, 川村直樹, 坪井成美, 堀内和孝, 秋元成太: [一般講演] 腎細胞癌に対するモノクローナル抗体の作製. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 52) 堀内和孝, 金森幸男, 長谷川潤, 山田晋介, 寺島保典, 山中吉郎, 秋元成太: [一般講演] スードマウス移植ヒト膀胱癌株および前立腺癌株に対するin vivo, in vitroにおける制癌剤感受性試験の比較検討. 第25回日本癌

治療学会総会, 1987.

- 53) 吉田和弘: [シンポジウム] Fine structural analysis of the adrenal pheochromocytoma with special reference to both benign and malignant components. 第19回日本臨床電子顕微鏡学会, 1987.
- 54) 坪井成美, 阿部裕行, 原眞, 長谷川潤, 吉田和弘, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] 閉塞性腎不全の治療. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 55) 高山裕史<sup>1)</sup>, 白井康正<sup>1)</sup>, 山口淳一<sup>1)</sup>, 伊藤博元<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>(1)</sup>整形外科: [一般講演] 腰椎疾患患者における尿水力学的異常. 第15回関東整形災害外科学会, 1987.
- 56) 秋元成太: [特別講演] Percutaneous nephrolithotomy; Its basic and clinical study. 7th Joint Congress of the Asian and Pacific Federations of the International College of Surgeons (Taipei), 1987.
- 57) 秋元成太: [シンポジウム] Fundamental study on host immunoresponse in subrenal capsule assay using human malignant neoplasms transplantable to nude mice. 7th Joint Congress of The Asian and Pacific Federations of the International College of Surgeons (Taipei), 1987.
- 58) 岩原信一郎<sup>1)</sup>, 中込明裕<sup>1)</sup>, 小島大二<sup>1)</sup>, 笠井源吾<sup>1)</sup>, 大場修司<sup>2)</sup>, 田中昇<sup>3)</sup>, 奥村英正<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>波崎済生病院内科, <sup>2)</sup>同泌尿器科, <sup>3)</sup>鹿島臨床センター病院, <sup>4)</sup>第1内科): [一般講演] 無痛性陰嚢内容腫大を初発症状とした多発性骨髄腫の1例. 第370回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 59) 千賀康弘, 大原正雄, 原眞, 秋元成太: [一般講演] 内分泌非活性副腎腫瘍が疑われた後腹膜血腫の1例. 第452回日本泌尿器科学会東京地方会, 1987.
- 60) 沖守, 引間規夫, 雨宮裕, 杉沢裕, 富田勝, 山田記道: [一般講演] 尿路消化管瘻を伴った高度尿管狭窄の1例. 第452回日本泌尿器科学会東京地方会, 1987.
- 61) 吉田和弘, 長谷川潤, 本田了, 坪井成美, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] 上部尿路疾患に対する電子内視鏡の使用経験. 第1回 Endourology, ESWL研究会, 1987.
- 62) Yoshida, K.: [シンポジウム] The significance of stamp cytology in prostatic cancer. Second Tokyo Symposium on Prostate Cancer, 1987.
- 63) 佐藤三洋, 坪井成美, 木村剛, 長谷川潤, 吉田和弘, 秋元成太: [一般講演] 巨大後腹膜神経鞘腫の1例. 第453回日本泌尿器科学会東京地方会, 1988.
- 64) 山田和彦, 吉田和弘, 秋元成太: [一般講演] 重複腎盂尿管に発生した上部尿路上皮腫瘍. 第453回日本泌尿器科学会東京地方会, 1988.
- 65) 山中吉郎, 山田晋介, 堀内和孝, 長谷川潤, 秋元成太: [一般講演] スードマウス移植ヒトwilms腫瘍に対する制癌剤感受性試験; 皮下移植法と腎被膜下移植法の比較検討. 第453回日本泌尿器科学会東京地方会, 1988.
- 66) 西村泰司: [教育講演] 経皮的腎切石術の手法について. 第101回日本泌尿器科学会信州地方会, 1988.
- 67) 吉田和弘, 矢島勇臣, 堀内和孝, 坪井成美, 西村泰司, 秋元成太: [一般講演] 異時発生した膀胱および前立腺移行上皮癌. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 68) 平岡保紀, 木村剛, 秋元成太, 小川秀彌, 浅野伍朗, 鈴木恒道: [一般講演] 膀胱癌における微小転移の存在率, 存在場所およびその意義. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 69) 矢島勇臣<sup>1)</sup>, 川村直樹<sup>1)</sup>, 富田勝<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup>, 中島均<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>泌尿器科, <sup>2)</sup>国立東静岡病院泌尿器科): [一般講演] 著名な囊腫様変化を呈した巨大腎平滑筋腫の1例. 第455回日本泌尿器科学会東京地方会, 1988.
- 70) 平澤精一, 服部智任, 秋元成太, 藤岡良彰, 淡輪邦夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>河北総合病院泌尿器科): [一般講演] 融合性交差性腎変位の1例. 第455回日本泌尿器科学会東京地方会, 1988.
- 71) 木村剛, 吉田和弘, 山中吉郎, 秋元成太, 杉崎裕一<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1病理): [一般講演] PA及びPAPの発現を認めた原発性膀胱腺移行上皮癌の1例. 第455回日本泌尿器科学会東京地方会, 1988.

，引間規夫<sup>1)</sup>河北総合病院，<sup>2)</sup>関東通信病院，<sup>3)</sup>第二病院泌尿器科）：〔原著〕膀胱癌，腎細胞癌に対するJFTの使用経験．『尿紀要』，33，1728～1732，1987．

藤博，中神義三，林昭棟，池田一則，岡史篤：〔原著〕前立腺癌に対する腫瘍マーカーとしてのPAPと $\gamma$ -Sm比較検討．『西日泌尿』，1783～1786，1987．

Kakagami, Y., Maru, A.<sup>1)</sup>, Ito, H.<sup>2)</sup>, Isaka, S.<sup>3)</sup>, Koiso, K.<sup>4)</sup>, Kotake, T.<sup>5)</sup>, Machida, T.<sup>6)</sup>, Matsumura, Y.<sup>7)</sup>, Fujima, T.<sup>8)</sup>, Obata, K.<sup>9)</sup>, Ohno, Y.<sup>9)</sup>, Ohi, Y.<sup>10)</sup>, Shimazaki, J.<sup>3)</sup>, Tashiro, K.<sup>6)</sup>, Ueda, T.<sup>11)</sup> and Uyama, T.<sup>12)</sup>  
<sup>1)</sup>北大，<sup>2)</sup>東大，<sup>3)</sup>千葉大，<sup>4)</sup>筑波大，<sup>5)</sup>大阪府立成人病センター，<sup>6)</sup>慈恵医大，<sup>7)</sup>岡山大，<sup>8)</sup>日本赤十字名古屋第二病院，<sup>9)</sup>京都府立医大，<sup>10)</sup>鹿児島大，<sup>11)</sup>九大，<sup>12)</sup>四国がんセンター）：〔報告〕Phase III trial of the Japanese Biological Cancer Research Group for Adriamycin, Cyclophosphamide, Adriamycin and cisplatinum versus cyclophosphamide, adriamycin and 5-fluorouracil in patients with advanced transitional cell carcinoma of the urinary bladder. *Cancer Chemother. Pharmacol.*, 20, 1～10, 1987.

佐美雄<sup>1)</sup>，古武敏彦<sup>2)</sup>，松田稔<sup>3)</sup>，岡島英五郎<sup>3)</sup>，船匡男<sup>4)</sup>，英之<sup>5)</sup>，岩勤孝一郎<sup>5)</sup>，新島端夫<sup>5)</sup>，阿曾郎<sup>6)</sup>，丸茂<sup>7)</sup>，板谷宏彬<sup>8)</sup>，大井好忠<sup>9)</sup>，大川順正<sup>10)</sup>，小幡浩司<sup>12)</sup>，片山喬<sup>13)</sup>，守殿貞夫<sup>14)</sup>，澤浄一<sup>15)</sup>，磯謙吉<sup>16)</sup>，小柳知彦<sup>17)</sup>，斉藤泰<sup>18)</sup>，坂本<sup>19)</sup>，酒徳治三郎<sup>20)</sup>，新谷浩<sup>21)</sup>，竹内正文<sup>22)</sup>，中神義三，難波克<sup>3)</sup>，林田重昭<sup>24)</sup>，久住浩男<sup>25)</sup>，田中<sup>26)</sup>，宮崎重<sup>27)</sup>，小川暢也<sup>28)</sup>，園田孝夫<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>大阪大，<sup>2)</sup>大阪府立成人病センター，<sup>3)</sup>奈良県立医大，<sup>4)</sup>箕面病院，<sup>5)</sup>東大，<sup>6)</sup>浜松医大，<sup>7)</sup>倉敷成人病センター，<sup>8)</sup>住友病院，<sup>9)</sup>鹿児島大，<sup>10)</sup>和歌山立医大，<sup>11)</sup>岡山大，<sup>12)</sup>古屋第二赤十字病，<sup>13)</sup>富山医科薬科大，<sup>14)</sup>神戸大，<sup>15)</sup>九大，<sup>16)</sup>筑波大，<sup>17)</sup>北大，<sup>18)</sup>上野大，<sup>19)</sup>新潟県がんセンター，<sup>20)</sup>山口大，<sup>21)</sup>西医大，<sup>22)</sup>愛媛大，<sup>23)</sup>岡山市立市民病院，<sup>24)</sup>社保徳山中央病院，<sup>25)</sup>金沢大，<sup>26)</sup>東京慈恵会医大，<sup>27)</sup>大阪医大，<sup>28)</sup>愛媛大薬理学）：〔原著〕徐放型TH-RH analogue, ICI 118643 (ICI 118643) による前立腺癌内分泌療法．『泌尿』，34，369～382，1987．

中神義三，林昭棟，伊藤博，大原正雄：〔原著〕前立腺癌における腫瘍マーカーとしての $\gamma$ -セミノプロテインの有用性に関する検討．『日本泌尿系連会』，第18号，44～47，1988．

## 書

中神義三：〔分担〕ト由来前立腺癌細胞株による実験的検討．“前立腺癌の基礎と臨床”（財団法人前立腺研究会編），p. 30，金原出版，1988．

## 表

中神義三，伊藤博，平澤精一，林昭棟，松本恵一<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>国立横須賀病院）：〔一般講演〕尿路性器癌に対する非特異的免疫療法とImmunoresponderの検討（第2報）．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．

中神義三，岸本孝<sup>1)</sup>，松本恵一<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>膀胱癌術後維持療法研究会）：〔一般講演〕表在性膀胱癌の術後再発防止に対する免疫化学療法の検討（第2報）．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．

林昭棟，中神義三，伊藤博，平澤精一，松本恵一<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>国立横須賀病院）：〔展示〕実験膀胱癌（BC-47）に対するK18の抗腫瘍効果の検討．第75回日本泌尿器科学会総会，1987．

中神義三，林昭棟，伊藤博，平澤精一：〔シンポジウム〕前立腺癌における腫瘍マーカーとしての $\gamma$ -セミノプロテインの有用性に関する検討．日本外科系連合学会，第7回学術集会，1987．

Kakagami, Y., Lin, T.T., Ito, H. and Hirasawa, S.: 〔展示〕Study of K18 for its antitumor effects on experimental rat bladder carcinoma, BC-47. 15th International Congress of Chemotherapy (Istanbul), 1987.

中神義三，林昭棟，伊藤博，大原正雄：〔展示〕前立腺癌に対する腫瘍マーカーの検討，特に $\gamma$ -セミノプロテイン

- 72) 小川秀彌, 近藤幸尋, 堀夏樹, 田中求平, 引間規夫, 秋元成太: [一般講演] 膀胱腫瘍腔内注入療法. 第4報 多発性・表在性膀胱腫瘍に対する Adriamycin (ADR) の腔内学協会総会, 1988.
- 73) 堀夏樹, 近藤幸尋, 田中求平, 小川秀彌: [一般講演] 体外式衝撃波碎石術 (ESWL). 信医学協会総会, 1988.
- 山本吉郎, 長谷川潤, 堀内和孝, 秋元成太: [一般講演] 泌尿器系悪性腫瘍に対するメタスタゼ (SRCA) の臨床的意義. 第11回制癌剤適応研究会, 1988.

## [第一 泌尿器科]

### 要約

第一病院泌尿器科の研究結果の概要は、昨年度に引き続き、尿路性器癌に対する基礎的実験される。

尿路性器癌、特にヒト前立腺癌の樹立細胞株を用いた実験は、組織培養を基にして抗癌剤の感受性試験法) で殺細胞効果 ADM, cisplatin, CQ 等が感受性が高く、現在臨床的検討を加えていると、伝子学的検討については、本研究で前立腺癌に癌遺伝子の存在を認識したので今後の展開は、次に癌に対する免疫賦活剤 L-118 の共同研究、徐放型 LH-17 のホルモン療法とする内分泌療法の検討、ヒト尿由来コロニー刺激因子の CSF-HU の顆粒球防止作用の検討、ADM の検討等、新しい癌治療法の開発とその効果に期待できるであろう。

前立腺癌に対する腫瘍マーカーは、PSA が比較検討されたが、臨床的には併用する結論され、シンポジウムで講演した。

また、非特異的免疫治療剤 L-432 の投与効果をともに宿主の Immunoresponse の check する。

また、膀胱癌は世界で再発が多く、再発防止を講ずることは急務の課題であるが、われわれにより再発防止法を検討し、免疫賦活剤 PSK の後長期服用することにより防げる効果を得る data が得られた。

またさらに、前立腺癌に対し従来のホルモン療法単独よりも免疫賦活剤を用いることは再確認された。

これらのわれわれの研究結果はなお、臨床に継がれ、第一病院泌尿器科の研究として展開している。

## 研究業績

### 論文

- 1) 林昭棟, 伊藤博, 山本吉郎<sup>1)</sup>, 垣添 隆<sup>2)</sup>, 小柳知彦<sup>2)</sup>, 山本茂夫<sup>2)</sup>, 長山忠雄<sup>3)</sup>, 穆<sup>4)</sup>, 町田豊平<sup>5)</sup>, 小川秀彌<sup>6)</sup>, 和田鉄郎<sup>6)</sup>, 安藤 隆<sup>7)</sup>, 松島正浩<sup>6)</sup>, 河上 雄<sup>7)</sup>, 鷺塚誠<sup>7)</sup>, 今井機<sup>8)</sup>, 檜垣昌士<sup>9)</sup>, 坂正彦<sup>9)</sup>, 窪田吉信<sup>9)</sup>, 古武 敏<sup>10)</sup>, 三木恒治<sup>10)</sup>, 山本英五郎<sup>11)</sup>, 平尾佳郎<sup>11)</sup>, 山本之<sup>12)</sup>, 松村陽右<sup>12)</sup>, 高久史磨<sup>13)</sup>, 元吉和<sup>14)</sup>, (1) 国立がんセンター, 2) 北大, 3) ター, 4) 帝京大, 5) 東京慈恵会医大, 6) 東邦大, 7) 癌研, 8) 和 大, 9) 横浜市立大, 10) 大阪府立成, 11) 奈良県立医大, 12) 岡山大, 13) 東大第3内科, 14) 自治医大 (血発生): [原著] 各種尿路性器療法後の顆粒球減少症に対する CSF-HU (ヒト尿由来コロニー刺激因子: P-100) の臨床使用 33, 972~982, 1987.
- 2) 中神義三, 林昭棟, 伊藤博, 平沢精一, 淡輪邦夫<sup>1)</sup>, 藤岡良彰<sup>1)</sup>, 小川秀彌<sup>2)</sup>, 田中求平<sup>2)</sup>, 山田

ソ測定の意義. 第46回日本癌学会総会, 1987.

- 7) 国枝哲夫<sup>1)</sup>, 松井南<sup>2)</sup>, 大網弘<sup>3)</sup>, 秋丸號甫<sup>4)</sup>, 今道友則<sup>1)</sup>, 中神義三, 鈴木利光<sup>5)</sup>, 金内秀士<sup>4)</sup>, 庄司佑<sup>4)</sup>, 平岡保紀<sup>6)</sup>, 野村信夫<sup>2)</sup>, 石崎良太郎<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>動物繁殖研究所, <sup>2)</sup>日本獣医畜産大・分子腫瘍研, <sup>4)</sup>老研・免疫病理, <sup>4)</sup>第2外科, <sup>5)</sup>新潟大・第1病理, <sup>6)</sup>附属病院): [展示] ヒト甲状腺癌細胞株, 胃癌および膵臓癌手術材料におけるN-*ras*およびH-*ras*遺伝子の活性化. 第46回日本癌学会総会, 1987.
- 8) Nakagami, Y., Lin, T. T., Ito, H., Hirasawa, S. and Matsumoto, K.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立横須賀病院): [展示] Antitumor effect of K18 on rat bladder carcinoma, BC-47 studies in vitro as well as in vivo. The 8th Asia Pacific Cancer Conference (Seoul), 1987.
- 9) Ishizaki, R.<sup>1)</sup>, Nakagami, Y., Lin, T. T. and Matsumoto, K.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>日本獣医畜産大・分子腫瘍, <sup>2)</sup>国立横須賀病院): [展示] Estimation for antitumor effects by colony formation inhibition tests with antitumor drugs to human prostatic carcinoma cell lines. The 8th Asia Pacific Cancer Conference (Seoul), 1987.
- 10) Matsumoto, K.<sup>1)</sup>, Nakagami, Y. and Kishimoto, T.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>膀胱腫瘍術後維持療法研究会): [展示] Study on evaluation of immunochemotherapy (PSK, CQ) to prevent the recurrence of bladder cancer. The 8th Asia Pacific Cancer Conference (Seoul), 1987.
- 11) 林昭棟, 中神義三, 伊藤博, 池田一則, 岡史篤, 大原正雄: [展示] 尿路性器癌に対する非特異的免疫療法とImmunoresponderの検討, 特にOK432とSu-ps skin testについて. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 12) 伊藤博, 中神義三, 林昭棟, 池田一則, 岡史篤, 大原正雄: [一般講演] 前立腺癌に対する腫瘍マーカーとしてのPAPと $\gamma$ -Smの比較検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 13) 野村信夫<sup>1)</sup>, 松井南<sup>1)</sup>, 石崎良太郎<sup>1)</sup>, 大網弘<sup>2)</sup>, 横田隆<sup>2)</sup>, 小山美弥<sup>2)</sup>, 秋丸號甫<sup>3)</sup>, 金内秀士<sup>3)</sup>, 庄司佑<sup>3)</sup>, 佐々木茂<sup>4)</sup>, 磯崎太一<sup>4)</sup>, 太田雄二郎<sup>4)</sup>, 平岡保紀<sup>5)</sup>, 中神義三 (<sup>1)</sup>日本獣医畜産大・分子腫瘍, <sup>2)</sup>老研・免疫病理, <sup>3)</sup>第2外科, <sup>4)</sup>産婦人科, <sup>5)</sup>付属・泌尿器科): [一般講演] 新しい癌遺伝子 nit と sky の cDNA クローニングと構造解析. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 14) 林昭棟, 中神義三, 伊藤博, 池田一則, 岡史篤, 大原正雄: [展示] 前立腺癌に対する維持療法 (免疫・ホルモン療法) の検討. 第52回日本泌尿器科学会東部総会, 1987.
- 15) 伊藤博, 中神義三, 林昭棟, 池田一則, 岡史篤, 大原正雄: [展示] 前立腺癌に対する腫瘍マーカーとしてのPAPと $\gamma$ -Smの比較検討. 第52回日本泌尿器科学会東部総会, 1987.
- 16) 中神義三, 林昭棟, 伊藤博, 平沢精一, 松本恵一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>国立横須賀病院): [展示] 実験膀胱癌 (BC-47) に対するK18の抗腫瘍効果の検討. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 17) 林昭棟, 中神義三, 伊藤博, 大原正雄: [展示] 前立腺癌に対する免疫・ホルモン療法 (PSK+抗男性ホルモン剤併用療法) の検討. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 18) 松本恵一<sup>1)</sup>, 中神義三, 岸本孝<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>膀胱腫瘍術後維持療法研究会): [展示] 表在性膀胱癌の術後再発防止に対する免疫化学療法の検討 (第3報). 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 19) 中神義三: [シンポジウム] 膀胱癌の免疫化学療法. 第7回国際外科学会アジア・太平洋合同会議 (台北), 1987.
- 20) 松本恵一<sup>1)</sup>, 中神義三, 岸本孝<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>膀胱腫瘍術後維持療法研究会): [一般講演] 表在性膀胱癌の術後再発防止に対する免疫化学療法の検討 (第2報). 第35回日本化学療法学会西日本支部総会, 1987.
- 21) 中神義三, 林昭棟, 伊藤博, 池田一則, 岡史篤, 山田晋介: [一般講演] 前立腺癌に対する維持療法 (免疫・ホルモン療法) の検討. 第35回日本化学療法学会西日本支部総会, 1987.

## 〔第二病院泌尿器科〕

### 研究概要

第二病院泌尿器科は臨床的研究として、前立腺癌患者における腫瘍マーカーを種々測定し、その偽陰性例に対する詳細な検査を施行しマーカーの有用性を検討した。また表在性膀胱腫瘍に対する術後再発予防療法としての、多剤併用膀胱内注入療法を施行し、有効であることの確証を得た。

血液透析に関しTemporary Blood AccessとしてのDouble Lumen Catheterを使用しその有用性を確認、さらに慢性透析患者のアミラーゼ値を測定し、原疾患、透析期間における有意差を検討した。

基礎的研究としては、ヌードマウスヒト移植泌尿生殖器悪性腫瘍に対する各種抗癌剤感受性試験の比較検討、および腎癌に対するモノクローナル抗体の研究を行った。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 堀内和孝, 中島均<sup>1)</sup>, 沖守<sup>1)</sup>, 曲井康雄<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院泌尿器科): 〔原著〕後腹膜線維症の1例. 泌尿紀要, 33, 596~599, 1987.
- 2) 久島英二<sup>1)</sup>, 佐藤正広<sup>1)</sup>, 沖守<sup>1)</sup>, 富田勝, 秋元成太<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院人工透析室): 〔報告〕Temporary Blood AccessとしてのDouble Lumen Catheterの使用経験. 人工臓器, 16, 734~737, 1987.
- 3) 中神義三<sup>1)</sup>, 林昭棟<sup>1)</sup>, 伊藤博<sup>1)</sup>, 平沢精一<sup>1)</sup>, 淡輪邦夫<sup>2)</sup>, 藤岡良彰<sup>3)</sup>, 小川秀弥<sup>3)</sup>, 田中求平<sup>3)</sup>, 山田記道, 石井洋二, 引間規夫 (<sup>1)</sup>第一病院泌尿器科, <sup>2)</sup>河北総合病院泌尿器科, <sup>3)</sup>関東通信病院泌尿器科): 〔報告〕膀胱癌, 腎細胞癌に対するUFTの使用経験. 泌尿紀要, 33, 1728~1732, 1987.
- 4) 堀内和孝: 〔原著〕ヌードマウスヒト泌尿生殖器悪性腫瘍株を用いた腎被膜下移植法 (Subrenal Capsule Assay) における宿主反応の基礎的検討. 日泌尿会誌, 78, 2147~2154, 1987.

#### 学会発表

- 1) 田中求平<sup>1)</sup>, 小川秀弥<sup>1)</sup>, 引間規夫 (<sup>1)</sup>関東通信病院泌尿器科): 〔一般講演〕高度血尿; 特にその概念と対策. 第75回日本泌尿器科学会総会, 1987.
- 2) 寺島保典, 金森幸男<sup>1)</sup>, 木村剛<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院泌尿器科): 〔一般講演〕腎癌に対するモノクローナル抗体の作製. 第75回日本泌尿器科学会総会, 1987.
- 3) 寺島保典, 西村泰司<sup>1)</sup>, 吉田和弘<sup>1)</sup>, 金森幸男<sup>1)</sup>, 川村直樹<sup>1)</sup>, 坪井成美<sup>1)</sup>, 原眞<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院泌尿器科): 〔一般講演〕CDDPの膀胱腫瘍内濃度. 第75回日本泌尿器科学会総会, 1987.
- 4) 堀内和孝, 金森幸男<sup>1)</sup>, 山田晋介<sup>1)</sup>, 由井康雄<sup>1)</sup>, 中島均<sup>1)</sup>, 川村直樹<sup>1)</sup>, 坪井成美<sup>1)</sup>, 長谷川潤<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup>, 浅野伍朗<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院泌尿器科, <sup>2)</sup>第2病理): 〔一般講演〕ヌードマウス移植ヒト腫瘍に対する3種制癌剤感受性試験の比較検討. 第75回日本泌尿器科学会総会, 1987.
- 5) 久島英二<sup>1)</sup>, 佐藤正広<sup>1)</sup>, 富田勝, 秋元成太<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院人工透析室): 〔一般講演〕慢性透析患者における高アミラーゼ血症の臨床的検討. 第32回日本透析療法学会総会, 1987.
- 6) 佐藤正広<sup>1)</sup>, 久島英二<sup>1)</sup>, 川村直樹<sup>1)</sup>, 吉田和弘<sup>1)</sup>, 富田勝, 秋元成太<sup>1)</sup>, 角田守<sup>2)</sup>, 細井宏益<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院人工透析室, <sup>2)</sup>小児科): 〔一般講演〕血漿交換療法が有効であった膜性増殖性糸球体腎炎の一症例. 第32回日本透析療法学会総会, 1987.
- 7) 雨宮裕, 引間規夫, 沖守, 杉澤裕, 富田勝, 山田記道: 〔一般講演〕 $\gamma$ -Seminoprotein測定の臨床的検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 8) 引間規夫, 雨宮裕, 沖守, 杉澤裕, 富田勝, 山田記道: 〔展示〕Mitomycin C, cystosine arabino side (cylocide)



併用膀胱内注入による膀胱腫瘍再発防止効果. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.

- 9) 佐藤正広<sup>1)</sup>, 久島英二<sup>1)</sup>, 吉田和弘<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup>, 沖守, 富田勝 (<sup>1)</sup>付属病院人工透析室): [展示] 本院における急性腎不全症例の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 10) 久島英二<sup>1)</sup>, 佐藤正広<sup>1)</sup>, 富田勝, 秋元成太<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院人工透析室): [一般講演] 慢性透析患者における高アミラーゼ血症の臨床的検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 11) 寺島保典, 金森幸男<sup>1)</sup>, 服部智任<sup>1)</sup>, 木村剛<sup>1)</sup>, 西村泰司<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup>, 小川秀弥<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院泌尿器科, <sup>2)</sup>関東通信病院泌尿器科): [展示] 腎細胞癌に対するモノクローナル抗体; 抗原の生化学的性状についての検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 12) 堀内和孝, 山中吉郎<sup>1)</sup>, 長谷川潤<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup>, 小川秀弥<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院泌尿器科, <sup>2)</sup>関東通信病院泌尿器科): [展示] ヌードマウス移植ヒト膀胱癌株 (NM-B-1) 前立腺株 (Pro-1) に対する腎被膜下移植法 (SRCA) を用いた制癌剤感受性試験. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 13) 引間規夫, 雨宮裕, 杉澤裕, 沖守, 富田勝, 山田記道: [示説] 前立腺特異抗原の臨床的検討. 第52回日本泌尿器科学会東部総会, 1987.
- 14) 寺島保典, 金森幸男<sup>1)</sup>, 堀内和孝, 服部智任<sup>1)</sup>, 西村泰司<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院泌尿器科): [一般講演] 膀胱癌細胞株より分離したクローン間における制癌剤の感受性についての検討. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 15) 寺島保典, 金森幸男<sup>1)</sup>, 西村泰司<sup>1)</sup>, 吉田和弘<sup>1)</sup>, 川村直樹<sup>1)</sup>, 坪井成美<sup>1)</sup>, 堀内和孝, 秋元成太<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院泌尿器科): [一般講演] 腎細胞癌に対するモノクローナル抗体の作製. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 16) 堀内和孝, 金森幸男<sup>1)</sup>, 長谷川潤<sup>1)</sup>, 山田晋介<sup>1)</sup>, 寺島保典, 山中吉郎<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院泌尿器科): [一般講演] ヌードマウス移植ヒト膀胱癌株および前立腺株に対する *in vivo*, *in vitro* における制癌剤感受性試験の比較検討. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 17) 富田勝, 引間規夫, 雨宮裕, 杉澤裕, 沖守, 山田記道, 阿部裕行<sup>1)</sup>, 吉田和弘<sup>1)</sup>, 佐藤正広<sup>1)</sup>, 久島英二<sup>1)</sup>, 秋元成太<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>付属病院人工透析室): [一般講演] 緊急透析の研究. 第63回日医大医学会例会, 1987.
- 18) 沖守, 引間規夫, 雨宮裕, 杉澤裕, 富田勝, 山田記道: [一般講演] 尿路消化管瘻を伴った高度尿管狭窄の1例. 第452回日本泌尿器科学会東京地方会, 1987.
- 19) 引間規夫, 雨宮裕, 堀内和孝, 富田勝, 山田記道: [一般講演] 化学療法・放射線療法にて緩解した陰茎癌の1例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 20) 山田記道: [特別講演] 尿路結石治療の変遷. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.

## 16. 眼科学講座

### [付属病院眼科・第一病院眼科・第二病院眼科・多摩永山病院眼科]

#### 研究概要

教室の研究は、前眼部は白内障、アレルギー性結膜炎、網膜、コンタクトレンズ等が研究対象である。

前眼部について、白内障ではガラクトース白内障に対する Vit. E の効果を検討し、Vit. E 単独投与では白内障の発生を抑制できなかったが、Vit. C との併用では抑制できた。また Vit. E 投与で水晶体可溶性蛋白質の減少が生化学的に認められた。para-chlorophenylalanine (PCP) による白内障では、PCP 投与例では  $\beta$  H 分画は消失し、 $\gamma$  分画の減少、肝 phenylalanine hydroxylase 活性の低下、Na 増加 K 減少、水分増加等から、蛋白合成異常、水晶体上皮の陽イオン能動輸送構造の障害によって白内障が生ずるとした。

アレルギー性結膜炎については、スギ花粉症の東京都の実態調査について報告、実験的アレルギー性結膜については、小青竜湯、ヒスタミン加モルモット  $\gamma$ -グロブリン等の効果について検討している。

網膜について、検眼鏡および蛍光眼底造影の電気生理学的な検査より、疾患病態の解析を試み、また、網膜剥離の手術的治療を実技面より検討し、さらに、手術時に採取した検体を電顕の検査より剥離時に起こる増殖膜を解明した。動物実験より後部硝子体膜発生の形態を電顕にとらえ、また、網膜-硝子体の境界面の構造を検討した。

コンタクトレンズ (CL) について、CL の材質と角膜炎との関係を検討し、酸素透過性が高いほどたわみやすいとし、ソフト CL を装着直後にくもりを自覚し、角膜傷害を生ずるのは、レンズクリナーや酸素薬剤が残存しないよう洗浄すべきであるとし、CL の材質以外に原因を検討した。

#### 研究業績

##### 論文

- 1) Tolentino, F.I.<sup>1)</sup>, Baehr, E.F.<sup>1)</sup> and Miyamoto, K. (<sup>1)</sup>Eye Research Institute of Retinal Foundation, Boston) : [原著] New instrument for vitreoretinal membrane surgery. Arch. Ophthalmol., 104, 1711~1713, 1986.
- 2) 竹内良夫<sup>1)</sup>, 西村葉子<sup>1)</sup>, 中川洋子<sup>1)</sup>, 雑賀寿和, 清水由規, 新井孝司<sup>2)</sup>, 石崎正道<sup>2)</sup>, 横室公三<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>微生物・免疫, <sup>2)</sup>第1病理) : [原著] ヒスタミン加モルモット  $\gamma$ -グロブリンの実験的アレルギー性結膜炎モデルに及ぼす効果. あたらしい眼科, 4, 683~687, 1987.
- 3) 水谷由紀夫, 清水由規, 水谷聡<sup>1)</sup>, 西田祥蔵<sup>1)</sup>, (<sup>1)</sup>愛知医大, 眼科) : [原著] Acute Toxic Reaction と考えられるソフトコンタクトレンズ使用時にみられる眼障害について. 日コンタクトレンズ会誌, 29, 112~115, 1987.
- 4) 原彰, 三浦雅博, 清水由規 : [原著] 出血性黄斑症を伴った Vogt-Koyanagi-Harada 症候群の1例. 臨眼, 41, 656~657, 1987.
- 5) Fan, R.F.T.<sup>1)</sup>, Chung, H.<sup>1)</sup>, Tolentino, F.I.<sup>1)</sup>, Miyamoto, K. and Refojo, M.F.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>Eye Research Institute of Retinal Foundation, Boston) : [原著] Effectiveness of silicone oil removal from rabbit eyes. Graefes Arch. Clin. Exp. Ophthalmol., 225, 338~340, 1987.
- 6) 禰津直久, 永田誠<sup>1)</sup> (天理よろづ相談所病院眼科) : [原著] 天理病院トラベクトミーの統計的観察. その2 併発症. 眼臨医報, 81, 2062~2065, 1987.
- 7) 原彰 : [原著] 網膜-硝子体境界面の研究 (2). 眼臨医報, 91, 1987~2088, 1987.
- 8) 山田幸永, 富川節子, 原彰 : [原著] 周辺型糖尿病性網膜症の眼底変化. 眼科, 29, 921~923, 1987.
- 9) 山岸和矢<sup>1)</sup>, 禰津直久, 市岡博<sup>2)</sup>, 永田誠<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>関西医科大学眼科, <sup>2)</sup>天理よろづ相談所病院眼科) : [原著] 眼内レンズ挿入眼の術後乱視. (2) テリー角膜計の使用経験. IOL, 1, 225~228, 1987.

- 10) 三浦雅博, 山田幸永, 川辺幹男, 清水由規:〔原著〕Posner - Schlossman症候群の角膜後面沈着物に角膜実質混濁を伴った1例. 日眼紀, 38, 1861~1864, 1987.
- 11) 清水由規, 永井眞之, 宮本主福:〔総説〕水晶体, 硝子体の展望 1983年度 (I). 眼科, 29, 1365~1394, 1987.
- 12) 水谷由紀夫, 清水由規, 野崎真司<sup>1)</sup>, 水谷豊<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>日本コンタクトレンズ):〔原著〕ガス透過性ハードコンタクトレンズのFlexureについて. その1 レンズ厚みの影響. 日コンタクトレンズ会誌, 29, 298~304, 1987.
- 13) 原彰, 清水由規:〔原著〕網膜-硝子体境界面の研究 (1). 眼臨医報, 81, 2600~2604, 1987.
- 14) 瀧津直久, 永田誠<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>天理よろづ相談所病院眼科):〔原著〕天理病院トラベクトミーの統計的観察. その3 血液逆流. 臨眼, 42, 266~267, 1988.
- 15) 三浦雅博, 富川節子, 原彰:〔原著〕Hemi - Central Retina Vein Occlusionの2例. 眼科, 30, 93~95, 1988.
- 16) 清水由規:〔原著〕眼科からみた花粉症; スギ花粉症の実態調査 (東京都大田区) より. アレルギー診療, 14, 555~575, 1988.

## 著 書

- 1) 清水由規, 川辺幹夫:〔分担〕第III章 眼疾患の種類と治療 1.眼瞼, 涙器, 眼窩疾患, 2.結膜疾患. “臨床薬物治療学大系 Vol. 17 耳鼻咽喉・口腔疾患/眼疾患”, p.261~273, 情報開発研究所, 1987.
- 2) 清水由規, 雑賀寿和:〔分担〕花粉症. “結膜疾患眼科MOOK”, p.42~63, 金原出版, 1987.
- 3) 永井眞之:〔分担〕眼精疲労. “今日の治療指針30”, p.285, 医学書院, 1987.
- 4) 竹内良夫<sup>1)</sup>, 木村義民<sup>1)</sup>, 横室公三<sup>1)</sup>, 雑賀寿和, 清水由規 (<sup>1)</sup>微生物学免疫学教室):〔分担〕漢方と免疫アレルギー (1). (長野準編), p.136~147, メディカルトリビューン社, 1988.

## 学会発表

- 1) 松本和子, 原彰, 清水由規:〔一般講演〕Roth斑を認めた Infective endocarditisの2症例. 第3回関東眼科学会, 1987.
- 2) 三浦雅博, 富川節子, 原彰:〔一般講演〕Hemi - Central Retina Vein Occlusionの2例. 第624回東京眼科集談会, 1987.
- 3) 朝岡守, 北川明彦, 中山義章:〔一般講演〕眼窩腫瘍の1例. 第624回東京眼科集談会, 1987.
- 4) 原彰, 清水由規:〔一般講演〕網膜硝子体境界面の構造 (2). 第10回日本眼科学会, 1987.
- 5) 内山幸昌:〔一般講演〕ラット糖白内障に対するビタミンE投与効果; 高速液体クロマトグラフィーによる水晶体可溶性蛋白分画解析. 第91回日本眼科学会総会, 1987.
- 6) 原彰:〔講演 - 示説〕網膜 - 硝子体境界面の研究. 第91回日本眼科学会総会, 1987.
- 7) 清水洋一:〔教育講演〕眼科領域における線溶療法. ダイナボット講演会, 1987.
- 8) 三浦雅博, 山田幸永, 川辺幹男, 清水由規:〔一般講演〕Posner - Schlossman症候群の角膜後面沈着物に角膜実質混濁を伴った1例. 第25回北日本眼科学会, 1987.
- 9) 水谷由紀夫:〔学会発表〕コンタクトレンズ講習会, ガス透過性ハードコンタクトレンズの現状と未来. 第30回日本コンタクトレンズ学会, 1987.
- 10) 水谷由紀夫:〔学会発表〕ガス透過性ハードコンタクトレンズのflexureについて. その1 レンズ中心厚みの影響. 第30回日本コンタクトレンズ学会, 1987.
- 11) 六鹿秀夫, 原彰, 清水由規:〔一般講演〕Eales病の病像について. 第4回関東眼科学会, 1987.
- 12) 清水暢夫, 高橋浩, 山田幸永, 吉村宏子, 田母神和恵:〔一般講演〕第二病院眼科における白内障手術の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.

- 13) 清水洋一：〔一般講演〕網膜静脈閉塞症の外来におけるウロキナーゼ大量静注療法。第55回日本医科大学医学会総会，1987.
- 14) 稗田桐子，三浦雅博，朝岡守，中山義章，宮本圭福（稲田登戸病院眼科）：〔展示〕デスメ膜破裂を来した円錐角膜の1症例。第55回日本医科大学医学会総会，1987.
- 15) 禰津直久，永田誠<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>天理よろづ相談所病院眼科）：〔展示〕天理病院トラベクトミーの統計的観察。その3 血液逆流。第41回日本臨床眼科学会総会，1987.
- 16) 三浦雅博，富川節子，原彰，清水由規：〔示説〕Pigmented paraveneous chorioretinal atrophyの1例。第41回日本臨床眼科学会総会，1987.
- 17) 三浦雅博，富川節子，原彰，清水由規：〔展示〕色素性静脈周囲網脈絡膜萎縮の一例。第14回臨床眼科学会総会，1987.
- 18) 水谷由紀夫：〔一般講演〕Acute toxic reaction caused by soft contact lens<sup>2)</sup>。第6回国際コンタクトレンズ学会（ゴールドコースト，オーストラリア），1987.
- 19) 清水洋一：〔教育講演〕原発性閉塞隅角緑内障の治療。千代田区眼科医会講演会，1987.
- 20) 高橋浩，吉村宏子，田母神和恵，清水暢夫：〔一般講演〕緑内障発作に対するレーザー虹彩切開術。日本医科大学医学会第63回例会，1987.
- 21) 禰津直久，清水由規：〔ビデオセッション〕ヒーロンと剪刀による脱出硝子体の処理。第11回日本眼科手術学会総会，1988.
- 22) 森秀樹，渡辺龍雄，原彰：〔一般講演〕新生血管緑内障に対するtrabeculosinusotomyの試み。第11回日本眼科手術学会総会，1988.
- 23) 原彰：〔セミナー〕硝子体の微細構造。参天ゼミナール，1988.
- 24) 竹内良夫<sup>1)</sup>，西村葉子<sup>1)</sup>，横室公三<sup>1)</sup>，木村義民<sup>1)</sup>，雑賀寿和，石崎正通<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>微生物学免疫学教室，<sup>2)</sup>第1病理学教室）：〔シンポジウム〕実験的アレルギー性結膜炎における小青竜湯の効果について。第7回博多シンポジウム，1988.
- 25) 原彰，渡辺龍男，並松茂樹：〔一般講演〕増殖性硝子体網膜症にみる異常硝子体コラーゲンの動態。第92回日本眼科学会総会，1988.
- 26) 内山幸昌：〔学術展示〕ラットガラクトース白内障に対するビタミンE，C投与効果；高速液体クロマトグラフィーによる水晶体不溶性蛋白分画解析。第92回日本眼科学会総会，1988.
- 27) 佐々木昌子，浜本品子，久安早苗<sup>1)</sup>，吉野芳夫<sup>1)</sup>，清水由規（<sup>1)</sup>第2生化）：〔展示〕pcp (para-chlorophenylalanine) によるラット白内障の生化学的研究。第92回日本眼科学会総会，1988.
- 28) 浜本品子，佐々木昌子，久安早苗<sup>1)</sup>，吉野芳夫<sup>1)</sup>，清水由規（<sup>1)</sup>第2生化）：〔展示〕pcp (para-chlorophenylalanine) によるラット白内障の水晶体水溶性，不溶性蛋白について。第92回日本眼科学会総会，1988.

## 17. 麻酔科学講座

### 〔付属病院麻酔科〕

#### 研究概要

本教室では、本年度より小川龍主任教授を迎え、研究面にも新たな展開をみせている。小川教授の研究の中心はショックの病態生理の解明と治療法の開発であり、従来の研究室はすっかり整備され、実験モデルを用いての研究が開始された。その第一はショック時の細胞損傷の発生機序における酸素遊離基の役割：酸素遊離基スクャベンジャーの救命効果、第二はショックの蘇生時における輸液の役割：晶質液と膠質液の比較、第三はショック時の代謝性アシドーシスの治療：デクロロ酢酸の役割、である。これらの成果としてすでに、①内蔵の虚血と再循環モデルでは臓器に過酸化脂質が蓄積し、ヒト型SODの投与により救命率が向上すること、②ショックの輸液療法での膠質液の有効性を確認し、従来のモデルでは両者の比較に難があることを指摘している。また③出血性ショックモデルでデクロロ酢酸により乳酸の蓄積を抑えてアシドーシスの進行を阻止することを示している。

臨床研究では、麻酔時の神経性循環調節機構の解明や教室伝統の研究である硬膜外麻酔の生理学的影響に関する研究を続けている。特に硬膜外麻酔の心機能に及ぼす影響については、ユニークな知見を得ている。

井上助教授のグループは麻酔と呼吸生理の関係をテーマにして、高頻度人工呼吸法の臨床適応、パルスオキシメトリーによる肺ガス交換能のモニタリングなどを研究している。

さらに、低血圧麻酔時の代謝性アシドーシスの成因、呼吸筋の酸素消費量、心筋梗塞患者の麻酔予後など多彩な分野に従来の研究の芽を伸ばしてきているところである。

#### 研究業績

##### 論文

- 1) 小川龍：〔講座〕救急医療における統計処理。救急医，11，461～469，1987。
- 2) 遠藤正宏：〔原著〕麻酔による末梢血管の変動に関する研究。麻酔，36，704～712，1987。
- 3) 岩沢博俊：〔原著〕麻酔中の血圧低下に対する血漿増量剤急速輸液の効果。麻酔，36，1414～1421，1987。
- 4) 小川龍：〔総説〕循環不全，インテンシブ・ケアの実際；出血性ショック。消外，10，1084～1089，1987。
- 5) 辺見宏<sup>1)</sup>，江上格<sup>2)</sup>，結城禎一（<sup>1)</sup>救急医学，<sup>2)</sup>第1外科）：〔総説〕熱傷（特集：小児科医のための境界領域ガイドライン，救急）。小児診療，50，1911～1915，1987。
- 6) 辺見弘<sup>1)</sup>，大塚敏文<sup>1)</sup>，戸佐真弓<sup>1)</sup>，結城禎一（<sup>1)</sup>救急医学）：〔総説〕熱傷の呼吸器合併症（特集：呼吸不全と呼吸管理）。救急医，11，1613～1618，1987。
- 7) 西邑信男<sup>1)</sup>，遠藤正宏，坂本篤裕，（<sup>1)</sup>東京麻酔グループ）：〔原著〕イソフルレン吸入麻酔における脳脊髄圧の変動。麻酔，36，1782～1789，1987。
- 8) 矢埜正実：〔トピックス〕頭蓋内圧モニタリング（特集：意識障害）。小児内科，19，1627～1633，1987。
- 9) Yano, M., Kobayashi, S.<sup>1)</sup>, Ikeda, Y.<sup>1)</sup> and Otsuka, T.<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>脳神経外科，<sup>2)</sup>救急医学）：〔原著〕Intracranial pressure in head-injured patients with various intracranial lesions is identical through supratentorial intracranial compartment. Neurosurgery, 21, 688～692, 1987。
- 10) 小川龍：〔原著〕プロスタグランディンBxの抗ショック作用。医のあゆみ，143，637，1987。
- 11) 小川龍：〔原著〕ショック・スコアの成り立ち。Shock，2，51～54，1987。
- 12) 矢埜正実，大塚敏文<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>救急医学）：〔総説〕重症熱傷の栄養管理（特集：栄養輸液）。臨床電解質，8，77～85，1988。

- 13) 矢埜正実, 坂本勇二郎, 滝井義隆, 吉河達祐, 竹田教章, 山口真人, 小川龍: [誌上抄読会] 静脈内局所麻酔をめぐって. 臨麻, 12, 73~80, 1988.
- 14) 小川龍: [総説] ショック時の細胞障害と酸素遊離基. 日医大誌, 55, 4~12, 1988.
- 15) Ogawa,R., Bito,H. and Ohi,Y.: [原著] The effect of SOD on the survival rate in rats with temporary splan - chnic ischemia. J.Anesthesia, 2, 366~367, 1988.

## 著 書

- 1) 小川龍: [分担] ショック時の細胞損傷とフリーラジカル. “フリーラジカルの臨床(2)” (近藤元治監修, 大柳善彦, 吉川敏一編), p.161~168, 日本医学館, 1987.
- 2) 井上哲夫: [分担] 小児の麻酔, 老人の麻酔, 産科麻酔, 特殊疾患の麻酔, 局所麻酔, 治療. “医師国家試験パートナーシリーズ外科・麻酔科” (医師国家試験パートナーシリーズ編集委員会編), p.869~917, 金原出版, 1987.
- 3) 小川龍: [分担] 麻酔事故; 悪性高熱血症を含む. “今日の治療指針-1988年版-” (日野原重明, 阿部正和総編集), p.38, 医学書院, 1988.
- 4) 矢埜正実: [分担] 電解質異常. “今日の治療指針-1988年版-” (日野原重明, 阿部正和総編集), p.67~68, 医学書院, 1988.
- 5) 矢埜正実: [分担] 脳ヘルニア. “今日の診断指針第2巻” (亀山正邦, 亀田治男, 高久史磨, 阿部令彦総編集), p.467~468, 医学書院, 1988.

## 学会発表

- 1) 岩沢博俊, 坂本篤裕, 西邑信男<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京麻酔グループ): [一般講演] 麻酔中における急速輸液時の循環動態. 第34回日本麻酔学会総会, 1987.
- 2) 宮田佳彦<sup>1)</sup>, 滝井義隆<sup>1)</sup>, 西邑信男<sup>2)</sup>, 長谷川伝<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>目白病院, <sup>2)</sup>東京麻酔グループ): [一般講演] 人工呼吸中の患者の栄養に関する考察. 第34回日本麻酔学会総会, 1987.
- 3) 滝井義隆<sup>1)</sup>, 宮田佳彦<sup>1)</sup>, 西邑信男<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>目白病院, <sup>2)</sup>東京麻酔グループ): [一般講演] 胸部CTスキャンによるスワン・ガンツカテーテル先端の確認とPEEPの関連性. 第34回日本麻酔学会総会, 1987.
- 4) 遠藤正宏, 坂本篤裕, 西邑信男<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>東京麻酔グループ): [一般講演] 吸入麻酔薬の脳脊髄液圧への影響について; イソフルレンとハロセンの比較検討. 第34回日本麻酔学会総会, 1987.
- 5) 小川龍, 合志裕一<sup>1)</sup>, 国元文生<sup>1)</sup>, 丸山登<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>群馬大学麻酔科): [展示] プロスタグランディンBxのショックに対する効果. 第34回日本麻酔学会総会, 1987.
- 6) 井上哲夫, Payne,J.P.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>英国外科医学校麻酔科): [展示] パルスオキシメータによる手術直後の動脈血酸素飽和度変動モニター. 第34回日本麻酔学会総会, 1987.
- 7) 小川龍: [シンポジウム] ショック・スコアの成立. 第2回ショック学会総会, 1987.
- 8) 小川龍, 合志裕一<sup>1)</sup>, 国元文生<sup>1)</sup>, 丸山登<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>群馬大学麻酔科): [一般講演] プロスタグランディンBxの抗ショック作用. 第2回ショック学会総会, 1987.
- 9) 結城禎一, 井上哲夫, 山本保博<sup>1)</sup>, 辺見弘<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>救急医学): [一般講演] 広範囲熱傷患者の呼吸機能の検討. 第13回日本熱傷学会学術集会, 1987.
- 10) 矢埜正実, 岡田卓郎<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>脳神経外科, <sup>2)</sup>救急医学): [一般講演] ICP monitoringを行った重症頭部外傷287症例の予後と年齢解析. 第10回日本神経外傷研究会, 1987.
- 11) 井上哲夫, 池田健次, 宮田近昌<sup>1)</sup>, 松下行男<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>アイ・エム・アイ技術部): [一般講演] VS600長期使用による機械的消耗について. 第9回人工呼吸研究会, 1987.

- 12) 小川龍：〔シンポジウム〕スーパオキシサイド・ラジカル。第3回侵襲時の体液・代謝研究会，1987.
- 13) 小川龍：〔特別講演〕ショック時の細胞損傷の発生機序。第55回日本医科大学医学会総会，1987.
- 14) 井上哲夫：〔海外留学者講演〕パルスオキシメータの臨床応用。第55回日本医科大学医学会総会，1987.
- 15) 斉藤敏之<sup>1)</sup>，山田光輝<sup>1)</sup>，坂本勇二郎，井上哲夫，小川龍（<sup>1)</sup>多摩永山病院麻酔科）：〔一般講演〕ATPを用いた低血圧麻酔における代謝性アシドーシスの成因。27回日本麻酔学会関東甲信越地方会，1987.
- 16) 菅原真哉，池田健次，井上哲夫：〔一般講演〕HFJV用ベンチレータVS600長期使用における機械的問題点。第27回日本麻酔学会関東甲信越地方会，1987.
- 17) 中西一浩，坂本篤裕，仲田治夫，結城禎一，井上哲夫，小川龍：〔一般講演〕急性心筋梗塞患者の緊急手術の麻酔経験。第27回日本麻酔学会関東甲信越地方会，1987.
- 18) Endo, M., Sakamoto, A. and Nishimura, N.<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>東京麻酔グループ）：〔一般講演〕Effects of volatile anesthetics on cerebrospinal fluid pressure. 5th Asean Congress of Anaesthesiologists (Singapore), 1987.
- 19) Nishimura, N.<sup>1)</sup> and Iwasawa, H.（<sup>1)</sup>東京麻酔グループ）：〔一般講演〕Management of hypotension during epidural analgesia. 5th Asean Congress of Anaesthesiologists (Singapore), 1987.
- 20) 遠藤正宏，中西一浩，小川龍，弓削静彦<sup>1)</sup>，橋本憲三，八木光博<sup>1)</sup>，安武正弘<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>博慈会記念病院）：〔一般講演〕硬膜外麻酔中に冠動脈スパスムを疑われた症例。第7回日本臨床麻酔学会総会，1987.
- 21) 矢埜正実，坂本篤裕，結城禎一，加部俊文，仲田治夫，梶本陽司，遠藤正宏，菅原真哉，井上哲夫，小川龍：〔一般講演〕広範囲熱傷早期手術と麻酔管理。第7回日本臨床麻酔学会総会，1987.
- 22) 吉河達祐，加部俊文，井上哲夫，小川龍：〔一般講演〕硬膜外への薬液注入時のフィルターの使用。第7回日本臨床麻酔学会総会，1987.
- 23) 坂本篤裕，尾藤博保，大井良之，井上哲夫，小川龍：〔一般講演〕心筋梗塞既往患者に対する麻酔の統計学的考察。第7回日本臨床麻酔学会総会，1987.
- 24) 輪嶋善一郎，竹田晋浩，小川龍：〔展示〕麻酔薬の神経性循環調節機能へ及ぼす影響。第1報 麻酔導入薬と圧受容体反射。第7回日本臨床麻酔学会総会，1987.
- 25) 小川龍：〔教育講演〕モニタリングの進歩。第15回日本救急医学会総会，1987.
- 26) 結城禎一，小川龍，辻井厚子<sup>1)</sup>，山本保博<sup>1)</sup>，辺見弘<sup>1)</sup>，大塚敏文<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>救急医学）：〔一般講演〕広範囲熱傷受傷早期の呼吸機能の検討。第15回日本救急医学会総会，1987.
- 27) 矢埜正実，横田裕行<sup>1)</sup>，大塚敏文<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>脳神経外科，<sup>2)</sup>救急医学）：〔一般講演〕頭部外傷にみられる脳底槽消失の検討。第15回日本救急医学会総会，1987.
- 28) 小川龍：〔シンポジウム〕カテーテルによる合併症とその対策。第15回日本集中治療医学会総会，1988.
- 29) 仲田治夫，輪嶋善一郎，結城禎一，小川龍：〔一般講演〕救急大血管手術の問題点。第24回臨床麻酔懇話会，1988.

## 〔第一病院麻酔科〕

### 研究概要

昭和62年度のテーマは、従来の研究路線上のとおり、少しずつ新しいものを加えた。

- (1) 脊椎麻酔に関するもの：脊椎麻酔に使用されている各種局麻薬による脊麻後皮膚温の変化。局麻薬の比重と効果発現時間等。
- (2) 慢性関節リウマチと麻酔に関するもの：慢性関節リウマチは全身性疾患であるため麻酔法の取り組み方に研究の余地がある。
- (3) 全身麻酔の挿管時血行動態の変化に関する研究。
- (4) 新しい静脈麻酔薬Propofolについての研究。

などを主に、各方面に手を広げつつあるのが現状である。

臨床麻酔症例の増加に伴い、動物実験のできないことが大きな悩みである。

## 研究業績

### 論文

- 1) 横山和子：〔原著〕シャント作成と管理。消外，10，198～202，1987。
- 2) 益田律子：〔原著〕加齢と禁煙が体位別肺機能検査に及ぼす影響について。麻酔，36，680～693，1987。
- 3) 横山和子，箕作禎子，稲田豊<sup>1)</sup>，他（<sup>1)</sup>東大・麻酔科）：〔原著〕KJK - 945の降圧効果に関する臨床的検討。麻酔，36，1189～1202，1987。
- 4) 島井信子：〔原著〕慢性関節リウマチ（RA）患者に対する脊椎麻酔の検討。日臨外医会誌，48，51～59，1987。
- 5) de Grood, P.M.R.M.<sup>1)</sup>, Mitsukuri, S., Vanegnout, J.<sup>1)</sup> et al.（<sup>1)</sup>ナイネムヘン大学麻酔科）：〔原著〕Comparison of etomidate and propofol for anesthesia in microlaryngeal surgery. Anesthesia, 42, 366～372, 1987。
- 6) 箕作禎子，横山和子，笠原孝之：〔症例報告〕気管内チューブ閉塞の1症例。臨麻，11，1521～1522，1987。
- 7) Yokoyama, K.：〔原著〕Arrhythmogenic heart disease. 循環制御，8，141～144，1987。
- 8) Yokoyama, K., Shimai, N., Mitsukuri, S. and Kobayashi, T.：〔原著〕Antihypertensive effects of KJK - 945 on preinduction period in anesthesia. 循環制御，8，344～345，1987。
- 9) 横山和子，箕作禎子，檜原理子：〔症例報告〕くも膜下局麻薬注入後Sick sinus syndromeが疑われた1例。臨麻，12，113～115，1987。
- 10) 箕作禎子，de Grood, P.M.R.M.<sup>1)</sup>，Crul, J.F.<sup>1)</sup>，横山和子（<sup>1)</sup>ナイネムヘン大学麻酔科）：〔原著〕麻酔導入薬としてのpropofolの使用経験。麻酔，37，203～206，1988。
- 11) 島井信子，横山和子：〔症例報告〕102歳女性の大髄骨頸部骨折手術の麻酔経験。麻酔，37，226～230，1988。

### 学会発表

- 1) 島井信子，横山和子：〔一般講演〕BIVONA社製フォームカフ付スパイラルチューブ，サイドポートコネクター付の試用経験。第34回日本麻酔学会総会，1987。
- 2) 箕作禎子，de Grood, P.M.R.M.<sup>1)</sup>，Crul, J.R.<sup>1)</sup>，横山和子（<sup>1)</sup>ナイネムヘン大学麻酔科）：〔一般講演〕麻酔導入薬としてのPropofolの使用経験。第34回日本麻酔学会総会，1987。
- 3) Tamura, T., Tamura, K.<sup>1)</sup>，Yellin, E.L.<sup>2)</sup> and Oka, Y.<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第1病理，<sup>2)</sup>アルバートアインスタイン医科大学麻酔科）：The effect of isoflurane on left ventricular diastolic function in the chronically instrumented dogs. 第34回日本麻酔学会総会，1987。
- 4) Tamura, T., Tamura, K.<sup>1)</sup>，Pajaro, O.E.<sup>2)</sup>，Frater, R.W.M.<sup>2)</sup>，Goldiner, R.L.<sup>2)</sup>，Oka, Y. and Yellin, E.L.<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第1病理，<sup>2)</sup>アルバートアインスタイン医科大学麻酔科）：〔一般講演〕Effect of isoflurane on diastolic function in the chronically instrumented dog. 第34回日本麻酔学会総会，1987。
- 5) Yellin, E.L.<sup>1)</sup>，Nikolic, S.<sup>1)</sup>，Meisner, J.S.<sup>1)</sup>，Tamura, K.<sup>2)</sup>，Tamura, T., Riad, A.<sup>1)</sup> and Frater, R.W.M.<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>アルバートアインスタイン医科大学心臓生理学，心臓血管外科，<sup>2)</sup>第1病理）：〔一般講演〕Intrinsic response to transient changes in left ventricular filling; Modulation of Frank Starling mechanism. 71st Annual Meeting FASEB (Saint Luis), 1987。
- 6) Tamura, K.<sup>1)</sup>，Tamura, T., Pajaro, O.E.<sup>2)</sup>，Frater, R.W.M.<sup>2)</sup>，Oka, Y., Goldiner, P.L.<sup>2)</sup> and Yellin, E.L.<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第1病理，<sup>2)</sup>アルバートアインスタイン医科大学麻酔科）：〔一般講演〕Synchronous - high frequency jet ventilation does not affect phasic transmitral flow patterns in the dog heart. The 16th Annual



Educational and Scientific Symposium Society of Critical Care Medicine (Anahaim), 1987.

- 7) 小林毅之, 横山和子: [一般講演] RA患者における人工肘関節置換術の麻酔. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987.
- 8) 谷藤方俊, 横山和子: [一般講演] サイオベンタール導入による挿管時の血圧変動について. 昭和62年度東京麻酔専門医会総会, 1987.
- 9) Yokoyama, K.: [シンポジウム] Arrhythmogenic heart disease. International Symposium on Cardiovascular Anesthesiology (Kobe), 1987.
- 10) Yokoyama, K., Shimai, N., Mitsukuri, S. and Kobayashi, T.: [一般講演] Antihypertensive effects of KJK-945 on preinduction period in anesthesia. International Symposium on Cardiovascular Anesthesiology (Kobe), 1987.
- 11) Yokoyama, K. and Tanifuji, M.: [一般講演] Circulatory responses to rapid induction and tracheal intubation. 5th Asean Congress of Anesthesiologists (Singapore), 1987.
- 12) Mitsukuri, S. and Yokoyama, K.: [一般講演] Cardiovascular responses to tracheal intubation with propofol induction. 5th Asean Congress of Anesthesiologists (Singapore), 1987.
- 13) 谷藤方俊, 横山和子: [一般講演] 麻酔急速導入時のサクシニールコリンによる血圧変動について. 第27回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1987.
- 14) 箕作慎子, 横山和子: [一般講演] サクシニールコリンの作用が遷延した透折患者の一症例. 第27回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1987.
- 15) 小林毅之, 横山和子: [一般講演] 慢性関節リウマチ患者に対する上肢手術の麻酔; クーレンカンブ法を中心として. 第27回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1987.
- 16) 小林毅之, 立原利江子, 横山和子: [一般講演] Concealed WPW syndromeの麻酔経験. 第27回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1987.
- 17) 島井信子, 横山和子: [一般講演] 102歳女性の大腿骨頸部骨折手術の麻酔経験. 第27回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1987.
- 18) 益田律子, 横山和子, 小野恵都子<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第一病院眼科): [一般講演] 星状神経節ブロック下の眼圧について. 第27回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1987.
- 19) 小林毅之, 横山和子: [一般講演] 放射線療法後に右脚ブロックを呈した1症例の麻酔経験. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 20) 益田律子, 横山和子, 北川松雄<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第一病院放射線科): [一般講演] CTガイドによる神経ブロックの試み. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 21) 横山和子, 谷藤方俊, 小林毅之, 須田浩允<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2外科): [一般講演] 全身麻酔の挿管時にみられる高血圧について. 第49回日本臨床外科学会総会, 1987.
- 22) 谷藤方俊, 横山和子: [一般講演] 急速麻酔導入時のサクシニールコリンによる血圧変動について. 第49回日本臨床外科学会総会, 1987.
- 23) Nikolic, S.<sup>1)</sup>, Yellin, E.L.<sup>1)</sup>, Tamura, K.<sup>2)</sup>, Vetter, H.<sup>1)</sup>, Tamura, T., Meesner, J.S.<sup>1)</sup> and Frater, R.W.M.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>アルバートアインスタイン医科大学麻酔科, <sup>2)</sup>第1病理): [一般講演] Positive and negative diastolic pressure-volume relations of canine left ventricle. The 8th International Conference of the Cardiovascular Dynamic Society, 1987.
- 24) Katoh, S.<sup>1)</sup>, Sekiya, T.<sup>1)</sup>, Yokoyama, K. et al. (<sup>1)</sup>東大・医用研): [一般講演] System analysis for the source derivation of the auditory brain stem responses and clinical application. 9th American Conference IEEE/Engineering in Medicine and Biology Society (Boston, U.S.A), 1987.

- 25) 箕作禎子, 横山和子: [一般講演] Propofol 導入時の気管内挿管に伴う血圧の変動. 第7回日本臨床麻酔学会総会, 1987.
- 26) 益田律子, 横山和子: [一般講演] 高齢者における機能的残気量とクローシングボリュームについて. 第7回日本臨床麻酔学会総会, 1987.
- 27) 島井信子, 横山和子: [一般講演] 会陰部手術に対するpethidineによる脊椎麻酔. 第7回日本臨床麻酔学会総会, 1987.
- 28) 横山和子, 益田律子, 島井信子, 箕作禎子, 小林毅之: [一般講演] 各種局麻薬の脊椎麻酔効果発現に関する検討. 第7回日本臨床麻酔学会総会, 1987.
- 29) 林晃紀, 佐藤裕信, 川名陽子, 加藤啓一, 田村高子, 上田裕美, 城越英夫, 種田益造, 荒木洋二: [一般講演] パンクロニウムの著名な作用遷延をみた一症例. 第7回日本臨床麻酔学会総会, 1987.
- 30) 城越英夫, 種田益造, 林晃紀, 加藤啓一, 上田裕美, 田村高子, 川名陽子, 佐藤裕信, 荒木洋二: [一般講演] サクシニルコリンの持続時間に及ぼすシメチジンの影響. 第7回日本臨床麻酔学会総会, 1987.
- 31) Nikolic, S.<sup>1)</sup>, Yellin, E. L.<sup>1)</sup>, Tamura, K.<sup>2)</sup>, Tamura, T., Owusu, K.<sup>1)</sup>, Dahm, M.<sup>1)</sup> and Frater, R. W. M.<sup>1)</sup>  
(<sup>1)</sup>アルバートアインスタイン医科大学心臓・生理学, <sup>2)</sup>第1病理): [一般講演] Viscous properties of the In-situ completely relaxed left ventricle are insignificant at normal strain rates. The 37th Annual Scientific Session American College of Cardiology (New Orleans), 1988.

## [第二病院麻酔科]

### 研究概要

当麻酔科においては臨床的研究が主であるが, 昨年に引き続いて, 硬膜外麻酔の研究を継続した。

妊婦の呼吸機能に与える硬膜外麻酔の影響は, 非妊婦に比べ興味深いものがあり, 帝王切開術時の呼吸機能は著明な変化をみせた。特に上位に及ぶ硬膜外麻酔でのTV・VCの有意な増加は, 一般に考えられるよりも妊婦の呼吸機能を良好にすることが分かった。

また術後疼痛対策としての硬膜外麻酔が, 患者の呼吸機能に与える影響をみる上でRAMテストが有用であるかを検討し, 簡便ではあるが, 非常に有用であることが判明した。疼痛外来また手術時の神経ブロックに関しては, 新装置であるニューロポイントを主にクーレンカップ, 上腕神経叢, 閉鎖神経ブロックに施行し, ブロックの麻酔薬量の軽減を計るとともに, 神経ブロックを的確に施行する方法を検討した。特にTURにおける閉鎖神経ブロックでは非常に良好な成績を得た。

術中。術後にわたり, 血液ガス分析値を知り, 呼吸循環動態を判定することは麻酔施行上必要欠くべからざるもので, 非侵襲的方法である経皮ガス測定法が, 観血的方法にどれだけ変わりうるものか, 様々な動態で検討し, その有用性を発表した。

### 研究業績

#### 論文

- 1) 紙谷裕昭, 内木亮介, 石原之法<sup>2)</sup>, 杉本季久造, 島田洋一, 西邑信男<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京麻酔グループ, <sup>2)</sup>永山病院麻酔科):  
[原著] 硬膜外麻酔による帝王切開時の呼吸機能の変動, 日臨麻会誌, 7, 113~118, 1987.
- 2) 杉本季久造: [原著] 成人術後患者における経皮ガス測定法の評価. 麻酔, 36, 1214~1226, 1987.
- 3) 福代泰彰, 紙谷裕昭, 浮谷勝郎, 内木亮介, 杉本季久造, 島田洋一: [報告] 悪性高熱様症状を呈した急性間欠性ポルフィリン症の一例. 臨麻, 11, 1515~1516, 1987.
- 4) 杉本季久造, 浮谷勝郎, 島田洋一: [報告] 急性腎不全を合併した胎盤早期剝離の麻酔経験. 臨麻, 11, 1645~

1646, 1987.

#### 学会発表

- 1) 丸茂穂積, 福代泰彰, 浮谷勝郎, 内木亮介, 三枝茂嗣, 島田洋一, 小川龍<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院・麻酔科) : [一般講演] 新しい神経刺激装置ニューロポイントの使用経験. 第7回日本臨床麻酔学会総会, 1987.
- 2) 木下隆央, 紙谷裕昭, 浮谷勝郎, 杉本季久造, 島田洋一, 小川龍<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院・麻酔科) : [展示] 硬膜外ブピバカインによる術後疼痛管理とその呼吸機能への影響; RAMテストの有用性について. 第7回日本臨床麻酔学会総会, 1987.
- 3) 浮谷勝郎, 木下隆央, 丸茂穂積, 福代泰彰, 紙谷裕昭, 内木亮介, 杉本季久造, 島田洋一: [一般講演] 稽留性化膿性肢端皮膚炎のLidocaine静脈内投与による除痛効果. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.

### [多摩永山病院麻酔科]

#### 研究概要

本年度, われわれの医局では, 疼痛, 呼吸機能, 低血圧麻酔に関する研究を行った.

疼痛に関しては, 疼痛抑制のための硬膜外モルフィンを脳神経領域の疼痛である扁桃摘出患者の術後に投与し, 腰部より注入したモルフィスが脳神経領域にも作用することを確認した.

また直腸癌に対するマイルス手術後の旧肛門部痛に対し, クモ膜下フェノールブロック等の合併症である排尿障害や下肢のマヒを生ずることなく疼痛を取り除くことができる新しいブロック法として, 尾骨神経および尾骨神経叢ブロックを考案した.

呼吸機能では, 硬膜外麻酔や脊椎麻酔時の麻酔高と呼吸機能の抑制について連続的な測定を行い, 麻酔高の上昇による硬膜外および脊椎麻酔の危険性について検討した.

低血圧麻酔では, ATPによる低血圧麻酔時に生じる代謝性アシドーシスの成因について検討した. その結果, それがATPの分解産物である尿酸, リン酸の生成と, ATP投与による解糖系の亢進による乳酸値の上昇によるものであると思われた.

#### 研究業績

##### 論文

- 1) 石原之法: [原著] 硬膜外麻酔および脊椎麻酔における呼吸機能の変動. 日医大誌, 54, 581~589, 1987.

#### 学会発表

- 1) Yamada, K., Ishihara, Y. and Shimada, S.: [一般講演] Epidural morphine for postoperative pain relief after tonsillectomy. Vth World Congress on Pain (Hamburg), 1987.
- 2) 斉藤敏之, 山田光輝, 坂本勇二郎<sup>1)</sup>, 井上哲夫<sup>1)</sup>, 小川龍<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>付属病院・麻酔科) : [一般講演] ATPを用いた低血圧麻酔における代謝性アシドーシスの成因. 第27回日本麻酔学会関東甲信越地方会, 1987.
- 3) 山田光輝, 石原之法, 斉藤敏之: [展示] 直腸癌術後の旧肛門部痛に対する尾骨神経および尾骨神経叢ブロック. 第7回日本臨床麻酔学会総会, 1987.

## 18. 救急医学講座

### [付属病院救命救急センター]

#### 研究概要

第三次救急施設として、中毒・外傷・熱傷・呼吸不全・脳血管障害といった疾患を扱っている関係から、これらに関する臨床的研究がわが教室の特徴である。

外傷・熱傷は、特に中心的テーマであり、その全身管理すなわち呼吸・輸液・栄養・電解質管理について研究が進められている。さらに、敗血症合併例の臓器不全は大きな問題であり、腎機能・肝機能の保持のためになしうる治療法が検討されている。手術的治療法としては、種々の新しい試みがなされてきており、その成果・経験を発表し、症例数の少ない施設に指針を与える結果となっている。

また13年間の救急医療の実践経験より、多くの症例が蓄積され、頭部外傷・膝損傷・骨盤骨折など各種外傷に対する治療法の概論がまとめられてきた。

脳死の判定に関して、各施設より研究成果が発表されており、当センターにおいても内分泌的研究をはじめ、多くの成果が得られ、各種のデータを提供し、ディスカッションに直接参加もしている。

幅広い分野の臨床研究がなされていて、数多くの学会に発表し、多くの雑誌に論文が発表されている。分野別に分類してみると、下記のごとくなる。①外傷（頭部・胸部・腹部・四肢・骨盤）、②熱傷、③中毒、④呼吸不全、⑤ショック、⑥多臓器不全、⑦急性腹症、⑧精神科救急、⑨脳死

#### 研究業績

##### 論文

- 1) 横田裕行<sup>1)</sup>, 小林士郎<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup>, 矢埜正実<sup>2)</sup>, 山本保博, 大塚敏文 (<sup>1)</sup>脳神経外科, <sup>2)</sup>麻酔科): [原著] 重症頭部外傷における頭蓋内圧プラトー波(A波)の意義. 救急医, 11, 337~342, 1987.
- 2) 山本保博: [原著] 心マッサージとその新しい展開. Mebio, 4, 18~22, 1987.
- 3) 山本保博: [総説] 海外での災害救援医師活動・カナルーングス災害の現地調査を中心に. 医のあゆみ, 141, 97~99, 1987.
- 4) 山本保博: [総説] 食中毒. Medicina, 24, 866~867, 1987.
- 5) 山本保博: [総説] 外傷性疾患; 重症腹部外傷(総合特集: 循環・呼吸・体液の管理とpitfall). 臨看, 13, 1038~1044, 1987.
- 6) 山本保博: [総説] 創傷の種類と治療過程・管理(特集: 創傷部管理に必要な技術と知識). 臨看, 13, 743~749, 1987.
- 7) 山本保博, 大塚敏文: [原著] 外傷; 各種疾患における急死(特集: Sudden Death予防と救急処置). 臨と研, 64, 68~73, 1987.
- 8) 山本保博: [総説] ショック(Emergencyへの対応). 内科, 60, 242~250, 1987.
- 9) 黒川顕: [総説] 急性脾壊死. 臨看, 13, 987~992, 1987.
- 10) 江上格<sup>1)</sup>, 松田健<sup>1)</sup>, 恩田昌彦<sup>1)</sup>, 大塚敏文, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 益子邦洋, (<sup>1)</sup>第1外科): [原著] 小児の重度外傷; 特に多発外傷の特性と死因についての考察. 小児外科, 19, 649~656, 1987.
- 11) 二宮宣文, 山本保博, 大塚敏文: [分担] 外傷性ショック. MEDICO, 18, 1987.
- 12) 松田潔, 二宮宣文, 松井一成, 望月徹, 山本晋, 小関博久, 大塚敏文, 黒沢尚<sup>1)</sup>, 鈴木博子<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>神経科): [原著] 救命救急センター勤務医師のストレス(第1報). 日救急医学会関東誌, 8, 42~43, 1987.
- 13) 木ノ下義宏, 小関一英, 小林洋, 辻井厚子, 益子邦洋, 大塚敏文: [原著] 急性脾炎24例の検討. 日救急医学会

- 東誌, 8, 84~85, 1987.
- 14) 山田拓：〔原著〕経カテーテル動脈塞栓術（TAE）により治療した肝外傷例. 日救急医学会関東誌, 8, 110~111, 1987.
  - 15) 戸佐真弓, 辺見弘, 山本保博, 大塚祥, 高橋聡, 富岡譲二, 大塚敏文：〔原著〕広範囲熱傷患者の急性期におけるクレアチニンクリアランスの有用性. 日救急医学会関東誌, 8, 174~175, 1987.
  - 16) 界正仁, 山本保博, 黒川顕, 須崎紳一郎, 川井真, 吉田竜介, 菊池光美, 高野修身, 大塚敏文：〔原著〕多彩な病態を呈したアニリン中毒の1例. 日救急医学会関東誌, 8, 188~189, 1987.
  - 17) 木山輝郎<sup>1)</sup>, 江上格<sup>1)</sup>, 林久太桂<sup>1)</sup>, 吉村和泰<sup>1)</sup>, 和田雅世<sup>1)</sup>, 滝沢隆雄<sup>1)</sup>, 恩田昌彦<sup>1)</sup>, 益子邦洋, 黒川顕, 山本保博, 辺見弘, 大塚敏文（<sup>1)</sup>第1外科）：〔報告〕小児骨盤骨折の検討. 外科診療, 29, 1799~1800, 1987.
  - 18) 須崎紳一郎, 林田真喜子：〔原著〕中毒迅速分析の臨床への応用. 医のあゆみ, 143, 5~9, 1987.
  - 19) 須崎紳一郎：〔総説〕血液浄化法. 日医新報, No.3315, 37~40, 1987.
  - 20) 戸佐真弓：〔原著〕鼻出血. MEDIC, 22, 17~19, 1987.
  - 21) 久志本成樹：〔総説〕偶発性低体温症（外来における救命救急のポイント）. MEDIC, 22, 26~28, 1987.
  - 22) 大友康裕：〔総説〕胸部外傷（外来における救命救急のポイント）. MEDIC, 22, 22~25, 1987.
  - 23) 松田潔：〔総説〕溺水（外来における救命・救急のポイント）. MEDIC, 22, 19~21, 1987.
  - 24) 八木義弘<sup>1)</sup>, 小井土雄一（<sup>1)</sup>順天堂大学浦安病院）：〔総説〕熱傷と輸液. 日臨,（夏期増刊号：体液・最近の進歩と対策を中心に）, 1300~1308, 1987.
  - 25) 小井土雄一：〔総説〕腹部外傷（外来における救命救急のポイント）. MEDIC, 22, 17~19, 1987.
  - 26) 木村昭夫, 堤裕<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>東京通信病院脳神経外科）：（原著）凸型リニア走査型プローベを用いた術後頭部超音波画像の検討. 日本超音波医学会講演論文集, 567~568, 1987.
  - 27) 二宮宣文, 山本保博, 大塚敏文：〔分担〕Emergency への対応プライマリケアに必要な救急手技；静脈確保. 内科, 60, 222~224, 1987.
  - 28) 横田裕行<sup>1)</sup>, 吉田大蔵<sup>1)</sup>, 喜多村孝幸<sup>1)</sup>, 葛原正昭<sup>1)</sup>, 矢嶋浩三<sup>1)</sup>, 中沢省三, 山本保博, 大塚敏文（<sup>1)</sup>脳神経外科）：〔原著〕緊急穿頭術. 日医新報, No.3281, 37~40, 1987.
  - 29) 安田和弘, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 益子邦洋, 小関一英, 須崎紳一郎, 二宮宣文, 大塚敏文：〔原著〕腹部実質臓器損傷における手術のタイミング；経カテーテル動脈塞栓術（TAE）との関連を中心に. 日救急医学会関東誌, VIII, 327~330, 1987.
  - 30) 黒澤尚：〔総説〕内科医に必要な救急治療；精神症状. Medicina, 24, 794~796, 1987.
  - 31) 黒澤尚：〔原著〕救急センターに収容された自殺未遂者の精神面のケア. 日医新報, No.3295, 28~32, 1987.
  - 32) 黒澤尚：〔総論〕産褥期精神障害の対処法の実際. 産婦の実際. 36, 1275~1279, 1987.
  - 33) 黒澤尚：〔総論〕救命救急センターで働く医師のストレス. 医のあゆみ, 142, 764, 1987.
  - 34) 黒澤尚：〔総論〕救命救急センターでみられる精神症状. Med. Way, 4, 118~122, 1987.
  - 35) 黒澤尚：〔総論〕最近注目されている急性中毒とその対策；薬物による自殺未遂者の実態. 医のあゆみ, 143, 16~12, 1987.
  - 36) 黒澤尚：〔総論〕急激な発症をみた精神症状とその対応. Medical Practice, 4, 1905~1908, 1987.
  - 37) 志村俊郎<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup>, 小林士郎<sup>1)</sup>, 横田裕行, 大塚敏文, 向井敏二<sup>1)</sup>, 中村敏彦<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>脳神経外科）：〔原著〕Diffuse axonal injury 3 剖検所見とserial CT scanとの対比検討. 神経外傷, 10, 232~236, 1987.
  - 38) 小林士郎<sup>1)</sup>, 山本保博, 大塚敏文, 中沢省三<sup>1)</sup>,（<sup>1)</sup>脳神経外科）：〔原著〕脳室ドレナージ；Coronal marking methodの開発. 日医新報, No.3289, 37~40, 1987.
  - 39) 諫山和男<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup>, 小林士郎<sup>1)</sup>, 横田裕行, 池田幸穂<sup>1)</sup>, 矢嶋浩三<sup>1)</sup>, 矢埜正実<sup>2)</sup>, 大塚敏文（<sup>1)</sup>脳神経外

- 科, <sup>2)</sup>麻酔科): [原著] 軽度意識障害から急激に悪化する頭部外傷例のCT像; Talk and Deteriorateを中心として. CT研究, 9, 449~455, 1987.
- 40) 益子邦洋: [誌上討論] 胸部外傷(肺実質損傷)の臨床. 胸部外科, 40, 532~533, 1987.
- 41) 益子邦洋, 布昌彦: [総説] 呼吸困難. 窒息(生命維持-救命処置の実際). 総合臨, 36, 2373~2376, 1987.
- 42) 益子邦洋: [総説] 心臓外傷における外科治療. 臨床胸部外科, 7, 519~524, 1987.
- 43) 辺見弘, 大塚敏文, 結城禎一: [総説] 熱傷の呼吸器合併症. 救急医, 10, 409~414, 1987.
- 44) 辺見弘: [総説] 小児救急治療のコツ; 熱傷. 火傷. 治療, 69, 120~134, 1987.
- 45) 辺見弘, 江上格, 結城禎一: [総説] 熱傷. 小児診療, 50, 1911~1915, 1987.
- 46) 黒澤尚, 他: [原著] 看護スタッフが期待する精神科コンサルテーション. 日医新報, No.3315, 43~48, 1987.
- 47) 益子邦洋: [総説] 腹痛の鑑別(緊急事態への対応). 臨看, 13, 706~709, 1987.
- 48) 益子邦洋: [総説] 吐血. 下血の診断(緊急事態への対応). 臨看, 13, 710~713, 1987.
- 49) 益子邦洋: [総説] 不整脈の鑑別(緊急事態への対応). 臨看, 13, 714~718, 1987.
- 50) 大塚敏文, 益子邦洋: [原著] 外傷外科の現状と展望. 日外傷会誌, 1, 15~23, 1987.
- 51) 益子邦洋, 大塚敏文: [総説] 心臓外傷(胸部外傷). 救急医, 11, 569~578, 1987.
- 52) 江上格<sup>1)</sup>, 大塚敏文(<sup>1)</sup>第1外科): [総説] 腹部外傷(特大号: 小児科医のための境界領域ガイドライン). 小児診療, 50, 1938~1941, 1987.
- 53) 山本保博: [原著] DICへのパリン療法(特集: 外科診療におけるPros and Cons). 外科, 49, 1292~1295, 1987.
- 54) 山本保博, 小関一英, 和田和弘, 須崎紳一郎, 大塚敏文: [原著] 実験的出血性ショックにおけるウリナスチンの内脈, 肝動脈血流量に対する影響. 最新医, 42, 2190~2196, 1987.
- 55) 山本保博: [総説] 心筋疾患・心膜疾患・心内膜炎; 心タンポナーデ. 臨床医, 13, 102~103, 1987.
- 56) 山本保博, 大塚敏文: [原著] イヌのエンドトキシシンショックモデルにおける urinary trypsin inhibitor 投与の肝循環動態に及ぼす影響. 最新医, 42, 2727~2733, 1987.
- 57) 山本保博: [総説] 電撃傷の救急処置(特集: 腰痛の総合管理). 総合臨, 36, 2629~2630, 1987.
- 58) 木山輝郎<sup>1)</sup>, 江上格<sup>1)</sup>, 林久太佳<sup>1)</sup>, 吉村和泰<sup>1)</sup>, 和田雅世<sup>1)</sup>, 滝沢隆雄<sup>1)</sup>, 恩田昌彦<sup>1)</sup>, 益子邦洋, 辺見弘, 黒川顕, 大塚敏文, 山本保博: (<sup>1)</sup>第1外科): [原著] 小児骨折骨折の検討. 外科診療, 29, 1799~1800, 1987.
- 59) 矢埜正実, 池田幸夫, 小林士郎, 大塚敏文: [原著] Intracranial pressure in head-injured patients with various intracranial desions is identical throughout the sujratorientorial intracranial compartment. Neurosurgery, 121, 689~692, 1987.
- 60) 大塚敏文: [原著] 救急医学教育の重要性. 公衆衛生, 51, 762~768, 1987.
- 61) 吉田竜介, 益子邦洋, 大塚敏文, 光島徹<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>亀田総合病院・画像診断部): [原著] 腸閉塞症における大腸内視鏡検査の意義. 日臨外医学会誌, 48, 1811~1816, 1987.
- 62) 富岡譲二, 戸佐真弓, 松井一成, 菊池美光, 益子邦洋, 黒川顕, 大塚敏文, 矢島俊己<sup>1)</sup>, 田中啓治<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室): [原著] 急性心筋梗塞を合併し, 術中IABPを施行した出血性胃潰瘍の1例. 日救急医学会関東誌, 2, 106~109, 1987.
- 63) 辻井厚子, 山田拓, 二宮宣文, 須崎紳一郎, 辺見弘, 大塚敏文, 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 恵畑欣一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>放射線科): [原著] Abdominal apoplexyの2症例. 日救急医学会関東誌, 8, 160~162, 1987.
- 64) 山田拓, 横田裕行, 須崎紳一郎, 黒川顕, 山本保博, 大塚敏文, 小林洋<sup>1)</sup>, 中山千登勢<sup>1)</sup>, 相川由美<sup>1)</sup>, 南正康<sup>1)</sup>, (<sup>1)</sup>公衆衛生学科): [原著] 硫化水素ガス中毒の1例. 日救急医学会関東誌, 8, 242~243, 1987.
- 65) 戸佐真弓, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 安田和弘, 大塚祥, 高橋聡, 富岡譲二, 大塚敏文: [原著] 広範囲熱傷患者の急性期におけるクレアチニンクリアランスの有用性. 日救急医学会関東誌, 8, 9~13, 1987.

- 66) 高橋聡, [原著] MOFを呈し治療に難渋したBoerhave症候群の1例. 日救急医学会関東誌. 8, 96~98, 1987.
- 67) 大友康裕, 茂木正寿, 吉井宏<sup>1)</sup>, 北野光秀<sup>1)</sup>, 田辺稔<sup>1)</sup>, 久晃生<sup>1)</sup>, 宮加谷靖介<sup>1)</sup>, 小林良三<sup>1)</sup>, 山本修三<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>済生会神奈川県病院外科): [原著] 脾外傷の画像診断. 日救急医学会関東誌. 8, 442~444, 1987.
- 68) 小井土雄一, 射場敏明<sup>1)</sup>, 菊池直心男<sup>1)</sup>, 青木正己<sup>1)</sup>, 福永正気<sup>1)</sup>, 本所昭夫<sup>1)</sup>, 谷尚志<sup>1)</sup>, 八木義弘<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>順天堂大学浦安病院): [原著] 胆嚢胆管結石の手術待機中に急性出血性壊死性膵炎を併発した一救命例. 日救急医学会関東誌, 8, 138~139, 1987.
- 69) 大塚敏文, [原著] 脳死の概念. 救急医, 11, 793~796, 1987.
- 70) 黒澤尚: [総論] 自殺の実態; 自殺について関心を. 医のあゆみ, 144, 223~224, 1988.
- 71) 黒澤尚: [総論] 自殺の実態; 自殺未遂者. 医のあゆみ, 144, 228~230, 1988.
- 72) 黒澤尚: [総論] 自殺未遂者の治療システム. 医のあゆみ, 144, 749~750, 1988.
- 73) 黒澤尚, 山本保博: [分担] 救命救急センターにおける自殺未遂者の精神面のケアについて. 第22回日本医学会総会誌 (1), p.403, 1988.
- 74) 大塚敏文, 山本保博: [原著] ミラクルドラッグのショック療法. 第22回日本医学会総会誌 (II), p.852~853, 1988.
- 75) 矢埜正実, 大塚敏文: [原著] 重症熱傷の栄養輸液. 臨床水電解質, 8, 77~86, 1988.
- 76) 黒澤尚: [原著] 救命救急センターにおける心身医学的教育. 心身医, 28, 54~59, 1988.
- 77) 山本保博: [総説] 最近の救急蘇生法, 日胸臨, 47, 1~5, 1988.
- 78) 山本保博, 二宮宣文, 大塚敏文: [総説] 血液製剤の使い方; 熱傷. 臨床医, 14, 22~24, 1988.
- 79) 木村昭夫, 岩崎康孝, 小井土雄一, 横田裕行, 黒川頭, 山本保博, 大塚敏文, 他: [カラグラフィ] 11頭部超音波検査法; 救急医療における緊急処置の手技. 日医新報, No.3324, 37~40, 1988.
- 80) 木村昭夫, 大塚敏文: [翻訳] 集中治療室の利用効率; 小児集中治療室8施設の比較分析. JAMA 日本語版, 9, 56~62, 1988.
- 81) 久志本成樹, 八木義弘<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>順天堂大学浦安病院外科): [総説] 輸液剤の種類・量・速度の決定. 看護技術, 34, 19~24, 1988.
- 82) 大友康裕: [総説] 腹腔穿刺と腹腔洗浄法. 日医新報, No.3333, 37~40, 1988.
- 83) 山本保博: [原著] 国際救急医療活動の現状と将来. 日災医学会誌, 36, 218~222, 1988.
- 84) 久志本成樹, 本所昭夫<sup>1)</sup>, 八木義弘<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>順天堂大学浦安病院外科): [総説] 栄養剤に起因する合併症とその対策. 看護技術, 34, 50~52, 1988.
- 85) 江上格<sup>1)</sup>, 渡辺章<sup>1)</sup>, 清水康仁<sup>1)</sup>, 吉行俊郎<sup>1)</sup>, 松田健<sup>1)</sup>, 内藤善哉<sup>1)</sup>, 高井淳<sup>1)</sup>, 山下精彦<sup>1)</sup>, 恩田昌彦<sup>1)</sup>, 桜井恵<sup>2)</sup>, 大塚敏文, 香川隆男<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>第1外科, <sup>2)</sup>放射線科, <sup>3)</sup>第3内科): [報告] 腐蝕性食道狭窄症に対し食道全摘・結腸移植を行った1幼児治療例. 日臨外会誌, 49, 304~309, 1988.
- 86) 富岡譲二, 益子邦洋, [焦点] 栄養吸収不全患者の栄養法 (看護のための特殊栄養マニュアル. 症例別にみた特殊栄養法の施行と患者患理). 看護技術, 34, 78~81, 1988.
- 87) 片山信仁<sup>1)</sup>, 大矢徹<sup>1)</sup>, 田島廣之<sup>1)</sup>, 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 恵畑欣一<sup>1)</sup>, 塗谷榮二, 山門進<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>放射線科, <sup>2)</sup>第3内科): [報告] TAEにて治療した外傷性ヘモビリアの1例. 臨放線, 33, 401~404, 1988.
- 88) 黒川頭: [総説] 救急室でみられる不整脈. Medicina, 25, 558~565, 1988.
- 89) 黒川頭, 高野照夫, 大塚敏文: [総説] 急性冠不全のfirstaid. 救急医, 12, 293~300, 1988.
- 90) 山本保博, 安田和弘, 二宮宣文, 牧野俊郎, 大塚敏文: [原著] 熱傷患者におけるフラジオマイシン貼付薬の血中移行について. 緊急医, 12, 361~365, 1988.
- 91) Yamamoto, Y., Ohtomo, Y., Morikawa, M. and, Otsuka, T.: [原著] Emergency and trauma; Emergency

## 著 書

- 1) 益子邦洋：〔分担〕胸部外傷を伴う骨盤骨折．“骨盤骨折と合併損傷”（糸満盛憲編），p.139~145，南江堂，1987.
- 2) 益子邦洋：〔分担〕胸部刺創．“創傷処置のファーストエイド”（星秀逸編），p.181~188，南江堂，1987.
- 3) 黒澤尚：〔分担〕CCUにおける精神症状とその対策．“狭心症・心筋梗塞”（関口守衛編），p.291~294，南江堂，1987.
- 4) 黒沢尚：〔分担〕自殺未遂者；救命救急センターからの報告．“精神科MOOK 16 自殺”（春原千秋編），p.72~82，金原出版，1987.
- 5) 山本保博〔分担〕出血と止血法．“救急医療と救命救急処置”（石田詔治編），p.271~275，ライフサイエンスセンター，1987.
- 6) 山本保博，黒川顕：〔分担〕DOAとその後．“救急医療救命救急処置”（石田詔治編），p.429~434，ライフサイエンスセンター，1987.
- 7) 山本保博：〔分担〕救急患者の初期治療のポイント．“救急医療と救命救急処置”（石田詔治編），p.49~55，ライフサイエンスセンター，1987.
- 8) 山本保博：〔分担〕外傷．“救急医療と救命救急処置”（石田詔治編），p.203~207，ライフサイエンスセンター，1987.
- 9) 山本保博：〔分担〕救急薬品とその投与法，使用法．“救急医療と救命救急処置”（石田詔治編），p.242~253，ライフサイエンスセンター，1987.
- 10) 山本保博：〔分担〕救急医学関係．“家庭医学大事典”，小学館，1987.
- 11) 山本保博，中村恵子：エマージェンシーナースング（JJNスペシャル3）．医学書院，1987.
- 12) 山本保博：〔分担〕外来患者の指導．（五島雄一郎監修），p.603~605，南山江堂，1987.
- 13) 山本保博：〔分担〕胸腔穿刺・胸腔ドレナージ，心腔内穿刺，腹腔内穿刺．“集中治療医学大系-I”（天羽敬祐編集），p.125~132，朝倉書店，1987.
- 14) 二宮宣文，木所昭夫<sup>1)</sup>，人木義弘<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>順天堂大学浦安病院外科）：〔分担〕ガス中毒．“小児疾患の診断治療基準”，p.694~695，東京医学社，1987.
- 15) 大塚敏文：〔分担〕胸腔穿刺と胸腔ドレナージ．“診断・治療マニュアル”（阿部裕，和田達雄編集主幹），p.1759~1760，金原出版，1987.
- 16) 大塚敏文：〔分担〕救急のための緊急検査．“今日の検査指針”（河合忠，只野寺太郎総編集），p.401~403，医学書院，1987.
- 17) 大塚敏文：〔分担〕外傷患者の初期治療．“集中治療医学大系”（天羽敬祐編），p.28~32，朝倉書店，1987.
- 18) 黒澤尚：〔分担〕救命救急センターにおけるConsultation Liaison Psychiatry．“精神科MOOK 20 精神科救急医療”（山崎敏雄編），p.46~54，金原出版，1988.
- 19) 黒澤尚：〔分担〕嗜眠状態．“精神科救急マニュアル”（柏瀬宏隆編），p.33~34，朝倉書店，1988.
- 20) 黒澤尚：〔分担〕酩酊状態．“精神科救急マニュアル”（柏瀬宏隆編），p.36~39，朝倉書店，1988.
- 21) 黒澤尚，〔分担〕自殺念慮．“精神科救急マニュアル”（柏瀬宏隆編），p.62~63，朝倉書店，1988.
- 22) 黒澤尚：〔分担〕自殺企図者の精神面の対応．“精神科救急マニュアル”（柏瀬宏隆編），p.63~68，朝倉書店，1988.
- 23) 山本保博：〔分担〕救急部内54項目．“看護大事典”（沖中重雄監修），メヂカルフレンド社，1988.
- 24) 二宮宣文：〔分担〕自殺企図者の身体面での対応．“精神神経科マニュアル”，p.69~74，朝倉書店，1988.
- 25) 山本保博：〔編集〕“新看護のための臨床医学大系 20 救急医学”（日野原重明監修），情報開発研究所，1988.
- 26) 黒川顕：〔分担〕発熱． A 中枢神経疾患，B 呼吸器疾患，C 循環器疾患，D 消化器疾患，E 泌尿器疾患，F 急



- 性伝染病. “看護のための臨床医学大系 20” (日野原重明監修), p.167~175, 情報開発研究所, 1988.
- 27) 黒川顕: [分担] 急性中毒; A 薬物中毒, B ガス中毒, C 農薬・除草剤中毒. “看護のための臨床医学大系 20” (日野原重明監修), p.308~319, 1988.
  - 28) 益子邦洋: [分担] 胸部外傷. “新版看護のための臨床医学大系 20 救急医学” (大塚敏文編), p.262~270, 情報開発研究所, 1988.
  - 29) 益子邦洋: [分担] 腹部外傷. “新版看護のための臨床医学大系 20 救急医学” (大塚敏文編), p.270~276, 情報開発研究所, 1988.
  - 30) 益子邦洋: [分担] 多発外傷. “新版看護のための臨床医学大系 20 救急医学” (大塚敏文編), p.276~279. 情報開発研究所, 1988.
  - 31) 辺見弘: [著書分担] 熱傷, 凍傷, 電撃傷, 熱中症. “看護のための臨床医学大系 20 救急医学”, p.292~307, 情報開発研究所, 1988.
  - 32) 大塚敏文: [責任編集] 今日の治療指針30. (日野原重明, 阿部正和総編集), 医学書院, 1988.
  - 33) 山本保博: [責任編集] 今日の治療指針30. (日野原重明, 阿部正和総編集), 医学書院, 1988.
  - 34) 山本保博: [分担] DOA (来院時心肺停止), “今日の治療指針 30” (日野原重明, 阿部正和総編集), p.43~44, 1988.
  - 35) 山本保博: [分担] 急性中毒治療の原則. “今日の治療指針 30” (日野原重明, 阿部正和総編集), p.116~117, 1988.
  - 36) 二宮宣文: [分担] 胃洗浄法. “今日の治療指針 30” (日野原重明, 阿部正和総編集), p.85~86, 医学書院, 1988.
  - 37) 大塚敏文: [分担] 救急医療体制の動向. “今日の治療指針 30” (日野原重明, 阿部正和総編集), p. 1, 医学書院, 1988.
  - 38) 黒川顕: [分担] 血液浄化法. “今日の治療指針 30” (日野原重明, 阿部正和総編集), p.74~75, 医学書院, 1988.
  - 39) 益子邦洋: [分担] 脾損症. “今日の治療指針 30” (日野原重明, 阿部正和総編集), p.29~30, 医学書院, 1988.
  - 40) 益子邦洋: [分担] 腹腔穿刺法と腹腔洗浄法. “今日の治療指針 30” (日野原重明, 阿部正和総編集), p.86~87, 医学書院, 1988.
  - 41) 辺見弘: [分担] 熱傷の重症度と治療方針. “今日の治療指針 30”, (日野原重明, 阿部正和総編集), p.35~36, 医学書院, 1988.
  - 42) 山本保博: [責任編集] 今日の診断指針 2. 医学書院, 1988.
  - 43) 山本保博: [分担] 重度骨盤骨折. “今日の診断指針 2”, p.457, 医学書院, 1988.
  - 44) 大塚敏文: [分担] 外傷性ショック. “今日の診断指針” (大塚敏文責任編集), p.442~453, 医学書院, 1988.
  - 45) 須崎紳一郎: [分担] 覚醒剤中毒. “今日の診断指針 2”, p.1170~1171, 医学書院, 1988.
  - 46) 黒澤尚: [分担] 救命救急センターで働く医師のストレス. “メディカル・トピックス (2)”, p.224, 医歯薬出版, 1988.

## 学会発表

- 1) 大塚敏文, 山本保博: [レクチャーシリーズ] ミラクルドラッグのショック療法. 第22回日本医学会総会, 1987.
- 2) 黒沢尚, 山本保博: [シンポジウム] 救急医療と自殺; 救命救急センターにおける自殺未遂者の精神面のケアについて. 第22回日本医学会総会, 1987.
- 3) 益子邦洋, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 川井真<sup>1)</sup>, 大塚敏文 (<sup>1)</sup>整形外科): [パネルディスカッション] 骨盤骨折328例の臨床的検討; とくに後腹膜出血に対する処置を中心にして. 第60回日本整形外科学会学術集会, 1987.
- 4) 川井真<sup>1)</sup>, 白井康正<sup>1)</sup>, 山口淳一<sup>1)</sup>, 柴崎徹<sup>1)</sup>, 藤井信人<sup>1)</sup>, 大塚敏文 (<sup>1)</sup>整形外科): [一般講演] アシドーシ

- スによる脊髄誘発電位の変化. 日本整形外科学会, 1987.
- 5) 安田和弘, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 益子邦洋, 小関一英, 須崎紳一郎, 大塚敏文: [一般講演] 重症外傷患者における感染性合併症の予知・早期発見. 日本外科学会総会, 1987.
  - 6) 山本保博, 松田潔, 菊池光美, 二宮宣文, 辺見弘, 大塚敏文: [シンポ・パネルディスカッション] 熱傷創感染菌と敗血症起因菌. 第13回日本熱傷学会総会, 1987.
  - 7) 黒川顕, 辺見弘, 山本保博, 益子邦洋, 須崎紳一郎, 安田和弘, 二宮宣文, 戸佐真弓, 大塚敏文: [シンポジウム] Biobrane. 第13回日本熱傷学会総会, 1987.
  - 8) 木ノ下義宏, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 安田和弘, 小関博久, 堺正仁, 大塚敏文: [一般講演] 熱傷患者における緑膿菌ワクチンの検討. 第13回日本熱傷学会総会, 1987.
  - 9) 結城禎一<sup>1)</sup>, 井上哲夫<sup>1)</sup>, 山本保博, 辺見弘, 大塚敏文 (<sup>1)</sup>麻酔科): [一般講演] 広範囲熱傷患者の呼吸機能の検討. 第13回日本熱傷学会総会, 1987.
  - 10) 二宮宣文, 松田潔, 高橋総, 山本薫, 山本保博, 黒沢尚, 大塚敏文: [パネルディスカッション] 広範囲熱傷治療における治療者側の心身問題に対する検討. 第13回日本熱傷学会総会, 1987.
  - 11) 戸佐真弓, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 安田和弘, 大塚祥, 辻井厚子, 富岡譲二, 大塚敏文: [一般講演] 広範囲熱傷患者における腎機能の変動. 第13回日本熱傷学会総会, 1987.
  - 12) 安田和弘: [セミナー] 熱傷初期治療の実際; 手術時期の選定. 第13回日本熱傷学会総会, 1987.
  - 13) 大塚敏文: [シンポジウム] よりよき救急医療をめざして; 救急医学教育. 第78回東京都衛生局学会, 1987.
  - 14) 須崎紳一郎, 安田和弘, 益子邦洋, 小関一英, 辺見弘, 山本保博, 大塚敏文: [シンポジウム] 鈍的肝損傷101例の損傷範囲による分類と治療. 第1回日本外傷研究会, 1987.
  - 15) 吉井宏<sup>1)</sup>, 山本修三<sup>1)</sup>, 茂木正寿<sup>1)</sup>, 北野光秀<sup>1)</sup>, 内田智夫<sup>1)</sup>, 早川邦弘<sup>1)</sup>, 大友康裕, 宮加谷靖介<sup>1)</sup>, 須藤政彦<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>済生会神奈川病院外科): [シンポジウム] 肝外傷の損傷形態と治療法についての検討. 第1回日本外傷研究会, 1987.
  - 16) 黒澤尚: [一般講演] 身体医学の学習も忘れずに. 第83回日本精神神経学会総会, 1987.
  - 17) 喜多村孝幸<sup>2)</sup>, 小林士郎<sup>2)</sup>, 岡田卓郎<sup>2)</sup>, 中沢省三<sup>2)</sup>, 黒川顕<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup>, (<sup>1)</sup>CCM, <sup>2)</sup>脳神経外科): [一般講演] 頭部外傷による外減圧開頭術々後管理における経時的超音波診断の有用性. 第10回日本神経外傷研究会, 1987.
  - 18) 矢嶋浩三<sup>3)</sup>, 横田裕行<sup>3)</sup>, 小林士郎<sup>3)</sup>, 中沢省三<sup>3)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup>, 辻之英<sup>2)</sup>, (<sup>1)</sup>CCM, <sup>2)</sup>目白第二病院脳神経外科, <sup>3)</sup>脳外科): [一般講演] 後頭部および小脳後面に高吸収域を示した頭部外傷例の検討. 第10回日本神経外傷研究会, 1987.
  - 19) 横田裕行<sup>1)</sup>, 岡田卓郎<sup>1)</sup>, 葛原正昭<sup>1)</sup>, 小林士郎<sup>1)</sup>, 矢嶋浩三<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup>, 山本保博, 大塚敏文, 矢埜正実<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>脳神経外科, <sup>2)</sup>麻酔科): [一般講演] 遅発性外傷性脳内血腫の検討. 第10回日本神経外傷研究会, 1987.
  - 20) 富岡譲二, 戸佐真弓, 松井一成, 菊池光美, 益子邦洋, 黒川顕, 大塚敏文, 矢島俊己<sup>1)</sup>, 田中啓次<sup>1)</sup>, 高野照夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>集中治療室): [一般講演] 急性心筋梗塞を合併し, 術中IABPを施行した出血性胃潰瘍の一例. 第23回日本救急医学会関東地方会, 1987.
  - 21) 辻井厚子, 山田拓, 二宮宣文, 須崎紳一郎, 辺見弘, 大塚敏文, 隈崎達夫<sup>1)</sup>, 恵畑欣一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>放射線科学): [一般講演] Abdominal apoplexyの2症例. 第23回救急医学会関東地方会, 1987.
  - 22) 大友康裕, 茂木正寿<sup>1)</sup>, 吉井宏<sup>1)</sup>, 北野光秀<sup>1)</sup>, 田辺稔<sup>1)</sup>, 久見生<sup>1)</sup>, 宮加谷靖介<sup>1)</sup>, 小林良三<sup>1)</sup>, 山本修三<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>済生会神奈川病院外科): [一般講演] 脾外傷の画像診断. 第23回日本救急医学会関東地方会, 1987.
  - 23) 安田和弘, 辺見弘, 山本保博, 黒川顕, 益子邦洋, 小関一英, 須崎紳一郎, 二宮宣文, 大塚敏文: [シンポジウム] 腹部実質臓器損傷における手術のタイミング; 経カテーテル動脈梗塞術 (TAE) との関連を中心に. 第23

回日本救急医学会関東地方会, 1987.

- 24) 小井土雄一, 射場敏明, 菊池直心男, 青木正己, 福永正氣, 木所昭夫, 谷尚志, 八木義弘(順天堂大学浦安病院):  
〔一般講演〕胆嚢胆管結石の手術待機中に急性出血性壊死性膵炎を併発した一救命例. 第23回日本救急医学会  
関東地方会, 1987.
- 25) 大塚敏文: 〔特別講演〕救急医療の実際. 日本耳鼻咽喉科学会第12回医療事故防止のためのセミナー, 1987.
- 26) 大塚敏文: 〔特別講演〕ショックの治療. 第1回千葉県MOF研究会, 1987.
- 27) 黒澤尚: 〔シンポジウム〕救命救急センターにおける心身医学の教育(21世紀に向けての心身医学の展望). 第28  
回日本心身医学会総会, 1987.
- 28) Yamamoto, Y., Ninomiya, N., and Otsuka, T.: 〔教育講演〕Mechanism of respiratory insufficiency after  
trauma shock. Annual Medical Congress of Costa Rica Surgical and Trauma Association, 1987.
- 29) Yamamoto, Y., Ninomiya, N. and Otsuka, T.: 〔教育講演〕Septic shock vs hemorrhagic shock. Annual  
Medical Congress of Costa Rica Surgical and Trauma Association, 1987.
- 30) Ninomiya, N.: 〔一般講演〕Emergency medical system in Tokyo. Annual Medical Congress of Costa Rica  
Surgical and Trauma Association, 1987.
- 31) 木山輝郎<sup>1)</sup>, 江上格<sup>1)</sup>, 林久太佳<sup>1)</sup>, 吉村和泰<sup>1)</sup>, 和田雅世<sup>1)</sup>, 滝沢隆雄, 思田昌彦<sup>1)</sup>, 益子邦洋, 黒川顕, 山本  
保博, 辺見弘, 大塚敏文(<sup>1)</sup>第一外科): 〔一般講演〕小児骨盤骨折の検討. 第60回東京小児外科研究会, 1987.
- 32) 大塚敏文: 〔特別講演〕Dead en arrivalの実際. 第25回日本社会保険医学会, 1987.
- 33) 須崎紳一郎, 山本保博, 林田真喜子<sup>1)</sup>, 仁平信<sup>1)</sup>, 渡部日章<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>法医学): 〔一般講演〕多波長検出器付きHPLC  
による急性中毒分析システムの開発. 第9回中毒研究会, 1987.
- 34) 黒澤尚: 〔セミナー〕ICUでみられる精神症状とその対応. ICU・CCU看護婦卒後教育セミナー. 1987.
- 35) 大塚敏文: 〔特別講演〕心肺蘇生法の実際. 日本耳鼻咽喉医学会連合会第12回臨床家フォーラム, 1987.
- 36) 富岡譲二, 堤正仁, 古梅弘, 牧野俊郎, 山本保博, 黒澤尚: 〔一般講演〕救命救急センターに収容された急性一  
酸化炭素中毒患者の実態について. 第22回日本アルコール医学会総会, 1987.
- 37) 大塚祥<sup>1)</sup>, 吉田竜介<sup>1)</sup>, 木ノ下義宏<sup>1)</sup>, 安田和弘<sup>1)</sup>, 高橋聡, 松井一成, 大塚敏文(<sup>1)</sup>総合会津中央病院): 〔ラ  
ウンドテーブルディスカッション〕DOAで搬送された外傷性横隔膜ヘルニアの一例. 第9回日本腹部救急診療  
研究会, 1987.
- 38) 須崎紳一郎, 山田拓, 安田和弘, 小関一英, 辺見弘, 益子邦洋, 山本保博, 大塚敏文, 有賀長規, 本多一義<sup>1)</sup>,  
恵畑欣一<sup>1)</sup>(<sup>1)</sup>放射線科): 〔パネルディスカッション〕鈍的肝外傷に対するTAEの適応と意義; とくに非開腹  
例において. 第9回日本腹部救急診療研究会, 1987.
- 39) 山本保博: 〔特別講演〕集団災害救助のあり方; Japan Medical Team for Disaster Reliefの活動. 日本救急  
医学会総会東海地方総会, 1987.
- 40) 益子邦洋, 辺見弘, 山本保博, 小関一英, 安田和弘, 二宮宣文, 須崎紳一郎, 大塚敏文: 〔一般講演〕横隔膜外  
傷の外科治療; 診断と治療のpitfallを中心に. 第40回日本胸部外科学会総会, 1987.
- 41) 益子邦洋: 〔教育講演〕救急室での緊急開胸. 第25回日本胸部外科学会卒後教育セミナー, 1987.
- 42) 益子邦洋, 辺見弘, 山本保博, 小関一英, 安田和弘, 須崎紳一郎, 松井一成, 大塚敏文: 〔一般講演〕破裂性腹  
部大動脈瘤の臨床的検討; Aortic Compressionの意義を中心に. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 43) 横田裕行, 水成隆之<sup>1)</sup>, 小林士郎<sup>1)</sup>, 矢嶋浩三<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup>, 山本保博, 大塚敏文(<sup>1)</sup>脳神経外科): 〔一般講  
演〕外傷性後頭蓋窩病変の検討; 小脳血腫に関して. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.
- 44) 横田裕行, 小林士郎<sup>1)</sup>, 志村俊郎<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup>, 山本保博, 大塚敏文, (<sup>1)</sup>脳神経外科): 〔展示〕脳死患者に  
おける視床下部下垂体機能. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.

- 45) 諫山和男<sup>1)</sup>, 小林士郎<sup>1)</sup>, 横田裕行, 岡田卓郎<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup>, 大塚敏文 (1)脳神経外科) : [一般講演] 急性期頭部外傷の問題点 (第2報). "talk and die" 症例における老年者と若年者との比較検討. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.
- 46) 木村昭夫, 岩間淳一<sup>1)</sup>, 黒岩明彦<sup>1)</sup>, 寺本明<sup>1)</sup>, 真柳佳昭<sup>1)</sup>, 堤裕<sup>2)</sup> (1)東京警察病院脳外科, 2)東京通信病院脳外科) : [展示] 凸型リニア走査型プローベを用いた術後頭部超音波画像の検討. 第46回日本脳神経外科学会総会, 1987.
- 47) Kobayashi, S.<sup>1)</sup>, Nakazawa, S.<sup>1)</sup>, and Yano, M. (1)脳神経外科) : [一般講演] Subarachnoid catheter method; New method of monitoring of intra cranial pressure. 37th Annual Meeting of the Congress of Neurological Surgeons (Baltimore), 1987.
- 48) 大塚敏文 : [会長講演] 救急医学教育の現状と展望. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 49) 大塚祥<sup>1)</sup>, 安田和弘<sup>1)</sup>, 菅桂一<sup>1)</sup>, 小沼利安<sup>1)</sup>, 星源之助<sup>1)</sup>, 松井一成, 吉田竜介, 赤間洋一<sup>2)</sup> (1)総合会津中央病院, 2)福島県立医大) : [一般講演] 会津地区における第3次救急; ドクターズ・カーの活動を中心に. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 50) 吉田竜介, 辺見弘, 安田和弘, 山田拓, 二宮宣文, 小関一英, 大塚敏文 : [一般講演] 外傷性腹壁ヘルニアの2治験例. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 51) 須崎紳一郎, 山本保博, 大塚敏文, 林田真喜子<sup>1)</sup>, 仁平信<sup>1)</sup>, 渡辺日章<sup>1)</sup> (1)法医学) : [一般講演] 多波長検出器付きHPLCによる急性中毒分析システムの開発 (第2報). 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 52) 横田裕行, 小井土雄一, 木村昭夫, 黒川顕, 山本保博, 大塚敏文, 小林士郎<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup> (1)脳神経外科) : [シンポジウム] 脳死患者における視床下部一下垂体機能の検討, 脳死は全脳死か. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 53) 戸佐真弓 : [一般講演] 広範囲熱傷における早期植皮後の腎機能の検討. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 54) 安田和弘<sup>1)</sup>, 菅桂一<sup>1)</sup>, 大塚祥<sup>1)</sup>, 星源之助<sup>1)</sup>, 辺見弘, 山本保博, 益子邦洋, 黒川顕, 須崎紳一郎, 吉田竜介, 松井一成, 大塚敏文 (1)総合会津中央病院救命救急センター) : [一般講演] 外傷後敗血症の検討. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 55) 諫山和男<sup>1)</sup>, 小林士郎<sup>1)</sup>, 横田裕行, 岡田卓郎<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup>, 大塚敏文 (1)脳神経外科) [一般講演] 急性期頭部外傷におけるTalk and Die症例の検討. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 56) 木山輝郎<sup>1)</sup>, 江上格<sup>1)</sup>, 林久雄<sup>1)</sup>, 吉村和泰<sup>1)</sup>, 和田雅世<sup>1)</sup>, 滝沢隆雄<sup>1)</sup>, 思田昌彦<sup>1)</sup>, 須崎紳一郎, 益子邦洋, 黒川顕, 山本保博, 大塚敏文 (1)第1外科) : [一般講演] 小児多発外傷に於ける骨盤骨折合併症例の検討. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 57) 益子邦洋 : [教育講演] 救急医療の現状. 東京臨床検査技師会中部地区研修会, 1987.
- 58) 辺見弘, 安田和弘 : [一般講演] 脾臓の止血. 手術手技研究会, 1987.
- 59) 水成隆之<sup>1)</sup>, 横田裕行, 矢嶋浩三<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup>, 木村昭夫, 小井土雄一, 黒川顕, 大塚敏文 (1)脳神経外科) : [一般講演] 外傷性小脳内血腫の手術適応に関して. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 60) 山本保博 : [シンポジウム] 緊急医療協力における外傷医療対策. 第29回日本熱帯医学会総会, 1987.
- 61) 木村昭夫, 堤裕<sup>1)</sup> (1)東京通信病院脳外) : [一般講演] 凸型リニア走査型プローベを用いた術後頭部超音波画像の検討. 日本超音波医学会, 1987.
- 62) 勝見敦, 湯浅洋司, 岩間裕, 安田和弘, 菅桂一<sup>1)</sup>, 大塚祥, 富岡譲二, 辻井厚子 (1)福島医大麻酔科) : [一般講演] 脾損傷の2症例. 第1回東北救急医学会総会, 1987.
- 63) 安田和弘<sup>1)</sup>, 湯浅洋司<sup>1)</sup>, 勝見敦<sup>1)</sup>, 岩間裕<sup>1)</sup>, 星源之助<sup>1)</sup>, 菅桂一<sup>1)</sup>, 大塚祥, 辻井厚子, 富岡譲二, (1)総合会津中央病院救命救急センター) 外傷患者における死因の検討. 第1回東北救急医学会, 1987.

- 64) 望月徹, 黒岩明彦<sup>1)</sup>, 花村哲<sup>1)</sup>, 寺本明<sup>1)</sup>, 真柳佳昭<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京警察病院脳神経外科): [一般講演] 硬膜下膿瘍の2例. 第28回日本脳神経外科学会関東地方会, 1987.
- 65) 野崎益司, 須崎紳一郎, 山本保博, 大塚敏文, 林田真喜子<sup>1)</sup>, 仁平信<sup>1)</sup>, 中原雄二<sup>2)</sup>, (<sup>1)</sup>法医, <sup>2)</sup>国立試験所麻薬室): [一般講演] シモン法を用いた尿中覚醒剤簡易キットで陽性を示した臨床例の検討. 第2回中毒研究会東日本部会, 1988.
- 66) 久志本成樹, 木所昭夫<sup>1)</sup>, 河野元嗣<sup>1)</sup>, 谷尚志<sup>1)</sup>, 福永正氣<sup>1)</sup>, 青木正巳<sup>1)</sup>, 射場敏明<sup>1)</sup>, 河端誠<sup>1)</sup>, 菊池直心夫<sup>1)</sup>, 八木義弘<sup>1)</sup>, 田中稔<sup>2)</sup>, 黒川真理<sup>2)</sup>, (<sup>1)</sup>順天堂大学浦安病院外科, <sup>2)</sup>同内科): [一般講演] 治療に難渋した開腹術後腹腔内感染の1例. 千葉集中治療研究会, 1988.
- 67) 木村昭夫, 岩崎康孝, 金城秀成, 須崎紳一郎, 大塚敏文: [一般講演] 脳死判定後異常体動を呈した一長期生存例. 第24回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 68) 富岡譲二, 山本保博, 黒川顕, 須崎紳一郎, 松井一成, 戸佐真弓, 堤正仁, 山中すみへ<sup>1)</sup>, 西村正雄<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京歯大衛生学): [一般講演] 有機リン中毒における血染および赤血球アセチルコリンエステラーゼ活性の変動と予後. 第24回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 69) 野崎益司, 益子邦洋, 須崎紳一郎, 吉田竜介, 大友康裕, 金成秀生, 大塚敏文, 小泉潔, 小坂真一<sup>1)</sup>, 山手昇<sup>1)</sup>, 庄司佑<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>胸部外科): [一般講演] 気道再建術後に吻合部狭窄を来し, 再手術を要した右主気管支損傷の1例. 第24回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 70) 益子邦洋, 根本由美子<sup>1)</sup>, 上田ひろみ<sup>1)</sup>, 松岡弘子<sup>1)</sup>, 紺野明子<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>救命救急センター検査室): [一般講演] 救急医療の現状と緊急検査. 第5回私立医科大学臨床技師会学術研修会, 1988.
- 71) 戸佐真弓: [一般講演] 広範囲熱傷患者の急性期におけるクレアチニンクリアランスの有用性. 第24回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 72) 森川雅浩, 大友康裕, 山本保博, 辺見弘, 大塚敏文: [一般講演] ERTを併用して救命し得た上腸間膜動静脈損傷の1例. 第24回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 73) 長谷川雄二, 黒川顕, 横田裕行, 小井土雄一, 石橋励, 水成隆元, 木村昭夫, 中村加枝, 大塚敏文: [一般講演] 最近経験した外傷性内頸動脈閉塞症の2例. 第24回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 74) 岩崎康孝<sup>1)</sup>, 黒沢尚<sup>1)</sup>, 遠藤俊吉<sup>1)</sup>, 木村昭夫, 須崎紳一郎, 黒川顕, 大塚敏文 (<sup>1)</sup>神経科): [一般講演] 第3次救命施設に収容されるてんかん患者についての第一報. その治療. 第24回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 75) 黒川顕: [教育講演] 呼吸器疾患の病態と救急処置. 第24回日本救急医学会関東地方会救急隊演部会, 1988.
- 76) 望月徹<sup>1)</sup>, 岩間淳一<sup>1)</sup>, 花村哲<sup>1)</sup>, 寺本明<sup>1)</sup>, 真柳佳昭<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京警察病院脳神経外科): [一般講演] Vermian dermoidの1例. 第29回日本脳神経外科学会関東地方会, 1988.
- 77) 横田裕行, 水成隆之<sup>1)</sup>, 諫山和男<sup>1)</sup>, 小林士郎<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup>, 黒川顕, 山本保博, 大塚敏文 (<sup>1)</sup>脳神経外科): [一般講演] 高令者頭部外傷の特徴—予後不良とする因子について. 第1回老年脳神経外科研究会, 1988.
- 78) 横田裕之, 小林士郎<sup>1)</sup>, 矢嶋浩三<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup>, 黒川顕, 山本保博, 大塚敏文 (<sup>1)</sup>脳神経外科): [一般講演] 外傷性遅発性脳内血腫 (DTICH) における頭蓋内圧測定の意味. 第11回日本神経外傷研究会, 1988.
- 79) 水成隆之<sup>1)</sup>, 横田裕行, 小林士郎<sup>1)</sup>, 矢嶋浩三<sup>1)</sup>, 中沢省三<sup>1)</sup>, 木村昭夫, 小井土雄一, 黒川顕, 大塚敏文 (<sup>1)</sup>脳神経外科): [一般講演] 外傷性小脳内血腫におけるABR, ICP測定の有用性. 第11回日本神経外傷研究会, 1988.
- 80) 木村昭夫, 小井土雄一, 横田裕行, 黒川顕, 大塚敏文: [展示] 多発外傷に対する開頭術を含む多部位同時手術の検討. 第11回日本神経外傷研究会, 1988.
- 81) 小井土雄一, 大友康裕, 木村昭夫, 吉田竜一, 山本保博, 辺見弘, 大塚敏文: [一般講演] 第3次救命医療施設における腓外傷の検討. 第10回日本腹部救急診療研究会, 1988.
- 82) 木村昭夫, 須崎紳一郎, 大友康裕, 小井土雄一, 大塚祥, 山本保博, 大塚敏文: [シンポジウム] 鈍的腹部外傷

の超音波画像における Pitfall (テーマ: 腹部外傷における画像診断の意義) . 第10回日本腹部救急診療研究会, 1988.

- 83) Ohtomo, Y., Yamamoto, Y., Morikawa, M. and Otsuka, T. [ポスターセッション] Effect of thoracic aortic clamping on severe shock patients associated with massive hemoperitoneum. 8th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine, 1988.
- 84) Yamamoto, Y., Morikawa, H., Ohtomo, Y. and Otsuka, T.: [シンポジウム] Emergency medical system in Tokyo. 8th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine, 1988.
- 85) Yamamoto, Y., Morikawa, H., Ohtomo, Y. and Otsuka, T.: [シンポジウム] Septic complication in burned patients. 8th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine, 1988.
- 86) Yamamoto, Y., Morikawa, H., Ohtomo, Y. and Otsuka, T.: [教育講演] Management of multiple blunt trauma. 8th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine, 1988.
- 87) Yamamoto, Y.: [ラウンドテーブルディスカッション] Emergency transport of the translocated. 8th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine, 1988.

## 19. 付属病院付置施設等

### 〔付属病院集中治療室〕

#### 研究概要

日本医科大学付属病院集中治療室（ICU・CCU）は、昭和48年に開設して以来、昭和62年までに1,545例の急性心筋梗塞患者を収容したが、昭和62年度は162例と今までで最も多い年間収容数であった。したがって、本施設の研究業績は、急性心筋梗塞の疫学・病因・診断・治療などにかかわるものがほとんどである。以下に、昭和62年度の主な業績を列挙する。

- 1) 東京都CCUネットワーク：当施設に事務局のある、東京都CCU連絡協議会（都内21施設のCCUよりなる）において、過去3年間の東京都における虚血性心疾患の現状、特に急性心筋梗塞の発生状況をまとめ発表した。これは、日中循環器病交流会議の特別講演としても発表された。上記成績をもって、全国主要都市（旭川・仙台・東京・大阪・熊本）の急性心筋梗塞の発生ならびに収容状況を比較した。
- 2) 急性心筋梗塞超急性期の超微形態について：日本循環器学会総会シンポジウムで発表。
- 3) 発症6時間以内の急性心筋梗塞に対し、組織プラスミノーケンアタチベータ等を用いPTCR（Percutaneous transluminal coronary reperfusion）を積極的行った。
- 4) CCUにおける各種ストレスについて：東京都におけるCCU医師の生活環境とストレスの実態調査、ストレス解消法、看護スタッフのストレス、梗塞患者にみられた症状のストレスなどを分析した報告は、ユニークで一部のマスコミにも取り扱われた。また、ICU・CCUの患者環境についてのシンポジウムが集中治療医学会総会にて、発表された。
- 5) 電気生理学的研究：心室遅延電位の検出についての新しい試みと、心房頻拍との関係について、経食道心房頻回刺激法や新しい抗不整脈剤についての研究。
- 6) その他：

#### 研究業績

#### 論文

- 1) 田中啓治，島井新一郎，高野照夫，大竹稔：〔原著〕急性心筋梗塞における血中 catecholamine と cyclic nucleotide. 日本臨床代謝学会記録（XXIV），p.100～103，1987.
- 2) Takano, T., Endo, T., Tanaka, K., Hirose, K.<sup>1)</sup>, Yamaguchi, T.<sup>2)</sup>, Saito, S.<sup>3)</sup>, Kammatuse, K.<sup>4)</sup>, Nakata, Y.<sup>5)</sup>, Yabuki, S.<sup>6)</sup>, Kamisima, G.<sup>7)</sup>, Irie, A.<sup>8)</sup>, Niitani, H.<sup>9)</sup>, Tanaka, T.<sup>10)</sup>, Takahashi, S.<sup>11)</sup>, Igarashi, M.<sup>12)</sup>, Ueda, K.<sup>13)</sup>, Kimura, M.<sup>14)</sup>, Sato, T.<sup>15)</sup>, Motomiya, T.<sup>16)</sup>, Isii, T.<sup>17)</sup>, Okada, M.<sup>18)</sup>, Watanabe, H.<sup>19)</sup> and Nakanishi, N.<sup>20)</sup>（<sup>1)</sup>東京女子医大病院，<sup>2)</sup>三井記念病院，<sup>3)</sup>日大板橋病院，<sup>4)</sup>駿河台日大病院，<sup>5)</sup>順天堂大病院，<sup>6)</sup>東邦大大橋病院，<sup>7)</sup>東邦大大森病院，<sup>8)</sup>西新井病院，<sup>9)</sup>昭和大病院，<sup>10)</sup>榊原記念病院，<sup>11)</sup>倭成病院，<sup>12)</sup>聖路加国際病院，<sup>13)</sup>東京都老人医療センター，<sup>14)</sup>東京済生会中央病院，<sup>15)</sup>帝京大病院，<sup>16)</sup>都立広尾病院，<sup>17)</sup>東京医大八王子医療センター，<sup>18)</sup>杏林大病院，<sup>19)</sup>心臓血管研究所付属病院，<sup>20)</sup>虎の門病院）：〔原著〕Current status of prehospital care of patients with acute myocardial infarction in Tokyo; Analysis of 3 year experience with Coronary Care Unit Network. Jpn.Circ.J., 51, 338～351, 1987.
- 3) 山村秀夫<sup>1)</sup>，稲田豊<sup>2)</sup>，藤田達士<sup>3)</sup>，吉武潤一<sup>4)</sup>，木全心一<sup>5)</sup>，高野照夫（<sup>1)</sup>東京専売病院，<sup>2)</sup>東大医学部麻酔，<sup>3)</sup>群馬大医学部麻酔，<sup>4)</sup>九州大医学部麻酔，<sup>5)</sup>東京女子医大）：〔原著〕低血圧麻酔におけるプロスタグランジンE<sub>1</sub>（G511）の虚血性心疾患合併症例における安全性について。麻酔，36，527～541，1987.

- 4) 田中啓治, 高野照夫, 大竹稔<sup>1)</sup> (第1内科) : [総説] 急性心筋梗塞における糖代謝異常 (特集: ストレス下の代謝異常と管理). 救急医, 11, 413~419, 1987.
- 5) 田中啓治, 高野照夫 : [総説] 初期の血行動態に伴う治療 (特集: 心筋梗塞その最新の治療). カレントセラピー, 5, 40~44, 1987.
- 6) 清野精彦, 長江安洋, Laohathai, P., 新田隆, 松山謙, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫, 小坂真一<sup>1)</sup>, 山手昇<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>2)</sup> (第1内科) : [原著] Computerized cardiac nuclear probeによる冠動脈バイパス術後早期運動負荷試験における左室収縮能・拡張能の評価. 治療, 69, 183~190, 1987.
- 7) 高野照夫, 栗原広孝, 清野精彦 : [総説] ポンプ不全の対策 (特集: 心筋梗塞の早期治療). 総合臨, 36, 827~832, 1987.
- 8) Kisida, H.<sup>1)</sup>, Takiguchi, F.<sup>1)</sup>, Sugiki, Y.<sup>1)</sup>, Kuroki, S.<sup>1)</sup>, Tanaka, T., Seino, Y., Sasaki, H.<sup>1)</sup>, Fukuda, J.<sup>1)</sup> and Matuo, S.<sup>1)</sup> (第1内科) : [原著] Hemodynamic characteristics of echocardiographic finding in hypertensive patients with negative U waves and effect of an antihypertensive drug, tripramide. Jpn. Heart J., 28, 377~386, 1987.
- 9) 安田壽一, 飯塚昌彦, 木全心一, 高野照夫 : [総説] 心不全治療の新しい考え方. 循環科学, 7, 720~732, 1987.
- 10) 加藤貴雄, 高野照夫 : [総説] 心疾患の救急処置. 日医師会誌, 97, 1~4, 1987.
- 11) 清野精彦 : [総説] 急性心筋梗塞における心機能と末梢循環調節機構. Ther. Res., 7, 61~66, 1987.
- 12) 清野精彦 : [総説] 急性ポンプ失調に対する循環補助の有効性と限界. Ther. Res., 7, 83~88, 1987.
- 13) 太田真夫<sup>1)</sup>, 高野照夫 (第1内科) : [総説] 救命の立場, 特に冠動脈再開通法との関連から (特集: 心筋梗塞 - その発症のメカニズムと診断・治療・問題点). 最新医, 42, 1356~1361, 1987.
- 14) 雪吹周生, 清野精彦, 高野照夫 : [総説] 利尿薬. 消外, 10, 379~384, 1987.
- 15) 高野照夫 : [総説] 急性左心不全・心原性ショック. 臨床医, 13, 1722~1723, 1987.
- 16) 清野精彦, 長江安洋, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一<sup>1)</sup> (第1内科) : [原著] RI心臓プローブ法による左室収縮・拡張動態モニタリング; 血管拡張薬および心臓ペースングの心臓力学的効果の分析への応用. ICUとCCU, 11, 747~755, 1987.
- 17) 田中啓治 : [総説] 急性心筋梗塞の初期治療. Medicina, 24, 1504~1509, 1987.
- 18) 高野照夫, 大津文男<sup>1)</sup> (多摩永山病院内科) : [総説] 急性心筋梗塞時の薬物療法の実際. Med. Pract., 4, 1420~1425, 1987.
- 19) 清野精彦, 早川弘一<sup>1)</sup> (第1内科) : [総説] ポンプ機能とペースング. ICUとCCU, 11, 835~843, 1987.
- 20) 高野照夫 : [総説] 大動脈内バルーンポンピング (IABP) (特集: 急性心筋梗塞における治療法の適応と効果). 循環器, 22, 262~269, 1987.
- 21) 高野照夫, 清野精彦 : [総説] CCUにおける不整脈監視用誘導システム. 日医新報, No.3307, 147, 1987.
- 22) 高野照夫 : [総説] 心原性ショック. 臨床医, 12, 34~39, 1987.
- 23) 高野照夫, 鈴木健<sup>1)</sup> (多摩永山病院内科) : [総説] 血行動態モニタリングをどう活用するか. Medicina, 24, 2369~2371, 1987.
- 24) 田中啓治, 大林完二<sup>1)</sup> (大林内科医院) : [総説] 血圧の異常. 日医師会誌, 98, 136~141, 1987.
- 25) 高野照夫, 雪吹周生 : [総説] 心タンポナーデ. 日医師会誌, 98, 1879~1885, 1987.
- 26) 清野精彦 : [総説] 急性ポンプ失調に対する循環補助の有効性と限界; IABP. 生理的ペースング. PEEPの心機能に及ぼす効果. Ther. Res., 7, 83~88, 1987.
- 27) 高田加寿子, 高野照夫 : [総説] 経皮的ニトログリセリン. 臨床, 11, 1629~1631, 1987.
- 28) 高野照夫, 矢島俊巳, 清野精彦 : [総説] 心筋梗塞の血行動態. 日臨, 45, 728~734, 1987.



- 29) 富岡譲二<sup>1)</sup>, 戸佐真弓<sup>1)</sup>, 松井一成<sup>1)</sup>, 菊地光美<sup>1)</sup>, 益子邦洋<sup>1)</sup>, 黒川顕<sup>1)</sup>, 大塚敏文<sup>1)</sup>, 矢島俊巳, 田中啓治, 高野照夫 ( <sup>1)</sup>付属病院救命救急センター) : [報告] 急性心筋梗塞を合併し術中IABPを施行した出血性胃潰瘍の1例. 日救急医学会関東誌, 8, 106~107, 1987.
- 30) 高田加寿子, 清野精彦, 島井新一郎, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫, 長野具雄<sup>1)</sup>, 太田真夫<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科) : [症例報告] 急性心筋梗塞様心電図を呈し<sup>201</sup>Tl心筋SPECTにて一過性に広範な欠損像を認めた褐色細胞腫の1例. 日内会誌, 76, 1256~1263, 1987.
- 31) 高野照夫 : [原著] 初期治療の重要性と救急医療体制. 日臨, 45, 1020~1027, 1987.
- 32) 田中啓治 : [総説] 胸痛. 日医師会誌, 98, 125~130, 1987.
- 33) 新博次<sup>1)</sup>, 後藤正道<sup>1)</sup>, 飯田恵子<sup>1)</sup>, 小林義典<sup>1)</sup>, 斉藤寛和<sup>1)</sup>, 洪基哲<sup>1)</sup>, 加藤貴雄, 早川弘一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科) : [原著] Dibutyryl cyclin AMPの電気生理学的効果. Jpn. J. Electrocardiol., 7, 237~273, 1987.
- 34) 新博次<sup>1)</sup>, 洪基哲<sup>1)</sup>, 加藤貴雄, 早川弘一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科) : [原著] 減不全症候群における自律神経関与について. Jpn. J. Electrocardiol., 7, 336~343, 1987.
- 35) 田中隆<sup>1)</sup>, 高野照夫 ( <sup>1)</sup>第1内科) : [総説] CCUの現況 (特集: 日本における心筋梗塞). 臨成人病, 17, 1287~1293, 1987.
- 36) 新博次<sup>1)</sup>, 洪基哲<sup>1)</sup>, 飯田恵子<sup>1)</sup>, 後藤正道<sup>1)</sup>, 平山悦之<sup>1)</sup>, 井野威<sup>1)</sup>, 加藤貴雄, 早川弘一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科) : [原著] Flecainide単回経口投与による発作性上室性頻拍誘発抑制性効果. Jpn. J. Electrocardiol., 7, 619~626, 1987.
- 37) 小林義典<sup>1)</sup>, 田中隆<sup>1)</sup>, 飯田恵子<sup>1)</sup>, 洪基哲<sup>1)</sup>, 新博次<sup>1)</sup>, 加藤貴雄, 早川弘一<sup>1)</sup>, 清野精彦, 田中啓治, 高野照夫 ( <sup>1)</sup>第1内科) : [原著] 心室遅延電位ならびにentrainment現象を証明し, 心室頻拍の機序を推定しえたARVDの一例. 心電図, 8, 87~98, 1988.
- 38) 田中啓治, 高野照夫 : [総説] 心筋梗塞; 合併症 (特集: 循環器病学トピックス). 循環器, 23, 8~11, 1988.
- 39) 清野精彦, 鄭広模, 宗像純司, 川越栄<sup>1)</sup>, 今泉孝敬, 植田俊郎, 早川弘一<sup>2)</sup>, 奥村英正<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>都立駒込病院, <sup>2)</sup>第1内科) : [原著] 心臓プローブ法による左室収縮・拡張動態の分析と早期心機能障害の検索. 呼吸と循環, 36, 57~63, 1988.
- 40) 高野照夫, 太田真夫<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科) : [総説] プレホスピタル・ケアとCCU. 治療, 70, 286~290, 1988.
- 41) 高野照夫, 井野威<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科) : [総説] Prehospital careの問題点. Modern physician, 8, 369~371, 1988.
- 42) 太田真夫<sup>1)</sup>, 高野照夫 ( <sup>1)</sup>第1内科) : [総説] 超微形態からみた心筋梗塞発症早期の病態. Modern Physician, 8, 305~308, 1988.
- 43) 加藤貴雄, 小林義典, 田中隆, 洪基哲, 高野照夫, 早川弘一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科) : [原著] 心筋梗塞および非梗塞例における心室期外収縮と血行動態に対するaprimidine静注の効果ならびに薬物治療. ICUとCCU, 12, 229~238, 1988.

## 著 書

- 1) 高野照夫 : [分担] 心原性ショック. "Prescription for Heart & Circulatory Diseases" (村尾寛編), p.157~161, 世界保健通信社, 1987.
- 2) 高野照夫 : [分担] 亜硝酸薬. "Prescription for Heart & Circulatory Diseases" (村尾寛編), p.332~338, 世界保健通信社, 1987.
- 3) 田中啓治, 清野精彦 : [分担] 心エコー図. "開業医の外来循環器病学 - Ambulatory Cardiology" (大林完二, 橋本啓一編), p.109~131, 南山堂, 1987.
- 4) 田中啓治 : [分担] 血栓溶解治療法. "今日の治療指針" (日野原重明, 阿部正和編), p.66~66, 医学書院, 1987.

- 5) 高野照夫：〔分担〕虚血性疾患を中心とした救急体制．“狭心症・心筋梗塞”（関口守衛編），p.50～54，南江堂，1987.
- 6) 田中啓治：〔分担〕大動脈内バルーンパンピング（IABP）．“狭心症・心筋梗塞”（関口守衛編），p.80～84，南江堂，1987.
- 7) 清野精彦，島井新一郎：〔分担〕心筋梗塞症例の呼吸器障害とその管理．“狭心症・心筋梗塞”（関口守衛編），p.274～280，南江堂，1987.
- 8) 高野照夫：〔分担〕心疾患の応急処置．“気になる病気の基礎知識”（大矢仁美編），p.62～63，日本エディターズスクール出版，1988.
- 9) 高野照夫，金沢正邦：〔分担〕胸痛．“看護のための臨床医学大系”（大塚敏文編），p.188～197，情報開発研究所，1988.
- 10) 清野精彦，高野照夫：〔分担〕ブクラデシン．“話題の新薬（現代医療）”（原澤直美，梅田博直編），p.189～194，現代医療社，1988.
- 11) 高野照夫，島井新一郎：〔分担〕急性心筋梗塞．“循環器疾患最新の治療 '88-'89”（安田寿一，杉本恒明編），p.8～15，南江堂，1988.

#### 学会発表

- 1) 太田真夫<sup>1)</sup>，早川弘一<sup>1)</sup>，高野照夫，相原薫<sup>2)</sup>，矢島権八<sup>3)</sup>（<sup>1)</sup>第1内科，<sup>2)</sup>中央電顕，<sup>3)</sup>第1病理）：〔シンポジウム〕超急性期心筋梗塞の超微形態；発症機序との関連について．第51回日本循環器学会総会，1987.
- 2) 田中啓治，石原茂樹，高野照夫，後藤誠子，金子栄子，黒沢尚<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>神経科）：〔一般講演〕心筋梗塞の発症と各種ストレス因子の関係について．第30回循環器 PSM の会，1987.
- 3) 清野精彦，滝田孝之，田中啓治，高野照夫，早川弘一<sup>1)</sup>，奥村英正<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1内科）：〔展示〕冠動脈疾患に合併せる四肢・頸動脈病変の検索とその臨床像・臨床背景について．第84回日本内科学会総会，1987.
- 4) 島井新一郎，高野照夫，清野精彦，田中啓治，奥村英正<sup>1)</sup>，盤若博司<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第1内科，<sup>2)</sup>老人科）：〔展示〕急性心筋梗塞における顆粒球エラスターゼ値（ $\alpha_1$ -proteinase inhibitor-elastase complex）測定の意義．第84回日本内科学会総会，1987.
- 5) 田中啓治，大竹稔<sup>1)</sup>，高野照夫，奥村英正<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1内科）：〔展示〕心筋梗塞急性期における糖代謝異常の発現機序；とくに循環動態との関係について．第84回日本内科学会総会，1987.
- 6) 高野照夫，田中啓治，加藤貴雄，広沢弘七郎<sup>1)</sup>，斉藤勉（<sup>1)</sup>東京女子医大循環器）：〔一般講演〕循環器救急医療．第22回日本医学会総会，1987.
- 7) 滝田孝之，清野精彦，田中啓治，高野照夫，太田真夫<sup>1)</sup>，大竹稔<sup>1)</sup>，早川弘一<sup>1)</sup>，奥村英正<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1内科）：〔一般講演〕冠動脈疾患に合併する頸動脈・四肢動脈病変の臨床像．第30回日本糖尿病学会総会，1987.
- 8) 田中茂夫<sup>1)</sup>，三枝直紀<sup>1)</sup>，浅野哲雄<sup>1)</sup>，小坂真一<sup>1)</sup>，松山謙<sup>1)</sup>，池下正敏<sup>1)</sup>，山手昇<sup>1)</sup>，庄司佑<sup>1)</sup>，清野精彦，加藤貴雄，高野照夫，早川弘一<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>胸部外科，<sup>2)</sup>第1内科）：〔シンポジウム〕血行動態から見たrate responsiveペースメーカーの適応と器種の選定．第2回日本心臓ペースンング学術大会，1987.
- 9) 田中隆，佐々部典子，矢島俊巳，清野精彦，松山謙，田中啓治，加藤貴雄，高野照夫，小林義典<sup>1)</sup>，富士崎成子<sup>1)</sup>，早川弘一<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1内科）：〔一般講演〕経食道心房頻回刺激法による心房粗動の停止；経静脈右心房頻回刺激法との比較．第2回日本心臓ペースンング学術大会，1987.
- 10) 佐々部典子<sup>1)</sup>，田中隆<sup>1)</sup>，小村義典<sup>1)</sup>，飯田恵子<sup>1)</sup>，井野威<sup>1)</sup>，新博次<sup>1)</sup>，加藤貴雄<sup>1)</sup>，早川弘一<sup>1)</sup>，矢島俊巳，松山謙，高野照夫（<sup>1)</sup>第1内科）：〔一般講演〕心房粗動に対する経食道心房頻回刺激単独ならびに抗不整脈薬併用の効果．第2回日本心臓ペースンング学術大会，1987.

- 11) 真鍋辰哉, 横室茂樹, 立原利江子, 矢島俊巳, 島井新一郎, 清野精彦, 松山謙, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫, 雪吹周生, 栗原広孝, 小坂真一<sup>1)</sup>, 浅野哲雄<sup>1)</sup>, 山手昇<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>胸部外科 ): [一般講演] 急性心筋梗塞に合併した左室自由壁破裂後, 40日間生存した1例. 第124回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1987.
- 12) 高野照夫: [一般講演] 胸痛を主訴とした患者の対応; 心疾患を主訴として. 第23回日本救急医学会関東地方会, 1987.
- 13) 高野照夫: [特別講演] 急性心筋梗塞治療の新展開. 第9回東海ICU研究会, 1987.
- 14) 栗田明<sup>1)</sup>, 清野精彦 ( <sup>1)</sup>防衛医大第1内科 ): [一般講演] 急性心不全における抹消循環動態. 第11回六甲カルディックセミナー, 1987.
- 15) 田中隆, 清野精彦, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫, 大木清司<sup>1)</sup>, 佐々部典子<sup>1)</sup>, 太田真夫<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科 ): [一般講演] 心筋梗塞症例における心室遅延電位検出の意義. 第55回日本医大医学会総会, 1987.
- 16) 雪吹周生, 清野精彦, 矢島俊巳, 本田二郎, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫, 小坂真一<sup>1)</sup>, 山手昇<sup>1)</sup>, 嶋崎謙<sup>2)</sup>, 原文男<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>胸部外科, <sup>2)</sup>第二病院内科 ): [シンポジウム] ウロキナーゼ全身投与が奏効した右房内河動性血栓の1例. 第125回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1987.
- 17) 高野照夫: [特別講演] CCU network as primary care of acute myocardial infarction in Tokyo. 第3回日中循環器病交流会議, 1987.
- 18) 大木清司<sup>1)</sup>, 田中隆<sup>1)</sup>, 佐々部典子<sup>1)</sup>, 小林義典<sup>1)</sup>, 太田真夫<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫, 早川弘一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科 ): [一般講演] 心室内伝導障害例における加算平均心電図の検討. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 19) 佐々部典子<sup>1)</sup>, 田中隆<sup>1)</sup>, 大木清司<sup>1)</sup>, 小林義典<sup>1)</sup>, 井野威<sup>1)</sup>, 新博次<sup>1)</sup>, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫, 早川弘一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科 ): [一般講演] 心室遅延電位の検出に関する一考察; 新しい加算平均法の検討. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 20) 田中隆<sup>1)</sup>, 佐々部典子<sup>1)</sup>, 小林義典<sup>1)</sup>, 清野精彦, 田中啓治, 加藤貴雄<sup>1)</sup>, 高野照夫, 早川弘一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科 ): [一般講演] 心筋梗塞症例における心室遅延電位検出の意義. 第4回日本心電学会学術集会, 1987.
- 21) 佐々木美典<sup>1)</sup>, 岩原信一郎<sup>1)</sup>, 森規勝<sup>1)</sup>, 草間芳樹<sup>1)</sup>, 畑典武<sup>1)</sup>, 高山守正<sup>1)</sup>, 宗像一雄<sup>1)</sup>, 岸田浩<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 清野精彦, 田中啓治, 高野照夫 ( <sup>1)</sup>第1内科 ): [一般講演] 下壁梗塞急性期における右側胸部誘導ST上昇と右冠動脈病変部位との関係. 第28回日本脈管学会総会, 1987.
- 22) 滝田孝之, 清野精彦, 高野照夫, 大竹稔<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科 ): [一般講演] 糖尿病合併冠動脈疾患における末梢血管病変の臨床像. 第28回日本脈管学会総会, 1987.
- 23) 島井新一郎, 高野照夫, 真鍋辰哉, 春山勝, 田中隆, 矢島俊巳, 高田加寿子, 清野精彦, 松山謙, 田中啓治, 加藤貴雄, 大竹稔<sup>1)</sup>, 盤若博司<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科, <sup>2)</sup>老人科 ): [一般講演] 低T<sub>3</sub>, T<sub>4</sub>症候群, 急性心筋梗塞での検討. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 24) Seino, Y., Shimai, S., Tanaka, K., Takano, T. and Hayakawa, H.<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科 ): [一般講演] LV systolic and diastolic dynamics during wearning process (balloon volume or pumping ratio) of intraaortic balloon pumping. 第8回国際心臓血管循環動態学会 (大阪), 1987.
- 25) Seino, Y., Nagae, Y., Takano, T. Tanaka, S.<sup>1)</sup> and Hayakawa, H.<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>第1内科, <sup>2)</sup>胸部外科 ): [展示] Importance of atrial contraction in rate responsive pacing during ergometer exercise. 第8回国際心臓血管循環動態学会 (大阪), 1987.
- 26) 田中啓治, 高野照夫, 本田喬<sup>1)</sup>, 広沢弘七郎<sup>1)</sup>, 中田八洲郎<sup>2)</sup>, 新谷博一<sup>3)</sup>, 柴田淳一<sup>4)</sup>, 宮沢佑二<sup>5)</sup>, 小松行雄<sup>6)</sup>, 土師一夫<sup>6)</sup>, 早崎和也<sup>7)</sup> ( <sup>1)</sup>東京女子医大, <sup>2)</sup>順天堂大, <sup>3)</sup>昭和大, <sup>4)</sup>仙台循環器センター, <sup>5)</sup>国立循環器病センター, <sup>6)</sup>済生会熊本病院 ): [一般講演] 全国5都市における急性心筋梗塞の収容状況. 第15回日本救急医学会

総会, 1987.

- 27) 長谷川朝穂<sup>1)</sup>, 鈴木博子<sup>1)</sup>, 黒沢尚<sup>1)</sup>, 遠藤俊吉<sup>1)</sup>, 田中啓治, 高野照夫, 松田潔<sup>2)</sup>, 山本保博<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>神経科, <sup>2)</sup>救命救急センター): [一般講演] Critical careに従事する医師の生活環境とストレスの実態調査. 第15回日本救急医学会総会, 1987.
- 28) 高野照夫: [教育講演] ショック. 第5回ショック研究会, 1987.
- 29) 高野照夫: [シンポジウム] 急性心筋梗塞の冠動脈病変. 第22回日本成人病学会, 1988.
- 30) 長谷川朝穂<sup>1)</sup>, 黒沢尚<sup>1)</sup>, 遠藤俊吉<sup>1)</sup>, 田中啓治, 高野照夫 (神経科): [一般講演] CCUに働く医師のストレス解消法. 第24回日本救急医学会関東地方会, 1988.
- 31) 大木清司, 田中隆, 佐々部典子, 小林義典, 清野精彦, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1内科): [一般講演] 心筋梗塞患者におけるlate potential検出の臨床的有用性. 第15回日本集中治療医学会総会, 1988.
- 32) 雪吹周生, 清野精彦, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1内科): [一般講演] 慢性閉塞性肺疾患と間質性肺炎における心電図, 心血行動態の特徴. 第15回日本集中治療医学会総会, 1988.
- 33) 塚本浩, 清野精彦, 雪吹周生, 大木清司, 森規勝, 田中啓治, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1内科): [一般講演] 心不全症例, 肝硬変症例におけるdigit blood flow responseの比較; peltier法による評価の試み. 第15回日本集中治療医学会総会, 1988.
- 34) 長谷川朝穂<sup>1)</sup>, 黒沢尚<sup>1)</sup>, 遠藤俊吉<sup>1)</sup>, 高野照夫 (<sup>1)</sup>神経科): [一般講演] Critical careにおける精神心理的問題に対するアプローチの実態. 第15回日本集中治療医学会総会, 1988.
- 35) 長谷川朝穂<sup>1)</sup>, 黒沢尚<sup>1)</sup>, 遠藤俊吉<sup>1)</sup>, 高野照夫 (<sup>1)</sup>神経科): [一般講演] ICU症候群. 第15回日本集中治療医学会総会, 1988.
- 36) 島井新一郎, 高野照夫, 塚本浩, 宮入泰郎, 矢島俊巳, 雪吹周生, 池田健次, 高田加寿子, 宇都宮英敏, 清野精彦, 田中啓治, 加藤貴雄: [一般講演] 急性心筋梗塞 (AMI) におけるアミノ酸分析, 特に分岐鎖アミノ酸, 芳香族アミノ酸についての検討. 第15回日本集中治療医学会総会, 1988.
- 37) 後藤誠子, 金子栄子, 田中啓治, 高野照夫, 長谷川朝穂<sup>1)</sup>, 黒沢尚<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>神経科): [一般講演] CCUに於ける看護スタッフのストレス. 第15回日本集中治療医学会総会, 1988.
- 38) 高野照夫: [シンポジウム] ICU・CCUの患者環境; 医師の立場から. 第15回日本集中治療医学会総会, 1988.
- 39) 田中啓治, 高田加寿子, 高野照夫, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1内科): [一般講演] 心筋梗塞再梗塞の病態と対策. 第85回日本内科学会, 1988.

## [付属病院病理部]

### 研究概要

当病理部は昭和62年度中途から発足した部門であり, したがって予算も皆無の状態であった.

さらに, 医師のスタッフも専任1名, 出向1名であり, 技師も毎日の生検, 細胞診をこなすにも不十分で, 超過勤務の時間数が非常に多い状態である.

研究設備・器具も存在しない.

したがって, あらゆる面からして当部独自の研究活動を行うことが難しい.

したがって, ここに掲載する業績は, 病理学教室などで行われたものである.

## 研究業績

### 論文

- 1) 福田悠, 川並注一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院病理部) : [総説] BAL細胞中のランゲルハンス細胞. 細胞, 19, 169~174, 1987.
- 2) 福田悠 : [総説] 線維化形成機序; Embryogenesisの立場から (胎生期発と結合組織). 最新医, 42, 1841~1846, 1987.
- 3) Fukuda, Y., Miyake, H.<sup>1)</sup>, Masuda, Y.<sup>1)</sup> and Masugi, Y.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1病理) : [原著] Histogenesis of unique elastophilic fibers of elastofibroma; Ultrastructural and immunohistochemical studies. Human Pathol., 18, 424~429, 1987.
- 4) Takemura, T.<sup>1)</sup>, Fukuda, Y., Harrison, M.<sup>2)</sup> and Ferrans, V.J.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>日赤医療センター病理, <sup>2)</sup>NIH, USA) : [原著] Ultrastructural, histochemical and freeze-fracture evaluation of multilamellated structures in pulmonary alveolar proteinosis. Am. J. Anat., 179, 258~268, 1987.
- 5) Fukuda, Y., Uchiyama, S.<sup>1)</sup>, Masuda, Y.<sup>1)</sup> and Masugi, Y.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1病理) : [原著] Intracellular rod-shaped actin filament bundles in poorly differentiated axillary adenosquamous cell carcinoma. Cancer, 60, 2979~2984, 1987.
- 6) 福田悠, 益田幸成<sup>1)</sup>, 来住準一<sup>2)</sup>, 早川太郎<sup>2)</sup>, 中西康夫<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>第1病理, <sup>2)</sup>愛知学院大, <sup>3)</sup>名古屋大学) : [原著] 唾液腺の胎生初期発生における膠原線維の重要性. 結合組織, 19, 212~213, 1987.
- 7) 内山正一<sup>1)</sup>, 福田悠, 益田幸成<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup>, 庄司佑<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第1病理, <sup>2)</sup>第2外科) : [原著] 乳腺腫瘍における elastosis の電顕的・免疫組織科学的検索. 結合組織, 19, 334~335, 1987.
- 8) Ohkuni, H.<sup>1)</sup>, Todome, Y.<sup>1)</sup>, Yokomuro, K.<sup>1)</sup>, Kimura, Y.<sup>1)</sup>, Ishizaki, M.<sup>2)</sup>, Fukuda, Y., Masugi, Y.<sup>2)</sup> and Hamada, S.<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>微生物・免疫, <sup>2)</sup>第1病理, <sup>3)</sup>阪大歯学部) : [原著] Coronary arteritis in mice after systemic injection of bacterial cell wall peptidoglycan. Jpn. Circulation J., 51, 1357~1361, 1987.
- 9) Fukuda, Y. and Ferrans, V.J.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>NIH, USA) : [原著] Pulmonary elastic fiber degeneration in paraquat toxicity; An electron microscopic immunohistochemical study. J. Submicrosc. Cytol. Pathol., 20, 15~23, 1988.
- 10) 瀬在秀一<sup>1)</sup>, 塚原浩章<sup>1)</sup>, 石沢優<sup>1)</sup>, 吉野克正<sup>1)</sup>, 松浦誠一<sup>1)</sup>, 清水敏朗<sup>1)</sup>, 森田敏和<sup>1)</sup>, 平野正憲<sup>1)</sup>, 岩瀬透<sup>1)</sup>, 右田徹<sup>2)</sup>, 松崎広子<sup>3)</sup>, 鈴木恒道 (<sup>1)</sup>東京警察病院内科, <sup>2)</sup>東京警察病院消化器センター, <sup>3)</sup>東京警察病院中央検査1部) : [症例報告] 肝性骨異栄養症 (Osteodystrophy) を診断し, ビタミンD治療による改善を観察しえた肝硬変の2症例. 肝臓, 20, 1370~1375, 1987.
- 11) 瀬在秀一<sup>1)</sup>, 石沢優<sup>1)</sup>, 吉野克正<sup>1)</sup>, 松浦誠一<sup>1)</sup>, 清水敏朗<sup>1)</sup>, 森田敏和<sup>1)</sup>, 平野正憲<sup>1)</sup>, 岩瀬透<sup>1)</sup>, 右田徹<sup>2)</sup>, 松崎広子<sup>3)</sup>, 鈴木恒道 (<sup>1)</sup>東京警察病院内科, <sup>2)</sup>東京警察病院消化器センター, <sup>3)</sup>東京警察病院中央検査1部) : [原著] 肝硬変の骨病変; 99m Tc MD P 骨シンチグラフィの検討を中心に. 日消病会誌, 84, 2347~2352, 1987.

### 学会発表

- 1) 福田悠, 内山正一<sup>1)</sup>, 益田幸成<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第1病理) : [一般講演] 腋窩の腺扁平上皮癌に認められた核内アクチン封入体. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 2) 川本雅司<sup>1)</sup>, 児玉行弘<sup>1)</sup>, 米山剛一<sup>1)</sup>, 益田幸成<sup>1)</sup>, 石崎正通<sup>1)</sup>, 福田悠, 山中宣昭<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup> (第1病理) : [展示] ラット放射線肺線維化における肺血管系の改変, 第27回日本胸部疾患学会総会, 1987.
- 3) 矢島幹久<sup>1)</sup>, 鈴木恒道 (<sup>1)</sup>第2病理) : [一般講演] 著名な肺高血圧症を呈した血小板血症の1剖検例. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 4) 矢島幹久<sup>1)</sup>, 鈴木恒道 (<sup>1)</sup>第2病理) : [一般講演] 初老期痴呆症候で発症し, 心停止後4ヶ月生存した1剖検例. 第92回東京病理集談会, 1987.

- 5) 福田悠, 益田幸成<sup>1)</sup>, 来住準一<sup>2)</sup>, 早川太郎<sup>2)</sup>, 中西康夫<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>第1病理, <sup>2)</sup>愛知学院大歯, <sup>3)</sup>名古屋大理 ) :  
〔一般講演〕唾液腺の胎生初期発生における膠原線維の重要性. 第19回日本結合組織学会総会, 1987.
- 6) 福田悠: 〔ワークショップ〕エラスチン研究の現況と展望; 基礎から臨床へ. 第19回日本結合組織学会総会, 1987.
- 7) 米山剛一<sup>1)</sup>, 福田悠, 石崎正通<sup>1)</sup>, 内山正一<sup>1)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup>, 岸川テル子<sup>2)</sup>, 西中健二<sup>3)</sup>, 荒木勤<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>第1病理,  
<sup>2)</sup>中央電顕室, <sup>3)</sup>産婦人科 ) : 〔一般講演〕肺サーファクタント抗体を用いたウサギ胎仔肺発達の免疫組織化学  
的検討. 第23回日本新生児学会総会, 1987.
- 8) 小海信一<sup>1)</sup>, 猪口直美<sup>1)</sup>, 太田真夫<sup>1)</sup>, 金沢正邦<sup>1)</sup>, 早川弘一<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>1)</sup>, 米山剛一<sup>2)</sup>, 福田悠, 馬杉洋三<sup>2)</sup>  
( <sup>1)</sup>第1内科, <sup>2)</sup>第1病理 ) : 〔一般講演〕大動脈炎症候群に合併したネフローゼ症候群 (膜性増殖性糸球体腎  
炎) の一例. 第361回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 9) 鈴木恒道: 〔一般講演〕高齢者粟粒結核症の1剖検例. 第5回関東老年病学会研究会, 1987.

## 〔付属病院中央検査部〕

### 研究概要

系統的な研究は糖尿病患者の運動trainingについて, 殊にSD ratにStreptozotocinを与えて臓器組織に及ぼす影響, 年齢群の比較などとともに臨床的には臓器組織の採取は困難なために, 赤血球と血清遊離アミノ酸で比較しえるかを検討した. 糖尿病controlの指標として血中3・OHBAやFructosamineの有用性を検討した.

各部門においてはそれぞれの観察が行われた. ①血液部門では使用中の分析機 (Sysmex CC-780) と異常血球との関連, Peroxidase陽性細胞とTdT細胞の混在した急性白血病, 白血病のTdT活性. ②一般部門では尿中酵素, 殊に有形成分と酵素との関連. ③血清部門ではHep-2細胞を用いたANA検出, Chlamydia trachomatis抗原, 急性肝炎時の抗核抗体検出. ④細菌部門では抗酸菌の経年観察, Gram陰性桿菌の迅速硝酸塩還元試験, 病理解剖時の細菌検索, PNB培地のdisc化, 手術部内の空中浮遊細菌の清浄度. ⑤RI・内分泌部門では腫瘍markerの婦人科疾患, 脾臓および胆嚢疾患, TPA, NSEなどに関する観察, PSTI, Ferritin, RASTによるreaginの経年観察などである.

### 研究業績

#### 著書

- 1) 皆川彰: 〔分担〕高血圧, 動脈硬化, 高脂血症, 高尿酸血症などを合併している場合. “糖尿病運動療法のでびき 第二版” (糖尿病治療研究会編), p.100~106, 医歯薬出版, 1988.

#### 学会発表

- 1) 新井豊, 野本剛史, 本山三生: 〔一般講演〕Tumor markerによる臨床的評価 (第一報). 特に婦人科疾患を中心として. 第36回日本臨床衛生検査学会総会, 1987.
- 2) 新井豊, 野本剛史, 本山三生: 〔一般講演〕Tumor markerによる臨床的評価 (第二報). 特に脾臓・胆のう系疾患を中心として. 第36回日本臨床衛生検査学会総会, 1987.
- 3) 野本剛史, 小島陸奥子, 新井豊, 本山三生: 〔一般講演〕日常検査としてのFerritin値に関する一考察. 第36回日本臨床衛生検査学会総会, 1987.
- 4) 小島陸奥子, 新井豊, 野本剛史, 本山三生, 皆川彰: 〔一般講演〕腫瘍markerによる疾患別検索例 (第八報). 特にTPA値の利用効果について. 第36回日本臨床衛生検査学会総会, 1987.
- 5) 野本剛史, 小島陸奥子, 新井豊, 本山三生: 〔一般講演〕腫瘍markerによる疾患別検索例 (第九報). 特に組織型別分類とNSE値について. 第36回日本臨床衛生検査学会総会, 1987.
- 6) 高木豊, 佐藤寛之, 野本剛史, 本山三生, 皆川彰: 〔一般講演〕尿中酵素の臨床的意義 (第二報). 特に有形成

- 分と酵素の検討。第36回日本臨床衛生検査学会総会，1987.
- 7) 亀山雅弥，福田高久，本山三生，皆川彰：〔一般講演〕Sysmex CC-780測定データに異常血球が関与した例。第36回日本臨床衛生検査学会総会，1987.
  - 8) 堀川龍是，野原秀明，町田幸優，佐藤寛之，斉藤公一，皆川彰，眞鍋辰哉<sup>1)</sup>，太田真夫<sup>1)</sup>，清水順治<sup>1)</sup>，橋本英洋<sup>1)</sup>，大竹稔<sup>1)</sup>，奥村英正<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1内科）：〔一般講演〕糖尿病コントロールの指標としての血中3・OHBA測定の意義。第30回日本糖尿病学会総会，1987.
  - 9) 日ノ澤進一郎，福田高久，池野廣幸，本山三生，皆川彰：〔展示〕ペルオキシダーゼ陽性細胞とTb T陽性細胞が混在した急性白血病。第36回日本臨床衛生検査学会，1987.
  - 10) 福田高久，日ノ澤進一郎，池野廣幸，本山三生，皆川彰：〔展示〕白血病におけるTd T活性の検討。第36回日本臨床衛生検査学会，1987.
  - 11) 青砥泰二，池野廣幸，本山三生，皆川彰：〔展示〕グラム陰性桿菌における迅速硝酸塩還元試験の検討（第一報）。第36回日本臨床衛生検査学会，1987.
  - 12) 池野廣幸，本山三生：〔展示〕病理解剖時の細菌学的検索。第36回日本臨床衛生検査学会，1987.
  - 13) 池野廣幸，本山三生：〔展示〕PNB培地のディスク化について；信頼性の検討。第36回日本臨床衛生検査学会，1987.
  - 14) 野本剛史，小島陸奥子，新井豊，本山三生：〔一般講演〕脾疾患におけるCombination assayの評価（第二報）。脾酵素とPSTI値の対比について。第36回日本臨床衛生検査学会総会，1987.
  - 15) 皆川彰，本山三生，青山昭徳<sup>1)</sup>，鳥袋全哲<sup>1)</sup>，渋谷昌彦<sup>1)</sup>，瀬川純子，高山弘平（<sup>1)</sup>臨床病理）：〔展示〕STZ糖尿病ラットの代謝位相に及ぼすtrainingの影響について（第八報）。第30回日本糖尿病学会総会，1987.
  - 16) 遠藤満里子，森文子，野本剛史，本山三生，皆川彰：〔展示〕Hep-2細胞を用いたANA検出法。第55回日本医科大学医学会総会，1987.
  - 17) 佐藤美砂，鈴木美穂，金子美保子，本山三生，皆川彰：〔展示〕過去5年間における抗酸菌検出の動向。第55回日本医科大学医学会総会，1987.
  - 18) 瀬川純子，皆川彰，高山弘平，吉田興一<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>吉田機司病院）：〔一般講演〕赤血球内遊離アミノ酸測定の意義についての検討。第55回日本医科大学医学会総会，1987.
  - 19) 池野廣幸，本山三生，皆川彰，内田孝子，金子栄子，大川共一<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>中央手術部）：〔一般講演〕中央手術部における清浄度について；空中浮遊細菌数と検出菌。第9回日本手術部医学会総会，1987.
  - 20) 池野廣幸，佐藤美砂，鈴木美穂，本山三生，皆川彰，横村英子<sup>1)</sup>，大川共一<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>看護部，<sup>2)</sup>中央手術部）：〔一般講演〕手術室における空中浮遊細菌の測定について。第34回日本臨床病理学会総会，1987.
  - 21) 堀川龍是，町田幸優，斉藤公一，皆川彰，眞鍋辰哉<sup>1)</sup>，富田喜文<sup>1)</sup>，太田真夫<sup>1)</sup>，清水順治<sup>1)</sup>，橋本英洋<sup>1)</sup>，大竹稔<sup>1)</sup>，奥村英正<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1内科）：〔一般講演〕糖尿病コントロールの指標としての血中3・OHBA測定の重要性について。第29回日本老年医学会総会，1987.
  - 22) 皆川彰，本山三生，瀬川純子，高山弘平，青山昭徳<sup>1)</sup>，鳥袋全哲<sup>1)</sup>，渋谷昌彦<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>臨床病理）：〔一般講演〕ST2糖尿病ラットにおける運動トレーニングの影響；特に高齢群について。第29回日本老年医学会総会，1987.
  - 23) 皆川彰，瀬川純子，高山弘平：〔一般講演〕細胞内外のアミノ酸の検討。第34回日本臨床病理学会総会，1987.
  - 24) 森文子，野本剛史，本山三生，皆川彰：〔一般講演〕Chlamydia trachomatis抗原検出例（第一報）。主に検出法の成績例について。第24回関東甲信地区臨床衛生検査学会，1987.
  - 25) 野本剛史，森文子，本山三生，皆川彰：〔一般講演〕Chlamydia trachomatis抗原検出例（第二報）。特に婦人科領域における経過観察例について。第24回関東甲信地区臨床衛生検査学会，1987.
  - 26) 森文子，野本剛史，本山三生，皆川彰：〔一般講演〕疾患別抗核抗体検出例；特に急性肝炎を対象として。第24

回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1987.

- 27) 野本剛史, 本山三生, 皆川彰: [一般講演] RAST法による各種 reagin 濃度と陽性率推移 (第四報). 過去七年間の推移を振り返って. 第24回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1987.
- 28) 池野廣幸, 本山三生, 皆川彰: [一般講演] 患者由来黄色ブドウ球菌の生物学的性状. 第24回関東甲信地区臨床衛生検査学会, 1987.
- 29) 堀川龍是, 皆川彰, 町田幸優, 監物正視<sup>1)</sup>, 丸山昭治<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>相互生物医学研究所): [一般講演] 糖尿病患者におけるFructosamineの臨床的意義について. 第25回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 1988.
- 30) 皆川彰, 瀬川純子, 高山弘平, 吉田興一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>吉田機司病院): [一般講演] 糖尿病患者の赤血球遊離アミノ酸測定の意義についての検討. 第25回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 1988.
- 31) 野本剛史: [一般講演] RIA法の現状とノンアイソトピック化への試み. 第5回私立医科大学臨床検査技師会学会学術研修会, 1988.
- 32) 内田孝子<sup>1)</sup>, 高岡雅子<sup>1)</sup>, 金子栄子<sup>1)</sup>, 大川共一<sup>1)</sup>, 池野廣幸, 本山三生, 皆川彰 (<sup>1)</sup>中央手術部): [一般講演] 中央手術部の環境清浄度について. 第3回日本環境感染学会総会, 1988.
- 33) 斉藤公一: [一般講演] ネフロメーターによる血清検査の自動化. 第5回私立医科大学臨床検査技師会学術研修会, 1988.
- 34) 皆川彰: [シンポジウム] 今後の臨床検査業務に求む条件 (主題: 検査部長の立場から). 第5回私立医科大学臨床検査技師会学術研修会, 1988.

## 20. 第一病院付置施設等

### [第一病院人工透析室]

#### 研究概要

##### 1. 慢性腎不全患者の血液透析中における脳血流量の測定

本研究の成果はすでに, たびたび学会に発表してきたところであるが, その成果を荒井の原著論文として, 日本医科大学雑誌に投稿し, 第55巻第3号に掲載予定である.

現在はさらに透析患者の脳代謝について, 検討を加えつつある.

##### 2. 透析患者におけるHDL・LDL glycosylationについて

透析患者に合併する脂質代謝異常は, 加齢・脈管病変に密接に関与しており, 最近glycosylated LDLが注目されている. 透析患者にこのglycosylated LDLが高値を示し, 糖尿病を基礎とする透析患者は慢性腎炎を基礎とする群に比し, 有意に高値を示し, 動脈硬化, 血管病変にこれの関与が考えられる. 引き続き, 検討を加えている. 症例報告に多数のものがあるが主要なものについて述べる.

##### 1) 急性腎不全を契機に発見されたMcArdle病の一例.

軽度の運動により急性腎不全を呈し, 当初は横紋筋融解によるものかと思われたが, 精査の結果, 糖原病の一種であるMcArdle病であったまれな1例である.

##### 2) shunt nephritisの1例

交通事故外傷後, 脳腔に挿入されたカテーテルの細菌感染により惹起された腎炎で, カテーテル抜去により腎炎も軽快し, 前後において腎生検も行って確認された貴重な1例である.

##### 3) Catheter留置により鎖骨静脈内血栓を生じた1透析症例.



緊急透析導入時には鎖骨下静脈にカテーテルを挿入して行ったりする機会が多いが、この部位に血栓形成をきたすと、同側のシャント作製は不可能になるので、シャント作製を予期する反対側への挿入を啓蒙した症例である。

## 研究業績

### 論文

- 1) 赫彰郎, 原一男: [総説] 亜急性壊死性リンパ節炎. 日医新報ジュニア版, No267, 3~7, 1987.

### 学会発表

- 1) 大藺英一<sup>1)</sup>, 河辺満彦<sup>1)</sup>, 荒井龍彦<sup>1)</sup>, 葉山修陽<sup>1)</sup>, 鈴木悟<sup>1)</sup>, 神谷達司<sup>1)</sup>, 原一男<sup>1)</sup>, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 石崎正通<sup>2)</sup>, 山中宣昭<sup>2)</sup>, 馬杉洋三<sup>2)</sup> (第2内科, 第1病理): [一般講演] 障害物競走で横紋筋融解症から急性腎不全をきたした, 潜在性筋疾患が疑われた1症例. 第17回日本腎臓学会東部部会, 1987.
- 2) 河辺満彦<sup>1)</sup>, 荒井龍彦<sup>1)</sup>, 葉山修陽<sup>1)</sup>, 原一男<sup>1)</sup>, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 石崎正通<sup>2)</sup>, 山中宣昭<sup>2)</sup>, 馬杉洋三<sup>2)</sup>, 勝野浩<sup>3)</sup>, 栗原怜<sup>3)</sup> (第2内科, 第1病理, 立正佼正会中野病院): [一般講演] 血漿交換及びpulse療法により著効を示した急速進行性糸球体腎炎の1症例. 第17回日本腎臓学会東部部会, 1987.
- 3) 若林良則, 松信精一, 青山純夫, 葉山修陽, 原一男, 赫彰郎: [一般講演] 抗てんかん薬の長期連用患者に認められた低Na血症の1例. 第364回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 4) 葉山修陽, 福生吉裕, 村松忠, 河辺満彦, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎: [一般講演] 高脂血症におけるLDL-apheresis治療効果について. プラスマフェレーシス治療研究会第7回シンポジウム, 1987.
- 5) 福生吉裕<sup>1)</sup>, 葉山修陽<sup>1)</sup>, 永島幹夫<sup>1)</sup>, 小山潤三<sup>1)</sup>, 原一男<sup>1)</sup>, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 王城龍義<sup>2)</sup>, 瀬田健一<sup>2)</sup> (第2内科, 老人病研究所付属病院): [一般講演] LDL-apheresisのCTX患者への応用. プラスマフェレーシス治療研究会第7回シンポジウム, 1987.
- 6) 大藺英一, 鈴木悟, 葉山修陽, 原一男, 赫彰郎: [一般講演] 急性腎不全を契機に発見されたMcArdle病の1例. 第101回日本神経学会関東地方会, 1987.
- 7) 鈴木秀徳<sup>1)</sup>, 葉山修陽<sup>1)</sup>, 小林陽一<sup>1)</sup>, 原一男<sup>1)</sup>, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 金川卓郎<sup>2)</sup> (第2内科, 田尻ヶ丘病院): [一般講演] Shunt nephritisの1自験例. 第365回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 8) 小宮山佐, 酒寄修, 添田敏幸, 北村伸, 溝口正明, 手塚博幸, 原一男, 赫彰郎: [一般講演] Positron emission CTで早期に病態を把握しえたCreutzfeld-Jakob病の1症例. 第366回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 9) 葉山修陽, 河辺満彦, 荒井龍彦, 原一男, 赫彰郎: [一般講演] Catheter留置により鎖骨下静脈内血栓を生じた一透析症例. 第32回日本透析療法学会総会, 1987.
- 10) 重田俊一<sup>1)</sup>, 小島直志<sup>1)</sup>, 路川健<sup>1)</sup>, 加藤仁志<sup>1)</sup>, 飯田正美<sup>1)</sup>, 溝口正明<sup>1)</sup>, 永積惇<sup>1)</sup>, 原一男<sup>1)</sup>, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 木村剛<sup>2)</sup> (第2内科, 第1病理): [一般講演] 高齢発症したprogressive systemic sclerosisの1剖検例. 第367回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 11) 原一男, 荒井龍彦, 大藺英一, 葉山修陽, 赫彰郎: [一般講演] 尿中酵素L-alanine aminopeptidase (AAP) 測定の臨床的意義について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 12) 田中宏治<sup>1)</sup>, 田中昌彦<sup>1)</sup>, 秋丸琥甫<sup>1)</sup>, 田中良男<sup>1)</sup>, 金内秀士<sup>1)</sup>, 庄司佑<sup>1)</sup>, 原一男<sup>2)</sup> (第2外科, 第2内科): [一般講演] 沈澱法 (salt-amino acid coprecipitation (SAC) 法) による免疫抑制物質の除去. 第25回日本病治療学会総会, 1987.
- 13) 葉山修陽<sup>1)</sup>, 羽田和正<sup>1)</sup>, 大藺英一<sup>1)</sup>, 荒井龍彦<sup>1)</sup>, 原一男<sup>1)</sup>, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 中島信治<sup>2)</sup>, 栗原怜<sup>3)</sup>, 河辺満彦<sup>3)</sup>, 米島秀夫<sup>3)</sup> (第2内科, 老人病研究所, 春日部秀和病院内科): [一般講演] 透析患者におけるHDL/LDLglycosylationについて; 糖尿病性腎症を中心に. 第30回日本腎臓学会総会, 1987.

- 14) 小宮山佐, 酒寄修, 重田俊一, 飯田正美, 溝口正明, 永積惇, 原一男, 赫彰郎: [一般講演] Hemodilution therapy にて著明な神経症状の改善をみた脳血栓症の1例. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 15) 荒井龍彦<sup>1)</sup>, 大森容子<sup>1)</sup>, 大園英一<sup>1)</sup>, 葉山修陽<sup>1)</sup>, 原一男<sup>1)</sup>, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 河辺満彦<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第2内科, <sup>2)</sup>春日部秀和病院腎内科): [一般講演] 血漿交換およびPulse療法が著効を示したRPGN. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.
- 16) 臼田和弘<sup>1)</sup>, 千葉隆胤<sup>1)</sup>, 飯田正美<sup>1)</sup>, 溝口正明<sup>1)</sup>, 原一男<sup>1)</sup>, 赫彰郎<sup>1)</sup>, 西中健二<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>第2内科, <sup>2)</sup>第1病理): [一般講演] 著明な末梢血好酸球増多を伴った肺癌(腺癌)の1例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.

## 21. 第二病院付置施設等

### [第二病院健康管理科]

#### 研究概要

健康管理科が発足して, 約5年が経過した. この間, 老人人口の急激な増加は, 現代社会にいろいろの波紋をなげかけている.

人々は, 自己の健康管理に強い関心を持つようになった. この点において, 健康管理科の活動の意義は極めて大きい. 本科の重要な部分を占める健康診断は疾患の早期発見, 健康の危険度を予測することができる.

そこで, 前回に引き続き, 個々のライフスタイルと疾患との関係につき検討を加えた.

- 1) 喫煙者と血中HDL - コレステロールとの関係について.
- 2) 喫煙者の負荷心電図に及ぼす影響.
- 3) 境界型糖尿病患者と肥満度との関係について, 調査した. いずれも有意な結果を得ることができた.

また, 今回の人間ドック学会の総会においては, 人間ドック者の微熱の意義について発表したところ, 極めて意義ある演題として高く評価された.

今後は, 個々のライフスタイルと疾患の諸因子に及ぼす影響について検討をすすめるつもりである.

#### 研究業績

##### 学会発表

- 1) 関谷政雄, 山田紀道: [一般講演] 人間ドック者にみられる微熱の意義. 第28回日本人間ドック学会総会, 1987.

### [第二病院病理部]

#### 研究概要

第二病院病理部は創設2年目を迎えたことになったが, 第二病院臨床各科の御協力と御支援により第二病院カンファレンスが実施されるようになった. 当業績年報に掲載されることはないが, 悪性腫瘍の早期発見と治療, 混合型膠原病の病態, 産科の急性転帰症例の実態などが討論された. それぞれの症例において, 放射線科による読影, 内科によるベッドサイドや検査データの解析, 外科の手術所見の解説, 皮膚科視診, プローベの解説などを基盤としたマルチチャンネルアプローチ方式がとられるようになってきた. 患者をめぐる専門家の意見が拝聴できる環境が徐々に整いつつあるのが現状であろう. その際千駄木の両病理教室よりは多大な御助言と御援助が得られ勇気を与えられたのも事実であり, 馬杉教授, 浅野教授の御指導に感謝申し上げます.

さて研究面においては以下のようにまとめられよう.

### 1. 免疫現象発現に関与するtarget cellの把握

マスト細胞が皮膚、鼻咽頭、下気道肺胞に分布し、アレルギーや慢性炎症で反応型に転換すること、さらに正常中枢神経に特異的分布を示し生理学的役割を担っている可能性を示唆するところまで理解できた。また抗原伝達樹状細胞が肉芽腫形成性皮膚、呼吸器疾患の発現に必要である事実を見出した。

### 2. 各種間質性肺疾患出現に関与する細胞動態

呼吸器疾患患者の診断ならびに病態フォローに不可欠となりつつある気管支肺胞洗浄法(BAL)が付属、第一、第二各病院の放射線科を中心に実施され当病理部で分析しつつある。合計約130検体で患者病態の診断と研究を行った。

### 3. 肺組織傷害の発生機序と形態

BALの細胞分画の算定により肺胞・気道病変の進行状態が把握できつつあり、肺生検を読むことで対比的考察が可能となった。救命救急センター大塚教授ほか諸先生の御支援により肺における急性傷害像を理解する手掛りが得られつつある。現在、次のステップとしてARDS病態解明と治療へのアプローチを継続しつつある。

## 研究業績

### 論文

- 1) 川並汪一：〔原著〕救命救急センターにおけるMOF；とくに重症熱傷例の呼吸器病理について。病理と臨床，5，542～551，1987。
- 2) 青木見佳子<sup>1)</sup>，川並汪一，石崎正通<sup>1)</sup>，馬杉洋三<sup>1)</sup>，本田光芳<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第1病理，<sup>2)</sup>皮膚科）：〔原著〕肉芽腫形成性皮膚疾患におけるランゲルハンス細胞の動態。アレルギー，36，337～344，1987。
- 3) 青木見佳子<sup>1)</sup>，矢島純<sup>1)</sup>，服部怜美<sup>1)</sup>，本田光芳<sup>1)</sup>，川並汪一，池川修一<sup>2)</sup>，石原和之<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>皮膚科，<sup>2)</sup>国立がんセンター皮膚科）：〔原著〕悪性血管内皮細胞腫の2例。臨皮，41，811～816，1987。
- 4) 川並汪一，青木見佳子<sup>1)</sup>，三宅弘章<sup>1)</sup>，務川靖<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>第1病理，<sup>2)</sup>付属病院小児科）：〔原著〕過敏性肺炎におけるランゲルハンス細胞系抗原提示細胞の役割について。アレルギー，36，999～1005，1987。
- 5) 川並汪一：〔原著〕肺線維化の発症機序；病理形態学的立場より（特集：Biomedical Scienceの進歩と線維化）。最新医学，42，1926～1939，1988。
- 6) 川並汪一：〔講座〕肺の細胞；呼吸器系各細胞間のネットワーク機能。呼吸，7，53～58，1988。
- 7) 新井孝司<sup>1)</sup>，川並汪一，馬杉洋三<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第1病理）：〔原著〕肥満細胞遊走性の血液-脳関門による制御機構について。臨病理，36，213～216，1988。
- 8) Tanaka,M.<sup>1)</sup>，Kawanami,O.，Sato,M.<sup>2)</sup>，Yamaguchi,K.<sup>2)</sup>，Okada,Y.<sup>2)</sup> and Yamasawa,F.<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup>慶大放診部，<sup>2)</sup>慶大内科）：〔原著〕Endoscopic observation of peripheral airway lesions. Chest，93，228～233，1988。
- 9) 青木見佳子（第1病理）：〔原著〕ヒト皮膚マスト細胞の組織化学的・超微形態学的多様性。アレルギー，37，166～173，1988。
- 10) 太田吉男：〔原著〕呼吸器の細胞診。病態生理，51，19～22，1988。

### 著書

- 1) 川並汪一：〔編集〕特集によせて。“細胞”（川並汪一編），第19巻，p.152～154，ニュー・サイエンス社，1987。
- 2) 青海川秀敏<sup>1)</sup>，川並汪一（<sup>1)</sup>付属病院放射線科）：〔分担〕BALの手技と回収される細胞について。“細胞”（川並汪一編），第19巻，p.155～157，ニュー・サイエンス社，1987。
- 3) 福田悠<sup>1)</sup>，川並汪一（<sup>1)</sup>第1病理）：〔分担〕BAL細胞中のランゲルハンス細胞。“細胞”（川並汪一編），第

19巻, p.169~174, ニュー・サイエンス社, 1987.

- 4) 川並汪一: [共著] ヒト肥満細胞の系統的分布と病態生理学的意義について. “Mast cell と好塩基球をめぐって” (宮本昭正編), p. 2 ~17, メディカル・トリビュン企画, 1987.

#### 学会発表

- 1) 品川洋一<sup>1)</sup>, 太田裕子<sup>1)</sup>, 木村方美<sup>1)</sup>, 古井民一郎<sup>1)</sup>, 太田秀穂<sup>1)</sup>, 福永淳<sup>2)</sup>, 佐藤雅史<sup>2)</sup>, 渡部英之<sup>2)</sup>, 山岸嘉彦<sup>2)</sup>, 川並汪一 ( <sup>1)</sup>第二病院小児科, <sup>2)</sup>同放射線科 ): [一般講演] 下痢を誘因とした迷入脾による腸重積症の一例, 第18回臨床小児放射線研究会, 1987.
- 2) 努尔阿不都斯力木<sup>1)</sup>, 三樹勝<sup>1)</sup>, 天野純治<sup>1)</sup>, 土屋喜哉<sup>1)</sup>, 赤岩順<sup>1)</sup>, 桜井蔚生<sup>1)</sup>, 河島文幸<sup>1)</sup>, 原一郎<sup>1)</sup>, 平井真実<sup>1)</sup>, 望月功<sup>1)</sup>, 久吉隆郎<sup>1)</sup>, 田崎博也<sup>1)</sup>, 松林博男<sup>1)</sup>, 田崎達也<sup>1)</sup>, 川並汪一, 原亨 ( <sup>1)</sup>第二病院外科 ): [一般講演] 早期胃癌の内視鏡像と病理組織像の検討 第1報. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 3) 難波亨<sup>1)</sup>, 葉山典泰<sup>1)</sup>, 田崎達也<sup>2)</sup>, 久吉隆郎<sup>2)</sup>, 平田正信<sup>2)</sup>, 土屋喜哉<sup>2)</sup>, 天野純治<sup>2)</sup>, 三樹勝<sup>2)</sup>, 佐藤雅史<sup>2)</sup>, 山岸嘉彦<sup>2)</sup>, 川並汪一 ( <sup>1)</sup>国立立川病院外科, <sup>2)</sup>第二病院外科, <sup>3)</sup>同放射線科 ): [展示] 切除後に脳転移を来した25歳女性肺腺癌の1例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 4) 太田吉男, 大庭孝男, 川並汪一, 三樹勝<sup>1)</sup>, 久吉隆郎<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第二病院外科 ): [示説] 胸腺原発カルチノイド捺印細胞診. 第26回日本臨床細胞学会秋期大会学術講演会, 1987.
- 5) 青木見佳子<sup>1)</sup>, 川並汪一, 本田光芳<sup>2)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1病理, <sup>2)</sup>付属皮膚科 ): [一般講演] 肥満細胞の皮膚病変への関与と顆粒形態について. 第37回日本アレルギー学会総会, 1987.
- 6) 青木見佳子<sup>1)</sup>, 川並汪一, 石崎正通<sup>1)</sup>, 本田光芳<sup>2)</sup>, 馬杉洋三<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第1病理, <sup>2)</sup>付属皮膚科 ): [一般講演] 肉芽腫形成性皮膚疾患における樹状細胞およびリンパ球の動態. 第37回日本アレルギー学会総会, 1987.
- 7) 川並汪一, 小笹潔<sup>1)</sup>, 岩崎孝一<sup>1)</sup>, 松本譲二<sup>1)</sup>, 石原楷輔<sup>1)</sup>, 菊池三郎<sup>1)</sup>, ( <sup>1)</sup>第二病院産婦人科 ): [一般講演] 子宮筋腫の悪性化. 日本医科大学医学会第64回例会. 1988.
- 8) 岩本正彦<sup>1)</sup>, 嶋崎譲<sup>1)</sup>, 松原貴規<sup>1)</sup>, 藤井裕介<sup>1)</sup>, 斉藤正人<sup>1)</sup>, 上田征夫<sup>1)</sup>, 原文男<sup>1)</sup>, 福永淳<sup>2)</sup>, 佐藤雅史<sup>2)</sup>, 川並汪一 ( <sup>1)</sup>第二病院内科, <sup>2)</sup>同放射線科 ): [一般講演] 右心房内腫瘍栓の発育を生前に診断しえた肝細胞癌の1例. 日本医科大学医学会第64回例会. 1988.
- 9) 田中満<sup>1)</sup>, 甲田英一<sup>1)</sup>, 陳崎雅弘<sup>1)</sup>, 田中治<sup>1)</sup>, 佐藤勝<sup>2)</sup>, 山口佳寿博<sup>2)</sup>, 岡田泰昌<sup>2)</sup>, 山沢文裕<sup>2)</sup>, 川並汪一, 三井健司<sup>3)</sup>, ( <sup>1)</sup>慶大放射線診断部, <sup>2)</sup>慶大内科, <sup>3)</sup>川崎中央病院内科 ): [一般講演] 気管支喘息の末梢気道に関する形態学的研究. 第47回日本医学放射線学会学術発表会. 1988.

#### [第二病院中央検査室]

##### 研究業績

##### 学会発表

- 1) 関洋子, 多田須美子, 津金香代子, 井上雅則, 飯野幸永, 原文男<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>第二病院内科 ): [一般講演] EL - 1000 による  $\beta_2$  - microglobulin 定量の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 2) 福田節子, 金光由美子, 玉手ひさ子, 蘭美砂代, 小伊藤保雄, 渡辺春子, 飯野幸永, 原文男<sup>1)</sup> (第二病院内科 ): [展示] THMS と他法との比較検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 3) 小伊藤保雄, 福田節子, 蘭美砂代, 渡辺春子, 金光由美子, 玉手ひさ子, 飯野幸永, 原文男<sup>1)</sup> (第二病院内科 ): [展示] Coag - A・Mate・XCに関する基礎的検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 4) 小松隆則, 常田美由紀, 畑哲, 飯野幸永, 原文男<sup>1)</sup> (第二病院内科 ): [展示] GOD 固定化酵素を用いた電極法によるグルコース測定について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.

## 〔第二病院薬剤科〕

### 研究概要

従来、ややもすれば業務の流れを中心に考えられてきた薬剤科業務を見直し、より患者サイドに立った薬剤科業務を実施するため、これまで、「患者志向による薬剤科業務の再検討」、「患者の服薬に関するノンコンプライアンス防止」を、主研究テーマとして取り組んできた。62年度も、この方向に沿って研究、検討がなされた。

#### 1. 入院調剤方式について

従来、一律に実施してきた入院調剤方式を見直し、薬物治療上重要な薬剤服用患者、および特にケアを必要とする患者を中心に考え、2種類の方式を組み合わせた調剤方式について研究し発表した。

#### 2. 調剤過誤防止対策について

本来、患者の利益を守る立場にある薬剤師が、調剤過誤により、患者に害を与えることは絶対にあってはならない。この観点から、医師の処方せん記載時まで含めた、従来より広い過誤防止対策について研究し発表した。

#### 3. 服薬指導について

患者が、医師の指示どおり服薬（使用）しないことは、医師の治療方針を困難にするばかりでなく、患者にとっても種々の不利益をもたらす。そこで、外来患者に対しては「薬相談室」の開設、入院患者に対しては、「退院時服薬指導」を内科病棟のみ試験的に開始した。

#### 4. 薬品管理用コンピューターの開発

病院支出に占める薬品費の割合は、人件費に次いで多く、薬品を効率よく管理することは、病院経営上からも重要である。そこで、これまで使用してきた機種 of 更新にあたり、より効率の良い管理を目指したソフトの開発に着手した。

#### 5. 消毒薬について

消毒薬を効率良く使用することは、院内感染の防止および経済性からも重要である。そこで、文献検索により作成された当院の「消毒薬マニュアル」を再検討するため、各種消毒薬の効果に関する実験を開始した。

### 研究業績

#### 学会発表

- 1) 赤羽伸一、佐藤陽一、岩上正明、平野公晟、原敦子<sup>1)</sup>（<sup>1)</sup>第2病院看護部）：〔一般講演〕患者志向による調剤業務の再検討（その2）、入院調剤方式について。日本病院薬剤師会第17回関東ブロック学術大会、1987。
- 2) 小坂好男、小野敏和、永楽ひとみ、平野公晟：〔一般講演〕患者志向による調剤業務の再検討（その3）。誤投薬防止対策について。日本病院薬剤師会第17回関東ブロック学術大会、1987。
- 3) 藤田武久<sup>1)</sup>、渋井展子<sup>1)</sup>、橋本清<sup>1)</sup>、太田秀穂<sup>1)</sup>、小坂好男、伊藤桂子、平野公晟（<sup>1)</sup>第2病院小児科）：〔一般講演〕てんかん患児におけるバルプロ酸ナトリウムの朝服薬前血中濃度に関する研究；特にL/D比について。第55回日本医科大学医学会総会、1987。

## 22. 多摩永山病院付置施設等

### 〔多摩永山病院救命救急センター〕

#### 研究概要

当施設は第一外科が運営の主体であるため、外傷、消化器疾患を主とした臨床研究を行っている。

胸部外傷に伴う呼吸機能の変動、外傷性ショックの病態、腹部外傷を伴う多発外傷、さらに薬物中毒に対する血液浄化法等であり、放射線科と共同で胸、腹部外傷の画像診断についても研究を進めている。

#### 研究業績

##### 学会発表

- 1) 宿前貴子<sup>1)</sup>, 村田正弘<sup>1)</sup>, 小田彰<sup>(<sup>1)</sup>多摩永山病院薬剤科)</sup> : 〔一般講演〕農薬中毒に対する情報提供と処置の問題. 第9回中毒研究会, 1987.
- 2) 山口裕通, 山田智彦, 和田英理, 小田彰, 汲田伸一郎<sup>1)</sup>, 有竹澄江<sup>1)</sup>, 高岩成光<sup>1)</sup>, 山本鼎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院放射線科) : 〔一般講演〕肝挫傷のCTによる考察. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 3) 汲田伸一郎<sup>1)</sup>, 有竹澄江<sup>1)</sup>, 高岩成光<sup>1)</sup>, 山本鼎<sup>1)</sup>, 山口裕通, 山田智彦, 和田英理, 小田彰 (<sup>1)</sup>多摩永山病院放射線科) : 〔一般講演〕肺挫傷の画像診断; CT所見を中心に. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 4) 山田智彦, 小田彰, 和田英理, 塩田吉宣, 安東俊明, 谷口善郎, 吉岡正智<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院外科) : 〔一般講演〕多彩な病態を呈した多発外傷の1例. 第36回城西外科研究会, 1988.

### 〔多摩永山病院病理検査室〕

#### 研究概要

研究概要は昨年度と基本的に同様である。すなわち診断業務（剖検，生検，細胞診）を充実させ，その結果を研究に用いることができるような内容にすることに心がけている。例えば①剖検時の細菌感染の実態およびその薬剤感受性試験。②乳癌におけるEstrogen Receptorのretrospectiveな判定。③乳癌における細胞質内小腺腔の診断的意義，などである。

新しい試みとして行っている外来迅速細胞診も，悪性腫瘍の早期発見の一手段として順調に行われ，患者も増加している。

Estrogenによる誘発腫瘍の動物実験でも，下垂体腫瘍あるいは子宮内膜増殖症などが発生し，これらについて電顕的・免疫組織化学的に検索中である。

#### 研究業績

##### 論文

- 1) 中尾充<sup>1)</sup>, 吉岡正智<sup>1)</sup>, 田中洋介<sup>1)</sup>, 和田勲武<sup>1)</sup>, 細井通則<sup>1)</sup>, 小西清二<sup>1)</sup>, 野田泰嗣<sup>1)</sup>, 的場文夫<sup>1)</sup>, 前田昭太郎 (<sup>1)</sup>多摩永山病院外科) : 〔報告〕小腸広範切除を行った急性腹症の2例; Two Cases of Massive Intestinal Resection. 腹部救急診療の進歩, 7, 535~539, 1987.
- 2) 吉岡正智<sup>1)</sup>, 田中洋介<sup>1)</sup>, 和田勲武<sup>1)</sup>, 鳥羽昌仁<sup>1)</sup>, 安東俊明<sup>1)</sup>, 八木和郎<sup>1)</sup>, 前田昭太郎, 恩田昌彦<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院外科, <sup>2)</sup>第1外科) : 〔報告〕診断ならびに治療に難渋した良性胆管狭窄の2症例. 胆道, 2, 186~194, 1988.
- 3) 呉橋宜宗<sup>1)</sup>, 島田早苗<sup>1)</sup>, 岩井芳郎<sup>1)</sup>, 添野真一<sup>1)</sup>, 前田昭太郎, 奥田朗夫, 大塚俊司 (<sup>1)</sup>多摩永山病院耳鼻科) :

〔原著〕咽頭扁桃のAdenoidのFiberscopeによる形態学的観察（第2報）. 咽頭扁桃リンパ球の年齢による変化. 日扁桃誌, 27, 42~47, 1988.

## 学会発表

- 1) 前田昭太郎, 杉山佳世子, 奥田朗夫, 浦川敬子, 大塚俊司, 新宅孝征, 横田隆<sup>1)</sup>, 小山美弥<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>老人病研究所): 〔示説〕乳腺原発骨肉腫の一例. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 2) 奥田朗夫, 杉山佳世子, 浦川敬子, 大塚俊司, 新宅孝征, 前田昭太郎, 丸山美奈子<sup>1)</sup>, 竹内亨<sup>1)</sup>, 金子仁<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>株式会社バイオス, <sup>2)</sup>老人病研究所): 〔示説〕パパニコロ染色脱色標本による悪性リンパ腫のT細胞性, B細胞性鑑別. 第28回日本臨床細胞学会総会, 1987.
- 3) 福間長知<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 奥村英正<sup>2)</sup>, 前田昭太郎, 竹内仁<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>第一内科, <sup>3)</sup>埼玉医大第1内科): 〔一般講演〕原発性マクログロブリン血症経過中に急性白血病を合併した1剖検例. 第365回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 4) 中込明裕<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 草間芳樹<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 前田昭太郎, 早川弘一<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>第1内科): 〔一般講演〕粥腫崩壊による血栓形成のため急死した急性心筋梗塞の一剖検例. 第124回日本循環器学会関東甲信越地方会, 1987.
- 5) 中込明裕<sup>1)</sup>, 福間長知<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 前田昭太郎, 奥村英正<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>第1内科): 〔一般講演〕 $\beta$ -streptococcus A群により大動脈弁穿破を来たした感染性心内膜炎の2例. 第366回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 6) 鳥羽昌仁<sup>1)</sup>, 吉岡正智<sup>1)</sup>, 田中洋介<sup>1)</sup>, 和田勲武<sup>1)</sup>, 細井通則<sup>1)</sup>, 八木五郎<sup>1)</sup>, 安東俊明<sup>1)</sup>, 的場文夫<sup>1)</sup>, 前田昭太郎, 恩田昌彦<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院外科, <sup>2)</sup>第1外科): 〔示説〕診断と治療に難渋した良性胆管狭窄の2例. 第30回日本消化器外科学会総会, 1987.
- 7) 田中洋介<sup>1)</sup>, 吉岡正智<sup>1)</sup>, 和田勲武<sup>1)</sup>, 八木和郎<sup>1)</sup>, 安東俊明<sup>1)</sup>, 鳥羽昌仁<sup>1)</sup>, 樋口勝美<sup>1)</sup>, 上田光孝<sup>1)</sup>, 前田昭太郎, 新宅孝征, 大塚俊司, 杉山佳世子, 恩田昌彦<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院外科, <sup>2)</sup>第1外科): 〔一般講演〕乳癌の早期診断; 穿刺吸引迅速細胞診の有用性について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 8) 大塚俊司, 杉山佳世子, 奥田朗夫, 浦川敬子, 新宅孝征, 前田昭太郎, 吉岡正智<sup>1)</sup>, 田中洋介<sup>1)</sup>, 和田勲武<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院外科): 〔示説〕乳癌におけるエストロゲンレセプターの検討; 特に細胞形態および核DNA量との関係について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 9) 杉山佳世子, 奥田朗夫, 浦川敬子, 大塚俊司, 新宅孝征, 前田昭太郎, 和田勲武<sup>1)</sup>, 田中洋介<sup>1)</sup>, 吉岡正智<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院外科): 〔示説〕乳腺の外來迅速穿刺吸引細胞診. 第26回日本臨床細胞学会秋期大会, 1987.
- 10) 呉橋宜宗<sup>1)</sup>, 島田早苗<sup>1)</sup>, 岩井芳郎<sup>1)</sup>, 添野真一<sup>1)</sup>, 前田昭太郎, 奥田朗夫, 大塚俊司 (<sup>1)</sup>多摩永山病院耳鼻科): 〔一般講演〕咽頭扁桃AdenoidのFiberscopeによる形態学的観察. (第2報) 咽頭扁桃リンパ球の年齢による変化. 第27回日本扁桃研究会総会, 1987.
- 11) 八木和郎<sup>1)</sup>, 吉岡正智<sup>1)</sup>, 田中洋介<sup>1)</sup>, 和田勲武<sup>1)</sup>, 細井通則<sup>1)</sup>, 安東俊明<sup>1)</sup>, 鳥羽昌仁<sup>1)</sup>, 的場文夫<sup>1)</sup>, 前田昭太郎, 新宅孝征, 大塚俊司, 杉山佳世子, 恩田昌彦<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院外科, <sup>2)</sup>第1外科): 〔一般講演〕乳腺腫瘍に対する穿刺吸引細胞診 (迅速診断) の臨床的検討. 第49回日本臨床外科医学会総会, 1987.
- 12) Yamazaki.T.<sup>1)</sup>, Takizawa.T.<sup>2)</sup>, Matsumoto.M.<sup>2)</sup>, Hayakawa.K.<sup>3)</sup>, and Maeda.S.<sup>1)</sup> (横濱北中央病院脳外科, <sup>2)</sup>中央鉄道病院脳外科, <sup>3)</sup>中央鉄道病院病理): 〔一般講演〕Pleomorphic xanthoastrocytoma. Seventh Asian Australasian Congress of Neurological Surgery (Brisbane, Australia), 1987.
- 13) 外山和秀<sup>1)</sup>, 野村忠利<sup>1)</sup>, 三浦義雄<sup>1)</sup>, 中嶋唯夫<sup>1)</sup>, 前田昭太郎 (<sup>1)</sup>多摩永山病院産婦人科): 〔一般講演〕妊娠中期にて常位胎盤早期剝離にDICを併発した急患の1例. 日本医科大学医学会第63回例会, 1987.

- 14) 中込明裕<sup>1)</sup>, 長野具雄<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 前田昭太郎, 奥村英正<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>第1内科 ): [一般講演] 難治性発作性上室性頻拍症に対して房室結節カテーテル電氣的切除を施行した1剖検例. 第369回日本内科学会関東地方会, 1987.
- 15) 長野具雄<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, 前田昭太郎, 奥村英正<sup>2)</sup>, ( <sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>第1内科 ): [一般講演] 著明な脾萎縮を認めたSLEの1剖検例. 第371回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 16) 後藤正道<sup>1)</sup>, 長野具雄<sup>1)</sup>, 中込明裕<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 長澤紘一<sup>1)</sup>, 前田昭太郎, 山本鼎<sup>2)</sup>, 奥村英正<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>同放射線科, <sup>3)</sup>第1内科 ): [一般講演] 腸管内結石を伴い悪性奇形腫と鑑別困難であった脂肪肉腫の一例. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 17) 上田洋一<sup>1)</sup>, 中村辰男<sup>1)</sup>, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 長澤紘一<sup>1)</sup>, 前田昭太郎, 奥村英正<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>多摩永山病院内科, <sup>2)</sup>第1内科 ): [一般講演] びまん性汎細気管支炎様の臨床所見を呈した吸引性肺炎の1剖検例. 第372回日本内科学会関東地方会, 1988.
- 18) 高田月彦<sup>1)</sup>, 吉岡正智<sup>1)</sup>, 田中洋介<sup>1)</sup>, 山田和人<sup>1)</sup>, 樋口勝美<sup>1)</sup>, 上田光孝<sup>1)</sup>, 増森興治<sup>1)</sup>, 山田智彦<sup>1)</sup>, 前田昭太郎 ( <sup>1)</sup>多摩永山病院外科 ): [一般講演] 腸重積により緊急手術された小腸悪性腫瘍の一例. 第36回城西外科研究会, 1988.
- 19) 増森興治<sup>1)</sup>, 吉岡正智<sup>1)</sup>, 田中洋介<sup>1)</sup>, 山田和人<sup>1)</sup>, 樋口勝美<sup>1)</sup>, 上田光孝<sup>1)</sup>, 山田智彦<sup>1)</sup>, 高田月彦<sup>1)</sup>, 前田昭太郎 ( <sup>1)</sup>多摩永山病院外科 ): [一般講演] 十二指腸狭窄症状を呈した糞線虫症の一例. 第36回城西外科研究会, 1988.

## [多摩永山病院中央検査室]

### 研究概要

当検査室では, 原田誠一院長のもとに真菌形態学をSEMを使用し継続的に観察し報告しており, 本年は当院内科, 小児科との協力体制のもとに臨床的検討を加え検査部門別に報告したので記載する.

#### 1. 生理検査部門

血圧の日内変動および家庭生活上の変動を明確にし, 血圧の正確な評価, 降圧剤の効果判定などに有用と思われる長時間記録携帯用血圧計を使用し諸問題を含め報告した.

#### 2. RI検査部門

従来のIgE測定法では低濃度域はバラツキ, 再現性不良がみられたがモノクローナル抗体を使用することにより解消し, 特にアレルギー疾患における小児および臍帯血に注目し検討したので報告した.

#### 3. 細菌検査部門

薬剤感受性試験は原因菌に対し, どの薬剤が有効であるかを目的としているが, 現況はMICによる耐性を検査しているのみであり, 体内の動態は考慮されていないまま平行した有効性が得られぬ結果となっている.

感染症別, 病原菌種別の判定基準の確立が急務と思われるため国際標準法とされているKirby - Bauer法と従来法を比較検討したので報告した.

#### 4. 血液検査部門

血球算定のみならず, 粒度分布曲線も血液検査の指標となることを検討し報告した.

#### 5. その他

従来より観察している *Aspergillus nidulans* の菌学をSEMを使用し報告した.

研究分野も多岐にわたり, 引き続き臨床各科の指導のもとに協力体制を組み, 院内に技術員たる存在を示すべく今後とも研究, 発展に邁進したい.



## 研究業績

### 学会発表

- 1) 倉品修平, 伊佐野京子, 新宅孝征: [一般講演] 臨床細菌検査室における薬剤感受性テストの問題点. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 2) 恩田怜子, 岡敬子, 沢田恵子, 茶谷千歳, 新宅孝征: [展示] 粒度分布曲線の臨床的応用について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 3) 柴田明佳, 石野泰弘, 山本信也, 新宅孝征, 岡部俊成<sup>1)</sup>, 加藤隆司<sup>1)</sup>, 向後俊昭<sup>1)</sup>, 平山恒夫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院小児科): [展示] モノクローナル抗体を用いた高感度 IgE 測定キットの基礎的および臨床的検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 4) 吉田千景, 西島美輝子, 鈴木摩理, 新宅孝征, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup>, (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科): [展示] 長時間記録携帯型血圧計の使用経験. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 5) 原田誠一, 新宅孝征, 大塚俊司, 倉品修平: [展示] *Aspergillus nidulans* の菌学. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.

## [多摩永山病院薬剤科]

### 研究概要

当薬剤科は病院薬局の本来実施すべき薬剤師職能を追求することによって, 実践業務に直結したテーマを中心に研究を心がけている. 臨床各科と共同し, 分析, 合成等の薬剤師の得意とする技術・知識を応用して問題の解決にあたっていきたい.

具体的には標榜した薬物療法を患者個人別に効率化するための試行から, 臨床薬学実践の成果について報告を重ねてきた. 医師に協力して, 薬物療法の個別化のために TDM (薬物の体液内濃度測定) や患者への服薬指導を取り入れることは確実に医療効率を高め, 患者のドロップアウトを防ぐことを証明した. このような cost-benefit を目指した研究は日本では極めて少なく, 1987年の Pan-Pacific Congress での発表以来引き続きこの面の研究に力を入れている.

製剤関連では外科との提携で潰瘍性大腸炎に対する 5-ASA (注腸剤) の適用を進めているが本邦では初めての試みである. 病院薬局製剤に関連した業務基準についても私立医科大学協会翼下の病院の応援を得て提案を行い今後は具体的調査を進めたい.

医薬品情報に関しては早くから情報収集整備と積極的提供に関し考案してきたが, 新たにクリニカル・ファーマシー (C.P.) 支援のための DI の役割に関しハワイでの日米合同薬学会大会で発表した. 新たに中毒研究に関連して情報の迅速提供と物質の確認についての体制を整備していくことを検討中である.

## 研究業績

### 論文

- 1) 前田国光, 田崎みどり, 村田正弘: [原著] シメチシン製剤の製剤学的検討. 医薬ジャーナル, No.267, 2609~2612, 1987.
- 2) 中原保裕: [総説] 情報化社会の中での患者への対応. 月刊薬事, 29, 23~28, 1987.
- 3) 村田正弘: [総説] 病院における薬剤部門のあり方. 病院, 46, 818~820, 1987.
- 4) 村田正弘: [論説] 医薬情報速報誌 INPHARMA ゼミの効用①. クリニカル・ファーマシー, 10号, 64~67, 1987.
- 5) 村田正弘: [論説] 医薬情報速報誌 INPHARMA ゼミの効用②. クリニカル・ファーマシー, 11号, 80~82, 1987.

- 6) 村田正弘：〔論説〕医薬情報速報誌 INPHARMA ゼミの効用③. クリニカル・ファーマシー, 12号, 88～91, 1987.
- 7) 浜田康次, 村田正弘, 椎野元裕<sup>1)</sup>, 谷古字秀<sup>2)</sup>, 矢後和夫<sup>3)</sup>, 南田安紀<sup>4)</sup> (<sup>1)</sup>第二病院薬剤科, <sup>2)</sup>東京女子医大第二病院, <sup>3)</sup>北里大学病院, <sup>4)</sup>兵庫医大病院)：〔論説〕病院薬局製剤の技術・業務の算定基準に関して (II). 日本病院薬剤師会雑誌, 23, 99～102, 1987.
- 8) 中原保裕, 村田正弘, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科)：〔原著〕captopril の血清カリウム値に対する影響の検討. 臨床薬, 19, 175～176, 1988.
- 9) 村田正弘：〔論説〕医薬品について知ってもらおうと患者の服薬が改善されるか. 医のあゆみ, 144, 913～914, 1988.

## 著 書

- 1) 中原保裕, 浜田康次：〔分担〕コストベネフィット. “服薬指導, 院内製剤” (POPS編), p.20～62, 1987.
- 2) 中原保裕：〔分担〕臨床効果を上げる服薬指導のコツ. “第一線のペイシェント・ケア” (日経メディカル編), p.150～157, 日経マグローヒル, 1987.

## 学会発表

- 1) 畝本賜男, 村田和也, 村田正弘, 吉岡正智<sup>1)</sup>, 田中洋介<sup>1)</sup>, 和田勲武<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院外科)：〔ポスターセッション〕潰瘍性大腸炎に対するサリチル酸誘導体の適用の検討. 1) 5-アミノサリチル酸製剤の検討と適用. 日本薬学会第107年会, 1987.
- 2) 中原保裕, 浜田康次, 村田正弘, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科)：〔一般講演〕腎機能低下患者に対するT O B投与法の比較. 日本薬学会第107年会, 1987.
- 3) 島田恵彦, 畝本賜男, 村田正弘：〔一般講演〕適切な薬物療法実施のための薬剤師職能の再考; MTX大量療法における薬剤師の役割. 日本病院薬剤師会関東ブロック第17回学術大会, 1987.
- 4) 前田国光, 田崎みどり, 村田正弘：〔一般講演〕シメチジン製剤の製剤学的検討. 日本病院薬剤師会関東ブロック第17回学術大会, 1987.
- 5) 宿前貴子, 村田正弘, 小田彰<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院救命救急センター)：〔一般講演〕農薬中毒に対する情報提供と処置の問題. 第9回中毒研究会, 1987.
- 6) 村田正弘：〔パネルディスカッション〕改正医療法において求められる薬剤師像と薬学教育; 病院薬剤師の立場から. 第20回日本薬剤師会学術大会薬学教育分科会, 1987.
- 7) Nakahara, Y., Murata, M., Setuta, K.<sup>1)</sup>, Tanaka, K.<sup>1)</sup>, Fujisaki, S.<sup>1)</sup>, Suzuki, S.<sup>1)</sup>, Otsu, F.<sup>1)</sup>, Hariya, Y.<sup>1)</sup> and Yahata, K.<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科)：〔展示〕Possible advantage of variable serum theophylline concentration in chronic bronchial asthma patients. XII World Congress of Asthmology (Barcelona), 1987.
- 8) 中原保裕, 村田正弘, 田中邦夫<sup>1)</sup>, 富士崎成子<sup>1)</sup>, 鈴木健<sup>1)</sup>, 大津文雄<sup>1)</sup>, 針谷吉人<sup>1)</sup>, 八幡浩二<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>多摩永山病院内科)：〔展示〕Captoprilの血清カリウム値に対する影響の検討, 学会. 第8回日本臨床薬理学会, 1987.
- 9) Yadomae, T., Murata, K., Simada, Y., Nakahara, Y. and Murata, M.：〔ポスターセッション〕Drug information services for promotion of clinical pharmacy practice. The Japanese-United States Congress of Pharmaceutical Sciences (日米合同薬学大会) (Honolulu), 1987.

## 〔多摩永山病院看護部〕

### 研究概要

当院看護部は、地域の特性をふまえた大学病院として、質の高いケアを提供するために、看護能力の向上をめざして研究活動を行っている。

一人一人の看護の視点が向上することで、チームは始めてダイナミックに変容すると考え、卒後1～3年目はケースメソッドを条件にし、4年目以上の臨床経験者では、自分のもつテーマの継続研究を推進している。

- 1) 産婦人科では、①13歳より拒食症、妊娠13週に至っても食後すぐ自分で吐き出していたが、36週6日で骨盤位IUGRにて帝切、1,970gの女児を得た例。②12週より子宮頸管上で体部筋腫との間に胎児を認めたが、順調に経過し、38週4日で3,034gの男児を帝切分娩した2例の保健指導を考察し報告した。
- 2) 脳神経外科領域においては、経管栄養剤の使用による下痢症状の改善に、人參スープの成分を明らかにして、その止痢効果を5症例で実証、臀部糜爛の治癒、予防の有効性を認めた。
- 3) 救命救急センターでは、看護問題と変化の著しい患者の状況とに“ずれ”が生じやすい。個別性のある急性期ケアの充実と、記録時間の短縮を目的にflowsheetの基準化と、問題にそったprogress noteの徹底を図ることで、看護婦の受持意識が高揚し、ケアの質が向上したのでその過程を報告した。
- 4) 当院救命救急センターに入室する重症心筋梗塞は年間入室数の4%である。

片麻痺を伴う広範囲梗塞の事例に対し、3日目より個別性のあるリハビリテーションプログラムを立案展開した。その結果、発症時には安静が守れず、リハビリ段階では不安の強い事例に有効であった。

63年度は、開院11年の節目として、厳しい医療体制の中で看護部を効率的に運営するための業務改善、体制の刷新。また個人の看護能力の向上をめざし、卒後教育の再検討など、看護管理上の問題解決に取り組みたい。

## 研究業績

### 学会発表

- 1) 吉戸隆子、酒井和子、飯野伸子、酒井好子、福原美佐子、小田原綾子、米山美弥子、外山和秀、野村忠利、中嶋唯夫：〔一般講演〕神経性食思不振症及び核出困難な筋腫合併の二分娩例と、その保健指導。第28回日本母性衛生学会、1987。
- 2) 池田かおり、樋口美月、内藤眞佐子、中野八千代、林菜保美、千代ちま：〔一般講演〕難治性下痢症患者のオムツ皮膚炎に対する一考察。東京都看護協会学会、1988。
- 3) 高尾美知子、中村春美、岡田美千子、本間妙子、岡野節子、政次富美子：〔一般講演〕精神的不安の強い片麻痺を伴う重症心筋梗塞患者の援助；リハビリプログラムの検討。第24回日本救急医学会関東地方会、1988。
- 4) 松井美香、藤川栄美、大力和子、緋田雅美、石井ひろみ、熊谷玲子、西山美子、岡野節子、政次富美子：〔一般講演〕救急部門におけるPONRの充実；質の高い急性期ケアをめざして。第10回P O S 研究会、1988。



## 〔 4 〕 付 置 研 究 施 設



# 1. 老人病研究所

## 研究概要

正常の老化は生体を構築している臓器組織のどれにもほぼ同程度かつ普遍的に現われる。また、種の寿命を支配するものは第一の遺伝子、すなわち“老化遺伝子”のようなものとじこめられた情報によるものでないことが一般に支持されるようになってきている。経年変化はDNAの経年変化を含めて多様でありうるがその成因として、特にO<sub>2</sub>および superoxide 等による生体内過酸化反応が老化研究上極めて重要な課題となってきた。一方、血管系はすべての臓器組織の基本的構成単位であり、したがって動脈硬化についても、それと老化との関連が追求されてきている。

また、老年者の抗体産生能を集団レベルで調べる疫学的検索も老化の免疫学説を検討する一手段として重要である。老研各部門は上述の観点から以下の諸問題について研究している。

- 1) 動脈硬化関連：(i) Glyco-リボ蛋白の簡易測定法を開発し、これを用いてリボ蛋白代謝、特にHDLの分解について解析中。(ii) stressと動脈硬化、殊に① stressによる大動脈脂質沈着の促進、② 高コレステロール状態における stress 効果の増幅の2新事実の機作を解明中。(iii) LCAT-LPL-HDL 3者の相互活性と動脈硬化進展を追及中。
- 2) 高齢者の剖検所見：高齢者(90歳以上)の剖検例について検索している。
- 3) 遺伝子関連：(i) ヒト癌検体を培養し、glycosaminoglycanの生成を追及中。(ii) ガン細胞の増殖抑制と放射線量との関連を追及中。
- 4) 疫学的検索：高齢者に多いインフルエンザ死亡率について、HI抗体の保有状況とワクチン接種によるHI抗体の産生能を中心に検索している。

## 研究業績

### 論文

- 1) Irie, H.<sup>1)</sup>, Harada, Y.<sup>2)</sup>, Kurokawa, E.<sup>2)</sup>, Saito, M.<sup>2)</sup>, Sugawara, Y.<sup>2)</sup>, Ohami, H. and Mori, W.<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>Division of Pathology, <sup>2)</sup>Research Laboratories, Chugai Pharmaceutical, <sup>3)</sup>Department of Pathology, Faculty of Medicine, University of Tokyo) : [原著] Early adrenal infection by herpes simplex virus type-1 (Miyama+GC stain); Special reference to inoculation dose and spread from the central nervous system. Virchows Arch., 53, 325~331, 1987.
- 2) 御厨修一<sup>1)</sup>, 幡野和夫<sup>1)</sup>, 此枝一<sup>1)</sup>, 上村志伸<sup>1)</sup>, 相良正彦<sup>1)</sup>, 織田敏次<sup>1)</sup>, 大網弘(<sup>1)</sup>国立医療センター) : [原著] 小分割大線量照射における遠達効果と腫瘍巣内の細胞浸潤に関する研究. 癌の臨床, 33, 1239~1252, 1987.
- 3) Nakazawa, Y.<sup>1)</sup>, Fujimura, Y.<sup>1)</sup>, Ohishi, F.<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>共立女子大, 食品化学, <sup>2)</sup>協同乳業(株)基礎研究所) : [原著] Exchange interactions of metallic ions between cows milk and potatoes during cooking. J. Dairy and Food Science, 36, A25~A31, 1987.
- 4) 堀俊明<sup>1)</sup>, 大石一二三<sup>1)</sup>, 坂内岩雄<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>協同乳業(株)基礎研究所) : [総説] Kefir粒の微生物と粘性多糖類. 酪農科食品研, 36, A245~A248, 1987.
- 5) Arai, A., Ohashi, T., Takahashi, M., Nakayama, M.<sup>1)</sup>, Takeuchi, Y.<sup>2)</sup>, Maruyama, Y.<sup>3)</sup>, Ito, S. and Iwaya, R. (<sup>1)</sup>National Institute of Health, <sup>2)</sup>Chiba Prefectural serum Institute, <sup>3)</sup>Department of Psychology) : [速報] Studies on human being inoculated with influenza vaccine and bearing HI antibody against actual prevailing strain. 日医大誌, 54, 200~203, 1987.

- 6) 長谷川卓志, 中島信治: [総説] 高血圧の発生機序についての最近の進歩. 日医大誌, 54, 570, 1987.
- 7) 中山恵二<sup>1)</sup>, 今井俊<sup>1)</sup>, 西原潔<sup>1)</sup>, 星健二<sup>1)</sup>, 中村進一<sup>1)</sup>, 白井洋司<sup>2)</sup>, 山本泰一 ( <sup>1)</sup>第一病院皮膚科, <sup>2)</sup>形成外科 ): [報告] 特異な組織像を呈した脂腺癌の一例. Skin Cancer, 2, 25~28, 1987.
- 8) 金子仁, 高橋修和, 大網弘, 原博, 清水一, 枝川聖子, 福田正彦, 片山博徳, 寺内博<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>埼玉医科大学婦人科 ): [総説] 職域集団における婦人科検診システムについての検討. 協栄生命健康事業団研究助成論文集 III P. 7~17, 1987.
- 9) 長谷川卓志, 中島信治: [総説] 血小板活性化因子 (PAF) について. 日医大誌, 55, 89~93, 1988.
- 10) 羽田和正, 中島信治: [話題] 痴呆と栄養素; 日医大誌, 55, 105, 1988.
- 11) Ohishi, H., Hess, D., Kosakai, M., Schmid, K., Hausmann, J., Mogayzel, P. J., Faris, B. and Franzblau, C.: [原著] Glycosaminoglycan content in neonatal rat aortic smooth muscle cell cultures. Atherosclerosis, 69, 61~68, 1988.
- 12) 青木雅子<sup>1)</sup>, 中山恵二<sup>1)</sup>, 恩田周太郎<sup>1)</sup>, 山本泰一, 中村進一<sup>1)</sup>, 飯田和美<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>第一病院皮膚科, <sup>2)</sup>ワクチン療法研究施設 ): [クリニカラー] 陰茎結核. 皮膚臨床, 30, 397~398, 1988.
- 13) 青木雅子<sup>1)</sup>, 中山恵二<sup>1)</sup>, 恩田周太郎<sup>1)</sup>, 山本泰一, 中村進一<sup>1)</sup>, 飯田和美<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>第一病院皮膚科, <sup>2)</sup>ワクチン療法研究施設 ): [原著] 陰茎結核の一例. 皮膚臨床, 30, 422~423, 1988.

## 著 書

- 1) 高橋修和: [分担] よくわかる滅菌・消毒の実際. (吉川卓, 高橋修和編), p.91~137, 藤田企画出版, 1987.

## 学会発表

- 1) 小山美弥, 横田隆, 山本泰一, 大網弘, 金子仁: [展示] コレステロール食飼育家兔における動脈硬化に対する6価Crの影響 第一報. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 2) 横田隆, 大石一二三<sup>1)</sup>, 小山美弥, 山本泰一, 大網弘, 金子仁 ( <sup>1)</sup>協同乳業基礎研究所 ): [展示] ヒト骨原発悪性線維性組織球腫培養による細胞性状と培養細胞産生GAGSについて. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 3) 大石一二三<sup>1)</sup>, 横田隆, 小山美弥, 山本泰一, 松井南<sup>2)</sup>, 大網弘, 金子仁 ( <sup>1)</sup>協同乳業基礎研究所, <sup>2)</sup>日獣大分子腫瘍学研究室 ): [展示] Kefir grain由来粘性多糖体によるMacrophage (M $\phi$ ) の活性化. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 4) 入江宏<sup>1)</sup>, 森亘<sup>2)</sup>, 原田祐輔<sup>3)</sup>, 大網弘 ( <sup>1)</sup>関東中央病院, <sup>2)</sup>東大病理, <sup>3)</sup>中外製薬薬応研 ): [一般講演] Herpes simplex virusの副腎感染; 副腎から中枢神経系への波及について. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 5) 前田昭太郎<sup>1)</sup>, 杉山佳世子<sup>1)</sup>, 奥田朗夫<sup>1)</sup>, 浦川啓子<sup>1)</sup>, 大塚俊司<sup>1)</sup>, 新宅孝征<sup>1)</sup>, 横田隆, 小山美弥 ( <sup>1)</sup>多摩永山病院病理 ): [一般講演] 乳腺原発骨肉腫の一例. 第76回日本病理学会総会, 1987.
- 6) 坂本真珠美<sup>1)</sup>, 大石一二三<sup>1)</sup>, 本田恒男<sup>1)</sup>, 坂内岩雄<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>協同乳業基礎研究所 ): [一般講演] Kefir grain由来粘性多糖質の性状. 第79回日本畜産学会総会, 1987.
- 7) 清水一, 枝川聖子, 福田正彦, 横田隆, 片山博徳, 山本泰一, 大網弘, 金子仁: [展示] Estrogen投与による兔子宮内膜の形態学的変化及び核DNA量について. 第28回日本臨床細胞学会総会, 1987.
- 8) 横田隆, 片山博徳, 大網弘, 金子仁: [展示] ヒト骨原発 Malignant Fibrous Histiocytoma 由来培養細胞株樹立とその性状. 第28回日本臨床細胞学会総会, 1987.
- 9) 片山博徳, 清水一, 枝川聖子: [一般講演] 免疫組織染色における背景の共染防止についての検討. 第36回日本臨床衛生検査学会総会, 1987.
- 10) 清水一, 枝川聖子, 片山博徳: [一般講演] Studies on the distribution of mesenchymal antigens in non epithelial



normal and tumor tissues. 第36回日本臨床衛生検査学会総会, 1987.

- 11) 中山恵二<sup>1)</sup>, 今井俊<sup>1)</sup>, 中村進一<sup>1)</sup>, 金森幸男<sup>2)</sup>, 山本泰一<sup>(1)第一病院皮膚科, 2)付属病院泌尿器科</sup>: [一般講演] 毛細血管拡張性肉芽腫を伴った陰茎悪性黒色腫. 第3回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1987.
- 12) 羽田和正, 西楨貴代美, 堀江祥子, 長谷川卓志, 中島信治: [一般講演] 血清TCレベルの増加によるHDL亜分画内脂質量および脂質比の変動に関する研究. 昭和62年度日本動脈硬化学会総会, 1987.
- 13) 中島信治, 西楨貴代美, 堀江祥子, 長谷川卓志, 羽田和正: [一般講演] HDL画分内リン脂質とHDL画分内 non polar lipid 量との関連についての2, 3の考察. 昭和62年度日本動脈硬化学会総会, 1987.
- 14) Yamazi, Y.<sup>1)</sup>, Suzuki, H.<sup>1)</sup>, Takahashi, M., Nakayama, M.<sup>2)</sup>, Oya, A.<sup>2)</sup>, Takeuchi, Y.<sup>3)</sup>, Sato, Y.<sup>4)</sup>, Nakamura, K.<sup>5)</sup>, Pongrote, B.<sup>6)</sup>, Surprasert, S.<sup>6)</sup> and Supawadee, J.<sup>6)</sup> (<sup>1)</sup>Dept. Microbiology and Immunology, <sup>2)</sup>National Institute of Health, <sup>3)</sup>Chiba Prefectural Serum Institute, <sup>4)</sup>Yamanashi Prefectural Institute for Public Health, <sup>5)</sup>Nagano Prefectural Institute of Health, <sup>6)</sup>Chiang Mai Univ.): [一般講演] Antigenic analysis of type B influenza virus, HI tests with absorbed rabbit antisera and impact of passage history of the virus. 7th International Congress of Virology (Edmonton, Canada), 1987.
- 15) 田口晴美, 尾沢ますみ, 高橋修和, 蓑茂上<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>共愛病院): [一般講演] 高齢者のインフルエンザワクチン接種によるHI抗体産生についての検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 16) 福田正彦, 清水一, 枝川聖子, 山本泰一, 大網弘: [一般講演] 副腎皮質癌の一例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 17) 片山博徳, 清水一, 枝川聖子, 福田正彦, 山本泰一, 大網弘: [一般講演] 酵素抗体法その背景共染防止の検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 18) 枝川聖子, 清水一, 福田正彦, 片山博徳, 原博, 山本泰一, 大網弘: [展示] 職域集団における婦人科検診システムについての検討; 第二報. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 19) 清水一, 枝川聖子, 福田正彦, 片山博徳, 山本泰一, 大網弘: [展示] Estrogen 投与による兔子宮内膜の形態学的変化及び核DNA量について. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 20) 大石一二三<sup>1)</sup>, 横田隆, 小山美弥, 中島信治, 大網弘, 斉藤彰<sup>2)</sup>, 松井南<sup>3)</sup> (<sup>1)</sup>協同乳業(株)基礎研究所, <sup>2)</sup>第2内科, <sup>3)</sup>日獣大分子腫瘍学研究室): [展示] マクロファージ産生 Heparitinase の部分精製. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 21) 小山美弥, 横田隆, 野村信夫<sup>1)</sup>, 松井南<sup>1)</sup>, 石崎良太郎<sup>1)</sup>, 大石一二三<sup>2)</sup>, 大網弘 (<sup>1)</sup>日獣大分子腫瘍学研究室, <sup>2)</sup>協同乳業(株)基礎研究所): [展示] 癌遺伝子の増幅が確認された胃癌二例. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 22) 横田隆, 小山美弥, 大石一二三<sup>1)</sup>, 松井南<sup>2)</sup>, 野村信夫<sup>2)</sup>, 石崎良太郎<sup>2)</sup>, 中瀬猛<sup>3)</sup>, 大網弘 (<sup>1)</sup>協同乳業(株)基礎研究所, <sup>2)</sup>日獣大分子腫瘍学研究室, <sup>3)</sup>付属病院整形外科): [展示] NMS 10株におけるヒアルロン酸の生合成. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 23) 羽田和正, 長谷川卓志, 西楨貴代美, 中島信治, 福生吉裕<sup>1)</sup>, 赫彰郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>第2内科): [一般講演] Xanthoma 患者の血清 Cholesterol dynamics に関する検討. 第55回日本医科大学医学会総会, 1987.
- 24) 羽田和正, 西楨貴代美, 堀江祥子, 長谷川卓志, 中島信治: [一般講演] Glycosylated lipoprotein の測定の試みに関する一試案. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 25) 中島信治, 西楨貴代美, 堀江祥子, 長谷川卓志, 羽田和正: [一般講演] HDL画分内リン脂質とHDL画分内 non polar lipid 量との関連についての2, 3の考察. 第29回日本老年医学会総会, 1987.
- 26) 西楨貴代美, 堀江祥子, 羽田和正, 長谷川卓志, 中島信治: [一般講演] 血清TCレベルの増加によるHDL亜分画内脂質量および脂質比の変動に関する研究. 第29回日本老年医学会総会, 1987.

- 27) 山田常久<sup>1)</sup>, 幡野和男<sup>1)</sup>, 服部英行<sup>1)</sup>, 御厨修一<sup>1)</sup>, 大網弘 ( <sup>1)</sup>国立医療センター ) : [一般講演] 放射線・温熱併用療法を施行した癌患者34例の臨床報告および治療後病理学的検討がなされた9例の報告. 第25回日本癌治療学会総会, 1987.
- 28) 尾沢ますみ, 高橋修和, 高橋亨<sup>1)</sup>, 柚木斉<sup>1)</sup>, 八代悠紀子<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>衛生・公衆衛生, <sup>2)</sup>国立公衆衛生院 ) : [展示] インフルエンザワクチン接種による高齢者のHI抗体産生並びに副作用についての検討. 第46回日本公衆衛生学会総会, 1987.
- 29) 羽田和正, 西楨貴代美, 長谷川卓志, 中島信治 : [一般講演] 糖化リボ蛋白簡易測定法に関する研究. 昭和62年度動脈硬化学会冬期大会, 1987.
- 30) 並松茂樹<sup>1)</sup>, 中村進一<sup>2)</sup>, 中山恵二<sup>2)</sup>, 西原潔<sup>2)</sup>, 今井俊<sup>2)</sup>, 山本泰一 ( <sup>1)</sup>第一病院電顕室, <sup>2)</sup>同皮膚科 ) : [一般講演] 低分化型脂腺癌; 光顕ならびに電顕的観察. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 31) 中村進一<sup>1)</sup>, 中山恵二<sup>1)</sup>, 古谷清久<sup>1)</sup>, 弓削庫太<sup>2)</sup>, 山本泰一 ( <sup>1)</sup>第一病院皮膚科, <sup>2)</sup>同耳鼻科 ) : [一般講演] 多発性混合腫瘍; 光顕ならびに電顕的観察. 日本医科大学医学会第64回例会, 1988.
- 32) 宮内朱<sup>1)</sup>, 堀俊明<sup>1)</sup>, 榊原則一<sup>1)</sup>, 大石一二三<sup>1)</sup>, 坂内岩男<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>協同乳業 (株) 基礎研究所 ) : [一般講演] Kefir および Kefir Grain 由来多糖体の抗血栓作用. 第80回日本畜産学会大会, 1988.

## 2. ワクチン療法研究施設

### 研究概要

昭和63年5月19日現在, SSM共同治験医師から, 本施設に紹介された各種癌患者総数は, 254,420名に及び, 既報のごとく, 遂年的に, 各種の癌患者の背景因子についてのコンピューターによるルーチンの解析も行った. 三宅章彦教授らの指導を得て, 飯田和美の発表した「非治癒切除胃癌症例に対するヒト型結核菌体抽出物質による免疫療法の生存時間に及ぼす影響」では, SSM免疫療法単独群と免疫化学療法群の術後の推定生存曲線間で, 前者の生存率が, 後者に対し, 有意の差を持って高く, その差は, 術後の時間的経過に伴って拡大する傾向が認められた, として, われわれが, 臨床的にも, 多数の症例を通して実感している進行癌のSSM療法の効果を, 統計的にも立証したことは, 意義深い.

昭和54年以降では, 63年3月末までの時点で胃癌46,250例 (内, 3年以上にわたってSSM加療中のもの7.0%), 肺癌20,237例 (3.2%), 腸癌17,038例 (8.1%), 肝癌10,259例 (2.0%), 乳癌8,748例 (21%), 子宮癌6,077例 (17.3%), 食道癌3,552例 (4.3%), 胆管癌4,585例 (1.9%), 卵巣癌3,585例 (9.3%), 肉腫1,370例 (9.1%), 膀胱癌7,109例 (2.1%) 等, その他計155,869例で, 内12,586名 (8.1%) が, 3年以上のSSM長期加療例であって, この数字, パーセンテージは, 昭和54年以降のコンピュータ解析を通して, ほとんど同率に推移していることは, 進行末期癌をSSM加療対象にすることの多い現状において, その生存率とも併せて, 興味のもたれるところである.

一方, 木本哲夫教授 (川崎医大) によって, SSMのコラーゲン増生作用に基づく癌巣封じ込めの研究の進展, 放射線による白血球減少の抑制作用等に関し, 全国主要施設放射線科の協力のもとに, 成果が集計されつつある.

### 研究業績

#### 論文

- 1) 新村秀一<sup>1)</sup>, 飯田和美, 丸山千里, ( <sup>1)</sup>住商コンピューターサービス ) : [原著] SSM (人型結核菌体抽出物質, 丸山ワクチン) の癌治療における帰無仮説モデルによる評価. 医療情報学, 7, 263~275, 1987.

- 2) 飯田和美：〔原著〕非治癒切除例に対するヒト型結核菌体抽出物質（SSM）による免疫治療法の生存時間に及ぼす影響；遠隔成績の統計的解析：日医大誌，54，609～620，1987.

#### 学会発表

- 1) 藤田敬四郎，新井愛彦，平井敏之，後藤博一，仲地紀良，飯田和美，岩城弘子，丸山千里：〔一般講演〕末期癌医療コンサルテーション；特にSSM治験外来における現況をとおして．第60回日本医科大学医学会例会，1986.
- 2) 藤田敬四郎，平井敏之，後藤博一，飯田和美，仲地紀良，新井愛彦，岩城弘子，丸山千里：〔展示〕当施設における結核菌体抽出物質（SSM）使用登録癌患者数の現況と推移．第55回日本医科大学医学会総会．1987.
- 3) 飯田和美，藤田敬四郎，仲地紀良，後藤博一，新井愛彦，岩城弘子，平井敏之，丸山千里：〔展示〕SSM経口投与の試み．第55回日本医科大学医学会総会，1987.
- 4) Fujita, K., Hirai, T., Iida, K., Arai, Y., Nakaji, K., Goto, H., Iwaki, H. and Maruyama, C.: 〔一般講演〕A long term survey of various malignancies in treatment with SSM (Maruyama vaccine). The 8th Asia Pacific Cancer Conference (Seoul), 1987.
- 5) 藤田敬四郎，飯田和美，新井愛彦，仲地紀良，後藤博一，宮崎定活，本多悟，岩城弘子，平井敏之，丸山千里：〔一般講演〕当施設における結核菌体抽出物質（SSM）使用登録癌患者の現況（第9報）．第25回日本癌治療学会総会，1987.
- 6) 飯田和美，藤田敬四郎，後藤博一，新井愛彦，仲地紀良，宮崎定活，本多悟，岩城弘子，平井敏之，丸山千里：〔一般講演〕非治癒切除胃癌におけるSSMの延命効果の検討．第25回日本癌治療学会総会，1987.
- 7) 藤田敬四郎，新井愛彦，平井敏之，丸山千里：〔一般講演〕当施設における結核菌体抽出物質（SSM）使用登録癌患者数；特に婦人科領域における過去8年間の推移と現況．第1回日本産科婦人科学会東京地方部会，東京母性保護医協会合同研修会，1988.
- 8) 藤田敬四郎，新井愛彦，後藤博一，仲地紀良，平井敏之，岩城弘子，丸山千里：〔一般講演〕長期SSM加療中の悪性中皮腫の一例．第64回日本医科大学医学会例会，1988.

## あ　と　が　き

日本医科大学研究業績年報、第34巻、1987年度版が刊行されることになりました。

本巻には Nippon Medical School Research Annual という英文名称も追加され、装丁も変わりました。ここに執筆、編集、校正等に労をとられた関係各位に深謝申し上げます。

本学の教育、研究の体制、環境も年々前向きに改善されているように思われます。特に研究面においては各教室、施設からの独創的な研究はもとより、昭和56年度以降に設置された高分解能高電圧電子顕微鏡、クライオ付高分解能走査電子顕微鏡、生体観測用核磁気共鳴装置、動物行動科学研究装置等々を利用した講座、教室、施設の枠を越えた基礎医学と臨床医学が一体となった共同研究も推進されてきております。

そして各研究者の意欲的な活動の成果は年報にみられるように多くの原著論文、学会発表等々からも伺い知れるところであります。この業績年報により学内研究の推移を一人でも多くの方に知っていただくこと、またこの年報が研究推進の指針となること、そしてこれからも皆様がこの年報に名前の残ることを誇りとされ、それを礎として研究をさらに発展されることを願うものです。

平成元年 1 月

研究委員会 浅 野 伍 朗

平成元年 3 月 5 日 印 刷

平成元年 3 月 14 日 発 行

発 行 日 本 医 科 大 学  
研 究 委 員 会

〒113 東京都文京区千駄木 1-1-5

TEL 03 (822) 2 1 3 1

印 刷 栄 和 印 刷 株 式 会 社

〒211 川崎市中原区小杉御殿町 2-172

TEL 044 (733) 4 7 1 6





